松戸市子ども・子育てに関するアンケート調査
報告書

令和６年３月

松戸市

【目　次】

第１章　調査の概要 1
第１節　調査の目的 2
第２節　調査対象・方法等 2
第３節　回収率 3
第４節　本報告書の留意点 4

第２章　調査の結果①　＜就学前児童保護者・小学生保護者・中学生保護者＞ 5
第１節　世帯の状況 6
第２節　子育て環境 35
１．子育て相談、情報入手に関すること 37
２．保護者の意識・悩み 44
３．子ども・学校との関わり方 47
４．子どもの学歴に関する認識 54
５．少子化に関すること 58
６．松戸市の子育て環境への評価 62
第３節　保護者の就労状況 68
第４節　育児休業の取得状況 86
第５節　教育・保育施設利用 92
第６節　地域の子ども子育て支援の利用状況 108
１．おやこ DE 広場等（地域子育て支援拠点事業） 109
２．放課後児童クラブ・放課後 KIDS ルーム（放課後児童健全育成事業） 113
３．松戸市の子育て支援に関する事業 118
４．休日等保育 127
５．病児・病後児保育 129
６．一時預かり 133
第７節　子どもに関する施策 138
第８節　自由回答 146

第３章　調査の結果②　＜小学生・中学生・高校生・若者＞ 155
第１節　属性 156
第２節　学習実態 161
第３節　生活実態 177
第４節　子どもの意識 200
第５節　インターネットの利用状況 244
第６節　ひきこもり等に関する状況 250
第７節　子どもの虐待に関する認識 258
第８節　松戸市への好感度 261
第９節　体験活動等の状況 264
第 10 節　支援制度の利用状況や効果等 280

第４章　調査の結果③ ＜転出世帯＞ 293
第１節　転出世帯の実態 294
第２節　転出世帯の属性 300
第３節　自由回答 303

第５章　調査票 305
第１節　就学前児童保護者調査票 306
第２節　小学生保護者調査票 331
第３節　中学生保護者調査票 351
第４節　小学生調査票 367
第５節　中学生調査票 380
第６節　高校生調査票 393
第７節　若者（18～24 歳）調査票 406
第８節　転出世帯調査票 419

第１章　調査の概要

第1節　調査の目的

本調査は、「第3期松戸市子ども総合計画」の策定にあたり、本市の子ども・子育て世帯の生活実態や動向、ニーズ等を把握、分析することを目的に実施したものである。

第2節　調査対象・方法等

調査対象者	調査方法	調査期間
①就学前児童保護者	・郵送調査＋インターネット回答 ※紙の調査票に二次元コードを印刷し、紙でもインターネットでも回答できる形式。（①、④、⑥は同じ手法） ・対象者は、令和5年9月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出	令和5年10月12日 ～10月31日
②小学5年生及びその保護者	・インターネット回答 ※学校経由で二次元コードを印刷した案内を配布。親子別に回答し、回答後にマッチングし集計・分析をする。（②、③は同じ手法） ・全数調査	令和5年10月12日 ～10月31日
③中学2年生及びその保護者	・インターネット回答 ・全数調査	令和5年10月12日 ～10月31日
④高校2年生	・郵送調査＋インターネット回答 ・対象者は、令和5年9月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出	令和5年10月20日 ～10月31日
⑤若者（18～24 歳）	・インターネット回答 ※二次元コードを印刷したはがきを送付し、インターネットで回答する形式。 ・対象者は、令和5年9月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出	令和5年10月20日 ～11月7日
⑥市外に転出した就学前児童保護者	・郵送調査＋インターネット回答 ※柏市・流山市への転出者を対象とする。 ・対象者は、過去5年間に本市から転出した子育て世帯を住民基本台帳から抽出	令和5年11月2日 ～11月22日

第3節　回収率

調査対象者		配布数	有効回答数	有効回収率	親子のマッチングができた数
①就学前児童保護者		3,000	1,815	60.5%	
②小学5年生及びその保護者	小学生	3,810	1,184	31.1%	577
	保護者	3,810	863	22.7%	
③中学2年生及びその保護者	中学生	3,583	632	17.6%	300
	保護者	3,583	489	13.6%	
④高校2年生		1,000	293	29.3%	
⑤若者（18～24 歳）		1,000	167	16.7%	
⑥市外に転出した就学前児童保護者		500	204	40.8%	

第4節 本報告書の留意点

(1)比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。したがって合計が100.0%を上下する場合もある。

(2)基数となるべき実数(回収者数)は、“全体(n=○○)”として掲載し、各比率は回答者数を 100.0%として算出した。なお、「n」は number of case の略であり、設問の回答数である。

(3)1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問では、各回答の合計比率が 100.0%を超える場合がある。

(4)本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。

(5)標本誤差に関して:

無限母集団が仮定され、サンプル数が比較的大きい標本調査では、母集団比率の 95%信頼区間は次の不等式で与えられる(同様の標本調査を 100 回実施したとき、95 回程度は母集団比率がこの区間に含まれる)。

$$p - 1.96\sqrt{p(1-p)/n} \leq p_0 \leq p + 1.96\sqrt{p(1-p)/n}$$

(p_0:母集団比率、p:標本比率、n:サンプル数)

したがって、標本誤差($p_0 - p$)については、95%の確率で次の不等式が成立する。

$$-1.96\sqrt{p(1-p)/n} \leq p_0 - p \leq +1.96\sqrt{p(1-p)/n}$$

例えば、サンプル数(n)が 2,000、調査結果(p)が 30%のとき、標本誤差は、±2.0%の範囲内にあるものと推測される(下表参照)。

各サンプル数及び標本比率における標本誤差の範囲(信頼水準95%)

n \ p	10%・90%	20%・80%	30%・70%	40%・60%	50%
3,000	±1.1%	±1.4%	±1.6%	±1.8%	±1.8%
2,000	±1.3%	±1.8%	±2.0%	±2.1%	±2.2%
1,500	±1.5%	±2.0%	±2.3%	±2.5%	±2.5%
1,000	±1.9%	±2.5%	±2.8%	±3.0%	±3.1%
500	±2.6%	±3.5%	±4.0%	±4.3%	±4.4%
300	±3.4%	±4.5%	±5.2%	±5.5%	±5.7%
100	±5.9%	±7.8%	±9.0%	±9.6%	±9.8%

第２章　調査の結果①

＜就学前児童保護者・小学生保護者・中学生保護者＞

第1節　世帯の状況

■結果の概要

【両親の就労形態】

・世帯類型別にみると、就学前児童保護者において、両親がいずれもフルタイムで就労している割合が高くなっている。子どもの年齢が高くなると、父母いずれか（も）がフルタイム以外の就労をしている割合が高くなっており、中学生保護者では約半数が父母いずれか（も）がフルタイム以外の就労だった。

【同居・近居の状況】

・ひとり親世帯は、就学前児童保護者においては 7.5％だったが、小学生保護者・中学生保護者はいずれも 14.3％となっている。子どもが小学校高学年になるまでに、ひとり親世帯になるケースが多いと考えられる。

・家族類型別にみると、いずれの調査でも「ふたり親世帯」が多くを占めている。家族類型を世帯類型別にみても大きな違いはなく、祖父母等の同居家族がいることにより両親が就労しやすくなっているとはいえない。

・祖父母が同居していない世帯であっても、約4～5割が松戸市内に祖父母が住んでいる。また、親せきが同居していない世帯であっても、約3～4割が松戸市内に親せきが住んでいる。

【経済状況】

・世帯人数・世帯年収からそれぞれの調査で準低所得層・低所得層を判定すると、準低所得層の割合は約4割、低所得層の割合は約1割となっている。世帯類型別にみると、ひとり親世帯の低所得層の割合が高くなっている。家族類型別にみると、その他世帯の低所得層の割合が高くなっている。

・主観的経済状況において苦しいと感じる割合は、いずれの調査も約4割を超えている。一般層であっても約2割は、暮らし向きが苦しいと感じている。

・一般層における「両親とも大学以上」の割合が、準低所得層・低所得層よりも高く、両親の学歴が高いほど経済的には安定している傾向がある。

【生活への満足度】

・いずれの調査においても、ひとり親世帯と低所得層の生活への満足度（平均点）が相対的に低かった。

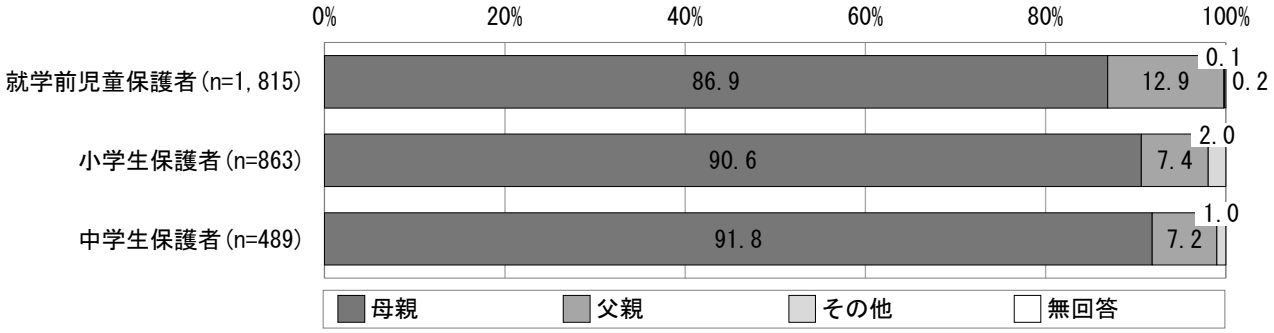
・世帯類型別にみると、小学生保護者では専業主婦（夫）世帯の生活への満足度（平均点）が最も高くなっている。中学生保護者では、両親いずれか（も）がフルタイム以外の就労をしている共働き世帯の満足度（平均点）が最も高くなっている。

(1)回答者

就学前児童保護者 問1-1 、小学生保護者 問 1 、 中学生保護者 問 1
この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
（単数回答）

回答者は「母親」が多くを占めている。

就学前児童保護者では、「母親」が86.9%、「父親」が12.9%となっている。小学生保護者では、「母親」が 90.6%、「父親」が 7.4%となっている。中学生保護者では、「母親」が 91.8%、「父親」が 7.2%となっている。



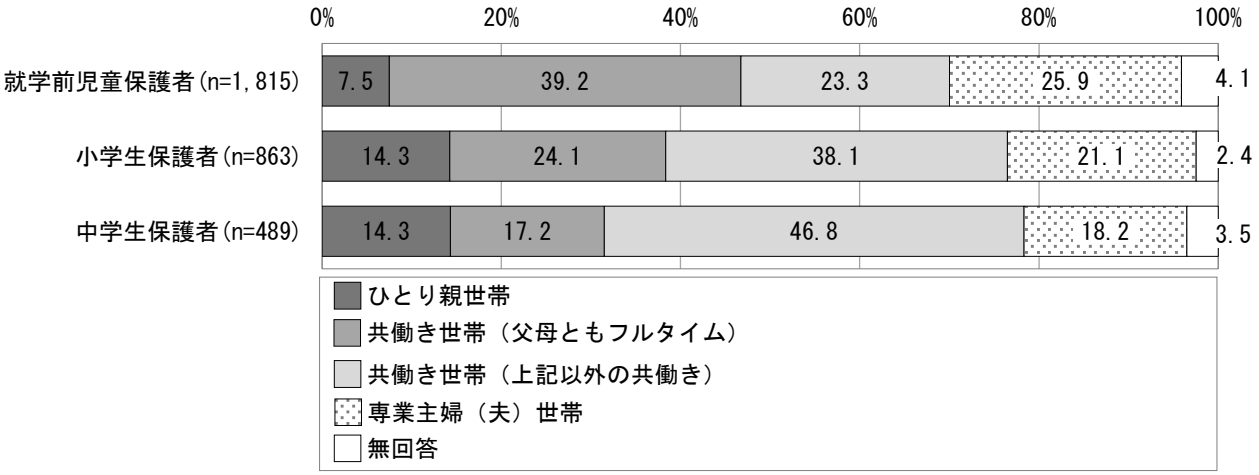
(2)世帯類型

就学前児童保護者 問1-2・問1-3・問8 、小学生保護者 問2・問4 、中学生保護者 問2・問3 から分類
ご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(単数回答:就学前児童保護者)
同居しているご家族をお答えください。(複数回答)
宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業を含む)についてお答えください。(単数回答)

両親の同居状況、就労状況をもとに、世帯類型の割合を算出した。

就学前児童保護者において「共働き世帯(父母ともフルタイム)」の割合が最も高かった。父母いずれか(も)がフルタイム以外の「共働き世帯(上記以外の共働き)」は、子どもの年齢が高いほど割合が高く、中学生保護者の約半数を占めている。

就学前児童保護者においてひとり親世帯は 7.5%であったが、小学生保護者・中学生保護者になると14.3%となっている。



用語の定義

ひとり親世帯:父母いずれかと子どものみで構成される世帯。祖父母等が同居している世帯は含まない。
共働き世帯(父母ともフルタイム):父母ともにフルタイム(週5日、1日8時間程度)の就労をしている世帯。
共働き世帯(上記以外の共働き):「共働き世帯(父母ともフルタイム)」以外の共働き世帯。
専業主婦(夫)世帯:父母いずれか(もしくはいずれも)が就労していない世帯。

※ひとり親世帯以外は、祖父母等が同居している世帯を含む。

上記の世帯類型は、以降のクロス集計では以下の略称を用いる。

ひとり親世帯	⇒ひとり親世帯
共働き世帯(父母ともフルタイム)	⇒共働き世帯(類型1)
共働き世帯(上記以外の共働き)	⇒共働き世帯(類型2)
専業主婦(夫)世帯	⇒専業主婦(夫)世帯

(3)家族類型

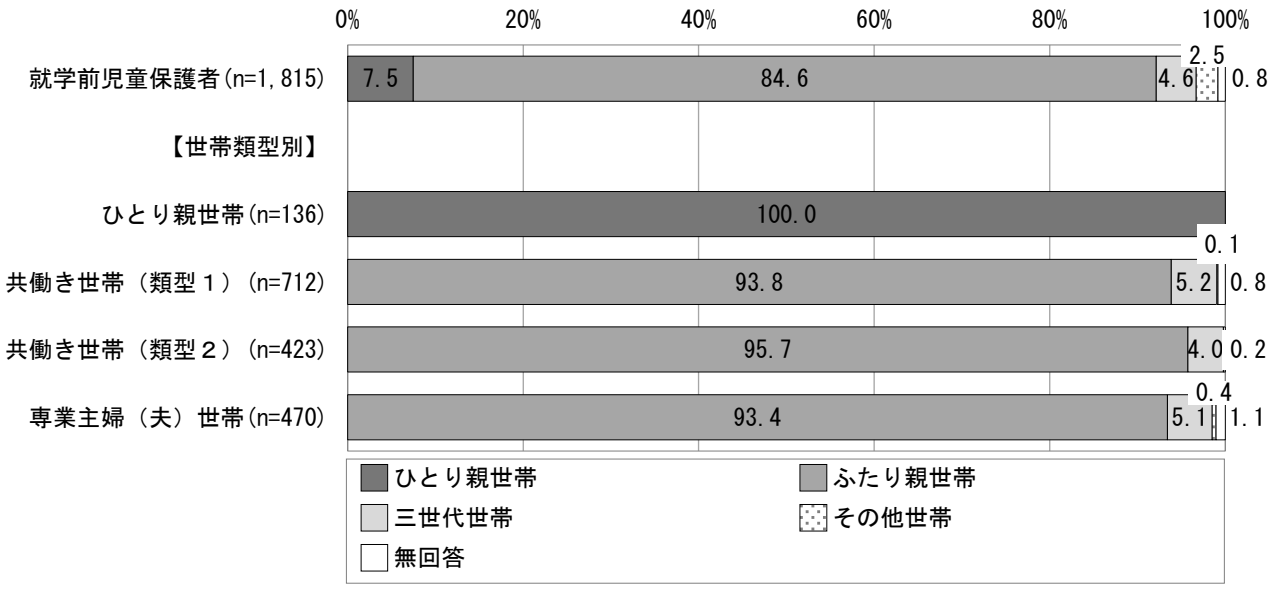
就学前児童保護者 問 1-2・問 1-3 、小学生保護者 問2 、中学生保護者 問2 から分類
ご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(単数回答:就学前児童保護者)
同居しているご家族をお答えください。(複数回答)

両親等の同居状況をもとに、家族類型の割合を算出した。

いずれの調査でも「ふたり親世帯」が多くを占めている。家族類型を世帯類型別にみても大きな違いはなく、祖父母等の同居家族がいることにより両親の就労がしやすくなっているとはいえない。

就学前児童保護者

「ふたり親世帯」が 84.6%と最も高く、「ひとり親世帯」が 7.5%、「三世代世帯」が 4.6%と続いている。

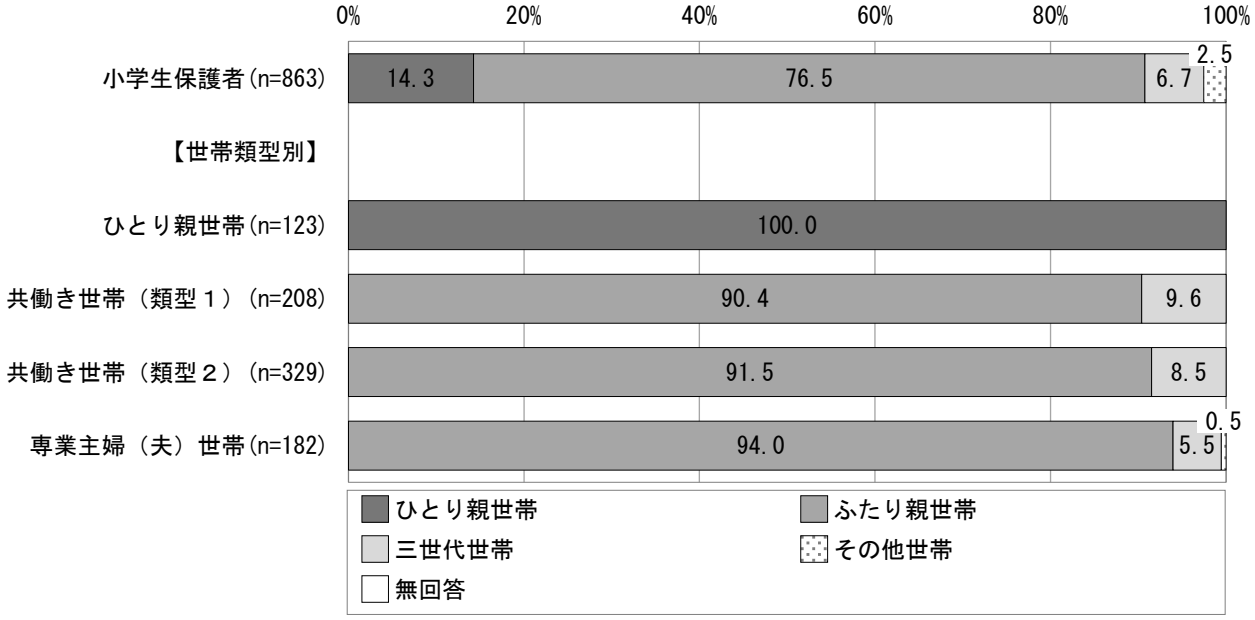


用語の定義

ひとり親世帯:世帯類型と同じ。
ふたり親世帯:父母と子どものみで構成される世帯。
三世代世帯:父母と子どもに加え、祖父母いずれか(いずれも)で構成される世帯。親せきが同居する場合も含む。
その他世帯:上記類型以外の世帯。

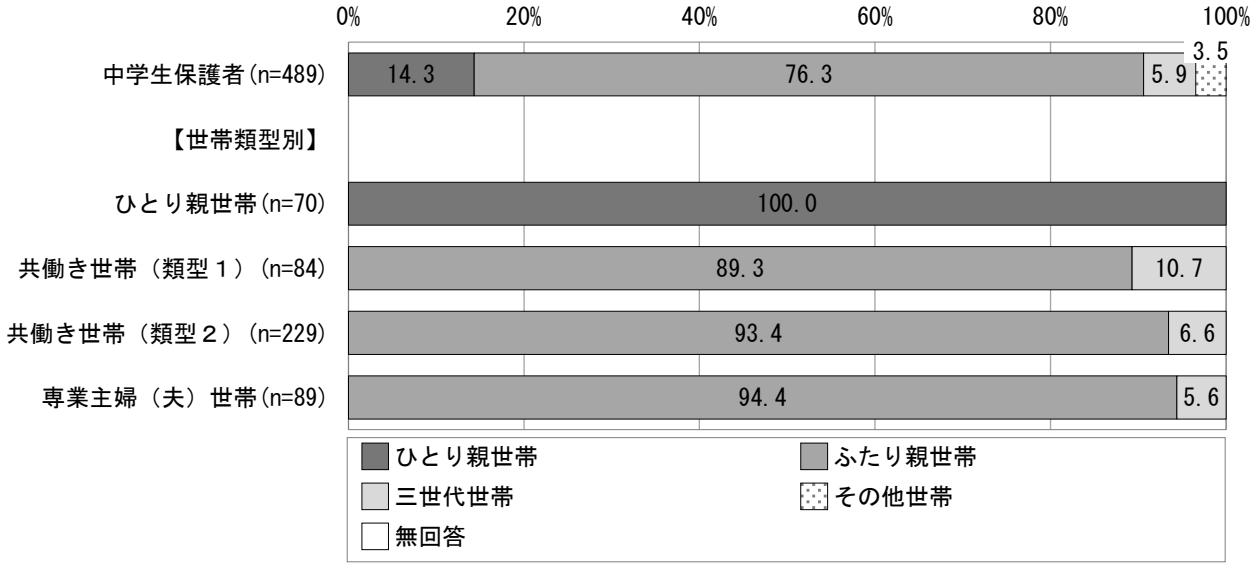
小学生保護者

「ふたり親世帯」が 76.5%と最も高く、「ひとり親世帯」が 14.3%、「三世代世帯」が 6.7%と続いている。



中学生保護者

「ふたり親世帯」が 76.3%と最も高く、「ひとり親世帯」が 14.3%、「三世代世帯」が 5.9%と続いている。

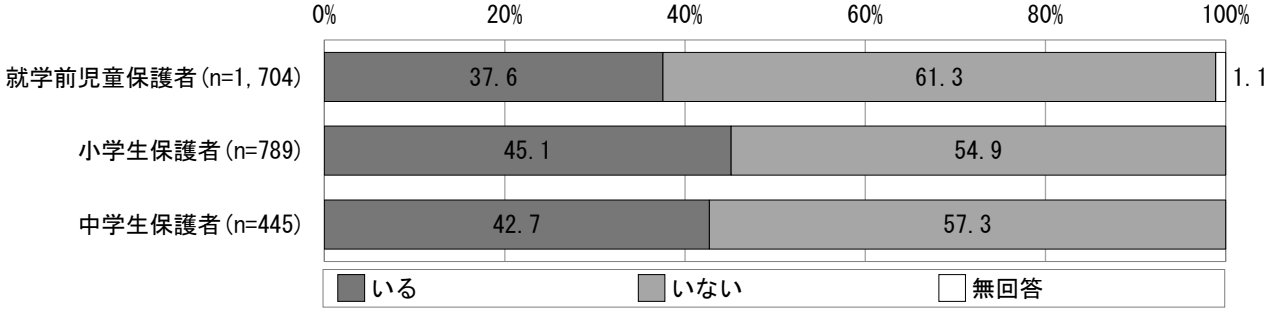


(4)祖父母の近居の状況

就学前児童保護者 問 1-3-1 、小学生保護者 問 2-1 、中学生保護者 問 2-1
【同居状況で「祖母」、「祖父」を選択しなかった方のみ】
宛名のお子さんには、松戸市内にお住まいの祖父母がいますか。(単数回答)

祖父母が同居していない世帯であっても、約4～5割が松戸市内に祖父母が住んでいる。

就学前児童保護者では、「いる」が 37.6%、「いない」が 61.3%となっている。小学生保護者では、「いる」が 45.1%、「いない」が 54.9%となっている。中学生保護者では、「いる」が 42.7%、「いない」が 57.3%となっている。

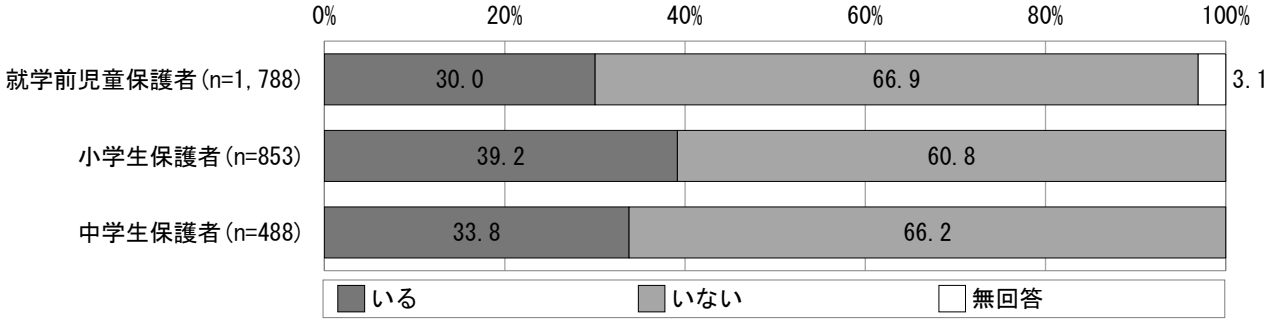


(5)親せきの近居の状況

就学前児童保護者 問 1-3-2 、小学生保護者 問 2-2 、中学生保護者 問 2-2
【同居状況で「叔母」、「叔父」、「叔母・叔父以外の親せき」を選択しなかった方のみ】
宛名のお子さんには、松戸市内にお住まいの親せきがいますか。(単数回答)

親せきが同居していない世帯であっても、約3～4割が松戸市内に親せきが住んでいる。

就学前児童保護者では、「いる」が 30.0%、「いない」が 66.9%となっている。小学生保護者では、「いる」が 39.2%、「いない」が 60.8%となっている。中学生保護者では、「いる」が 33.8%、「いない」が 66.2%となっている。



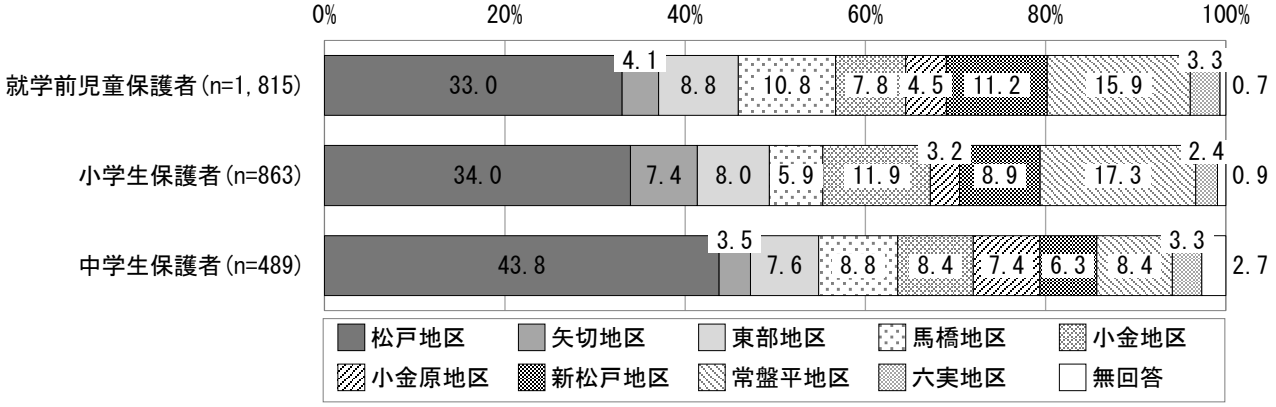
(6)居住地区

就学前児童保護者 問 1-4 、小学生保護者 問 5 、中学生保護者 問 4
お住まいの地区をお答えください。(単数回答)

就学前児童保護者では、「松戸地区」が 33.0%と最も高く、「常盤平地区」が 15.9%、「新松戸地区」が 11.2%と続いている。

小学生保護者では、「松戸地区」が 34.0%と最も高く、「常盤平地区」が 17.3%、「小金地区」が 11.9%と続いている。

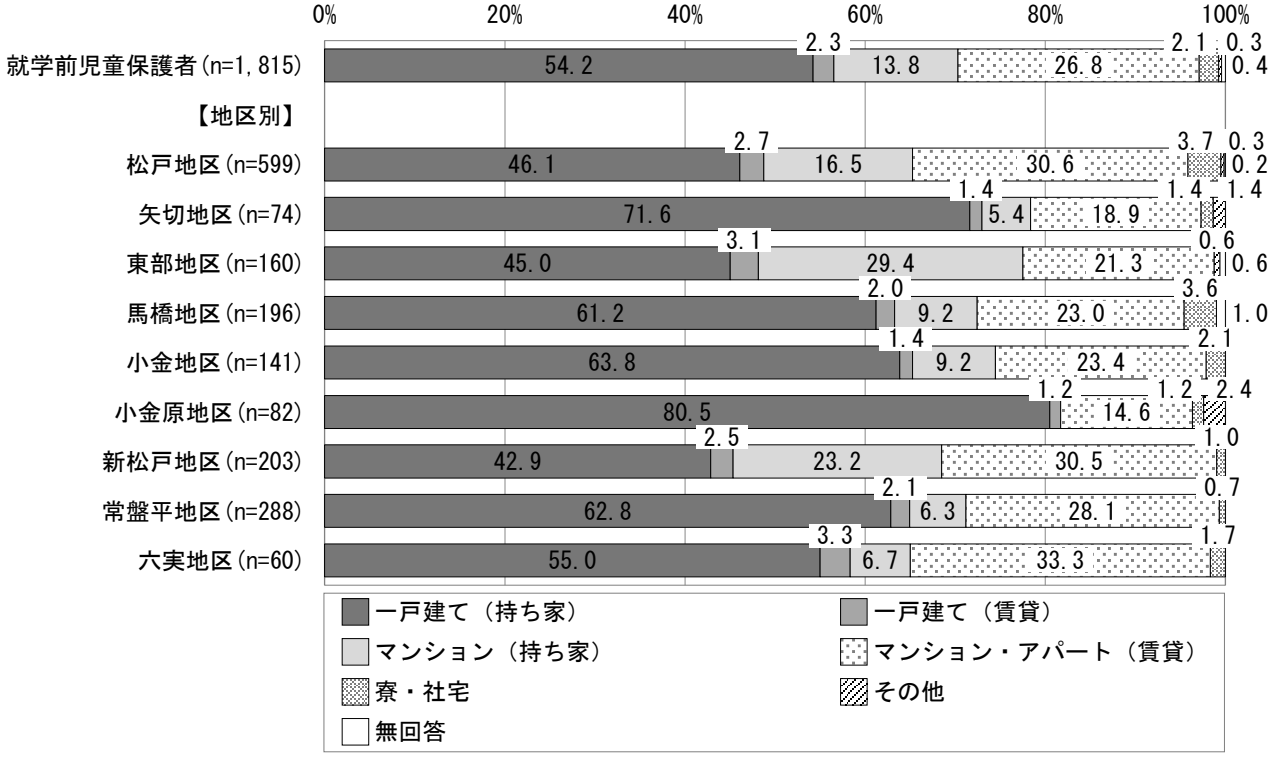
中学生保護者では、「松戸地区」が 43.8%と最も高く、「馬橋地区」が 8.8%、「小金地区」と「常盤平地区」がそれぞれ 8.4%と続いている。



(7)居住形態

就学前児童保護者 問1-5
住居の状況をお答えください。(単数回答)

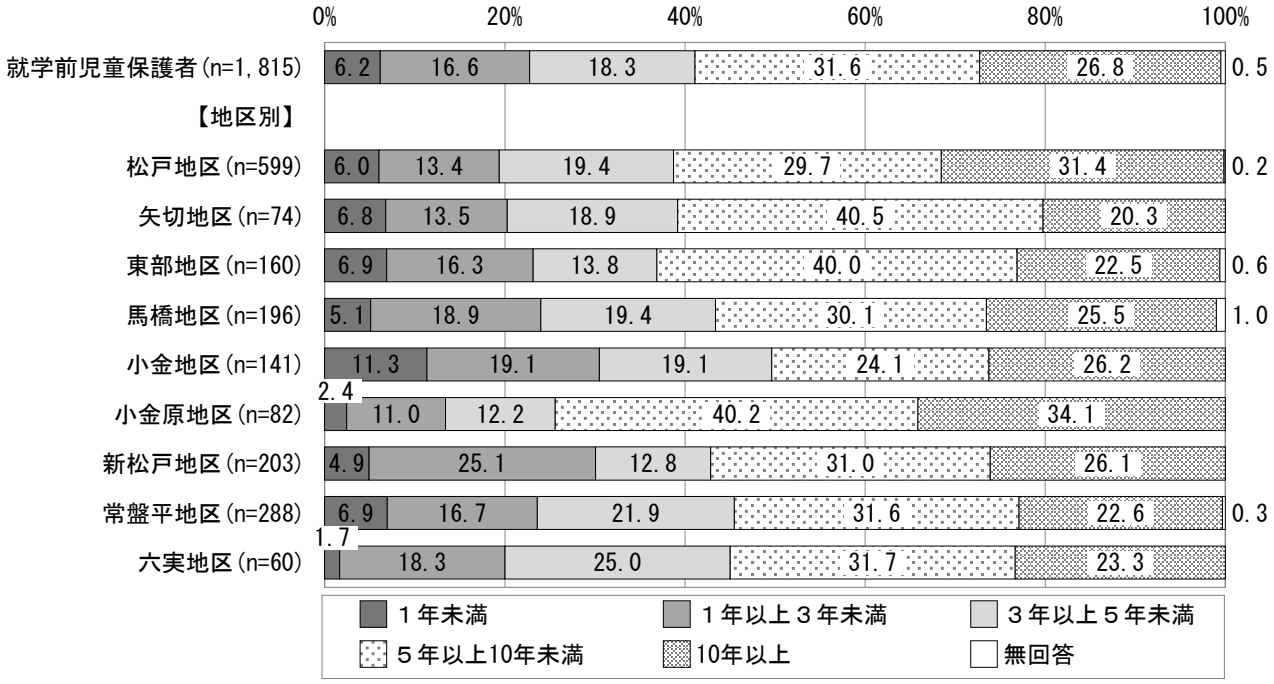
「一戸建て(持ち家)」が 54.2%と最も高く、「マンション・アパート(賃貸)」が 26.8%、「マンション(持ち家)」が13.8%と続いている。また地区により、居住形態は大きく異なっている。



(8)居住年数

就学前児童保護者 問 1-6
松戸市内にお住まいの年数をお答えください。(単数回答)

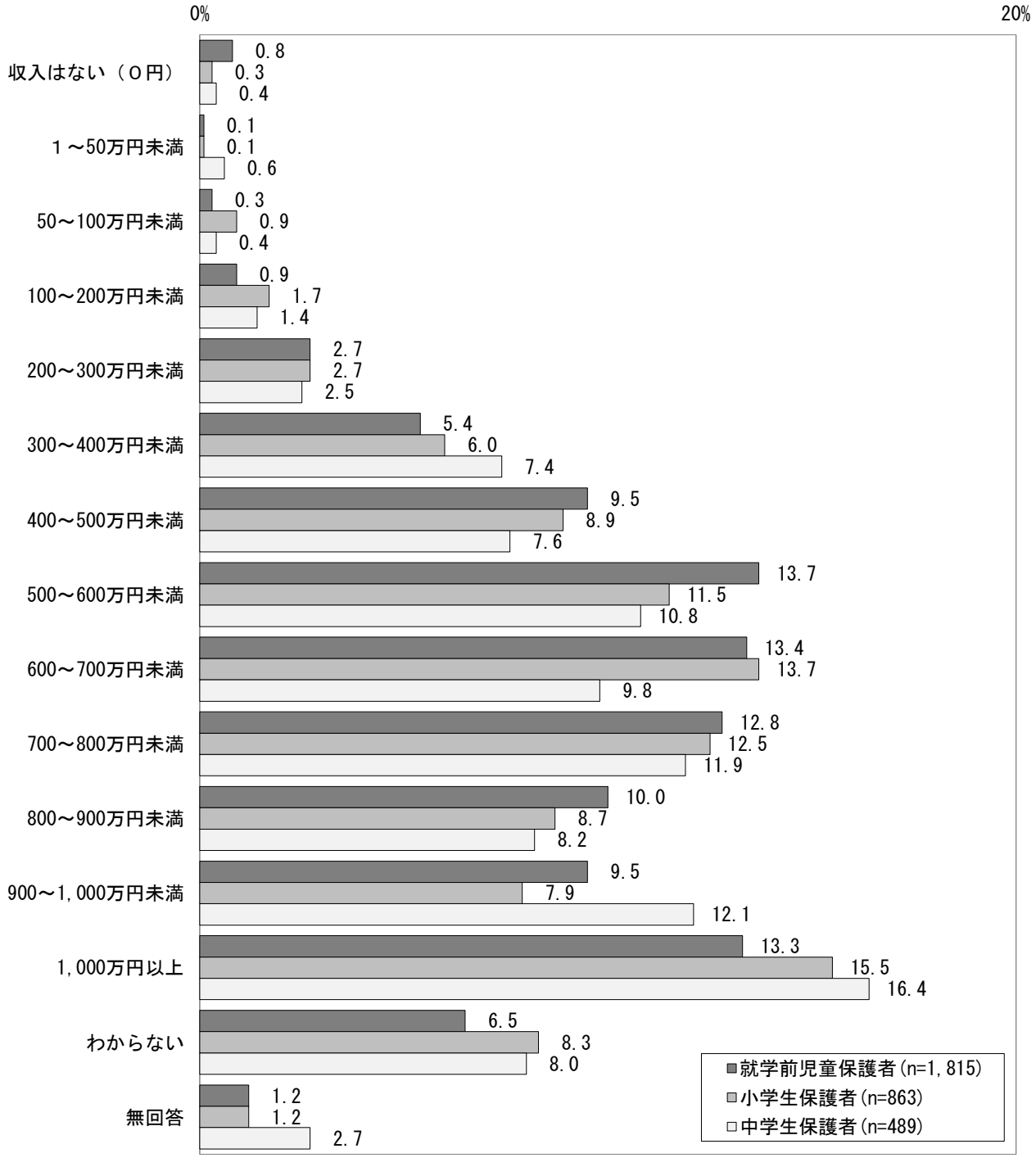
「5年以上 10 年未満」が 31.6%と最も高く、「10 年以上」が 26.8%、「3年以上5年未満」が 18.3%と続いている。



(9)世帯年収

就学前児童保護者 問 1-7 、小学生保護者 問 6 、中学生保護者 問 5
世帯の年収をお答えください。(単数回答)

就学前児童保護者では、「500～600 万円未満」が 13.7%と最も高くなっている。
小学生保護者では、「1,000 万円以上」が 15.5%と最も高くなっている。
中学生保護者では、「1,000 万円以上」が 16.4%と最も高くなっている。



（10）経済状況

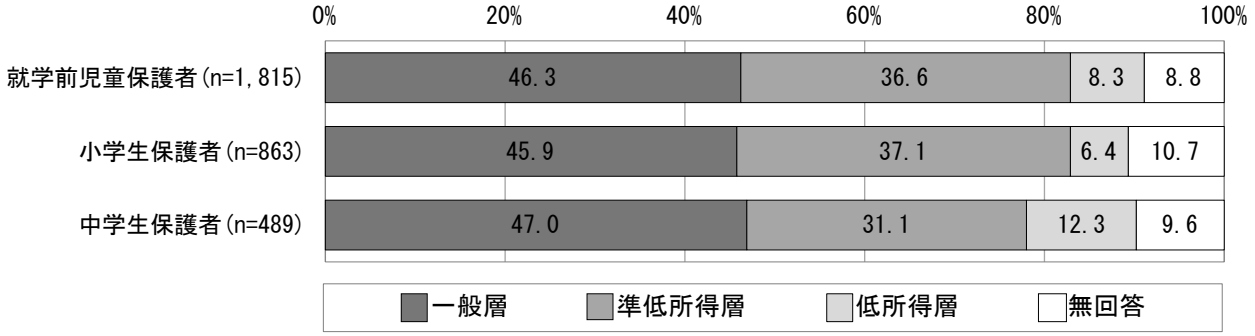
就学前児童保護者 問 1-3・問 1-7 、小学生保護者 問2・問6 、中学生保護者 問2・問5 から分類
同居しているご家族をお答えください。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（複数回答）
世帯の年収をお答えください。（単数回答）

世帯の同居状況（世帯人数）、世帯の年間収入をもとに、経済状況に関する類型の割合を算出した。

就学前児童保護者では、「一般層」が 46.3%、「準低所得層」が 36.6%、「低所得層」が 8.3%となっている。

小学生保護者では、「一般層」が 45.9%、「準低所得層」が 37.1%、「低所得層」が 6.4%となっている。

中学生保護者では、「一般層」が 47.0%、「準低所得層」が 31.1%、「低所得層」が 12.3%となっている。



用語の定義

以下の手法で、経済状況を3区分に分類した。

①「世帯年収」の各選択肢の中央値を、その世帯の収入の値とする。（例えば、「50万円未満」であれば 25 万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1,000 万円以上」は 1,050 万円とする。）

②上記の値を、「家族類型」で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。

③上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1を算出し、分類の基準とする。

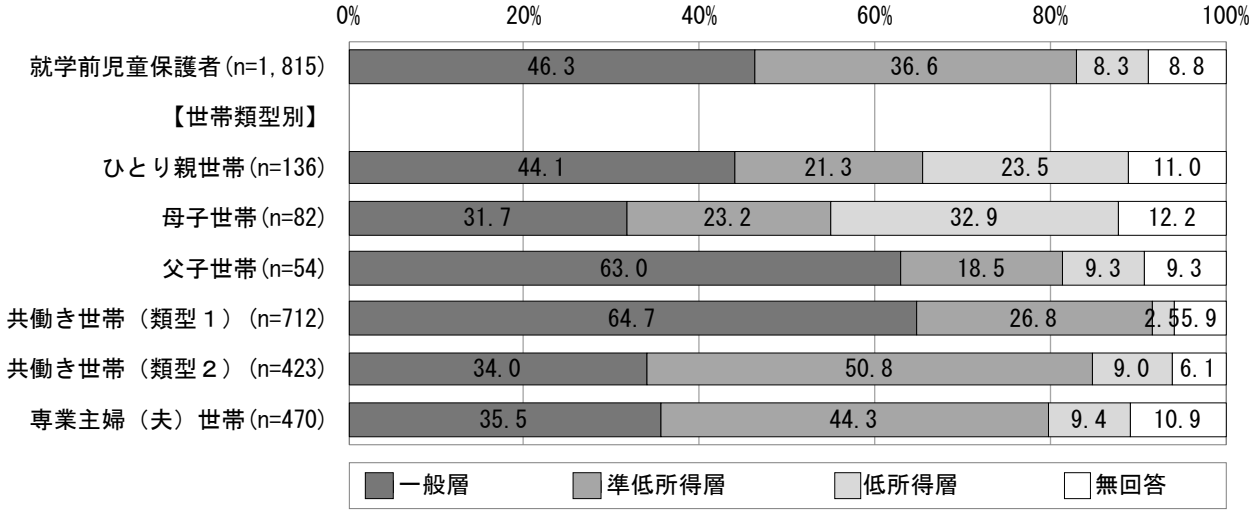
算出結果：	就学前児童保護者	中央値 375万円	その2分の1 187.5万円
	小学生保護者	中央値 335万円	その2分の1 167.5万円
	中学生保護者	中央値 375万円	その2分の1 187.5万円

④上記の基準をもとに、以下のように分類する。

一般層　　：等価世帯収入が中央値以上の世帯
準低所得層：等価世帯収入が中央値の2分の1以上中央値未満の世帯
低所得層　：等価世帯収入が中央値の2分の1未満の世帯

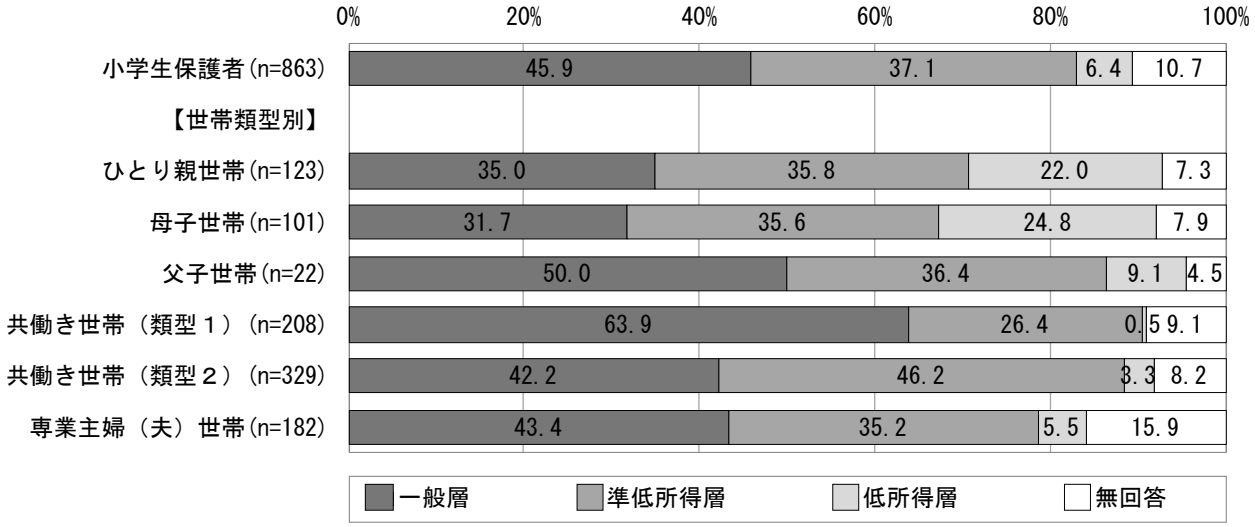
就学前児童保護者・世帯類型別

世帯類型別では、共働き世帯（類型1）の一般層の割合が高く、ひとり親世帯の低所得層の割合が高くなっている。ひとり親世帯でも、特に母子世帯の低所得層の割合が高くなっている。



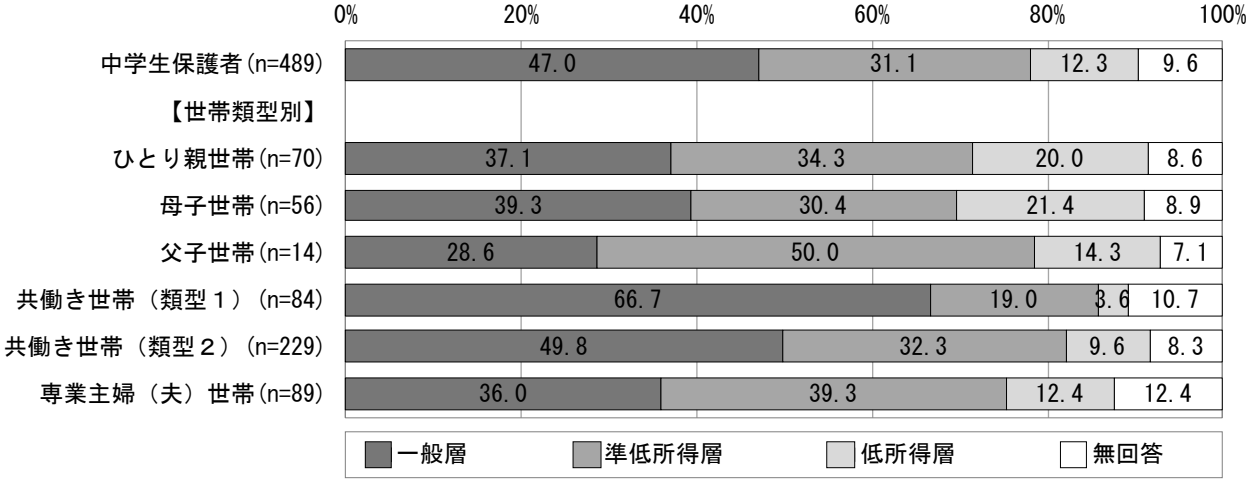
小学生保護者・世帯類型別

世帯類型別では、共働き世帯（類型1）の一般層の割合が高く、ひとり親世帯の低所得層の割合が高くなっている。ひとり親世帯でも、特に母子世帯の低所得層の割合が高くなっている。



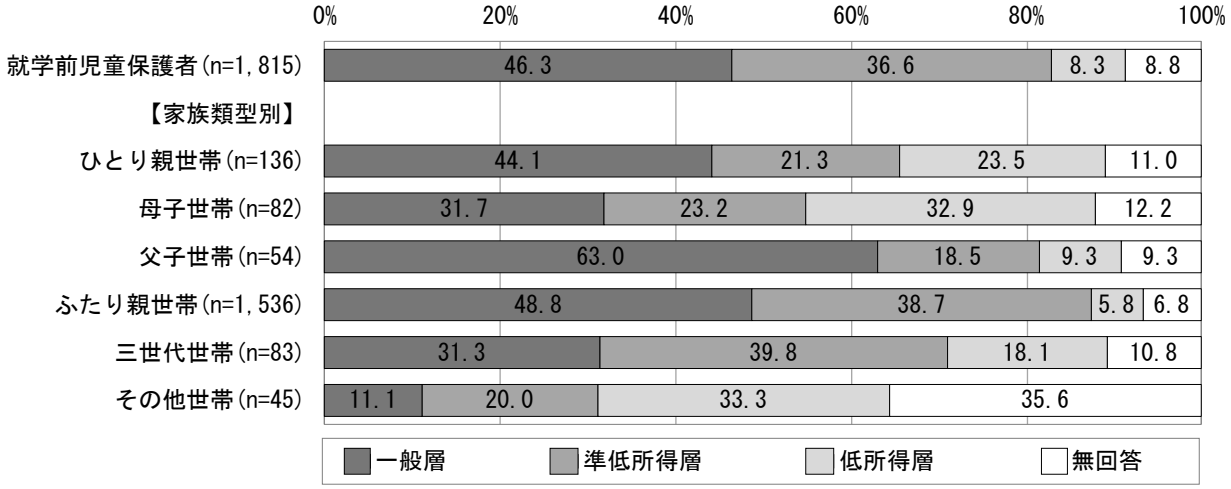
中学生保護者・世帯類型別

世帯類型別では、共働き世帯（類型1）の一般層の割合が高く、ひとり親世帯の低所得層の割合が高くなっている。



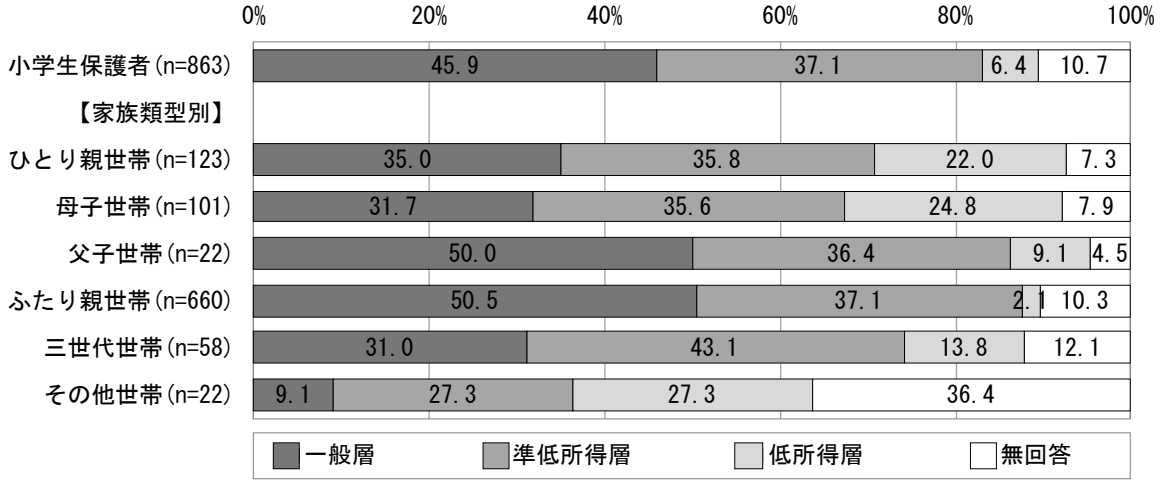
就学前児童保護者・家族類型別

家族類型別では、ふたり親世帯の一般層の割合が高く、その他世帯の低所得層の割合が高くなっている。また、ひとり親世帯では、特に母子世帯の低所得層の割合が高くなっている。



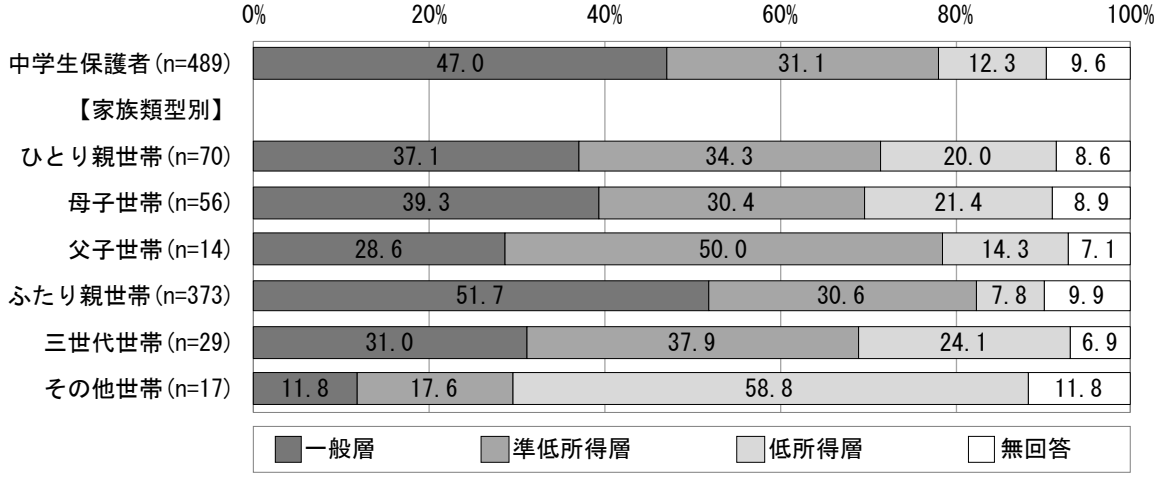
小学生保護者・家族類型別

家族類型別では、ふたり親世帯の一般層の割合が高く、その他世帯の低所得層の割合が高くなっている。また、ひとり親世帯では、特に母子世帯の低所得層の割合が高くなっている。



中学生保護者・家族類型別

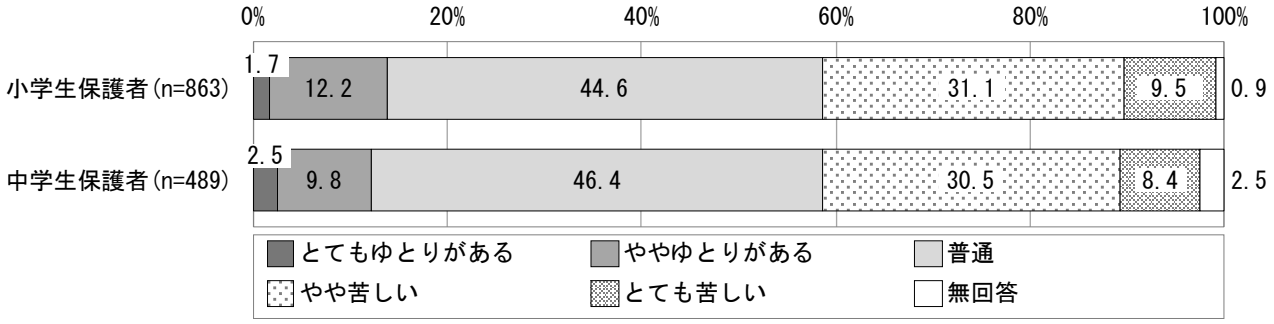
家族類型別では、ふたり親世帯の一般層の割合が高く、その他世帯の低所得層の割合が高くなっている。



(11)主観的経済状況

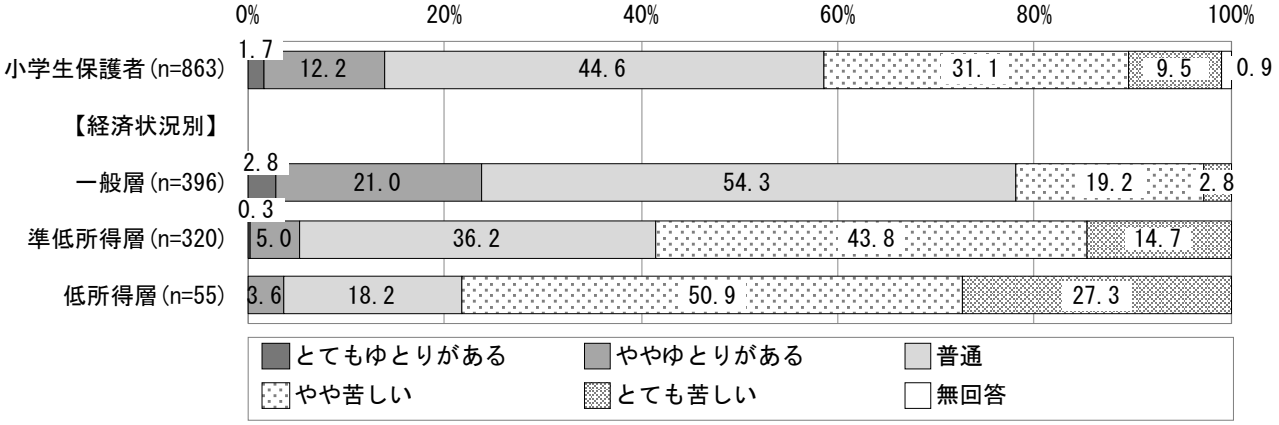
小学生保護者 問７ 、 中学生保護者 問６
現在の家庭の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単数回答)

主観的経済状況において苦しいと感じる割合(「やや苦しい」と「とても苦しい」の合計)は、いずれの調査も約4割となっている。



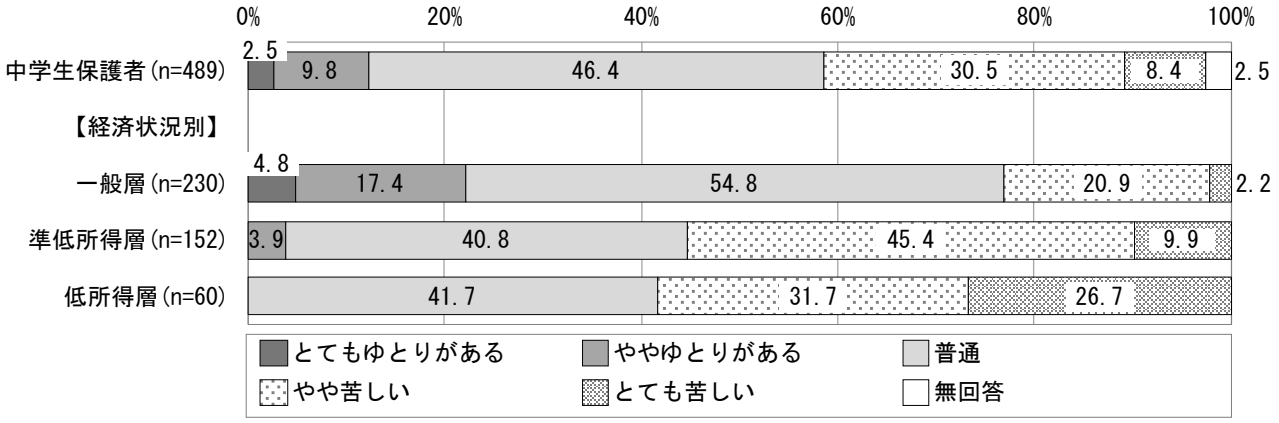
小学生保護者

経済状況別では、所得が低い層ほど苦しいと感じる割合が高くなっている。一方で、一般層であっても、苦しいと感じる割合が 22.0%となっている。



中学生保護者

経済状況別では、所得が低い層ほど苦しいと感じる割合が高くなっている。一方で、一般層であっても、苦しいと感じる割合が 23.1%となっている。



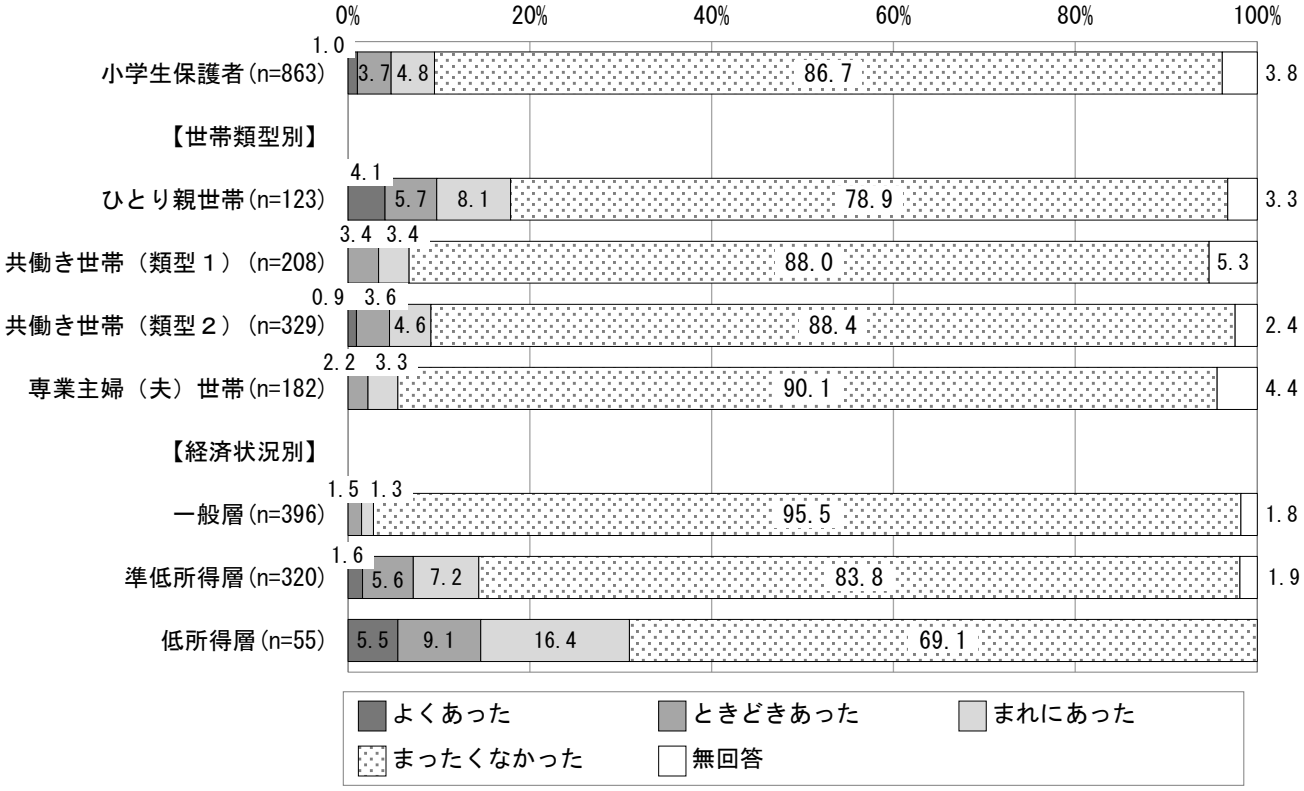
（12）食料を買えなかった経験

小学生保護者 問17 、 中学生保護者 問16
あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。（単数回答）

いずれの調査でも、所得が低い層ほど、食料を買えなかった経験のある割合が高くなっている。世帯類型別では特に、小学生保護者のひとり親世帯において、食料を買えなかった経験のある割合が高くなっている。

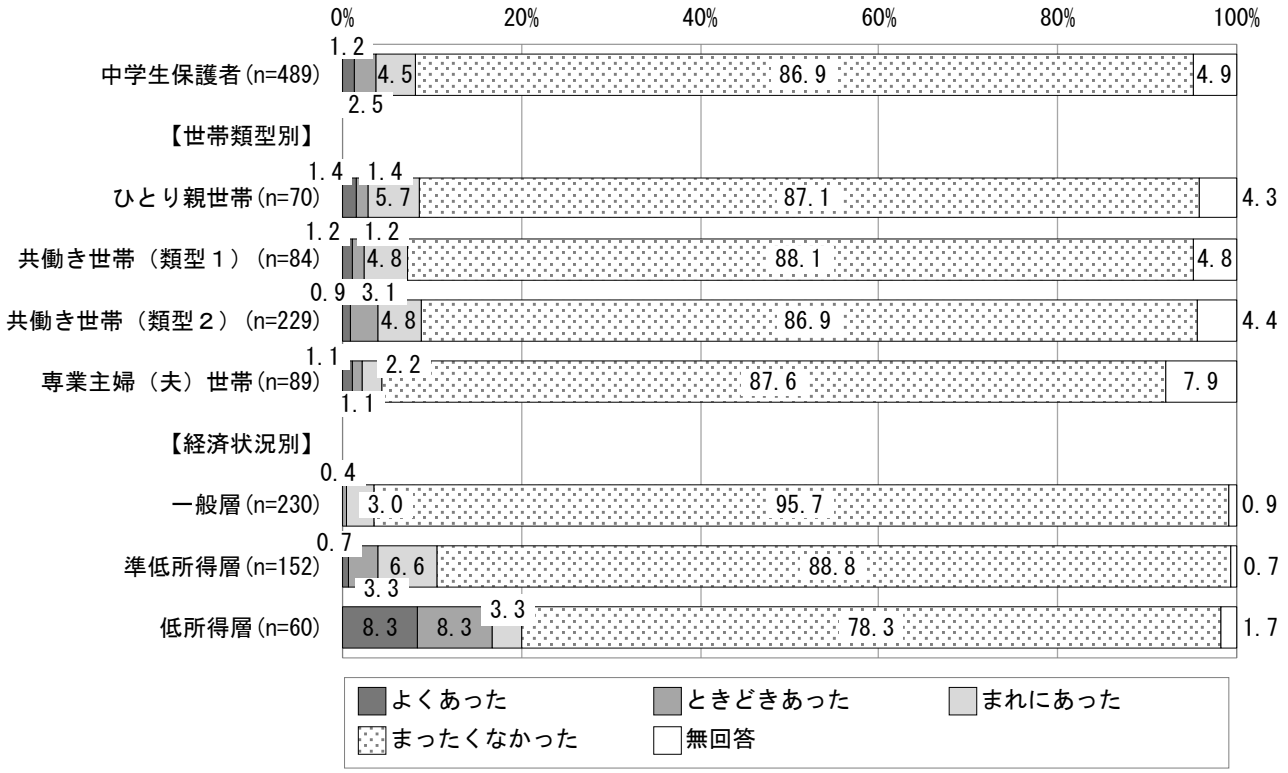
小学生保護者

「まったくなかった」が 86.7％と最も高く、「まれにあった」が 4.8％、「ときどきあった」が 3.7％と続いている。世帯類型別ではひとり親世帯で、食料を買えなかった経験のある割合が高くなっている。経済状況別では、所得が低い層ほど、食料を買えなかった経験のある割合が高くなっている。



中学生保護者

「まったくなかった」が 86.9％と最も高く、「まれにあった」が 4.5％、「ときどきあった」が 2.5％と続いている。経済状況別では、所得が低い層ほど、食料を買えなかった経験のある割合が高くなっている。



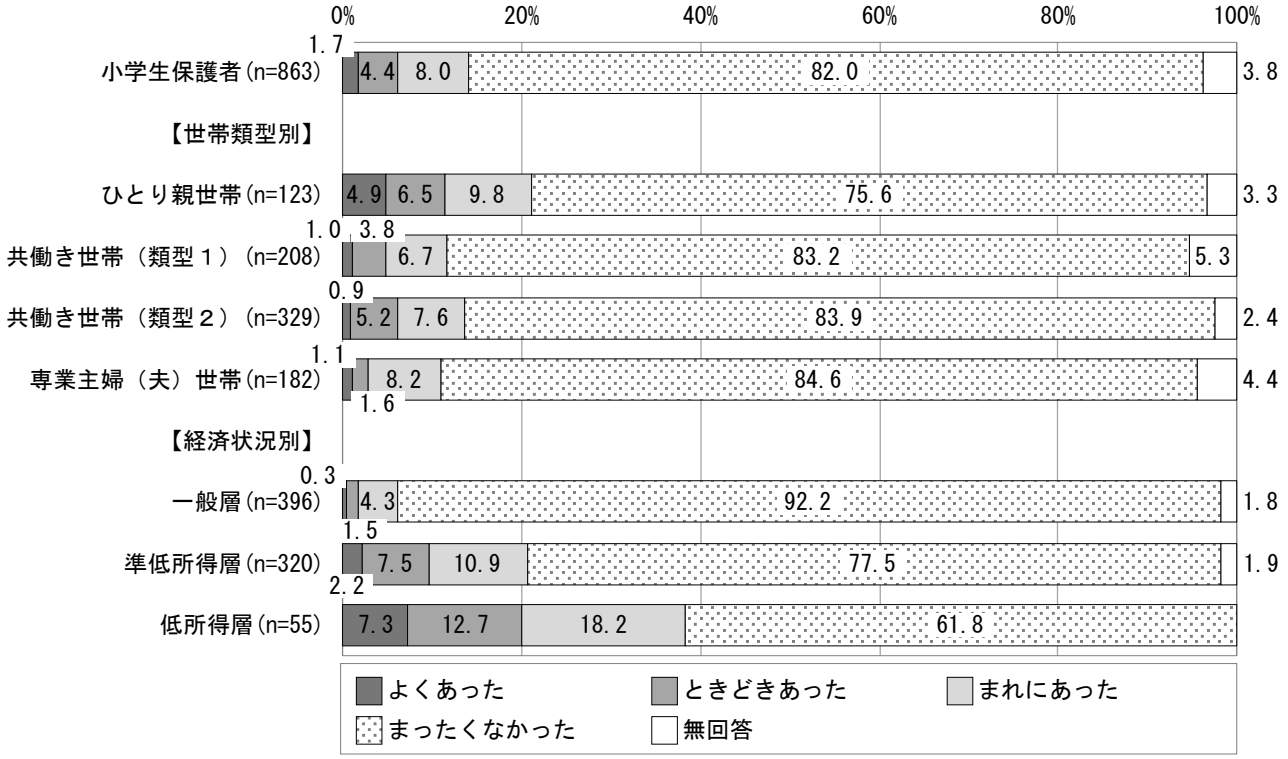
（13）衣服を買えなかった経験

小学生保護者 問 18 、 中学生保護者 問 17
あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。（単数回答）

いずれの調査でも、所得が低い層ほど、衣服を買えなかった経験のある割合が高くなっている。世帯類型別では特に、小学生保護者のひとり親世帯において、衣服を買えなかった経験のある割合が高くなっている。

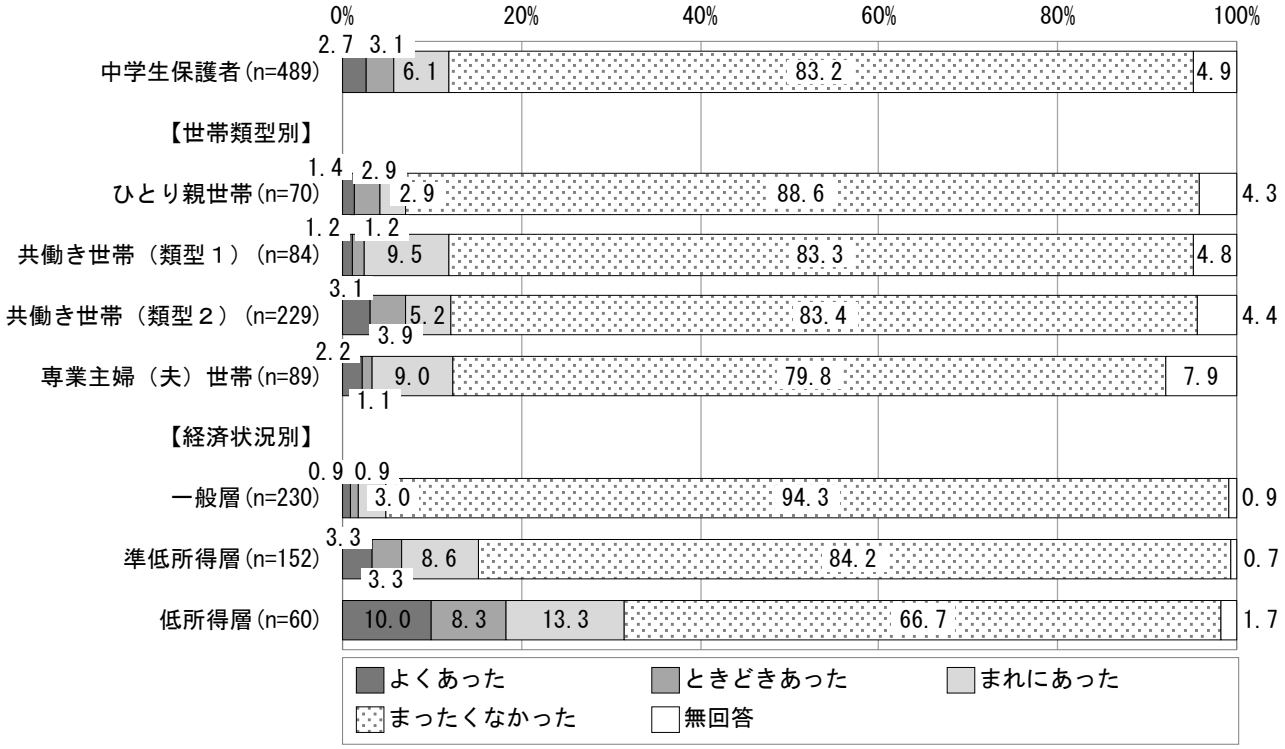
小学生保護者

「まったくなかった」が 82.0％と最も高く、「まれにあった」が 8.0％、「ときどきあった」が 4.4％と続いている。世帯類型別ではひとり親世帯で、衣服を買えなかった経験のある割合が高くなっている。経済状況別では、所得が低い層ほど、衣服を買えなかった経験のある割合が高くなっている。



中学生保護者

「まったくなかった」が 83.2%と最も高く、「まれにあった」が 6.1%、「ときどきあった」が 3.1%と続いている。経済状況別では、所得が低い層ほど、衣服を買えなかった経験のある割合が高くなっている。



（14）公共料金未払いの経験

小学生保護者 問 19 、 中学生保護者 問 18
あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。（複数回答）

いずれの調査でも、所得が低い層ほど、公共料金未払いの割合が高くなっている。

小学生保護者

「電気料金」が 5.8％と最も高く、「水道料金」が 4.6％、「ガス料金」が 1.0％と続いている。経済状況別では、所得が低い層ほど、公共料金未払いの経験のある割合が高くなっている。

（%）	電気料金	水道料金	ガス料金	無回答
小学生保護者（n=863）	5.8	4.6	1.0	88.5
【世帯類型別】				
ひとり親世帯（n=123）	8.1	8.1	0.8	82.9
共働き世帯（類型１）（n=208）	4.8	5.8	1.9	87.5
共働き世帯（類型２）（n=329）	5.5	3.6	0.6	90.3
専業主婦（夫）世帯（n=182）	3.8	2.2	0.5	93.4
【経済状況別】				
一般層（n=396）	4.8	0.8	3.8	90.7
準低所得層（n=320）	6.9	0.9	5.3	86.9
低所得層（n=55）	9.1	1.8	9.1	80.0

中学生保護者

「ガス料金」が 1.8%と最も高く、「水道料金」が 1.6%、「電気料金」が 1.0%と続いている。経済状況別では、所得が低い層ほど、公共料金未払いの経験のある割合が高くなっている。

（%）	ガス料金	水道料金	電気料金
中高生保護者(n=489)	1.8	1.6	1.0
【世帯類型別】			
ひとり親世帯(n=70)	2.9	2.9	2.9
共働き世帯（類型１）(n=84)	1.2	1.2	0.0
共働き世帯（類型２）(n=229)	0.9	1.3	0.9
専業主婦（夫）世帯(n=89)	3.4	1.1	1.1
【経済状況別】			
一般層(n=230)	0.0	0.4	0.0
準低所得層(n=152)	1.3	2.6	2.6
低所得層(n=60)	5.0	5.0	5.0

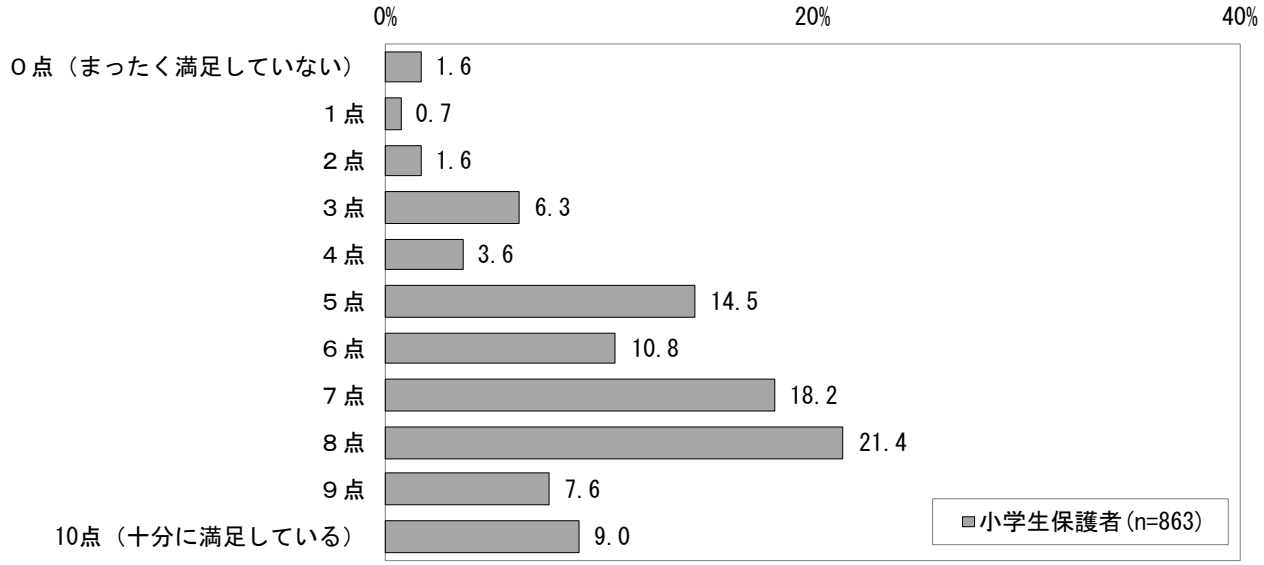
(15)生活への満足度

小学生保護者 問21 、 中学生保護者 問20
全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で答えてください。(単数回答)

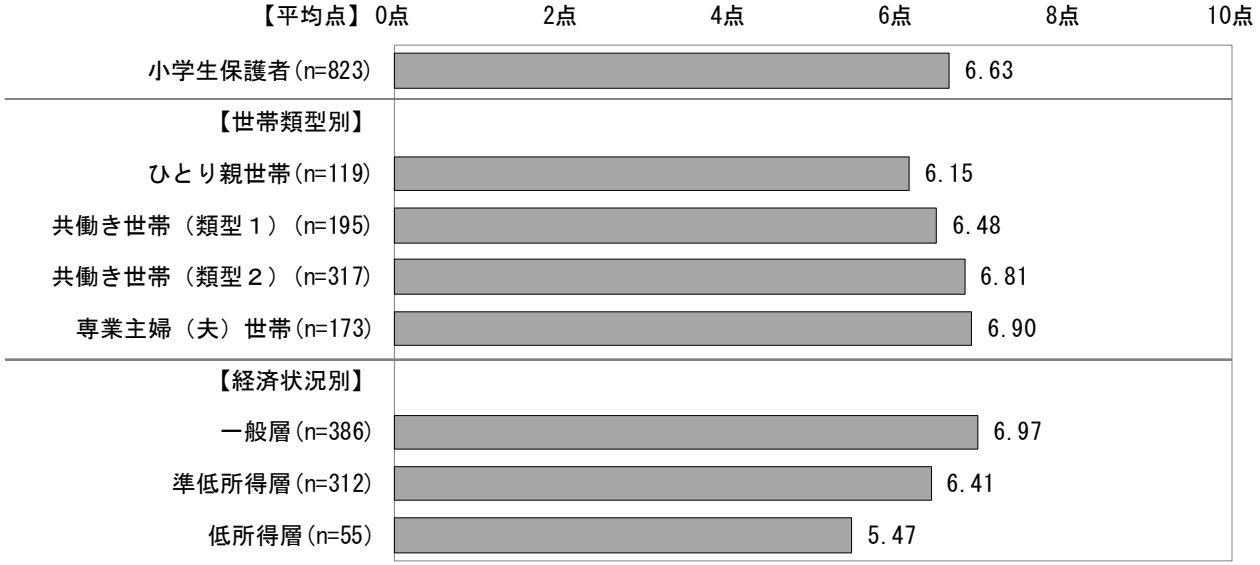
生活への満足度の平均点をみると、いずれの調査でも、世帯類型別ではひとり親世帯の平均点が低く、経済状況別では、所得が低い層ほど平均点は低くなっている。

小学生保護者

「8点」が 21.4%と最も高く、「7点」が 18.2%、「5点」が 14.5%と続いている。



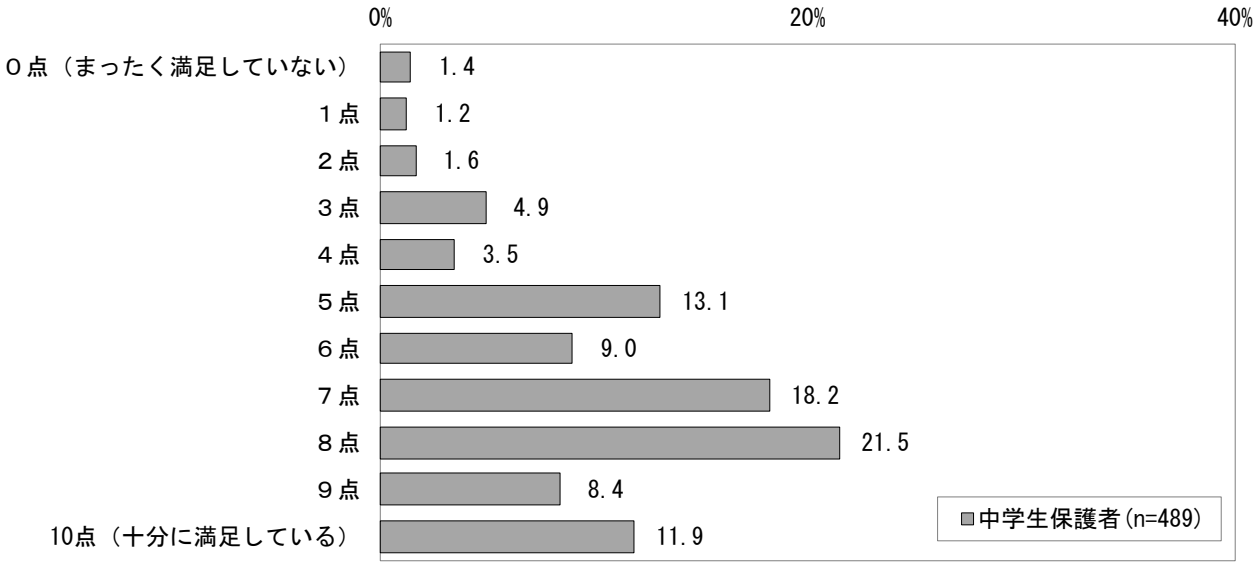
世帯類型別では「専業主婦(夫)世帯」の平均点が最も高く、「ひとり親世帯」の平均点が最も低くなっている。経済状況別では、所得が低い層ほど平均点が低くなっている。



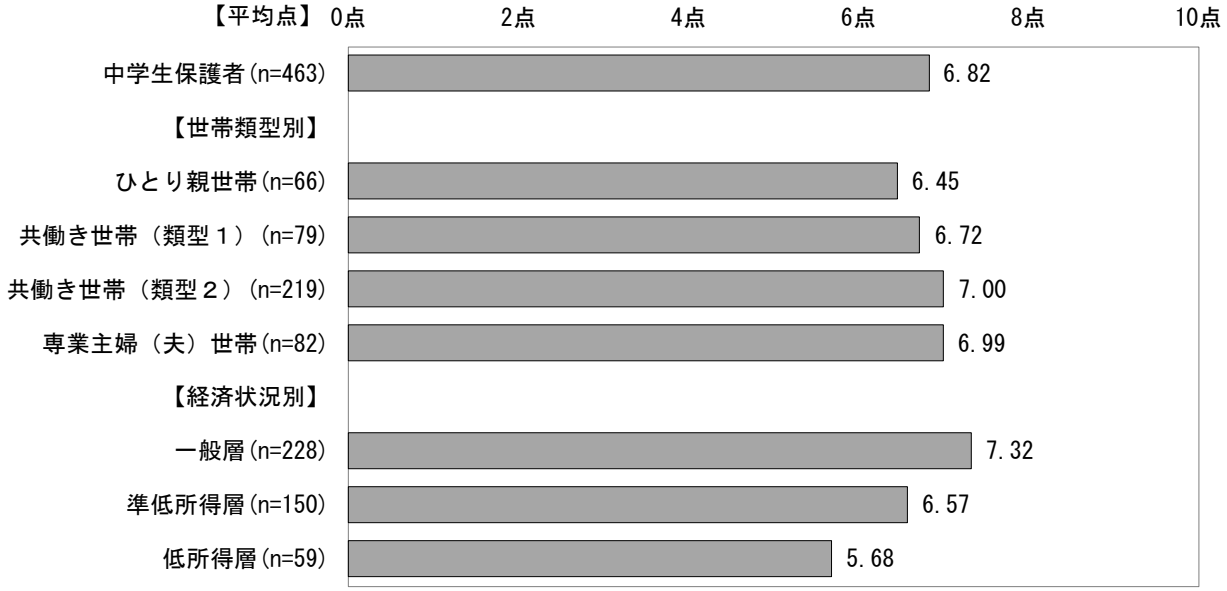
※平均点算出の際には、無回答者を母数(n)から除外している。

中学生保護者

「8点」が 21.5%と最も高く、「7点」が 18.2%、「5点」が 13.1%と続いている。



世帯類型別では「共働き世帯（類型2）」の平均点が最も高く、「ひとり親世帯」の平均点が最も低くなっている。経済状況別では、所得が低い層ほど平均点が低くなっている。



※平均点算出の際には、無回答者を母数(n)から除外している。

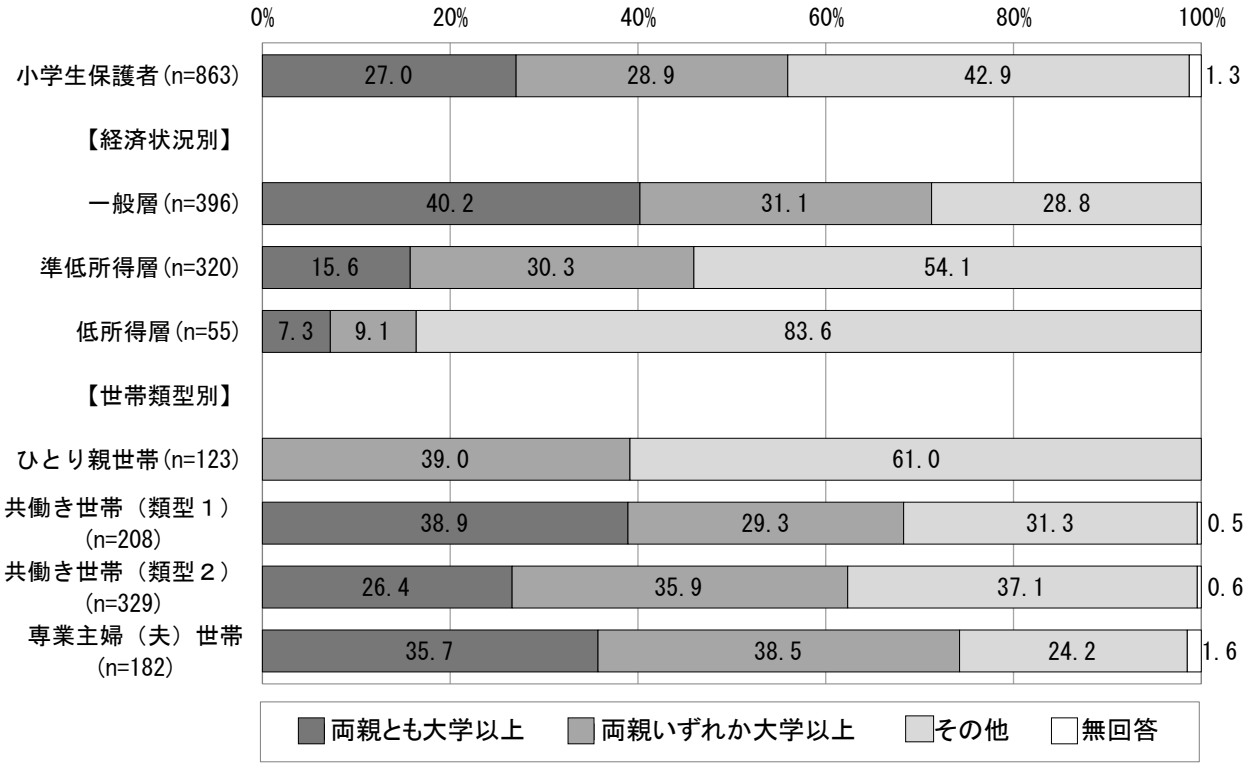
(16)保護者の最終学歴

小学生保護者 問９ 、 中学生保護者 問８
お子さんの保護者の最終学歴をお答えください。(単数回答)

経済状況における一般層は、準低所得層・低所得層よりも両親の最終学歴が高い傾向がみられる。

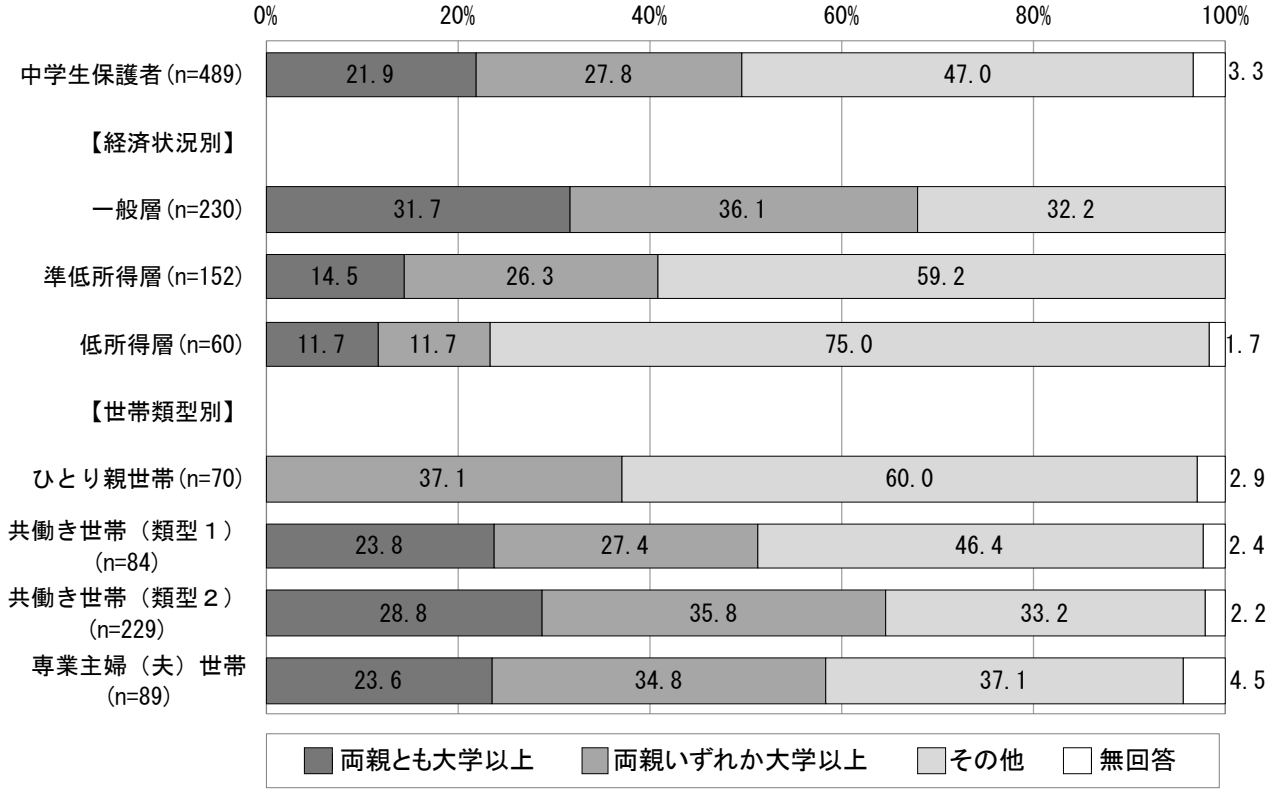
小学生保護者

「その他」が 42.9%と最も高く、「両親いずれか大学以上」が 28.9%、「両親とも大学以上」が 27.0%と続いている。経済状況別では、一般層において「両親とも大学以上」が 40.2%となっているのに対し、準低所得層では15.6%、低所得層では7.3%となっている。世帯類型別では、共働き世帯(類型2)において「両親とも大学以上」が26.4%と低くなっている。



中学生保護者

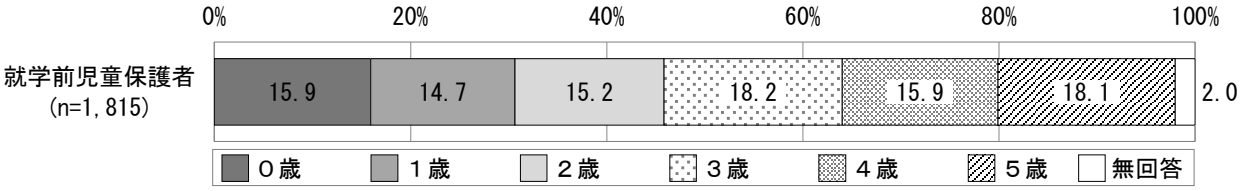
小学生保護者と同様の傾向がみられ、「その他」が 47.0％と最も高く、「両親いずれか大学以上」が 27.8％、「両親とも大学以上」が 21.9％と続いている。経済状況別では、一般層において「両親とも大学以上」が 31.7％となっているのに対し、準低所得層では 14.5％、低所得層では 11.7％となっている。世帯類型別では、共働き世帯（類型2）において「両親とも大学以上」が 28.8％と高くなっている。



(17)年齢

就学前児童保護者 問 1-8
宛名のお子さんの生年月をお答えください。(数値回答)

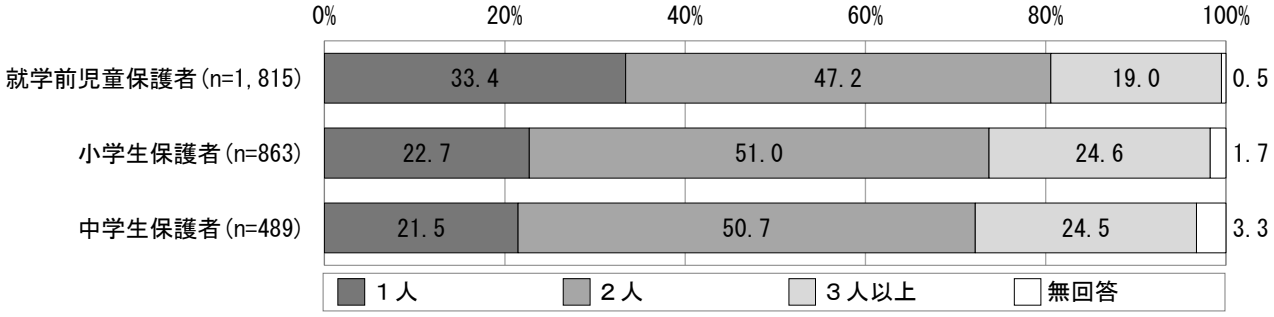
就学前児童保護者では、「3歳」が 18.2%と最も高く、「5歳」が 18.1%、「0歳」と「4歳」が、それぞれ 15.9%と続いている。



(18)きょうだい数

就学前児童保護者 問 1-9 、小学生保護者 問 10 、中学生保護者 問 9
宛名のお子さんを含めたお子さんの数をお答えください。(数値回答)

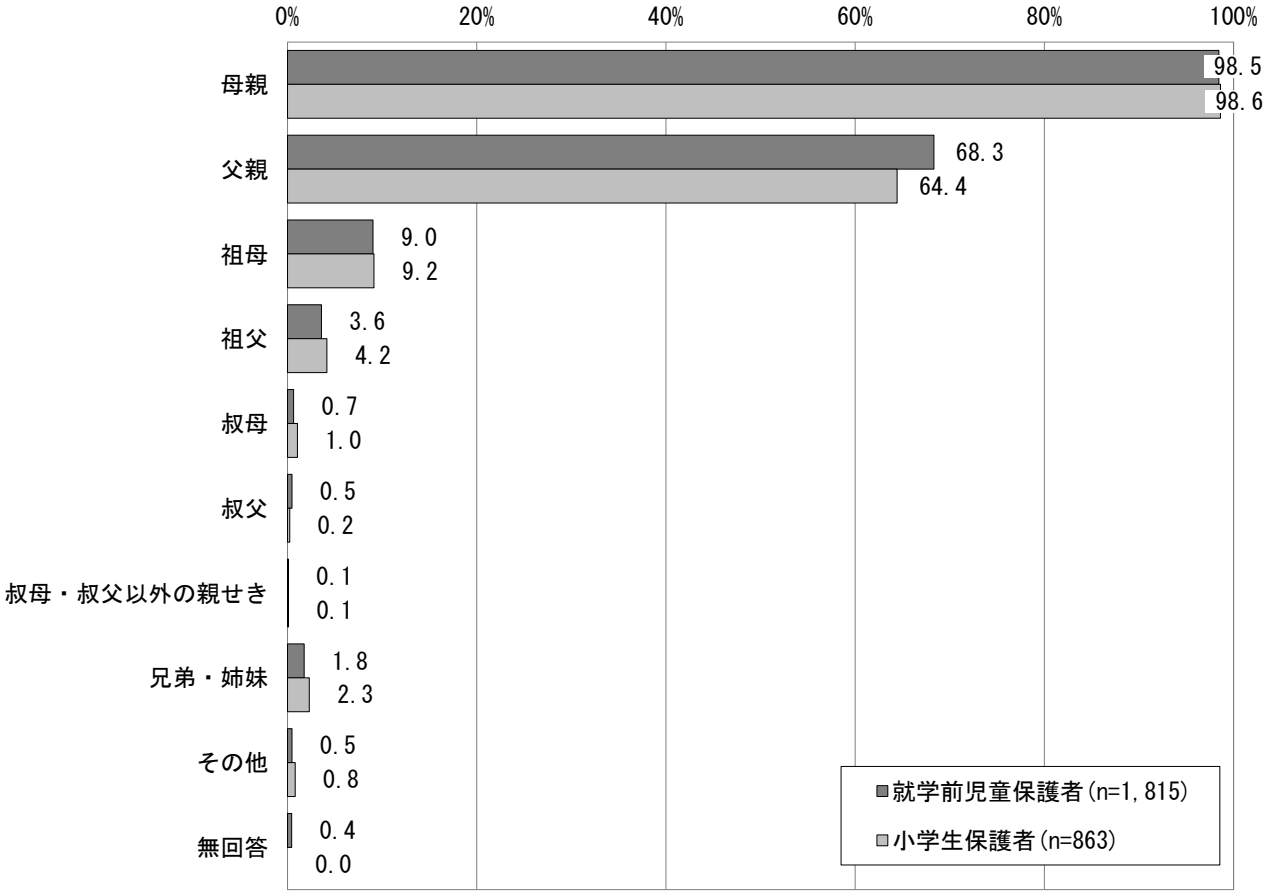
就学前児童保護者では、「2 人」が 47.2%と最も高くなっている。
小学生保護者では、「2 人」が 51.0%と最も高くなっている。
中学生保護者では、「2 人」が 50.7%と最も高くなっている。



(19)主な養育者(家庭内)

就学前児童保護者 問 1-10 、小学生保護者 問 3
宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(複数回答)

就学前児童保護者では、「母親」が 98.5%と最も高く、「父親」が 68.3%、「祖母」が 9.0%と続いている。小学生保護者では、「母親」が 98.6%と最も高く、「父親」が 64.4%、「祖母」が 9.2%と続いている。



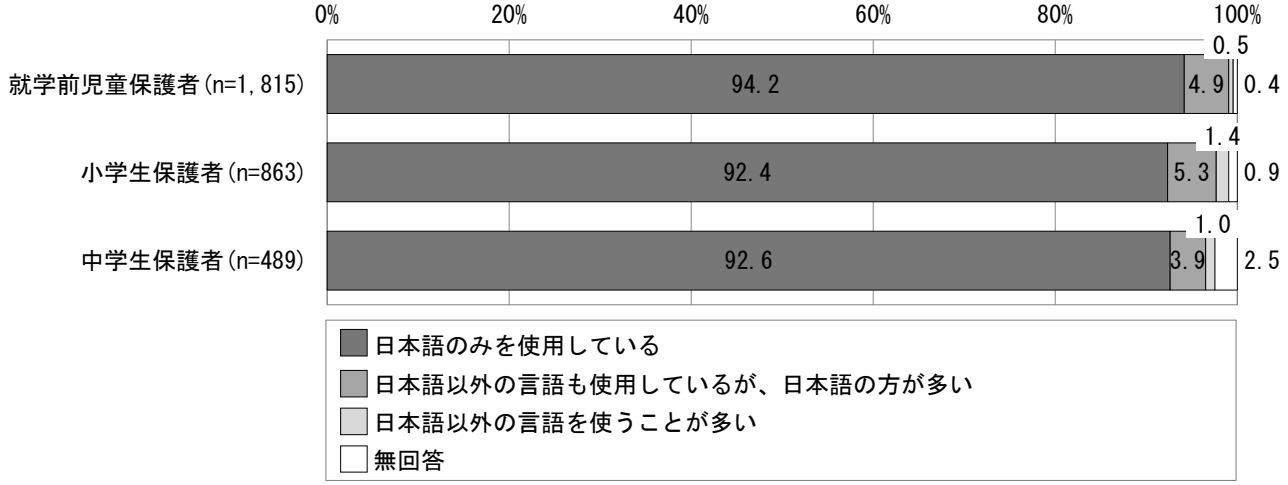
（20）家庭内の言語

就学前児童保護者 問 1-11 、小学生保護者 問 8 、中学生保護者 問 7
ご家庭で使用している言語をお答えください。（単数回答）

就学前児童保護者では、「日本語のみを使用している」が 94.2％と最も高く、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が 4.9％と続いている。

小学生保護者では、「日本語のみを使用している」が 92.4％と最も高く、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が 5.3％と続いている。

中学生保護者では、「日本語のみを使用している」が 92.6％と最も高く、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が 3.9％と続いている。



第2節　子育て環境

■結果の概要

【相談できる人】

・就学前児童保護者の 8.4%が、気軽に相談できる相手が「いない／ない」と回答している。世帯類型別にみると、特にひとり親世帯において「いない／ない」の割合が高くなっている。経年比較でも「いない／ない」の割合は増加している。

・主な相談相手は「身内の人」や「友人・知人」になっている。それ以外の相談相手は、子どもの年齢により違いがみられる。就学前児童保護者は子どもが通っている幼稚園・保育所（園）等の割合が高く、小学生保護者・中学生保護者においては「職場の人」の割合が高く、「小（中）学校の先生」や「近所の人」の割合より高くなっている。

【情報入手】

・友人や知人に次いでインターネットが情報入手手段になっている。経済状況別にみると、低所得層は多くの選択肢で一般層・準低所得層よりも割合が低くなっており、情報入手の手段が限られている可能性がある。

【子育て中の悩み】

・子どもが就学前の時期において、子育てに喜びや悩みを持つ割合が高くなっている。就学前児童保護者において、前回調査よりも「子育てが自分の生きがいになっている」に増加がみられる。

・子育て中の悩みの内容は、子どもが成長するにつれ変化しており、就学前児童保護者は発達や健康のことに悩む割合が高かったのに対し、小学生保護者・中学生保護者になると友だちづきあいのことに悩む割合が高くなっている。

【子どもの進路】

・保護者の最終学歴が「両親とも大学以上」の場合に、子どもの最終学歴の見通しが「大学またはそれ以上」の割合が高くなっている。またそれを一般的な進路だと考えている割合も高くなっている。

【理想的な子どもの数】

・いずれの調査でも、「2人」を理想的な子どもの人数とする割合が最も高く、「3人以上」は3～4割となっている。

・就学前児童保護者においては、現在の子どもの数が理想的な子どもの数に1人少ないとする割合が約4割と最も高くなっているが、小学生保護者・中学生保護者になると、現在の子どもの数が理想的とする割合が約6割と最も高くなっている。

・現在の子どもの数が理想的な子どもの数より1人以上少ない人の多くは、理想の実現は難しいと考えており、その主な理由として「子育てや教育にお金がかかりすぎる」の割合が高くなっている。

【子育て環境への満足度】

・就学前児童保護者において、松戸市の子育て環境に満足する割合が6割を超えており、小学生保護者・中学生保護者においても、満足する割合は半数を超えている。

・特に就学前児童保護者においては前回調査よりも満足する割合が増加しており、松戸市の支援内容への評価が高まっていると考えられる。

・世帯類型別にみると、就学前児童保護者と小学生保護者において、共働き世帯（類型1）の満足する割合が最も高く、専業主婦（夫）世帯の割合が最も低くなっている。仕事と子育ての両立支援が充実する中、専業主婦（夫）世帯が不公平に感じている可能性がある。

・経済状況別にみると、いずれの調査においても、一般層が準低所得層・低所得層と比較して満足する割合が高くなっている。

・満足に感じる理由としては、就学前児童保護者においては、保育園の入所しやすさや子育て支援の内容を評価する割合が高くなっている。全体的には、鉄道やバスなどの交通利便や小児医療を評価する割合が高くなっている。

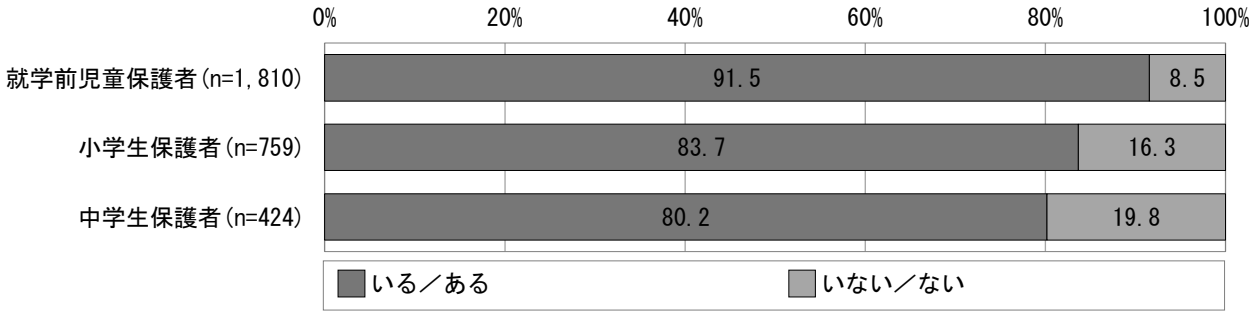
・不満に感じる理由としては、全体的に経済的支援や公園・スポーツ施設が十分でないこと、治安が悪いことをあげる割合が高くなっている。

1. 子育て相談、情報入手に関すること

(1)相談できる人の有無

就学前児童保護者 問 2 、小学生保護者 問 16 、中学生保護者 問15
子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手はいますか。または相談できる場所はありますか。
（単数回答）

子どもや子育てのことを相談できる人については、子どもの年齢が高くなるほど「いない／ない」が高くなっている。

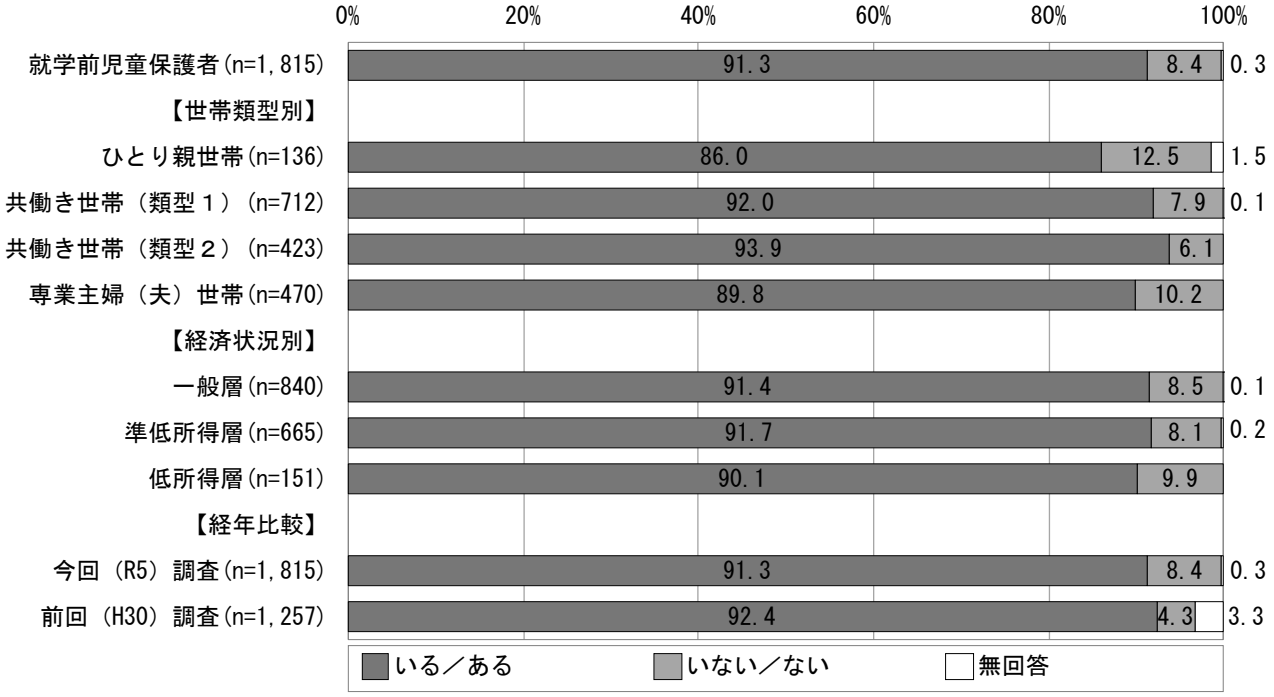


※小学生保護者・中学生保護者は、次ページの①～③いずれかに「頼れる人がいる」場合、「いる/ある」としている。
※比較のため、「無回答」を除いて集計

就学前児童保護者

就学前児童保護者では、「いる／ある」が 91.3%、「いない／ない」が 8.4%となっている。世帯類型別にみると、ひとり親世帯において「いない／ない」の割合が高くなっている。経済状況別では、「いる/ある」の割合に大きな違いはみられない。

経年比較では「いる/ある」の割合に大きな変化はないものの、「いない／ない」の割合に増加がみられる。

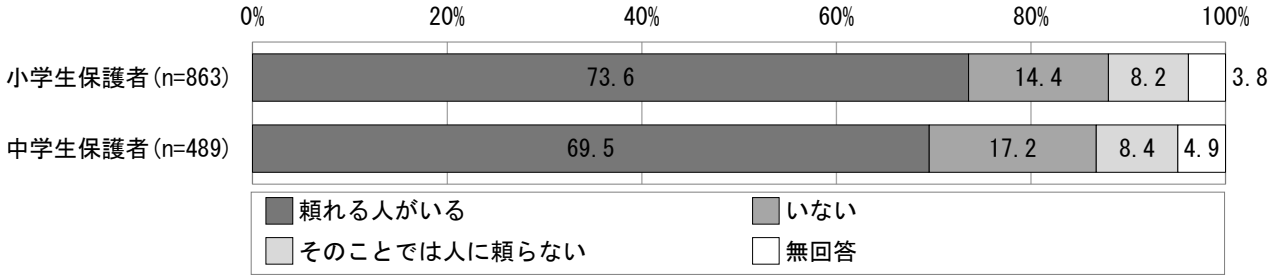


小学生保護者・中学生保護者

①子育てに関する相談

小学生保護者では、「頼れる人がいる」が 73.6%と最も高く、「いない」が 14.4%、「そのことでは人に頼らない」が 8.2%と続いている。

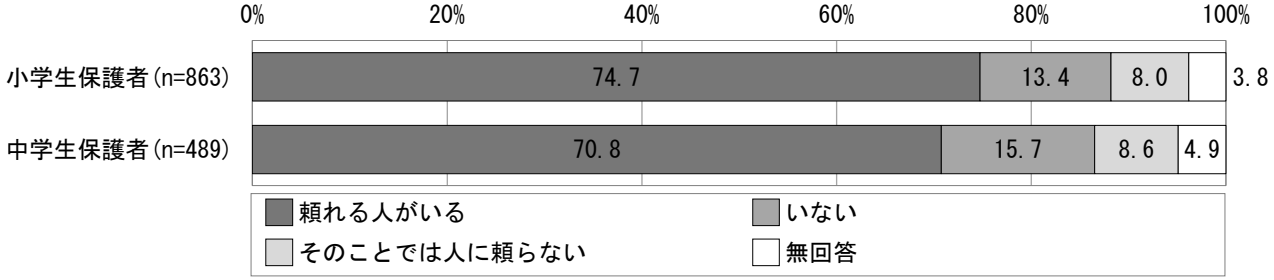
中学生保護者では、「頼れる人がいる」が 69.5%と最も高く、「いない」が 17.2%、「そのことでは人に頼らない」が 8.4%と続いている。



②重要な事柄の相談

小学生保護者では、「頼れる人がいる」が74.7%と最も高く、「いない」が13.4%、「そのことでは人に頼らない」が8.0%と続いている。

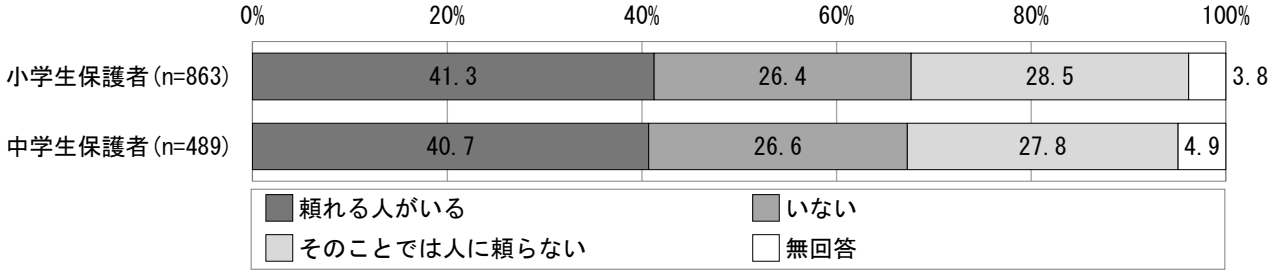
中学生保護者では、「頼れる人がいる」が70.8%と最も高く、「いない」が15.7%、「そのことでは人に頼らない」が8.6%と続いている。



③いざというときのお金の援助

小学生保護者では、「頼れる人がいる」が 41.3%と最も高く、「そのことでは人に頼らない」が 28.5%、「いない」が26.4%と続いている。

中学生保護者では、「頼れる人がいる」が 40.7%と最も高く、「そのことでは人に頼らない」が 27.8%、「いない」が26.6%と続いている。



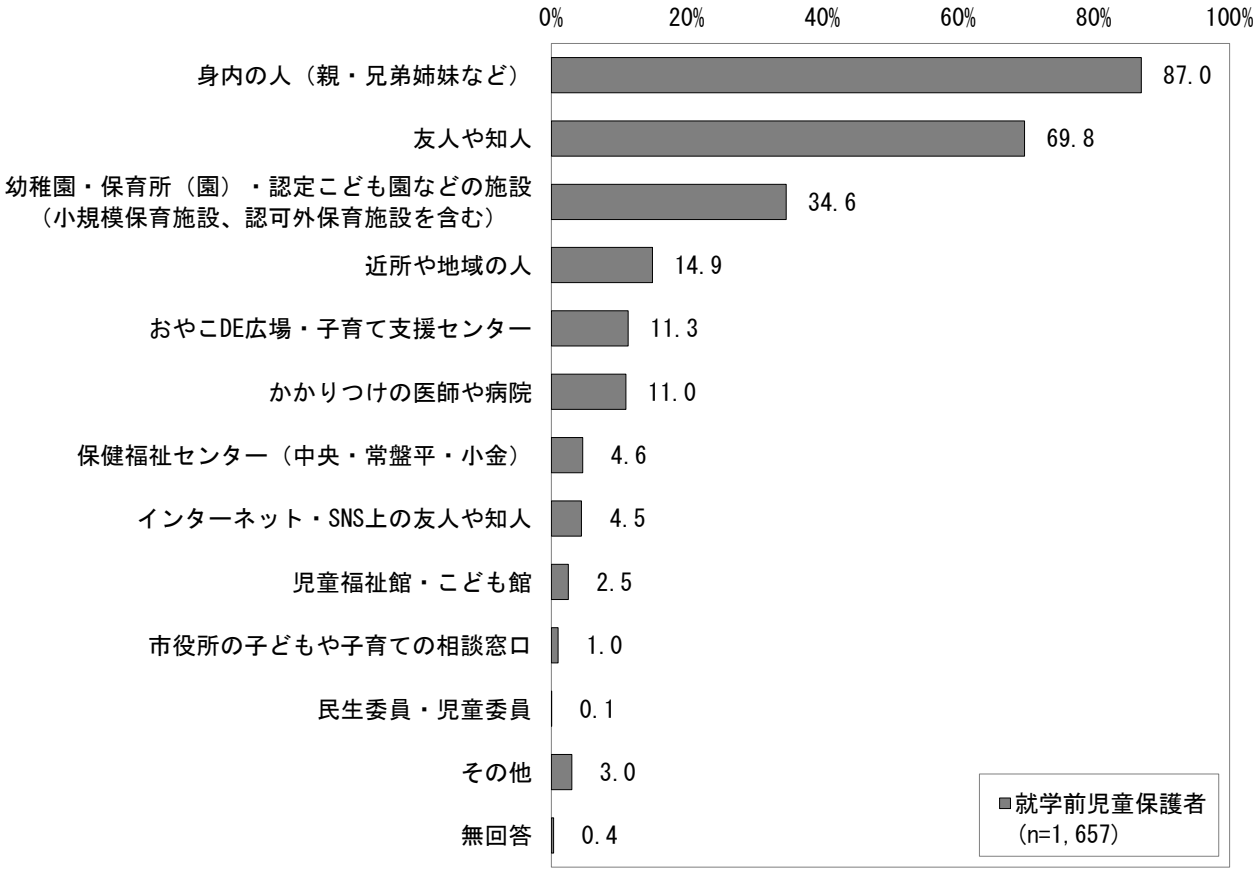
(2)相談場所・相談相手

就学前児童保護者 問 2-1 、小学生保護者 問 16 、中学生保護者 問 15
【「相談できる人の有無」で「いる/ある」を選択した方のみ】
気軽に相談できる相手(場所)は、誰(どこ)ですか。(複数回答)

いずれの調査でも「身内の人」や「友人や知人」が主な相談相手となっている。それ以外の相談相手としては、就学前児童保護者においては「幼稚園・保育所(園)・認定こども園などの施設(小規模保育施設、認可外保育施設を含む)」の割合が高くなっている。小学生保護者・中学生保護者においては「職場の人」の割合が、「小(中)学校の先生」や「近所の人」の割合より高くなっている。

就学前児童保護者

「身内の人(親・兄弟姉妹など)」が 87.0%と最も高く、「友人や知人」が 69.8%、「幼稚園・保育所(園)・認定こども園などの施設(小規模保育施設、認可外保育施設を含む)」が 34.6%と続いている。

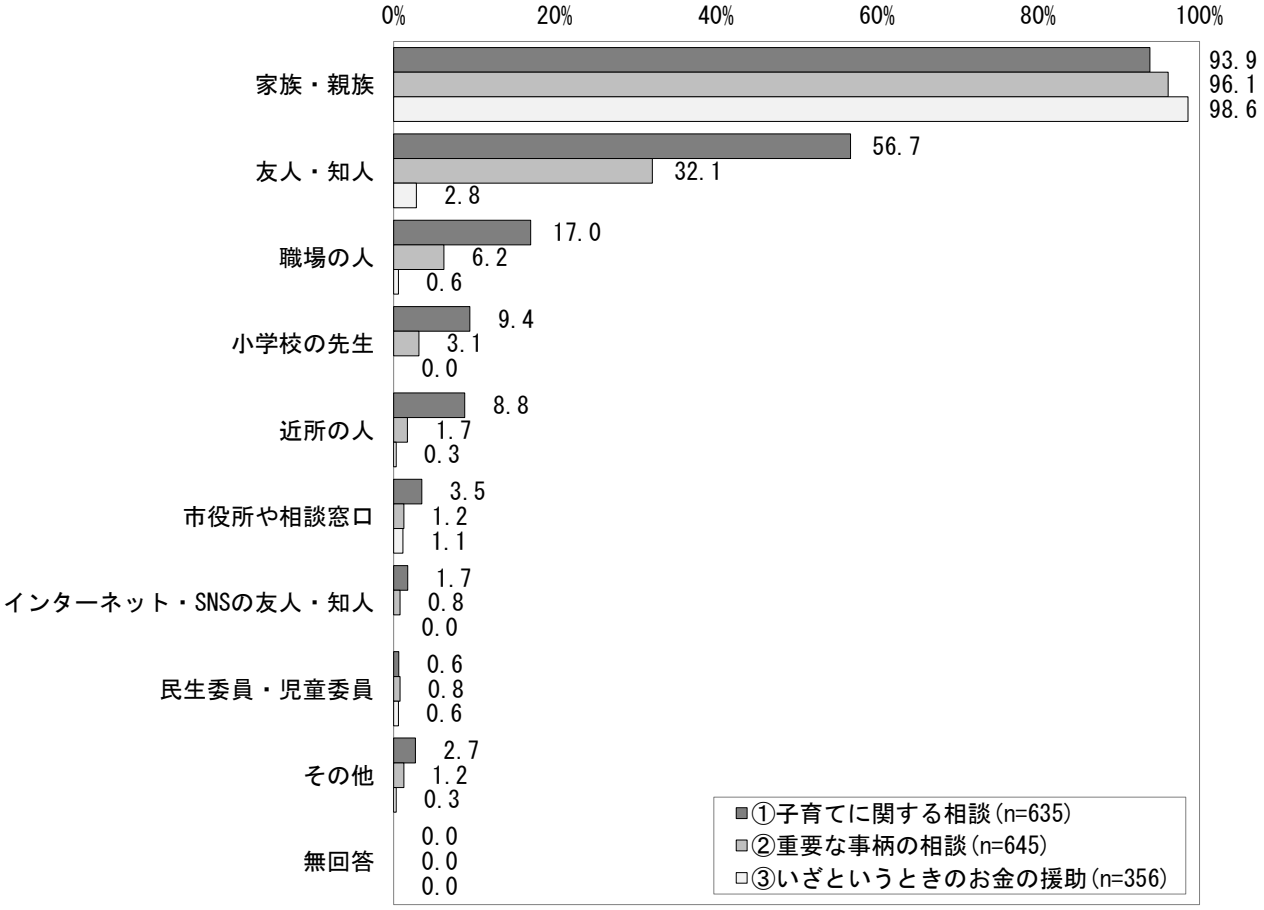


小学生保護者

①子育てに関する相談では、「家族・親族」が 93.9%と最も高く、「友人・知人」が 56.7%、「職場の人」が17.0%と続いている。

②重要な事柄の相談では、「家族・親族」が 96.1%と最も高く、「友人・知人」が 32.1%、「職場の人」が6.2%と続いている。

③いざというときのお金の援助では、「家族・親族」が98.6%、「友人・知人」が2.8%と続いている。

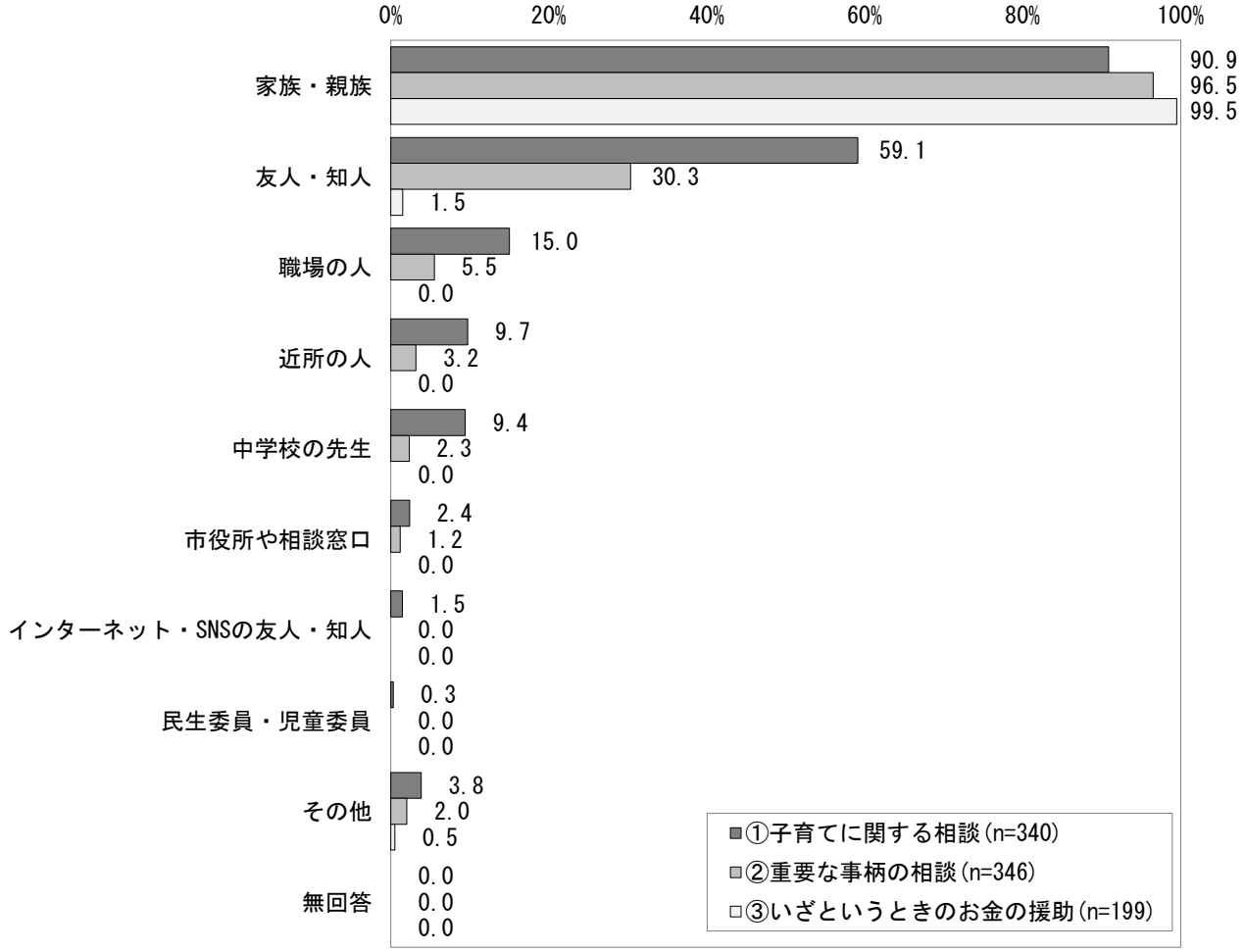


中学生保護者

①子育てに関する相談では、「家族・親族」が 90.9%と最も高く、「友人・知人」が 59.1%、「職場の人」が15.0%と続いている。

②重要な事柄の相談では、「家族・親族」が 96.5%と最も高く、「友人・知人」が 30.3%、「職場の人」が5.5%と続いている。

③いざというときのお金の援助では、「家族・親族」が99.5%と最も高く、「友人・知人」が1.5%と続いている。



(3)子育てに関する情報入手

就学前児童保護者 問３
あなたは子育てに関する情報をどのように入手していますか。(複数回答)

「友人や知人」が 71.2%と最も高く、「インターネット(子育て情報サイトや検索による情報収集)」が66.6%、「身内の人(親・兄弟姉妹など)」が62.3%と続いている。

経済状況別にみると、一般層・準低所得層は「友人や知人」の次に「インターネット(子育て情報サイトや検索による情報収集)」により情報を入手しているが、低所得層は多くの選択肢で一般層・準低所得層よりも割合が低くなっており、情報入手の手段が限られている可能性がある。

(%)	身内の人(親・兄弟姉妹など)	友人や知人	おやこDE広場・子育て支援センター	保育所(園)・認定こども園・幼稚園・学校	保健福祉センターの保健師や助産師	市民健康相談室	子育てに関する講座	市が発行する子育てガイドブック	広報まつど	テレビ・ラジオ・新聞	子育ての雑誌や育児書	インターネット(子育て情報サイトや検索による情報収集)	SNS	市のホームページ(まつどDE子育て)	まつどDE子育てアプリ(母子モ)	松戸市子育て情報LINE(まつどDE子育てLINEを含む)	医師・看護師	情報の入手先がない	その他	無回答
就学前児童保護者(n=1,815)	62.3	71.2	16.0	47.1	4.1	0.4	2.3	6.4	9.0	10.8	13.8	66.6	45.4	10.4	7.5	18.6	8.3	0.3	1.2	0.7
【経済状況別】																				
一般層(n=840)	63.0	71.8	16.8	48.2	4.3	0.6	3.3	7.7	9.9	9.4	17.0	69.4	46.4	11.5	8.0	19.9	9.3	0.2	1.1	0.6
準低所得層(n=665)	62.3	72.5	16.2	48.3	4.2	0.2	1.4	4.1	8.0	12.8	11.1	65.4	46.3	9.0	8.6	20.6	6.9	0.3	1.5	0.2
低所得層(n=151)	58.9	66.9	13.2	41.1	4.0	0.0	1.3	6.0	6.0	9.9	9.9	60.9	43.7	9.9	3.3	9.3	6.0	0.0	0.7	1.3

2. 保護者の意識・悩み

(1)子育て中の保護者の気持ち

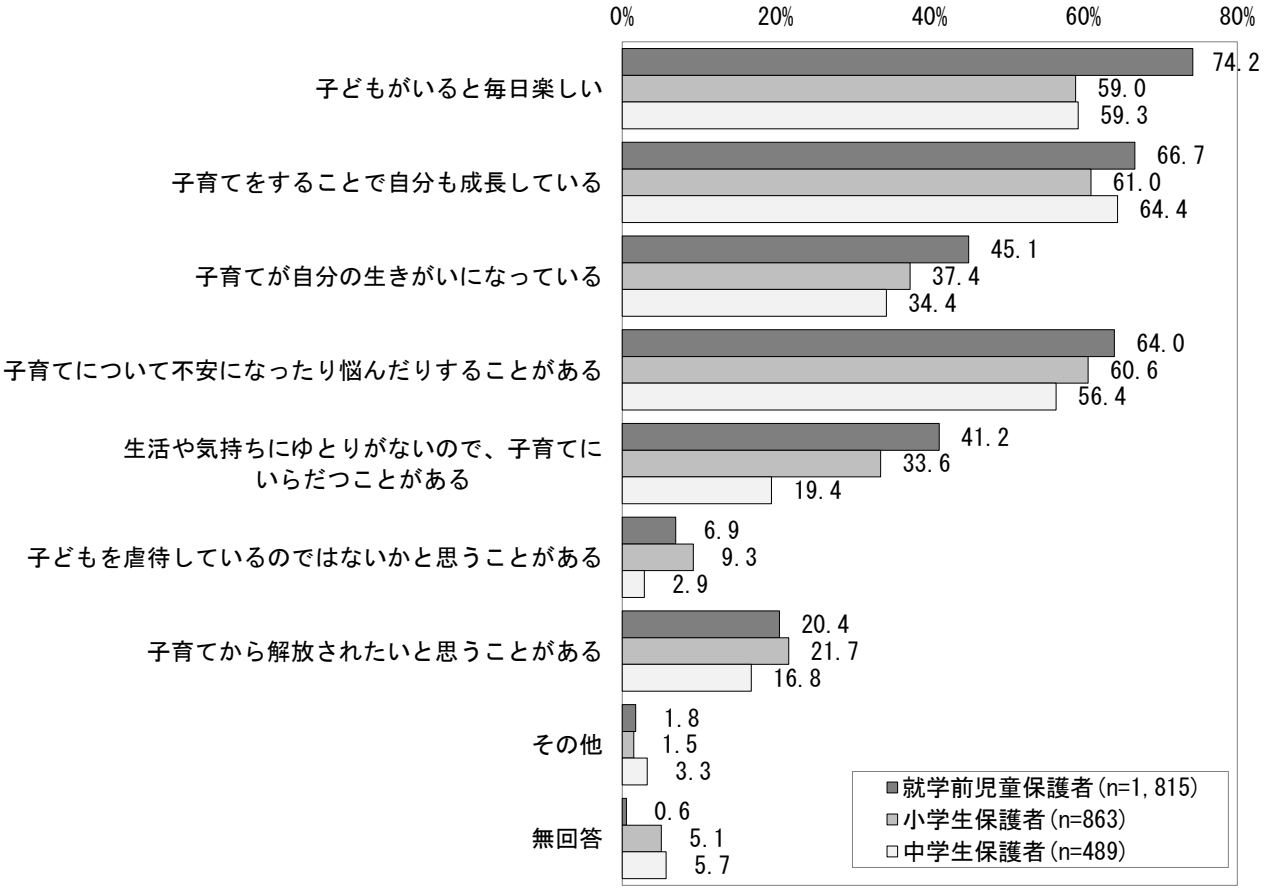
就学前児童保護者 問 4 、小学生保護者 問 20 、中学生保護者 問 19
普段、子育てをしているときのあなたの気持ちはどうですか。（複数回答）

全体的に、子どもが就学前の時期において、子育てに喜びや悩みを持つ割合が高くなっている。「子どもがいると毎日楽しい」、「子育てをすることで自分も成長している」と感じる割合が高いが、一方で、「子育てについて不安になったり悩んだりすることがある」と感じる割合も高くなっている。

就学前児童保護者では、「子どもがいると毎日楽しい」が 74.2%と最も高く、「子育てをすることで自分も成長している」が 66.7%と続いている。

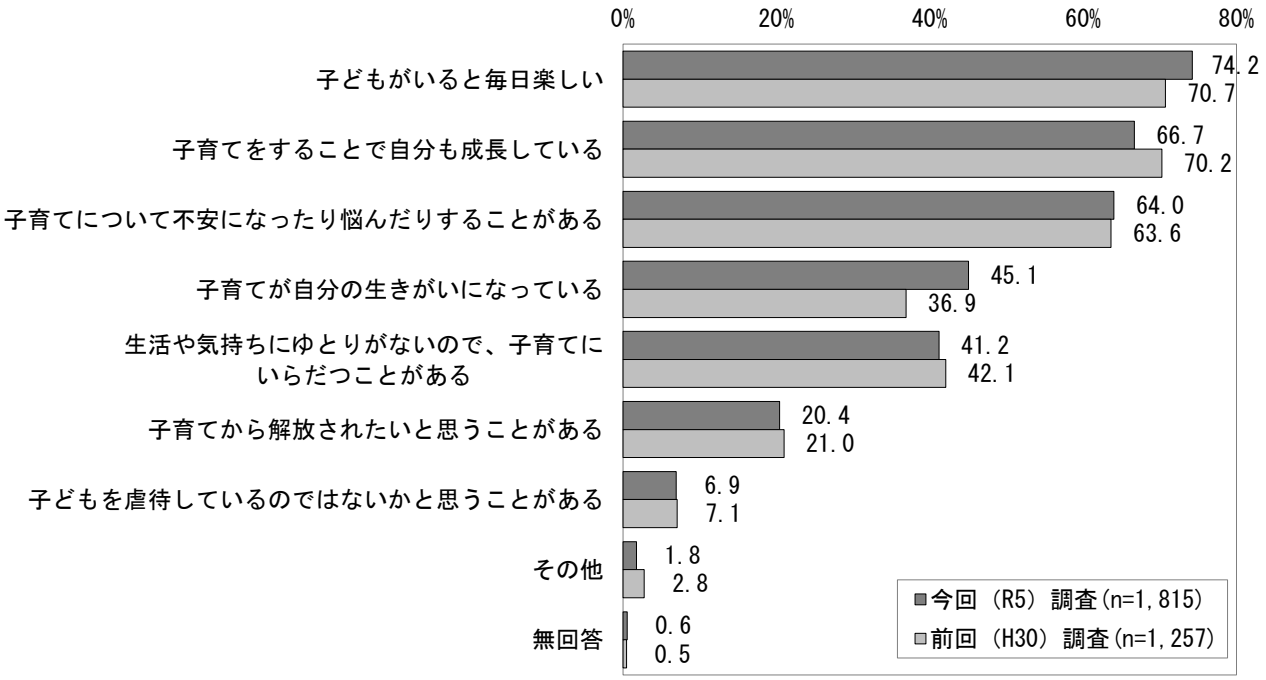
小学生保護者では、「子育てをすることで自分も成長している」が 61.0%と最も高く、「子育てについて不安になったり悩んだりすることがある」が 60.6%と続いている。

中学生保護者では、「子育てをすることで自分も成長している」が 64.4%と最も高く、「子どもがいると毎日楽しい」が 59.3%と続いている。



就学前児童保護者・経年比較

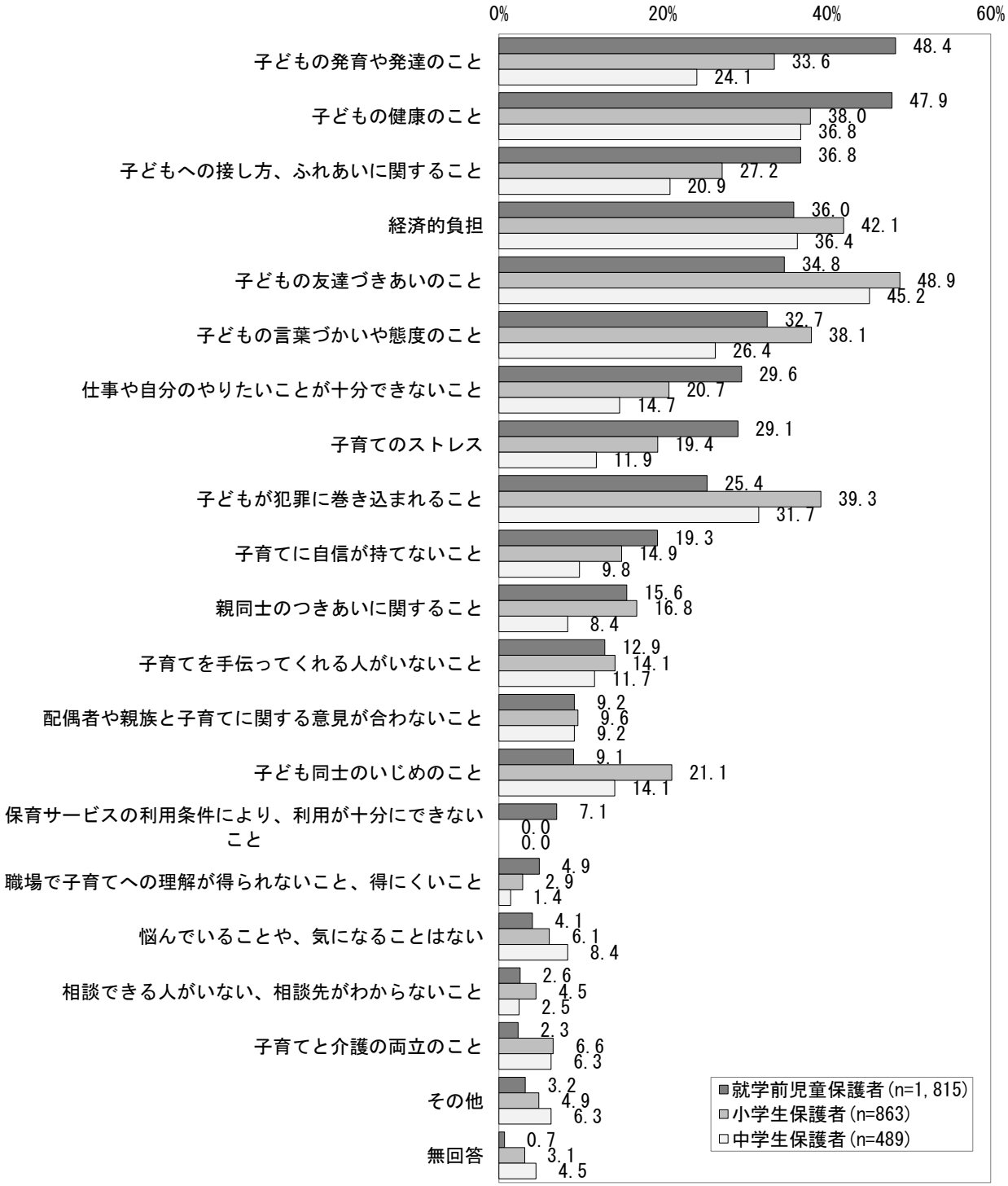
「子育てが自分の生きがいになっている」は、今回(R5)調査(45.1%)が前回調査(36.9%)を 8.2 ポイント上回っている。



(2)子育て中の悩み

就学前児童保護者 問5 、小学生保護者 問12 、中学生保護者 問11
子育てのことで日常悩んでいること、また、気になることはどのようなことですか。(複数回答)

就学前児童保護者では「子どもの発育や発達のこと」の割合が最も高く、小学生保護者・中学生保護者では「子どもの友達づきあいのこと」の割合が最も高くなっている。子どもが成長するにつれ、主な悩みごとが、発達や健康のことから友だちづきあいのことに変化している。



3. 子ども・学校との関わり方

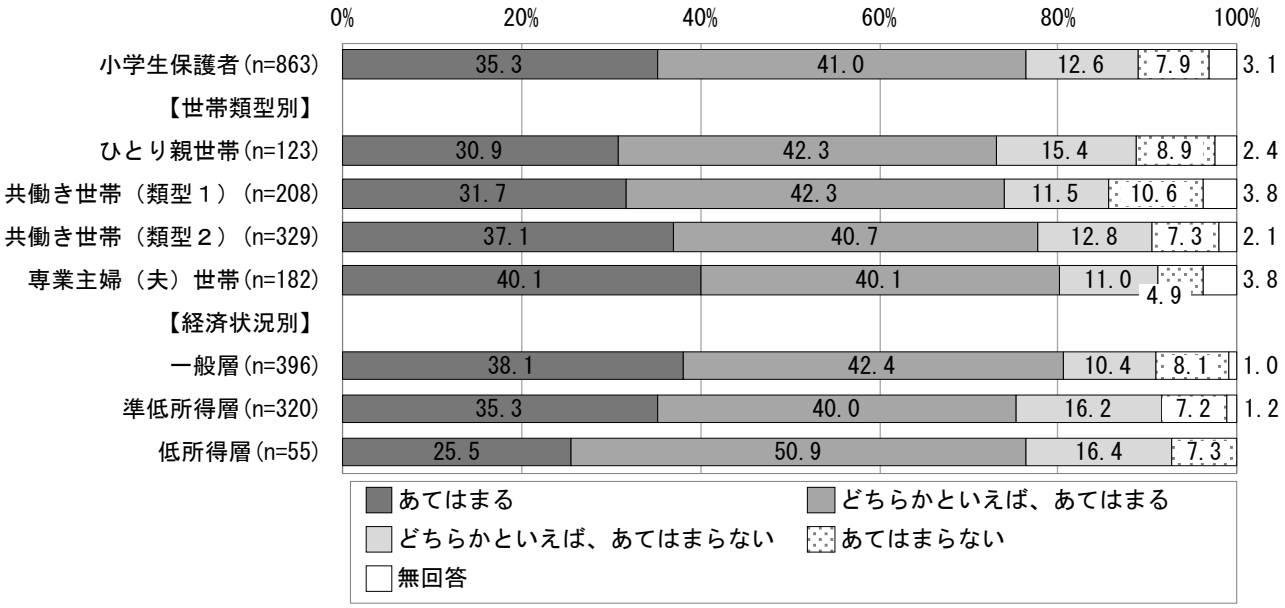
(1)子どもとの関わり方

小学生保護者 問 13 、 中学生保護者 問 12
あなたとお子さんとの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。(単数回答)

①テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

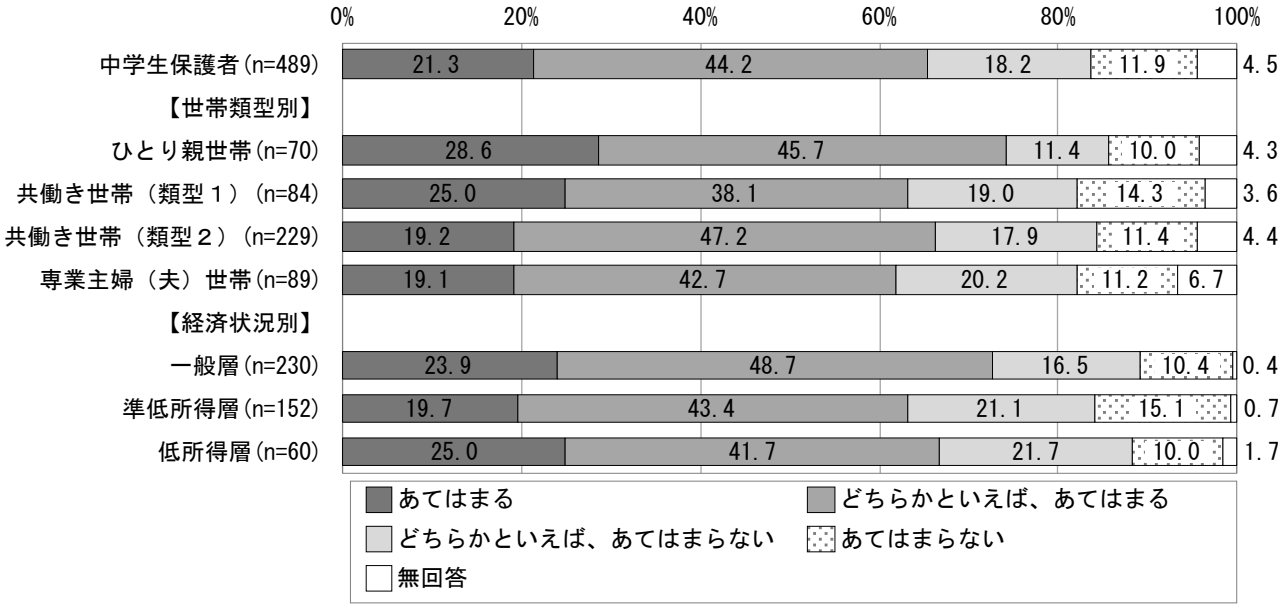
小学生保護者

世帯類型別にみると、専業主婦(夫)世帯においてルールを決めている割合(「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計)が最も高く、経済状況別にみると、一般層においてルールを決めている割合が高くなっている。



中学生保護者

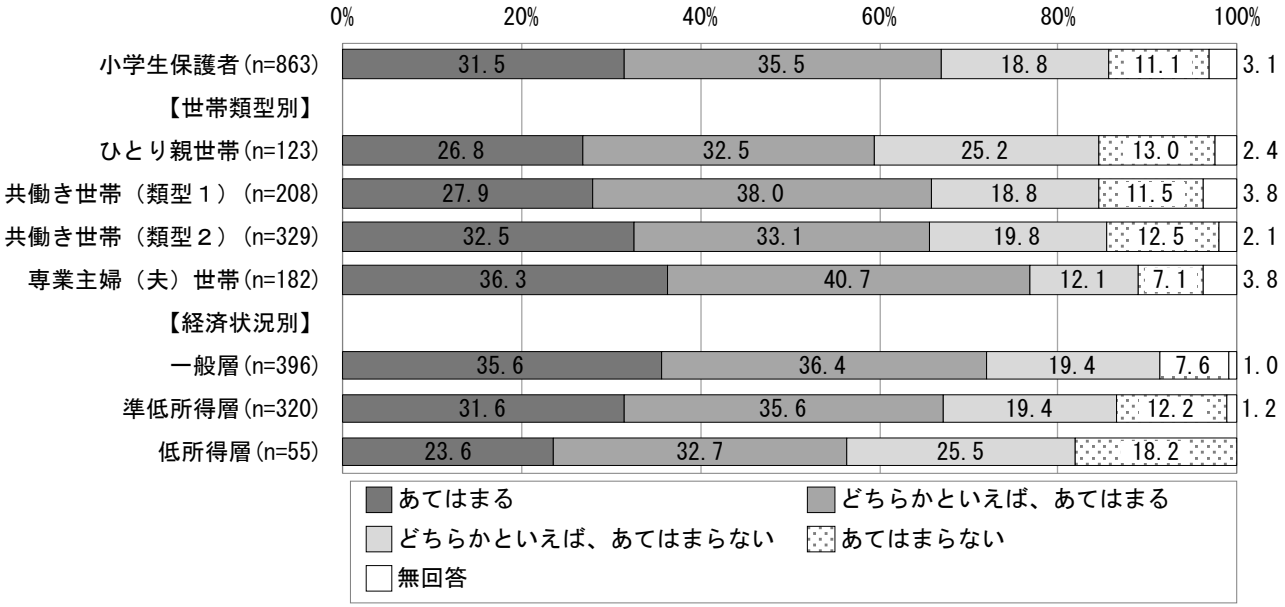
世帯類型別にみると、ひとり親世帯においてルールを決めている割合が最も高く、経済状況別にみると、一般層においてルールを決めている割合が高くなっている。



②子どもに本や新聞を読むように勧めている

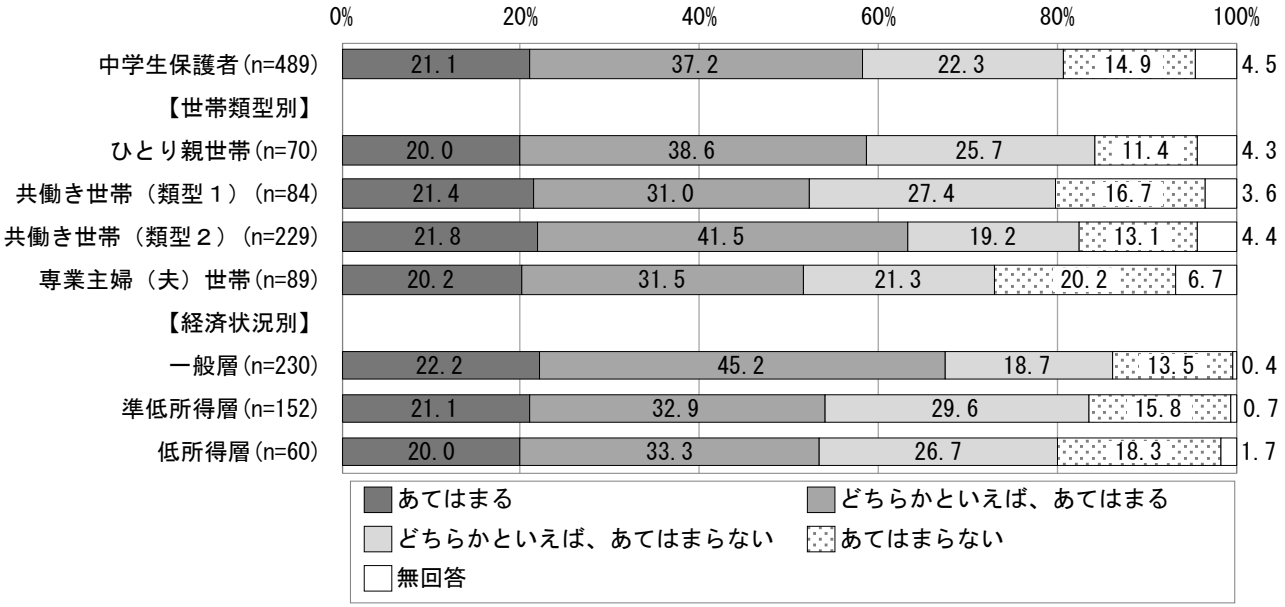
小学生保護者

世帯類型別にみると、専業主婦(夫)世帯において勧めている割合(「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計)が最も高く、経済状況別にみると、所得が低くなるにつれ勧めている割合が低くなっている。



中学生保護者

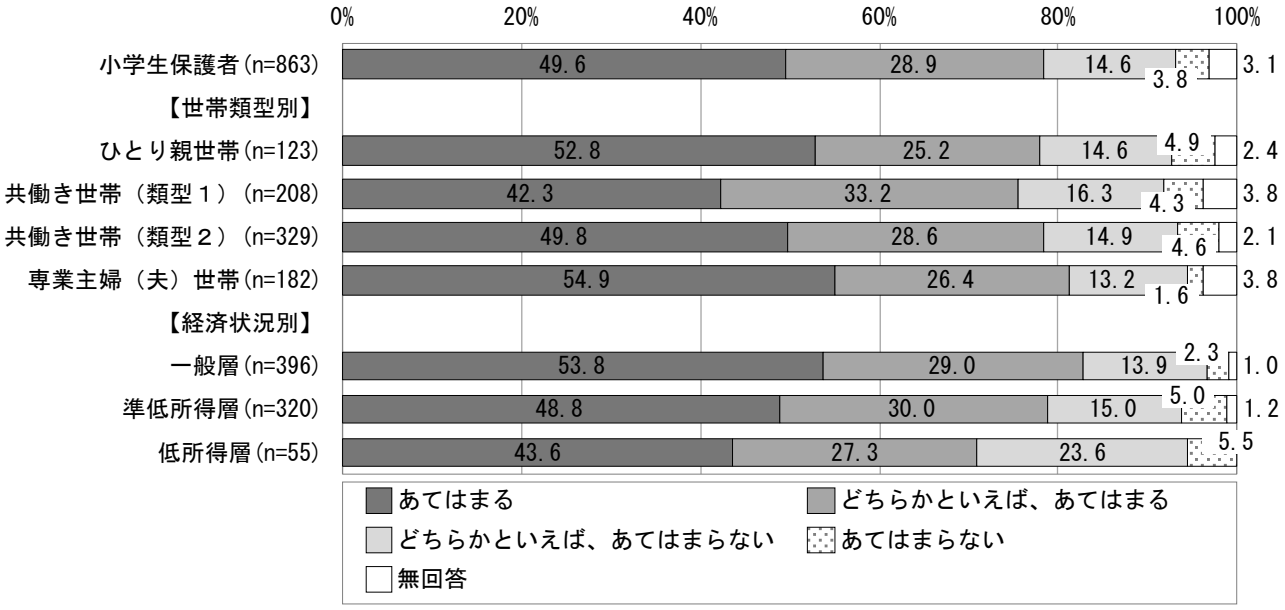
世帯類型別にみると、共働き世帯（類型2）において勧めている割合が最も高く、経済状況別にみると、一般層において勧めている割合が高くなっている。



③子どもが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

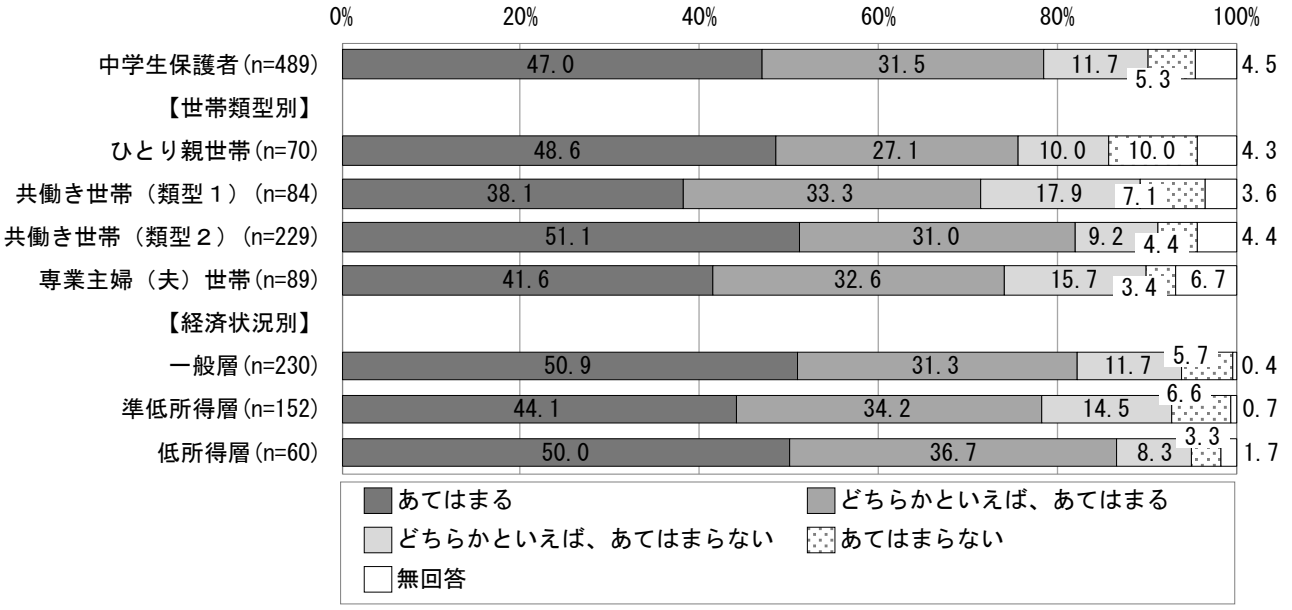
小学生保護者

世帯類型別にみると、専業主婦（夫）世帯において読み聞かせをしていた割合（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）が最も高く、経済状況別にみると、所得が低くなるにつれ読み聞かせをしていた割合が低くなっている。



中学生保護者

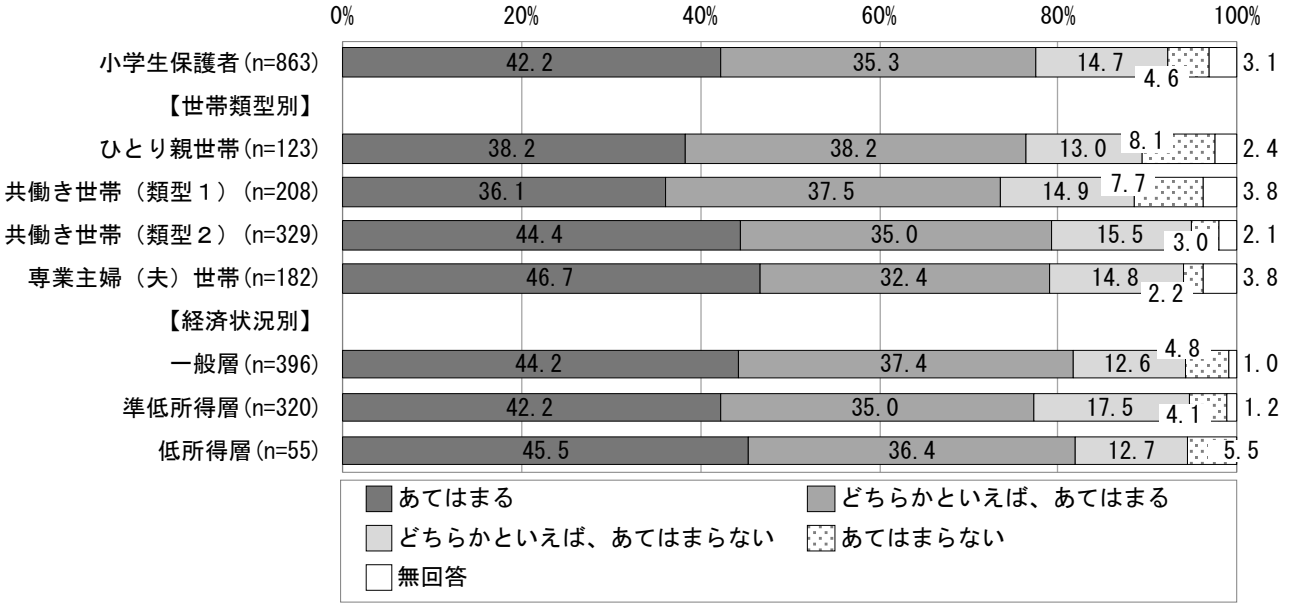
世帯類型別にみると、共働き世帯（類型2）において読み聞かせをしていた割合が最も高く、経済状況別にみると、低所得層において読み聞かせをしていた割合が高くなっている。



④子どもから勉強や成績のことについて話をしてくれる

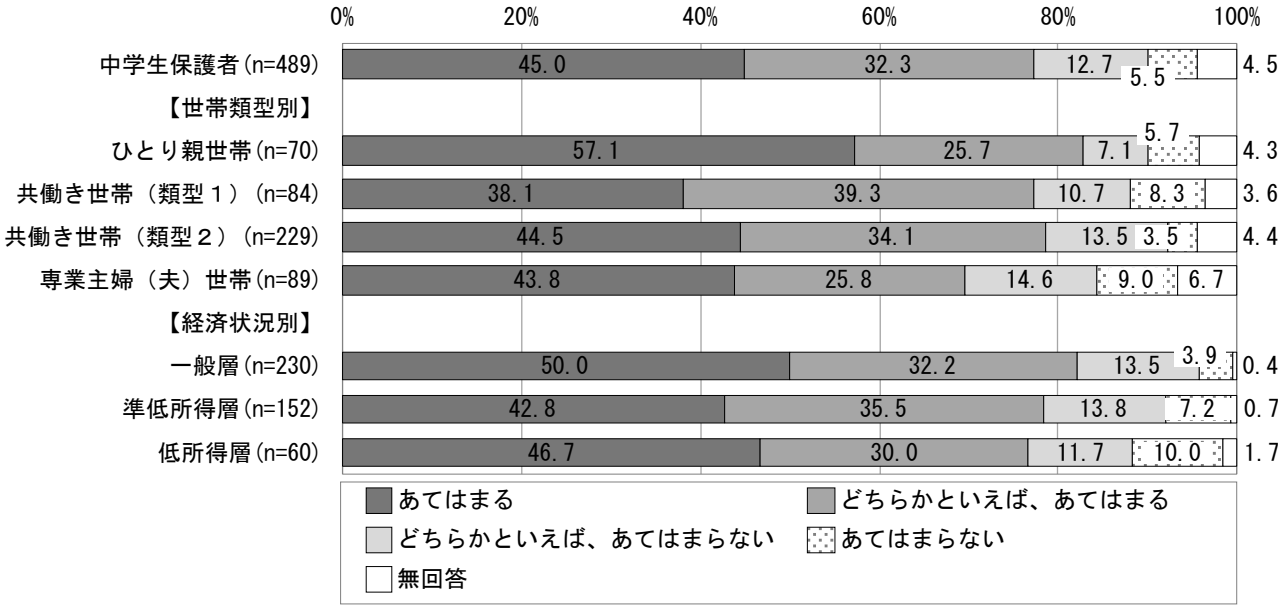
小学生保護者

世帯類型別にみると、共働き世帯（類型2）において子どもから勉強等の話をしてくれる割合（「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」の合計）が最も高く、経済状況別にみると、準低所得層において子どもから勉強等の話をしてくれる割合が低くなっている。



中学生保護者

世帯類型別にみると、ひとり親世帯において子どもから勉強等の話をしてくれる割合が最も高く、経済状況別にみると、所得が低くなるにつれ子どもから勉強等の話をしてくれる割合が低くなっている。



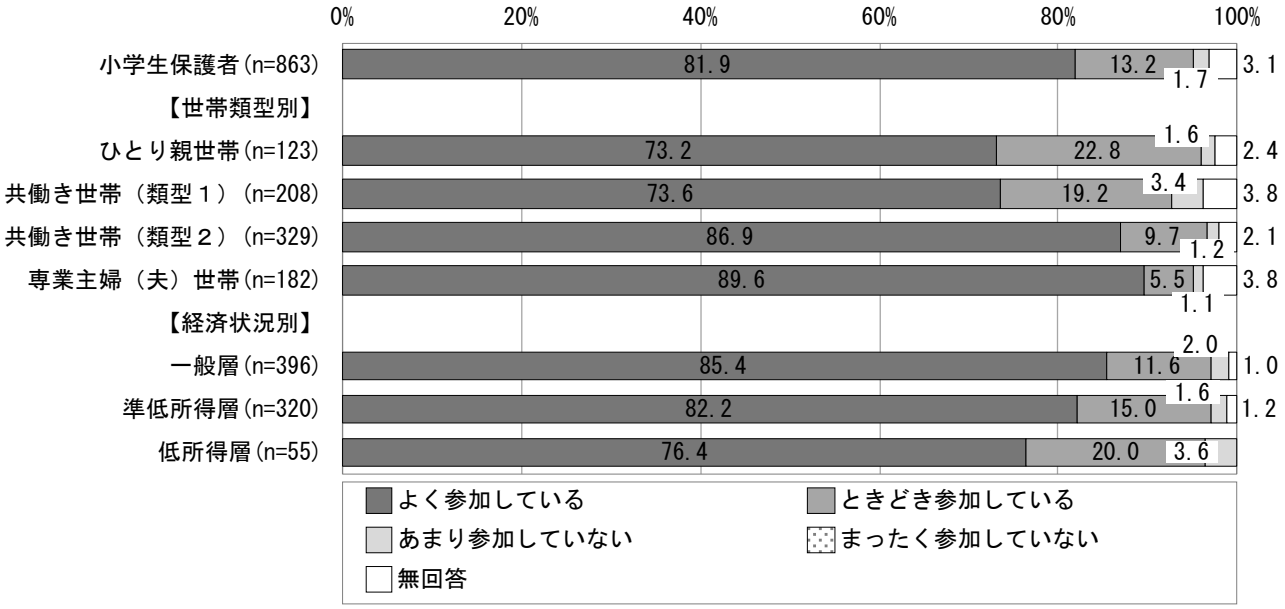
(2)学校行事等への参加状況

小学生保護者 問14 、 中学生保護者 問13
あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(単数回答)

①授業参観や運動会などの学校行事への参加

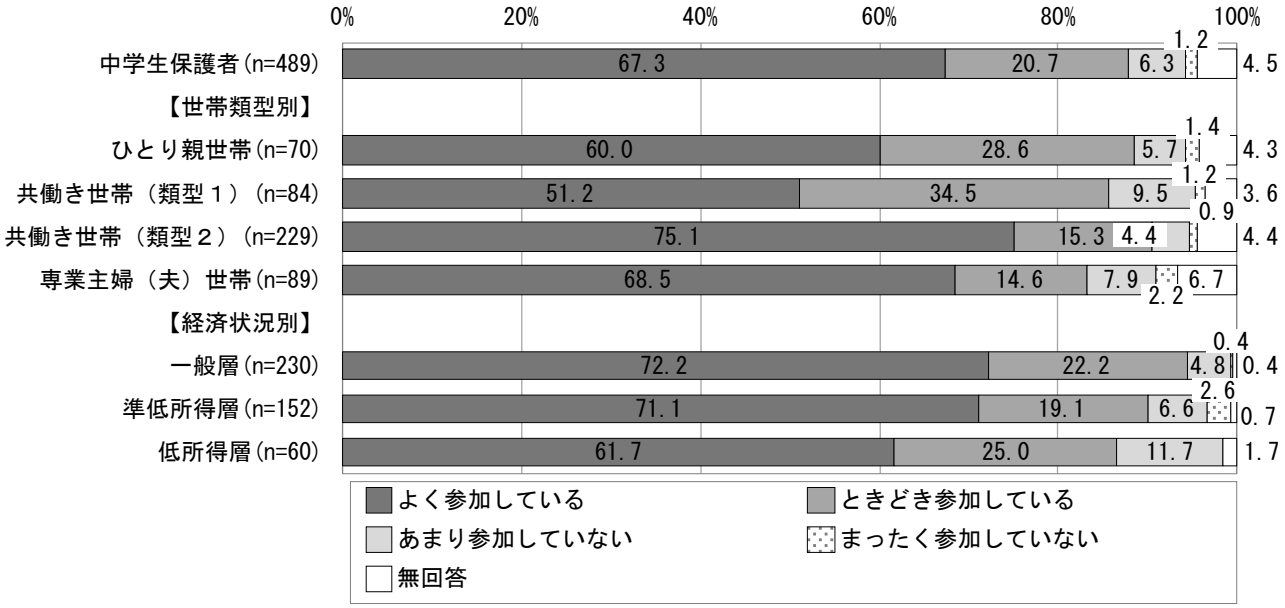
小学生保護者

世帯類型別にみると、共働き世帯(類型2)と専業主婦(夫)世帯において「よく参加している」割合が高く、経済状況別にみると、所得が低くなるにつれ「よく参加している」割合が低くなっている。



中学生保護者

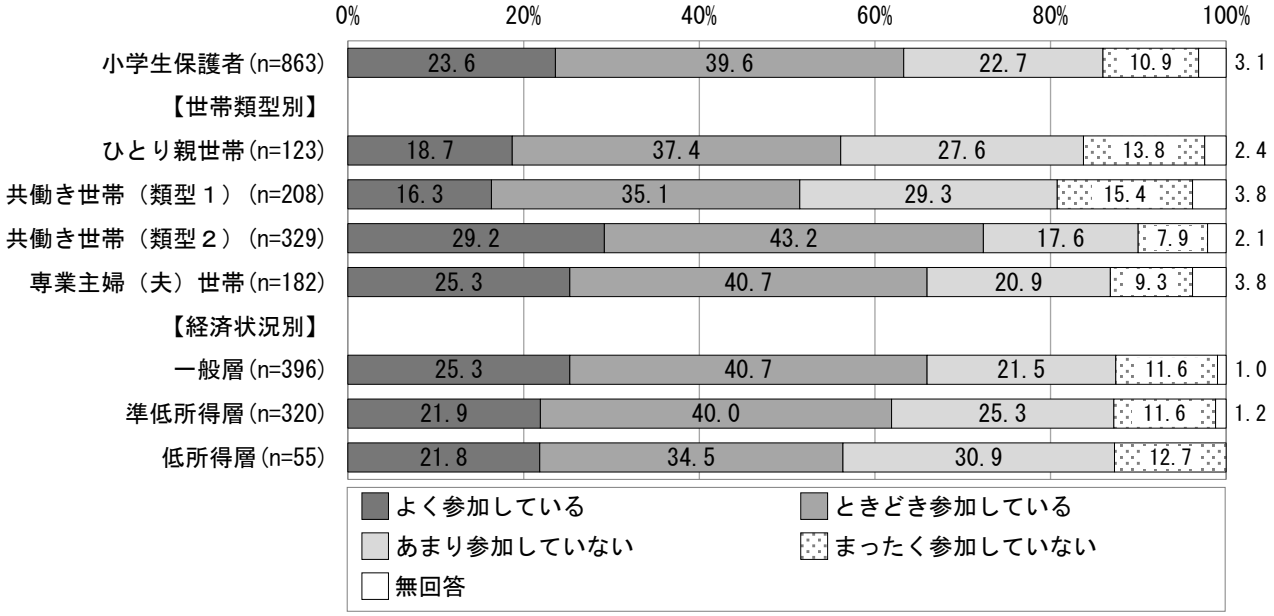
世帯類型別にみると、共働き世帯(類型2)において「よく参加している」割合が高く、経済状況別にみると、所得が低くなるにつれ「よく参加している」割合が低くなっている。



②PTA 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

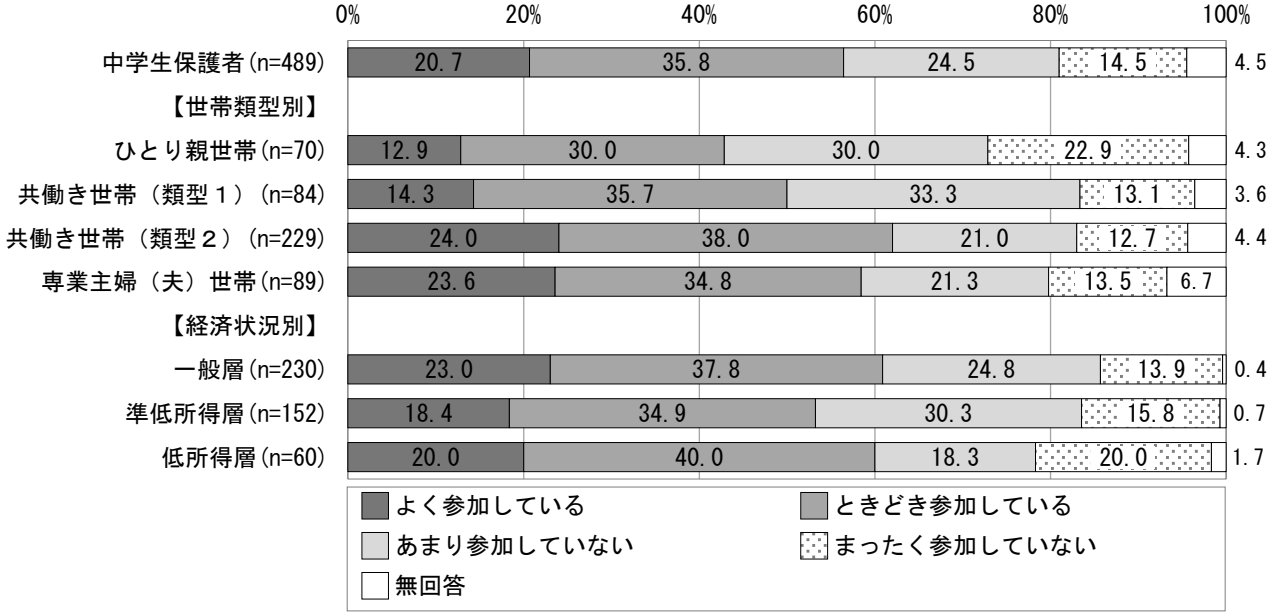
小学生保護者

世帯類型別にみると、共働き世帯（類型2）において参加頻度（「よく参加している」と「ときどき参加している」の合計）が高く、経済状況別にみると、所得が低くなるにつれ参加頻度が低くなっている。



中学生保護者

世帯類型別にみると、共働き世帯（類型2）において参加頻度が高く、経済状況別にみると、一般層と低所得層の参加頻度に大きな違いはないが、準低所得層の参加頻度が低くなっている。



4. 子どもの学歴に関する認識

(1)子どもの最終学歴の見通し

小学生保護者 問 15 、中学生保護者 問 14
お子さんの最終学歴は、現実的に見てどの学校になると思いますか。（単数回答）

小学生保護者

「大学またはそれ以上」が 62.2％と最も高く、「わからない」が 15.9％と続いている。保護者の最終学歴別にみると、「両親とも大学以上」における「大学またはそれ以上」の割合が特に高くなっている。経済状況別にみると、一般層における「大学またはそれ以上」の割合が特に高くなっている。世帯類型別にみると、共働き世帯（類型1）における「大学またはそれ以上」の割合が特に高くなっている。

(%)	中学校	高等学校	短大・高専・専門学校まで	大学またはそれ以上	その他	わからない	無回答
小学生保護者(n=863)	0.3	7.0	11.0	62.2	0.5	15.9	3.1
【保護者の最終学歴別】							
両親とも大学以上(n=233)	0.0	1.7	4.3	85.8	0.0	7.7	0.4
両親いずれか大学以上(n=249)	0.0	5.2	12.0	62.7	1.2	17.7	1.2
その他(n=370)	0.8	11.6	14.6	48.4	0.3	20.3	4.1
【経済状況別】							
一般層(n=396)	0.0	2.5	7.8	77.3	0.0	11.4	1.0
準低所得層(n=320)	0.3	10.3	14.7	53.4	1.3	18.8	1.3
低所得層(n=55)	3.6	25.5	18.2	30.9	0.0	21.8	0.0
【世帯類型別】							
ひとり親世帯(n=123)	0.8	10.6	10.6	56.1	0.0	19.5	2.4
共働き世帯（類型１）(n=208)	0.0	3.8	8.7	70.2	1.0	12.5	3.8
共働き世帯（類型２）(n=329)	0.3	7.3	13.1	60.2	0.3	16.7	2.1
専業主婦（夫）世帯(n=182)	0.5	7.1	9.3	61.5	0.5	17.0	3.8

中学生保護者

「大学またはそれ以上」が65.0%と最も高く、「短大・高専・専門学校まで」が11.5%と続いている。保護者の最終学歴別にみると、小学生保護者と同様に、「両親とも大学以上」における「大学またはそれ以上」の割合が特に高くなっている。経済状況別にみると、一般層における「大学またはそれ以上」の割合が特に高くなっている。世帯類型別にみると、ひとり親世帯における「大学またはそれ以上」の割合が特に高くなっている。

(%)	中学校	高等学校	短大・高専・専門学校まで	大学またはそれ以上	その他	わからない	無回答
中学生保護者(n=489)	0.8	7.2	11.5	65.0	0.2	10.8	4.5
【保護者の最終学歴別】							
両親とも大学以上(n=107)	1.9	1.9	7.5	86.9	0.0	1.9	0.0
両親いずれか大学以上(n=136)	1.5	2.9	10.3	72.1	0.7	11.0	1.5
その他(n=230)	0.0	12.6	14.8	54.3	0.0	15.2	3.0
【経済状況別】							
一般層(n=230)	0.9	3.9	9.1	79.1	0.4	6.1	0.4
準低所得層(n=152)	1.3	11.8	13.8	55.9	0.0	16.4	0.7
低所得層(n=60)	0.0	11.7	18.3	56.7	0.0	11.7	1.7
【世帯類型別】							
ひとり親世帯(n=70)	0.0	4.3	11.4	72.9	0.0	7.1	4.3
共働き世帯（類型１）(n=84)	1.2	6.0	11.9	67.9	0.0	9.5	3.6
共働き世帯（類型２）(n=229)	1.3	6.1	11.8	65.1	0.4	10.9	4.4
専業主婦（夫）世帯(n=89)	0.0	13.5	11.2	56.2	0.0	12.4	6.7

(2)子どもの最終学歴の理由

小学生保護者 問 15-1 、 中学生保護者 問 14-1
【「子どもの最終学歴(見通し)」で「中学校」～「その他」を選択した方のみ】
その理由は何ですか。(複数回答)

小学生保護者

「一般的な進路だと思うから」が 53.8%と最も高く、「お子さんの学力から考えて」が 29.8%と続いている。保護者の最終学歴別にみると、「両親とも大学以上」において「一般的な進路だと思うから」の割合が特に高くなっている。経済状況別にみると、一般層において「一般的な進路だと思うから」の割合が最も高くなっている。準低所得層・低所得層においては一般層と比べて「家庭の経済的な状況から考えて」の割合が高くなっている。世帯類型別では大きな違いはみられない。

(%)	お子さんがそう希望しているから	一般的な進路だと思うから	お子さんの学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない	無回答
小学生保護者(n=699)	24.7	53.8	29.8	13.6	4.1	5.4	0.0
【保護者の最終学歴別】							
両親とも大学以上(n=214)	25.7	66.8	35.5	15.4	2.3	3.7	0.0
両親いずれか大学以上(n=202)	26.2	50.5	25.7	8.4	5.4	6.9	0.0
その他(n=280)	22.9	46.4	28.6	16.1	4.3	5.4	0.0
【経済状況別】							
一般層(n=347)	26.8	62.5	28.5	10.4	4.6	4.9	0.0
準低所得層(n=256)	20.7	48.8	31.6	16.4	3.5	4.3	0.0
低所得層(n=43)	27.9	25.6	32.6	20.9	4.7	9.3	0.0
【世帯類型別】							
ひとり親世帯(n=96)	22.9	52.1	28.1	10.4	5.2	3.1	0.0
共働き世帯（類型１）(n=174)	24.7	54.6	26.4	13.2	5.2	7.5	0.0
共働き世帯（類型２）(n=267)	22.5	55.4	31.8	14.2	3.4	5.2	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=144)	27.8	52.1	31.3	16.0	3.5	4.9	0.0

中学生保護者

「お子さんがそう希望しているから」が 41.8%と最も高く、「一般的な進路だと思うから」が 38.4%と続いている。保護者の最終学歴別にみると、小学生保護者と同様に、「両親とも大学以上」において「一般的な進路だと思うから」の割合が最も高くなっている。経済状況別にみると、一般層において「お子さんがそう希望しているから」の割合が最も高くなっている。準低所得層・低所得層において一般層と比べて「家庭の経済的な状況から考えて」の割合が高くなっている。世帯類型別にみると、ひとり親世帯において「お子さんがそう希望しているから」の割合が最も高くなっている。

(%)	お子さんがそう希望しているから	一般的な進路だと思うから	お子さんの学力から考えて	家庭の経済的な状況から考えて	その他	特に理由はない	無回答
中学生保護者(n=414)	41.8	38.4	33.1	10.9	2.9	3.6	0.0
【保護者の最終学歴別】							
両親とも大学以上(n=105)	41.9	52.4	33.3	9.5	2.9	1.9	0.0
両親いずれか大学以上(n=119)	41.2	39.5	28.6	6.7	4.2	4.2	0.0
その他(n=188)	42.6	29.3	36.2	14.4	2.1	4.3	0.0
【経済状況別】							
一般層(n=215)	46.0	42.3	31.6	8.4	4.2	3.3	0.0
準低所得層(n=126)	36.5	32.5	39.7	15.1	1.6	2.4	0.0
低所得層(n=52)	40.4	30.8	30.8	13.5	0.0	5.8	0.0
【世帯類型別】							
ひとり親世帯(n=62)	48.4	33.9	25.8	9.7	0.0	4.8	0.0
共働き世帯（類型１）(n=73)	32.9	39.7	30.1	8.2	4.1	5.5	0.0
共働き世帯（類型２）(n=194)	43.8	38.1	37.1	11.9	3.6	2.6	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=72)	38.9	40.3	36.1	12.5	2.8	2.8	0.0

5. 少子化に関すること

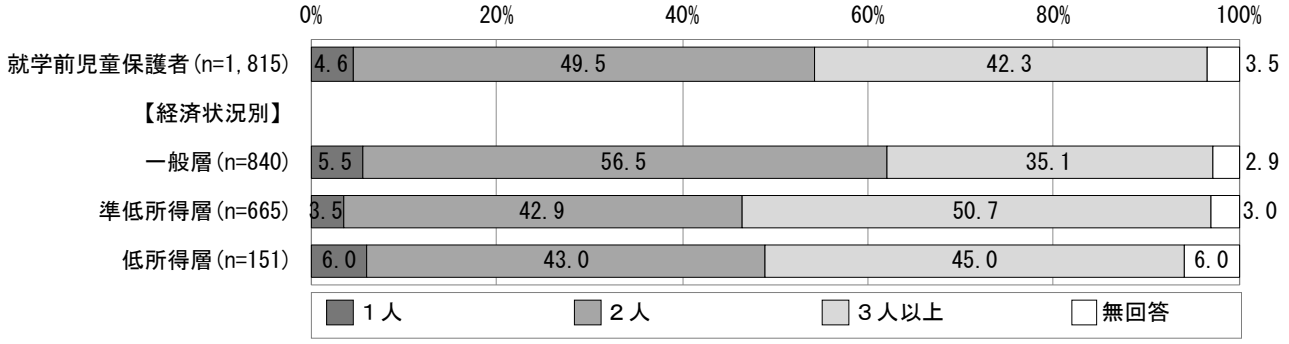
(1)理想的な子どもの人数

就学前児童保護者 問 6 、小学生保護者 問 11 、中学生保護者 問 10
あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。(数値回答)

いずれの調査でも、「2人」を理想的な子どもの人数とする割合が最も高く、約5割となっている。「3人以上」は3～4割となっている。経済状況別にみると、調査により結果にばらつきがみられる。

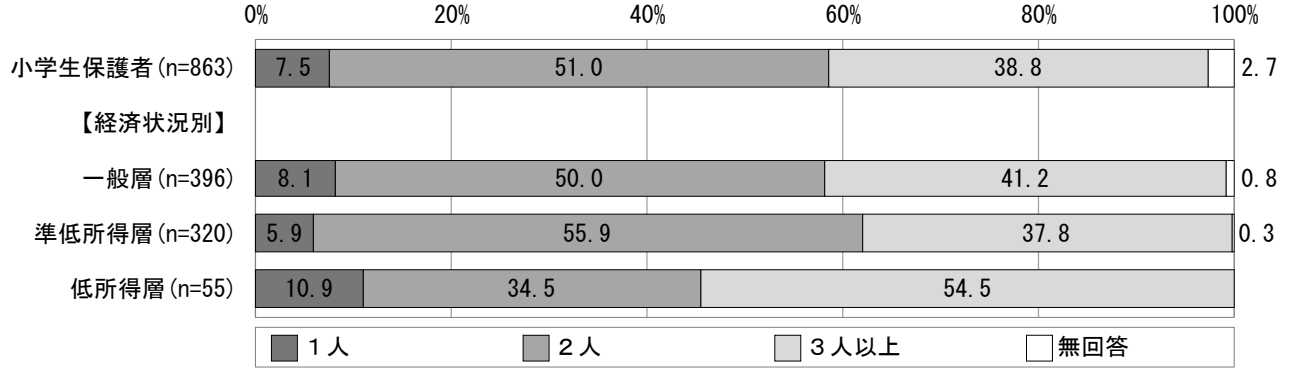
就学前児童保護者

「2人」が 49.5%と最も高く、「3人以上」が 42.3%、「1人」が 4.6%と続いている。経済状況別にみると、一般層のほうが準低所得層・低所得層と比較して「3人以上」の割合が低くなっている。



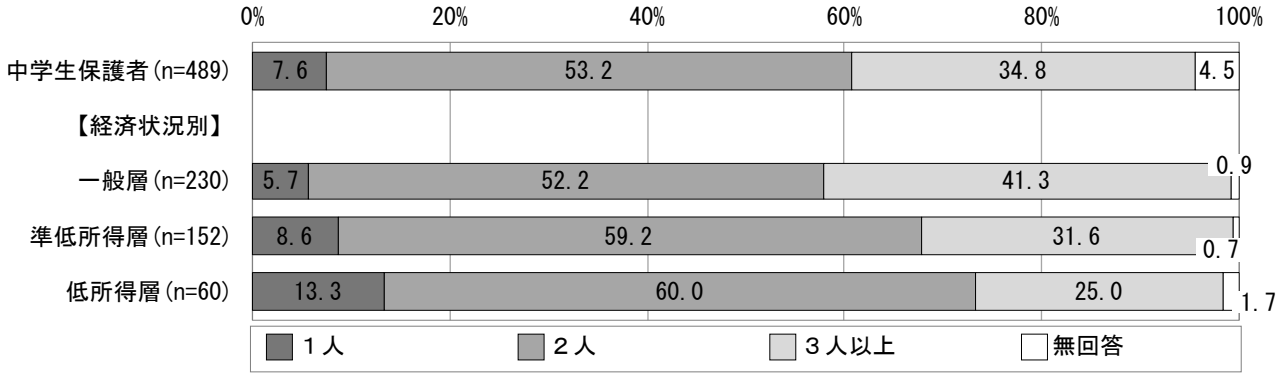
小学生保護者

「2人」が 51.0%と最も高く、「3人以上」が 38.8%、「1人」が 7.5%と続いている。経済状況別にみると、低所得層のほうが一般層・準低所得層と比較して「3人以上」の割合が高くなっている。



中学生保護者

「2人」が53.2%と最も高く、「3人以上」が34.8%、「1人」が7.6%と続いている。経済状況別にみると、所得が高くなるにつれ、より多い子どもの数を回答する傾向がみられる。

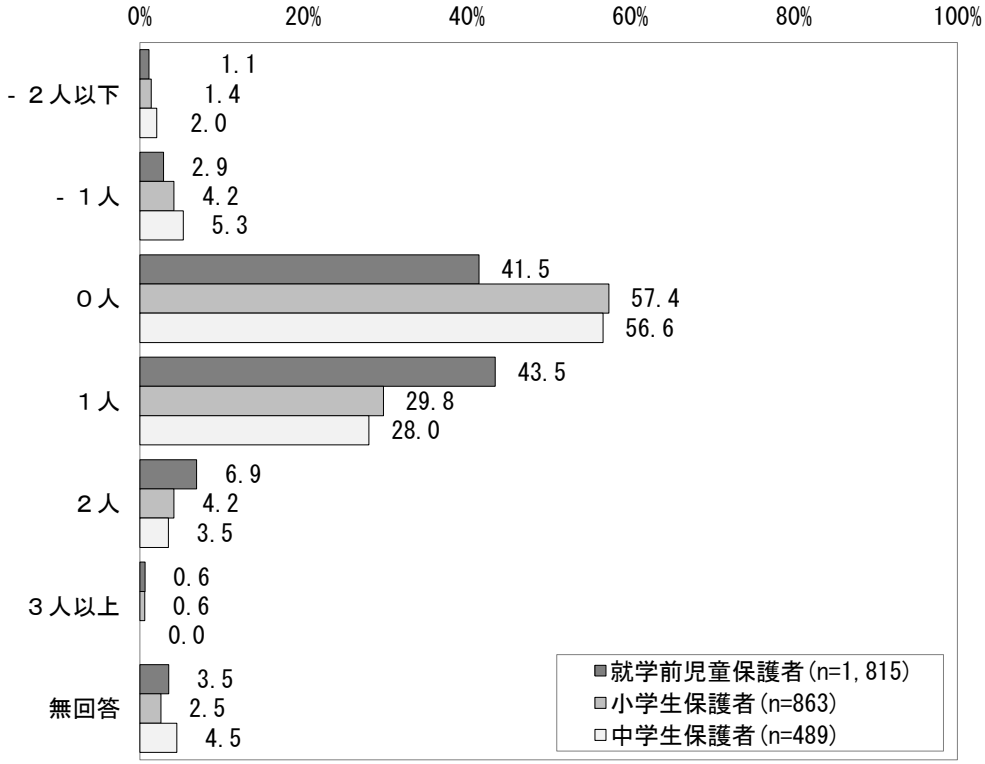


(2)理想の実現性と実現できない理由

①現在の子どもの数と理想的な子どもの数との乖離

就学前児童保護者 問1-9・問6 、 小学生保護者 問10・問11 、 中学生保護者 問9・問10 から算出
宛名のお子さんを含めたお子さんの数をお答えください。(数値回答)
あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。(数値回答)

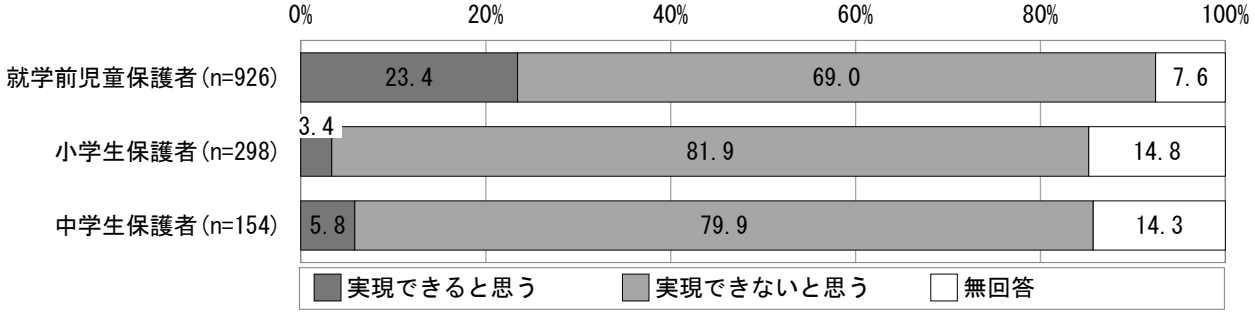
就学前児童保護者においては、0人(乖離なし)よりも1人以上の乖離の割合が高くなっている。小学生保護者・中学生保護者においては、0人(乖離なし)が1人以上の乖離の割合よりも高くなっている。



②理想的な子どもの数の実現性

就学前児童保護者 問 6-1 、小学生保護者 問 11-1 、中学生保護者 問 10-1
【現在の子どもの人数よりも理想の子どもの人数が多い方のみ】
理想的な子どもの数は実現できると思いますか。（単数回答）

就学前児童保護者では、「実現できると思う」が 23.4%、「実現できないと思う」が 69.0%となっている。
小学生保護者では、「実現できると思う」が 3.4%、「実現できないと思う」が 81.9%となっている。
中学生保護者では、「実現できると思う」が 5.8%、「実現できないと思う」が 79.9%となっている。



③理想的な子どもの数が実現しない理由

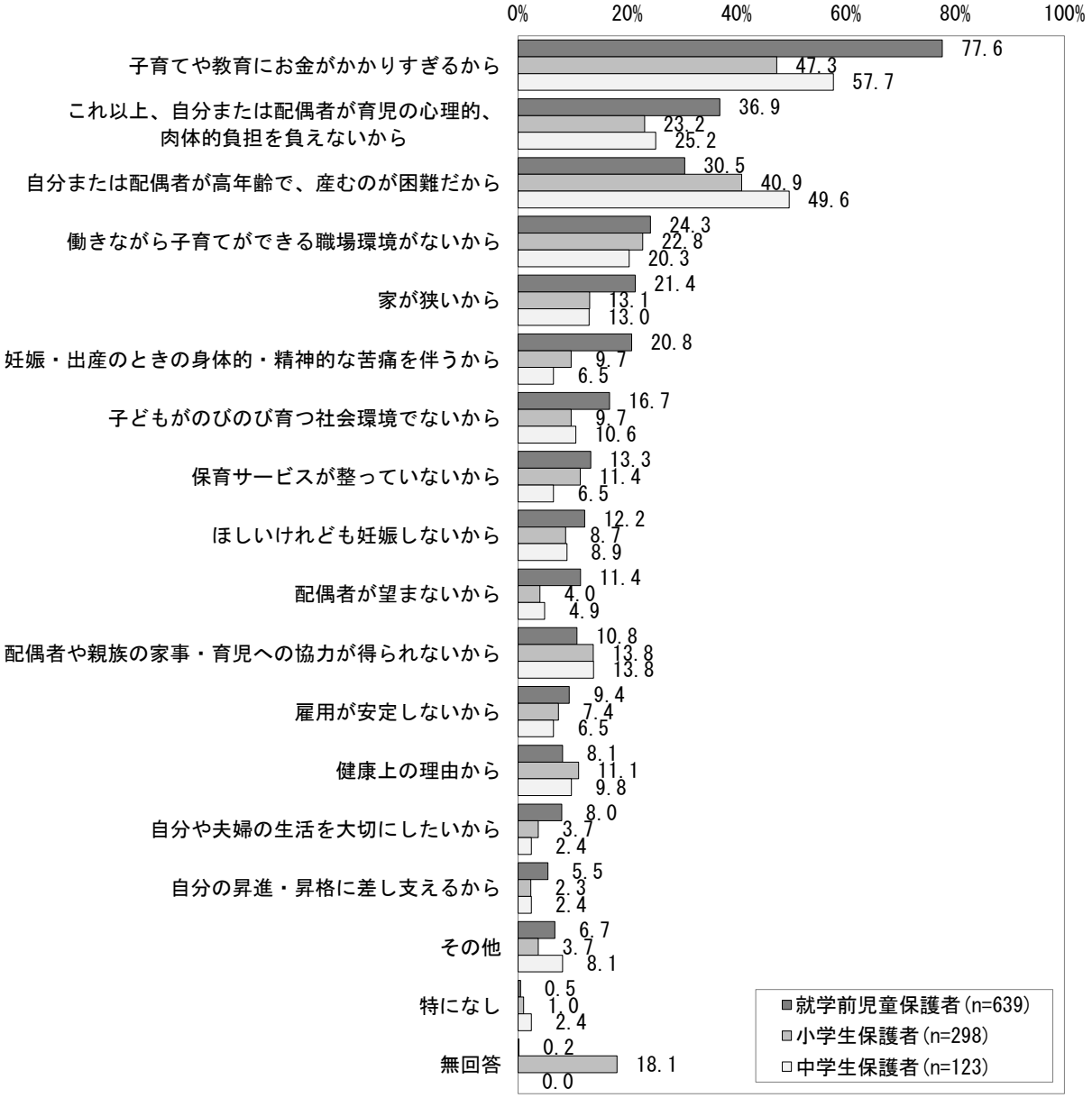
就学前児童保護者 問 6-1 、小学生保護者 問 11-1 、中学生保護者 問 10-1
【「理想的な子どもの数の実現性」で「実現できないと思う」を選択した方のみ】
実現できない場合、その理由は何ですか。（複数回答）

いずれの調査でも、子育てや教育の費用が高いことが最も大きな理由となっている。

就学前児童保護者では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 77.6%と最も高く、「これ以上、自分または配偶者が育児の心理的、肉体的負担を負えないから」が 36.9%と続いている。

小学生保護者では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 47.3%と最も高く、「自分または配偶者が高年齢で、産むのが困難だから」が 40.9%と続いている。

中学生保護者では、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が 57.7%と最も高く、「自分または配偶者が高年齢で、産むのが困難だから」が 49.6%と続いている。

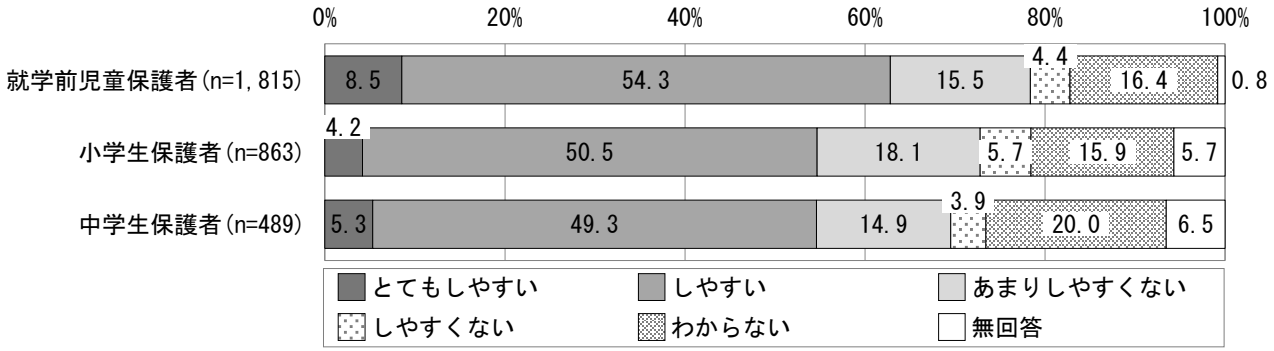


6. 松戸市の子育て環境への評価

(1)子育て環境の満足度

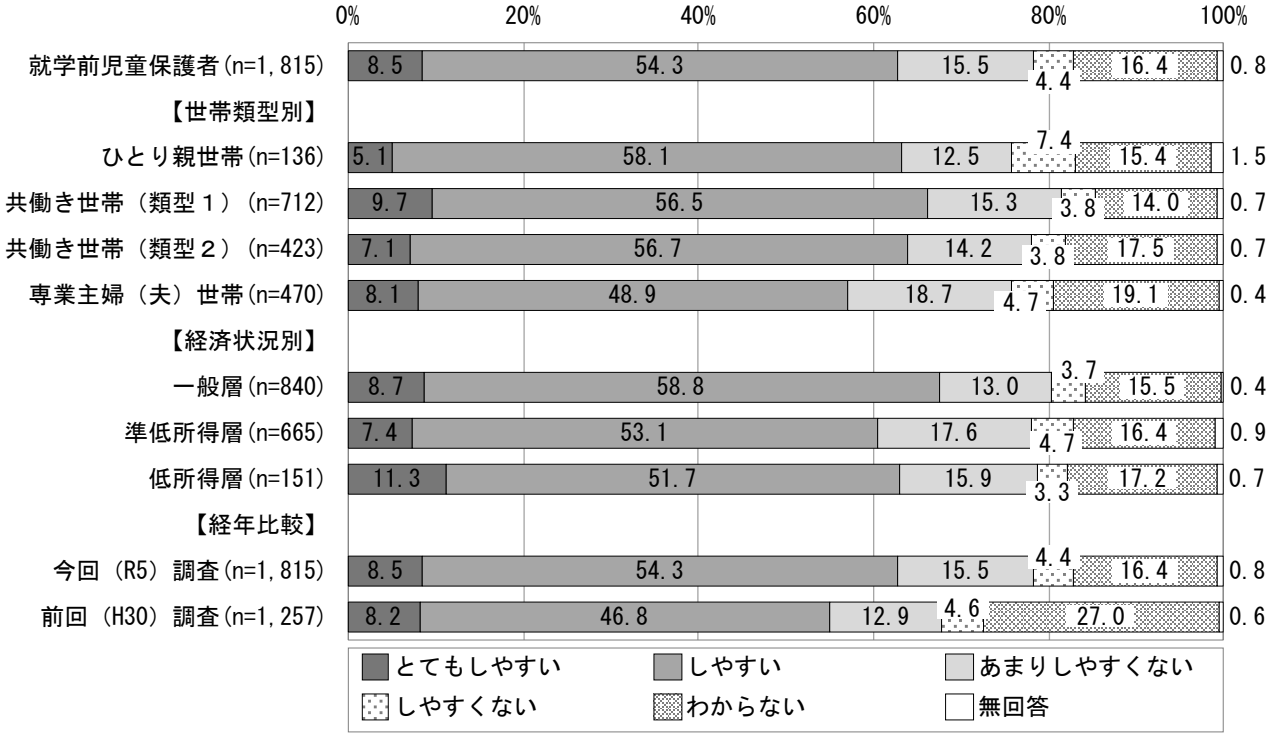
就学前児童保護者 問 7 、小学生保護者 問 28 、中学生保護者 問 24
松戸市は子育てがしやすいまちだと思いますか。(単数回答)

就学前児童保護者において、松戸市の子育て環境に満足する割合(「とてもしやすい」と「しやすい」の合計)が最も高くなっている。小学生保護者・中学生保護者においても、満足する割合は半数を超えている。



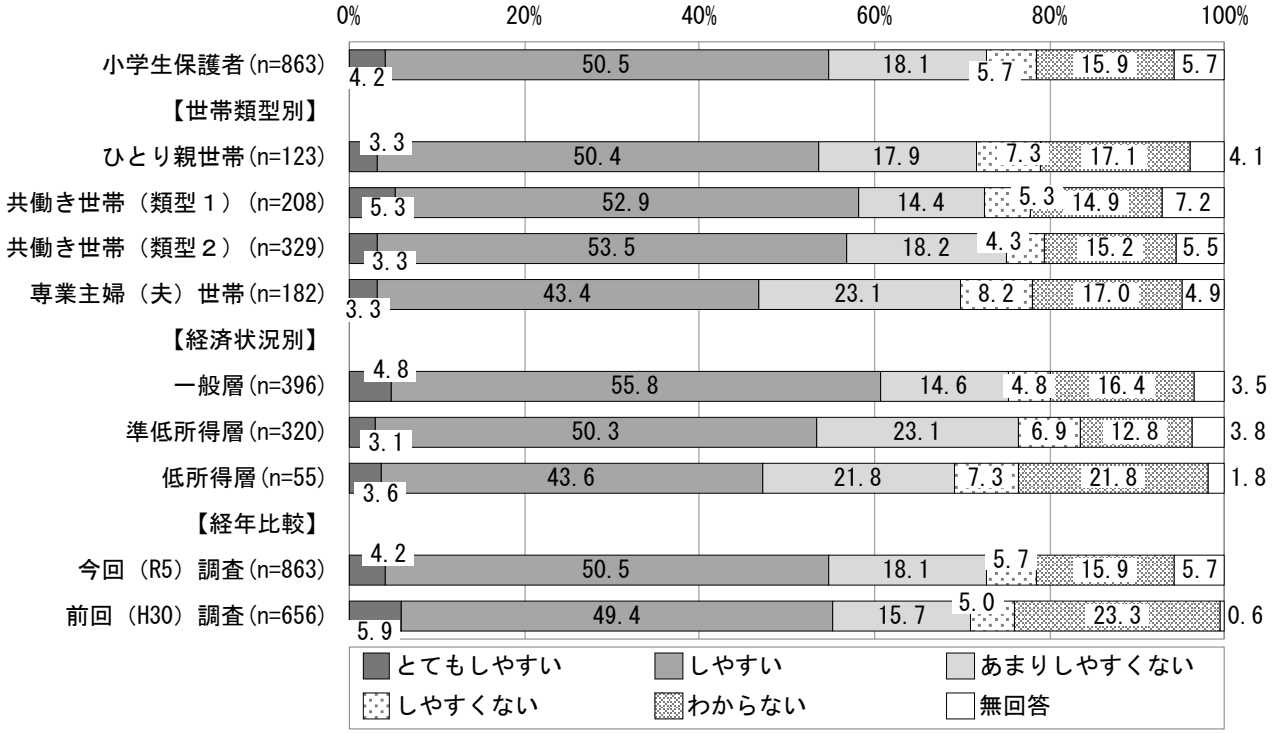
就学前児童保護者

世帯類型別にみると、共働き世帯(類型1)の満足する割合が最も高く、専業主婦(夫)世帯の満足する割合が最も低くなっている。経済状況別にみると、一般層の満足する割合が最も高くなっている。経年比較では、前回調査よりも満足する割合に増加がみられる。



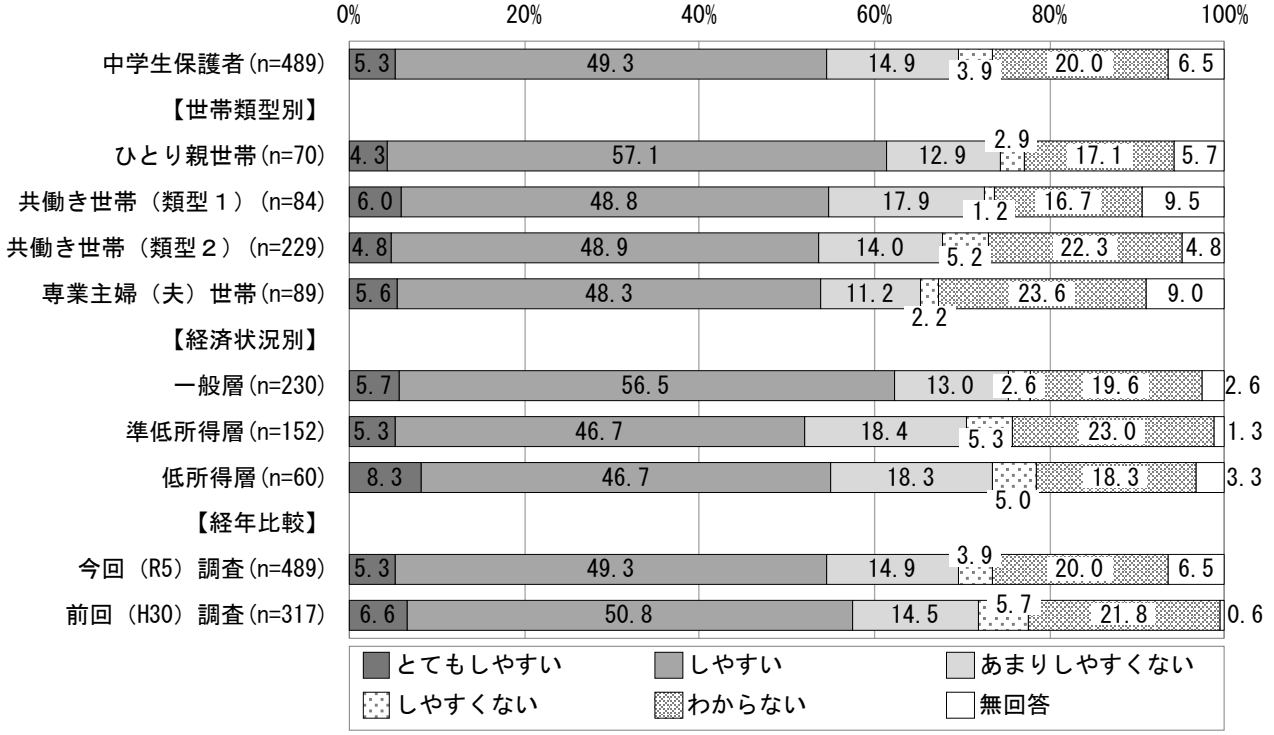
小学生保護者

世帯類型別にみると、共働き世帯(類型1)の満足する割合が最も高く、専業主婦(夫)世帯の満足する割合が最も低くなっている。経済状況別にみると、一般層の満足する割合が最も高くなっている。経年比較では、前回調査と大きな違いはみられない。



中学生保護者

世帯類型別にみると、ひとり親世帯の満足する割合が最も高くなっている。経済状況別にみると、一般層の満足する割合が最も高くなっている。経年比較では、前回調査と大きな違いはみられない。



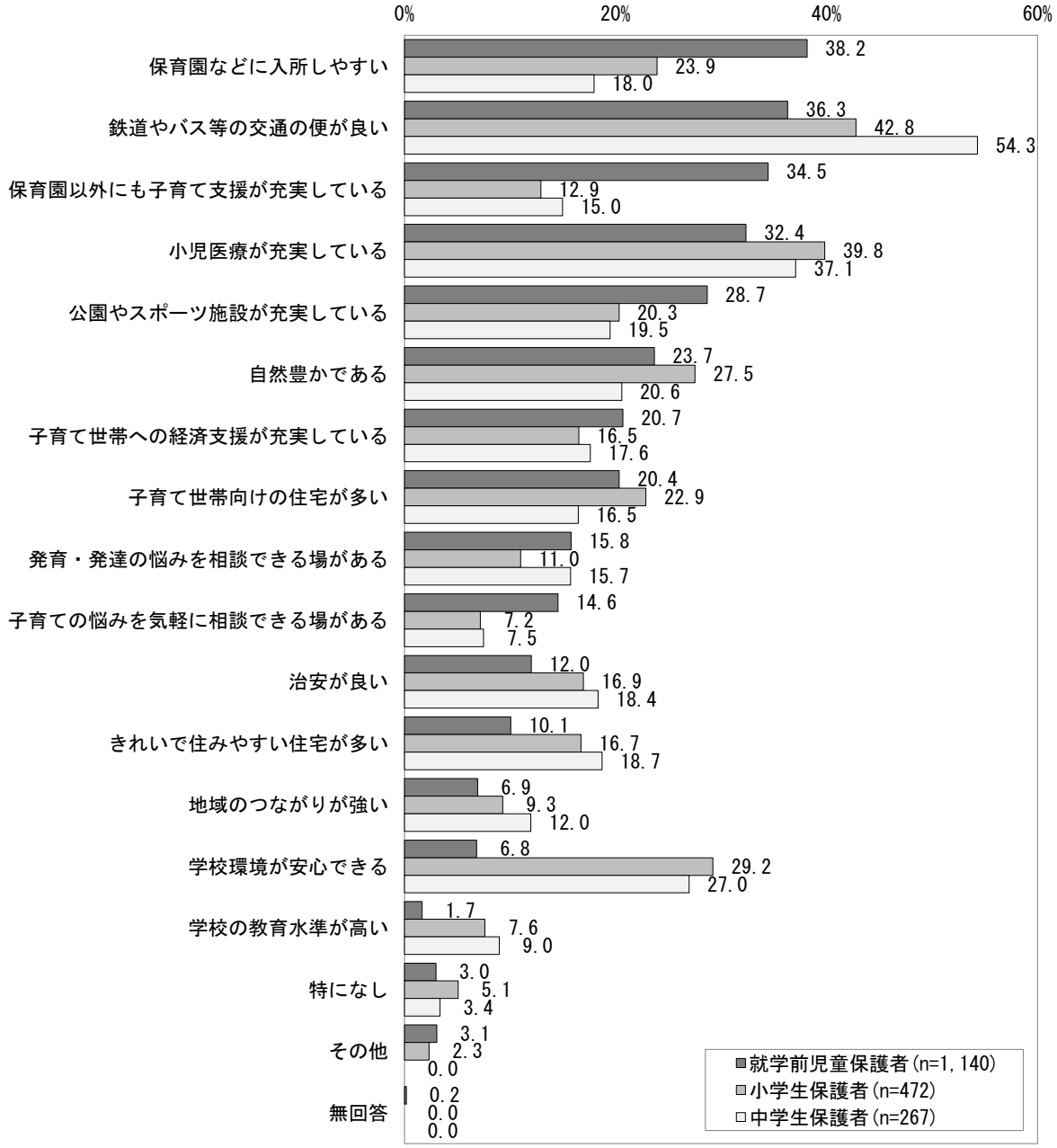
(2)子育て環境に満足する理由

就学前児童保護者 問 7-1 、小学生保護者 問 28-1 、中学生保護者 問 24-1
【「子育て環境の満足度」で「とてもしやすい」または「しやすい」を選択した方のみ】
どのような点が、子育てがしやすいと感じますか。(複数回答)

就学前児童保護者では、「保育園などに入所しやすい」が 38.2%と最も高く、「鉄道やバス等の交通の便が良い」が 36.3%、「保育園以外にも子育て支援が充実している」が 34.5%と続いている。

小学生保護者では、「鉄道やバス等の交通の便が良い」が 42.8%と最も高く、「小児医療が充実している」が 39.8%、「学校環境が安心できる」が 29.2%と続いている。

中学生保護者では、「鉄道やバス等の交通の便が良い」が 54.3%と最も高く、「小児医療が充実している」が 37.1%、「学校環境が安心できる」が 27.0%と続いている。



「その他」に寄せられた意見

「その他」には、44 件（就学前児童保護者 34 件、小学生保護者 10 件、中学生保護者 0 件）の記述回答が寄せられた。主な意見は次のとおり。

「その他」の意見（44 件）
【概要】 地域や近隣に住む家族・親族、ほっとるーむなど、周囲から子育て支援を受けられることが子育てのしやすさにつながっているという意見や、遊び場が充実しているという意見が寄せられている。
【地域のつながりに関すること】 ・すれ違う方々が、みんな子どもに対してあたたかい。 ・小さな子ども連れにやさしい飲食店が多い。 【近隣に住む家族・親族に関すること】 ・自分の両親が近くにいるから。 ・親せきが近くにいる。 【ほっとるーむに関すること】 ・預け先に困った時、ほっとるーむの存在に大変助けられました。すごく便利で助かります。 ・ほっとるーむが助かる。 【遊び場に関すること】 ・未就学児でも遊べる場所が多い。 ・公園が多く、ベビーカーの移動もしやすい。

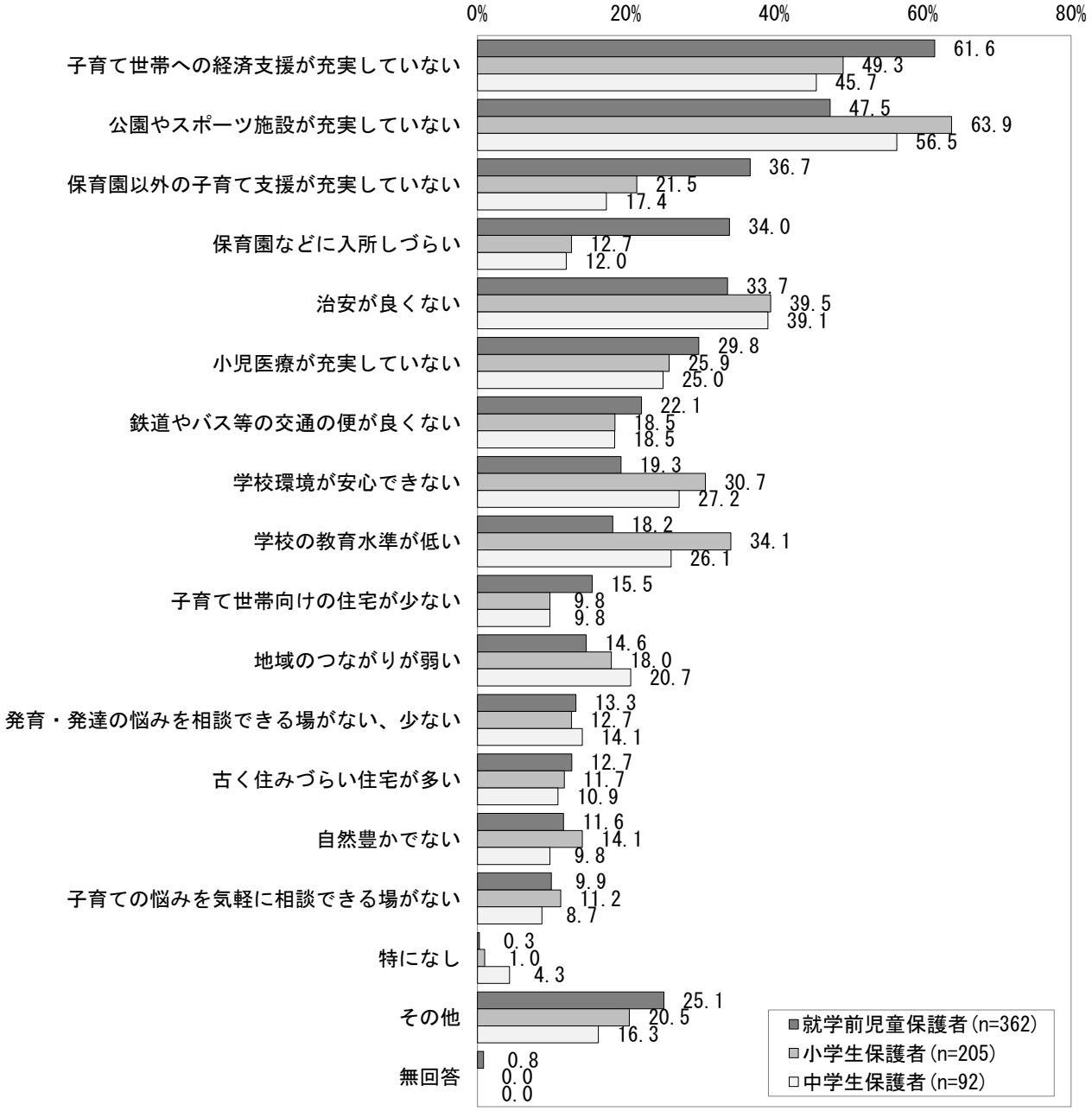
(3)子育て環境に不満の理由

就学前児童保護者 問 7-2 、小学生保護者 問 28-2 、中学生保護者 問 24-2
【「子育て環境の満足度」で「あまりしやすくない」または「しやすくない」を選択した方のみ】
どのような点が、子育てがしやすくないと感じますか。(複数回答)

就学前児童保護者では、「子育て世帯への経済支援が充実していない」が 61.6%と最も高く、「公園やスポーツ施設が充実していない」が 47.5%、「保育園以外の子育て支援が充実していない」が 36.7%と続いている。

小学生保護者では、「公園やスポーツ施設が充実していない」が 63.9%と最も高く、「子育て世帯への経済支援が充実していない」が 49.3%、「治安が良くない」が 39.5%と続いている。

中学生保護者では、「公園やスポーツ施設が充実していない」が 56.5%と最も高く、「子育て世帯への経済支援が充実していない」が 45.7%、「治安が良くない」が 39.1%と続いている。



「その他」に寄せられた意見

「その他」には、148 件（就学前児童保護者 96 件、小学生保護者 40 件、中学生保護者12件）の記述回答が寄せられた。主な意見は次のとおり。

「その他」の意見（148 件）
【概要】 最も多かったのは道路に関することで、歩道の狭さや坂が多いことにより、ベビーカーで移動しづらい、自転車に子どもをのせていると危険を感じるなどの意見が寄せられている。
【道路に関すること】 ・坂が多く子どもを連れて歩きにくい。 ・安心して散歩できる道が少ない。交通量も多く、運転が荒い人が多い。 ・歩道がせまくてベビーカーが通りづらい。 ・道路がせまい。子どもをのせて自転車に乗るのが怖いと思うときがある。 【公園に関すること】 ・小学生以上の遊べる場所が少ない。 ・公園の遊具が古いものが多い。 ・公園の駐車場が有料であること。 【図書館に関すること】 ・図書館をきれいにしてほしい。 ・図書館に子ども同士で行っても居づらい。 【医療に関すること】 ・子どもの医療費が無償ではない。 【障害に関すること】 ・障害者に優しくない。

第3節　保護者の就労状況

■結果の概要

・就学前児童の母親において特にフルタイム就労の割合が最も高く、小学生・中学生の母親はパートタイム・アルバイト等の割合が高くなっている。経年比較では、就学前児童・小学生の母親において、フルタイム就労の割合が高まっており、フルタイム就労と育児を両立する母親が増加していると考えられる。

・就労時間については、母親が8時間未満の割合が最も高いのに対し、父親は8時間超の割合が最も高くなっている。また、父親は夜勤もある就労形態の人が約2割となっており、父親に長時間就労・夜間就労の傾向がある。

・柔軟な働き方については、就学前児童の母親が「育児のための短時間勤務制度」を利用している割合が約4割と高く、小学生の母親でも約2割となっている。テレワークについては、母親では就学前の利用が最も多く約2割が利用している。父親では、いずれの調査でも約2割がテレワークを利用している。柔軟な働き方をすることによって、約5割が仕事と子育ての両立がうまくいくようになったと回答している。

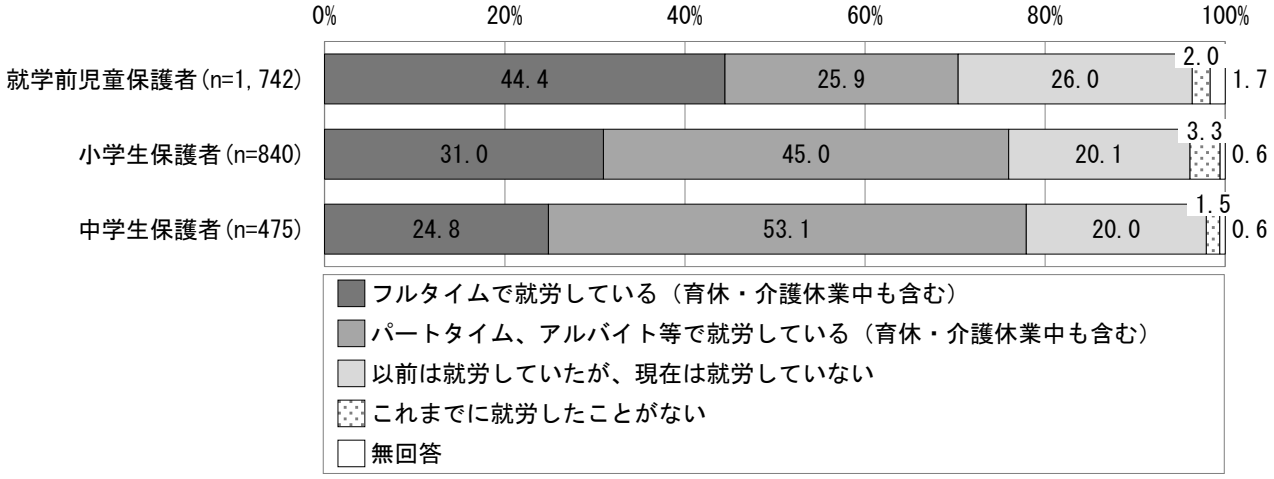
・離職を経験した母親の約6割が、家事・育児に専念するために自発的にやめている。その他の原因として、勤務時間や配偶者・パートナーの勤務地、自身の体調などが、それぞれ約2割となっている。

(1)就労状況

就学前児童保護者 問８ 、小学生保護者 問４ 、中学生保護者 問３
宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業を含む)についてお答えください。(単数回答)

①母親

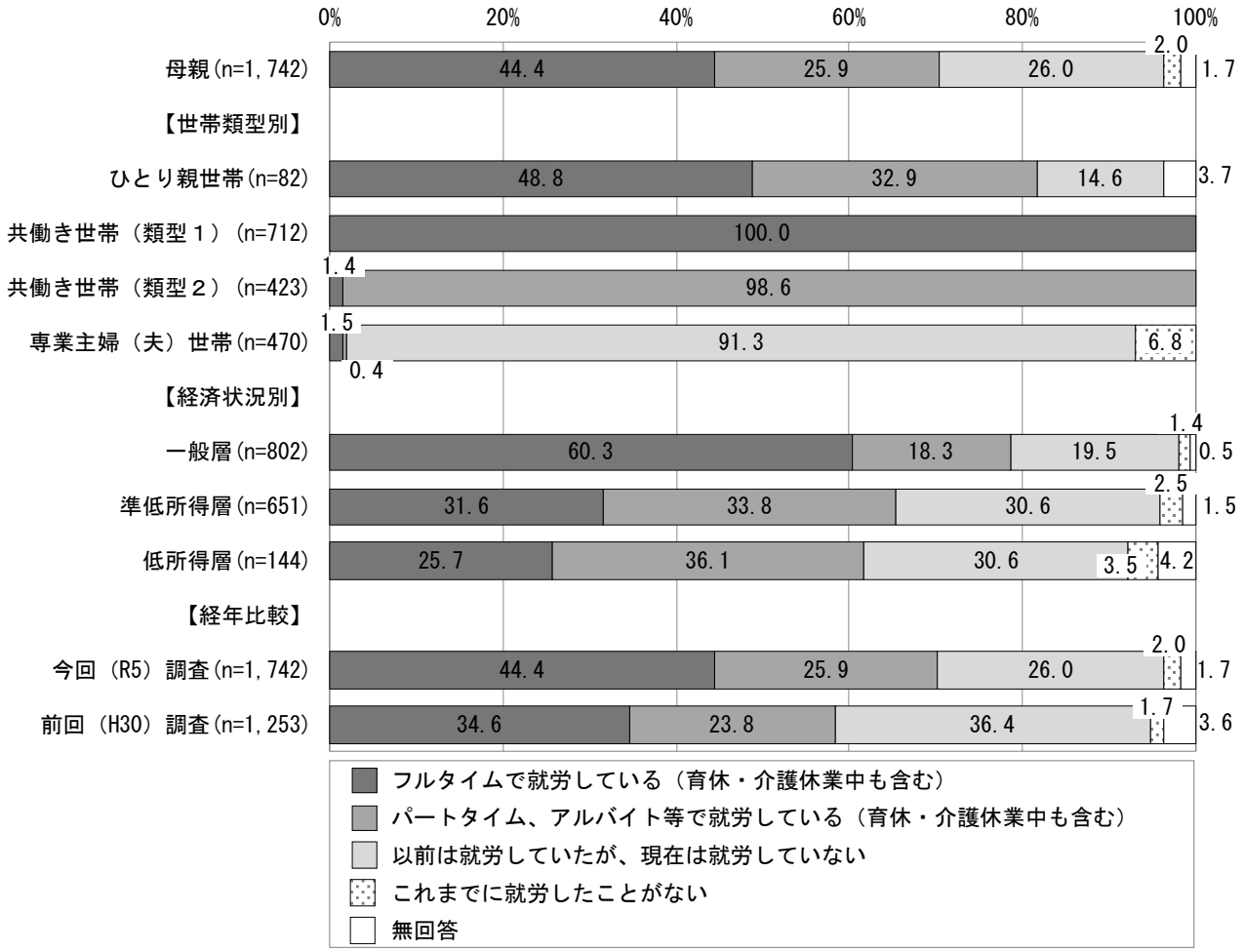
就学前児童保護者において「フルタイムで就労している(育休・介護休業中も含む)」の割合が最も高く、小学生、中学生と子どもの年齢が高いほど保護者の「パートタイム、アルバイト等で就労している(育休・介護休業中も含む)」の割合が高くなっている。中学生保護者においては、「パートタイム、アルバイト等で就労している(育休・介護休業中も含む)」が約半数となっている。



就学前児童保護者

世帯類型別にみると、ひとり親世帯においては、「フルタイムで就労している（育休・介護休業中も含む）」の割合が最も高くなっている。経済状況別にみると、準低所得層・低所得層において、一般層よりも「フルタイムで就労している（育休・介護休業中も含む）」の割合が低くなっている。

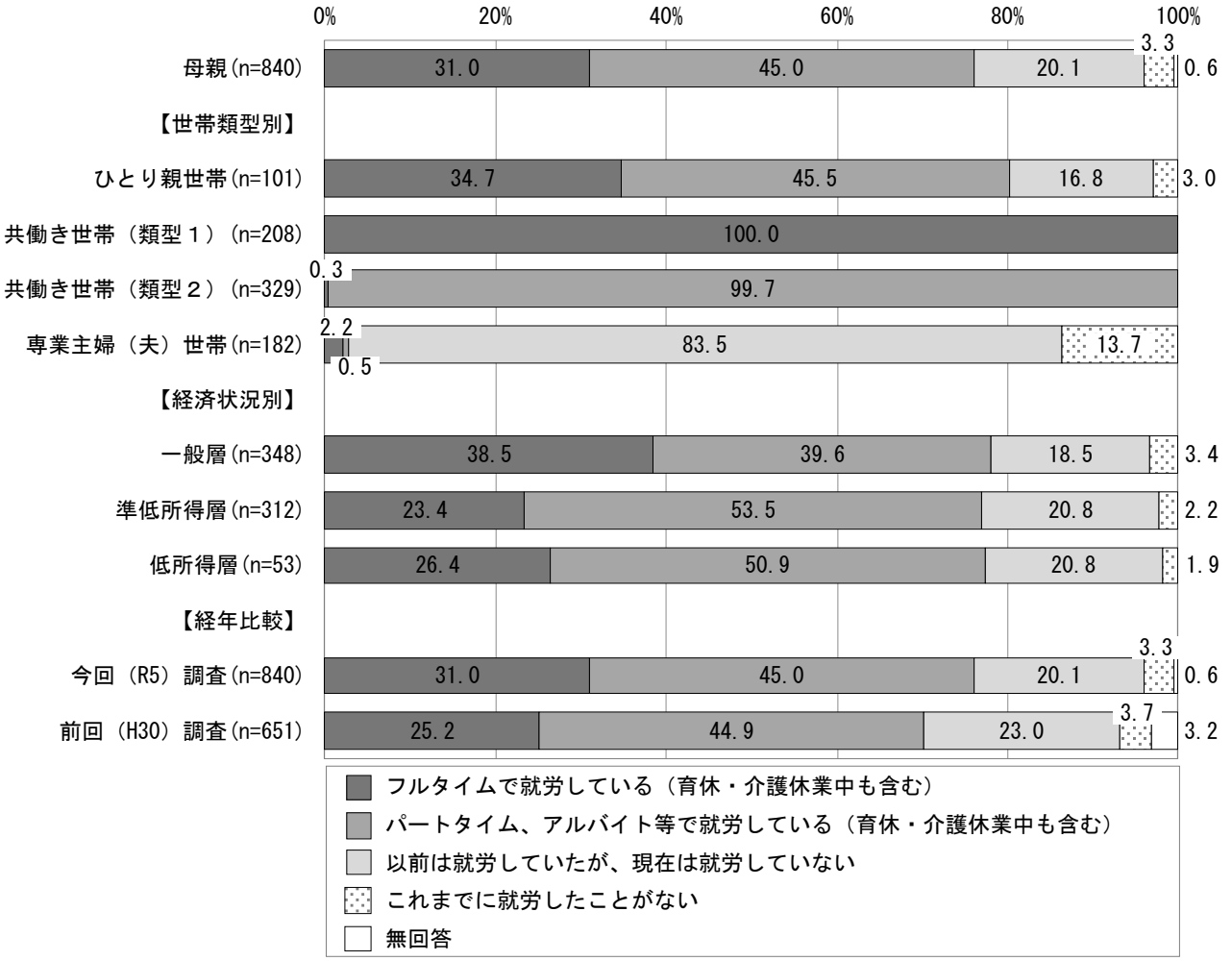
経年比較では、前回調査よりも「フルタイムで就労している（育休・介護休業中も含む）」の割合が高くなっている。



小学生保護者

世帯類型別にみると、ひとり親世帯においては、「パートタイム、アルバイト等で就労している（育休・介護休業中も含む）」の割合が最も高くなっている。経済状況別にみると、準低所得層・低所得層において、一般層よりも「フルタイムで就労している（育休・介護休業中も含む）」の割合が低くなっている。

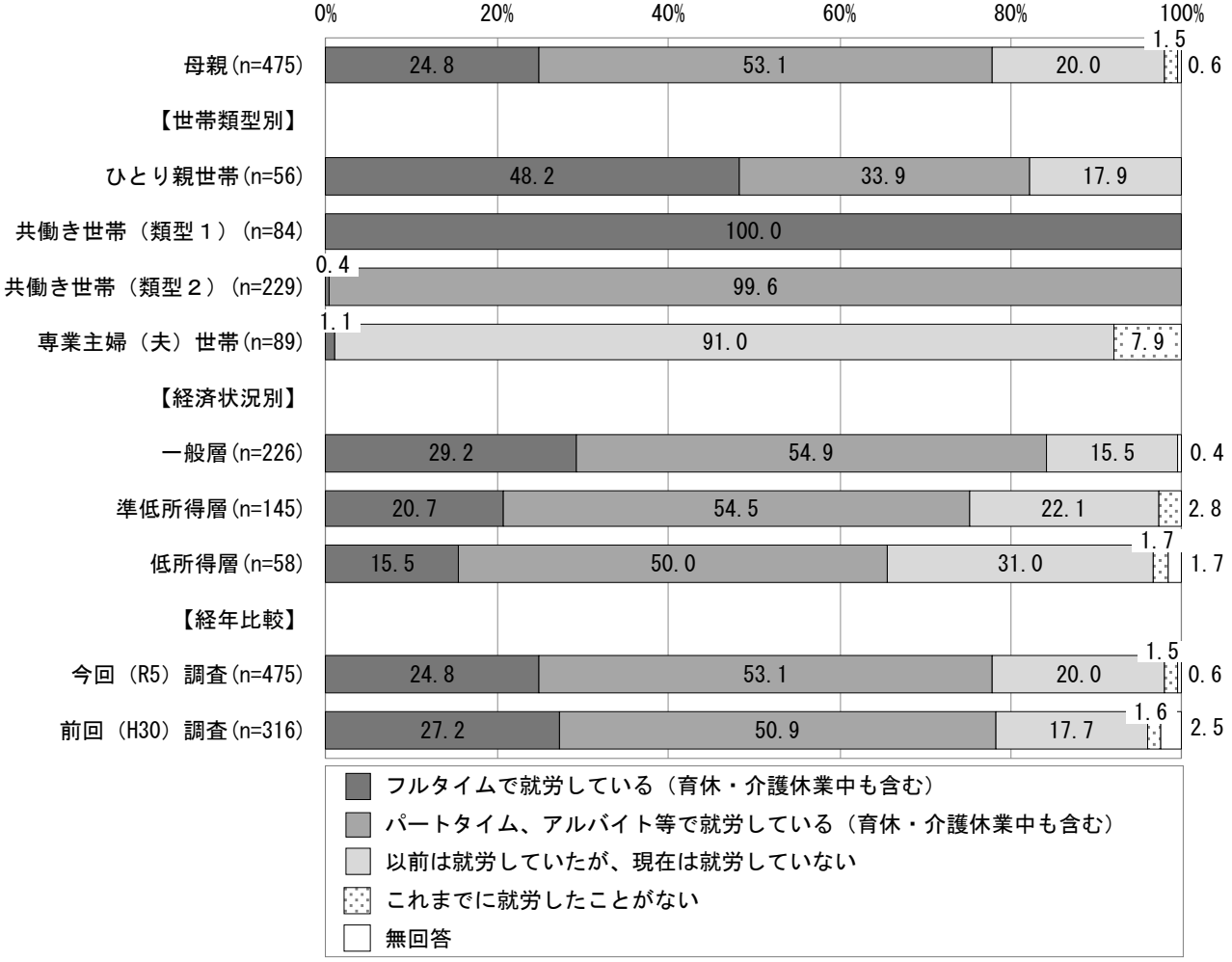
経年比較では、前回調査よりも「フルタイムで就労している（育休・介護休業中も含む）」の割合が高くなっている。



中学生保護者

世帯類型別にみると、ひとり親世帯においては、「フルタイムで就労している（育休・介護休業中も含む）」の割合が最も高くなっている。経済状況別にみると、準低所得層・低所得層において、一般層よりも「フルタイムで就労している（育休・介護休業中も含む）」の割合が低くなっている。

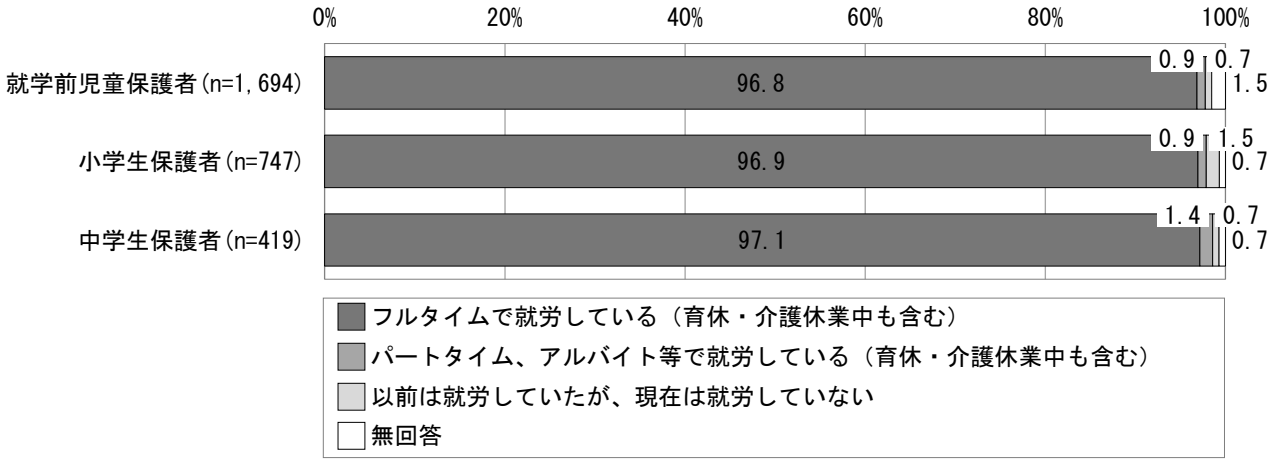
経年比較では大きな違いはみられない。



②父親

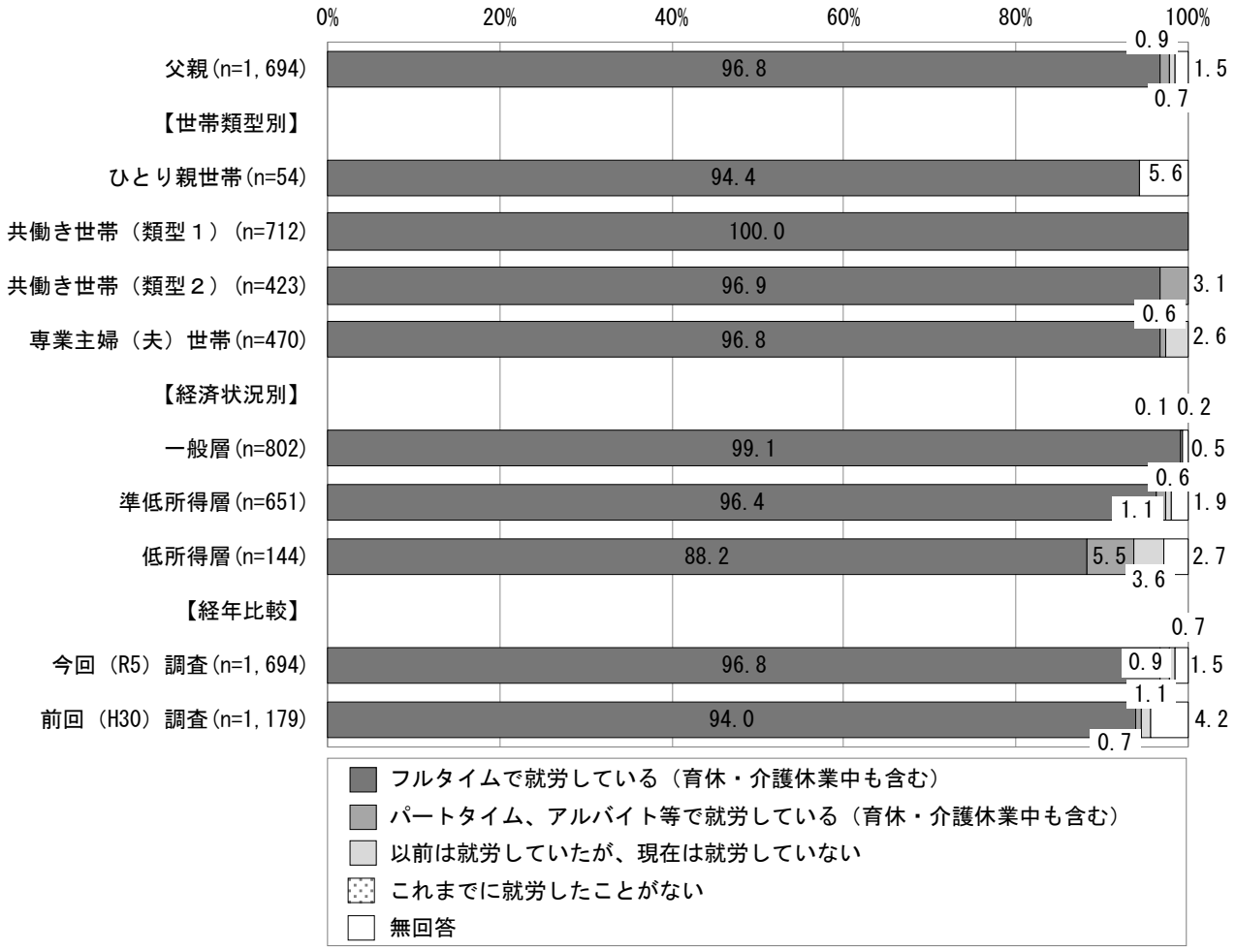
いずれの調査においても大きな違いはみられず、ほぼすべてが「フルタイムで就労している（育休・介護休業中も含む）」となっている。

経年比較では、前回調査においても、回答者のほぼすべてが「フルタイムで就労している（育休・介護休業中も含む）」となっている。



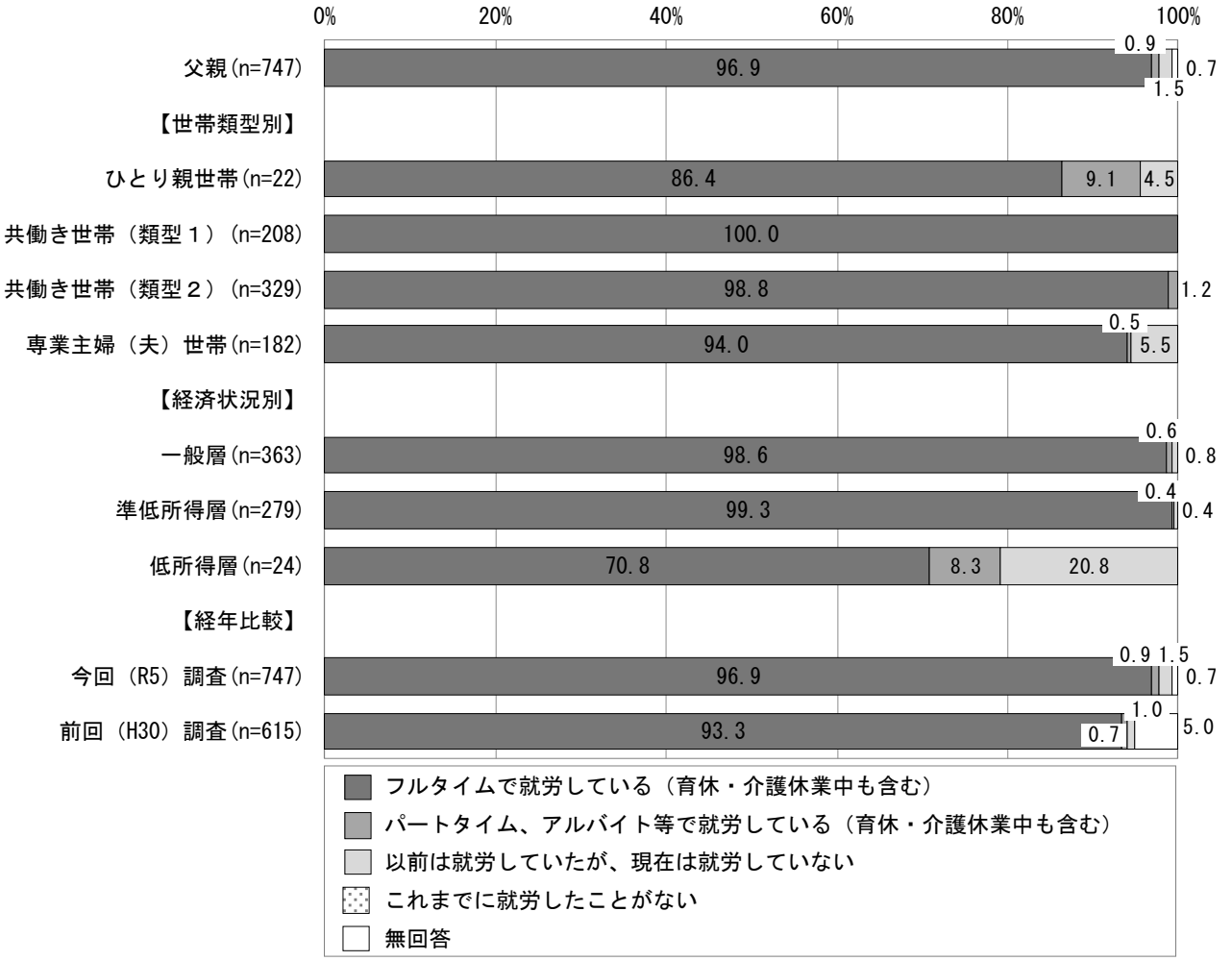
就学前児童保護者

経済状況別にみると、低所得層において、一般層・準低所得層よりも「フルタイムで就労している（育休・介護休業中も含む）」の割合が低くなっている。



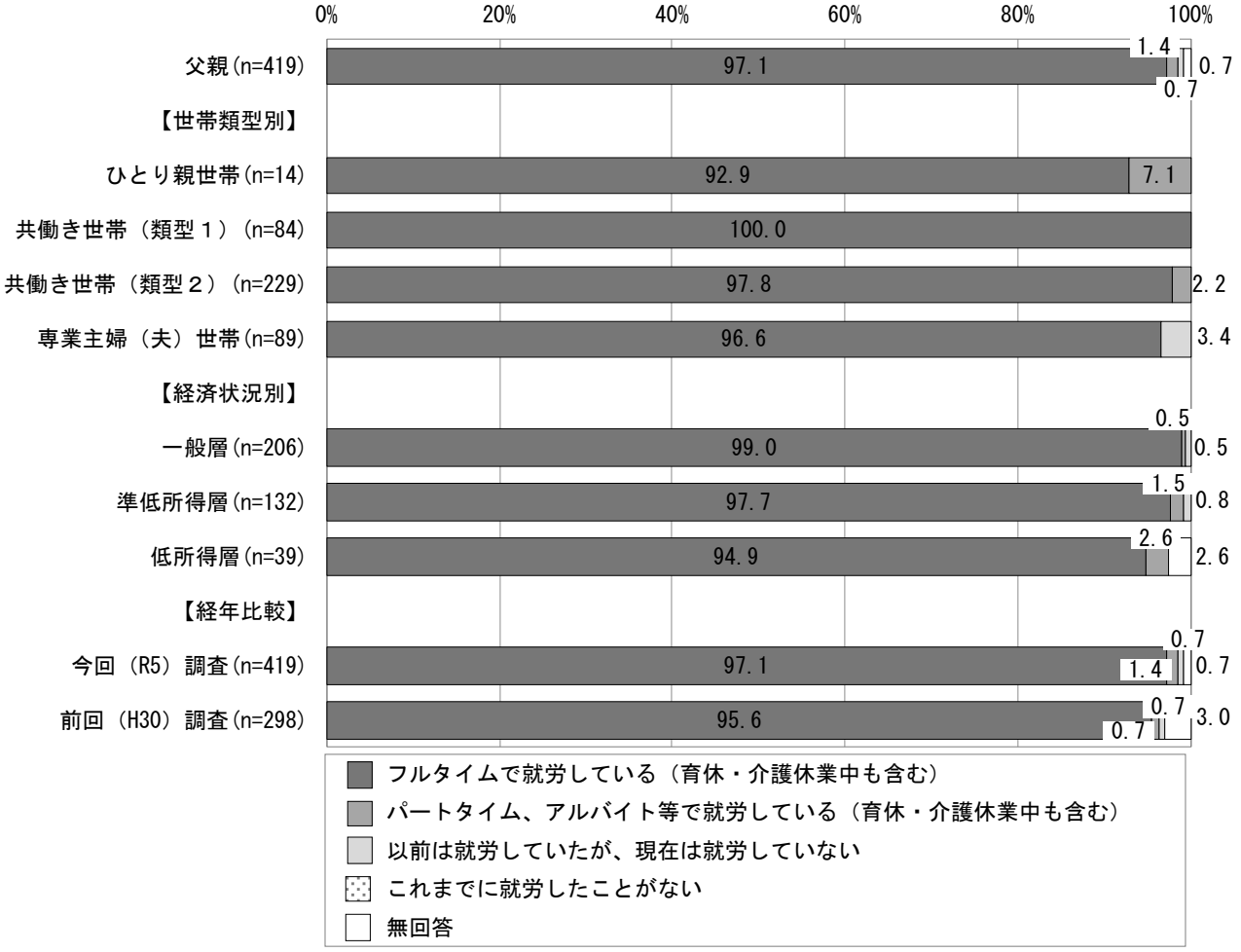
小学生保護者

世帯類型別にみると、ひとり親世帯において、「フルタイムで就労している（育休・介護休業中も含む）」の割合が、他の世帯類型よりも低くなっている。経済状況別にみると、低所得層において、一般層・準低所得層よりも「フルタイムで就労している（育休・介護休業中も含む）」の割合が低くなっている。



中学生保護者

世帯類型別にみると、ひとり親世帯において、「フルタイムで就労している（育休・介護休業中も含む）」の割合が低くなっている。経済状況別にみると、低所得層において、一般層・準低所得層よりも「フルタイムで就労している（育休・介護休業中も含む）」の割合が低くなっている。



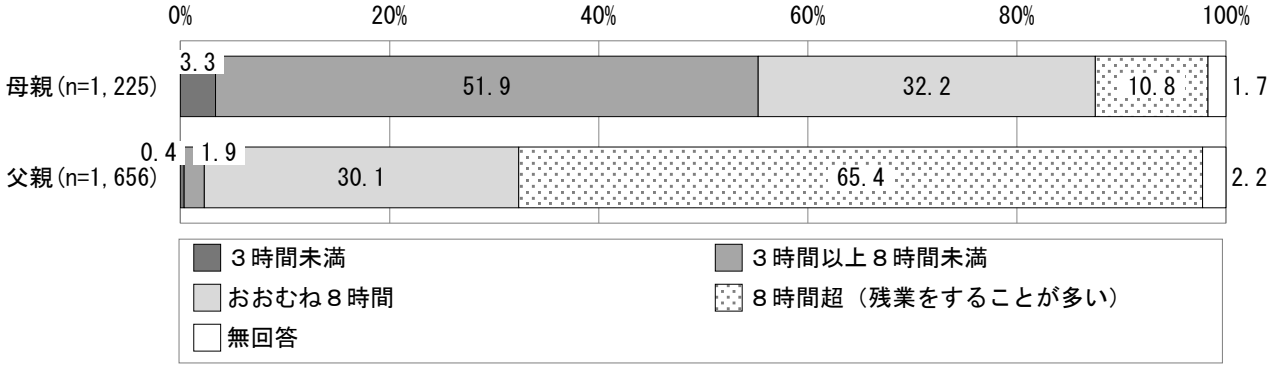
(2)就労時間・就労時間帯

就学前児童保護者 問 9
【「就労状況」で「フルタイムで就労している」または「パートタイム、アルバイト等で就労している」を選択した方のみ】
平日の就労時間と就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。(単数回答)

①就労時間

母親では、「3時間以上8時間未満」が 51.9%と最も高く、「おおむね8時間」が 32.2%、「8時間超(残業をすることが多い)」が 10.8%と続いている。

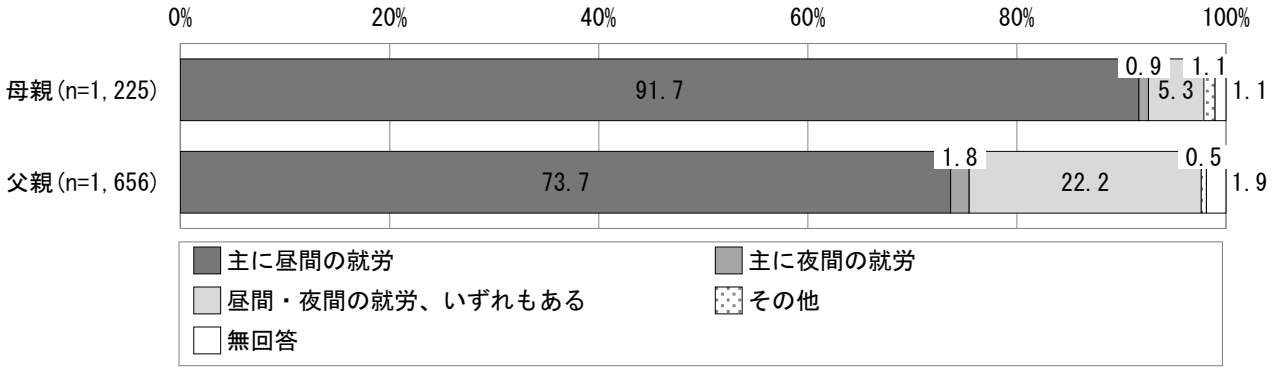
父親では、「8時間超(残業をすることが多い)」が 65.4%と最も高く、「おおむね8時間」が 30.1%、「3時間以上8時間未満」が 1.9%と続いている。



②就労時間帯

母親では、「主に昼間の就労」が 91.7%と最も高く、「昼間・夜間の就労、いずれもある」が 5.3%、「主に夜間の就労」が 0.9%と続いている。

父親では、「主に昼間の就労」が 73.7%と最も高く、「昼間・夜間の就労、いずれもある」が 22.2%、「主に夜間の就労」が 1.8%と続いている。



(3)柔軟な働き方

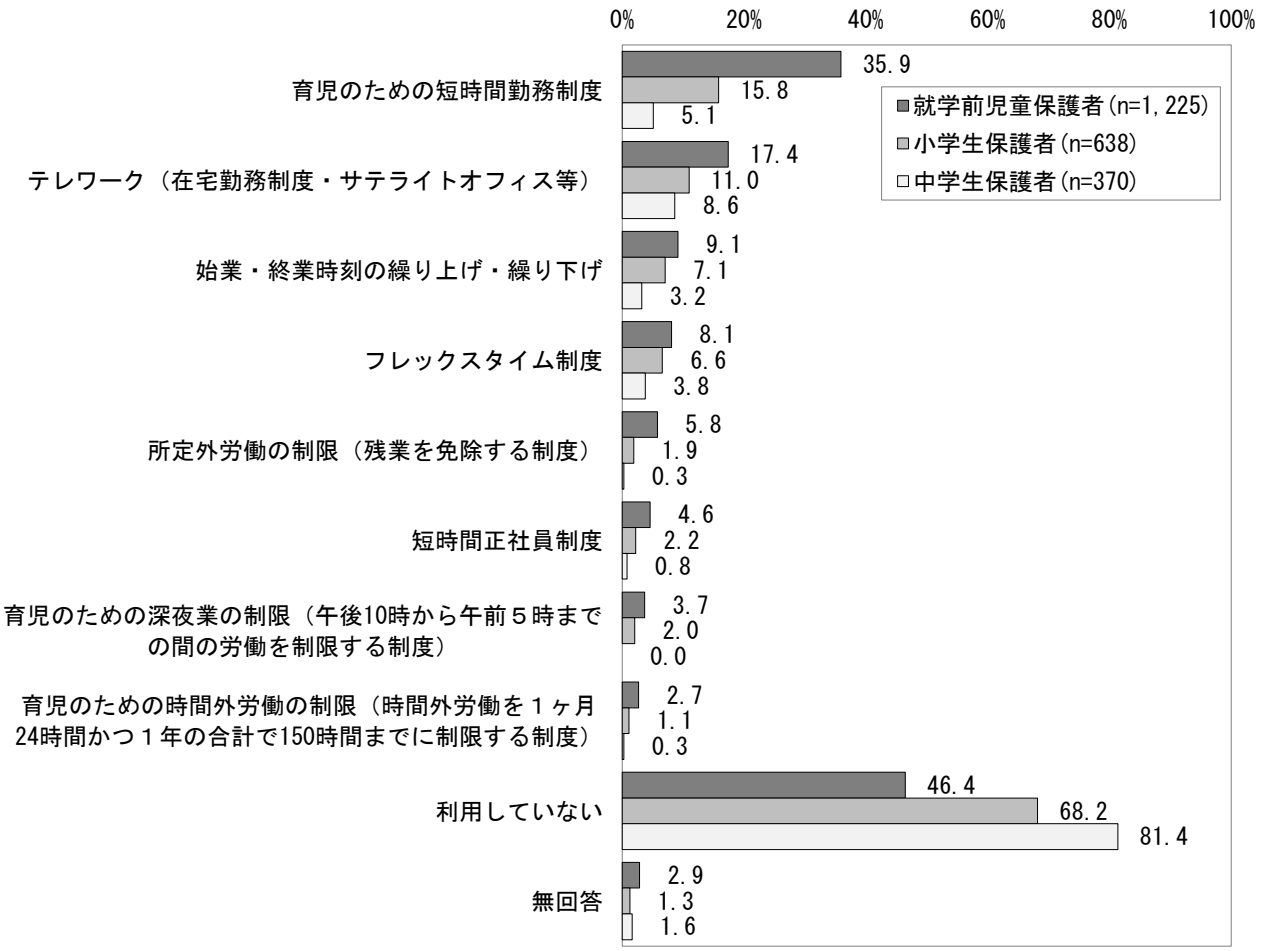
就学前児童保護者 問 9-1 、小学生保護者 問 4-1 、中学生保護者 問 3-1
現在、次のような柔軟な働き方を可能にする制度を利用していますか。(複数回答)

①母親

就学前児童保護者では、「利用していない」が 46.4%と最も高く、「育児のための短時間勤務制度」が 35.9%、「テレワーク(在宅勤務制度・サテライトオフィス等)」が 17.4%と続いている。

小学生保護者では、「利用していない」が 68.2%と最も高く、「育児のための短時間勤務制度」が 15.8%、「テレワーク(在宅勤務制度・サテライトオフィス等)」が 11.0%と続いている。

中学生保護者では、「利用していない」が 81.4%と最も高く、「テレワーク(在宅勤務制度・サテライトオフィス等)」が 8.6%、「育児のための短時間勤務制度」が 5.1%と続いている。

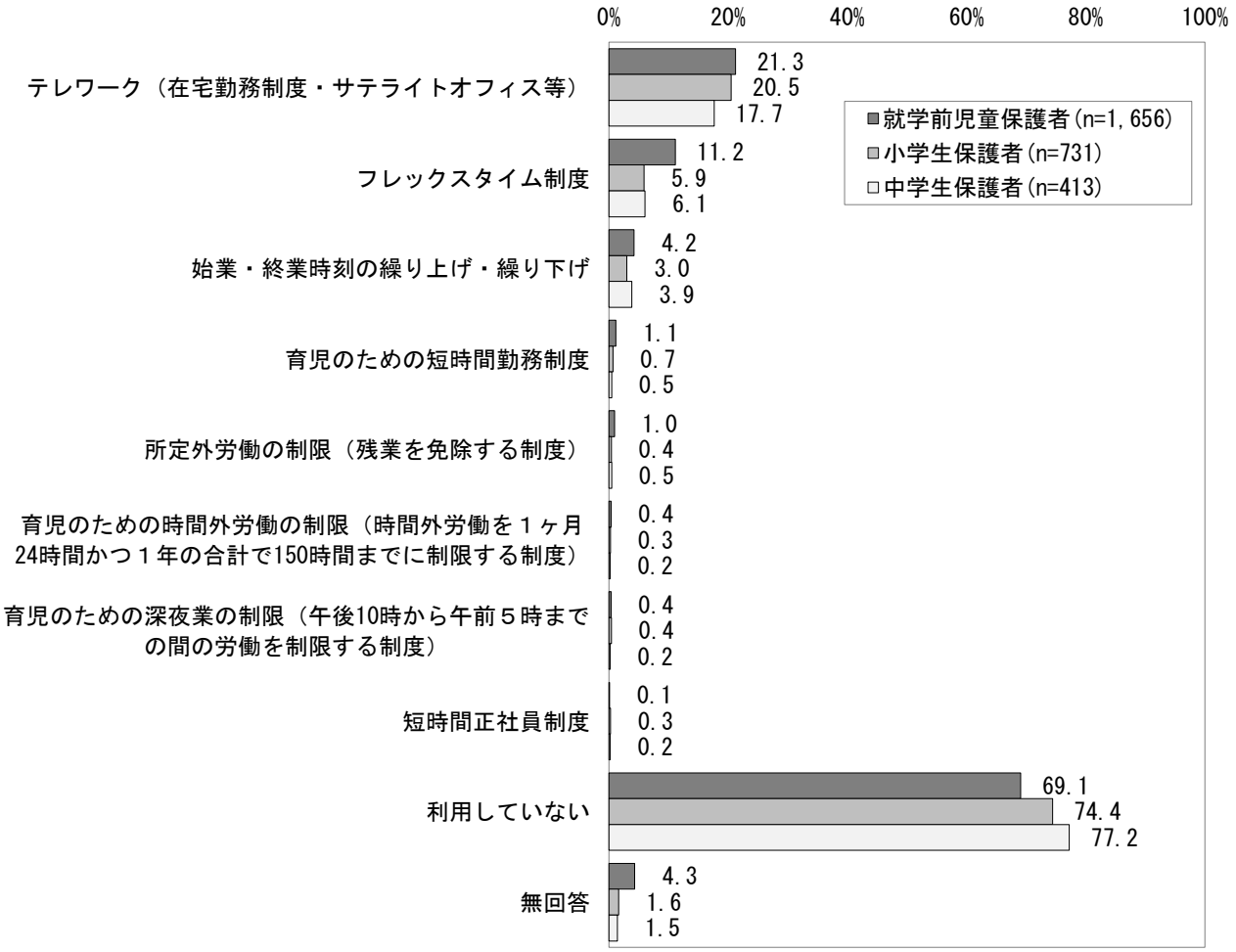


②父親

就学前児童保護者では、「利用していない」が69.1%と最も高く、「テレワーク（在宅勤務制度・サテライトオフィス等）」が21.3%、「フレックスタイム制度」が11.2%と続いている。

小学生保護者では、「利用していない」が74.4%と最も高く、「テレワーク（在宅勤務制度・サテライトオフィス等）」が20.5%、「フレックスタイム制度」が5.9%と続いている。

中学生保護者では、「利用していない」が77.2%と最も高く、「テレワーク（在宅勤務制度・サテライトオフィス等）」が17.7%、「フレックスタイム制度」が6.1%と続いている。

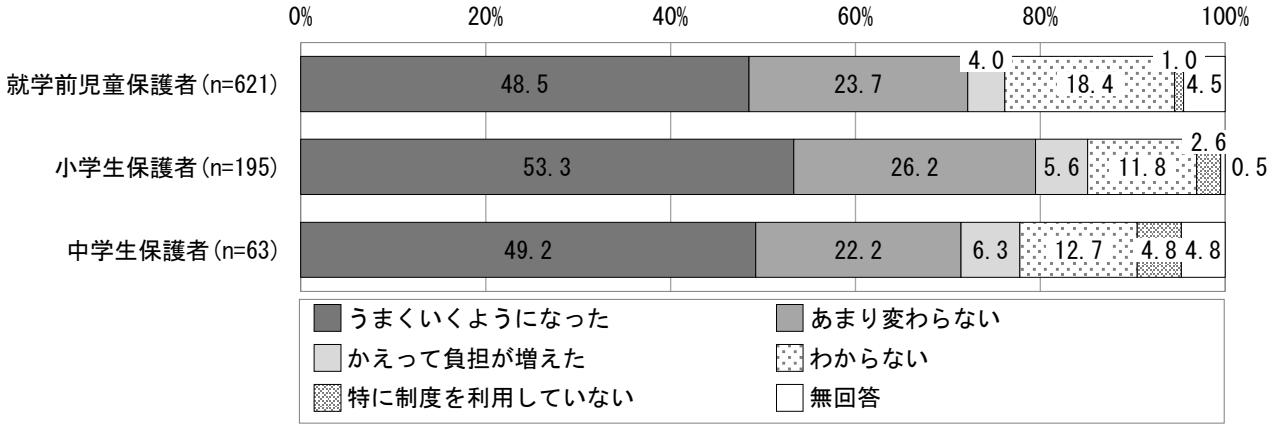


(4)ワークライフバランス

就学前児童保護者 問 9-2 、小学生保護者 問 4-2 、中学生保護者 問 3-2
【「柔軟な働き方」で「育児のための短時間勤務制度」～「テレワーク（在宅勤務制度・サテライトオフィス等）」を選択した方のみ】
柔軟な働き方をすることで、仕事と子育ての両立はうまくいくようになったと思いますか。（単数回答）

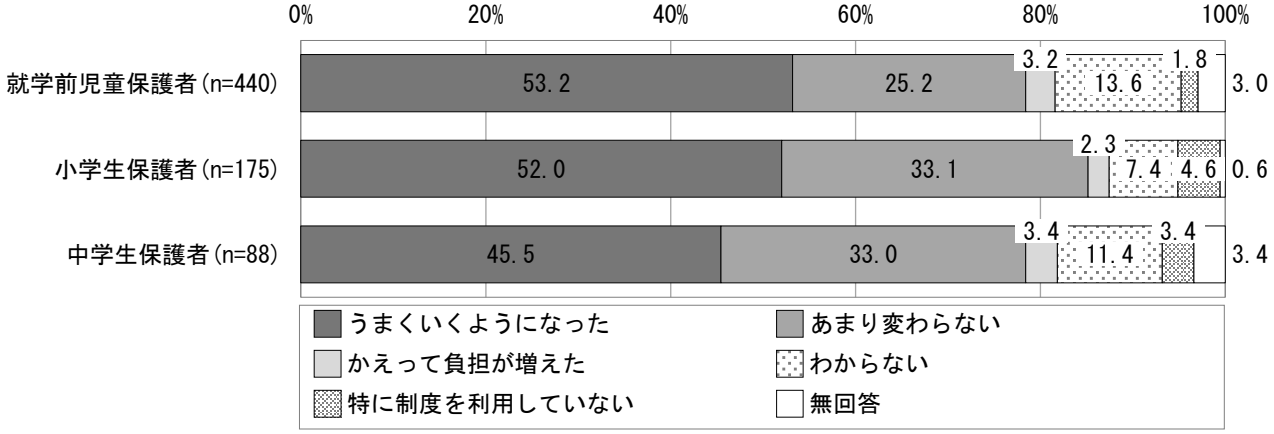
①母親

いずれの調査でも、「(3)柔軟な働き方」をすることによって、仕事と子育ての両立が「うまくいくようになった」とする割合が最も高く、約5割となっている。



②父親

いずれの調査でも、「(3)柔軟な働き方」をすることによって、仕事と子育ての両立が「うまくいくようになった」とする割合が最も高く、約5割となっている。

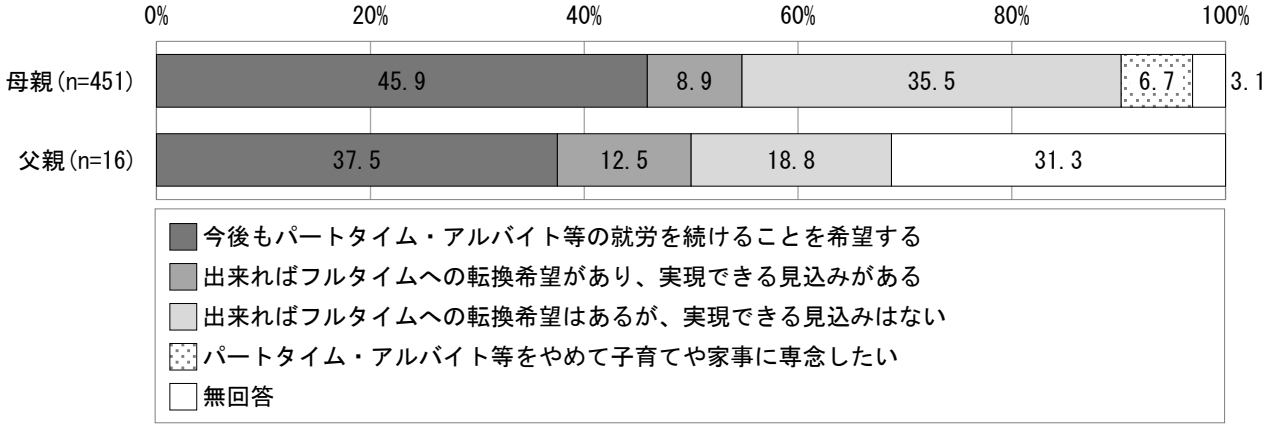


(5)パートタイム就労者のフルタイム転換希望

就学前児童保護者　問 10
【「就労状況」で「パートタイム、アルバイト等で就労している」を選択した方のみ】
フルタイムへの転換希望はありますか。(単数回答)

母親では、「今後もパートタイム・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が45.9%と最も高く、「出来ればフルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 35.5%、「出来ればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 8.9%と続いている。

父親では、「今後もパートタイム・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が37.5%と最も高く、「出来ればフルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 18.8%、「出来ればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 12.5%と続いている。

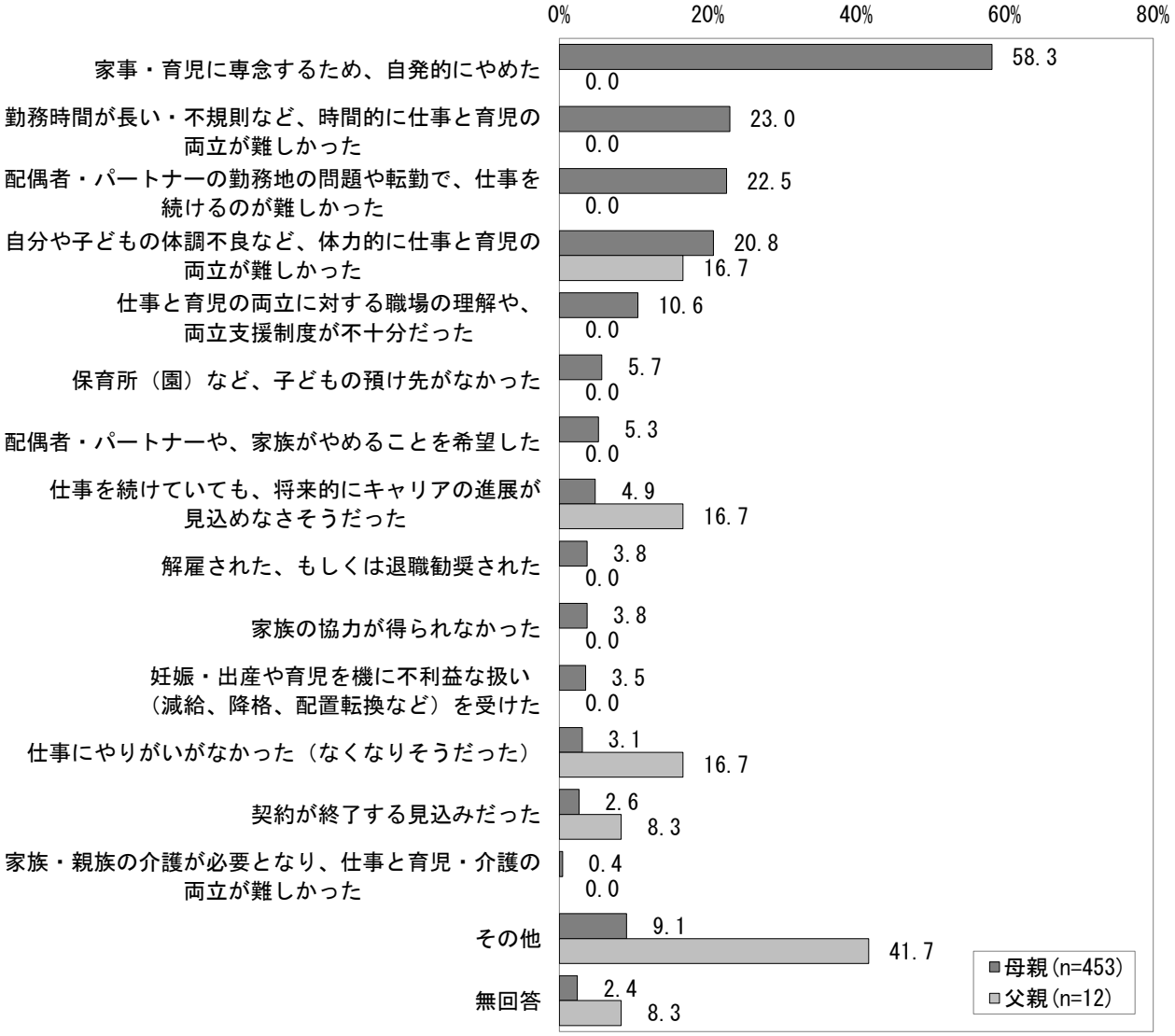


（6）離職経験者の離職理由

就学前児童保護者　問 11
【「就労状況」で「以前は就労していたが、現在は就労していない」を選択した方のみ】
離職した理由をお答えください。（複数回答）

母親では、「家事・育児に専念するため、自発的にやめた」が 58.3％と最も高く、「勤務時間が長い・不規則など、時間的に仕事と育児の両立が難しかった」が 23.0％、「配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかった」が 22.5％と続いている。

父親では、「自分や子どもの体調不良など、体力的に仕事と育児の両立が難しかった」と「仕事を続けていても、将来的にキャリアの進展が見込めなさそうだった」、「仕事にやりがいがなかった（なくなりそうだった）」が、それぞれ 16.7％と最も高くなっている。

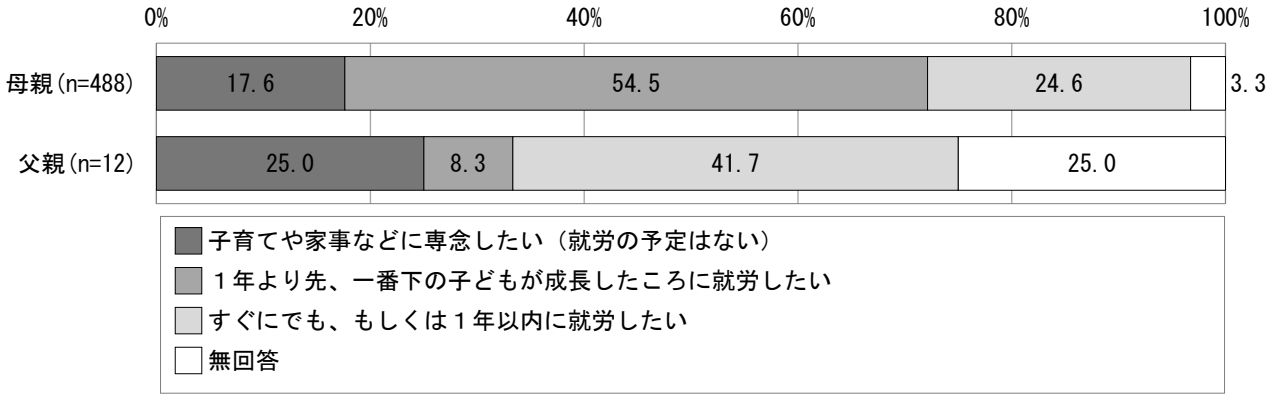


(7)未就労者の就労希望

就学前児童保護者　問 12
【「就労状況」で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」を選択した方のみ】
就労したいという希望はありますか。(単数回答)

母親では、「1年より先、一番下の子どもが成長したころに就労したい」が 54.5%と最も高く、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 24.6%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が 17.6%と続いている。

父親では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 41.7%と最も高く、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が 25.0%、「1年より先、一番下の子どもが成長したころに就労したい」が 8.3%と続いている。

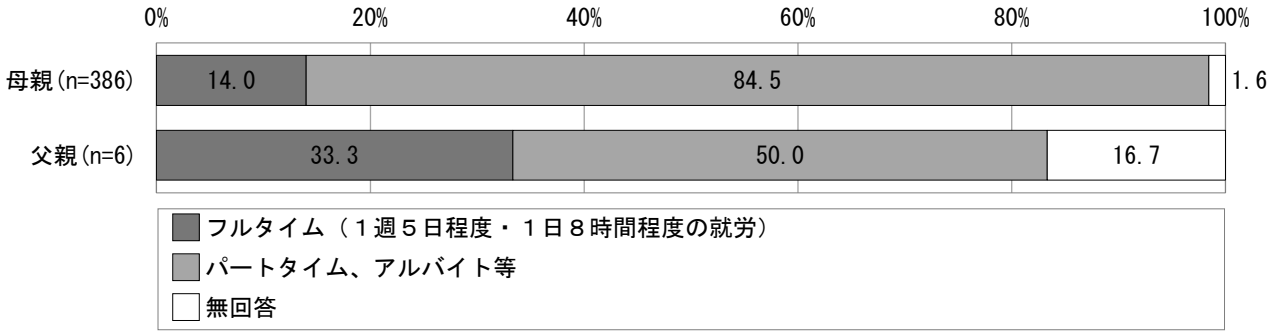


（8）未就労者の就労希望形態

就学前児童保護者　問 12-1
【「未就労者の就労希望」で「1年より先、一番下の子どもが成長したころに就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選択した方のみ】
希望する就労形態をお答えください。（単数回答）

母親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が 14.0%、「パートタイム、アルバイト等」が 84.5%となっている。

父親では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が 33.3%、「パートタイム、アルバイト等」が 50.0%となっている。



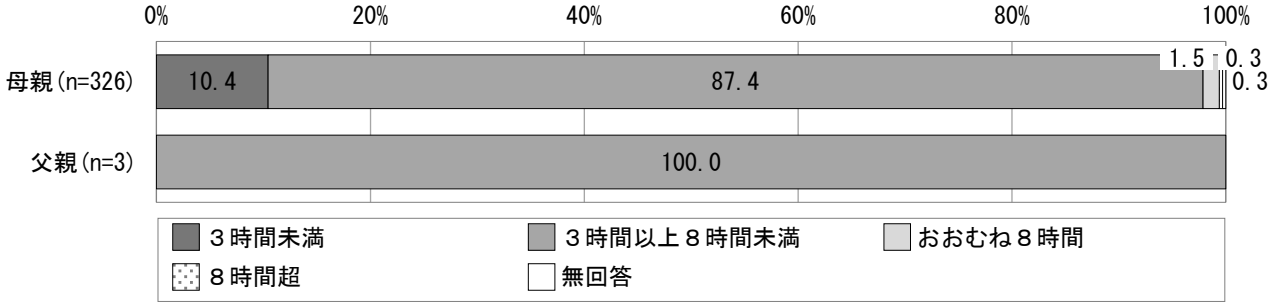
（9）未就労者の希望する就労時間・就労時間帯

就学前児童保護者　問 12-1
【「未就労者の就労希望形態」で「パートタイム、アルバイト等」を選択した方のみ】
希望する就労時間をお答えください。（単数回答）

①就労時間

母親では、「3時間以上8時間未満」が 87.4%と最も高く、「3時間未満」が 10.4%、「おおむね8時間」が 1.5%と続いている。

父親では、「3時間以上8時間未満」が 100.0%となっている。

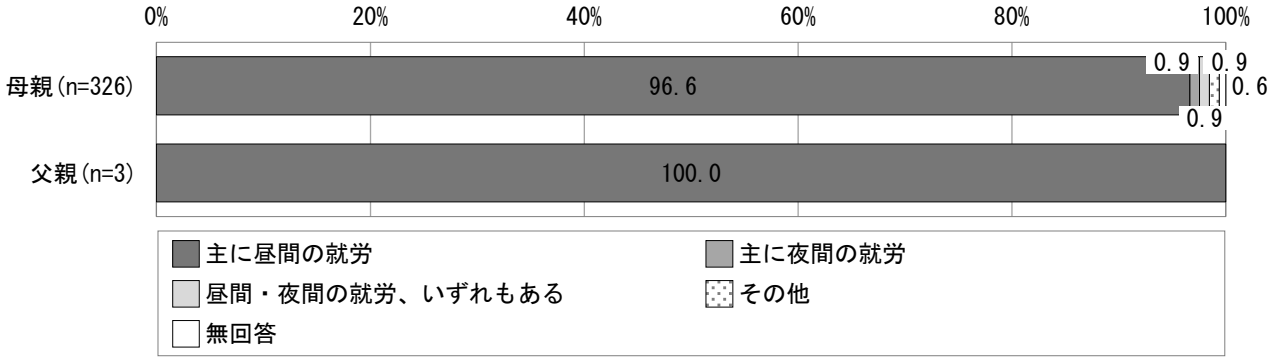


②就労時間帯

就学前児童保護者　問 12-1
【「未就労者の就労希望形態」で「パートタイム、アルバイト等」を選択した方のみ】
希望する就労時間帯をお答えください。（単数回答）

母親では、「主に昼間の就労」が 96.6%と最も高く、「主に夜間の就労」と「昼間・夜間の就労、いずれもある」、「その他」が、それぞれ 0.9%と続いている。

父親では、「主に昼間の就労」が 100.0%となっている。



第4節　育児休業の取得状況

■結果の概要

・父母とも、育児休業取得実績が増加しており、母親で約6割、父親で約2割となっている。また育児休業未取得の理由として、母親においては育児・家事のために退職した割合が減少し、父親においては家族・親族に子どもをみてもらえるため必要なかったという割合が減少している。父母ともに育児休業を取得し、育児に参加する傾向が、前回調査よりも強くみられる。

・職場復帰後、母親においては「労働時間が短くなった」、「帰宅時間を配慮されるようになった」など、職場からの配慮がみられるが、父親においては「特に変化はない」が約8割となっている。

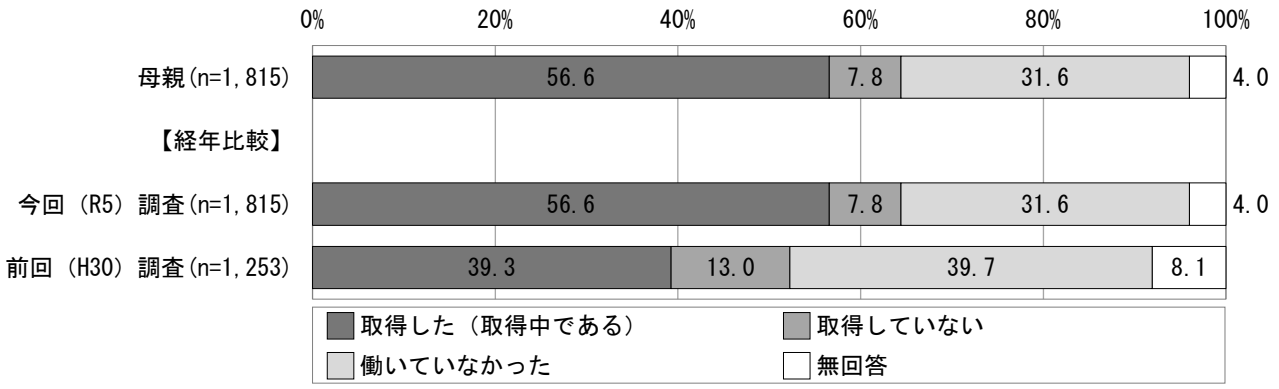
(1)育児休業取得実績

就学前児童保護者 問 13
宛名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(単数回答)

①母親

「取得した(取得中である)」が 56.6%と最も高く、「働いていなかった」が 31.6%、「取得していない」が 7.8%と続いている。

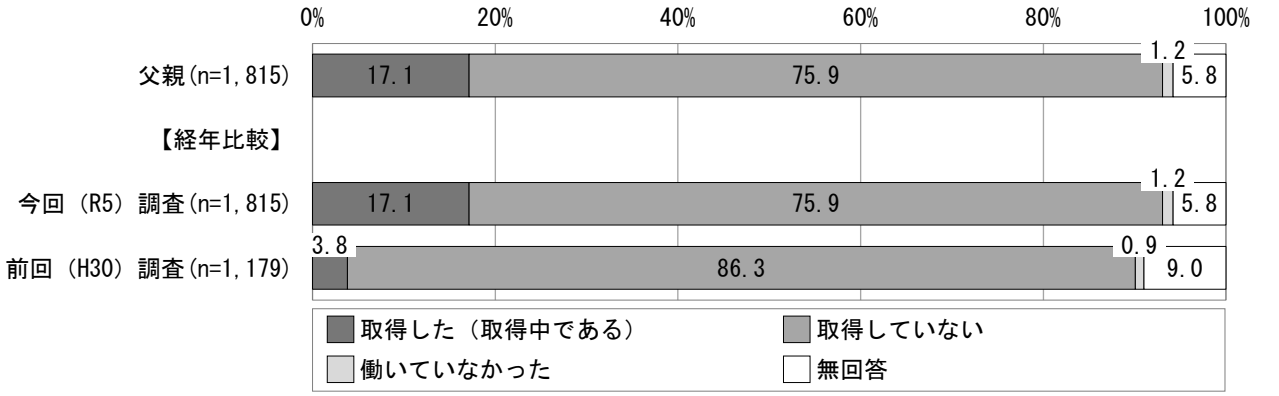
経年比較では、前回調査よりも「取得した(取得中である)」の割合が増加している。



②父親

「取得していない」が 75.9%と最も高く、「取得した(取得中である)」が 17.1%、「働いていなかった」が 1.2%と続いている。

経年比較では、前回調査よりも「取得した(取得中である)」の割合が増加している。



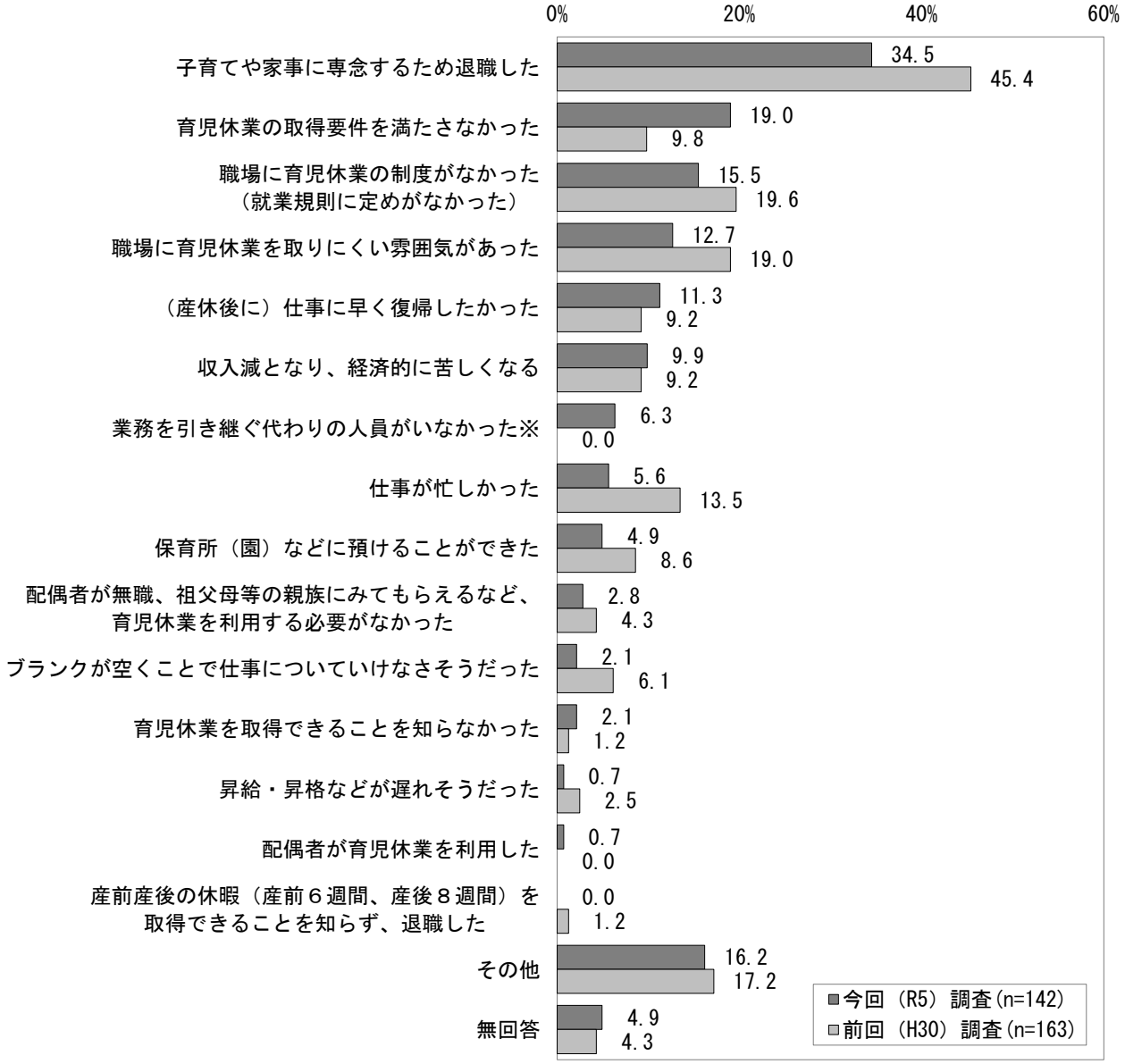
(2)育児休業未取得の理由

就学前児童保護者　問 13
【「育児休業取得実績」で「取得していない」を選択した方のみ】
理由はどのようなことですか。(複数回答)

①母親

「子育てや家事に専念するため退職した」が 34.5%と最も高く、「育児休業の取得要件を満たさなかった」が 19.0%、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が 15.5%と続いている。

経年比較では、前回調査よりも「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が減少している。

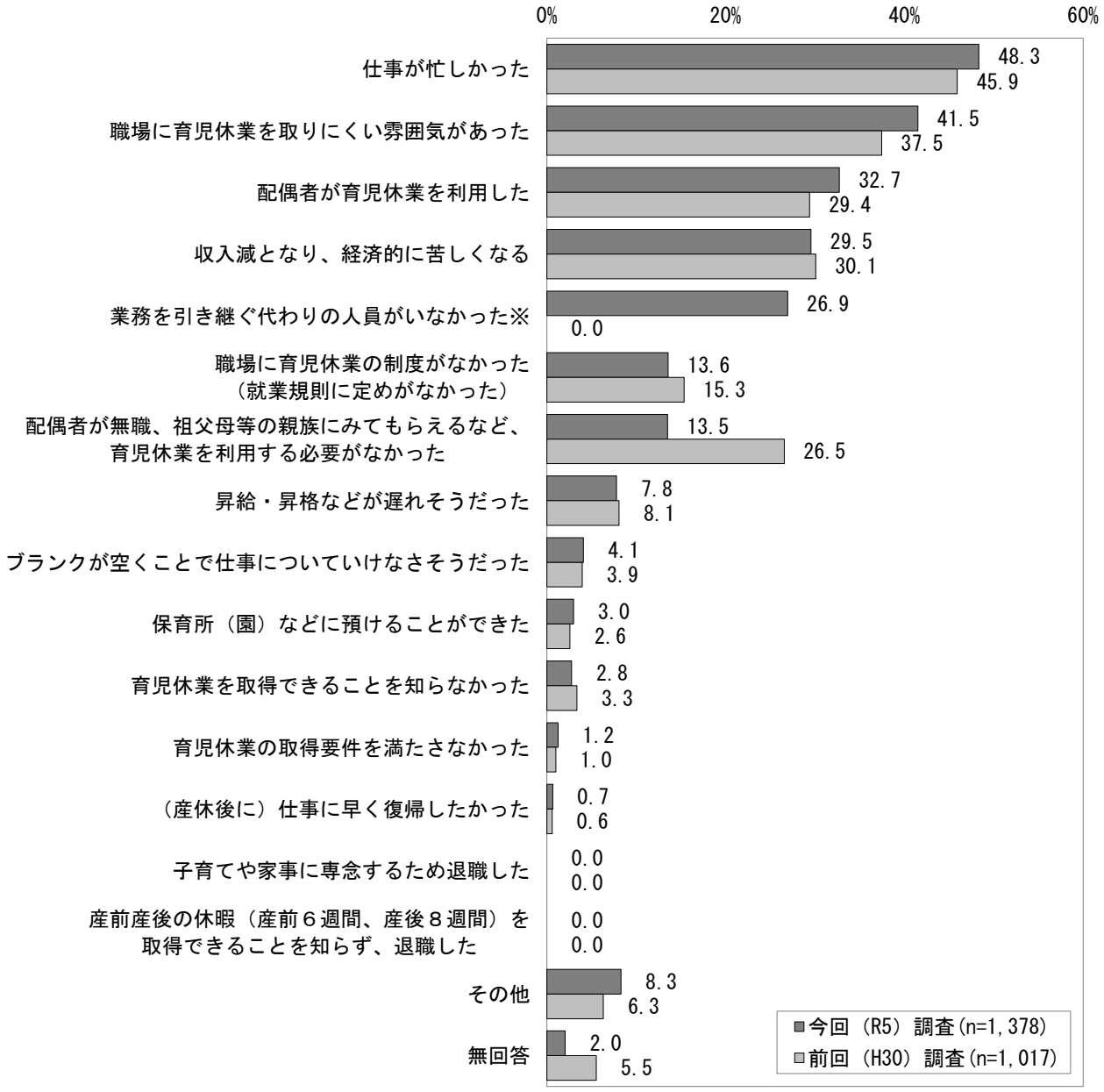


※「業務を引き継ぐ代わりの人員がいなかった」の選択肢は前回調査にはない。

②父親

「仕事が忙しかった」が 48.3%と最も高く、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 41.5%、「配偶者が育児休業を利用した」が 32.7%と続いている。

経年比較では、前回調査よりも「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、育児休業を利用する必要がなかった」の割合が減少している。



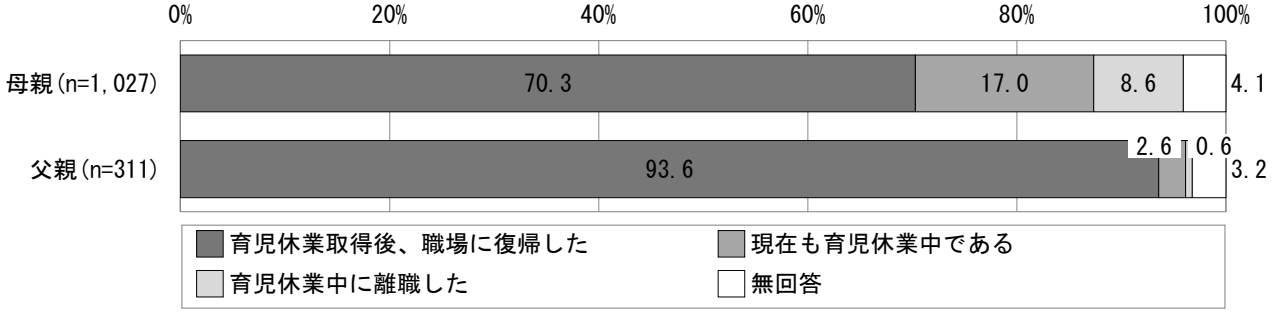
※「業務を引き継ぐ代わりの人員がいなかった」の選択肢は前回調査にはない。

（3）育児休業後の職場復帰

就学前児童保護者　問 13-1
【「育児休業取得実績」で「取得した（取得中である）」を選択した方のみ】
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（単数回答）

母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 70.3％と最も高く、「現在も育児休業中である」が 17.0％、「育児休業中に離職した」が 8.6％と続いている。

父親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 93.6％と最も高く、「現在も育児休業中である」が 2.6％、「育児休業中に離職した」が 0.6％と続いている。

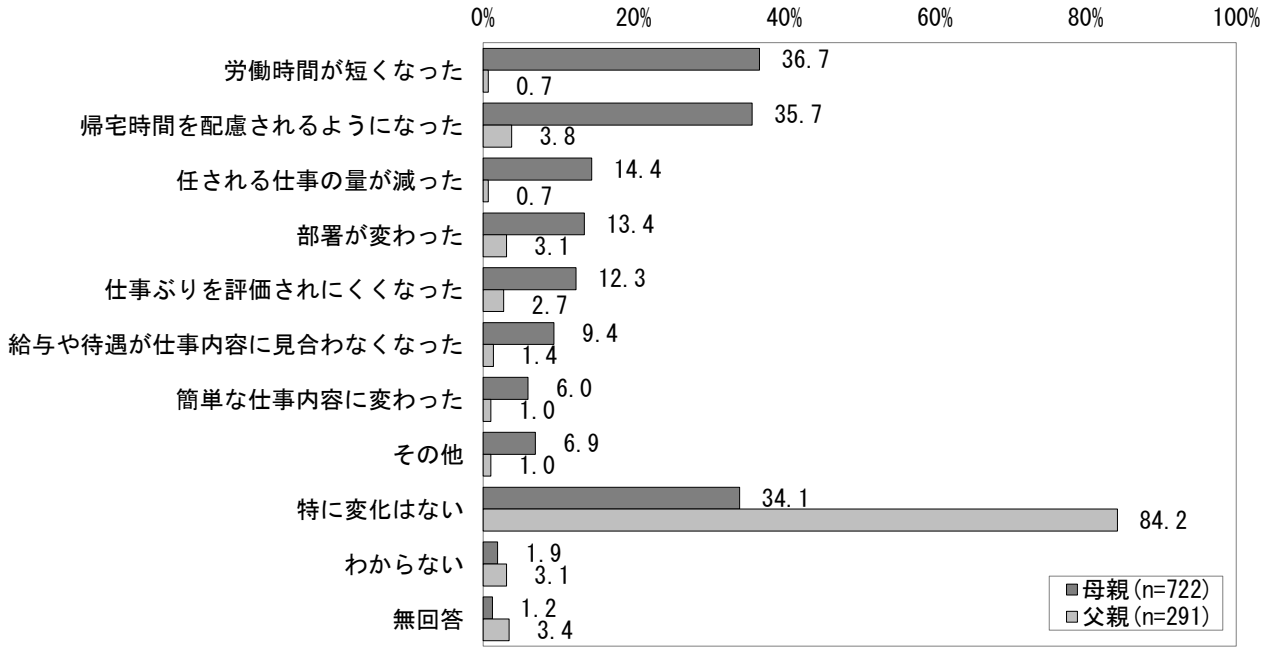


（4）職場復帰の変化

就学前児童保護者　問 13-2
【「育児休業後の職場復帰」で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選択した方のみ】
育児休業取得を理由として仕事内容や配置、勤務時間など働き方が変わったことはありますか。
（複数回答）

母親では、「労働時間が短くなった」が 36.7％と最も高く、「帰宅時間を配慮されるようになった」が 35.7％、「特に変化はない」が 34.1％と続いている。

父親では、「特に変化がない」が 84.2％と最も高く、「帰宅時間を配慮されるようになった」が 3.8％、「部署が変わった」が 3.1％と続いている。



第5節　教育・保育施設利用

■結果の概要

【利用状況】

・0歳児においては「認可保育所（園）」を利用している割合が約2割、1～2歳児においては「認可保育所（園）」を利用している割合が約3割となっており、「小規模保育施設」の利用は、「認可保育所（園）」の約半数ほどとなっている。3歳児以上になると、「認可保育所（園）」を利用している割合が約3割、「幼稚園」を利用している割合（預かり保育の利用なし・ありの合計）が約5割となっている。

・現在利用している施設を選択した理由としては、「自宅の近くにあって便利だから」の割合が高く、施設の立地が選択理由としては重要であると考えられる。また、幼稚園においては、他の施設よりも「教育・保育の内容が充実しているから」の割合が高くなっている。

【満足度】

・10項目の評価項目において、全体的に「認定こども園」と「事業所の保育施設」において「大変満足」の割合が高くなっている。評価項目「利用料」については、「事業所の保育施設」や発達支援施設を除き、いずれの施設も他項目より満足度は低いものとなっている。

【利用していない理由】

・教育・保育施設を利用していない人（無園児）のうち「宛名のお子さんがまだ小さいため成長したら利用しようと考えている」が約半数となっており、いずれ利用する意向があると考えられる。0歳児において、特に「宛名のお子さんがまだ小さいため成長したら利用しようと考えている」の割合が高くなっている。

【利用希望】

・0～1歳児は「認可保育所（園）」の割合が最も高く、2～5歳児は「幼稚園」（預かり保育の利用なし・ありの合計）が高くなっている。教育・保育施設を利用していない人（無園児）のうち、「幼稚園」（預かり保育の利用なし・ありの合計）希望が約4割、「認可保育所（園）」希望が約2割となっている。

・利用希望の理由としては、「自宅の近くにあって便利だから」よりも「教育・保育の内容が充実しているから」を重視する傾向がみられる。現在利用している施設の選択理由としては、立地を重視する傾向がみられたが、利用希望においては教育・保育の内容を重視する傾向がみられる。

(1)教育・保育施設の利用状況

就学前児童保護者 問14
宛名のお子さんは、平日どのような施設(事業)を利用していますか。年間を通じて主に(定期的に)利用している施設(事業)をお答えください。(単数回答)

「認可保育所(園)」が 30.5%と最も高く、「幼稚園(預かり保育の利用なし)」が 15.2%、「幼稚園(預かり保育の利用あり)」が 12.2%と続いている。

子どもの年齢別にみると、0歳児においては「認可保育所(園)」を利用している割合が約2割、1～2歳児においては「認可保育所(園)」を利用している割合が約3割となっており、「小規模保育施設」の利用は、「認可保育所(園)」の約半数ほどとなっている。

3歳児以上になると、「認可保育所(園)」を利用している割合が約3割、「幼稚園」を利用している割合(預かり保育の利用なし・ありの合計)が約5割となっている。

(%)	認可保育所(園)	幼稚園(預かり保育の利用なし)	幼稚園(預かり保育の利用あり)	小規模保育施設(0～2歳児を預かる定員概ね6～19人の認可保育施設)	認定こども園(幼稚園と保育所(園)の機能をあわせ持つ施設)	保育所(園)や認定こども園などの一時預かり	認可外の保育施設	勤め先の事業所に併設されている保育施設	その他の児童発達支援施設	健康福祉会館(ふれあい22)のこども発達センター(通園)	その他	利用していない	無回答
就学前児童保護者(n=1,815)	30.5	15.2	12.2	6.3	5.8	3.5	1.3	0.9	0.9	0.3	1.3	19.2	2.6
【子どもの年齢別】													
0歳(n=289)	18.0	0.0	0.0	9.0	3.1	0.7	1.0	0.7	0.7	0.3	3.5	61.9	1.0
1歳(n=267)	32.6	0.0	0.0	15.7	4.1	4.1	1.5	3.4	0.4	0.7	0.4	34.5	2.6
2歳(n=276)	29.7	0.0	0.7	16.7	5.4	3.6	3.3	0.7	2.5	0.4	3.6	24.3	9.1
3歳(n=330)	31.2	27.6	22.7	0.0	7.9	6.1	0.6	0.3	0.6	0.6	0.0	1.5	0.9
4歳(n=288)	36.1	28.1	22.9	0.0	7.3	3.1	0.3	0.3	0.7	0.0	0.3	0.0	0.7
5歳(n=328)	34.5	30.5	22.6	0.0	5.8	3.0	0.9	0.3	0.6	0.0	0.6	0.6	0.6

（2）教育・保育施設の選択理由

就学前児童保護者 問14-1
【「教育・保育施設の利用状況」で「利用していない」以外を選択した方のみ】
利用中の施設（事業）を選んだ理由をお答えください。（複数回答）

「自宅の近くにあって便利だから」が 51.9％と最も高く、「教育・保育の内容が充実しているから」が37.3％、「施設等の雰囲気が好きだから」が30.7％と続いている。

施設別にみると、「自宅の近くにあって便利だから」の割合が高い施設が多く、施設の立地が選択理由としては重要であると考えられる。また、幼稚園においては、他の施設よりも「教育・保育の内容が充実しているから」の割合が高くなっている。

（%）

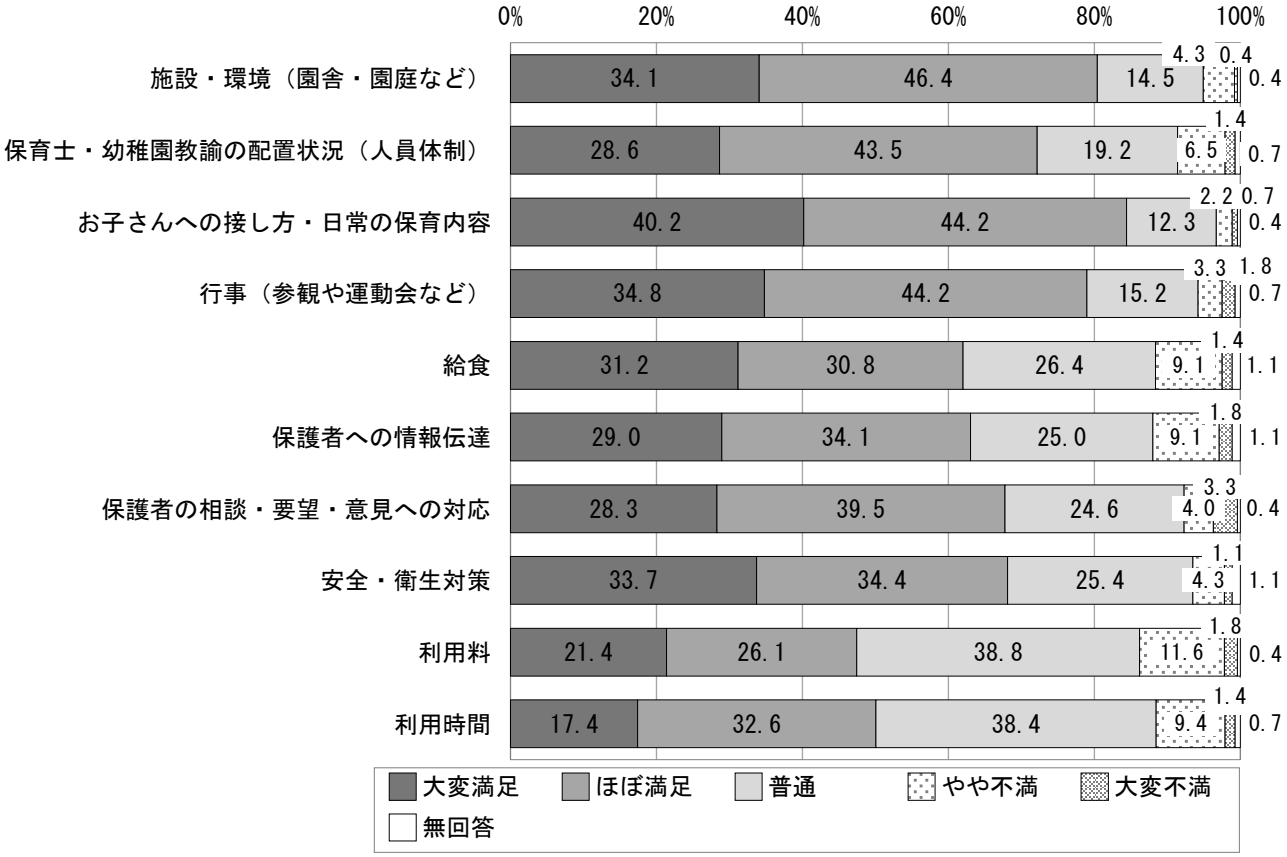
	自宅の近くにあって便利だから	教育・保育の内容が充実しているから	施設等の雰囲気が好きだから	利用時間や利用条件が家庭の事情にあっているから	行事やお弁当など、保護者の負担が少ないから	兄弟・姉妹が通う施設や学校に近いから	多くの友人の子どもが通っているから	利用したい施設に入れなさそうだから	会社の近くにあって便利だから	金銭以外の事情で、利用したい施設の利用が難しいから	大人数で保育を受けることに抵抗があるから	利用したい施設の利用料の負担が重いから	その他	無回答
就学前児童保護者（n=1,420）	51.9	37.3	30.7	27.3	15.3	11.3	8.3	5.4	4.9	1.6	1.5	0.9	8.8	10.1
【施設別】														
幼稚園（預かり保育無）（n=276）	53.3	54.7	45.7	9.4	17.4	14.1	15.6	2.2	1.1	1.8	2.5	1.1	8.0	0.0
幼稚園（預かり保育有）（n=222）	41.4	52.7	32.0	32.0	10.8	14.4	13.5	4.5	3.2	1.4	2.3	0.5	6.3	12.2
認可保育所（園）（n=553）	59.9	29.7	25.0	33.8	17.4	11.8	5.4	4.0	4.2	0.7	0.0	0.4	8.0	12.5
認定こども園（n=105）	55.2	44.8	46.7	34.3	20.0	7.6	8.6	3.8	7.6	1.9	1.0	2.9	3.8	14.3
一時預かり（n=63）	54.0	28.6	25.4	38.1	12.7	9.5	3.2	4.8	6.3	0.0	0.0	1.6	12.7	4.8
小規模保育施設（n=115）	51.3	9.6	22.6	17.4	14.8	7.0	0.0	20.0	10.4	4.3	4.3	0.0	15.7	11.3
事業所の保育施設（n=17）	11.8	11.8	5.9	35.3	5.9	0.0	5.9	5.9	52.9	0.0	5.9	11.8	11.8	11.8
認可外保育施設（n=23）	13.0	34.8	17.4	47.8	8.7	0.0	4.3	21.7	13.0	13.0	4.3	4.3	8.7	8.7
こども発達センター（n=6）	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7
その他発達支援施設（n=16）	31.3	37.5	18.8	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	6.3	12.5	0.0	25.0	6.3
その他（n=24）	20.8	16.7	8.3	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.8	41.7

（3）教育・保育施設利用者の満足度

就学前児童保護者　問 14-2
利用中の施設（事業）について、次のそれぞれの項目の満足度をお答えください。（単数回答）

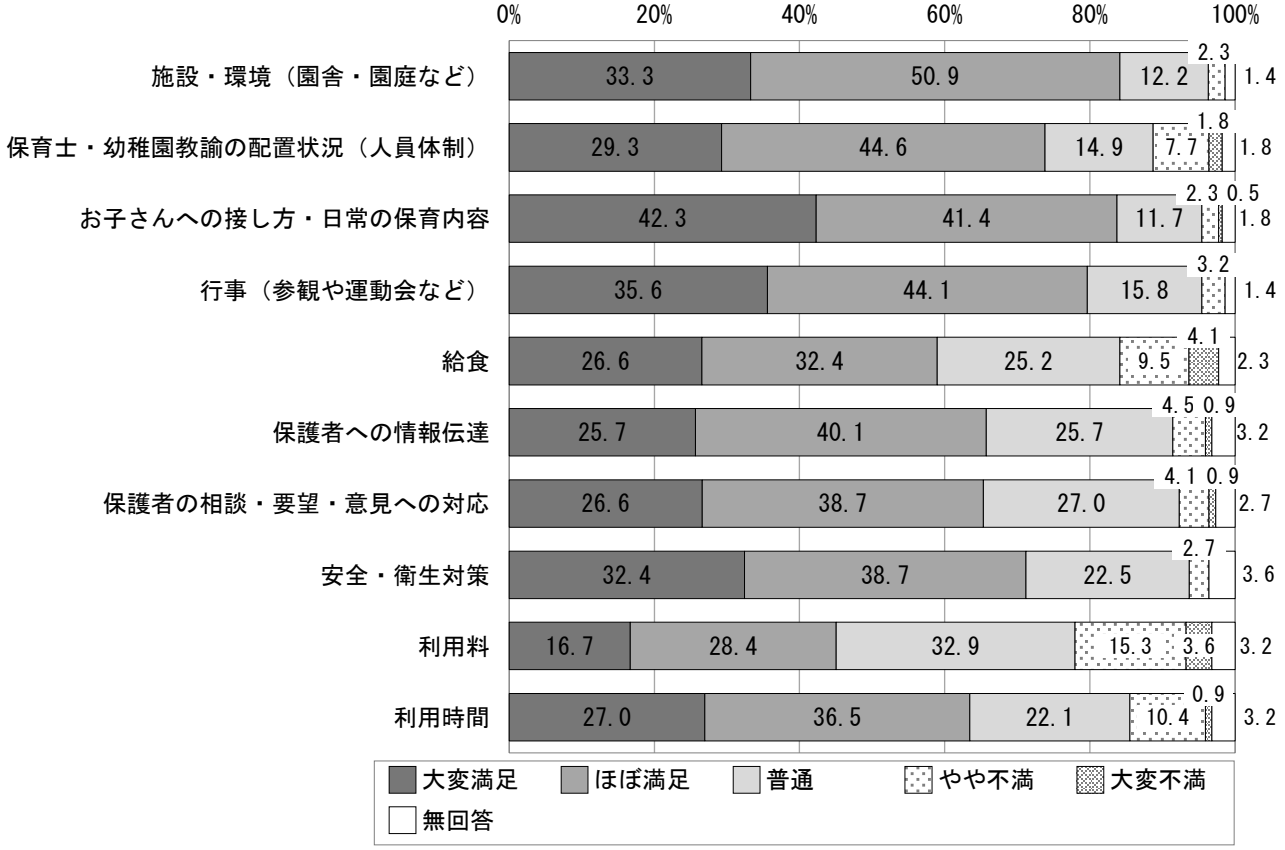
①幼稚園（預かり保育利用なし）

「お子さんへの接し方・日常の保育内容」の評価（「大変満足」と「ほぼ満足」の合計）が最も高く、「施設・環境（園舎・園庭など）」、「行事（参観や運動会など）」と続いている。



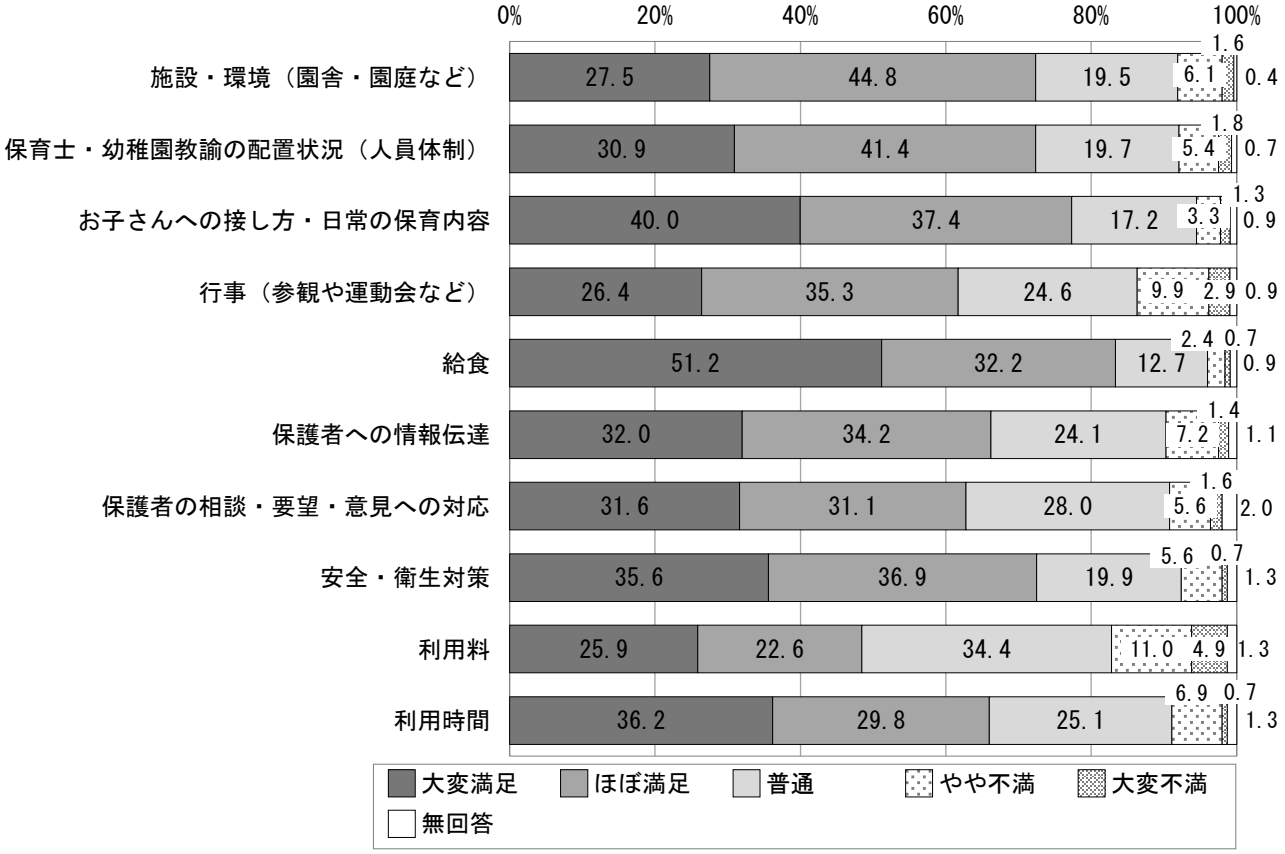
②幼稚園（預かり保育利用あり）

「施設・環境（園舎・園庭など）」の評価が最も高く、「お子さんへの接し方・日常の保育内容」、「行事（参観や運動会など）」と続いている。



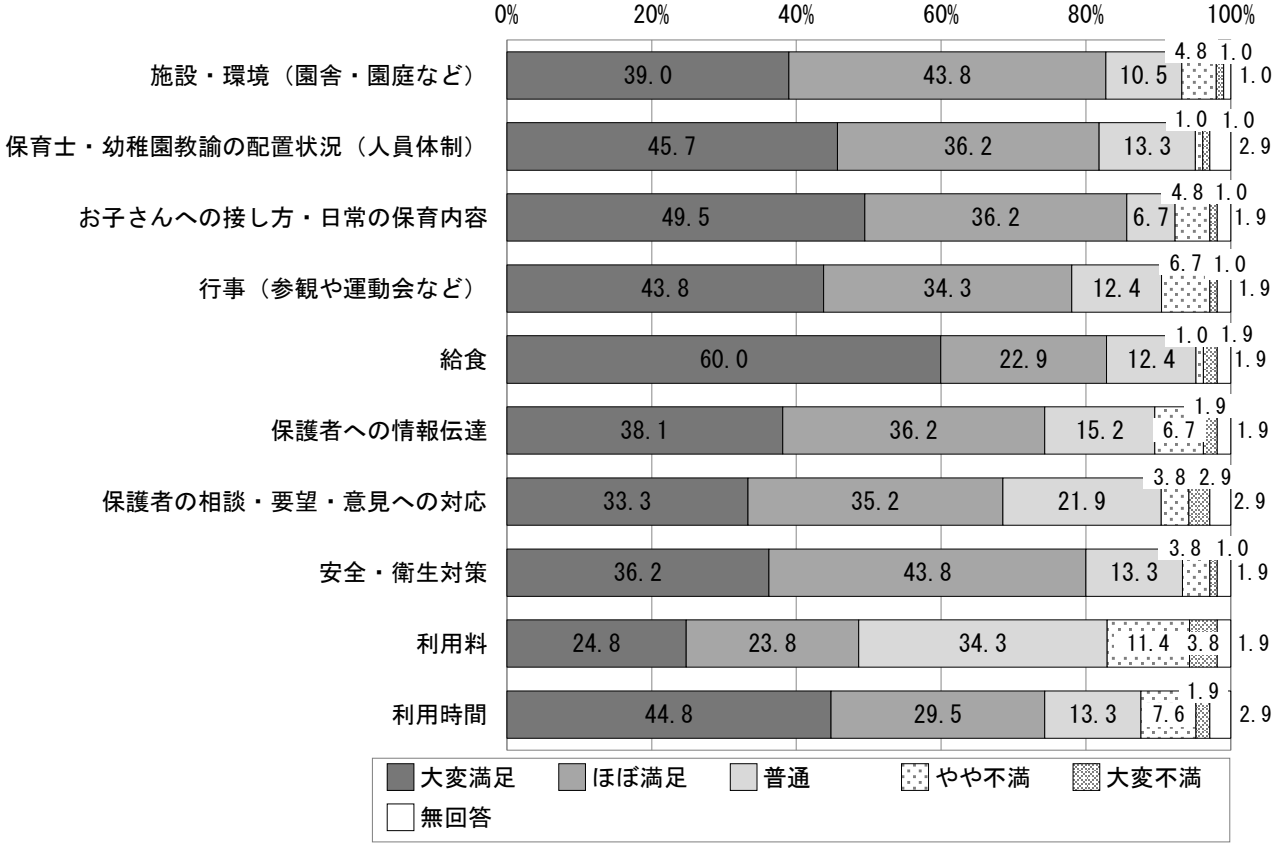
③認可保育所(園)

「給食」の評価が最も高く、「お子さんへの接し方・日常の保育内容」、「安全・衛生対策」と続いている。



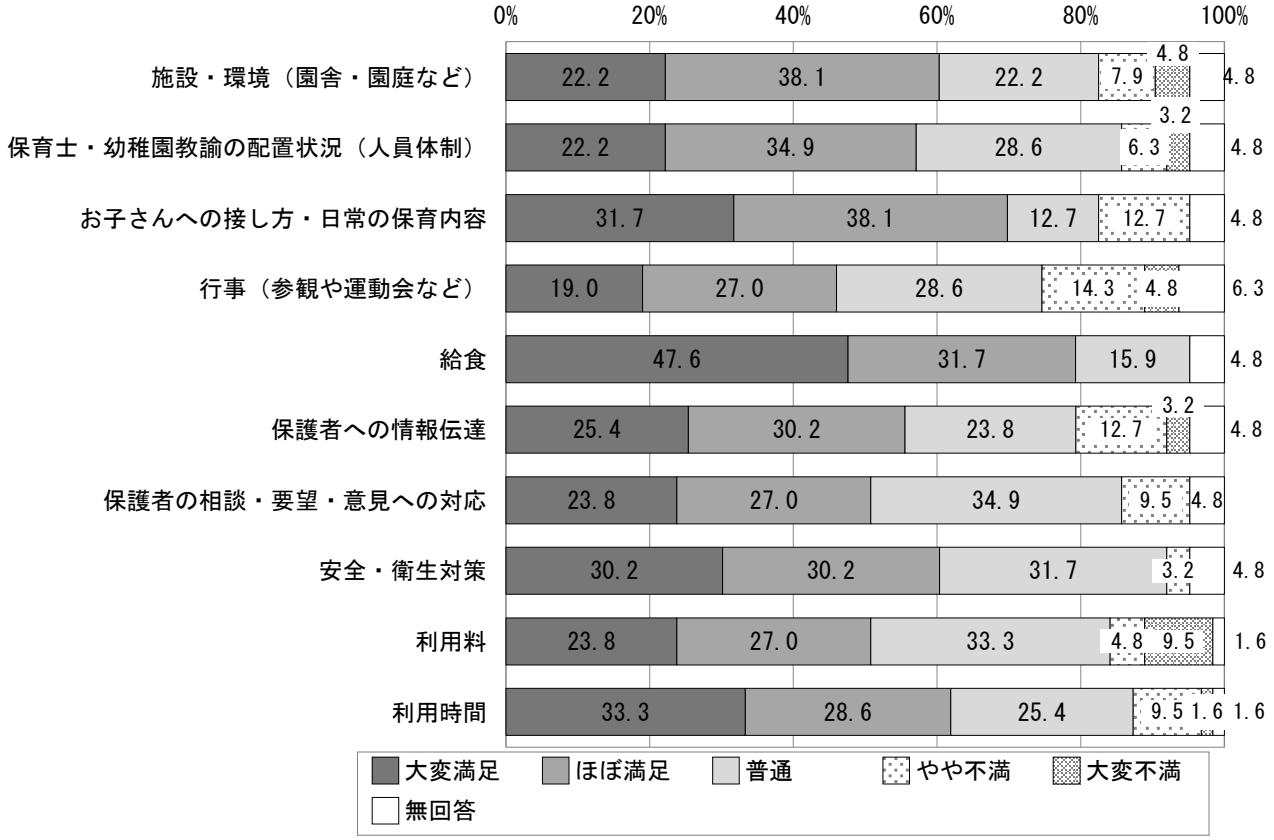
④認定こども園

「お子さんへの接し方・日常の保育内容」の評価が最も高く、「給食」、「施設・環境（園舎・園庭など）」と続いている。



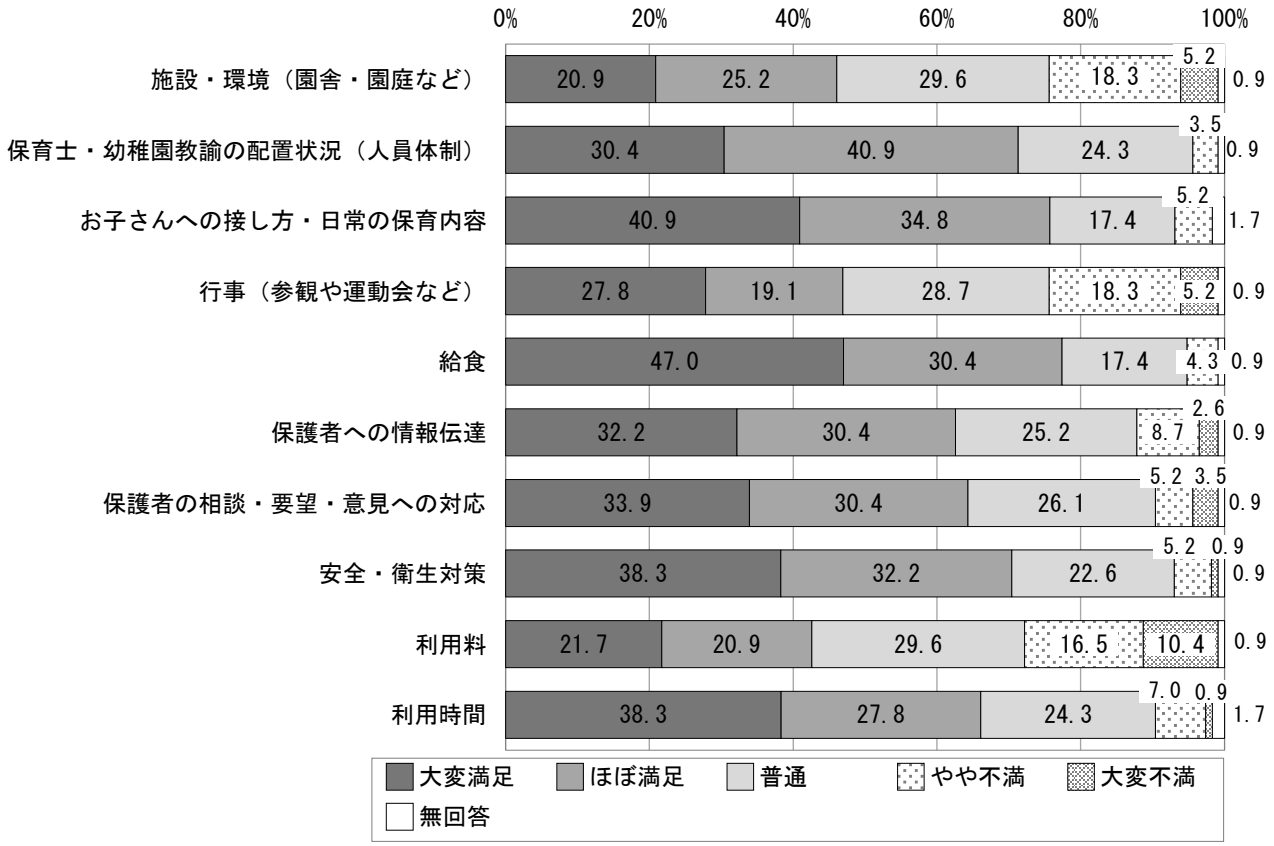
⑤一時預かり

「給食」の評価が最も高く、「お子さんへの接し方・日常の保育内容」、「利用時間」と続いている。



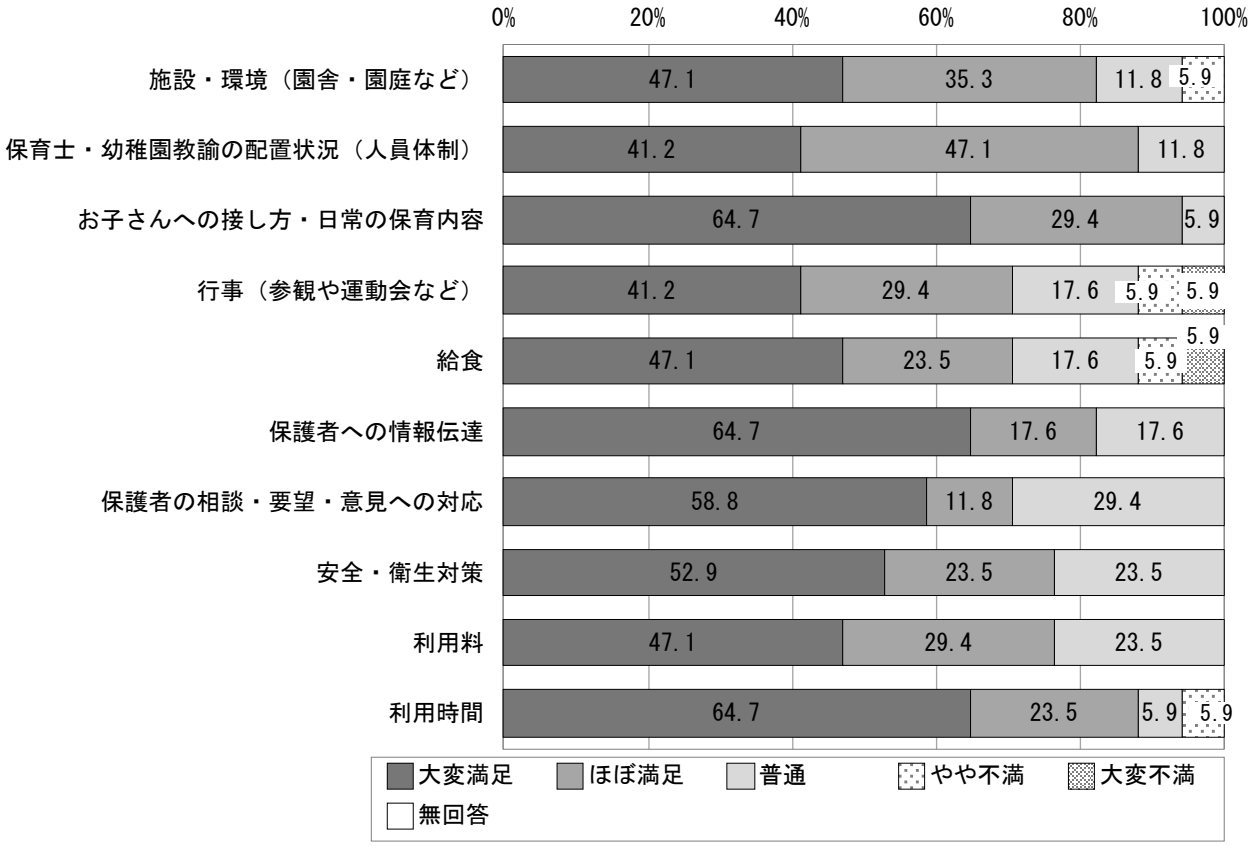
⑥小規模保育施設

「給食」の評価が最も高く、「お子さんへの接し方・日常の保育内容」、「保育士・幼稚園教諭の配置状況（人員体制）」と続いている。



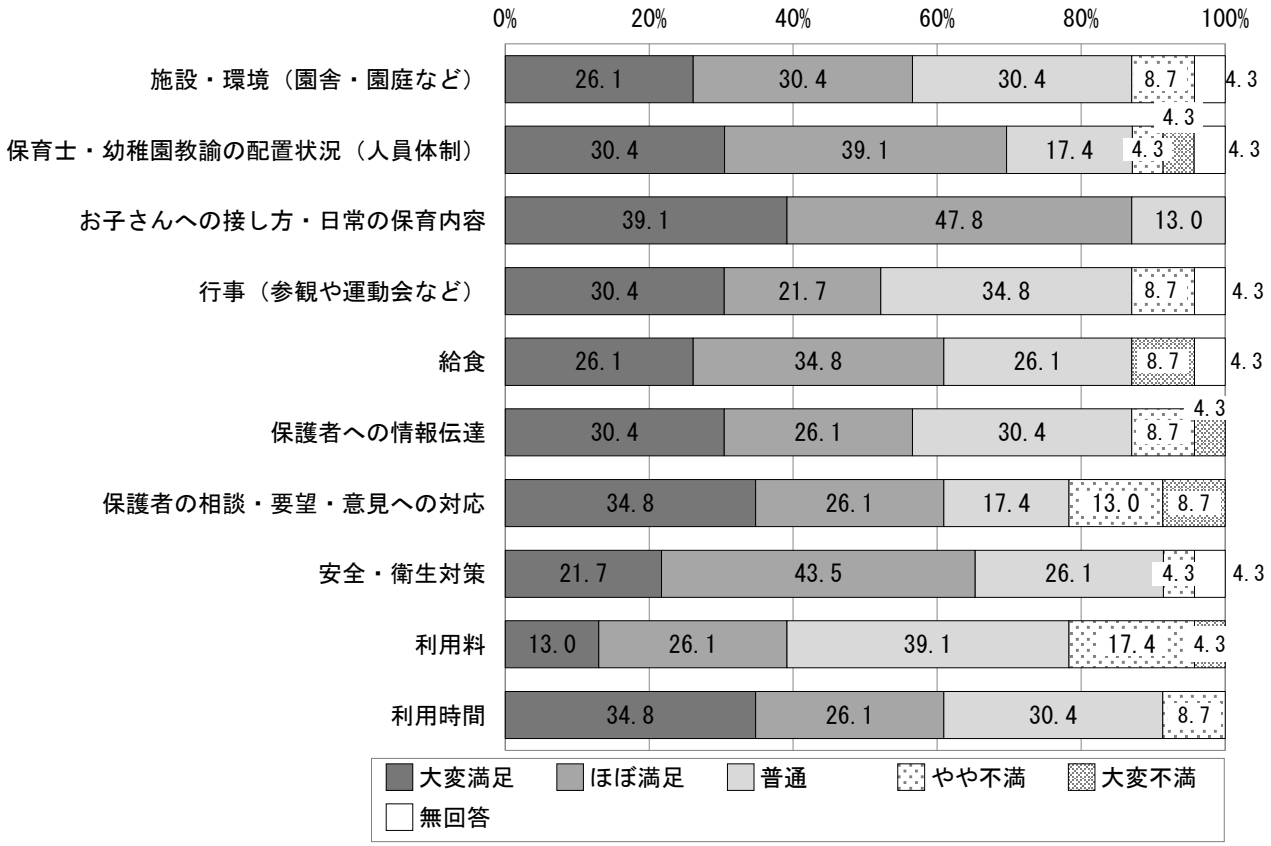
⑦事業所の保育施設

「お子さんへの接し方・日常の保育内容」の評価が最も高く、「保育士・幼稚園教諭の配置状況（人員体制）」、「利用時間」と続いている。



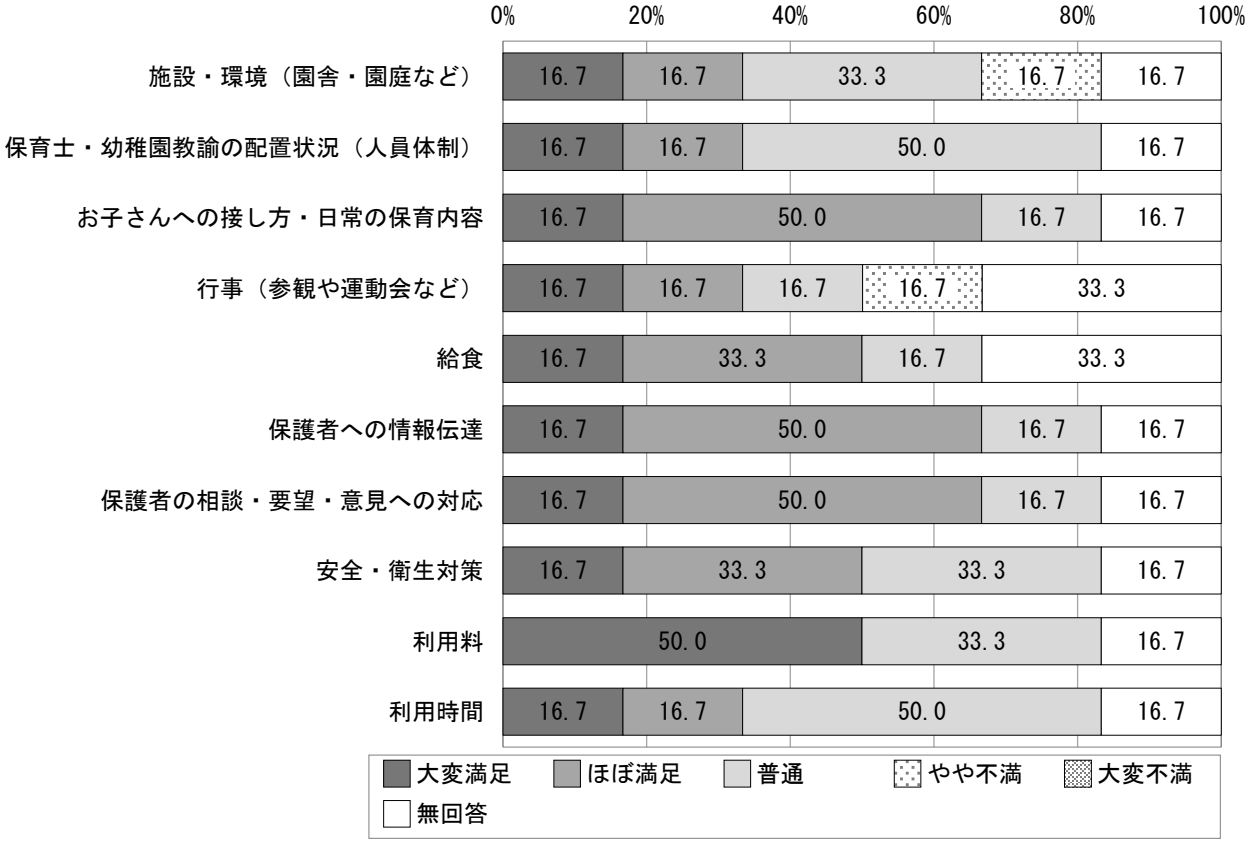
⑧認可外保育施設

「お子さんへの接し方・日常の保育内容」の評価が最も高く、「保育士・幼稚園教諭の配置状況（人員体制）」、「安全・衛生対策」と続いている。



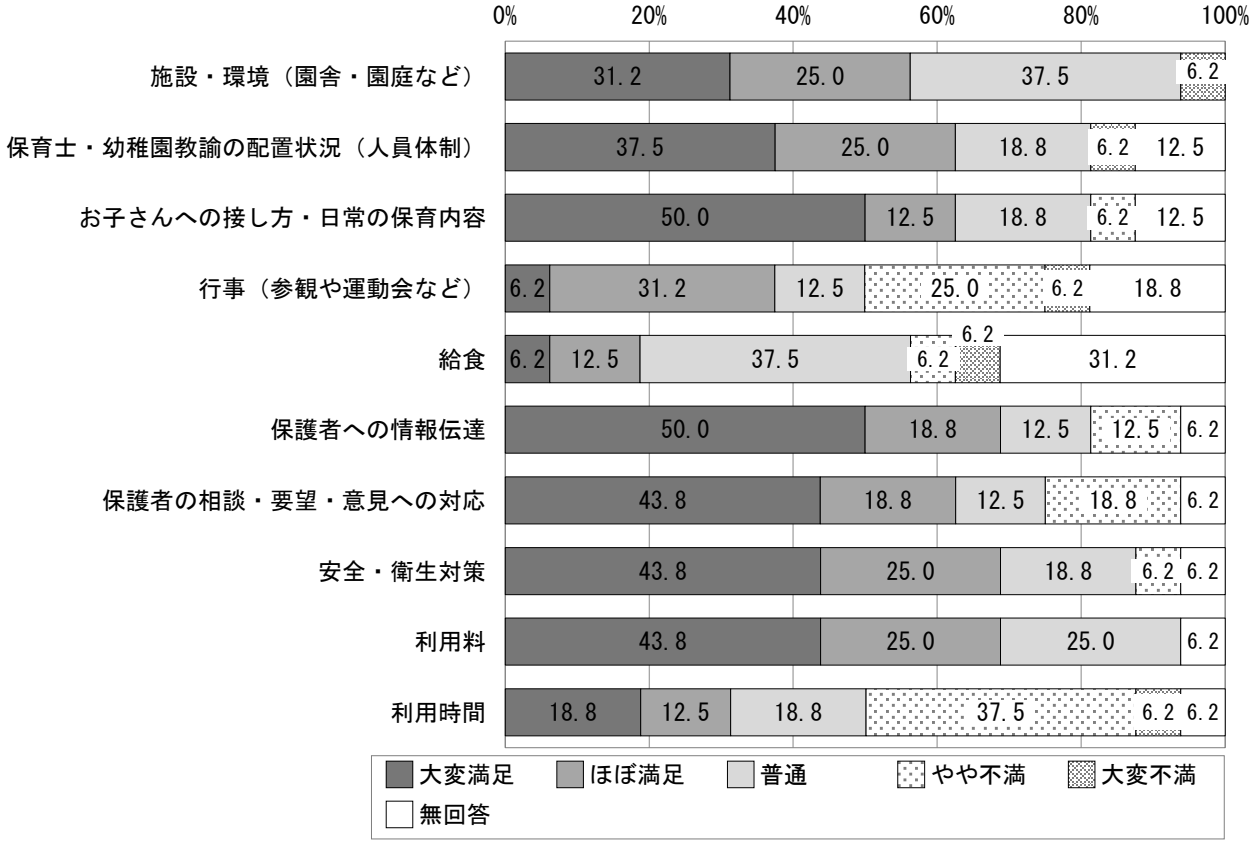
⑨こども発達センター

「お子さんへの接し方・日常の保育内容」、「保護者への情報伝達」、「保護者の相談・要望・意見への対応」の評価が高くなっている。



⑩その他発達支援施設

「保護者への情報伝達」、「安全・衛生対策」、「利用料」の評価が高くなっている。



(4)教育・保育施設を利用していない理由

就学前児童保護者　問 14-3
【「教育・保育施設の利用状況」で「利用していない」を選択した方のみ】
利用していない理由は何ですか。(複数回答)

「宛名のお子さんがまだ小さいため成長したら利用しようと考えている」が 49.1%と最も高く、「できるだけ保護者自身で子育てをしたい」が 40.2%、「利用したいが、保育・教育の施設(事業)に空きがない」が 9.8%と続いている。

子どもの年齢別にみると、0歳児において「宛名のお子さんがまだ小さいため成長したら利用しようと考えている」の割合が高く、1・2歳児において「できるだけ保護者自身で子育てをしたい」が高くなっている。

(%)	宛名のお子さんがまだ小さいため成長したら利用しようと考えている	できるだけ保護者自身で子育てをしたい	利用したいが、保育・教育の施設(事業)に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、施設(事業)の質や場所など、納得できる施設(事業)がない	宛名のお子さんの祖父母や親戚の人がみている	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	近所の人や父母の友人・知人がみている	その他	無回答
就学前児童保護者(n=348)	49.1	40.2	9.8	6.6	4.0	2.9	0.9	0.0	15.8	1.7
【子どもの年齢別】										
0歳(n=179)	56.4	36.9	10.6	5.6	5.6	2.8	0.0	1.1	12.8	1.1
1歳(n=92)	47.8	48.9	7.6	7.6	3.3	3.3	0.0	0.0	12.0	2.2
2歳(n=67)	34.3	37.3	10.4	7.5	1.5	1.5	0.0	0.0	25.4	3.0
3歳(n=5)	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	80.0	0.0
4歳(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5歳(n=2)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(5)教育・保育施設の利用希望

就学前児童保護者 問15
宛名のお子さんの平日の教育・保育の施設(事業)として、主に(定期的に)利用したいと考える施設(事業)をお答えください。(単数回答)

「認可保育所(園)」が 35.8%と最も高く、「幼稚園(預かり保育の利用あり)」が 25.3%、「幼稚園(預かり保育の利用なし)」が 15.0%と続いている。

子どもの年齢別にみると、0～1歳児は「認可保育所(園)」の割合が最も高く、2～5歳児は「幼稚園」(預かり保育の利用なし・ありの合計)が高くなっている。

教育・保育施設を利用していない人(無園児)のうち、「幼稚園」(預かり保育の利用なし・ありの合計)希望が43.1%、「認可保育所(園)」希望が23.6%となっている。

(%)	認可保育所(園)	幼稚園(預かり保育の利用あり)	幼稚園(預かり保育の利用なし)	認定こども園(幼稚園と保育所(園)の機能をあわせ持つ施設)	保育所(園)や認定こども園などの一時預かり	小規模保育施設(0～2歳児を預かる定員概ね6～19人の認可保育施設)	認可外の保育施設	勤め先の事業所に併設されている保育施設	その他の児童発達支援施設	健康福祉会館(ふれあい22)のこども発達センター(通園)	その他	特になし	無回答
就学前児童保護者(n=1,815)	35.8	25.3	15.0	8.8	3.2	2.4	0.8	0.7	0.3	0.3	0.4	5.2	1.8
【子どもの年齢別】													
0歳(n=289)	45.0	12.8	4.5	12.5	5.2	8.7	1.0	1.0	0.0	0.0	0.3	8.0	1.0
1歳(n=267)	40.8	19.5	11.6	9.4	3.4	4.1	0.7	1.9	0.4	0.0	0.0	5.6	2.6
2歳(n=276)	35.5	25.0	14.9	8.3	2.9	2.5	1.8	0.0	0.0	0.0	1.1	6.2	1.8
3歳(n=330)	28.8	29.4	17.9	9.4	3.3	0.0	0.6	1.2	1.2	1.2	0.0	5.5	1.5
4歳(n=288)	33.3	32.6	21.5	6.3	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	3.5	0.7
5歳(n=328)	32.9	31.4	20.1	6.7	2.4	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	3.0	1.8
【施設別】													
無園児(n=348)	23.6	24.7	18.4	8.3	5.2	5.7	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	12.1	0.6

(6)教育・保育施設の利用希望理由

就学前児童保護者　問 15-1
【「教育・保育施設の利用希望」で「特になし」以外を選択した方のみ】
希望の施設(事業)を選んだ理由をお答えください。(複数回答)

「教育・保育の内容が充実しているから」が 48.6%と最も高く、「自宅の近くにあって便利だから」が 41.5%、「利用時間や利用条件が家庭の事情にあっているから」が 31.3%と続いている。

施設別にみると、「自宅の近くにあって便利だから」よりも「教育・保育の内容が充実しているから」の割合の高い施設が多い。「(2)教育・保育施設の選択理由」においては立地を重視する傾向がみられたが、利用希望においては教育・保育の内容を重視する傾向がみられる。

(%)	教育・保育の内容が充実しているから	自宅の近くにあって便利だから	利用時間や利用条件が家庭の事情にあっているから	施設等の雰囲気が好きだから	行事やお弁当など、保護者の負担が少ないから	多くの友人の子どもが通っているから	兄弟・姉妹が通う施設や学校に近いから	会社の近くにあって便利だから	大人数で保育を受けることに抵抗があるから	その他	無回答
就学前児童保護者(n=1,688)	48.6	41.5	31.3	26.0	16.1	12.3	12.0	4.3	1.6	4.0	9.2
【施設別】											
幼稚園（預かり保育無）(n=257)	55.3	41.2	16.7	36.2	15.2	18.3	10.1	1.9	3.5	3.1	5.1
幼稚園（預かり保育有）(n=215)	57.7	32.6	36.7	30.2	13.5	14.9	11.2	2.3	1.4	3.3	10.7
認可保育所（園）(n=537)	40.2	47.9	37.4	23.6	17.1	8.9	11.0	4.7	0.7	2.0	11.5
認定こども園(n=100)	57.0	45.0	37.0	42.0	24.0	12.0	12.0	10.0	2.0	2.0	10.0
一時預かり(n=54)	48.1	35.2	35.2	14.8	16.7	11.1	7.4	3.7	1.9	5.6	7.4
小規模保育施設(n=113)	55.8	36.3	31.9	19.5	15.9	6.2	10.6	8.0	1.8	8.8	9.7
事業所の保育施設(n=17)	35.3	17.6	29.4	11.8	5.9	5.9	11.8	35.3	0.0	5.9	11.8
認可外保育施設(n=22)	54.5	36.4	18.2	13.6	0.0	4.5	4.5	4.5	0.0	4.5	13.6
こども発達センター(n=5)	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0
その他発達支援施設(n=16)	43.8	56.3	37.5	31.3	18.8	12.5	6.3	0.0	6.3	12.5	6.3
その他(n=23)	60.9	39.1	43.5	47.8	26.1	17.4	13.0	4.3	4.3	13.0	8.7
利用していない(n=304)	45.4	39.5	27.6	16.1	14.8	12.2	17.1	2.6	1.0	5.3	7.2

第6節　地域の子ども子育て支援の利用状況

■結果の概要

【おやこ DE 広場等】

・「おやこ DE 広場・子育て支援センター・ほっとるーむ」を利用している割合が約3割で、前回調査よりも割合が増加している。年齢別にみると、0・1歳児の約5割が「おやこ DE 広場・子育て支援センター・ほっとるーむ」を利用しており、特に低年齢児にとって重要な拠点になっていることがうかがえる。

・教育・保育施設を利用していない人（無園児）において、「おやこ DE 広場・子育て支援センター・ほっとるーむ」の利用希望が約7割となっており、まだ入園をしていない子どもにとって、重要な事業であると考えられる。

【放課後児童クラブ・放課後 KIDS ルーム】

・今回は調査対象が小学5年生であったことから、放課後児童クラブ・放課後 KIDS ルームいずれも、利用している割合は約1割となっている。利用する理由は、保護者の就労が最も大きな理由である他、安全に過ごせることや夏休み等長期休暇中に利用できることも理由となっている。

・利用者の満足度は、放課後児童クラブ・放課後 KIDS ルームともに約6割となっている。

・放課後児童クラブに今後望むものとしては「長期休業中の昼食の提供」の割合が最も高く、放課後 KIDS ルームに今後望むものとしては「体験活動の充実」と「利用時間の拡大」の割合が最も高くなっている。

【松戸市の子育て支援に関する事業】

・就学前児童保護者・小学生保護者ともに「夜間小児急病センター」の認知度が最も高くなっている。経年比較では、就学前児童保護者においては「まつど DE 子育てアプリ（母子モ）」の認知度が特に大きく増加しており、小学生保護者においては「夜間小児急病センター」の認知度が特に大きく増加している。

・今後の利用意向においては、就学前児童保護者・小学生保護者ともに「夜間小児急病センター」や「安心安全メール」の割合が高くなっている。

【その他の事業ニーズ】

・子どもが病気・ケガの際に、父母が仕事を休んだ割合が前回調査よりも増加している。新型コロナウイルス感染症等が流行している期間においては、子どもに発熱などの症状があった場合に、親族・知人を頼ったりするのが難しく、父母が仕事を調整せざるをえない状況があった可能性が考えられる。

・保護者や家族の用事（冠婚葬祭等）、病気等の理由での一時預かり事業等の利用希望は、前回調査よりも増加している。

・泊りがけで子どもを家族以外に預ける必要のあったケースは、前回調査よりも減少している。しかしその対応として、親族・知人にみてもらう割合が減少し、仕方なく子どもを同行させる割合が増加している。

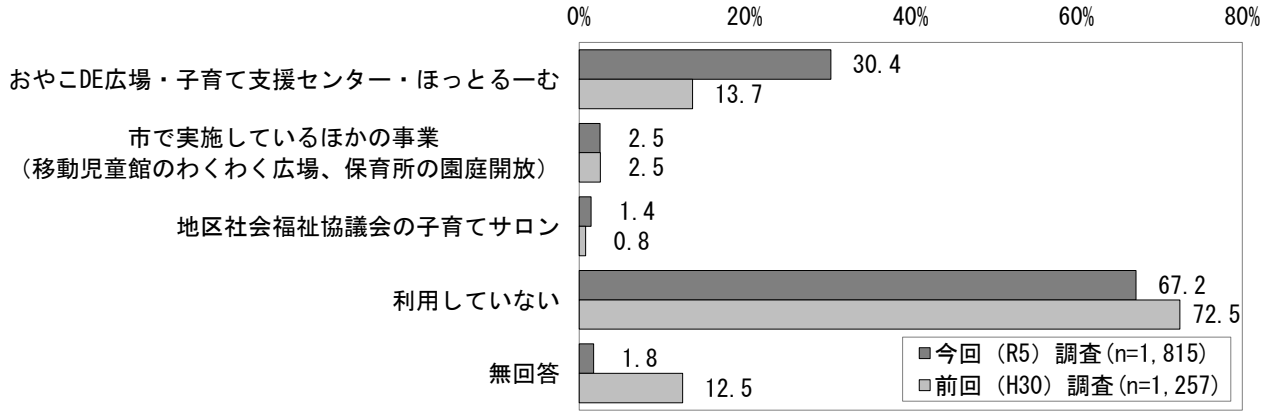
1. おやこ DE 広場等（地域子育て支援拠点事業）

（1）おやこ DE 広場等の利用状況

就学前児童保護者　問 16
宛名のお子さんは、現在、「おやこ DE 広場」、「子育て支援センター」等を利用していますか。次の中から利用しているものをお答えください。（複数回答）

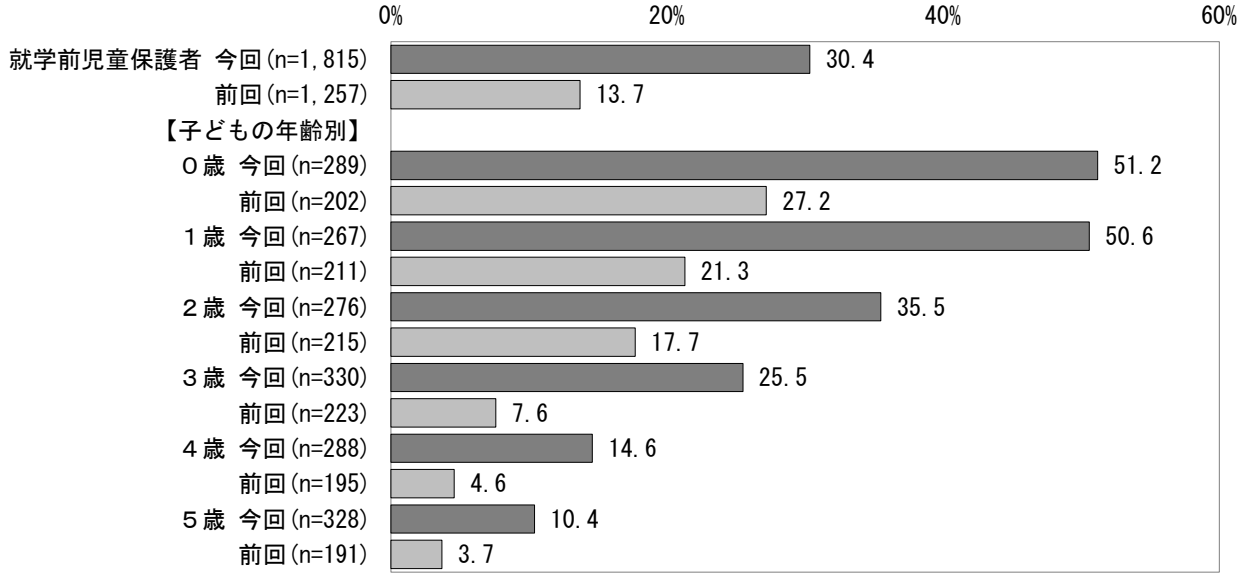
「利用していない」が 67.2％と最も高く、「おやこ DE 広場・子育て支援センター・ほっとるーむ」が 30.4％と続いている。

経年比較では、前回調査よりも「おやこ DE 広場・子育て支援センター・ほっとるーむ」を利用している割合が増加している。

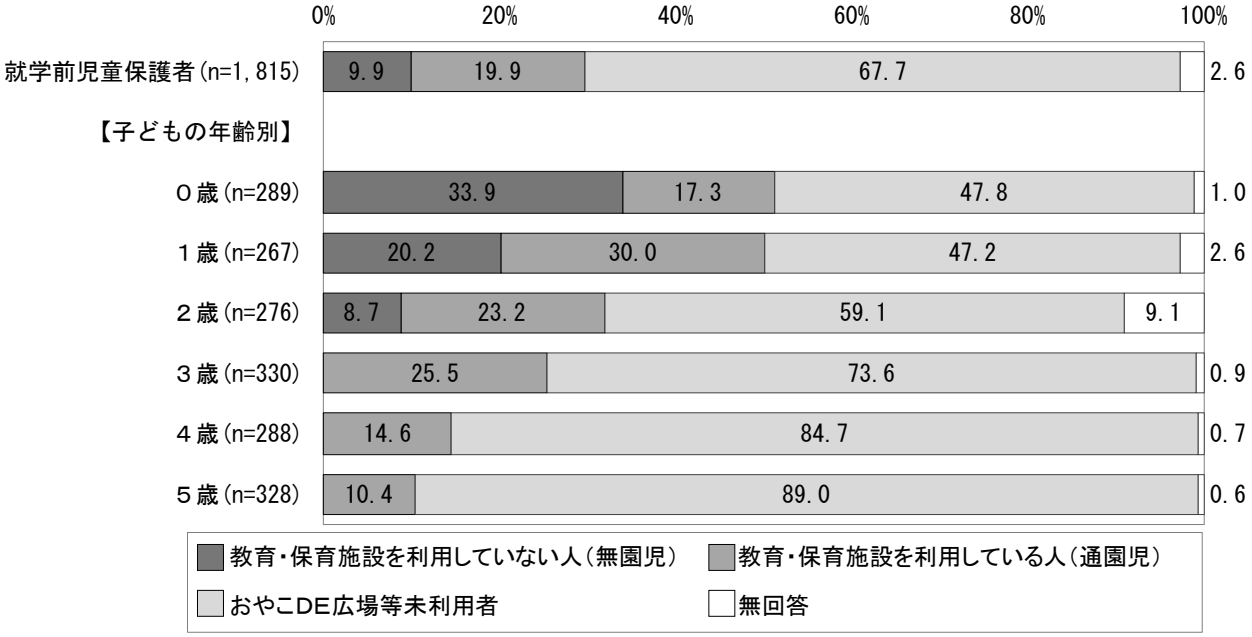


子どもの年齢別に、「おやこDE 広場・子育て支援センター・ほっとるーむ」の利用状況をみると、0・1歳児において特に利用している割合が高くなっている。

経年比較では、いずれの年齢も利用している割合が増加している。



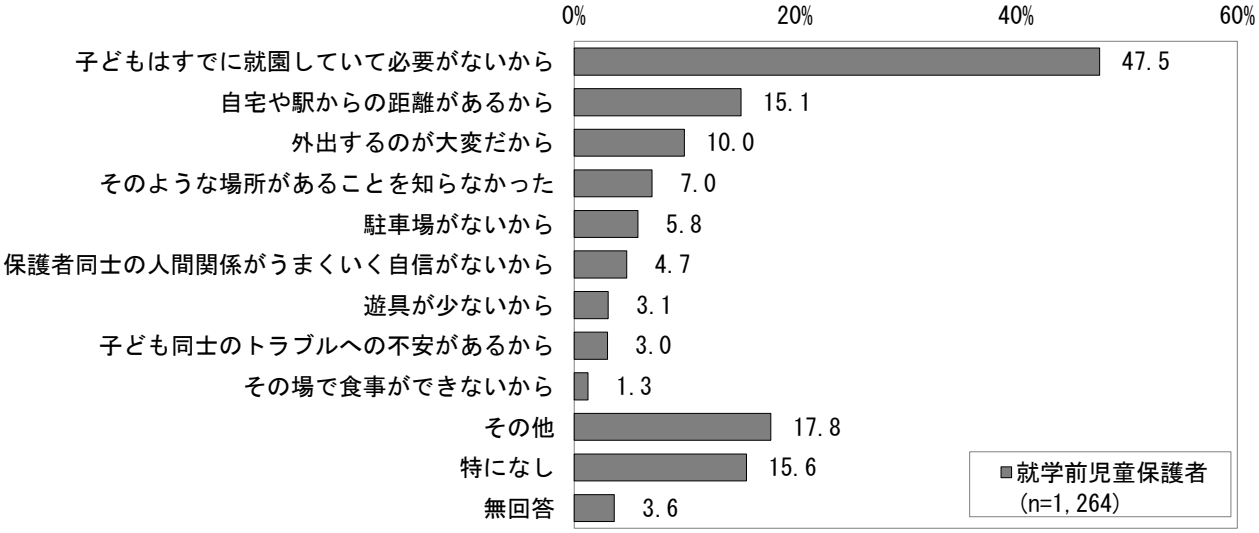
子どもの年齢別の「おやこ DE 広場・子育て支援センター・ほっとるーむ」と利用者における、教育・保育施設の利用状況をみると、0歳児において教育・保育施設を利用していない人（無園児）の割合が最も高くなっている。年齢があがるにつれ、教育・保育施設を利用していない人（無園児）の割合は減少し、3～5歳児においては教育・保育施設を利用している人（通園児）のみとなっている。



(2)おやこ DE 広場等を利用していない理由

就学前児童保護者　問 16-1
【「おやこ DE 広場等の利用状況」で「おやこ DE 広場・子育て支援センター・ほっとるーむ」を選択しなかった方のみ】
利用していない理由は何ですか。(複数回答)

「子どもはすでに就園していて必要がないから」が 47.5%と最も高く、「自宅や駅からの距離があるから」が 15.1%、「外出するのが大変だから」が 10.0%と続いている。

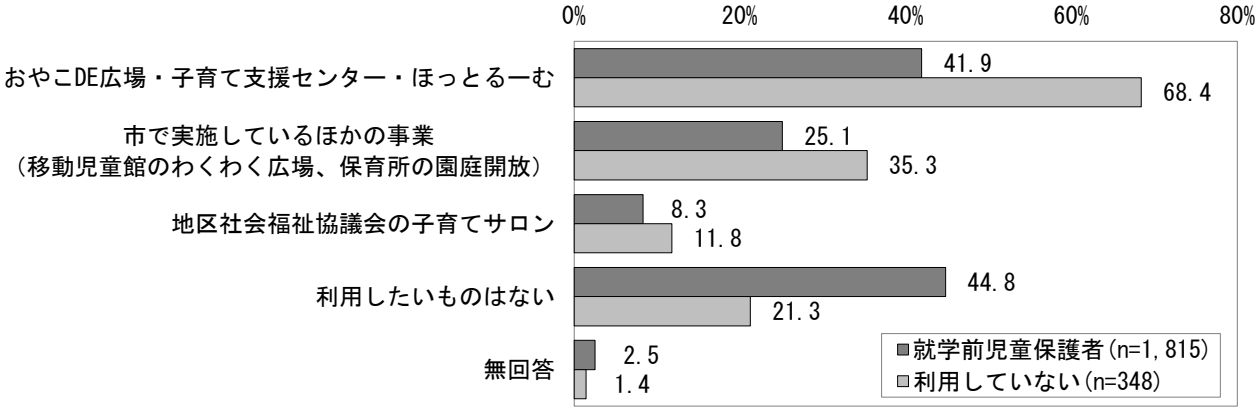


(3)おやこ DE 広場等の利用希望

就学前児童保護者　問 17
おやこ DE 広場等の事業について、今後利用したいものをお答えください。(複数回答)

「利用したいものはない」が 44.8%と最も高く、「おやこ DE 広場・子育て支援センター・ほっとるーむ」が 41.9%、「市で実施しているほかの事業(移動児童館のわくわく広場、保育所の園庭開放)」が 25.1%と続いている。

教育・保育施設を利用していない人(無園児)において、「おやこ DE 広場・子育て支援センター・ほっとるーむ」が 68.4%と高くなっている。

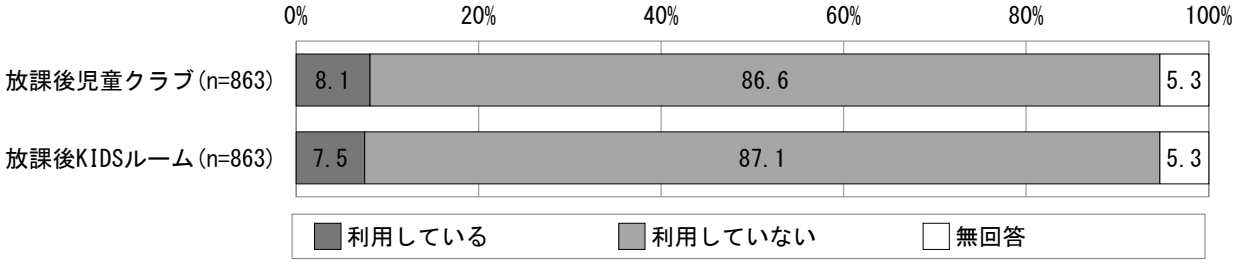


2. 放課後児童クラブ・放課後 KIDS ルーム（放課後児童健全育成事業）

（1）放課後児童クラブ・放課後 KIDS ルームの利用

小学生保護者 問 23・問 24
お子さんは現在、放課後児童クラブを利用されていますか。（単数回答）
お子さんは現在、放課後KIDSルームを利用されていますか。（単数回答）

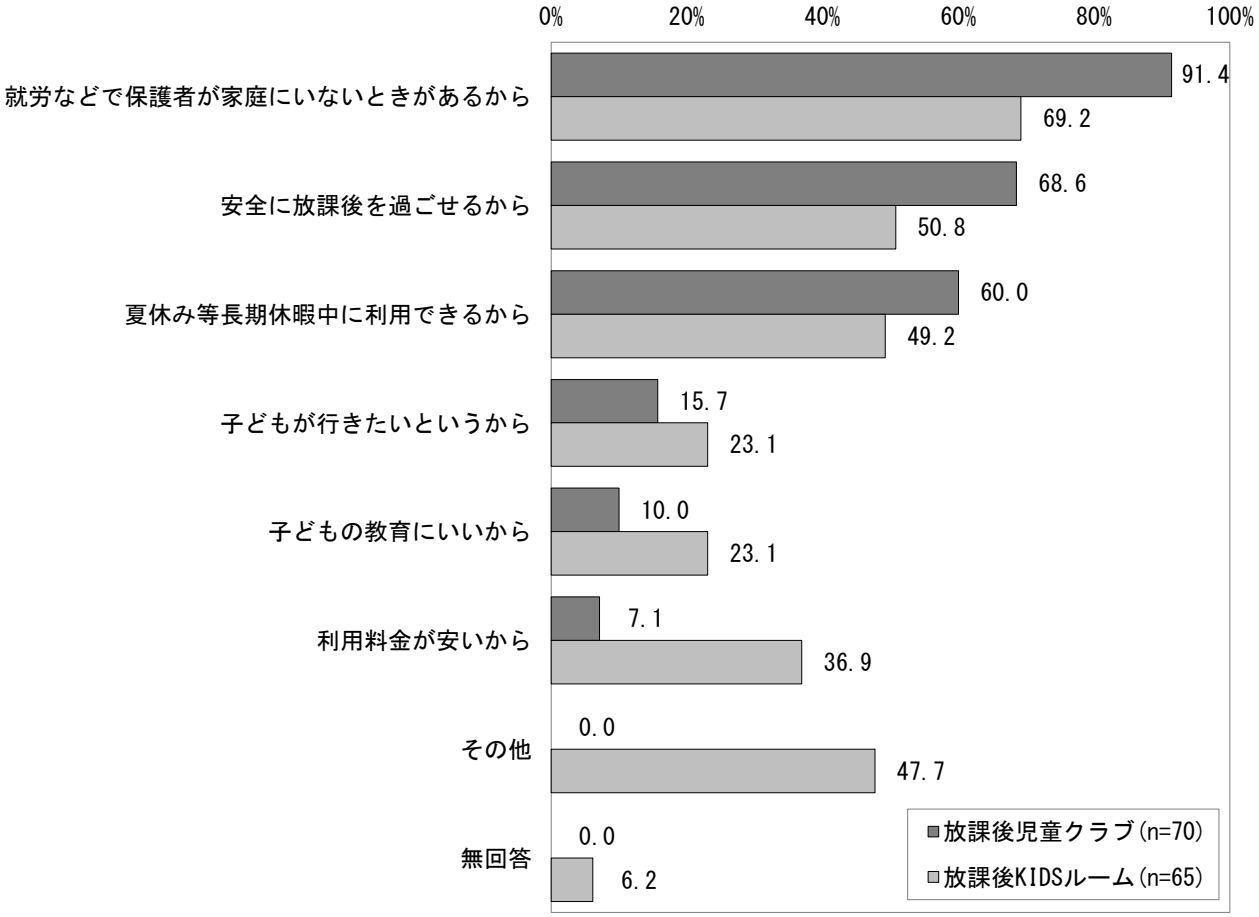
放課後児童クラブでは、「利用している」が 8.1%、「利用していない」が 86.6%となっている。放課後KIDS ルームでは、「利用している」が 7.5%、「利用していない」が 87.1%となっている。調査対象が小学5年生であるため、低学年に比べると利用している割合は低いと考えられる。



（2）放課後児童クラブ・放課後 KIDS ルームを利用する理由

小学生保護者 問 23-1・問 24-1
【「放課後児童クラブ・放課後 KIDS ルームの利用」で「利用している」を選択した方のみ】
放課後児童クラブを利用している理由は何ですか。（複数回答）
放課後KIDSルームを利用している理由は何ですか。（複数回答）

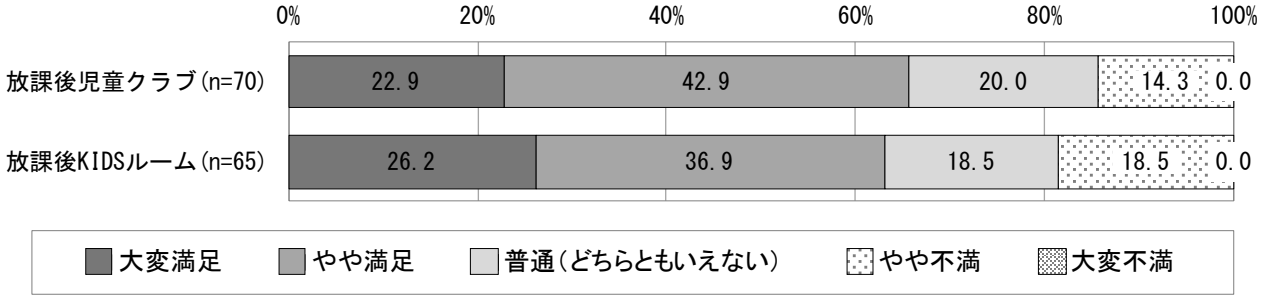
いずれも「就労などで保護者が家庭にいないときがあるから」が最も高く、「安全に放課後を過ごせるから」、「夏休み等長期期間中に利用できるから」と続いている。放課後 KIDS ルームは、放課後児童クラブと比較して「子どもが行きたいというから」と「子どもの教育にいいから」、「利用料金が安いから」が高くなっている。



（3）放課後児童クラブ・放課後 KIDS ルームの満足度

小学生保護者 問 23-2・問 24-2
【「放課後児童クラブ・放課後 KIDS ルームの利用」で「利用している」を選択した方のみ】
放課後児童クラブに満足していますか。（単数回答）
放課後KIDSルームに満足していますか。（単数回答）

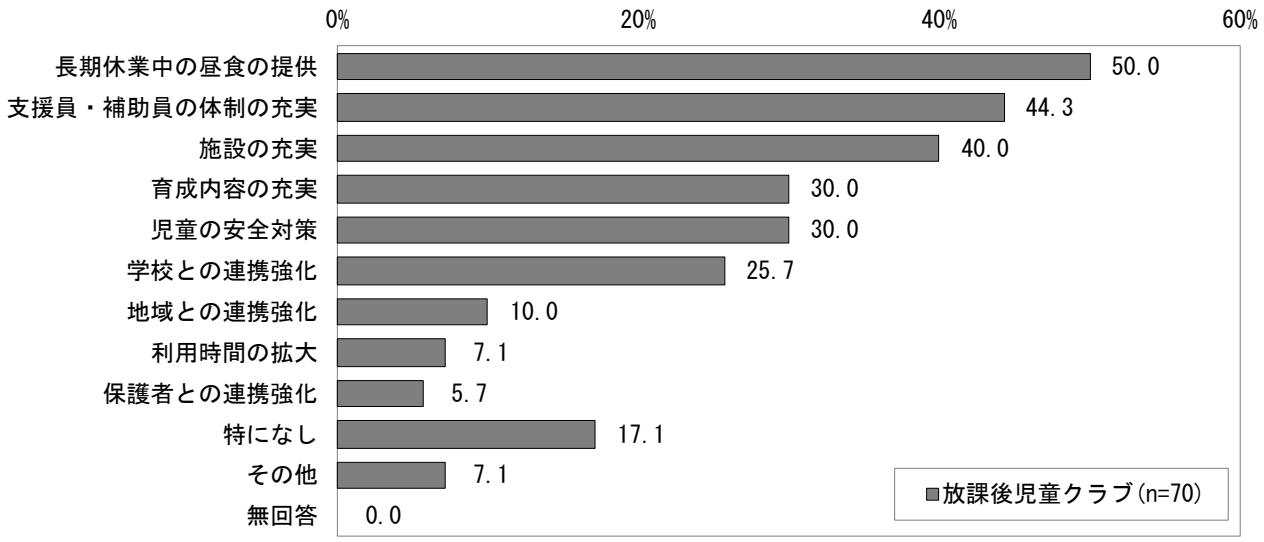
満足度（「大変満足」と「やや満足」の合計）はいずれも約6割で、放課後児童クラブと放課後 KIDS ルームの間に大きな違いはみられない。



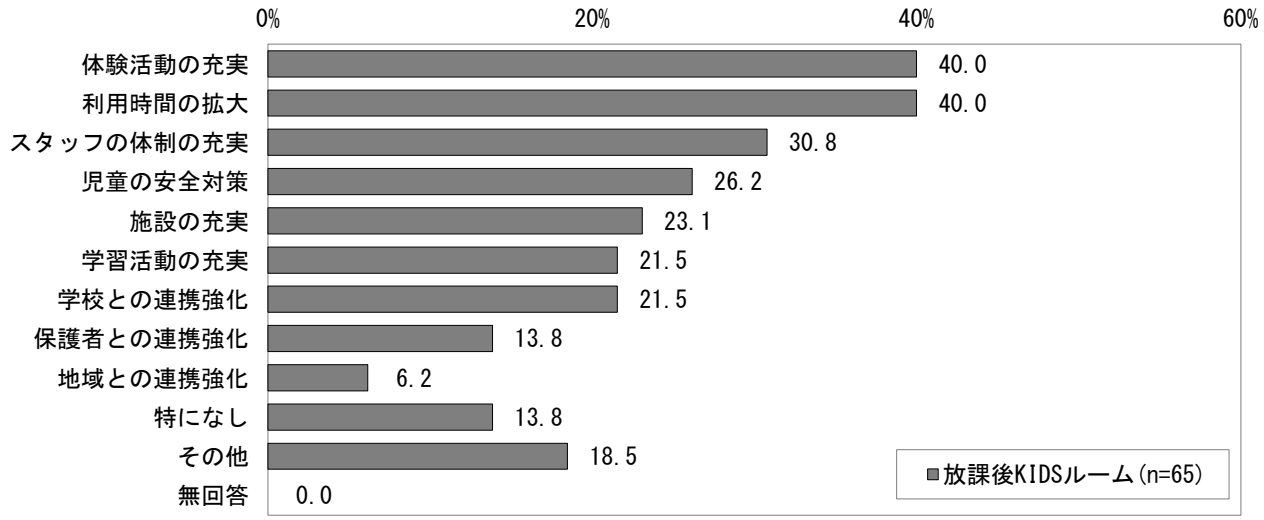
（4）放課後児童クラブ・放課後 KIDS ルームに望むもの

小学生保護者 問 23-3・問 24-3
【「放課後児童クラブ・放課後 KIDS ルームの利用」で「利用している」を選択した方のみ】
放課後児童クラブに今後望むものは何ですか。（複数回答）
放課後KIDSルームに今後望むものは何ですか。（複数回答）

放課後児童クラブでは、「長期休業中の昼食の提供」が 50.0％と最も高くなっている。



放課後 KIDS ルームでは、「体験活動の充実」と「利用時間の拡大」が、それぞれ 40.0％と最も高くなっている。



(5)放課後に何も利用していない理由

小学生保護者 問 25
【「放課後児童クラブ・放課後 KIDS ルームの利用」でいずれも「利用していない」を選択した方のみ】
利用していない理由は何ですか。(複数回答)

「子どもの父母がみている」が 46.6%と最も高く、「高学年なので利用しづらい」が 18.4%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が 12.2%と続いている。

世帯類型別では、専業主婦(夫)世帯で「子どもの父母がみている」が 77.4%と高くなっている。

(%)	子どもの父母がみている	高学年なので利用しづらい	子どもの祖父母や親戚の人がみている	利用したいが、実施内容や場所などが満足できるものではない	利用したいが、時間帯の条件が合わない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、定員に空きがない	近所の人や父母の友人・知人がみている	その他	無回答
小学生保護者(n=683)	46.6	18.4	12.2	3.2	2.9	2.8	0.7	0.4	32.8	0.0
【世帯類型別】										
ひとり親世帯(n=97)	35.1	24.7	6.2	7.2	3.1	4.1	0.0	1.0	41.2	0.0
共働き世帯（類型１）(n=144)	21.5	28.5	20.1	3.5	2.8	2.1	0.0	0.0	42.4	0.0
共働き世帯（類型２）(n=271)	48.0	18.1	11.1	3.0	3.3	2.6	0.7	0.4	33.6	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=155)	77.4	5.8	5.2	0.6	2.6	1.9	1.3	0.6	19.4	0.0

3. 松戸市の子育て支援に関する事業

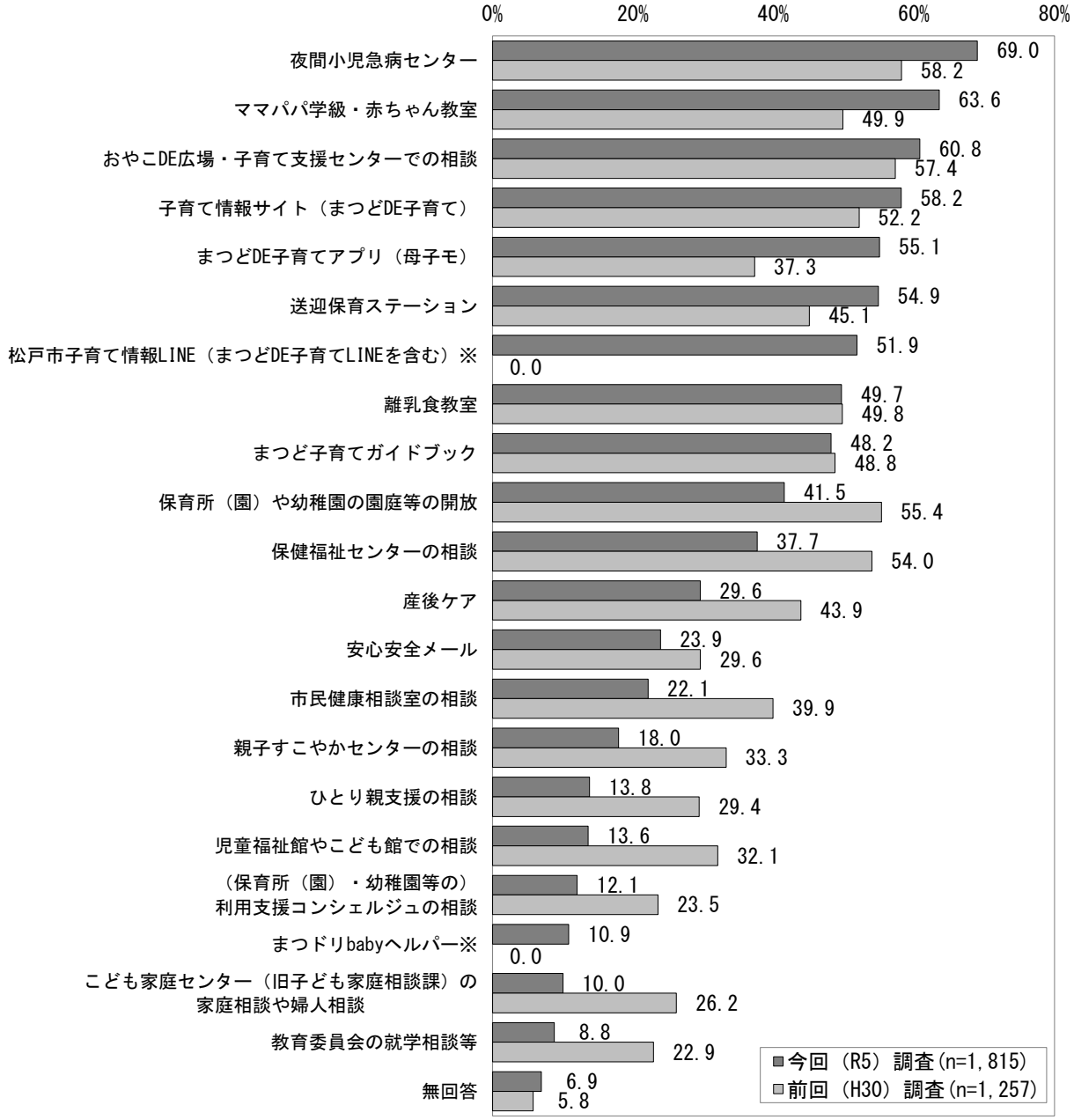
(1)松戸市の子育て支援に関する事業の認知度

就学前児童保護者 問18 、小学生保護者 問29
松戸市で実施している次の事業について、知っていたものをお答えください。(単数回答)

就学前児童保護者

「夜間小児急病センター」が69.0%と最も高く、「ママパパ学級・赤ちゃん教室」が63.6%、「おやこDE広場・子育て支援センターでの相談」が60.8%と続いている。

経年比較では、前回調査よりも「まつど DE 子育てアプリ(母子モ)」の認知度が特に大きく増加している。

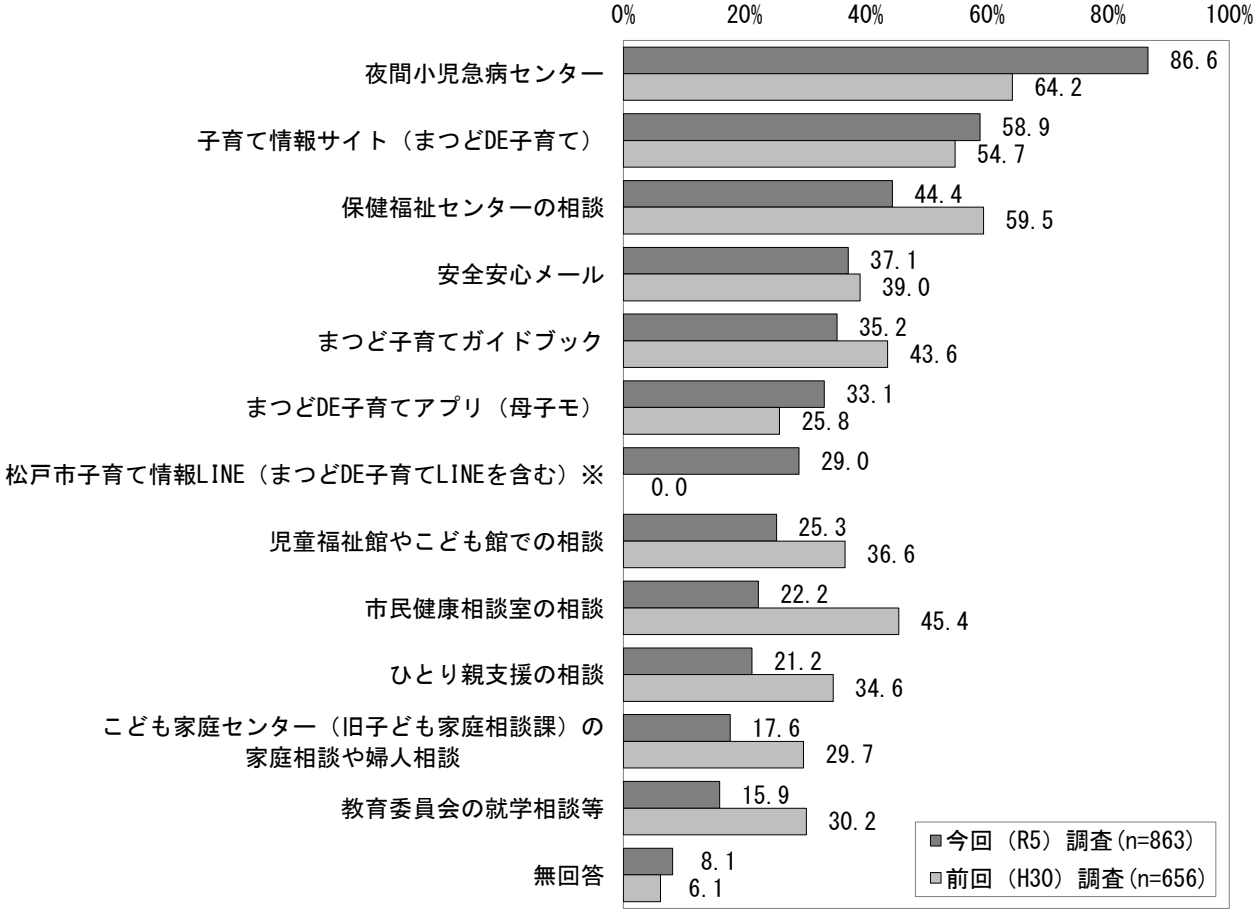


※「松戸市子育て情報 LINE(まつど DE 子育て LINE を含む)」、「まつドリ baby ヘルパー」の選択肢は前回調査にはない。

小学生保護者

「夜間小児急病センター」が 86.6%と最も高く、「子育て情報サイト(まつどDE子育て)」が 58.9%、「保健福祉センターの相談」が 44.4%と続いている。

経年比較では、前回調査よりも「夜間小児急病センター」の認知度が特に大きく増加している。



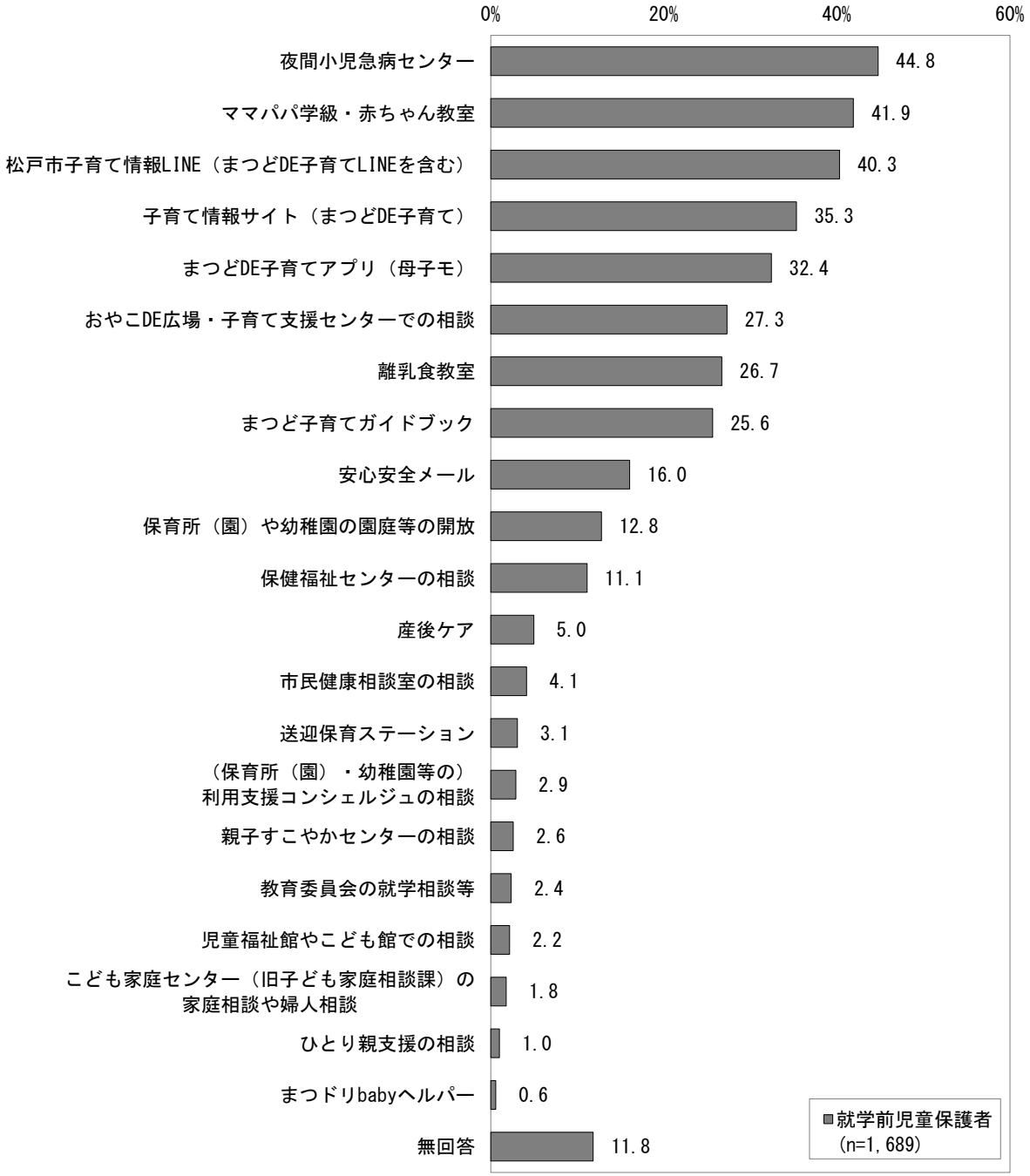
※「松戸市子育て情報 LINE(まつど DE 子育て LINE を含む)」の選択肢は前回調査にはない。

(2)松戸市の子育て支援に関する事業の利用経験

就学前児童保護者 問18 、小学生保護者 問29
【「松戸市の事業の認知度」で、それぞれの事業の「知っていた」を選択した方のみ】
松戸市で実施している次の事業について、これまでに利用したことがあるものをお答えください。
（単数回答）

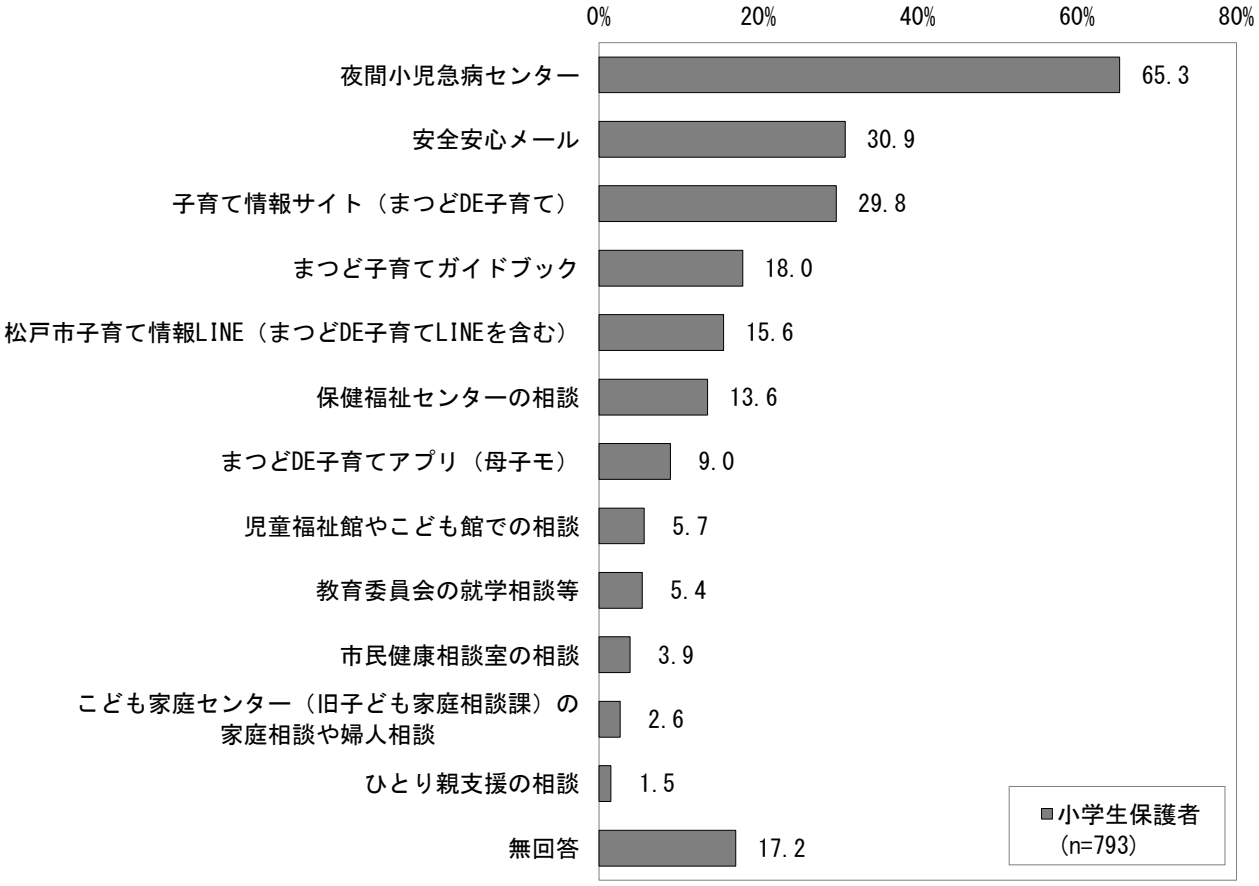
就学前児童保護者

「夜間小児急病センター」が 44.8%と最も高く、「ママパパ学級・赤ちゃん教室」が 41.9%、「松戸市子育て情報 LINE(まつど DE 子育て LINE を含む)」が 40.3%と続いている。



小学生保護者

「夜間小児急病センター」が 65.3%と最も高く、「安全安心メール」が 30.9%、「子育て情報サイト(まつど DE 子育て)」が 29.8%と続いている。



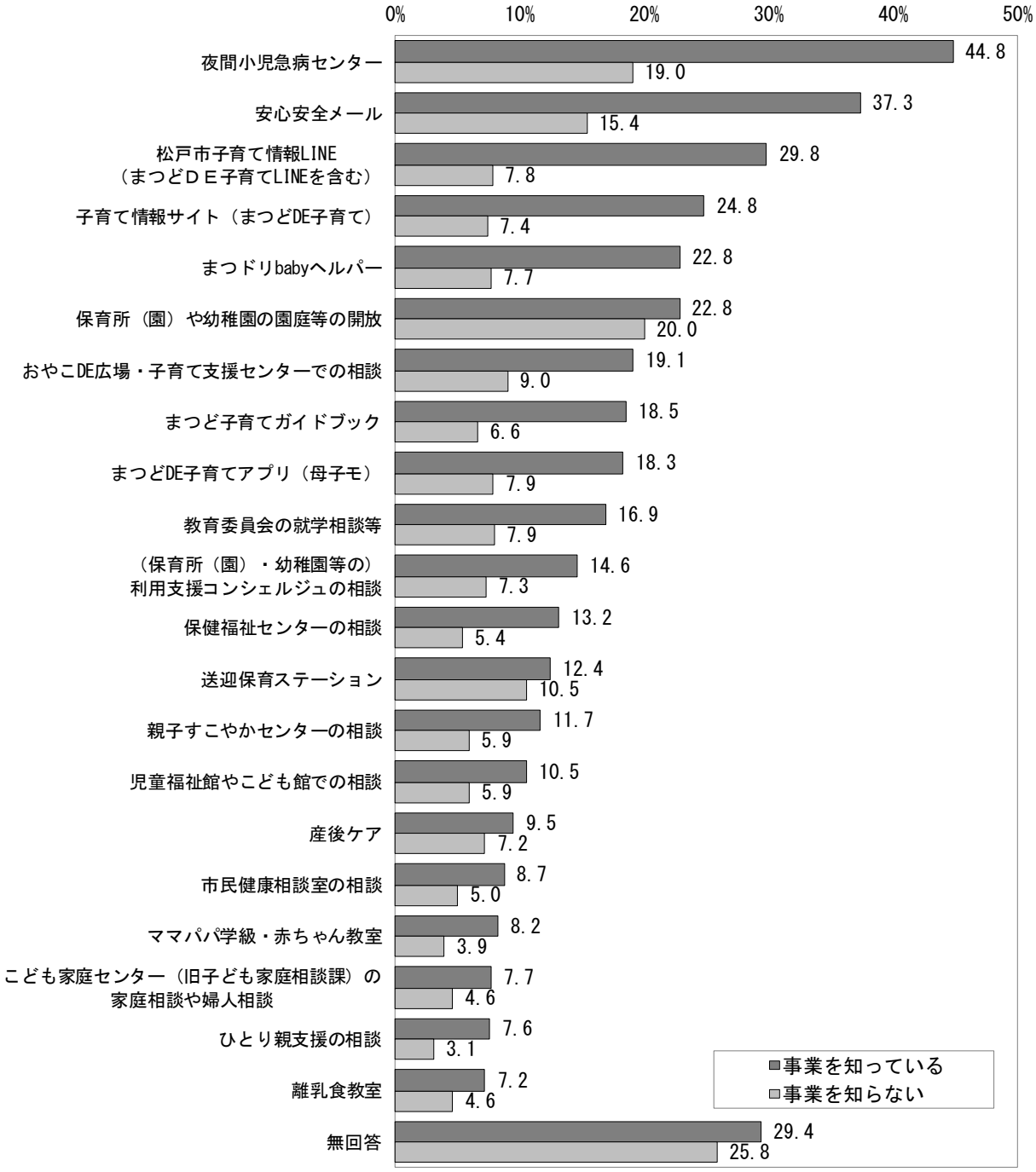
(3)松戸市の子育て支援に関する事業の今後の利用意向

就学前児童保護者 問18 、小学生保護者 問29
松戸市で実施している次の事業について、今後利用したいと思うものをお答えください。(単数回答)

就学前児童保護者

事業を知っている人においては、「夜間小児急病センター」の利用意向が44.8%と最も高く、「安心安全メール」が37.3%と続いている。

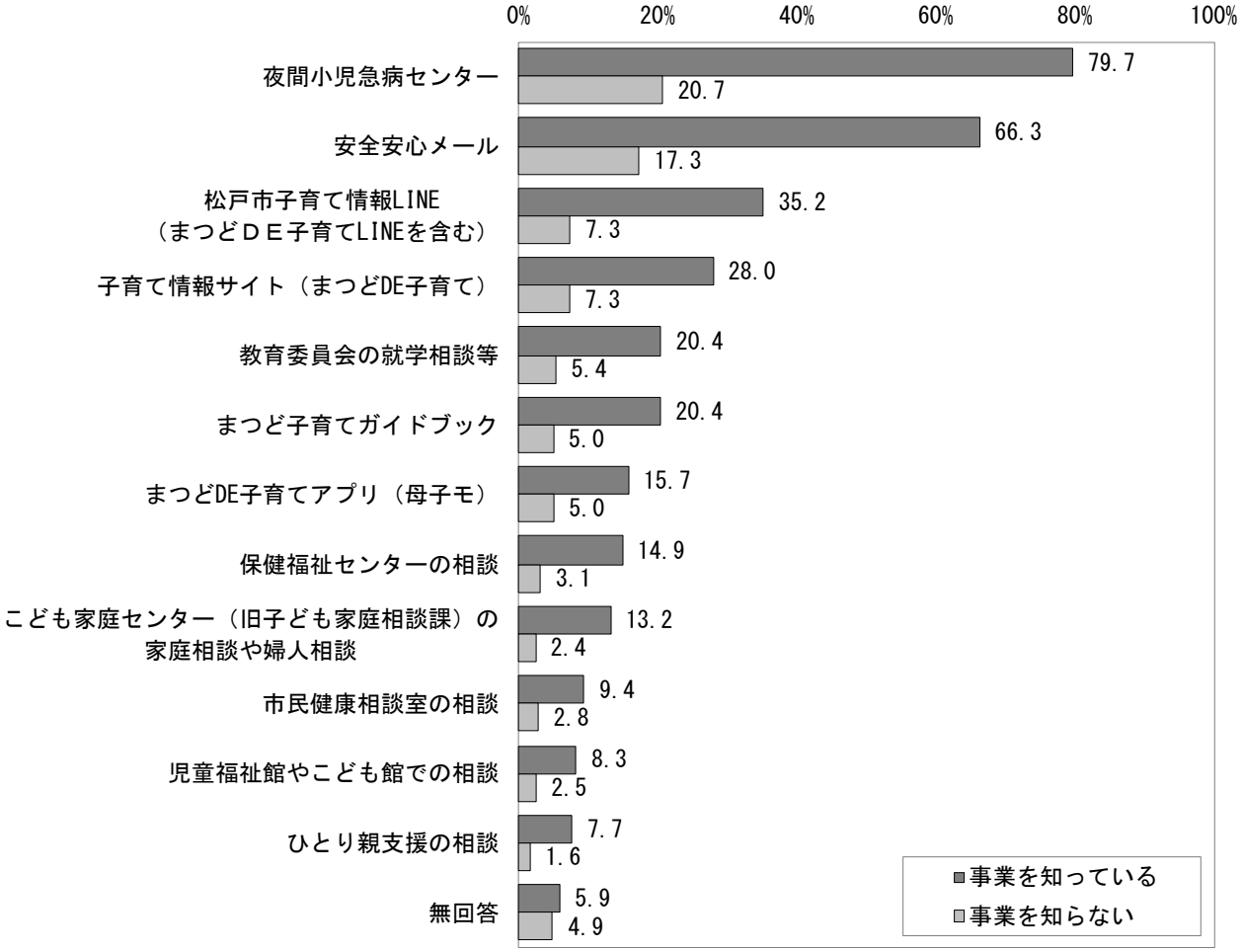
事業を知らない人においては、「保育所(園)や幼稚園の園庭等の開放」の利用意向が 20.0%と最も高く、「夜間小児急病センター」が19.0%と続いている。



小学生保護者

事業を知っている人においては、「夜間小児急病センター」の利用意向が 79.7%と最も高く、「安心安全メール」が 66.3%と続いている。

事業を知らない人においては、「夜間小児急病センター」の利用意向が 20.7%と最も高く、「安心安全メール」が 17.3%と続いている。



（4）支援制度・相談窓口の認知度・利用したことがない理由

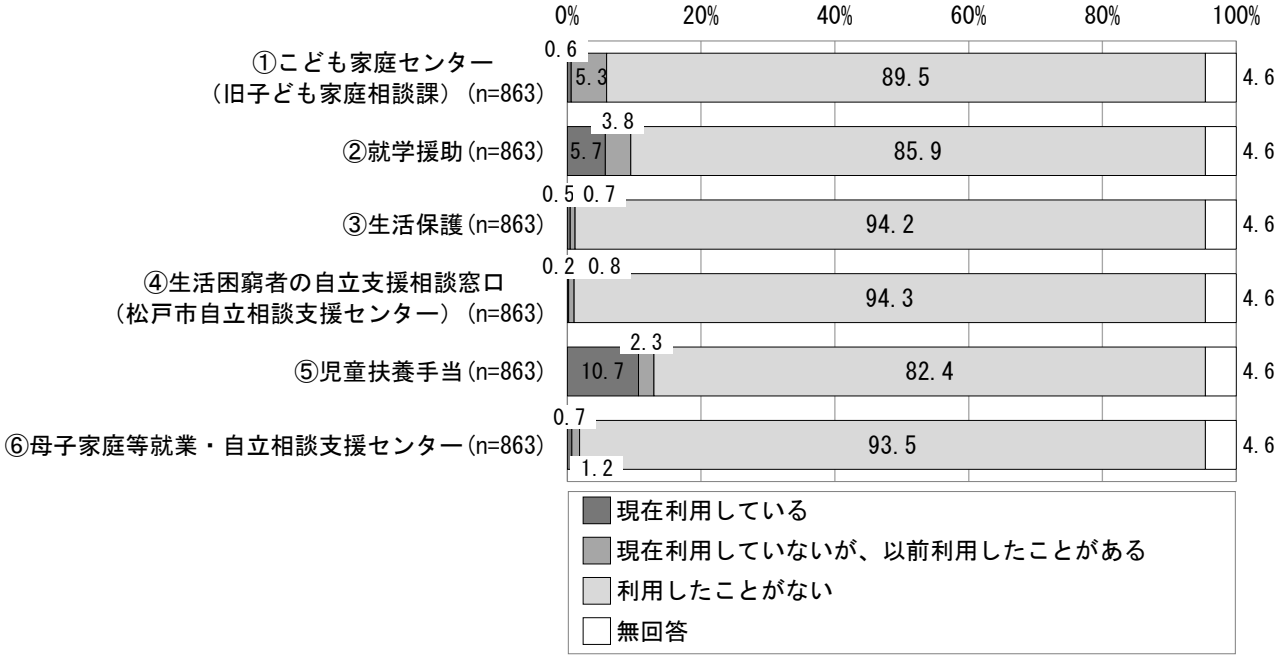
小学生保護者 問 22 、 中学生保護者 問 21

あなたのご家庭では、以下の支援制度・相談窓口をこれまでに利用したことがありますか。また「利用したことがない」場合、その理由は何ですか。（単数回答）

小学生保護者

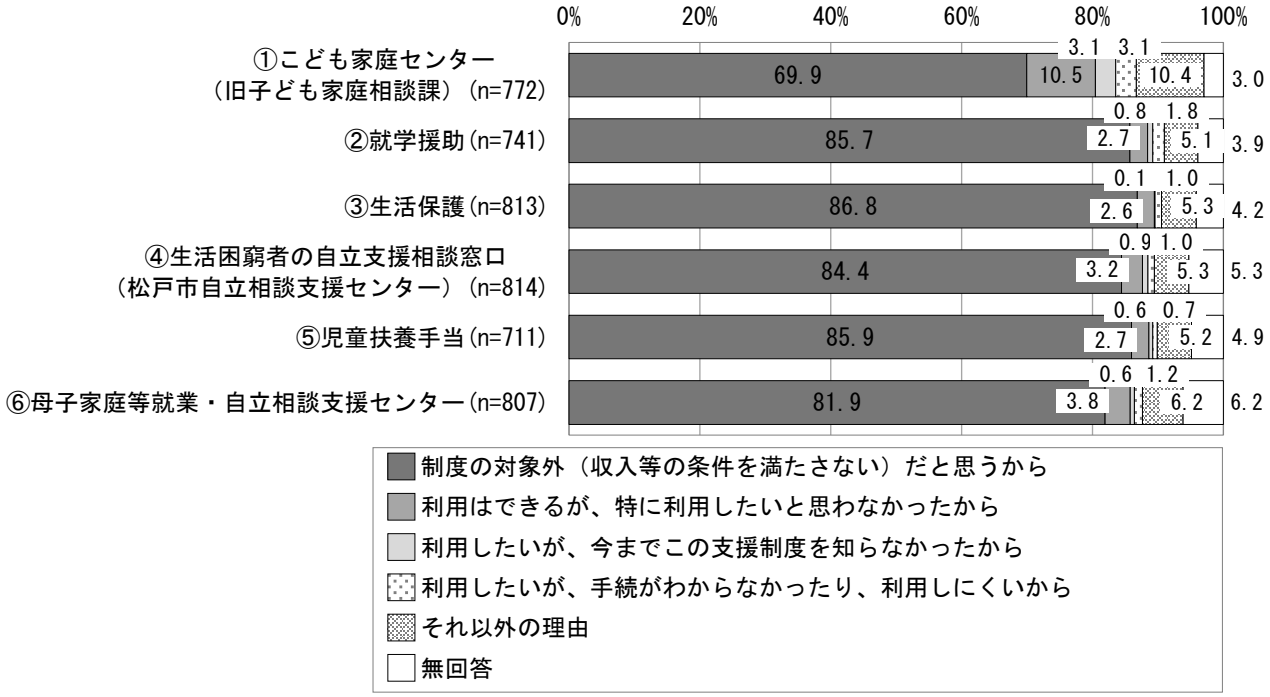
①利用経験

「現在利用している」は、⑤児童扶養手当で 10.7％と相対的に高くなっている。



②利用したことがない理由

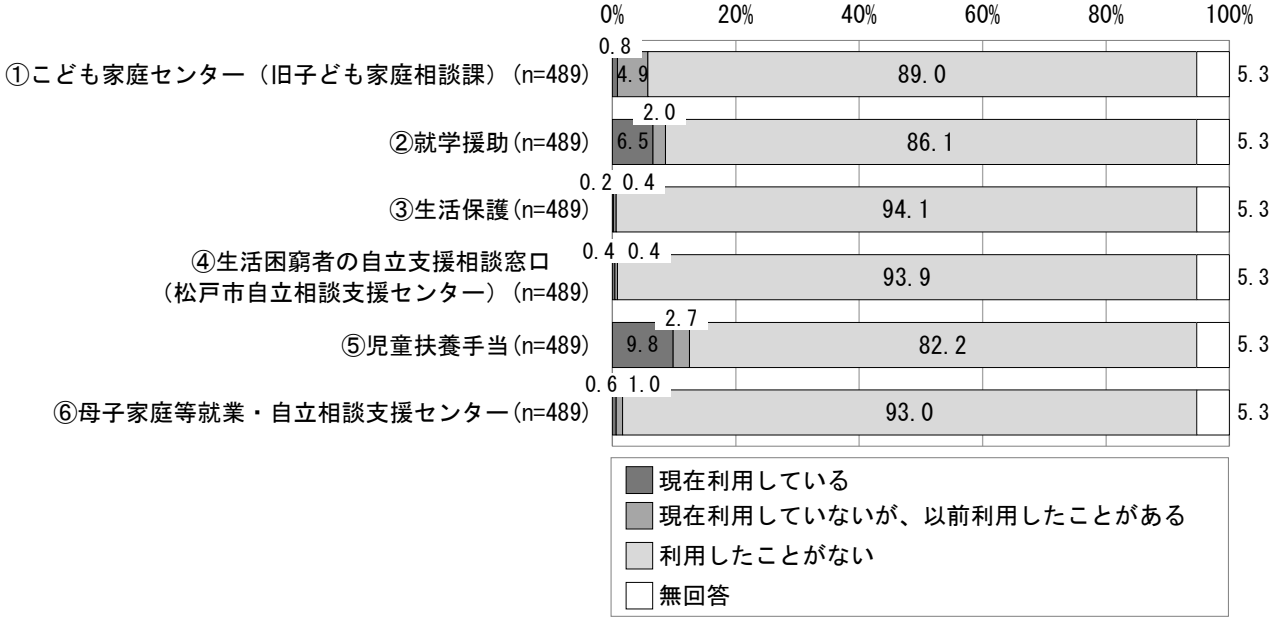
すべての項目で、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が最も高くなっている。



中学生保護者

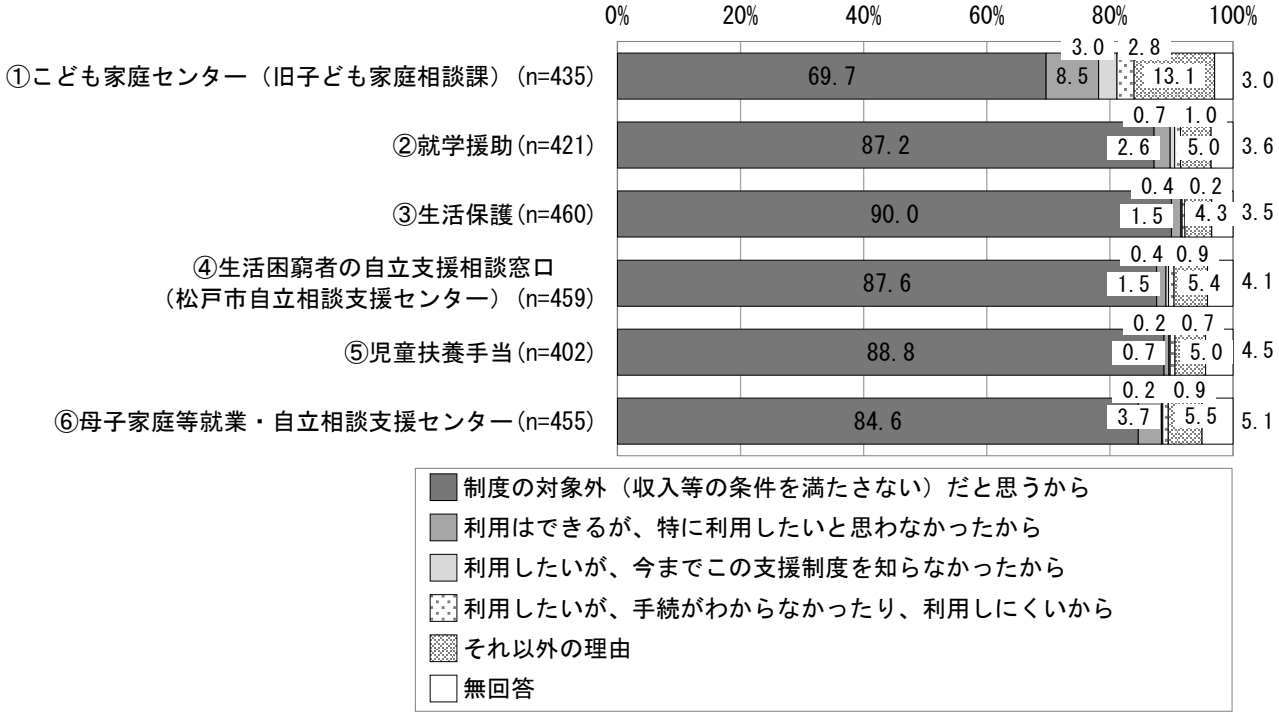
①利用経験

「現在利用している」は、⑤児童扶養手当で 9.8%と相対的に高くなっている。



②利用したことがない理由

すべての項目で、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が最も高くなっている。



4. 休日等保育

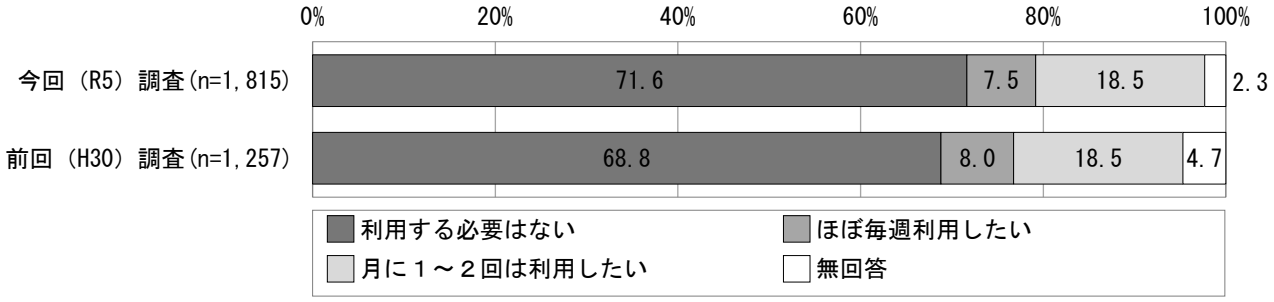
(1)休日保育の利用希望

就学前児童保護者 問 19
宛名のお子さんについて、就労等の理由により土曜日と日曜日・祝日に、教育・保育施設(事業)の利用希望はありますか。(単数回答)

①土曜日

「利用する必要はない」が 71.6%と最も高く、「月に1～2回は利用したい」が 18.5%、「ほぼ毎週利用したい」が 7.5%と続いている。

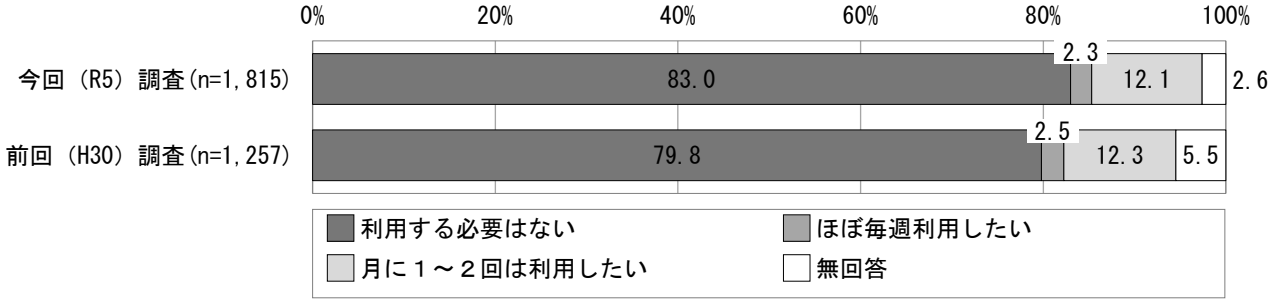
経年比較では、前回調査と大きな違いはみられない。



②日曜日・祝日

「利用する必要はない」が 83.0%と最も高く、「月に1～2回は利用したい」が 12.1%、「ほぼ毎週利用したい」が 2.3%と続いている。

経年比較では、前回調査と大きな違いはみられない。

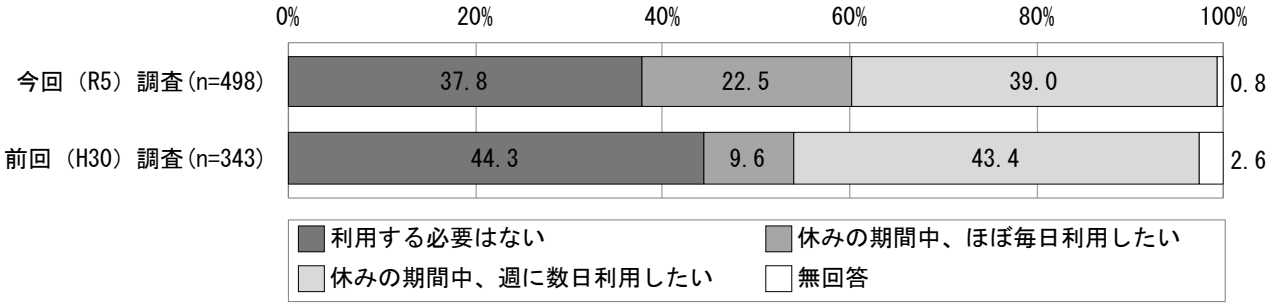


（2）幼稚園の長期休暇期間の利用希望

就学前児童保護者　問 20
【「教育・保育施設の利用状況」で幼稚園を選択した方のみ】
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇期間中に、教育・保育施設（事業）の利用希望はありますか。（単数回答）

就学前児童保護者では、「休みの期間中、週に数日利用したい」が 39.0％と最も高く、「利用する必要はない」が 37.8％、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 22.5％と続いている。

経年比較では、前回調査よりも「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合に増加がみられる。

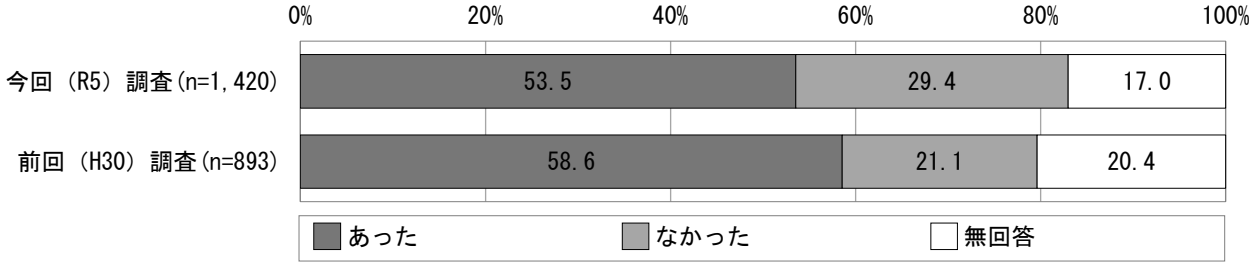


5. 病児・病後児保育

(1)子どもが病気・ケガの際に、教育・保育施設が利用できなかった経験の有無

就学前児童保護者　問 21
【「教育・保育施設の利用状況」で「利用していない」以外を選択した方のみ】
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している施設(事業)が利用できなかったことはありますか。(単数回答)

「あった」が 53.5%、「なかった」が 29.4%となっている。
経年比較では、前回調査よりも「なかった」の割合に増加がみられる。



(2)子どもが病気・ケガの際の対処方法

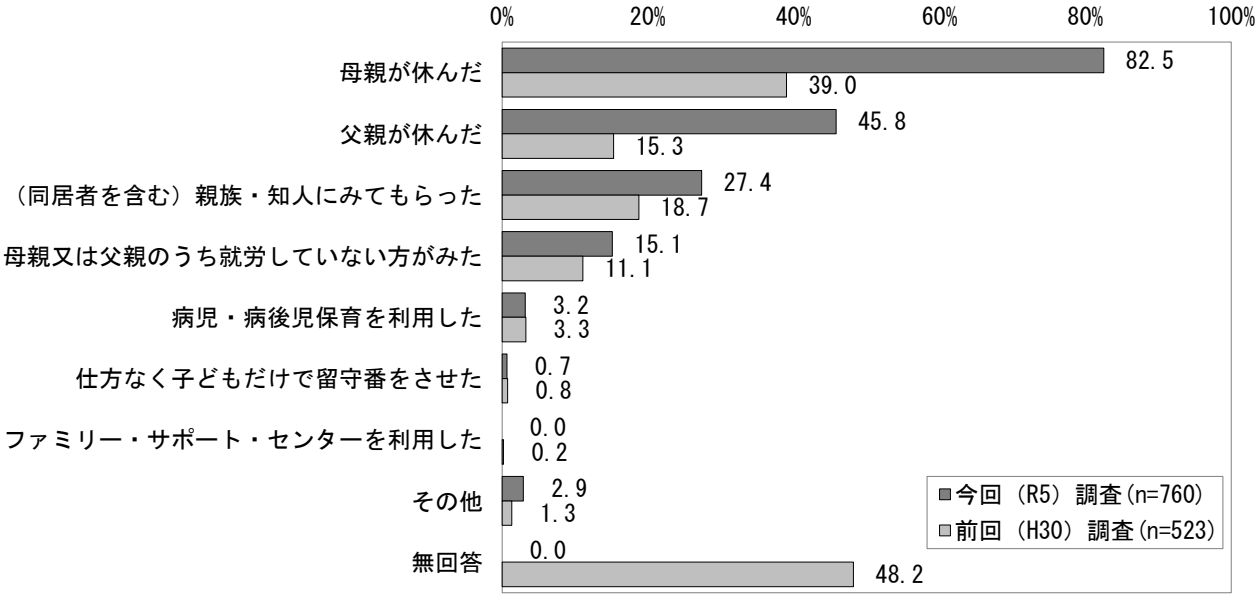
就学前児童保護者　問 21-1

【「子どもが病気・ケガの際に、教育・保育施設が利用できなかった経験の有無」で「あった」を選択した方のみ】

普段利用している施設をお休みした場合に、この1年間に行った対処方法は何ですか。(複数回答)

「母親が休んだ」が 82.5%と最も高く、「父親が休んだ」が 45.8%、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が 27.4%と続いている。

経年比較では、前回調査よりも父母が休んだ割合が増加している。新型コロナウイルス感染症等が流行している期間においては、子どもに発熱などの症状があった場合に、親族・知人を頼るのが難しく、父母が仕事を調整せざるをえない状況があった可能性が考えられる。

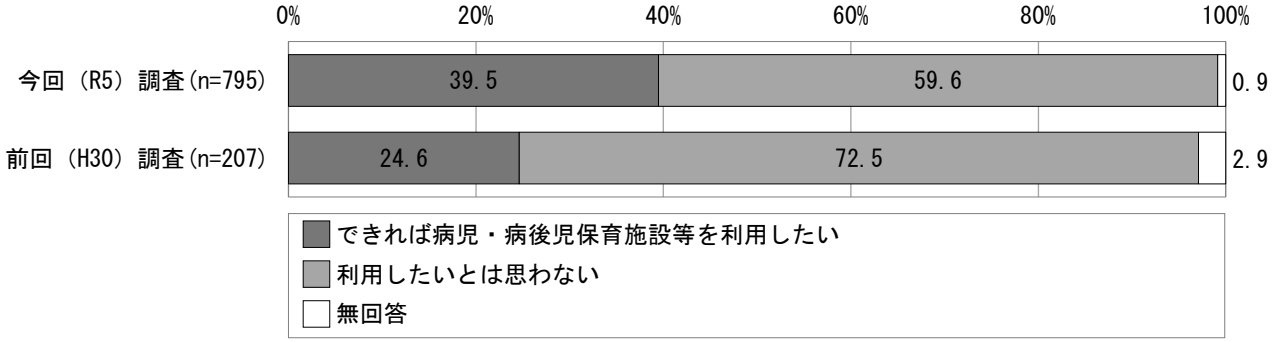


(3)病児・病後児保育の利用希望

就学前児童保護者　問 21-2
【「子どもが病気・ケガの際の対処方法」で、「母親が休んだ」または「父親が休んだ」のいずれかを選択した方のみ】
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と思われましたか。(単数回答)

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が 39.5%、「利用したいとは思わない」が 59.6%となっている。

経年比較では、前回調査と比較して「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が増加している。

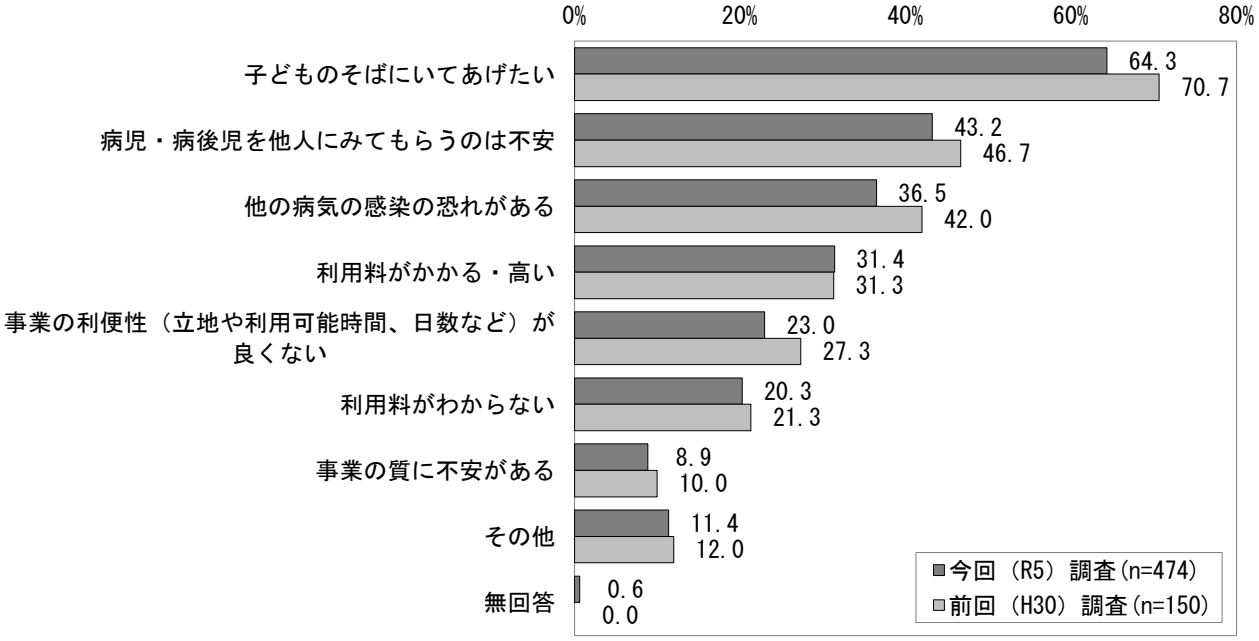


(4)病児・病後児保育を利用したくない理由

就学前児童保護者　問 21-3
【「病児・病後児保育の利用希望」で「利用したいと思わない」を選択した方のみ】
そう思われる理由は何ですか。(複数回答)

「子どものそばにいてあげたい」が 64.3%と最も高く、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が 43.2%、「他の病気の感染の恐れがある」が 36.5%と続いている。

経年比較では、前回調査より全体的に割合が減少している。

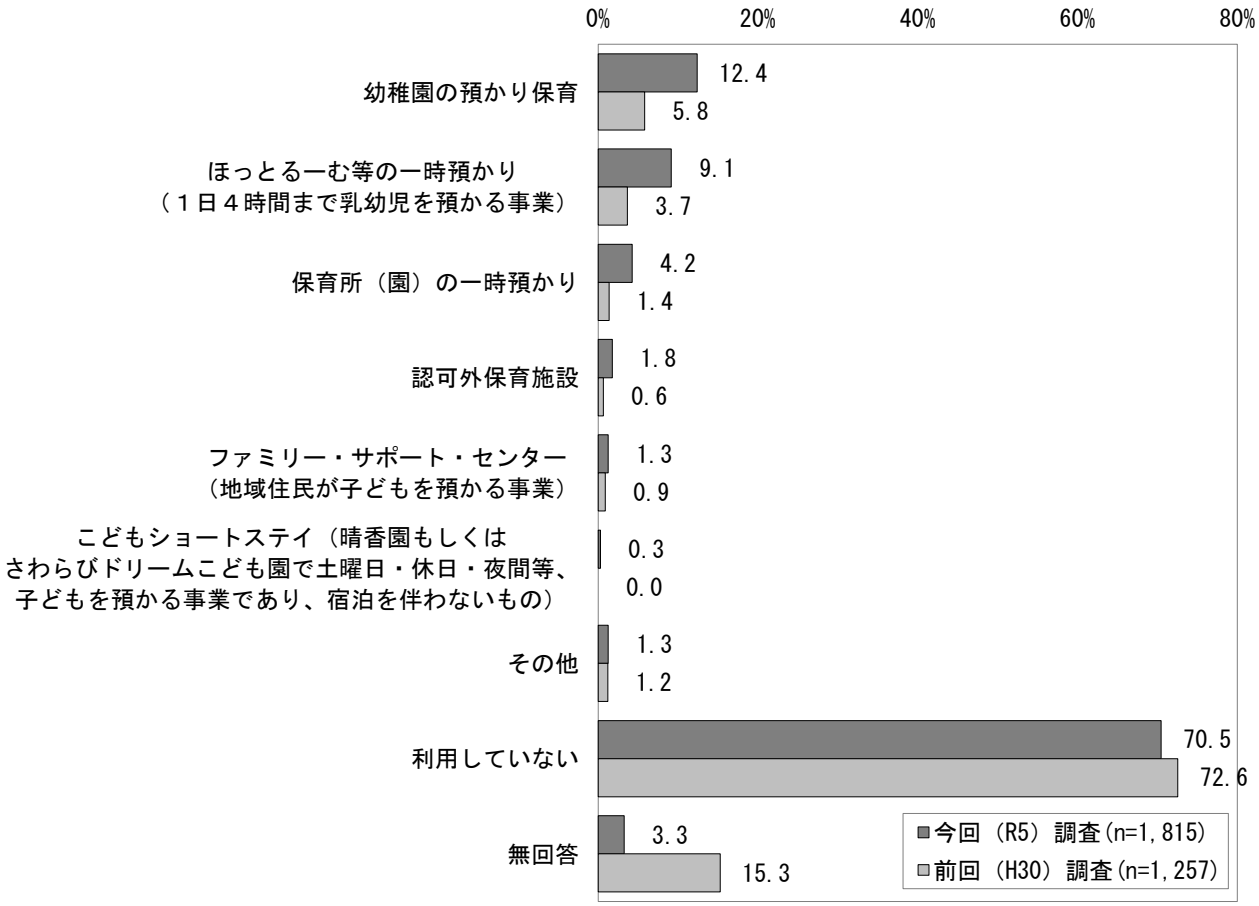


6. 一時預かり

(1)日中の一時預かりの利用経験

就学前児童保護者 問 22
宛名のお子さんについて、この1年間で、保護者の用事(私用、親の通院、不定期の就労等)等により利用したことがある事業はありますか。(複数回答)

「利用していない」を除くと、「幼稚園の預かり保育」が 12.4%と最も高く、「ほっとる一む等の一時預かり(1日4時間まで乳幼児を預かる事業)」が 9.1%、「保育所(園)の一時預かり」が 4.2%と続いている。
経年比較では、前回調査より「幼稚園の預かり保育」の割合が高くなっている。

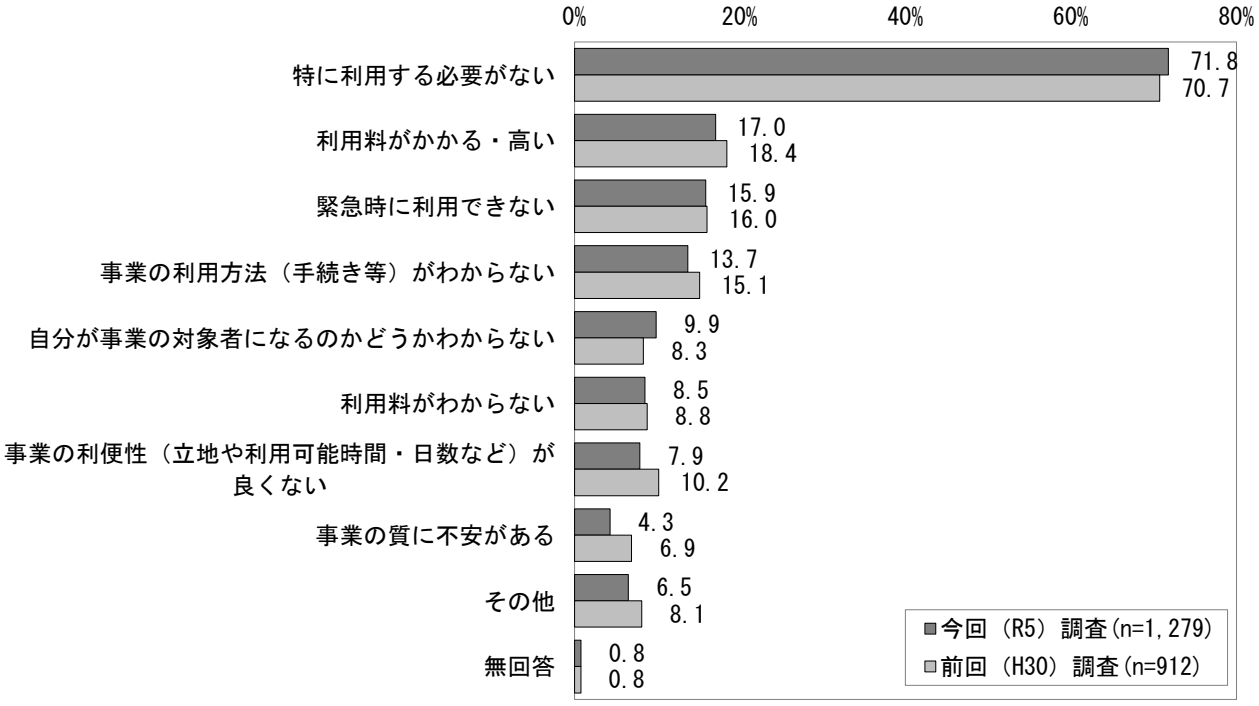


(2)日中の一時預かりを利用しない理由

就学前児童保護者 問 22-1
【「日中の一時預かりの利用経験」で「利用していない」を選択した方のみ】
現在利用していない理由は何ですか。(複数回答)

「特に利用する必要がない」が 71.8%と最も高く、「利用料がかかる・高い」が 17.0%、「緊急時に利用できない」が 15.9%と続いている。

経年比較では、前回調査と大きな違いはみられない。

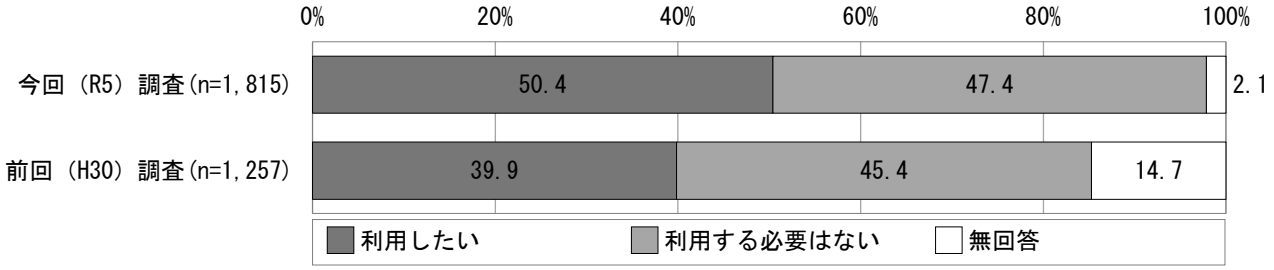


（3）一時預かりの利用希望

①利用希望

就学前児童保護者　問 23
宛名のお子さんについて、保護者や家族の用事（冠婚葬祭等）、病気等で、一時預かり事業等を利用する必要があると思いますか。利用の必要性の有無をお答えください。（単数回答）

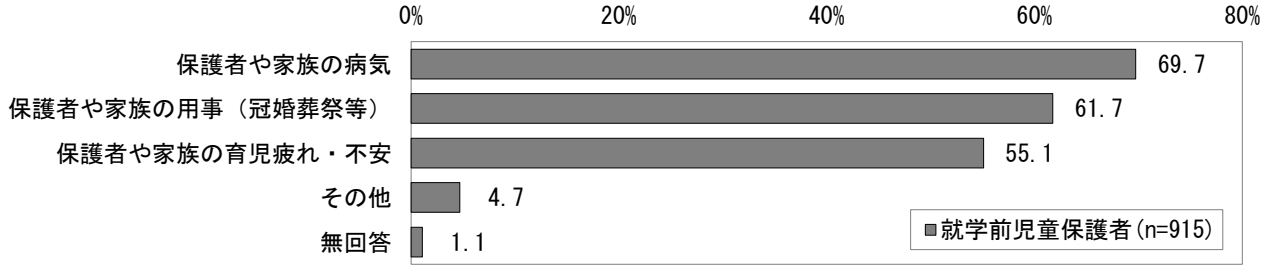
「利用したい」が 50.4%、「利用する必要はない」が 47.4%となっている。
経年比較では、前回調査よりも利用希望に増加がみられる。



②利用を希望する理由

就学前児童保護者　問 23
【「利用希望」で「利用したい」を選択した方のみ】
理由をお答えください。（単数回答）

「保護者や家族の病気」が 69.7%と最も高く、「保護者や家族の用事（冠婚葬祭等）」が 61.7%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が 55.1%と続いている。



（4）宿泊を伴う一時預かりの利用経験

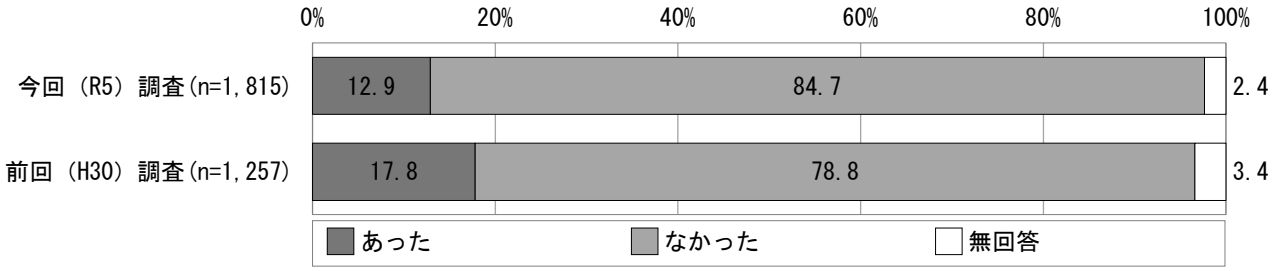
①この1年間で泊りがけで子どもを家族以外に預ける必要のあったケース

就学前児童保護者　問 24

宛名のお子さんについて、この1年間で、保護者や家族の用事（冠婚葬祭等）、病気等により泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。利用の必要性の有無をお答えください。

（単数回答）

「あった」が 12.9%、「なかった」が 84.7%となっている。
経年比較では、前回調査よりも利用希望は減少している。

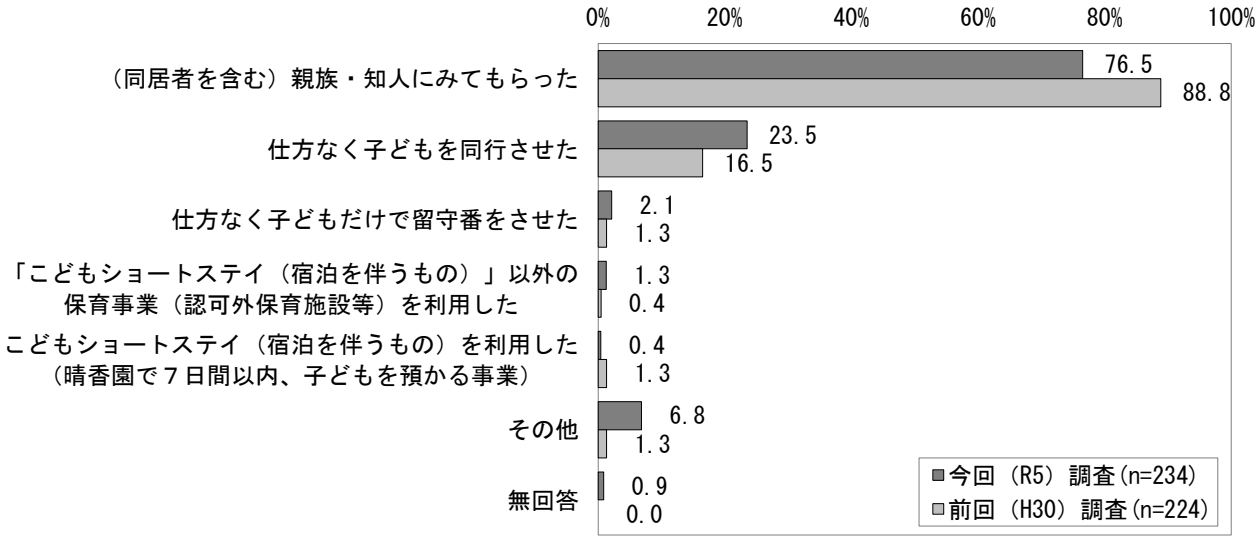


②必要があった場合の対処方法

就学前児童保護者 問 24
【「この1年間で泊りがけで子どもを家族以外に預ける必要のあったケース」で「あった」を選択した方のみ】
対処方法をお答えください。（複数回答）

「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が 76.5％と最も高く、「仕方なく子どもを同行させた」が 23.5％、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が 2.1％と続いている。

経年比較では、前回調査よりも「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が減少し、「仕方なく子どもを同行させた」の割合が増加している。



第7節　子どもに関する施策

■結果の概要

【子どもの体験機会】

・いずれの調査でも「現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、遊ぶことのできる場所が少なくなっている」や「現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、体験活動の機会が少なくなっている」の割合が高く、子どもの体験機会が十分でないと考える保護者が多いと考えられる。

・世帯類型別にみると、ひとり親世帯において学校以外の体験活動が十分でないと感じている傾向があった。経済状況別にみると、小学生保護者の低所得層においては学校以外の体験活動が十分でないと感じている傾向がみられたが、中学生保護者の低所得層では、一般層・準低所得層に比べて現状の体験活動で十分と感じる傾向がみられた。

【子どもの安全】

・いずれの調査でも、子どもの安全のために、自動車や知らない人への注意喚起をする割合が高くなっている。経年比較では、前回調査よりも、子どものインターネット環境にフィルターをかける割合が増加している。

【行政へ期待する施策】

・就学前児童保護者においては、経済的支援を求める割合が最も高く、小学生保護者・中学生保護者においては防犯対策を求める割合が最も高くなっている。

(1)子どもの体験活動をどう思うか

小学生保護者 問 26 、 中学生保護者 問 22
あなたは、子どもの体験活動について、次のように思いますか。(複数回答)

小学生保護者

「現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、遊ぶことのできる場所が少なくなっている」が62.2%と最も高く、「現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、体験活動の機会が少なくなっている」が 42.5%、「学校の授業や行事で、子どもたちが体験活動をできる機会が十分にある」が 23.5%と続いている。

世帯類型別にみると、ひとり親世帯において「学校の授業や行事以外で、子どもたちが体験活動をできる機会が十分にある」が低くなっている。経済状況別にみると、低所得層において「学校の授業や行事以外で、子どもたちが体験活動をできる機会が十分にある」が低くなっている。

(%)	現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、遊ぶことのできる場所が少なくなっている	現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、体験活動の機会が少なくなっている	学校の授業や行事で、子どもたちが体験活動をできる機会が十分にある	学校の授業や行事以外で、子どもたちが体験活動をできる機会が十分にある	子どもたちと一緒に体験活動をすることは苦手である	自由な体験活動より、作業が決まっている体験活動の方が良い	自分の子どもには、今は体験活動よりも勉強を優先させたい	特に思うことはない	無回答
小学生保護者(n=863)	62.2	42.5	23.5	15.5	4.3	3.9	3.6	9.7	5.6
【世帯類型別】									
ひとり親世帯(n=123)	57.7	48.8	24.4	11.4	4.9	5.7	4.1	12.2	3.3
共働き世帯（類型１）(n=208)	63.5	44.2	21.6	17.3	3.8	3.4	4.3	9.1	7.2
共働き世帯（類型２）(n=329)	61.7	39.2	25.2	17.0	4.0	4.0	3.3	9.4	5.5
専業主婦（夫）世帯(n=182)	65.9	42.9	23.1	14.3	5.5	3.8	2.7	7.7	4.9
【経済状況別】									
一般層(n=396)	67.2	44.7	23.5	16.9	3.5	3.0	4.5	8.8	3.3
準低所得層(n=320)	61.3	42.5	26.3	16.9	5.3	5.0	2.8	9.4	3.8
低所得層(n=55)	58.2	49.1	23.6	7.3	3.6	3.6	3.6	12.7	1.8

中学生保護者

「現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、遊ぶことのできる場所が少なくなっている」が55.6%と最も高く、「現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、体験活動の機会が少なくなっている」が 38.7%、「学校の授業や行事で、子どもたちが体験活動をできる機会が十分にある」が 28.4%と続いている。

世帯類型別にみると、ひとり親世帯において「学校の授業や行事以外で、子どもたちが体験活動をできる機会が十分にある」が低くなっている。経済状況別にみると、低所得層において、現在の子どもたちは昔に比べて遊び場や体験機会が少ないと考える割合が、低くなっています。

（%）	現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、遊ぶことのできる場所が少なくなっている	現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、体験活動の機会が少なくなっている	学校の授業や行事で、子どもたちが体験活動をできる機会が十分にある	学校の授業や行事以外で、子どもたちが体験活動をできる機会が十分にある	自分の子どもには、今は体験活動よりも勉強を優先させたい	自由な体験活動より、作業が決まっている体験活動の方が良い	子どもたちと一緒に体験活動をすることは苦手である	特に思うことはない	無回答
中学生保護者(n=489)	55.6	38.7	28.4	11.7	6.3	4.3	3.9	10.2	5.9
【世帯類型別】									
ひとり親世帯(n=70)	48.6	37.1	34.3	5.7	8.6	1.4	7.1	8.6	5.7
共働き世帯（類型１）(n=84)	51.2	36.9	23.8	10.7	8.3	1.2	3.6	9.5	8.3
共働き世帯（類型２）(n=229)	61.1	40.2	26.2	14.0	4.4	6.6	2.6	11.4	4.4
専業主婦（夫）世帯(n=89)	56.2	33.7	34.8	11.2	7.9	4.5	5.6	7.9	9.0
【経済状況別】									
一般層(n=230)	61.7	41.3	31.3	11.3	7.4	4.3	3.9	6.1	1.7
準低所得層(n=152)	59.9	43.4	28.3	12.5	4.6	3.3	3.9	12.5	1.3
低所得層(n=60)	45.0	35.0	31.7	15.0	10.0	6.7	3.3	15.0	1.7

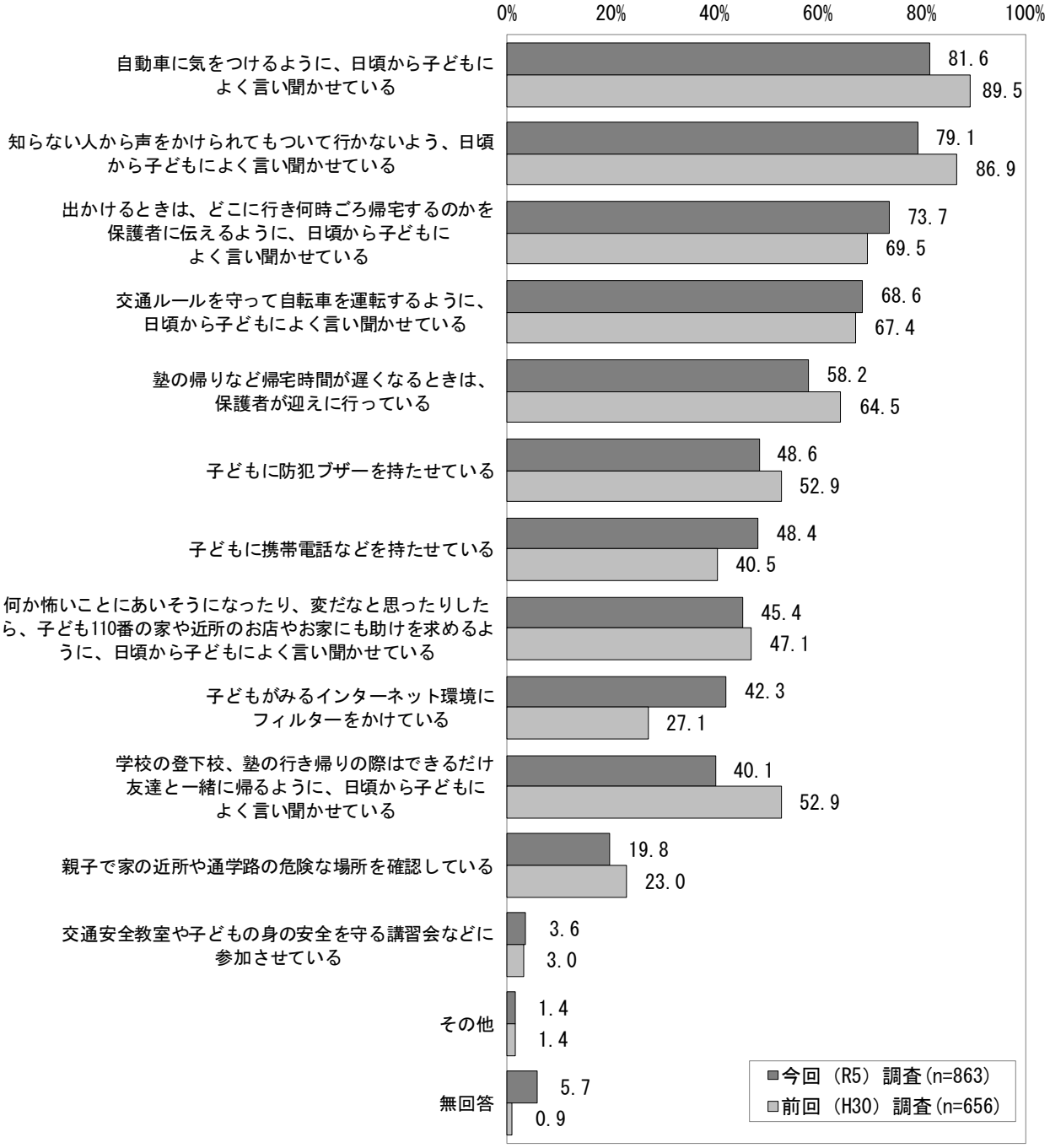
(2)子どもの安全のためにしていること

小学生保護者 問 27 、中学生保護者 問 23
お子さんの安全のために、日頃から注意していること、もしくは実施していることは何ですか。(複数回答)

小学生保護者

「自動車に気をつけるように、日頃から子どもによく言い聞かせている」が 81.6%と最も高く、「知らない人から声をかけられてもついて行かないよう、日頃から子どもによく言い聞かせている」が 79.1%と続いている。

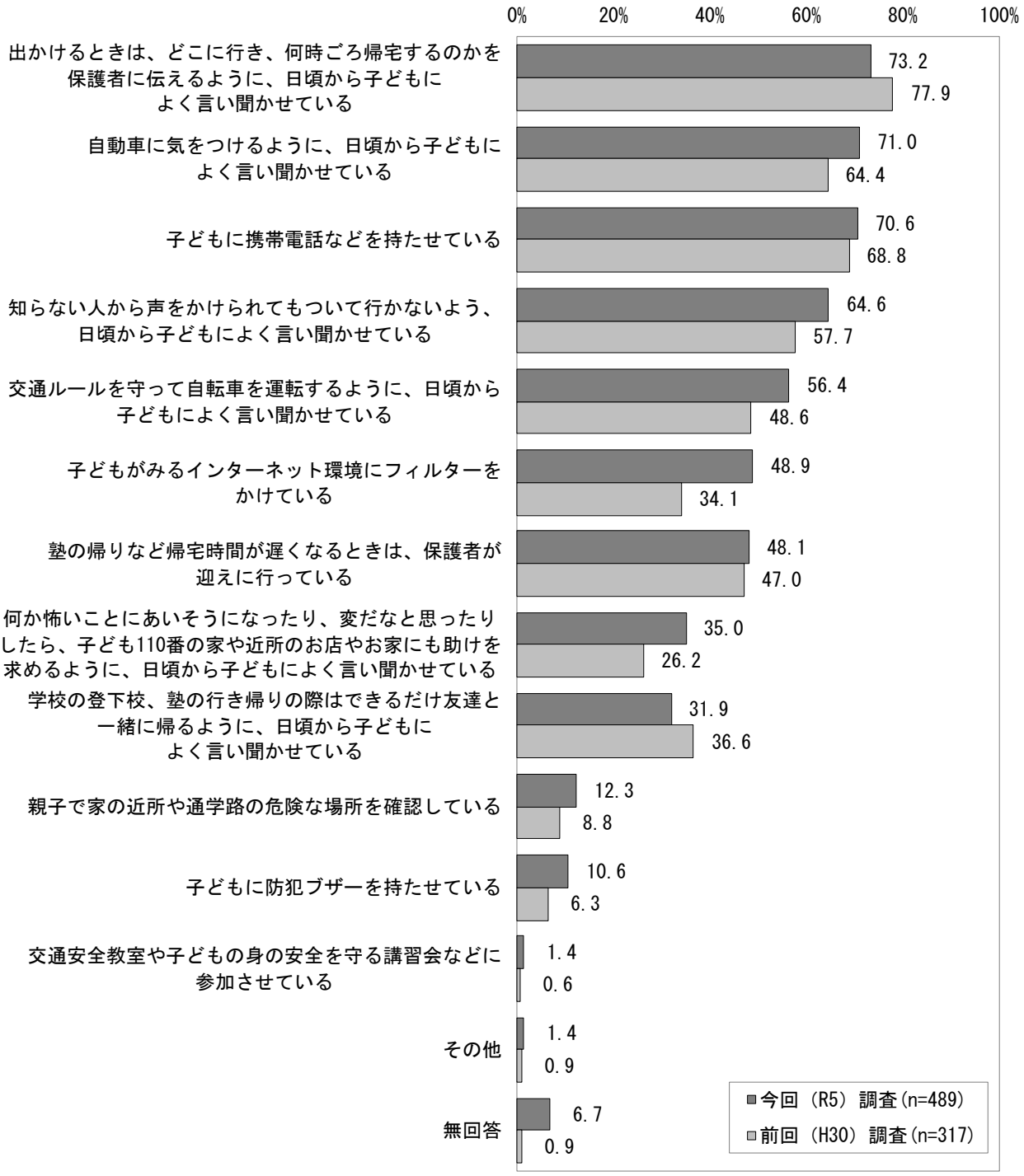
経年比較では、前回調査よりも「子どもがみるインターネット環境にフィルターをかけている」の割合が増加している。



中学生保護者

中学生保護者では、「出かけるときは、どこに行き、何時ごろ帰宅するのかを保護者に伝えるように、日頃から子どもによく言い聞かせている」が 73.2％と最も高く、「自動車に気をつけるように、日頃から子どもによく言い聞かせている」が 71.0％と続いている。

経年比較では、前回調査よりも「子どもがみるインターネット環境にフィルターをかけている」の割合が増加している。



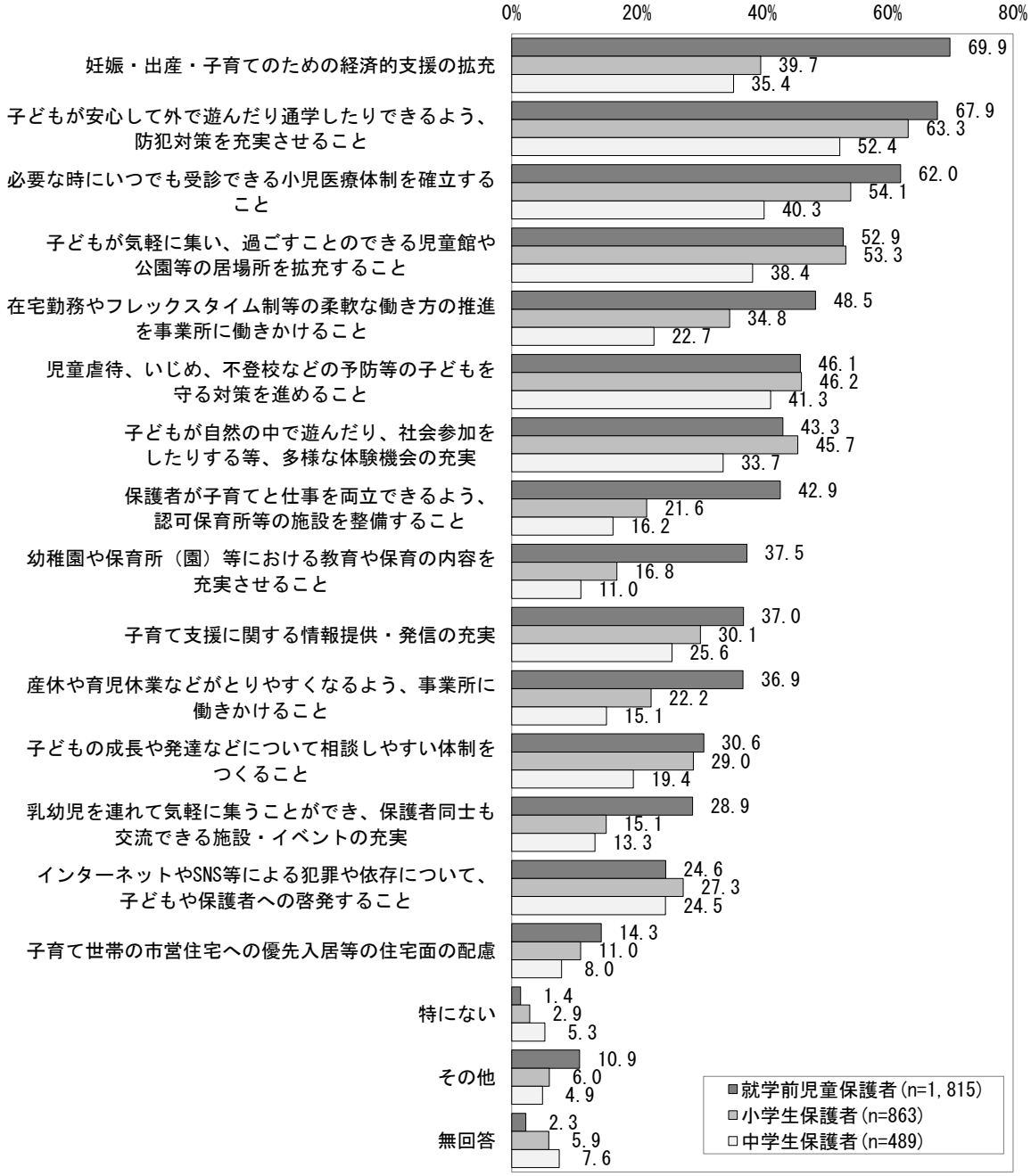
(3)行政へ期待する施策

就学前児童保護者 問 25 、小学生保護者 問 30 、中学生保護者 問 25
あなたは、より子どもを生み育てやすくするために、国や自治体にどのような施策を期待しますか。
（複数回答）

就学前児童保護者では、「妊娠・出産・子育てのための経済的支援の拡充」が 69.9%と最も高くなっている。

小学生保護者では、「子どもが安心して外で遊んだり通学したりできるよう、防犯対策を充実させること」が 63.3%と最も高くなっている。

中学生保護者では、「子どもが安心して外で遊んだり通学したりできるよう、防犯対策を充実させること」が 52.4%と最も高くなっている。



「その他」に寄せられた意見

「その他」には、259 件（就学前児童保護者 191 件、小学生保護者 47 件、中学生保護者 21 件）の記述回答が寄せられた。主な意見は次のとおり。

保育園に関する意見（35 件）
【概要】 希望する保育園に入れるよう望む意見が多数みられた。その一方で、保育士の待遇や労働環境を懸念する意見も多くみられた。
・保育園入園希望したら必ず入園できるようにしてほしい。4月のみではなく年度途中からでも。育休延長しなければならず、職場復帰をしづらいのが辛い。 ・仕事が休みの日（平日）に、通っている保育園に預けたい。 ・保育士の配置人数を見直してほしい。もっと1人当りの保育士の受け持ち人数を減らしてほしい。 ・保育をしてくれている先生方の労働環境の改善。 ・パートの保育士でも松戸手当を！ ・保育園利用のために、毎年同じような書類を書く手間をなくしていただきたい。

経済的支援に関する意見（29 件）
【概要】 経済的支援の拡充を望む意見が多数みられた。特に、支援制度に世帯年収上限があることへの不満を訴える意見が多くみられた。
・経済的支援が一番ありがたい。 ・多子世帯への補助 ・経済的支援は親の収入に関係なく、子ども全員が受けるべき。世帯収入に上限を設けないでほしい。

公園に関する意見（18 件）
【概要】 子どもが安全に遊べる公園を希望する意見が多数みられた。公園はたくさんあるが、整備がされていないという意見が多かった。
・子どもが安全に遊べる公園の整備 ・駐車場のある公園がもっと欲しいです。 ・公園は沢山あるが、多い分、整備・清掃が行き届いている公園とそうでない公園に差がかなりある。

妊産婦支援に関する意見（10件）
【概要】 産後ケアやパートナーの理解を深めることへの要望や、妊娠・出産に対して不寛容な社会の風潮に関する意見が複数あった。
・高齢出産が増えている今、母親の体ケアに力を入れて欲しいです。フランスでは保険適用で産後ケア（ペリネケア）がされるそうで、婦人科系のトラブルをなくすことで子育てや次の出産に備えることができます。 ・妊娠・出産・子育てのための知識を教育拡充すること。 ・産前産後の女性の体がどう変化していくのか、授乳にはどれだけのエネルギーが使われているのか、ホルモンバランスの変化で女性の精神面がどう変わるのかを男性に理解してほしい。 ・つわりの時に上司が、診断書がないと休めない、また、診断書がないと育休産休がとれないと言い、大変困った。診断書は１通 5,000 円ほどするので、それだけで１万円ぐらいの出費があった。 ・今の日本は出産後に産前のキャリアが失われ年収がガクンと減ってしまうことが多い。確かに以前のような働き方はできないが、会社にとって有益なスキルは持ち合わせていると思っている。未来の人材を育成しているという観点からも、働き方が変わってもキャリアを評価してもらえるのが当たり前な社会になってほしい。

障害に関する意見（8 件）
【概要】 発達障害のボーダーの子どもについて、療育手帳が出ないために対応に悩む意見があった。教育環境や手続きに関する意見があった。
・健常児と障害児だけではなく、その間にいるボーダーの子の進路や具体的な例などの情報が全くない。手帳の取得はできないのに、普通の子にはついていけない子については、親も子も正解がわからない。 ・難病をかかえ身体障害のわが子は学ぶことへの意欲を強く持っておりますが、義務教育の場において、基礎的環境整備が整っておらず、受けたくても受けられない授業も出てきています。 ・障害があるので様々な手続きが必要だが、1か所でまとめて管轄していただきたい。あちこちに電話しなくてはいけないので、とても大変。

第8節　自由回答

(1)子育て支援について

子育て支援に関する自由回答は、1,075 件(就学前児童保護者 719 件、小学生保護者 236 件、中学生保護者 120 件)が寄せられた。主な意見は次のとおり。

経済的支援に関する意見(243 件)
【概要】 3人目を生むには経済的な問題が大きく、支援を拡充してほしいという意見が多くみられた。 児童手当の所得制限への不満が多くみられた。 給食費について、1人目の子どもであっても支援をしてほしいという意見がみられた。
【第2・3子への支援】 ・子どもは3人ほしいと思っていますが、経済面を考えると無理だなと思ってしまいます。 ・2人目を生んで、経済的負担が大きい。2人目の保育料は、1人目の年齢関係なく半額にしてほしい。とてもじゃないが、3人目を考えられないです。 ・第3子以上の無償化をもう少し拡大していただけると嬉しいです。 【保育料への支援】 ・給付金で一時的にお金をいただくよりも、保育料無償・減額の方がありがたい。 【支援対象(所得制限)】 ・世帯収入と子どもの人数に合わせて、子育て支援をするべき。 ・親の収入に関わらず、支援金を支給するべき。 【給食費への支援】 ・給食費をひとりっ子家庭でも無料や金額を下げるなどして欲しい。 【中学生・高校生への支援】 ・一番お金のかかる中高に支援してもらいたい。

公園に関する意見(150件)
【概要】 身近に子どもが遊べるような、きれいな公園を望む声が多数みられた。また、遊具を新しく多様なものに刷新することを望む声も多数みられた。
・各エリアに芝のきれいに整備されている公園を作るべきだと思います。 ・身近な公園が増えるともっと出かけやすくなります。 ・公園の遊具を、同じような遊具ばかりでなく色々な種類の遊具にする。 ・公園は遊具がとにかく古く、ペンキがはがれているなどきれいなイメージがない。

医療に関する意見（107件）
【概要】 小児科の予約がとりづらい現状から、小児科の充実を望む意見が多数みられた。松戸市は現在、高校生までを対象に通院1回200円の自己負担とする医療費助成を行っているが、無償化を望む意見がみられた。
【小児科の不足】 ・かかりつけの小児科が事前予約可能なため、当日に予約いっぱいで受けたい時に受診できないことが多々ある。 ・小児科が少ない。もう少し予約がとりやすいとありがたい。 【医療費助成】 ・子ども医療費の無償化。

一時的な保育ニーズに関する意見（42件）
【概要】 一時的な保育に関する多様な意見が寄せられた。現状よりも長時間の預かりや、手続きの利便性を高めることを望む意見がみられた。
・ほっとるーむはとても助かっているが、時間制限があるため、もう少し価格を上げても時間制限なく安心して預けられる制度があると嬉しい。 ・ファミサポ、一時預かりなどの支援を利用開始するための登録プロセスや方法を、Webで簡単に完結できるようにしてほしい。 ・当日にお願いしても預けられるようなベビーシッターシステムが実現したら嬉しい。 ・土日も預かってくれる安心できる施設が増えたら嬉しい。 ・病児保育をもう少し利用しやすくしてほしい。いつも満員で預けられたことがない。 ・ふれあい22に一時預かりの施設があればよいと思います。子どもの通院や療育の間、兄弟をみてくれる施設があると、大変助かります。

妊産婦支援に関する意見（27 件）
【概要】 産後ケア事業の利用の利便性向上についての意見が多数あった。また、第2子以降の場合に、利用の難しい事業もあるという意見があった。
・コロナ禍での出産には不安がありましたが、妊娠中より担当の保健師さんが親切にしてくれたおかげで色々な不安は解消されました。今後も、妊娠中から乳児期、幼児期までの支援をお願いしたいです。 ・産後ケアがすぐに利用できて本当に助かりました。 ・現在妊娠中で、Babyヘルパーを利用して健診の同行をお願いしたかったのですが、「自家用車に一緒に乗ることは不可、現地集合で」など制限があり利用を断念しました。せっかくヘルパーさんをお願いしたいと思ったので、制限が緩和されたらなと思います。 ・引っ越してきたタイミングで第2子を出産したが、第2子だと参加できないもの（産後の教室など）が多く、悩みました。ほっとるーむも3歳までばかりで、上の子が行けない、行きづらくてこもることが多くなってしまいました。 ・産後ケアなど利用者したかったが、保護者が休みたいという目的での利用は不可だった。もっと夜間なども預かってくれる場所が増えて欲しい。夜泣きなどで夜ろくに寝られない親は多いです。 ・産後は1時間×5回無料で子育てや家事代行サービスをつけて欲しい。もう少し気軽に産後サービスを受けたい。 ・出産予定日3日前に子どもの心臓が止まってしまった経験しました。火葬許可証の手続きをした際に、グリーフケア等についての情報を届けてほしい。自ら情報を探すほどの気力がないです。

障害児に関する意見（22 件）
【概要】 障害児を持つ親同士の交流や話を聞いてくれる場を望む意見が複数みられた。ボーダーにいる子どもを支える負担が高いことについての意見が複数あった。その他、行政手続きや施設利用に関することについての意見がみられた。
・児童発達支援を利用したいとき、素早い対応をしてくださったことがとてもおどろきでした。すぐ利用することができ、とても感謝しています。 ・子どもの発達の不安を聞いてくれる場所がほしいです。その場ですぐには解決しなくても、同じように悩んでいるお母さんと話せたり、不安をすべて聞いてくれる支援員さんがいたら、救われると思います。 ・発達障害＋知的ボーダーの我が子は、療育手帳も特児も却下でしたが、我が子を支えるためにフルタイムをあきらめたり費用がかかったりと困り感は全く軽いものではありません。 ・上の子が、こども発達センターの療育に定期的に通っています。ふれあい22の1Fに、こそだて広場があるので、できたら療育の1時間だけで良いので預かり施設を併設してくださると助かります。おむつ替えや食事はなしで構いません。料金もしっかり設定して構いません。 ・ふれあい22に発達支援センターがありますが、1か所だけで対応できないと思うのですが。そして、就学の時にも、きちんと学校や就学相談（教育委員会）へ連携して欲しい。就学相談も相談がいっぱいということで、手続きに時間がかかるとのこと。 ・障害児の幼稚園の受け入れがどこも厳しい。

(2)保育について

保育に関する自由回答は、561件(すべて就学前児童保護者の意見)が寄せられた。主な意見は次のとおり。

保育園に関する意見(146件)
【概要】 保育園の充実だけでなく、教育内容の充実を望む意見もみられた。リフレッシュのために利用しづらい雰囲気があるという意見がみられた。また、保育園での不安ごとを直接話して相談できる窓口を望む意見がみられた。
【保育園の充実】 ・保育園をもっと増やしてほしい。子どもが1歳まで育休をとって復職しようと思っていたが、保育園に空きがなく、復職できなかった。 【保育園の教育内容】 ・保育園の教育内容を充実させてほしい。力を入れているところもあれば、何もしないところもあり、小学生になった時に格差が出る。 【小規模保育施設の利用】 ・子どもが1歳のときに松戸市に引っ越してきた際、小規模保育園はいくつか空きがあり、すぐに入所できたのでよかった。 【レスパイト利用】 ・認可保育所に通っているが、親のリフレッシュを理由とする利用がしにくい。「親の仕事が休みの時は保育園に預けないで」とよく言われますが、なぜでしょうか。 【不安ごとの相談】 ・保育園で不安ごとがあった際に匿名メールではなく、電話などで直接名乗らず話してもいいなどの係などがあると、ちょっとした不安ごとを話しやすい。

幼稚園に関する意見（90件）
【概要】 幼稚園が預かり保育に取り組んでいることで、共働きでも幼稚園を利用できるという意見がみられた。保育園と利用料の考え方が異なるため、幼稚園に通うのが難しいという意見もみられた。
・小規模保育園が増えたことで幼稚園に入園しやすくなったと思いますが、3歳からまた保活をすることに不安がある方が多いと思います。 ・幼稚園に金銭面で行けない人もいるので認可保育所を増やしてほしい。 ・他県、他市村町から転入してきた家庭は、プレ保育にも満3歳クラスにも入れず、幼稚園入園においてかなり不利。転入者にも、優しい支援をしてほしい。 ・共働き＝保育園ではなく各幼稚園での預かり保育が充実しており松戸市からの補助金も出るので、助かっている。

保育士に関する意見（62件）
【概要】 保育士の確保を望む意見が多数みられた。保育園に入園しやすくなることを思っての意見もみられたが、保育士の労働環境や待遇を心配する意見が多くみられた。
・保育士の数が増えてくれたらいいなと思います。少ない人数で一生懸命子どもを見てくださる保育士さんには心から感謝しておりますが、限界があると思います。 ・保育士の賃金、勤務時間の処遇の改善により、人材を充分に確保することで、配置基準を上回るような政策を、市レベルでも予算を充てていってほしいです。 ・公立の保育所がずっとなくならないでほしいです。保育士さんのスキルも人格もすばらしい方が多いと感じます。

保育料に関する意見（59件）
【概要】 保育料は応能負担であることから、働いて預ける意味がないという意見がみられました。
・保育料が高い。 ・0～2歳児の保育料の値下げ　※保育士さんに負担がいかないように配慮はしてほしい。 ・3歳から保育料は無料だが給食費も無償化に！

(3)教育について

教育に関する自由回答は、805件(就学前児童保護者417件、小学生保護者253件、中学生保護者135 件)が寄せられた。主な意見は次のとおり。

教育の内容に関する意見(120件)
【概要】 時代に合った多様な教育を望む意見がみられた。学校間、就学前の施設間の教育格差の是正を求める意見がみられた。
【教育内容】 ・お金についての教育(運用なども)、プログラミング教育 ・性教育について、ちゃんと学校で教えてほしい(男子も女子も平等に)。自分が妊娠出産をして初めて知ることだらけで戸惑った。 ・最近では小学生でもSNSや動画などネットが身近になってきたので、しっかりネットの知識を教育してほしいです。 【格差】 ・経済状況による教育格差をなくしてほしい。 ・幼稚園と保育園の教育の差をなくしてほしい。行事や学びの時間をふやしてほしい。 【感謝】 ・中学の先生方には熱心に教育、指導をしていただいて感謝しております。

教員の確保に関する意見(57件)
【概要】 教員不足を心配し、教員確保を要望する意見とともに、教員の負担軽減を望む意見が多くみられた。
・先生の人数が足りないのが心配です。よい先生がいるので、心理的、経済的に先生にも支援があるといいなと思います。 ・先生の負担が大きい。昔のように 1 クラス 1 人の担任の先生では難しいと思う。副担任や、補助の方を入れるなどしてほしい。 ・学校の先生は一度、社会人を経験した人がなった方が良いと思います。 ・部活動の外部コーチの推進をお願いします。

塾に関する意見（54件）
【概要】 塾に行かずに済むような、安価な学習支援を望む意見が多くみられた。また、塾の費用を支援してほしいという意見もみられた。
・金銭的、時間的に塾に通えない子どものため、放課後に学校で勉強できる時間や場所を作ってほしい。 ・塾に行かなくても学校の放課後や、夏休みに学校開放して学習する場を設けてほしいです。 ・塾費用を支援してほしい。

ICT 教育に関する意見（44件）
【概要】 タブレットが配付されているものの、十分に活用されていないという意見が多数あった。また、オンライン授業を推進してほしいという意見があった。
【タブレットの活用】 ・タブレットは配っているが活用されていない。もっと活用していく方向になってほしい。 ・タブレットを1人1台持っていますが、あまり活用されていないように感じます。 【オンライン授業】 ・家族が体調不良で休ませたりしたときに、オンライン授業があまり活用されてない。 ・感染症等で学級閉鎖になるのは仕方ないが、オンライン授業に切り替えてほしい。

障害児に関する意見（22 件）
【概要】 発達障害に関する教育の対応について、改善を求める意見が多数あった。インクルーシブ教育については、積極的に進める必要性を指摘する意見がある一方、支援学校を充実する必要性を指摘する意見もあった。
・支援学級が増えていたり、昔に比べて増えている発達障害の子どもたちに選択肢があるのは親としてとても良いと思う。子ども達がそれぞれの個性を伸ばしながら成長して行ってほしいと思う。 ・幼稚園の時に発達センターを利用していても小学校では通うところがない。支援級も自宅から遠い学校にしかない。普通の子と同等の、教育環境をのぞみます。 ・発達相談にかなり時間がかかる（初診の際）ところを改善してほしい。 ・新学年になる度に子どもの発達について事前に説明を毎回担任にはじめから話さなくてはならないため、重く感じています。 ・子どもに障害がある場合、就学相談をしてもほぼ支援学校を勧められる。インクルーシブが言われている時代なのに松戸市では相変わらず障害者排除を感じることが多い。 ・自閉症やADHDのお子さんを無理に普通学校に通わせたがる親子さんが多い。お子さん本人がその環境についていけないし、健常児が自分のペースで勉強できないのはかわいそう。支援学校は本当に良いと思う。偏見をなくす努力をしてほしい。発達グレーのお子さんはもっと大変。

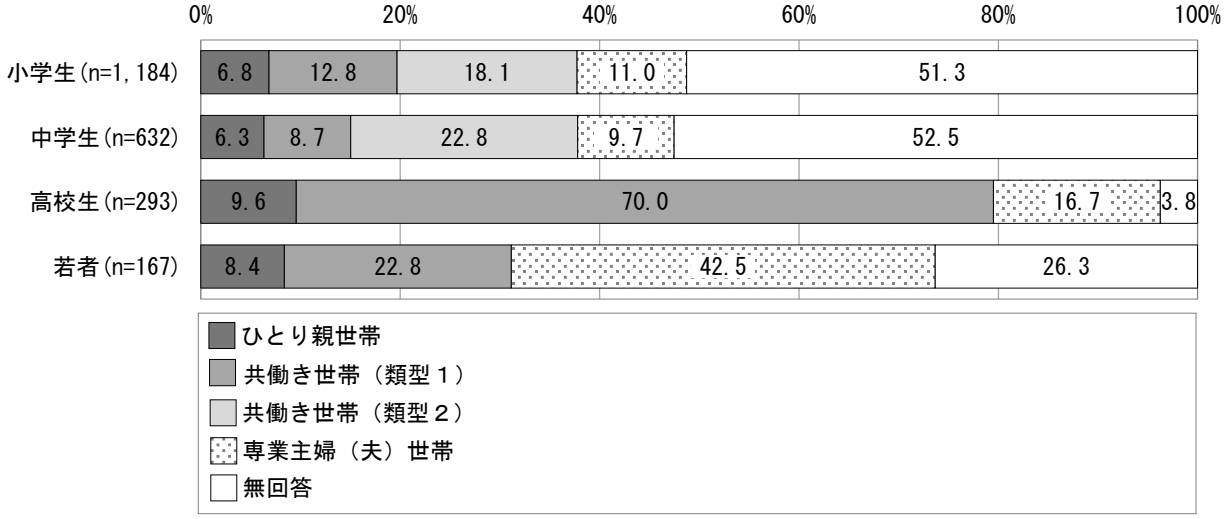
第３章　調査の結果②

＜小学生・中学生・高校生・若者＞

第1節　属性

(1)世帯類型

小学生保護者 問2・問4 、中学生保護者 問2・問3 、高校生 問 25・問 26 、若者 問4・問5 から分類
同居しているご家族をお答えください。(複数回答)
宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業を含む)についてお答えください。(単数回答)

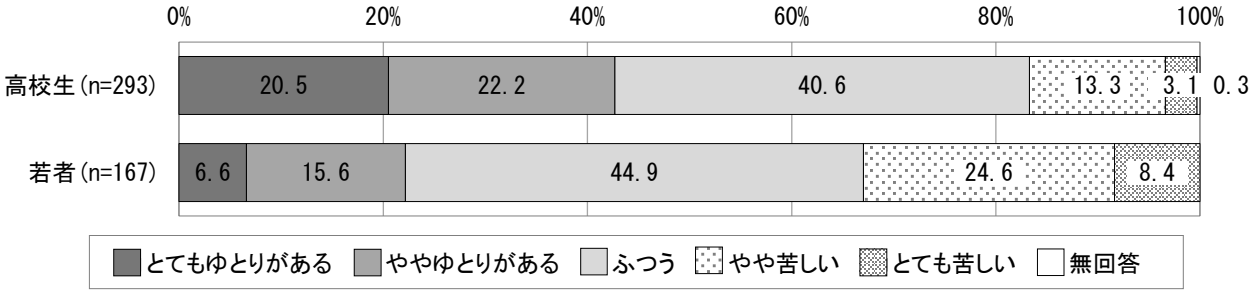


※小学生・中学生の無回答には、保護者の回答がなくマッチングできなかったものを含む。
※高校生においては、保護者の就労にフルタイム・パートタイムの区別をしていないため、「共働き世帯(類型1)」のみ。

(2)主観的経済状況

高校生 問 27 、若者 問6
現在の家庭の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(単数回答)

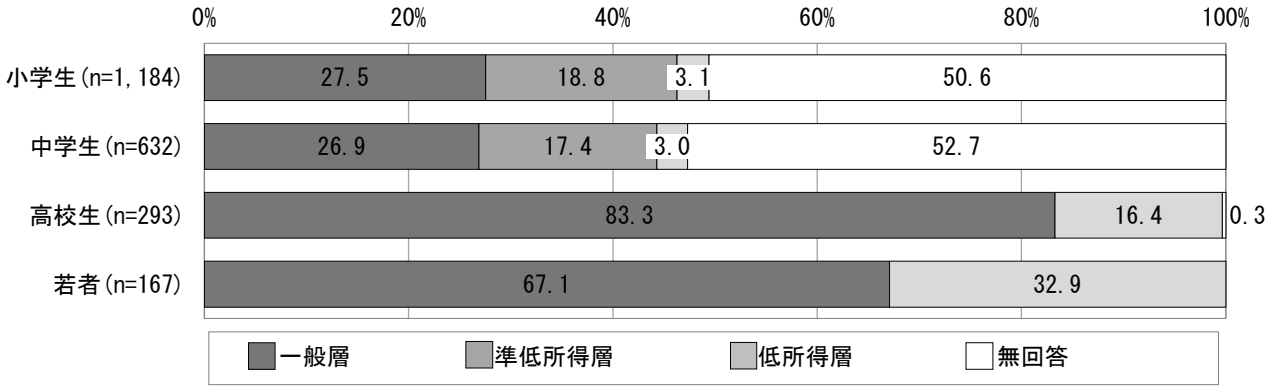
高校生では、「ふつう」が 40.6%と最も高く、「ややゆとりがある」が 22.2%、「とてもゆとりがある」が 20.5%と続いている。若者では、「ふつう」が 44.9%と最も高く、「やや苦しい」が 24.6%、「ややゆとりがある」が 15.6%と続いている。



(3)経済状況

小学生保護者 問2・問6 、中学生保護者 問2・問5 、高校生 問 27 、 若者 問6 から分類
同居しているご家族をお答えください。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(複数回答)
世帯の年収をお答えください。(単数回答)

小学生では、「一般層」が 27.5%、「準低所得層」が 18.8%、「低所得層」が 3.1%となっている。
中学生では、「一般層」が 26.9%、「準低所得層」が 17.4%、「低所得層」が 3.0%となっている。
高校生では、「一般層」が 83.3%、「低所得層」が 16.4%となっている。
若者では、「一般層」が 67.1%、「低所得層」が 32.9%となっている。



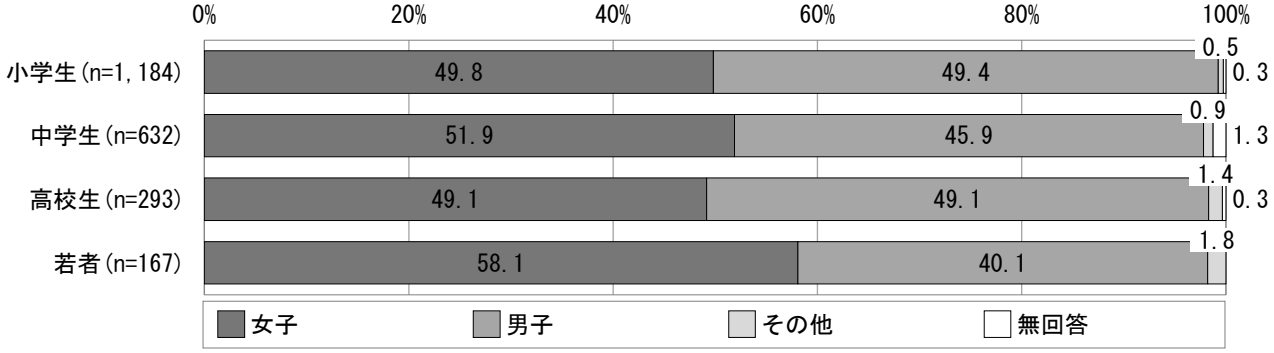
用語の定義

高校生・若者については、主観的経済状況から2区分に分類した。

一般層:「とてもゆとりがある」、「ややゆとりがある」、「ふつう」を回答した人。
低所得層:「やや苦しい」、「とても苦しい」を回答した人。

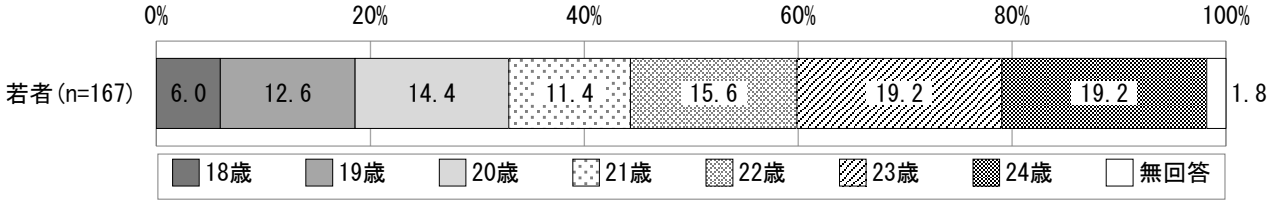
(4)性別

小学生 問 24 、 中学生 問 24 、 高校生 問 24 、 若者 問 1
あなたの性別を教えてください。(単数回答)



(5)年齢

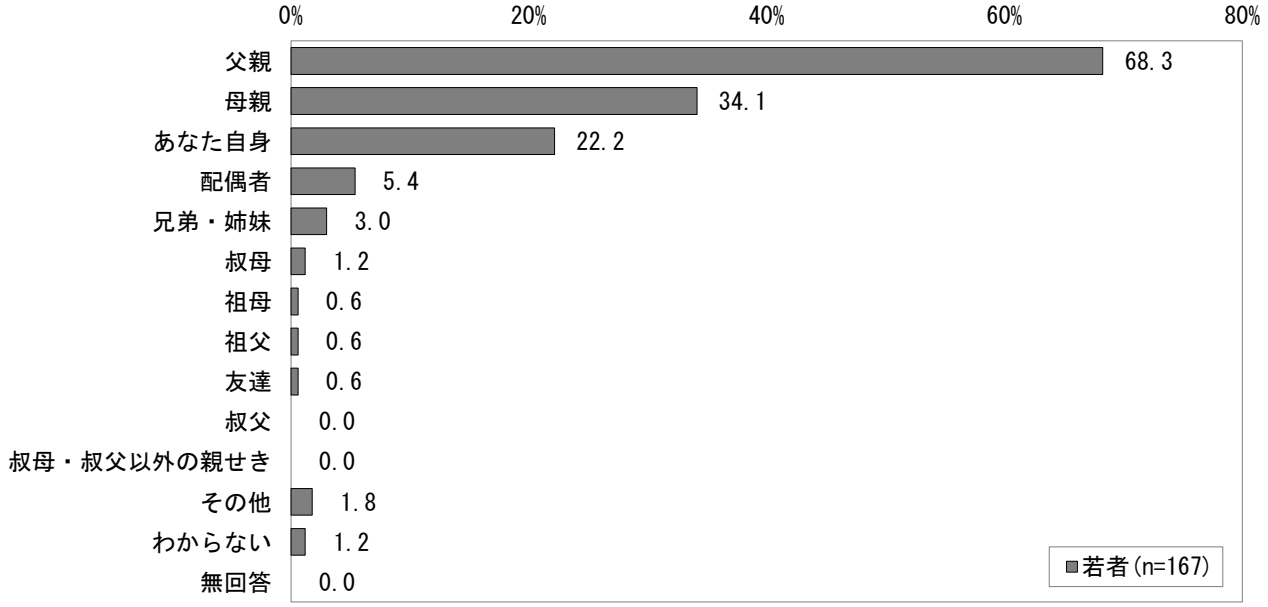
若者 問 2
あなたの年齢をお答えください。※令和5年4月1日現在(数値回答)



(6)生計を支えている人

若者 問 5-1
生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(複数回答)

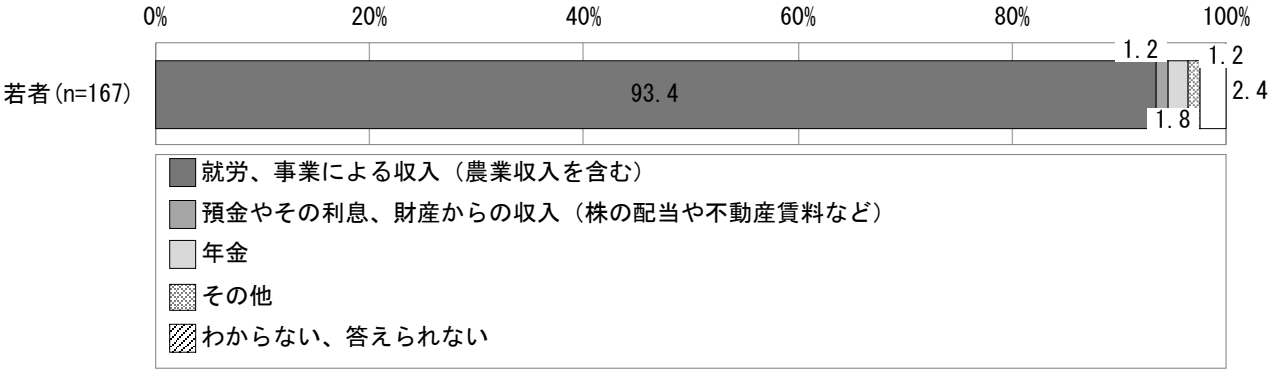
「父親」が 68.3%と最も高く、「母親」が 34.1%、「あなた自身」(若者本人)が 22.2%と続いている。



(7)世帯の収入源

若者 問 5-2
主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。(単数回答)

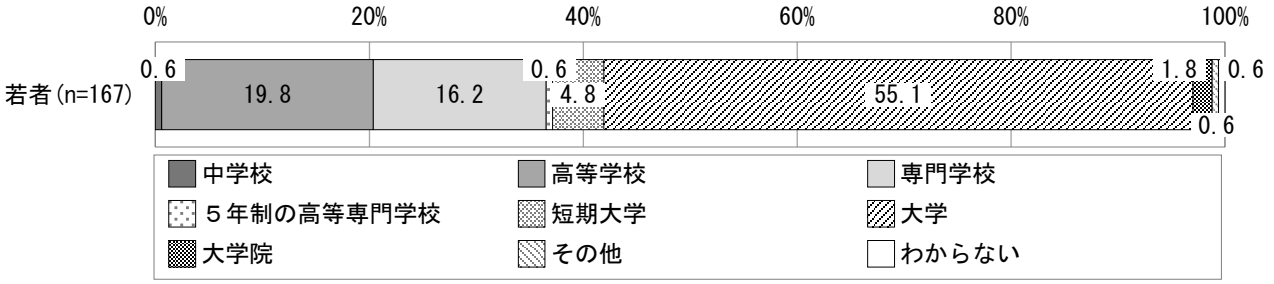
「就労、事業による収入(農業収入を含む)」が 93.4%と多くを占めているが、「年金」が 1.8%、「預金やその利息、財産からの収入(株の配当や不動産賃料など)」が 1.2%となっている。



(8)最終学歴

若者 問 7
あなたが最後に卒業(中退を含む)した学校をお答えください。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。(単数回答)

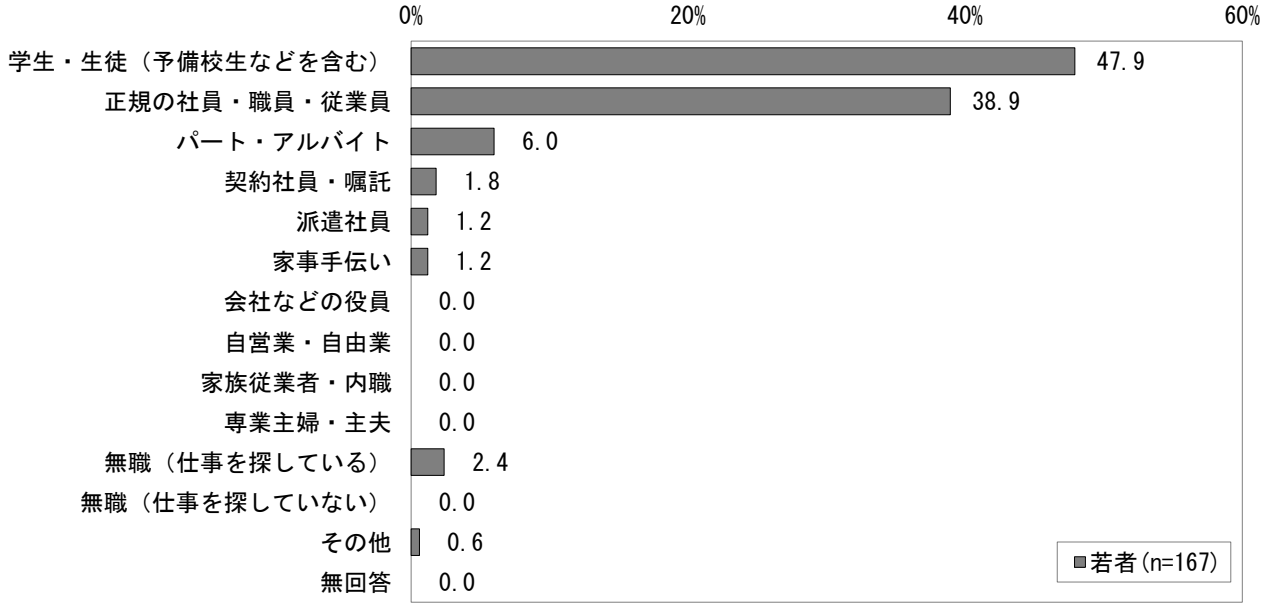
「大学」が 55.1%と最も高く、「高等学校」が 19.8%、「専門学校」が 16.2%と続いている。



(9)現在の仕事

若者 問８
あなたの現在の仕事をお答えください。(単数回答)

「学生・生徒(予備校生などを含む)」が 47.9%と最も高く、「正規の社員・職員・従業員」が 38.9%、「パート・アルバイト」が 6.0%と続いている。



第2節　学習実態

■結果の概要

【勉強の習慣】

・1日あたりの勉強時間は、高校生が小学生・中学生と比べて「まったくしない」割合が高くなっている。いずれの調査でも、ひとり親世帯において短い傾向がみられる。経済状況別にみると、高校生において、低所得層で勉強を「まったくしない」割合が高くなっている。

・高校生において、低所得層は一般層よりも早い時期に授業がわからなくなっている。

【進学希望】

・高校生の進学希望において、一般層の約7割が大学進学を希望しているのに対し、低所得層は約4割となっている。

・進学希望の理由においては、経済的な理由はほとんどみられず、自らの進学希望を回答したとする割合が高くなっている。

(1)普段の勉強の仕方

小学生 問1 、中学生 問1 、高校生 問1
あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※勉強には学校の宿題もふくみます。(複数回答)

小学生

「自分で勉強する」が 71.4％と最も高く、「家の人に教えてもらう」が 50.7％、「塾で勉強する」が 30.7％と続いている。

世帯類型別では、専業主婦(夫)世帯において、「自分で勉強する」や「家の人に教えてもらう」の割合が他の世帯類型よりも高くなっている。

経済状況別では、低所得層は一般層・準低所得層よりも「自分で勉強する」割合が低く、「家の人に教えてもらう」割合が高くなっている。

(%)	自分で勉強する	家の人に教えてもらう	塾で勉強する	友だちと勉強する	学校の補習を受ける	家庭教師に教えてもらう	近所の人などが行う無料の勉強会に参加する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
小学生(n=1,184)	71.4	50.7	30.7	16.7	2.9	0.7	0.5	7.9	4.7	0.0
【世帯類型別】										
ひとり親世帯(n=81)	72.8	44.4	25.9	17.3	0.0	1.2	0.0	9.9	4.9	0.0
共働き世帯（類型１）(n=152)	73.0	44.7	42.8	15.8	3.3	0.0	0.7	9.9	3.9	0.0
共働き世帯（類型２）(n=214)	76.2	51.9	27.6	10.7	1.9	0.5	0.5	3.7	4.7	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=130)	80.8	61.5	25.4	14.6	0.0	1.5	1.5	5.4	3.1	0.0
【経済状況別】										
一般層(n=326)	77.0	50.0	37.1	15.0	1.8	0.6	0.9	5.2	4.0	0.0
準低所得層(n=222)	75.7	50.5	26.6	12.2	1.4	0.9	0.5	8.6	4.1	0.0
低所得層(n=37)	59.5	59.5	13.5	10.8	0.0	0.0	0.0	8.1	10.8	0.0

中学生

「自分で勉強する」が 71.7％と最も高く、「塾で勉強する」が 56.2％、「家の人に教えてもらう」が29.4％と続いている。小学生よりも、「塾で勉強する」割合が増加している。

世帯類型別では、共働き世帯(類型1)において「塾で勉強する」割合が他の世帯類型より高く、共働き世帯(類型2)において「家の人に教えてもらう」割合が他の世帯類型より高くなっている。

経済状況別では、低所得層は一般層・準低所得層よりも「自分で勉強する」や「友達と勉強する」割合が高く、「塾で勉強する」割合が低くなっている。

(%)	自分で勉強する	塾で勉強する	家の人に教えてもらう	友達と勉強する	家庭教師に教えてもらう	学校の補習を受ける	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
中学生(n=632)	71.7	56.2	29.4	21.8	1.6	0.6	0.6	1.4	4.9	0.0
【世帯類型別】										
ひとり親世帯(n=40)	77.5	47.5	20.0	22.5	0.0	0.0	0.0	7.5	2.5	0.0
共働き世帯（類型１）(n=55)	70.9	63.6	25.5	20.0	3.6	1.8	0.0	0.0	3.6	0.0
共働き世帯（類型２）(n=144)	74.3	53.5	44.4	26.4	1.4	0.7	0.0	1.4	3.5	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=61)	77.0	49.2	31.1	16.4	3.3	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0
【経済状況別】										
一般層(n=170)	77.6	58.2	37.1	23.5	2.4	1.2	0.0	0.6	2.4	0.0
準低所得層(n=110)	66.4	48.2	31.8	21.8	1.8	0.0	0.0	5.5	3.6	0.0
低所得層(n=19)	89.5	47.4	31.6	31.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0

高校生

「自分で勉強する」が 76.1%と最も高く、「友達と勉強する」が 30.4%、「塾・予備校で勉強する」が25.9%と続いている。

世帯類型別では、専業主婦(夫)世帯で「自分で勉強する」割合が、他の世帯類型よりも高くなっている。

経済状況別では、低所得層は一般層よりも「自分で勉強する」や「塾・予備校で勉強する」割合が低くなっている。

(%)	自分で勉強する	友達と勉強する	塾・予備校で勉強する	学校の補習を受ける	家の人に教えてもらう	家庭教師に教えてもらう	地域の人などが行う無料の勉強会に参加する	その他	学校の授業以外で勉強はしない	無回答
高校生(n=293)	76.1	30.4	25.9	9.9	9.9	1.4	0.0	2.7	10.2	1.0
【世帯類型別】										
ひとり親世帯(n=28)	64.3	35.7	17.9	7.1	10.7	3.6	0.0	3.6	7.1	0.0
共働き世帯（類型１）(n=205)	77.1	32.2	26.8	11.2	9.3	1.0	0.0	2.9	11.2	0.5
専業主婦（夫）世帯(n=49)	83.7	22.4	30.6	8.2	12.2	2.0	0.0	2.0	4.1	2.0
【経済状況別】										
一般層(n=244)	78.3	29.1	28.7	9.4	10.7	1.6	0.0	2.5	8.6	0.4
低所得層(n=48)	66.7	37.5	12.5	12.5	6.3	0.0	0.0	4.2	18.8	2.1

(2)1日あたりの勉強時間

小学生 問２ 、 中学生 問２ 、 高校生 問２
あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(単数回答)

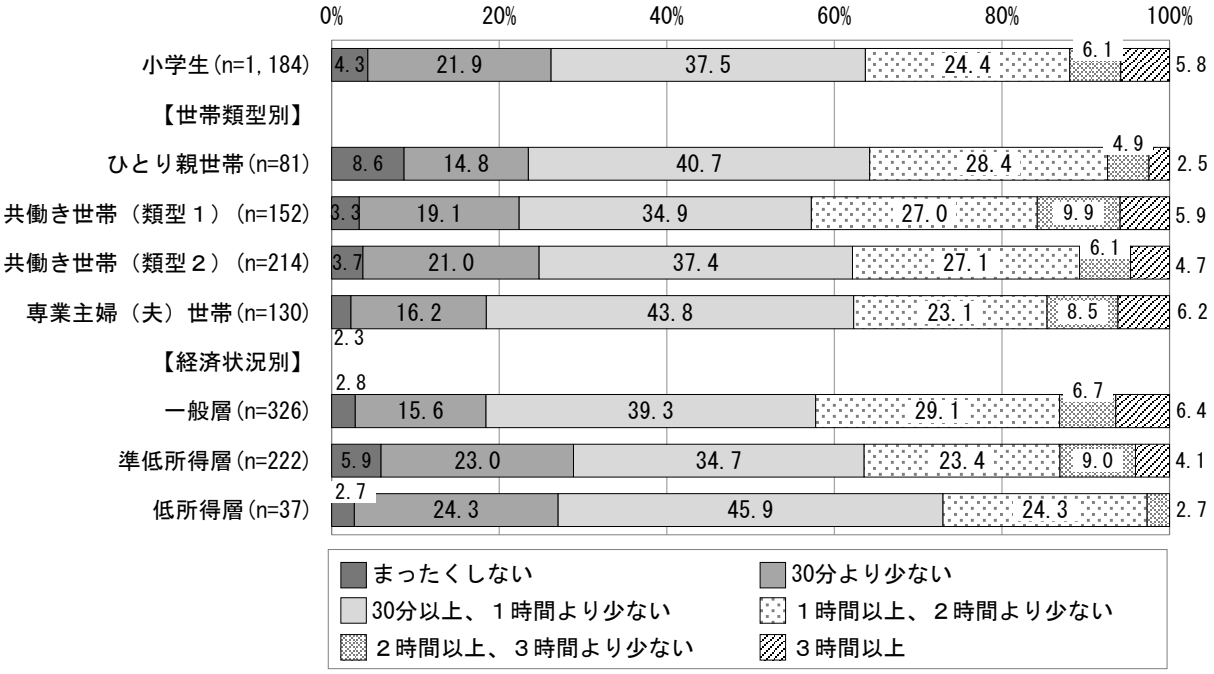
小学生

①学校がある日(月～金曜日)

「30 分以上、1時間より少ない」が 37.5%と最も高く、「1時間以上、2時間より少ない」が 24.4%と続いている。

世帯類型別では、ひとり親世帯において「まったくしない」割合が、他の世帯類型よりも高くなっている。

経済状況別では、一般層が準低所得層・低所得層よりも、1時間以上勉強している割合が高くなっている。

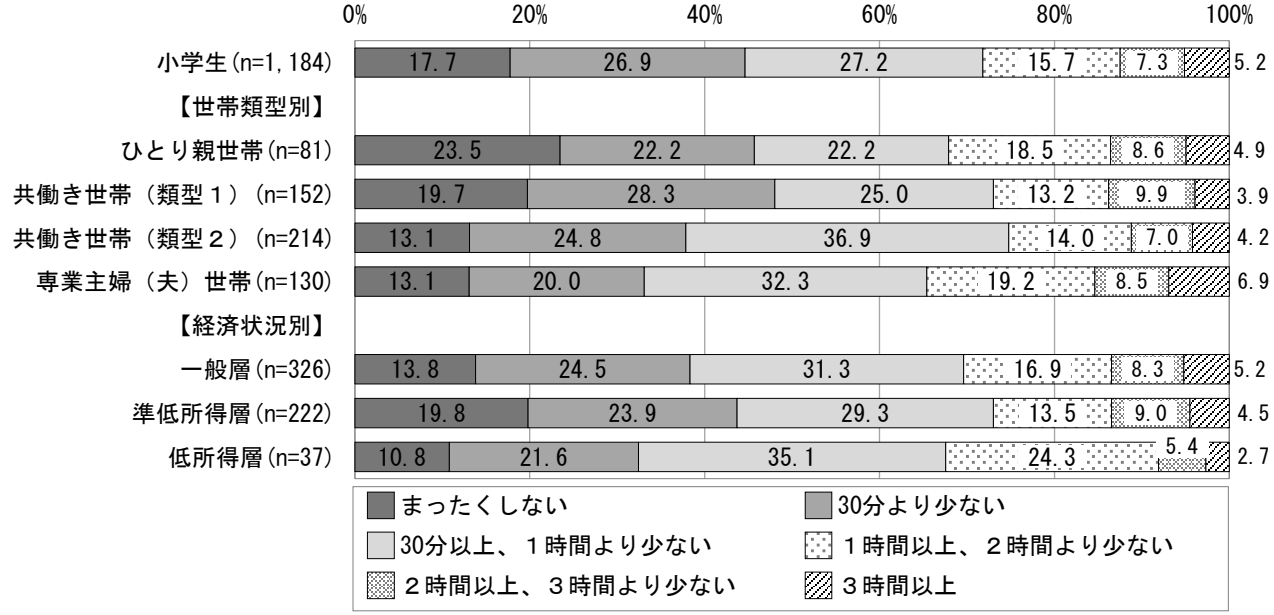


②学校がない日（土・日曜日・祝日）

「30 分以上、1時間より少ない」が 27.2%と最も高く、「30 分より少ない」が 26.9%と続いている。

世帯類型別では、ひとり親世帯において「まったくしない」割合が、他の世帯類型よりも高くなっている。

経済状況別では、準低所得層において「まったくしない」割合が、一般層・低所得層よりも高くなっている。



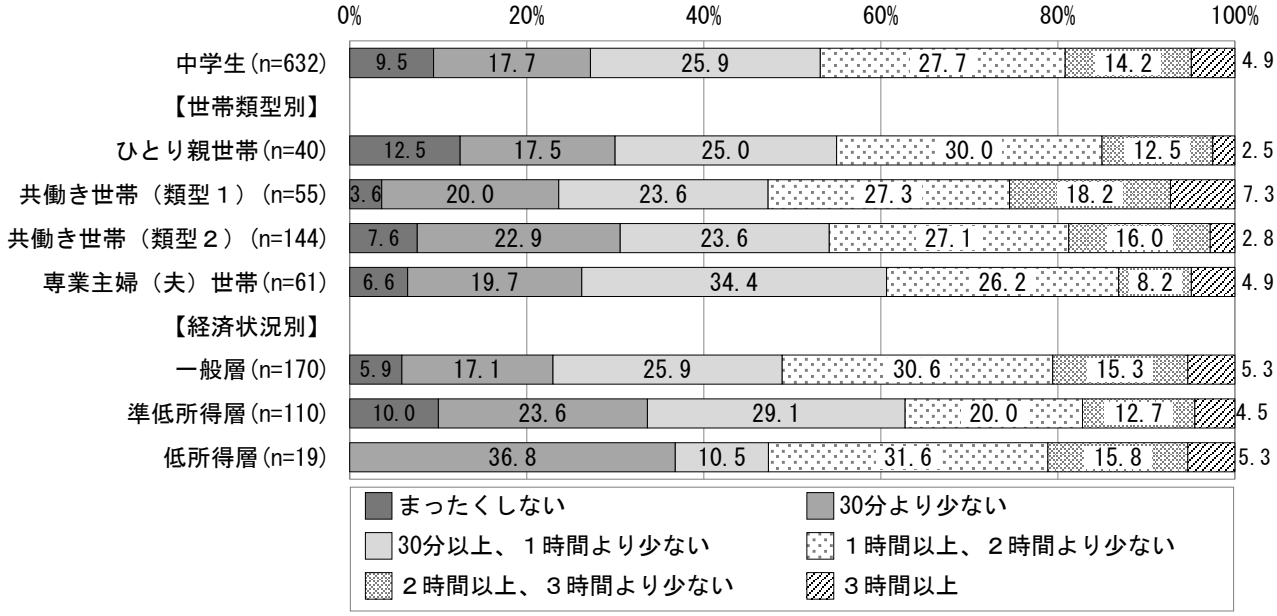
中学生

①学校がある日（月～金曜日）

「1時間以上、2時間より少ない」が 27.7%と最も高く、「30 分以上、1時間より少ない」が 25.9%と続いている。

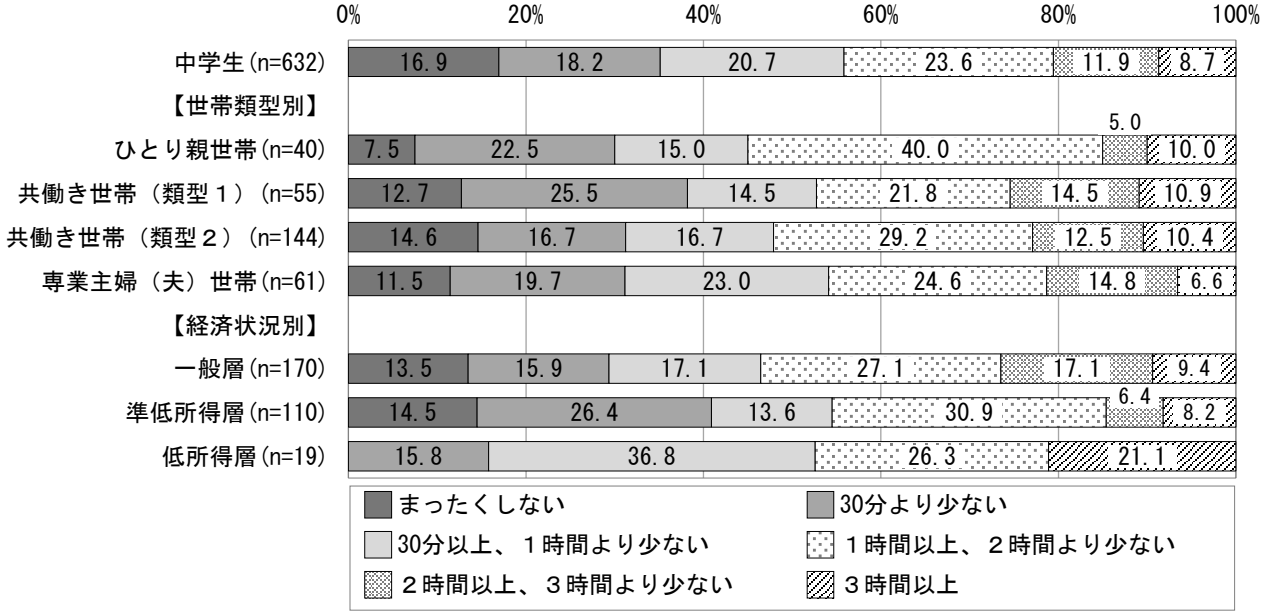
世帯類型別では、ひとり親世帯において「まったくしない」割合が、他の世帯類型よりも高くなっている。

経済状況別にみると、一般層は準低所得層・低所得層と比べて30分以上勉強している割合が高くなっている。



②学校がない日(土・日曜日・祝日)

「1時間以上、2時間より少ない」が23.6%と最も高く、「30 分以上、1時間より少ない」が20.7%と続いている。世帯類型別では、ひとり親世帯において1時間以上の勉強時間の割合が他の世帯類型よりも高くなっているが、2時間以上の勉強時間になると、共働き世帯(類型1)の割合が他の世帯類型よりも高くなっている。経済状況別にみると、準低所得層において「30分より少ない」勉強時間の割合が、一般層・準低所得層よりも高くなっている。

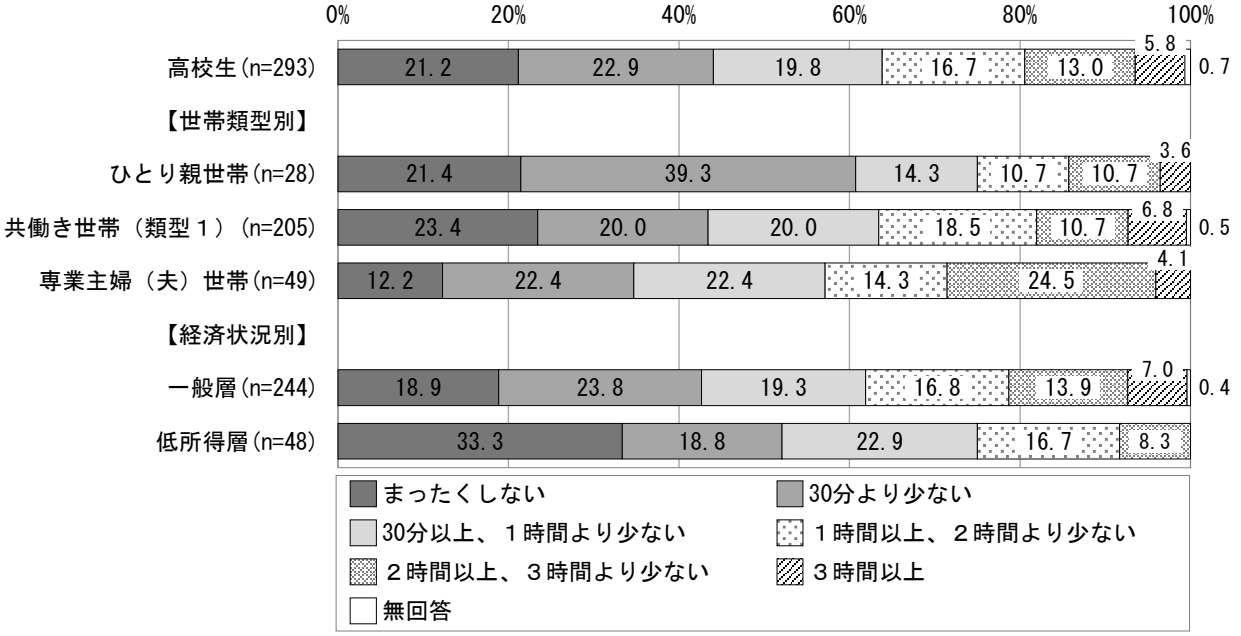


高校生

①学校がある日(月～金曜日)

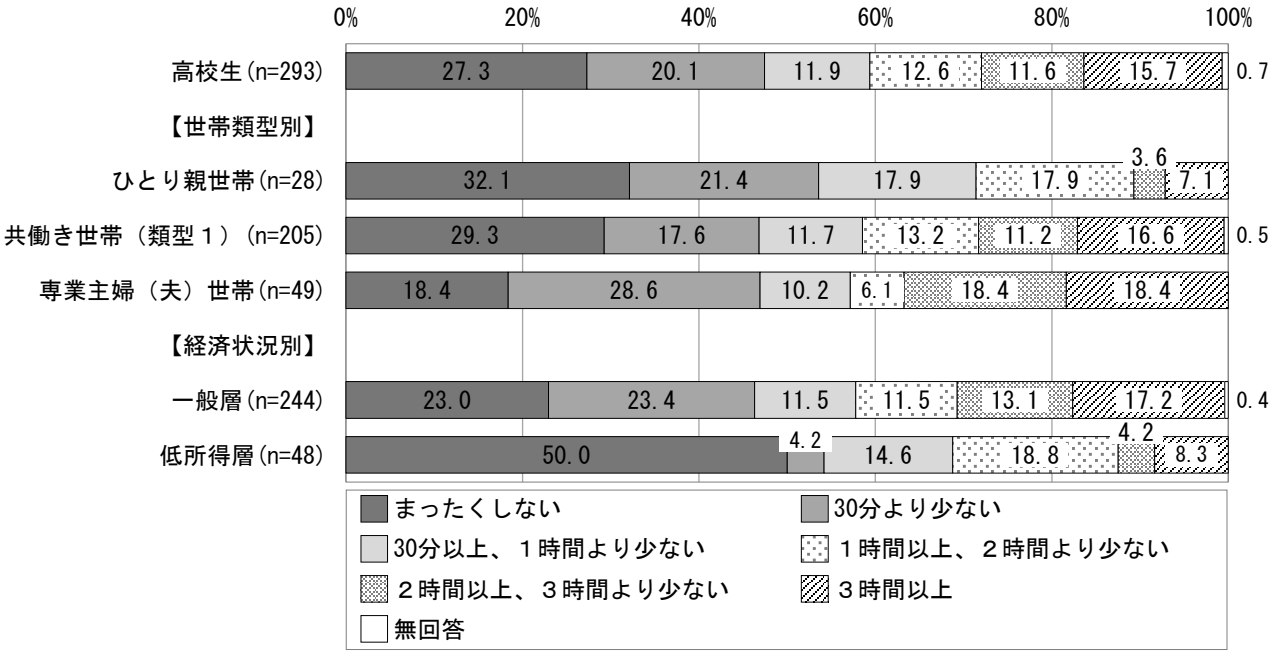
「30 分より少ない」が22.9%と最も高く、「まったくしない」が 21.2%と続いている。小学生・中学生と比べて、「まったくしない」の割合が高くなっている。

世帯類型別では、全体的にひとり親世帯の勉強時間が短い傾向にある。経済状況別では、低所得層において「まったくしない」割合が、一般層よりも高くなっている。



②学校がない日（土・日曜日・祝日）

「まったくしない」が 27.3%と最も高く、「30 分より少ない」が 20.1%と続いている。
世帯類型別では、全体的にひとり親世帯の勉強時間が短い傾向にある。
経済状況別では、低所得層において「まったくしない」割合が高くなっている。



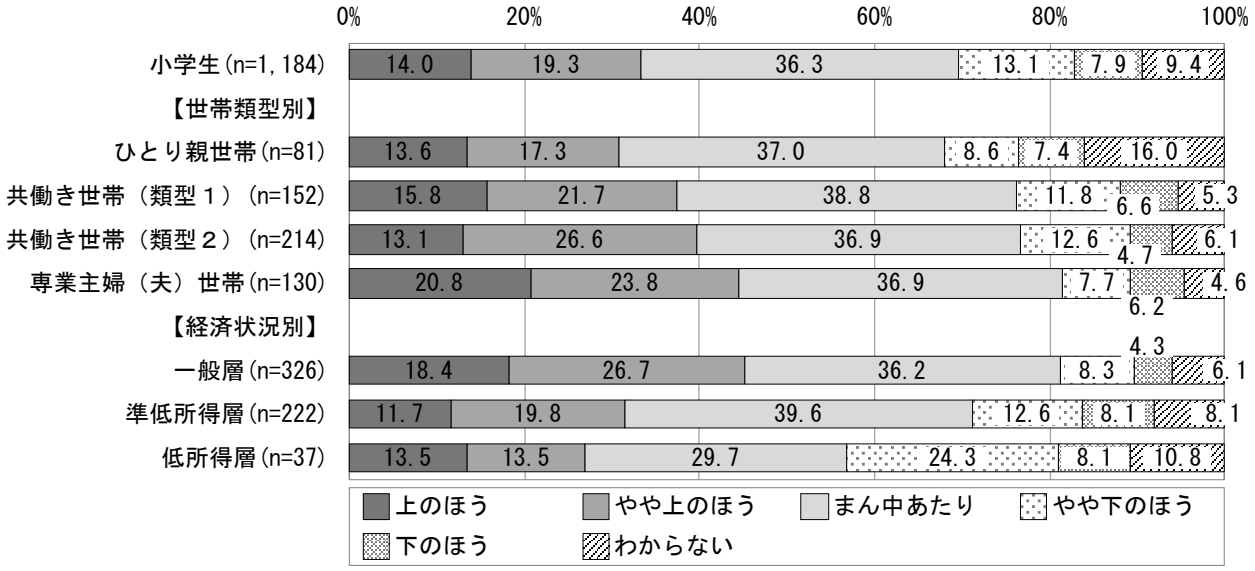
(3)クラスの中での成績

小学生 問３ 、中学生 問３ 、高校生 問３
あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(単数回答)

小学生

世帯類型別にみると、専業主婦(夫)世帯において成績がよいと思っている(「上のほう」と「やや上のほう」の合計が多い)傾向がみられ、ひとり親世帯において成績がよくないと思っている傾向がみられる。

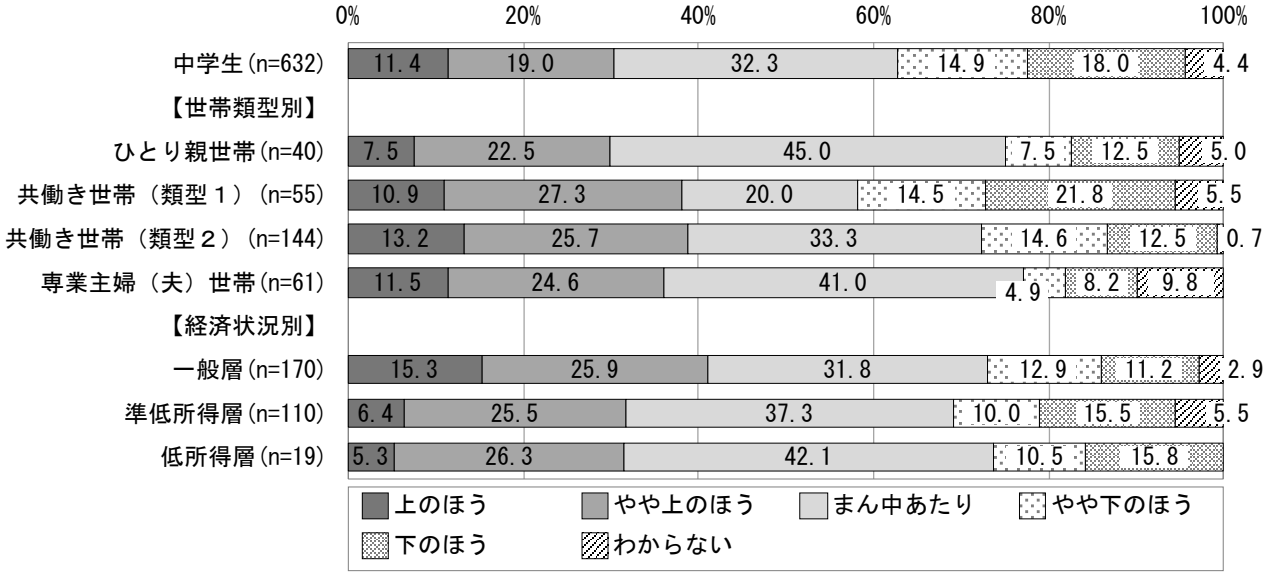
経済状況別にみると、準低所得層・低所得層は一般層よりも成績がよくないと思っている傾向がみられる。



中学生

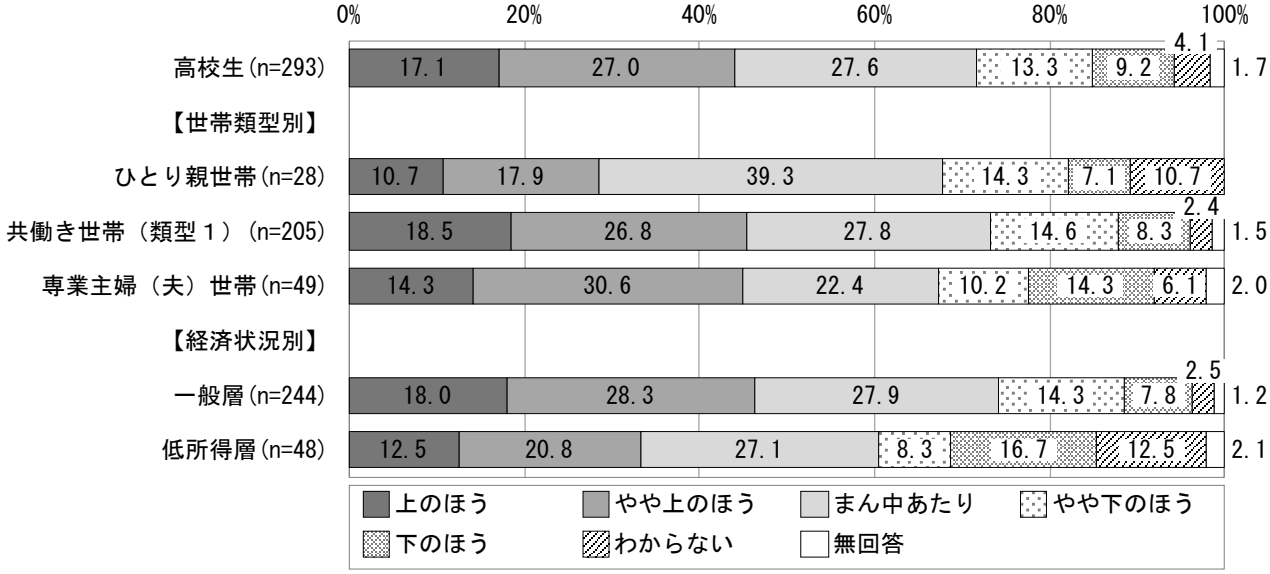
世帯類型別にみると、共働き世帯（類型1）の「下のほう」の割合が高くなっている。また、ひとり親世帯において成績がよくないと思っている傾向がみられる。

経済状況別にみると、一般層が準低所得層・低所得層と比べて、成績がよいと思っている傾向がみられる。



高校生

世帯類型別にみると、ひとり親世帯で成績がよくないと思っている傾向がみられる。経済状況別にみると、低所得層は一般層よりも成績がよくないと思っている傾向がみられる。

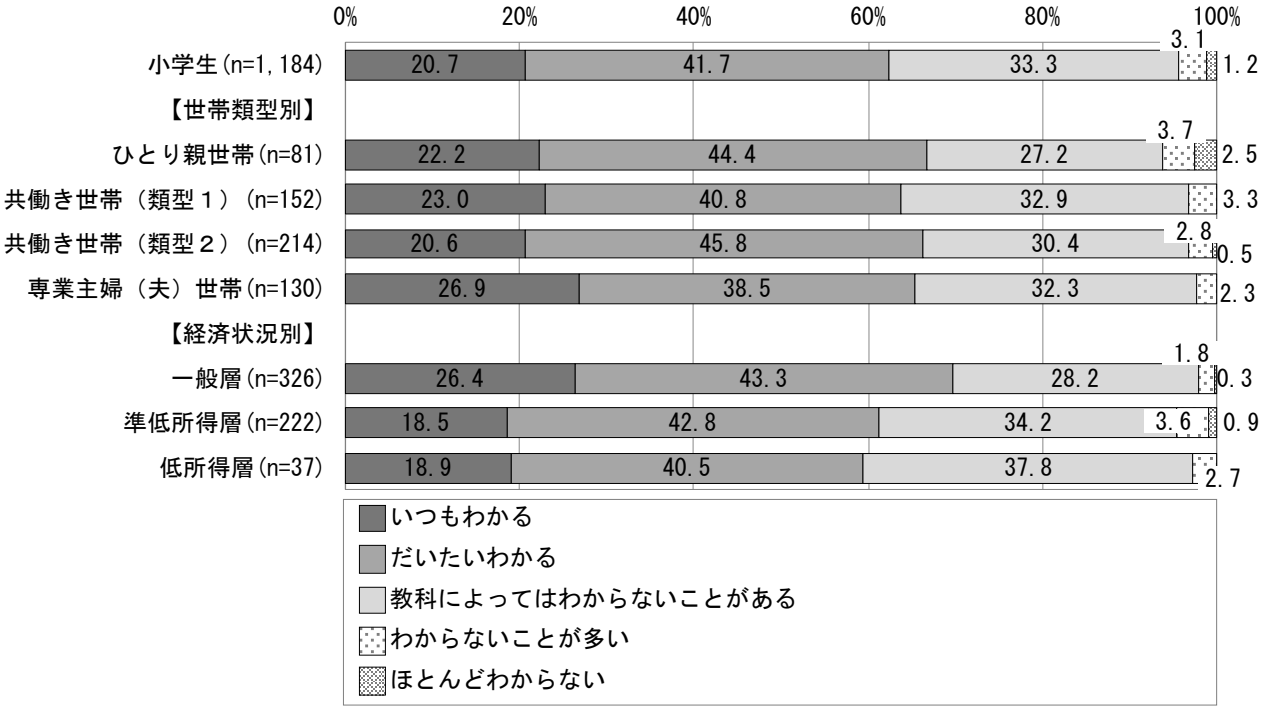


(4)授業の理解状況

小学生 問４ 、中学生 問４ 、高校生 問４
あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(単数回答)

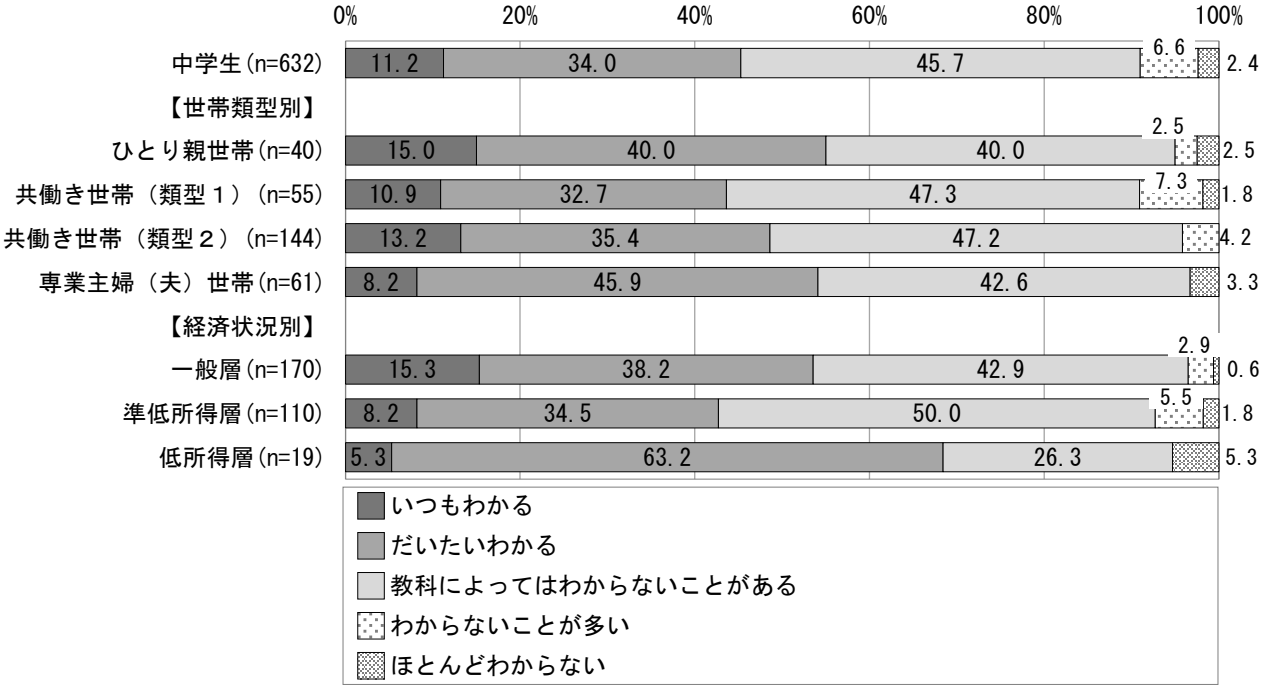
小学生

「だいたいわかる」が 41.7%と最も高く、「教科によってはわからないことがある」が 33.3%と続く。
世帯類型別にみると、専業主婦(夫)世帯において「いつもわかる」の割合が高くなっている。
経済状況別にみると、一般層は準低所得層・低所得層と比べて、授業の理解度(「いつもわかる」と「だいたいわかる」の合計)が高くなっている。



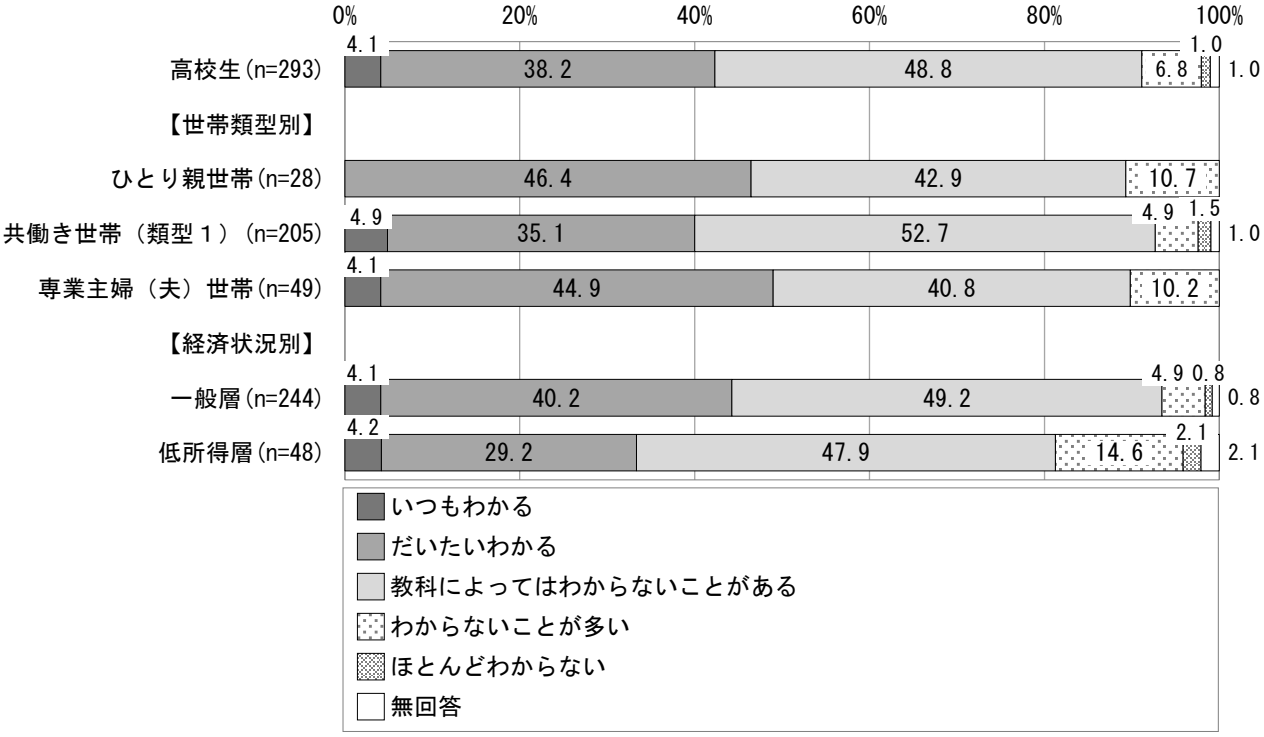
中学生

「教科によってはわからないことがある」が 45.7%と最も高く、「だいたいわかる」が 34.0%と続く。
世帯類型別にみると、共働き世帯(類型1)において授業の理解度が低い傾向がみられる。
経済状況別にみると、準低所得層は一般層と比べて授業の理解度が低い傾向がみられる。



高校生

「教科によってはわからないことがある」が 48.8%と最も高く、「だいたいわかる」が 38.2%と続く。
世帯類型別にみると、共働き世帯(類型1)の授業の理解度は低い傾向がみられる。
経済状況別にみると、低所得層は一般層よりも授業の理解度は低い傾向がみられる。



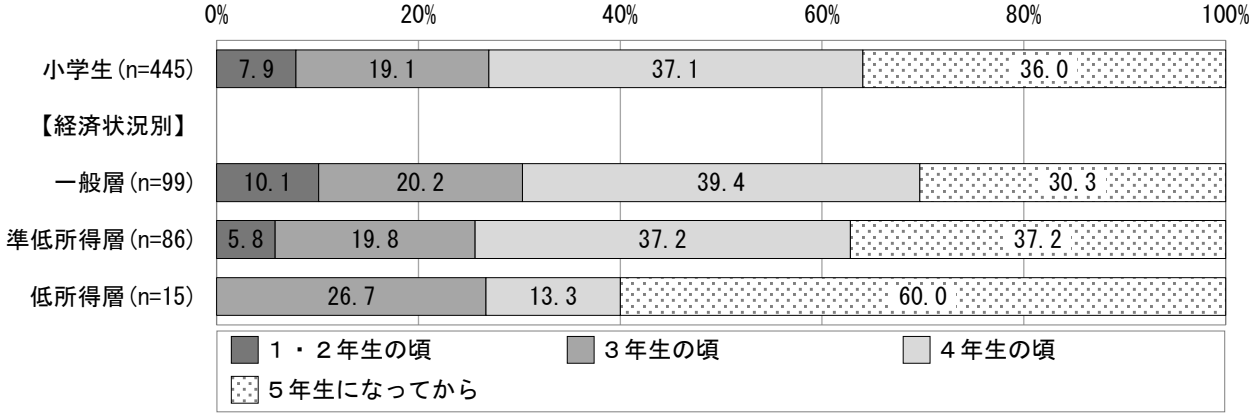
(5)授業がわからなくなった時期

小学生 問 4-1 、中学生 問 4-1 、高校生 問 4-1
【「授業の理解状況」で「教科によってはわからないことがある」～「ほとんどわからない」を選択した方のみ】
いつ頃から、授業がわからないことがあるようになりましたか。(単数回答)

小学生

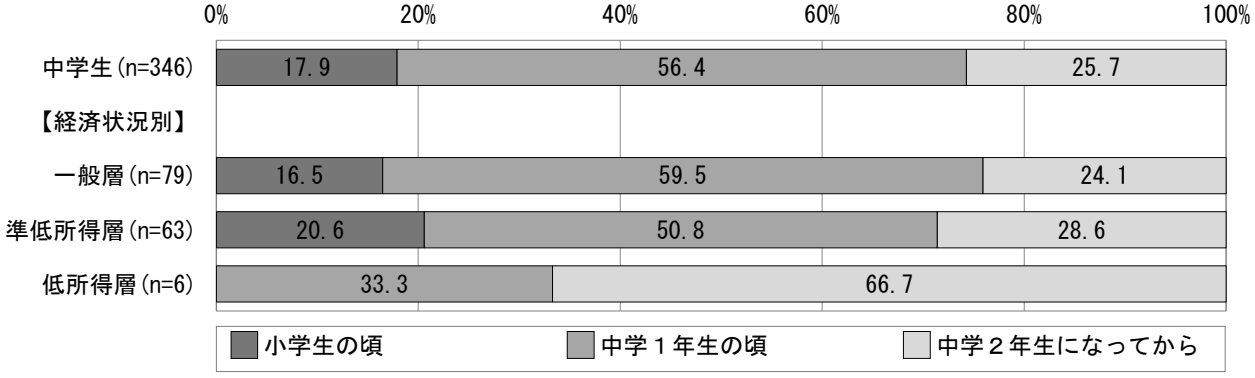
「4年生の頃」が 37.1%と最も高く、「5年生になってから」が 36.0%と続いている。

経済状況別にみると、一般層は準低所得層・低所得層よりも早い時期に授業がわからなくなっている傾向がみられる。



中学生

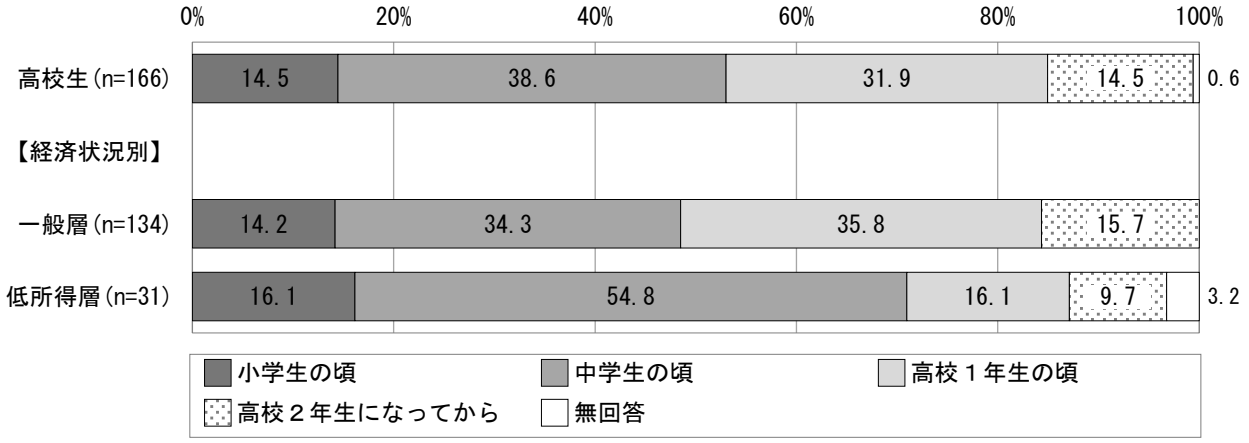
「中学１年生の頃」が 56.4%と最も高く、「中学2年生になってから」が 25.7%と続いている。経済状況別にみると、一般層において「中学１年生の頃」が高くなっている。



高校生

「中学生の頃」が 38.6%と最も高く、「高校1年生の頃」が 31.9%と続いている。

経済状況別にみると、低所得層は一般層よりも早い時期に授業がわからなくなっている傾向がみられる。



(6)進学希望

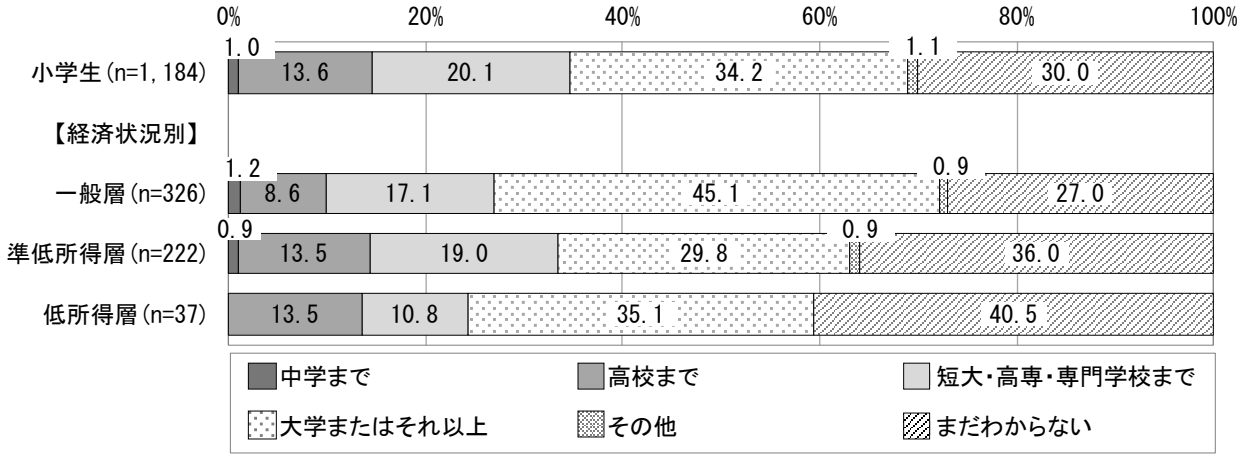
小学生 問５ 、 中学生 問５ 、 高校生 問５

あなたは、将来どの学校まで進学したいですか。（単数回答）

小学生

「大学またはそれ以上」が 34.2%と最も高く、「短大・高専・専門学校まで」が 20.1%と続いている。

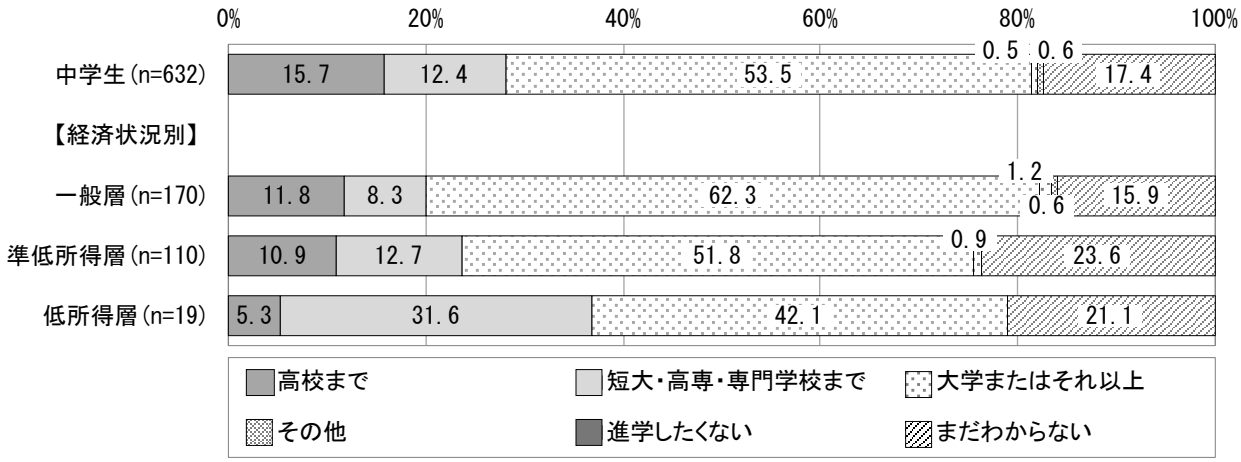
経済状況別にみると、一般層は「大学またはそれ以上」に進学を希望する割合が高くなっている。



中学生

「大学またはそれ以上」が 53.5%と最も高く、「高校まで」が 15.7%と続いている。

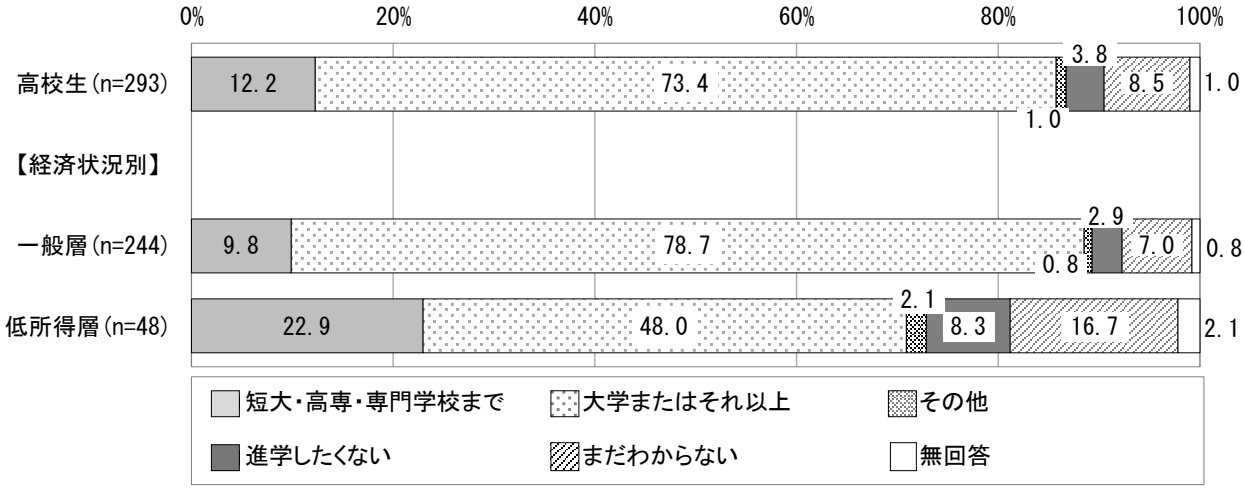
経済状況別にみると、一般層は「大学またはそれ以上」に進学を希望する割合が高くなっている。



高校生

「大学またはそれ以上」が 73.4%と最も高く、「短大・高専・専門学校まで」が 12.2%と続いている。

経済状況別にみると、一般層は低所得層と比べて「大学またはそれ以上」に進学を希望する割合が高くなっている。



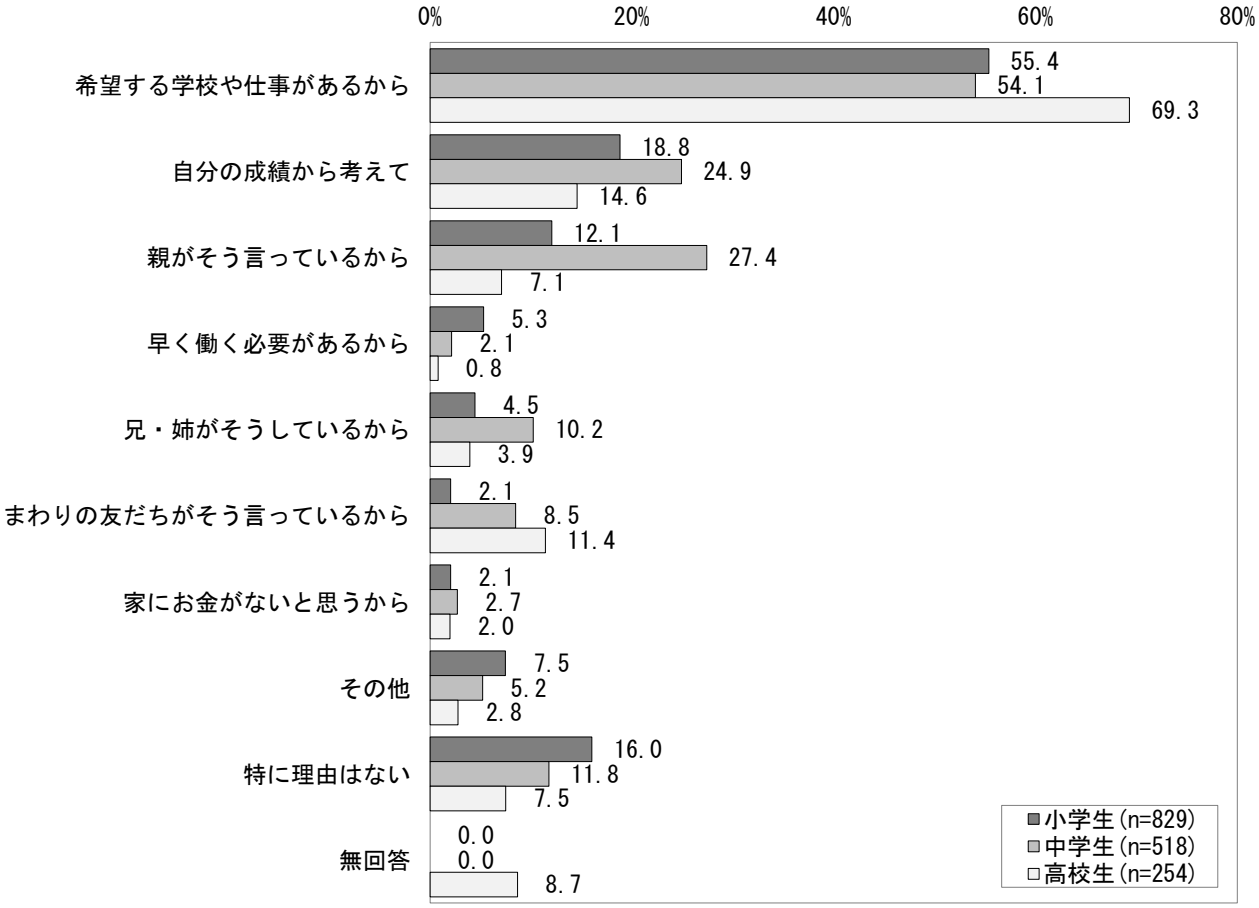
(7)進学希望の理由

小学生 問 5-1 、中学生 問 5-1 、高校生 問 5-1
【「進学希望」で進学を選択した方のみ】
その理由を答えてください。(複数回答)

小学生では、「希望する学校や仕事があるから」が 55.4%と最も高く、「自分の成績から考えて」が 18.8%、「親がそう言っているから」が 12.1%と続いている。

中学生では、「希望する学校や仕事があるから」が 54.1%と最も高く、「親がそう言っているから」が 27.4%、「自分の成績から考えて」が 24.9%と続いている。

高校生では、「希望する学校や仕事があるから」が 69.3%と最も高く、「自分の成績から考えて」が 14.6%、「まわりの友だちがそう言っているから」が 11.4%と続いている。



第3節　生活実態

■結果の概要

【部活動】

・部活動に参加している割合は、小学生は約7割、中学生は約8割、高校生は約7割となっている。経済状況別にみると、低所得層は一般層に比べて参加率が低い傾向がみられる。

・部活動に参加しない理由としては、いずれの調査でも「学校や地域に入りたいクラブ・部活動がないから」の割合が最も高くなっている。小学生においては「塾や習い事が忙しいから」の割合が、中学生・高校生よりも高くなっている。

【食事】

・朝食を毎日食べる割合は、小学生が約9割、中学生・高校生が約8割となっている。経済状況別にみると、低所得層に欠食傾向がみられる。

・食事を楽しいと感じる割合は、小学生が約8割、中学生・高校生が約7割となっている。小学生では、ひとり親世帯、低所得層において、食事を楽しいと感じる割合が低くなっている。

【悩み相談の相手】

・悩み相談の相手は、小学生においては「親」の割合が最も高く、中学生・高校生においては「学校の友達」の割合が最も高くなっている。若者になると、「親」の割合が最も高くなっている。「だれにも相談できない、相談したくない」割合は、いずれの調査でも10％未満だった。

【世話をしている家族の有無】

・家族の世話をしている割合は、小学生が約3割、中学生・高校生が約1割となっている。

・高校生において、家族の世話のために「進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した」割合が5.6％となっており、深刻な事例も含まれている。

【生活への満足度】

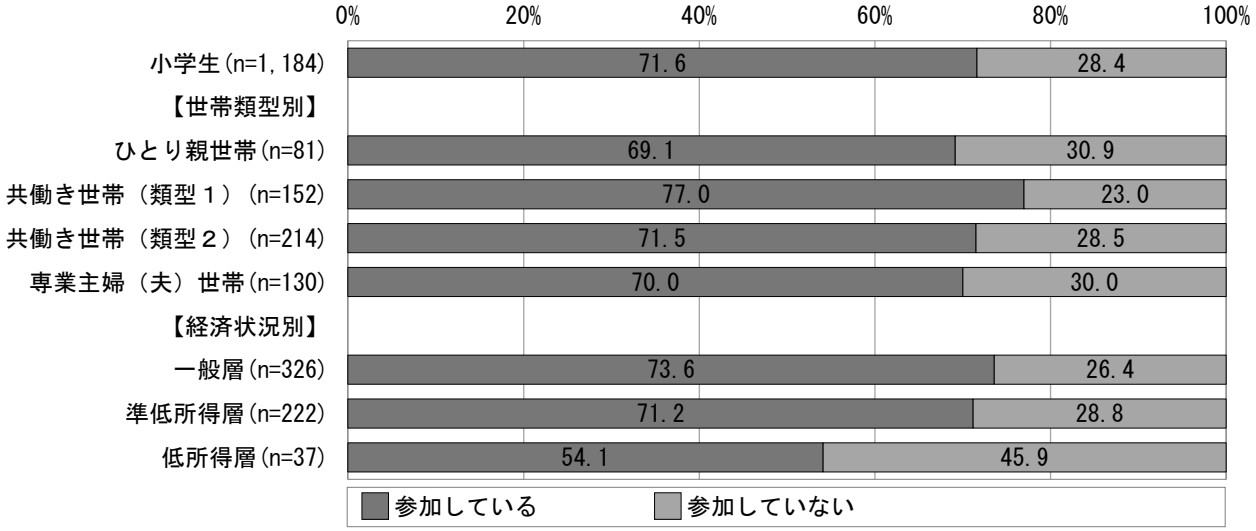
・年齢があがるにつれ、生活への満足度の平均点が減少する傾向がみられる。高校生・若者の低所得層は、特に平均点が低くなっている。

(1)部活動等への参加状況

小学生 問６ 、 中学生 問６ 、 高校生 問６
あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。（単数回答）

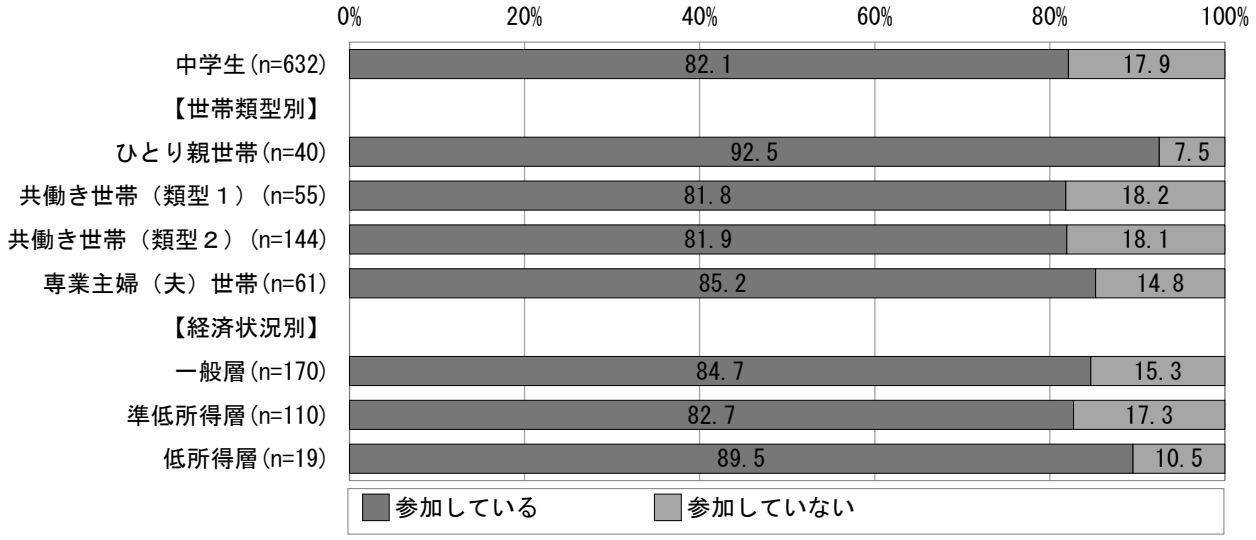
小学生

「参加している」が 71.6%、「参加していない」が 28.4%となっている。
経済状況別にみると、低所得層は一般層・準低所得層よりも参加率が低い傾向がみられる。



中学生

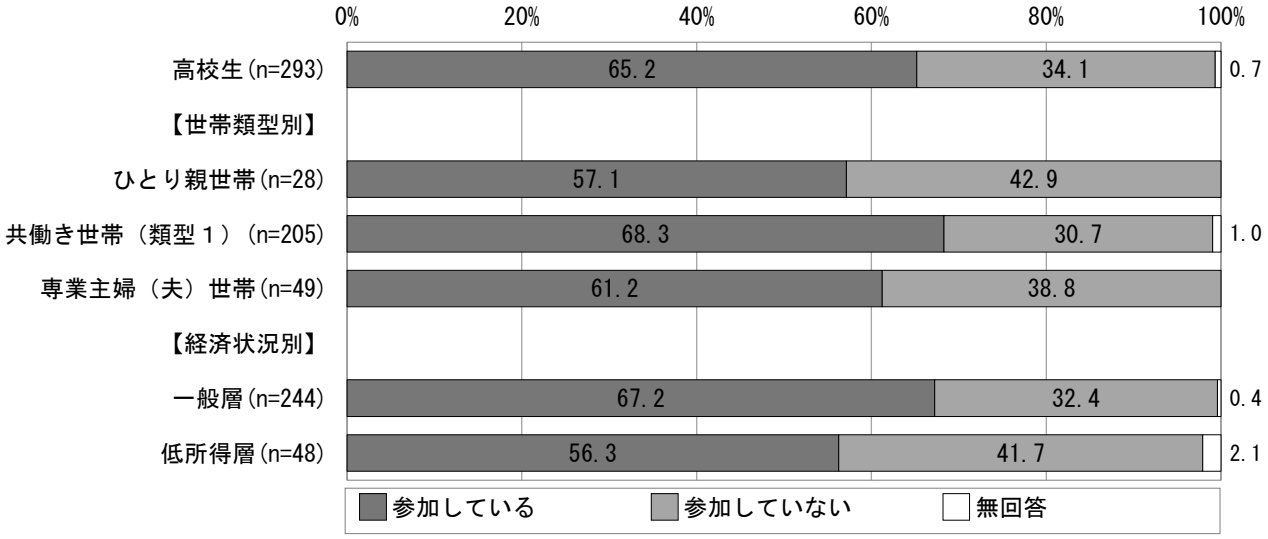
「参加している」が 82.1%、「参加していない」が 17.9%となっている。
世帯類型別にみると、ひとり親世帯の「参加している」割合が高くなっている。
経済状況別にみると、低所得層の「参加している」割合が高くなっている。



高校生

「参加している」が 65.2%、「参加していない」が 34.1%となっている。

経済状況別では、低所得層は一般層よりも参加率が低い傾向がみられる。



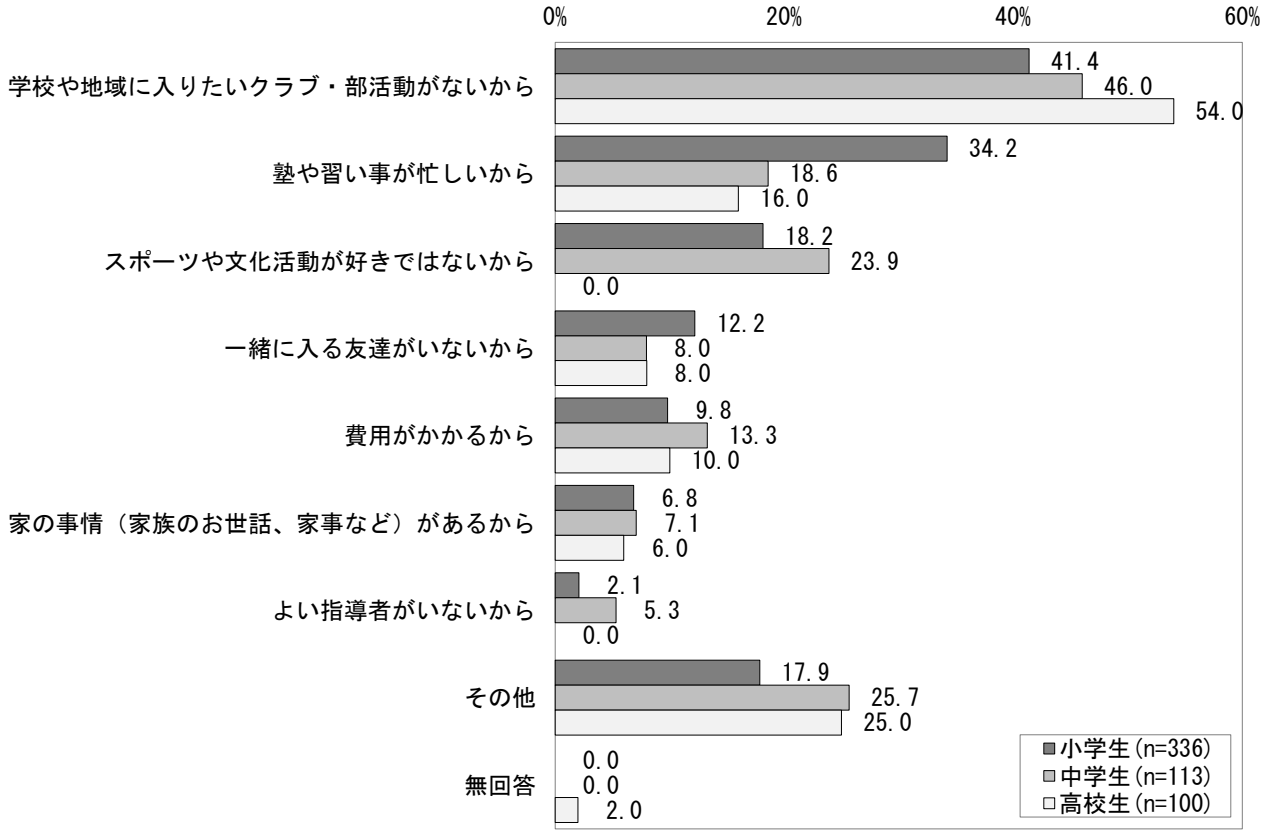
(2)部活動等に参加していない理由

小学生 問 6-1 、中学生 問 6-1 、高校生 問 6-1
【「部活動等への参加状況」で「参加していない」を選択した方のみ】
参加していない理由は何ですか。(複数回答)

小学生では、「学校や地域に入りたいクラブ･部活動がないから」が 41.4%と最も高く、「塾や習い事が忙しいから」が 34.2%、「スポーツや文化活動が好きではないから」が 18.2%と続いている。

中学生では、「学校や地域に入りたいクラブ･部活動がないから」が 46.0%と最も高く、「スポーツや文化活動が好きではないから」が 23.9%、「塾や習い事が忙しいから」が 18.6%と続いている。

高校生では、「学校や地域に入りたいクラブ･部活動がないから」が 54.0%と最も高く、「塾や習い事が忙しいから」が 16.0%、「費用がかかるから」が 10.0%と続いている。



(3)食事の状況

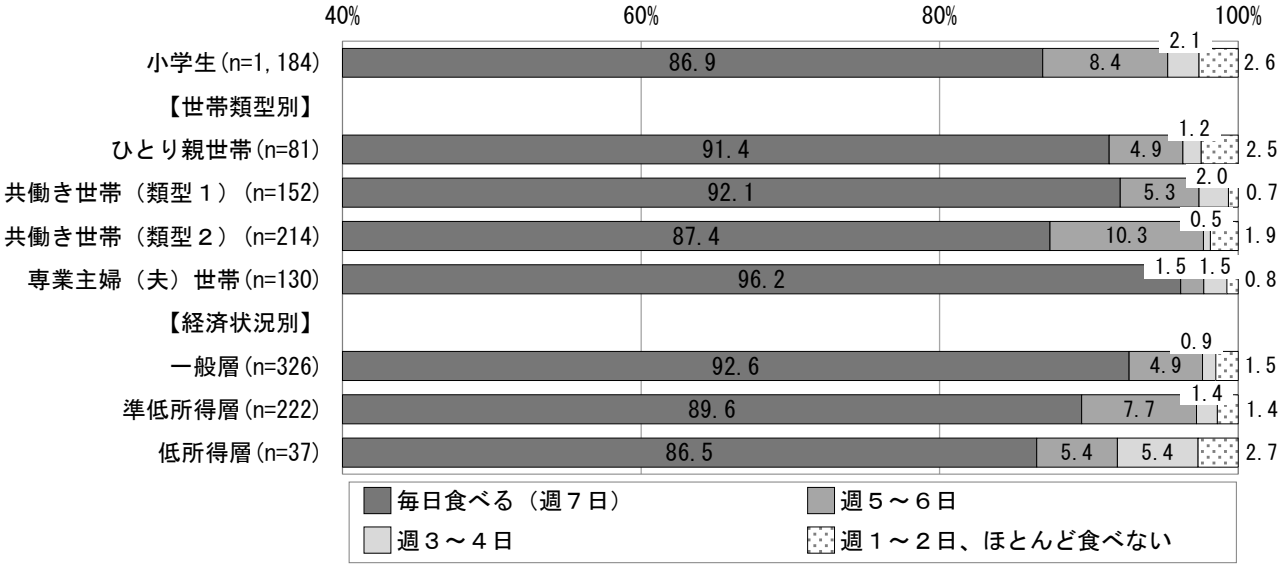
小学生 問７ 、中学生 問７ 、高校生 問７
あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(単数回答)

小学生

①朝食

「毎日食べる(週7日)」が 86.9%となっている。

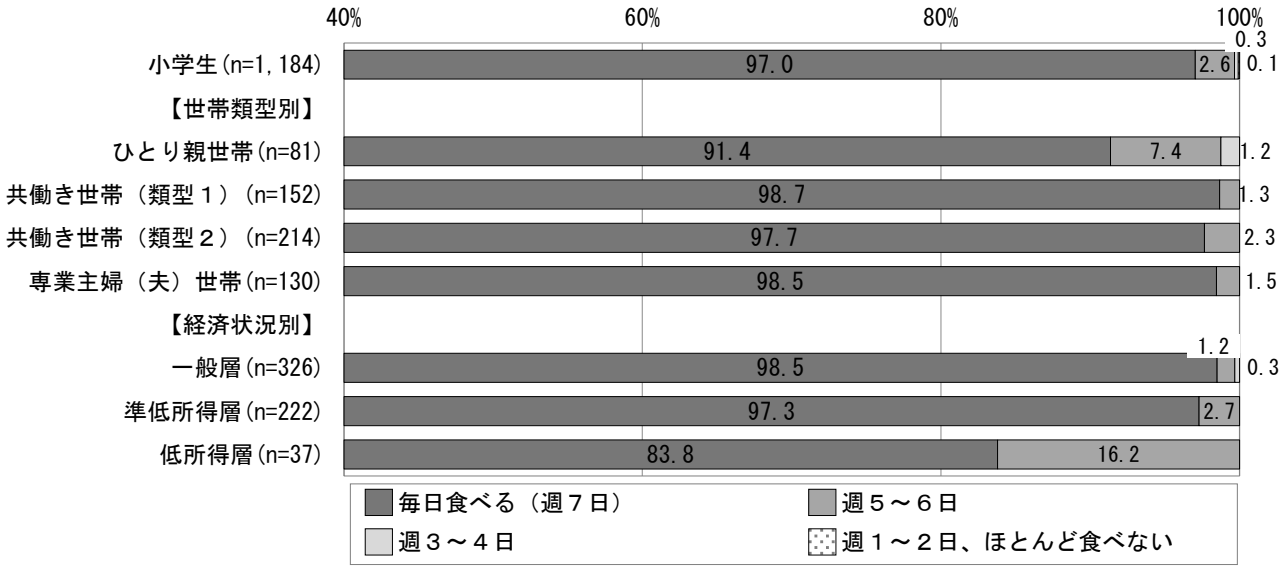
世帯類型別では、共働き世帯(類型2)の「毎日食べる(週7日)」割合が他の類型よりも低くなっている。経済状況別では、低所得層が一般層・準低所得層に比べて「毎日食べる(週7日)」割合が低くなっている。



②夕食

「毎日食べる(週7日)」が 97.0%となっている。

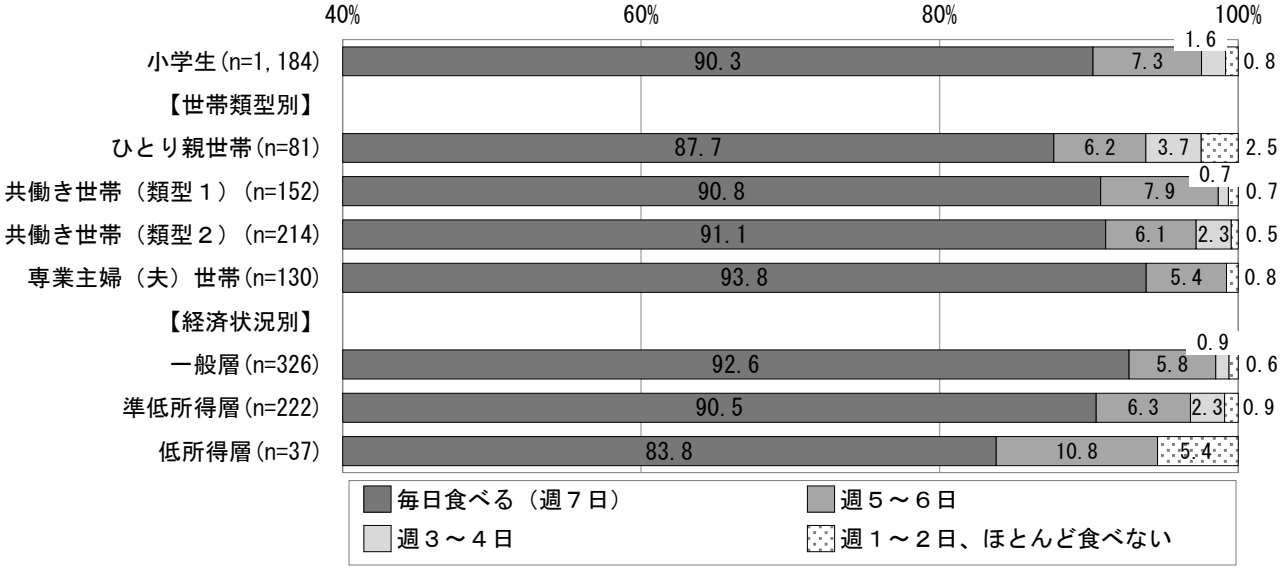
世帯類型別では、ひとり親世帯の「毎日食べる(週7日)」割合が他の類型よりも低くなっている。経済状況別では、低所得層が一般層・準低所得層に比べて「毎日食べる(週7日)」割合が低くなっている。



③夏休みや冬休みなどの期間の昼食

「毎日食べる（週7日）」が 90.3%となっている。

世帯類型別では、ひとり親世帯の「毎日食べる（週7日）」割合が他の類型よりも低くなっている。経済状況別では、低所得層が一般層・準低所得層に比べて「毎日食べる（週7日）」割合が低くなっている。



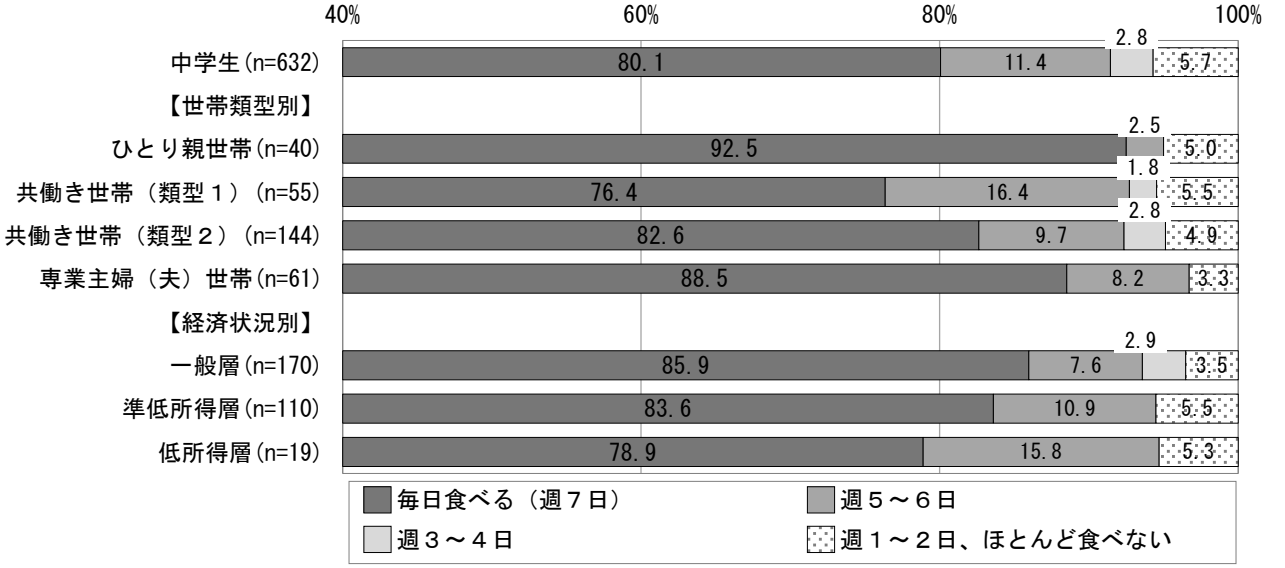
中学生

①朝食

「毎日食べる（週7日）」が 80.1%となっている。小学生と比べると、朝食を食べる頻度は低くなっている。

世帯類型別では、共働き世帯（類型1）の「毎日食べる（週7日）」割合が他の類型よりも低くなっている。

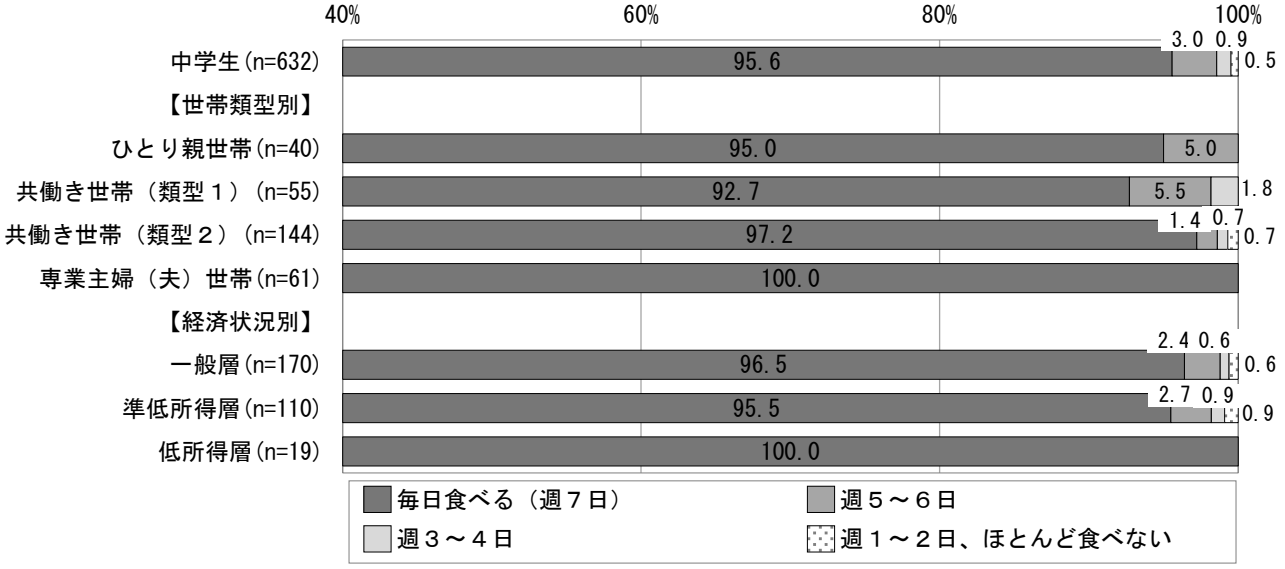
経済状況別では、低所得層が一般層・準低所得層に比べて「毎日食べる（週7日）」割合が低くなっている。



②夕食

「毎日食べる（週7日）」が 95.6％となっている。

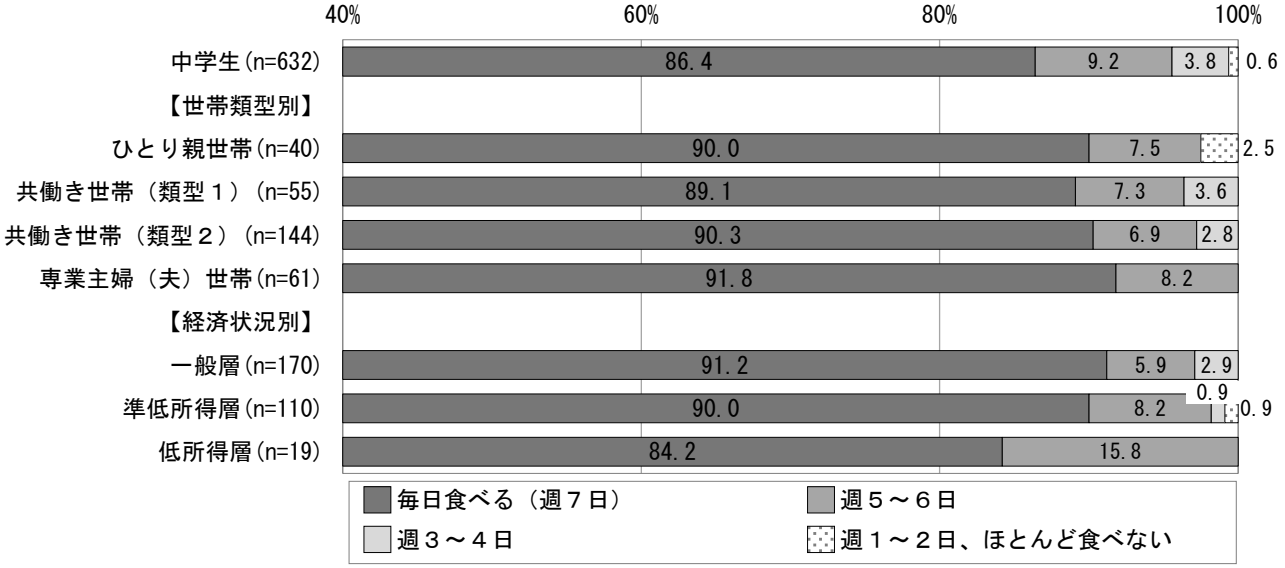
世帯類型別では、共働き世帯（類型1）の「毎日食べる（週7日）」割合が他の類型よりも低くなっている。



③夏休みや冬休みなどの期間の昼食

「毎日食べる（週7日）」が 86.4％となっている。

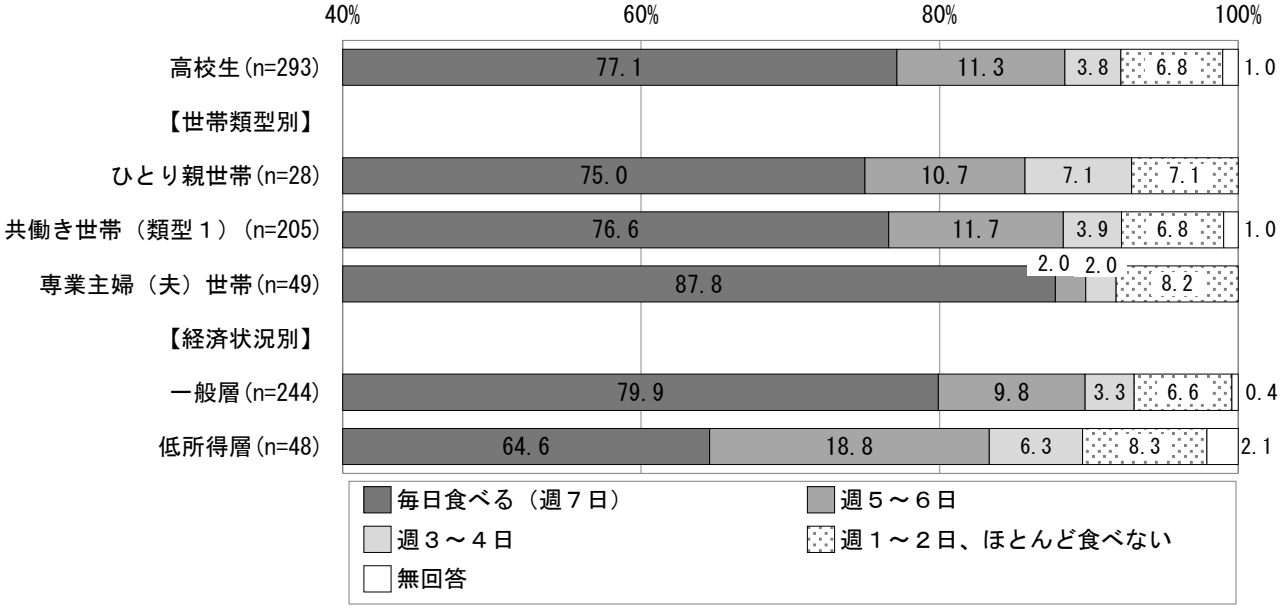
経済状況別では、低所得層が一般層・準低所得層に比べて「毎日食べる（週7日）」割合が低くなっている。



高校生

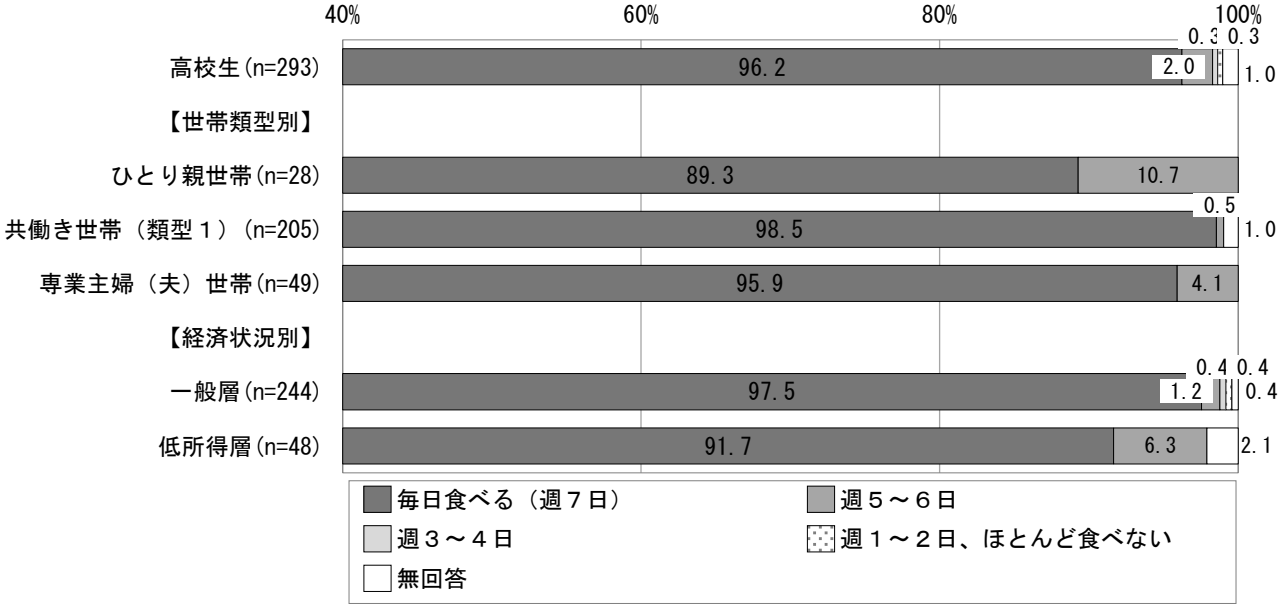
①朝食

「毎日食べる（週7日）」が 77.1%となっている。
世帯類型別では、専業主婦（夫）世帯の「毎日食べる（週7日）」割合が他の類型よりも高くなっている。
経済状況別では、低所得層が一般層に比べて「毎日食べる（週7日）」割合が低くなっている。



②夕食

「毎日食べる（週7日）」が 96.2%となっている。
世帯類型別では、ひとり親世帯の「毎日食べる（週7日）」割合が他の類型よりも低くなっている。
経済状況別では、低所得層が一般層に比べて「毎日食べる（週7日）」割合が低くなっている。

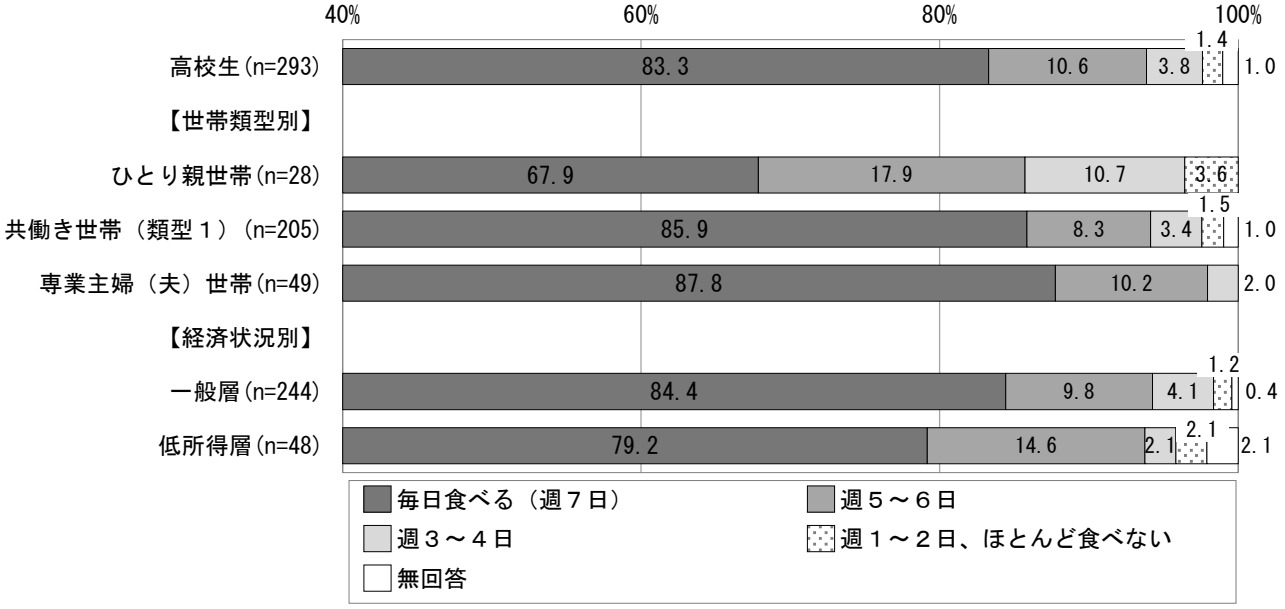


③夏休みや冬休みなどの期間の昼食

「毎日食べる（週7日）」が 83.3%となっている。

世帯類型別では、ひとり親世帯の「毎日食べる（週7日）」割合が他の類型よりも低くなっている。

経済状況別では、低所得層が一般層に比べて「毎日食べる（週7日）」割合が低くなっている。



（4）食事は楽しいか

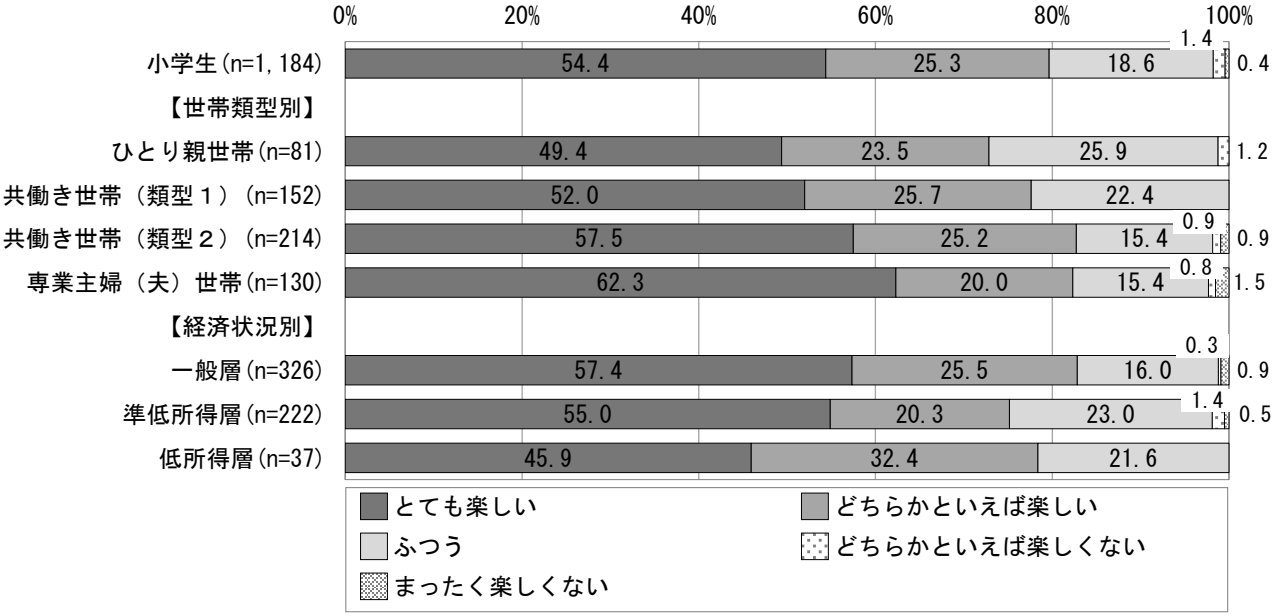
小学生 問８ 、 中学生 問８ 、 高校生 問８
あなたは毎日の食事が楽しいですか。（単数回答）

小学生

「とても楽しい」が 54.4％と最も高く、「どちらかといえば楽しい」が 25.3％と続いている。

世帯類型別では、ひとり親世帯において楽しいと感じる割合（「とても楽しい」と「どちらかといえば楽しい」の合計）が低くなっている。

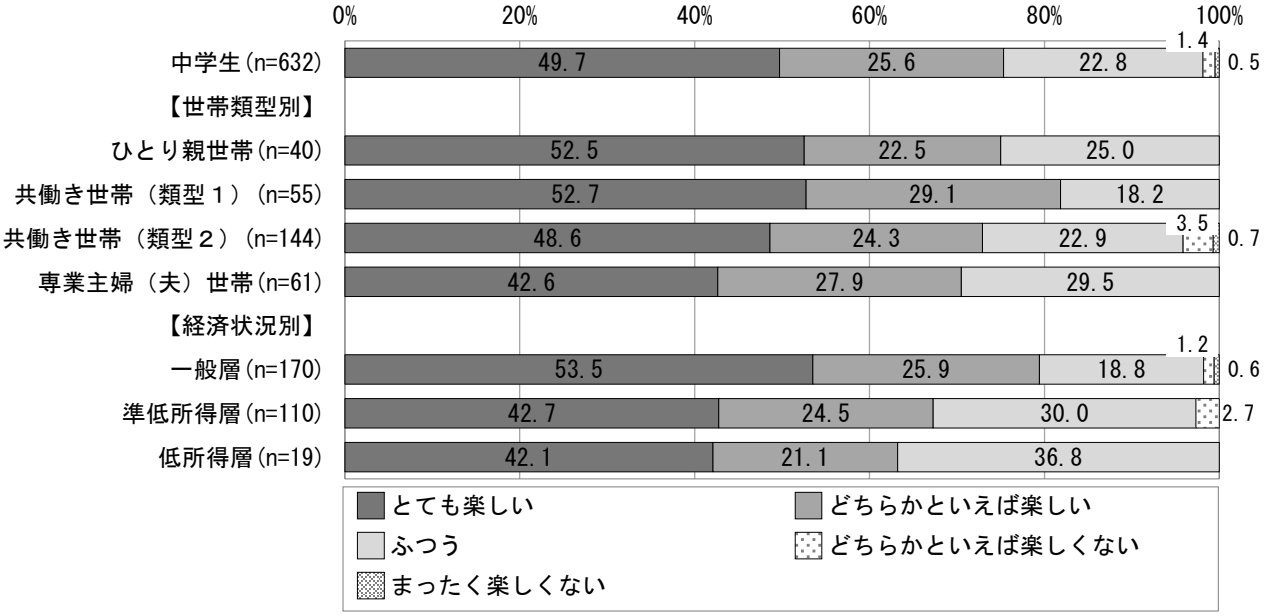
経済状況別では、所得が低くなるにつれ「とても楽しい」の割合が低くなっている。



中学生

「とても楽しい」が 49.7%と最も高く、「どちらかといえば楽しい」が 25.6%と続いている。

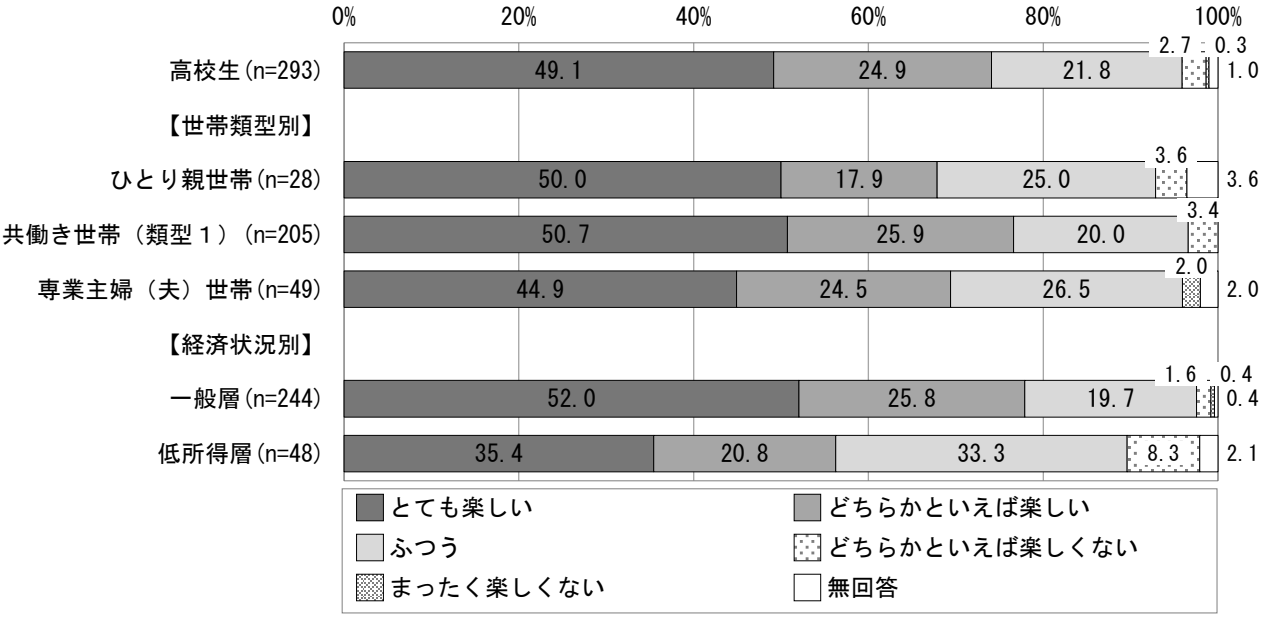
世帯類型別では、共働き世帯(類型1)において楽しいと感じる割合(「とても楽しい」と「どちらかといえば楽しい」の合計)が高くなっている。経済状況別では、一般層は準低所得層・低所得層と比べて楽しいと感じる割合が高くなっている。



高校生

「とても楽しい」が 49.1%と最も高く、「どちらかといえば楽しい」が 24.9%と続いている。

世帯類型別では、共働き世帯(類型1)において楽しいと感じる割合が高くなっている。経済状況別では、低所得層が一般層に比べて楽しいと感じる割合が低くなっている。



(5)就寝時間

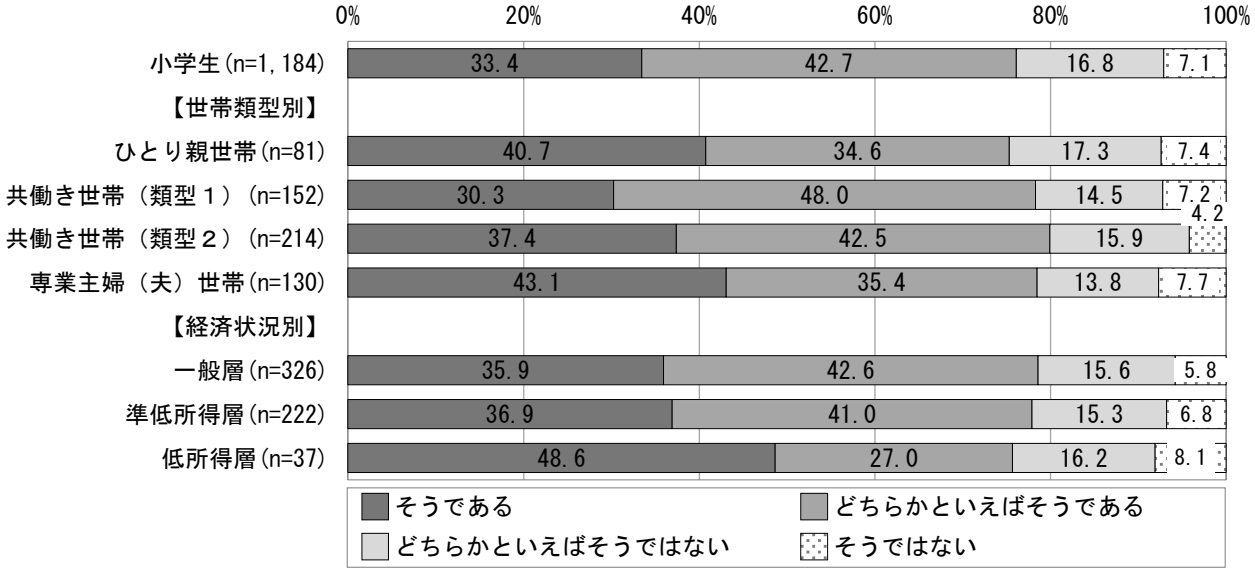
小学生 問９ 、 中学生 問９ 、 高校生 問９
あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(単数回答)

小学生

ほぼ同じ時間に寝ている割合(「そうである」と「どちらかといえばそうである」の合計)が76.1%となっている。

世帯類型別では、共働き世帯(類型1)において「そうである」割合が低くなっている。

経済状況別では、低所得層が一般層・準低所得層と比べて「そうである」割合が高くなっている。

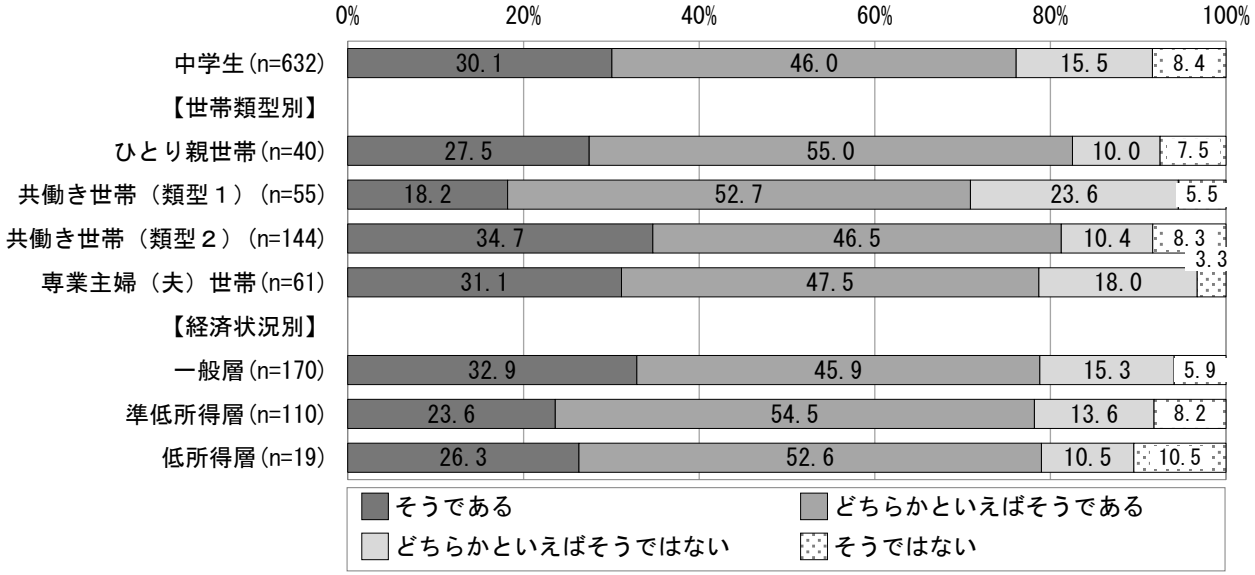


中学生

ほぼ同じ時間に寝ている割合(「そうである」と「どちらかといえばそうである」の合計)が76.1%となっている。

世帯類型別では、共働き世帯(類型1)においてほぼ同じ時間に寝ている割合が低くなっている。

経済状況別では、一般層が準低所得層・低所得層と比べて「そうである」割合が高くなっている。

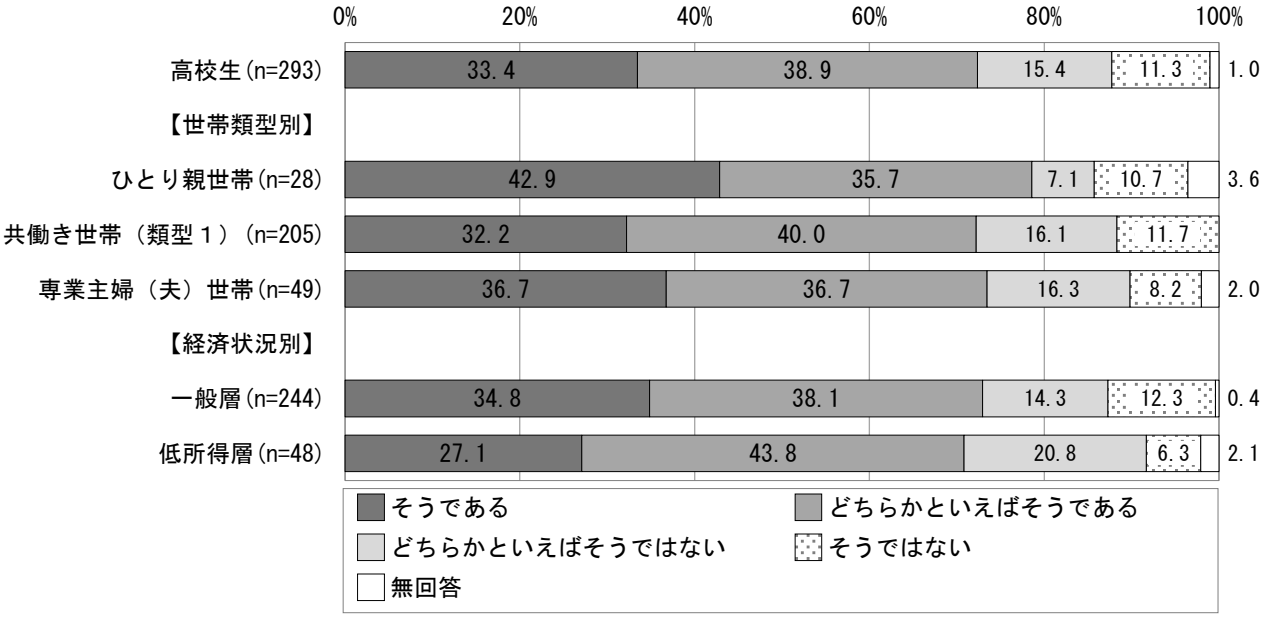


高校生

ほぼ同じ時間に寝ている割合（「そうである」と「どちらかといえばそうである」の合計）が72.3％となっている。

世帯類型別では、ひとり親世帯においてほぼ同じ時間に寝ている割合が高くなっている。

経済状況別では、低所得層が一般層に比べて「そうである」割合が低くなっている。



(6)相談できると思う相手

小学生 問10 、中学生 問10 、高校生 問10 、若者 問13
あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(複数回答)

小学生

「親」が78.4%と最も高く、「学校の友だち」が57.7%、「学校の先生」が34.1%と続いている。「だれにも相談できない、相談したくない」が7.9%となっている。

(%)	親	学校の友だち	学校の先生	兄弟・姉妹	学校外の友だち	祖父母など親せき	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人	インターネットで知り合った人	だれにも相談できない、相談したくない	無回答
小学生(n=1,184)	78.4	57.7	34.1	20.4	15.8	15.6	7.0	3.5	1.9	7.9	0.0
【世帯類型別】											
ひとり親世帯(n=81)	81.5	61.7	34.6	19.8	11.1	17.3	4.9	2.5	2.5	4.9	0.0
共働き世帯（類型１）(n=152)	75.7	57.2	29.6	19.1	17.8	17.1	9.9	5.9	0.7	6.6	0.0
共働き世帯（類型２）(n=214)	86.0	56.5	33.2	16.4	15.4	13.1	6.1	3.7	1.4	6.1	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=130)	89.2	63.8	43.8	23.8	21.5	13.8	10.0	3.1	1.5	4.6	0.0
【経済状況別】											
一般層(n=326)	84.7	61.0	36.5	17.5	18.7	16.0	8.9	4.3	1.5	5.2	0.0
準低所得層(n=222)	80.2	56.8	32.4	21.2	14.9	12.6	6.3	3.2	0.9	6.8	0.0
低所得層(n=37)	81.1	64.9	35.1	16.2	13.5	18.9	5.4	2.7	2.7	2.7	0.0

中学生

「学校の友達」が 70.9%と最も高く、「親」が 66.5%、「学校の先生」が 34.8%と続いている。「だれにも相談できない、相談したくない」が8.4%となっている。

(%)	学校の友達	親	学校の先生	学校外の友達	兄弟・姉妹	祖父母、親せきなど	インターネットで知り合った人	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人	だれにも相談できない、相談したくない	無回答
中学生(n=632)	70.9	66.5	34.8	21.5	20.9	11.2	5.5	5.2	3.3	8.4	0.0
【世帯類型別】											
ひとり親世帯(n=40)	75.0	62.5	37.5	27.5	10.0	12.5	7.5	2.5	0.0	10.0	0.0
共働き世帯（類型１）(n=55)	65.5	70.9	38.2	29.1	20.0	3.6	3.6	3.6	1.8	12.7	0.0
共働き世帯（類型２）(n=144)	71.5	66.0	34.7	17.4	16.7	8.3	6.3	2.8	2.1	7.6	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=61)	68.9	83.6	34.4	14.8	26.2	16.4	3.3	11.5	3.3	6.6	0.0
【経済状況別】											
一般層(n=170)	68.8	74.7	36.5	22.4	19.4	13.5	6.5	5.9	1.8	8.8	0.0
準低所得層(n=110)	73.6	61.8	35.5	20.0	16.4	4.5	4.5	4.5	3.6	8.2	0.0
低所得層(n=19)	73.7	78.9	42.1	15.8	15.8	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0

高校生

「学校の友達」が 66.6%と最も高く、「親」が 66.2%、「学校外の友達」が 30.0%と続いている。「だれにも相談できない、相談したくない」が7.8%となっている。ひとり親世帯、低所得層において、「だれにも相談できない、相談したくない」割合が高くなっている。

(%)	学校の友達	親	学校外の友達	兄弟・姉妹	学校の先生	祖父母など親せき	インターネットで知り合った人	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	その他の大人	だれにも相談できない、相談したくない	無回答
高校生(n=293)	66.6	66.2	30.0	19.8	18.4	6.8	5.1	3.1	2.4	7.8	1.0
【世帯類型別】											
ひとり親世帯(n=28)	46.4	53.6	25.0	17.9	21.4	10.7	3.6	14.3	7.1	14.3	3.6
共働き世帯（類型１）(n=205)	70.2	66.8	33.7	20.0	17.6	5.9	3.4	2.0	2.0	8.3	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=49)	63.3	71.4	22.4	24.5	20.4	8.2	10.2	0.0	2.0	4.1	2.0
【経済状況別】											
一般層(n=244)	68.9	70.5	30.7	21.3	20.5	7.0	3.7	2.5	2.5	6.6	0.4
低所得層(n=48)	56.3	45.8	27.1	12.5	8.3	6.3	12.5	6.3	2.1	14.6	2.1

若者

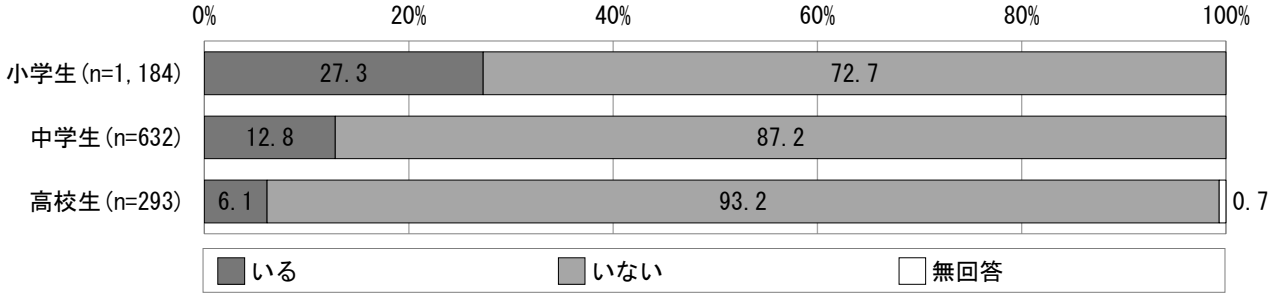
「親」が 80.8%と最も高く、「友人」が 65.3%、「兄弟・姉妹」が 25.7%と続いている。「だれにも相談できない、相談したくない」が4.2%となっている。

（%）	親	友人	兄弟・姉妹	配偶者・パートナー	職場の同僚	祖父母など親せき	インターネットで知り合った人	学校の先生	地域の人	その他	だれにも相談できない、相談したくない	無回答
若者(n=167)	80.8	65.3	25.7	18.0	12.0	7.8	6.6	4.8	0.6	3.0	4.2	0.6
【世帯類型別】												
ひとり親世帯(n=14)	64.3	64.3	0.0	14.3	7.1	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0
共働き世帯（類型１）(n=38)	86.8	76.3	23.7	7.9	7.9	5.3	10.5	5.3	0.0	5.3	5.3	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=71)	84.5	62.0	35.2	15.5	12.7	5.6	5.6	7.0	0.0	1.4	4.2	0.0
【経済状況別】												
一般層(n=112)	83.0	67.9	28.6	17.9	9.8	8.9	5.4	7.1	0.9	0.9	3.6	0.9
低所得層(n=55)	76.4	60.0	20.0	18.2	16.4	5.5	9.1	0.0	0.0	7.3	5.5	0.0

（7）お世話をしている家族の有無

小学生 問 11 、 中学生 問 11 、 高校生 問 11
家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。（単数回答）

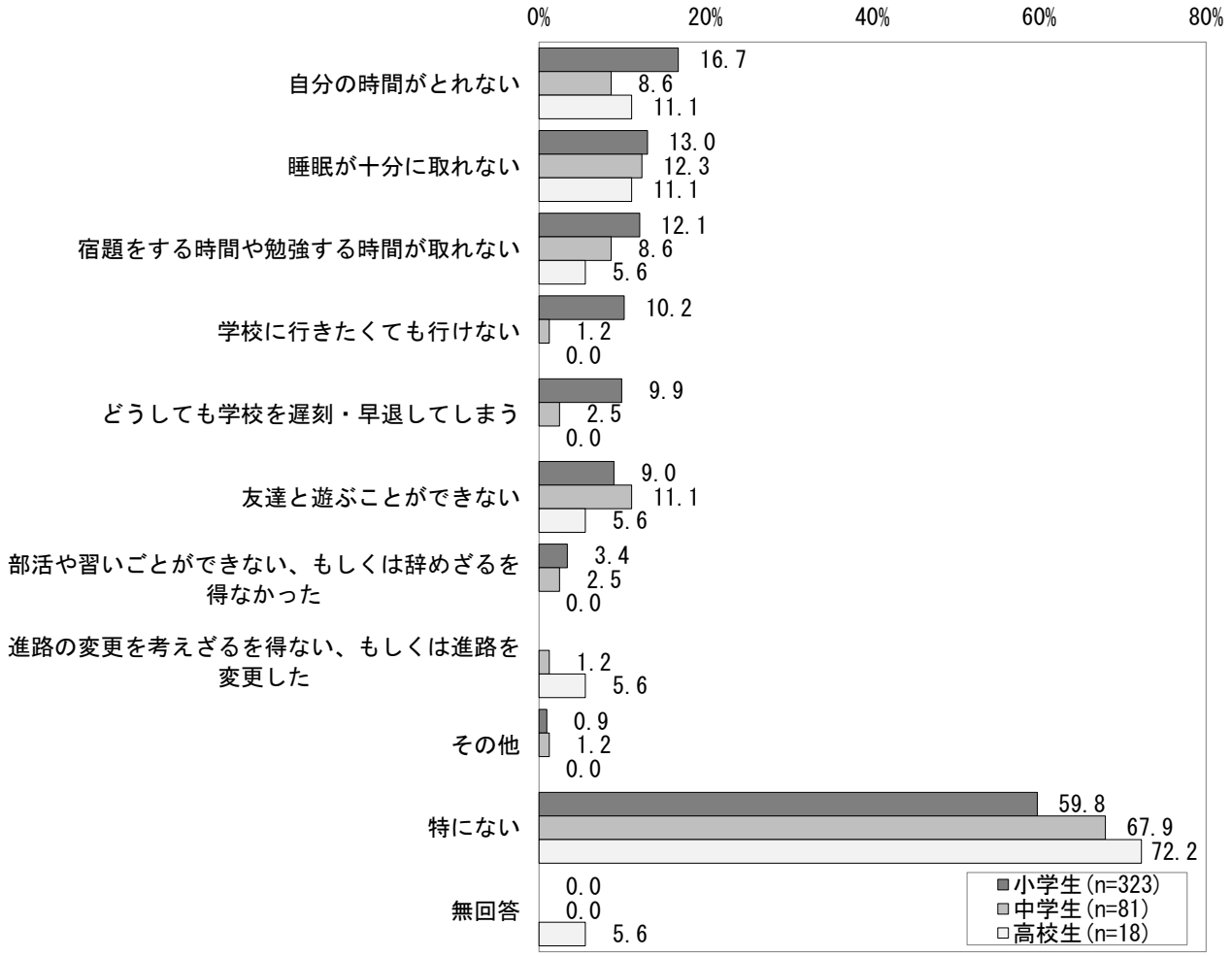
小学生では、「いる」が 27.3%、「いない」が 72.7%となっている。
中学生では、「いる」が 12.8%、「いない」が 87.2%となっている。
高校生では、「いる」が 6.1%、「いない」が 93.2%となっている。



(8)お世話をしていることで、やりたくてもできないこと

小学生 問 11-1 、中学生 問 11-1 、高校生 問 11-1
【「お世話をしている家族の有無」で「いる」を選択した方のみ】
お世話をしていることで、やりたくてもできていないことはありますか。(複数回答)

小学生では、「自分の時間がとれない」が 16.7%と最も高くなっている。
中学生では、「睡眠が十分に取れない」が 12.3%と最も高くなっている。
高校生では、「自分の時間がとれない」と「睡眠が十分に取れない」が、それぞれ 11.1%と最も高くなっている。

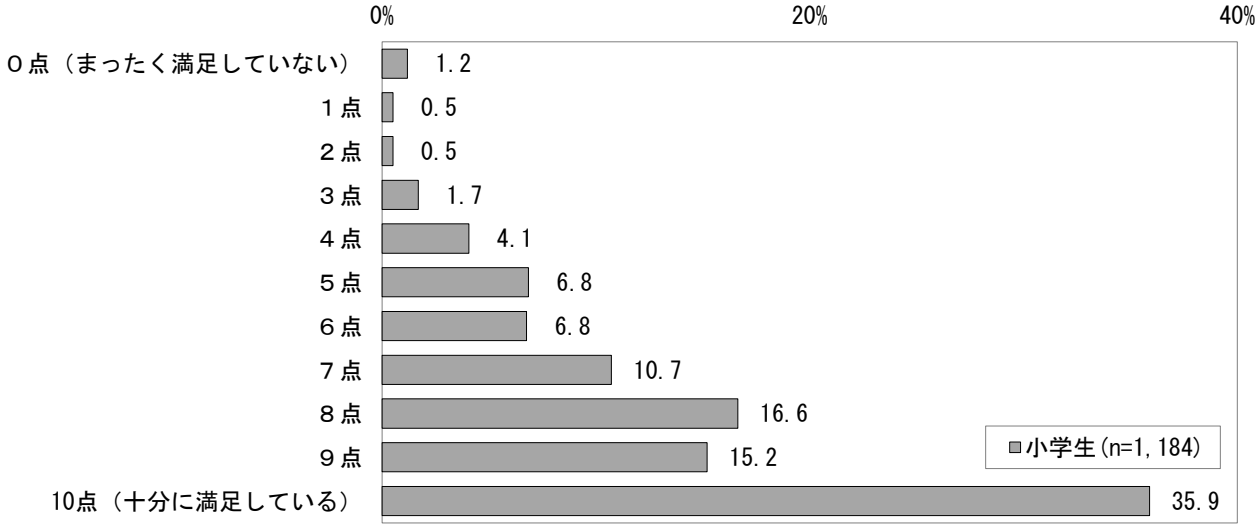


(9)生活への満足度

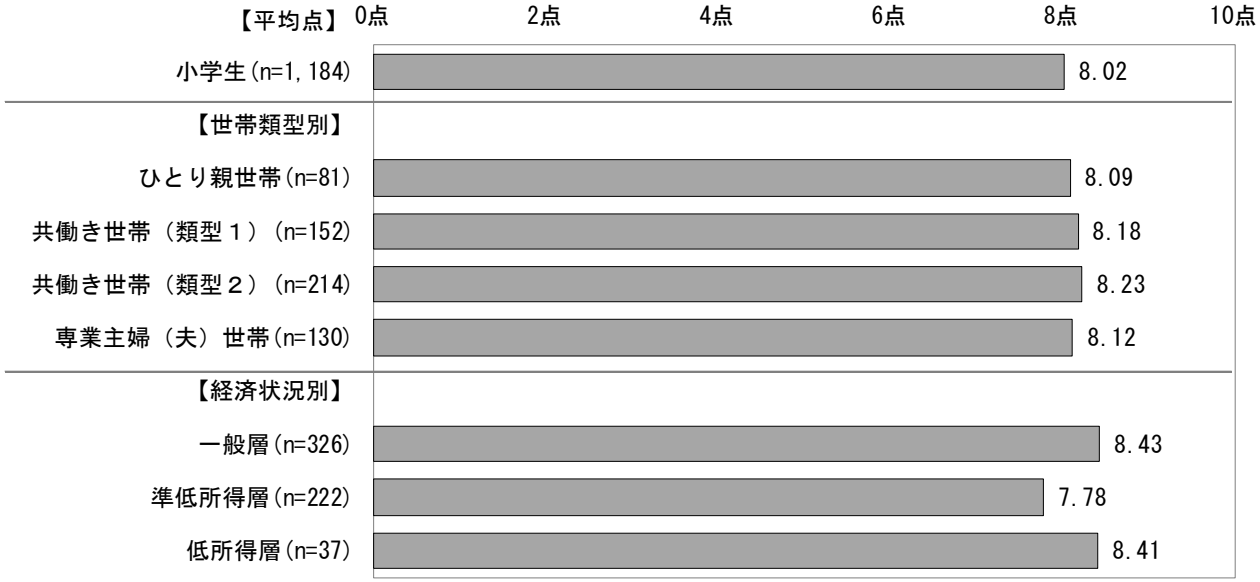
小学生 問 12 、中学生 問 12 、高校生 問 12 、若者 問 10
全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で答えてください。(単数回答)

小学生

「10 点(十分に満足している)」が 35.9%と最も高く、「8点」が 16.6%、「9点」が 15.2%と続いている。

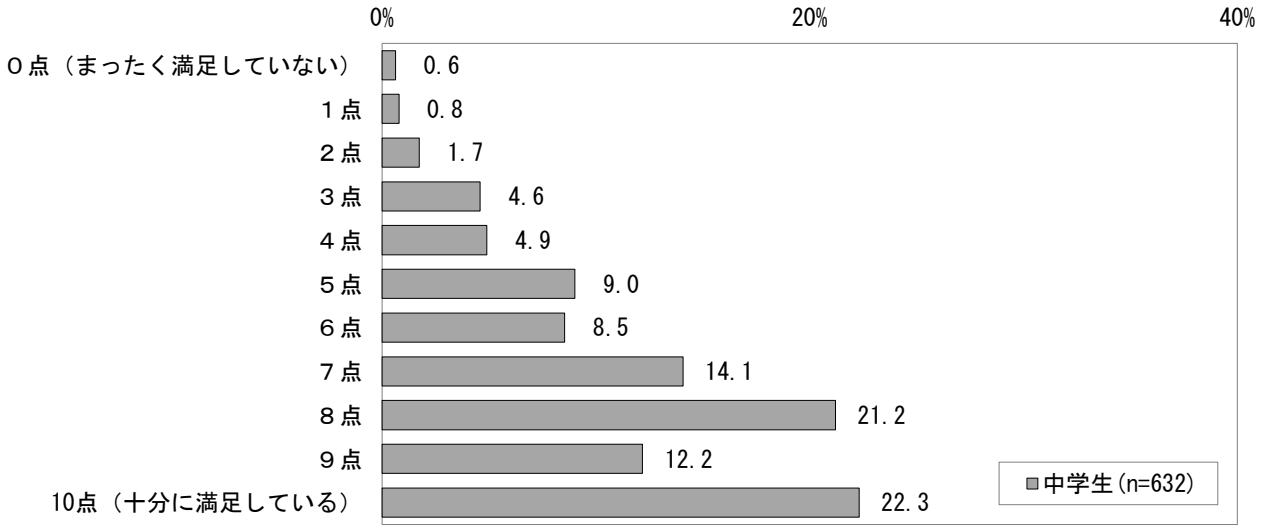


経済状況別に平均点をみると、準低所得層が一般層・低所得層と比べて低くなっている。

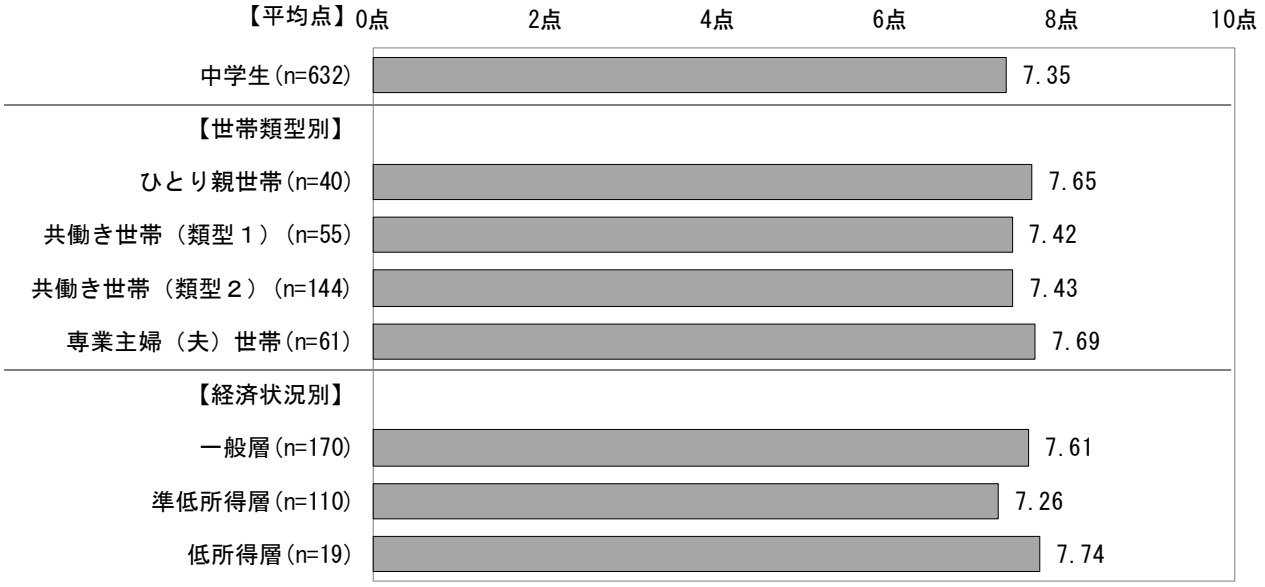


中学生

「10 点（十分に満足している）」が 22.3%と最も高く、「8点」が 21.2%、「7点」が 14.1%と続いている。

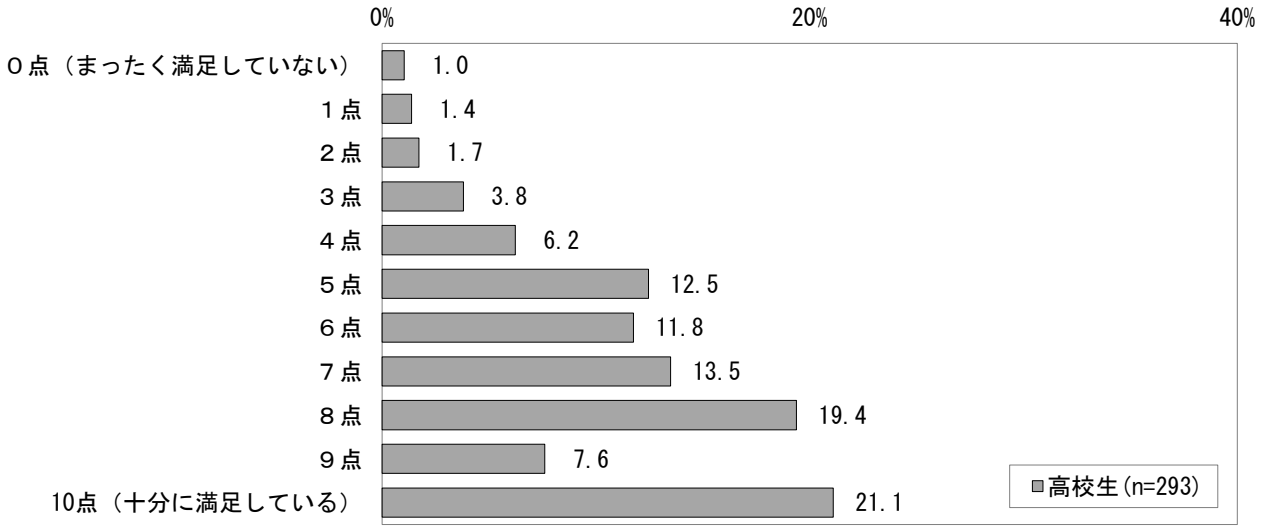


経済状況別に平均点をみると、準低所得層が一般層・低所得層と比べて低くなっている。全体的に、小学生よりも平均点は低くなっている。

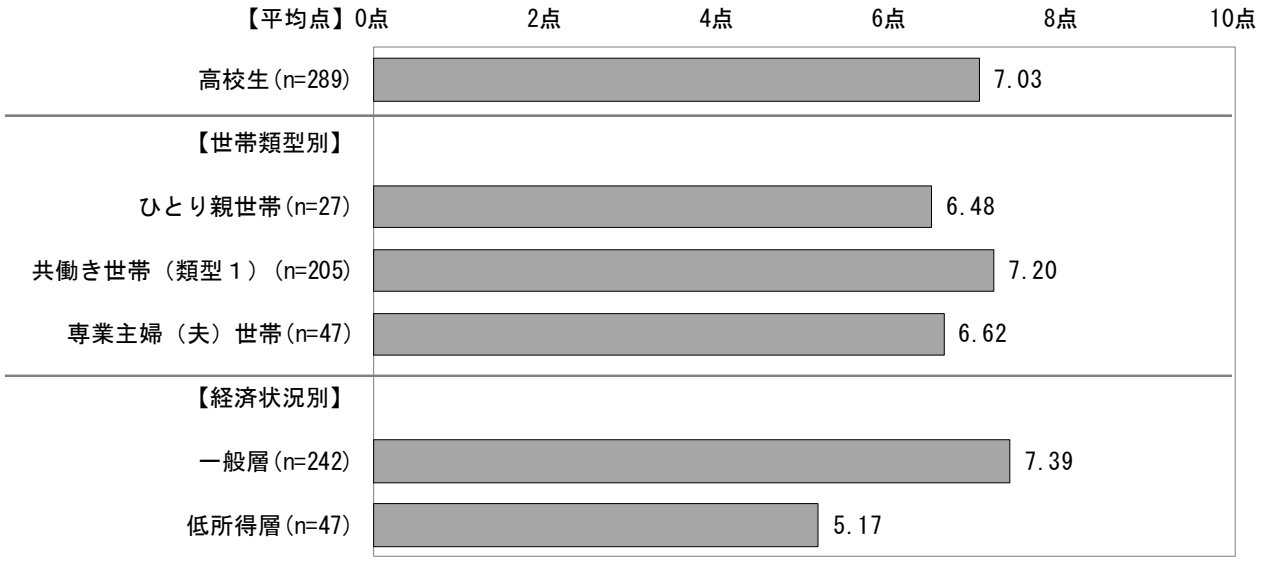


高校生

「10 点（十分に満足している）」が 21.1%と最も高く、「8点」が 19.4%、「7点」が 13.5%と続いている。

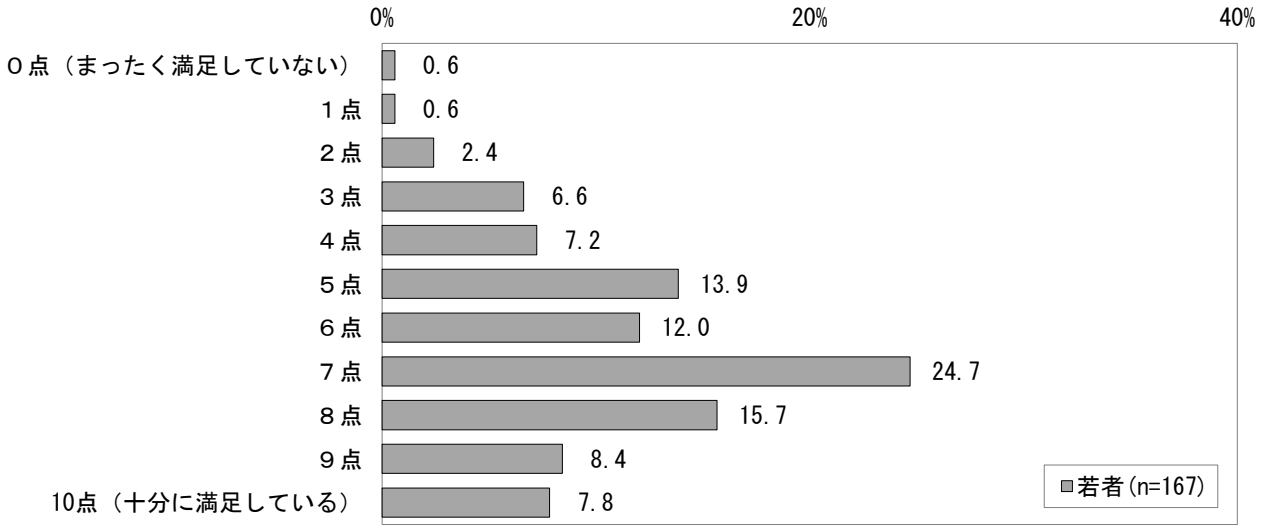


経済状況別に平均点をみると、低所得層が一般層と比べて低くなっている。

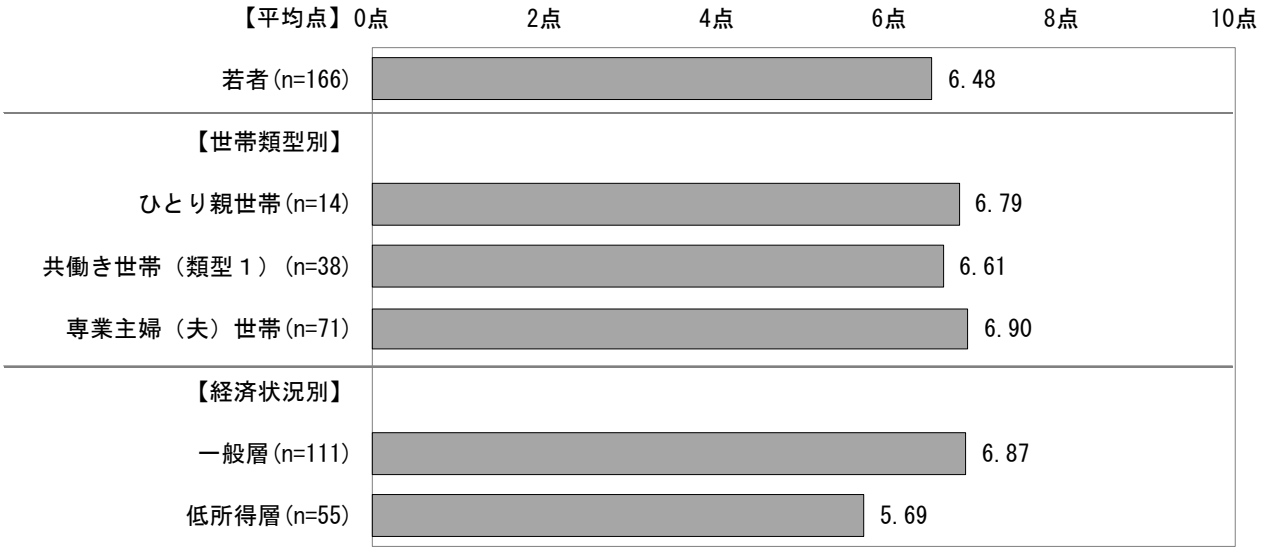


若者

「7点」が 24.7%と最も高く、「8点」が 15.7%、「5点」が 13.9%と続いている。



経済状況別に平均点をみると、低所得層が一般層と比べて低くなっている。全体的に、高校生までと比べて平均点は低くなっている。



第4節　子どもの意識

■結果の概要

【自己肯定感等】

・「自分のことが好き」と思う割合は、小学生が 60.6%、中学生が 55.1%、高校生が 53.6%、若者が 64.1%となっている。中学生・高校生になると自己肯定感が減少し、進路選択を経ると（若者になると）自己肯定感が増加しているものと考えられる。

・高校生の低所得層において、「自分のことが好き」と思う割合が特に低く、29.2%となっている。家庭の経済状態や学力から、進路選択に制限があるように感じることが原因のひとつと考えられる。

・将来の夢がある割合は、小学生が8割を超えているのに対し、中学生以上は約6割となっている。

【居場所】

・最も安心できる居場所は、小学生においては「家庭」となっているが、中学生・高校生・若者では「自分の部屋」となっている。

・「インターネット空間」を安心できる居場所と感じる割合（「そう思う」の割合）は、小学生が18.6%、中学生が 26.7%、高校生が 21.8%、若者が 29.9%となっている。若者が最も高く、「学校・職場」や「地域」よりも安心できる居場所と感じる割合は高くなっている。

(1)自己肯定感・非認知能力

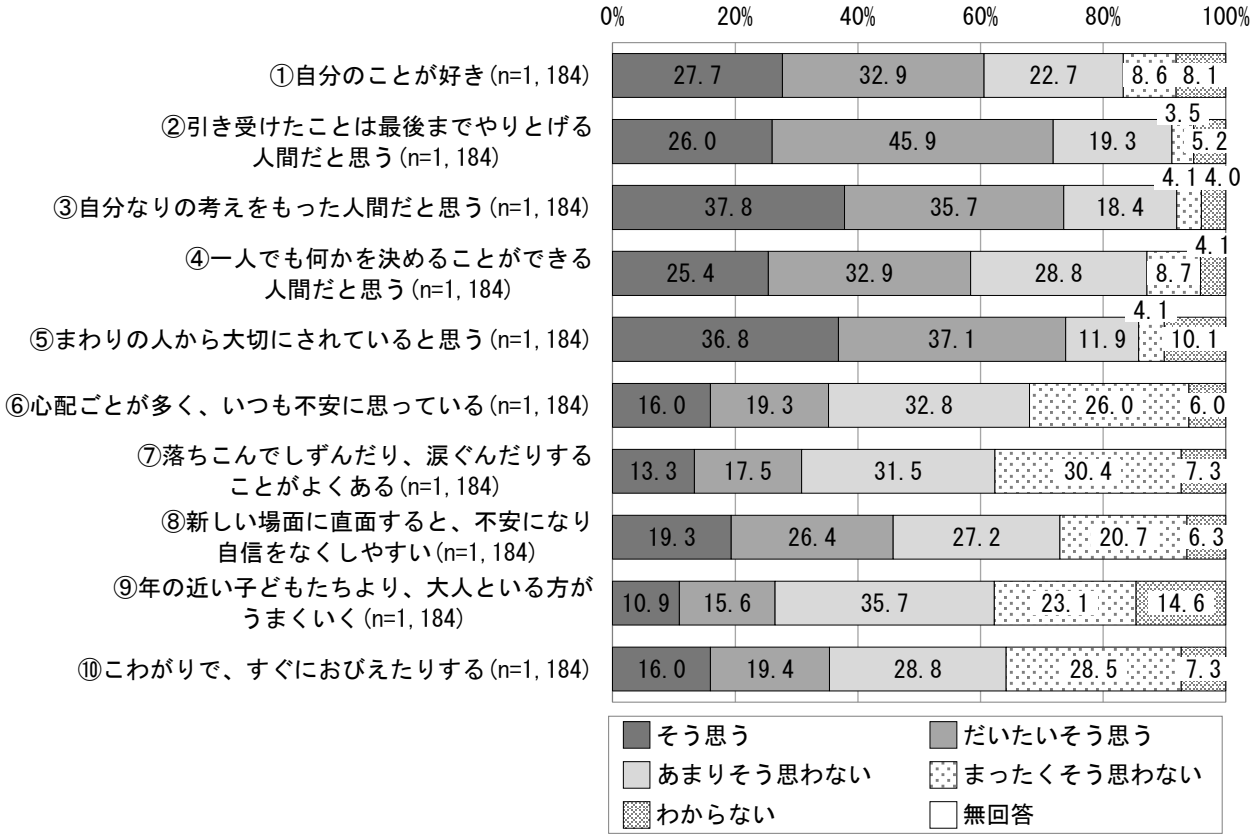
小学生 問13 、中学生 問13 、高校生 問13 、若者 問9
あなたが自分自身について思っていることを、次の①から⑩のそれぞれの項目について答えてください。
（単数回答）

小学生

①全体

「自分のことが好き」と思う割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）が、60.6%となっている。

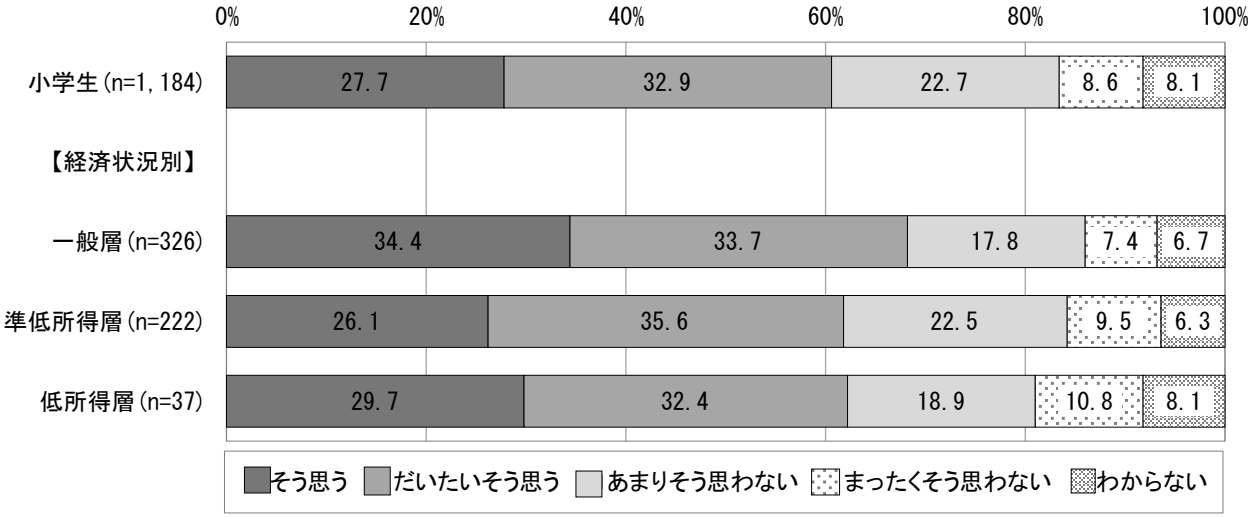
項目別で「そう思う」の割合をみると、「自分なりの考えをもった人間だと思う」が 37.8%と最も高くなっている。また、「まったくそう思わない」の割合をみると、「落ちこんでしずんだり、涙ぐんだりすることがよくある」が 30.4%と最も高くなっている。



②項目別

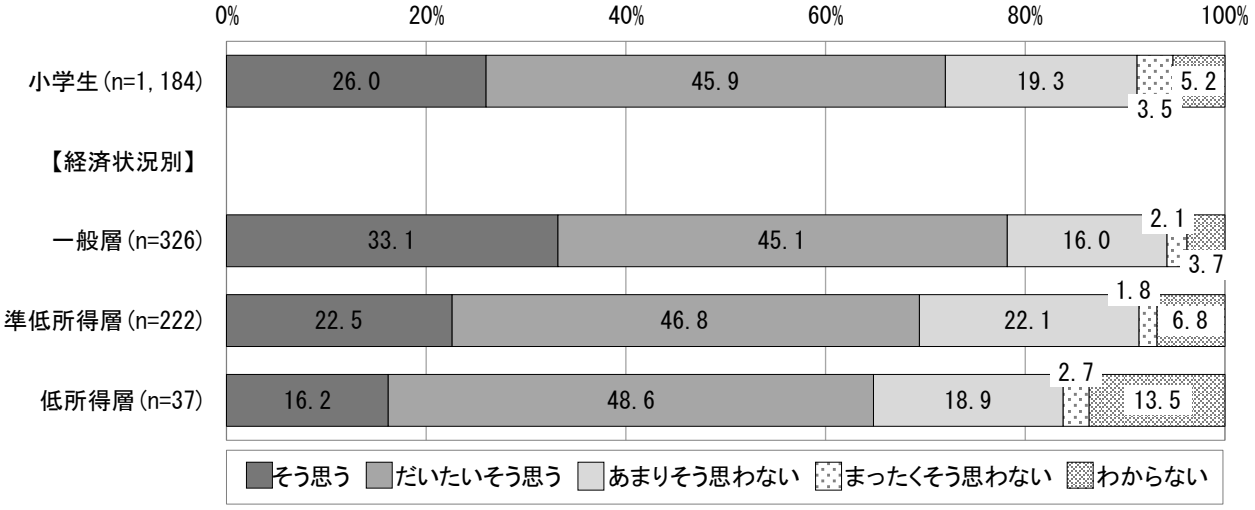
（ｉ）自分のことが好き

一般層は「自分のことが好き」と思う割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）が68.1%と、準低所得層・低所得層に比べて高くなっている。



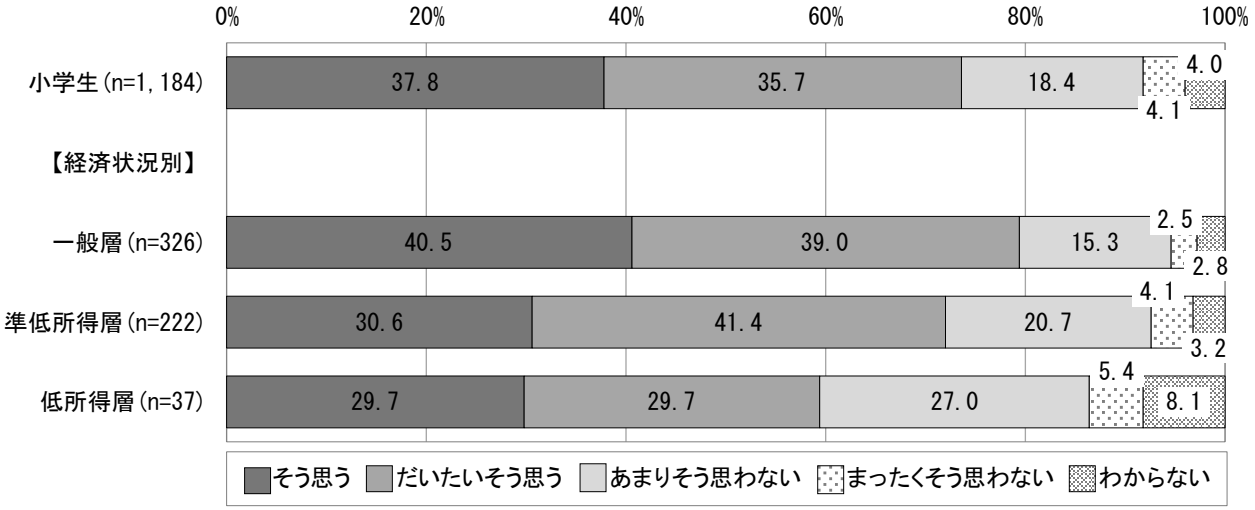
（ⅱ）引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う

所得が低くなるにつれ、「引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）が低くなっている。



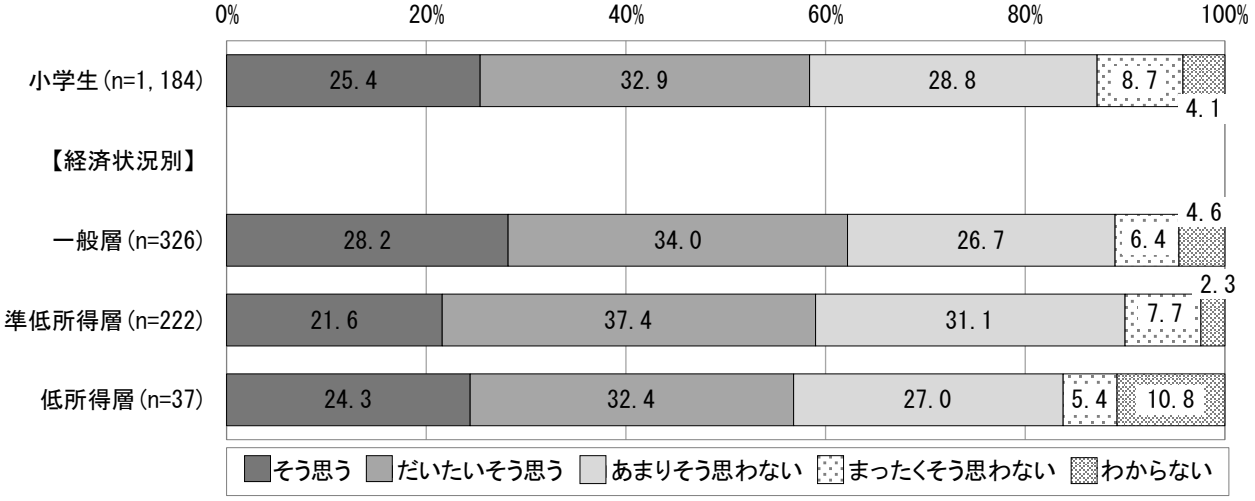
（ⅲ）自分なりの考えをもった人間だと思う

所得が低くなるにつれ、「自分なりの考えをもった人間だと思う」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）が低くなっている。



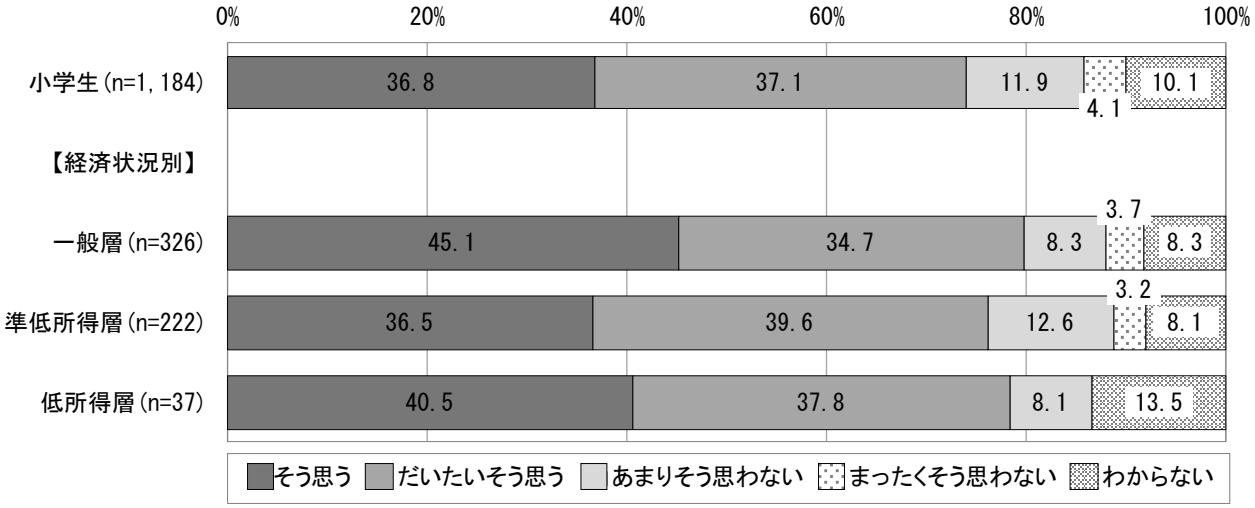
（ⅳ）一人でも何かを決めることができる人間だと思う

所得が低くなるにつれ、「一人でも何かを決めることができる人間だと思う」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）が低くなっている。



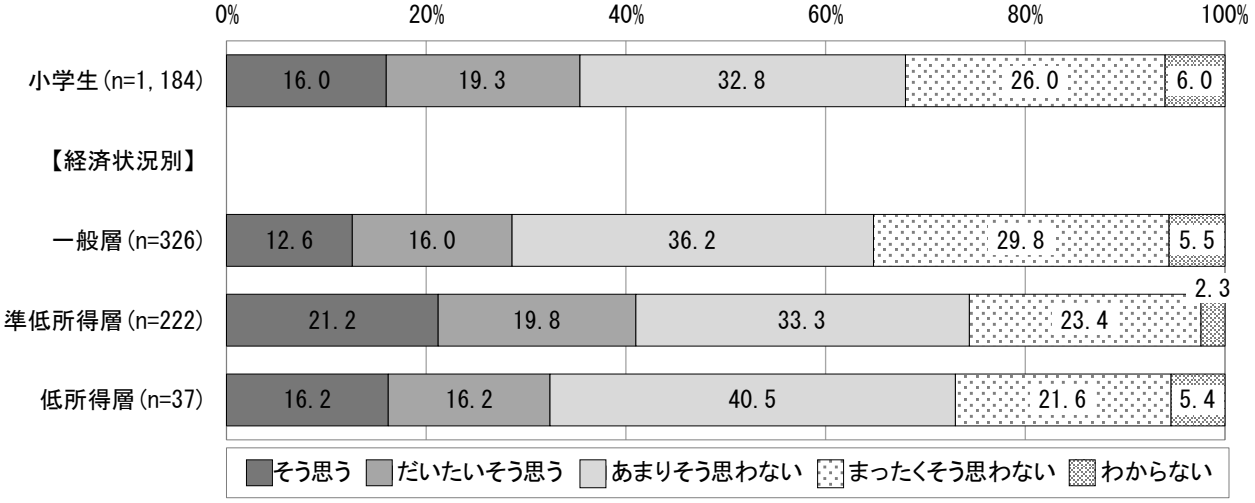
（ｖ）まわりの人から大切にされていると思う

「まわりの人から大切にされていると思う」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、経済状況による大きな違いはみられない。



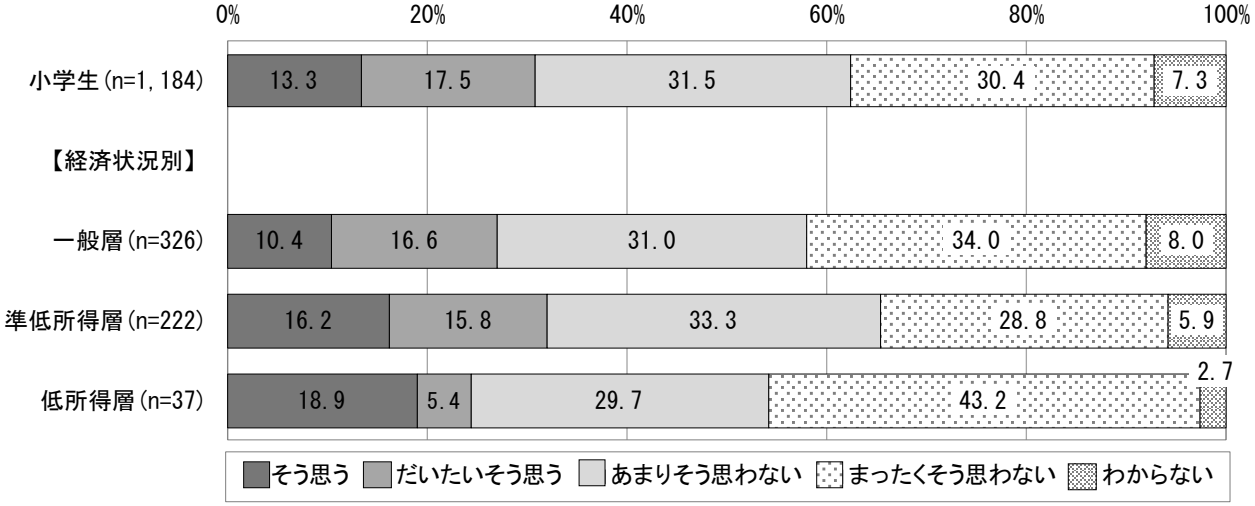
（ⅵ）心配ごとが多く、いつも不安に思っている

「心配ごとが多く、いつも不安に思っている」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、準低所得層において 41.0％と最も高くなっている。



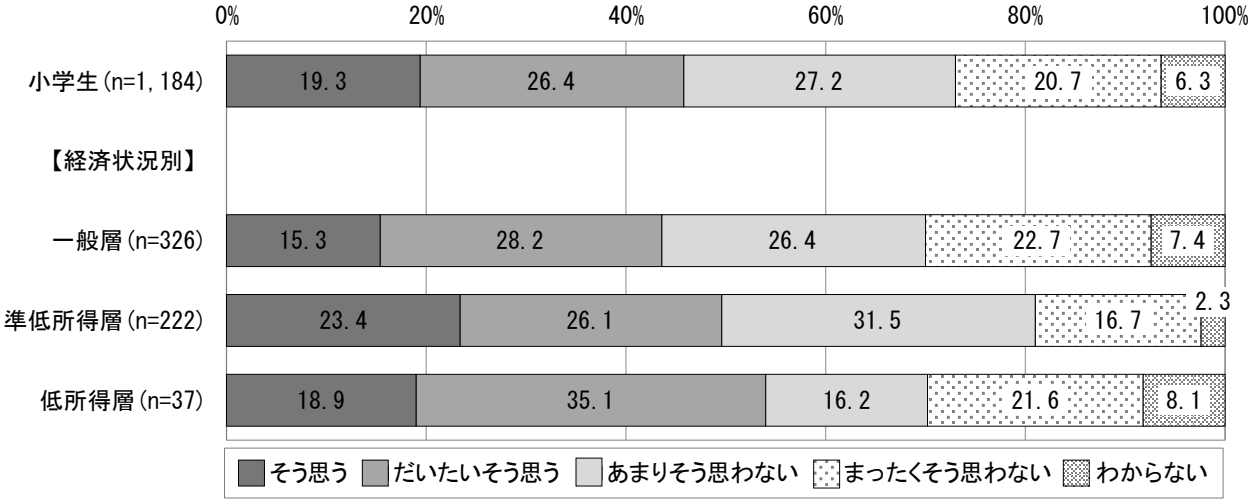
（vii）落ちこんでしずんだり、涙ぐんだりすることがよくある

「落ちこんでしずんだり、涙ぐんだりすることがよくある」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、準低所得層において 32.0％と最も高くなっている。



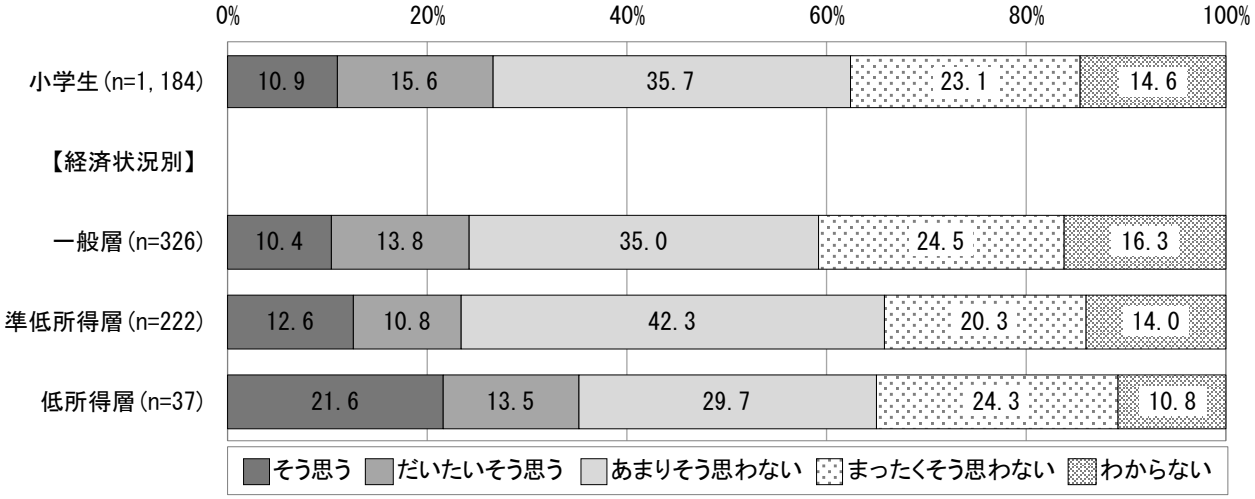
（viii）新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい

所得が低くなるにつれ、「新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）が高くなっている。



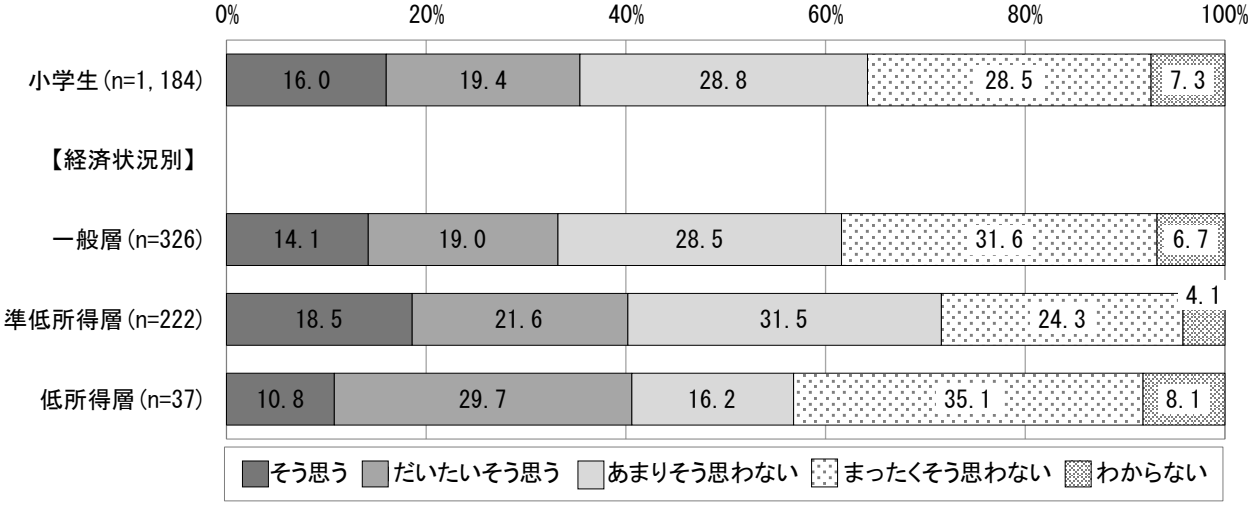
（ix）年の近い子どもたちより、大人といる方がうまくいく

「年の近い子どもたちより、大人といる方がうまくいく」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層において 35.1%と、一般層・準低所得層と比べて高くなっている。



（ｘ）こわがりで、すぐにおびえたりする

一般層は「こわがりで、すぐにおびえたりする」と思う割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）が 33.1%と、準低所得層・低所得層に比べて低くなっている。

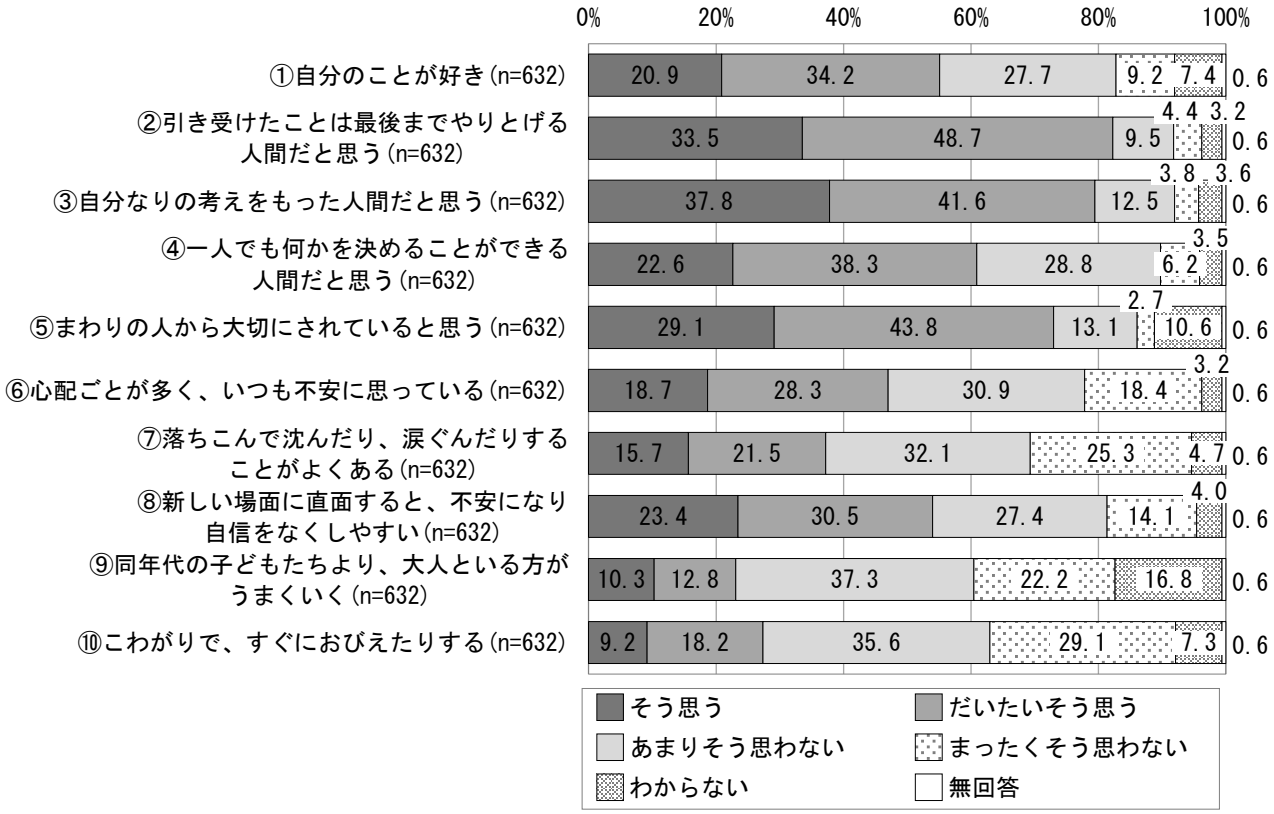


中学生

①全体

「自分のことが好き」と思う割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）が、55.1%となっている。

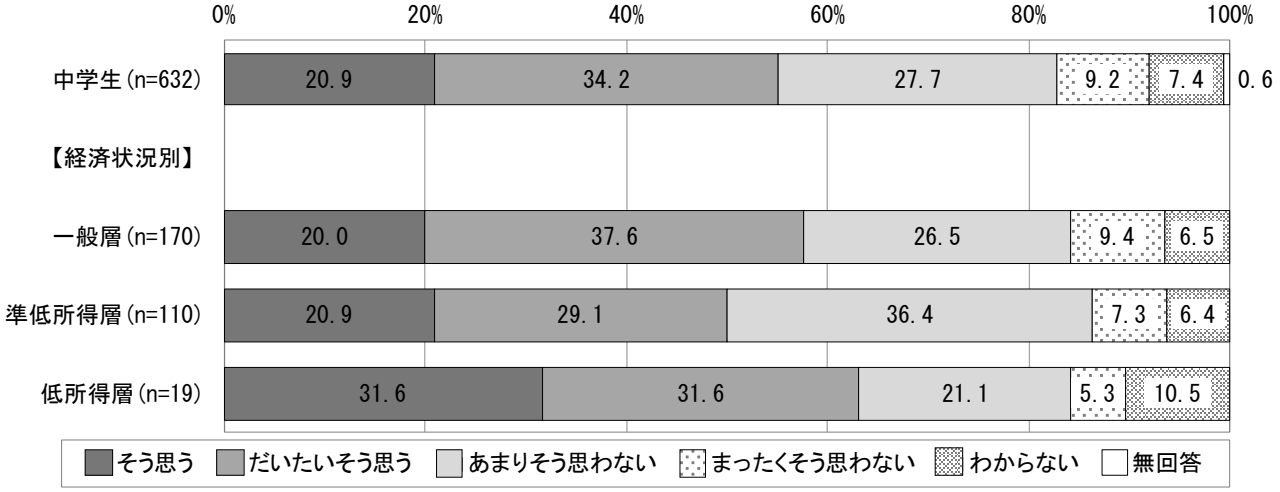
項目別で「そう思う」の割合をみると、「自分なりの考えをもった人間だと思う」が 37.8%と最も高くなっている。また、「まったくそう思わない」の割合をみると、「こわがりで、すぐにおびえたりする」が 29.1%と最も高くなっている。



②項目別

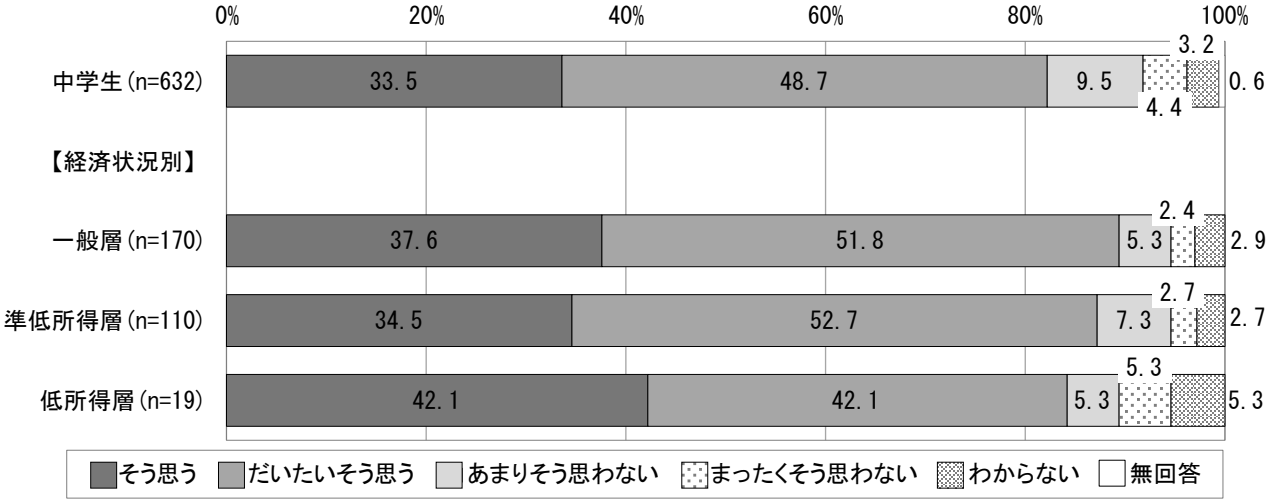
（ｉ）自分のことが好き

「自分のことが好き」だと思う割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、準低所得層において 50.0％と最も低くなっている。



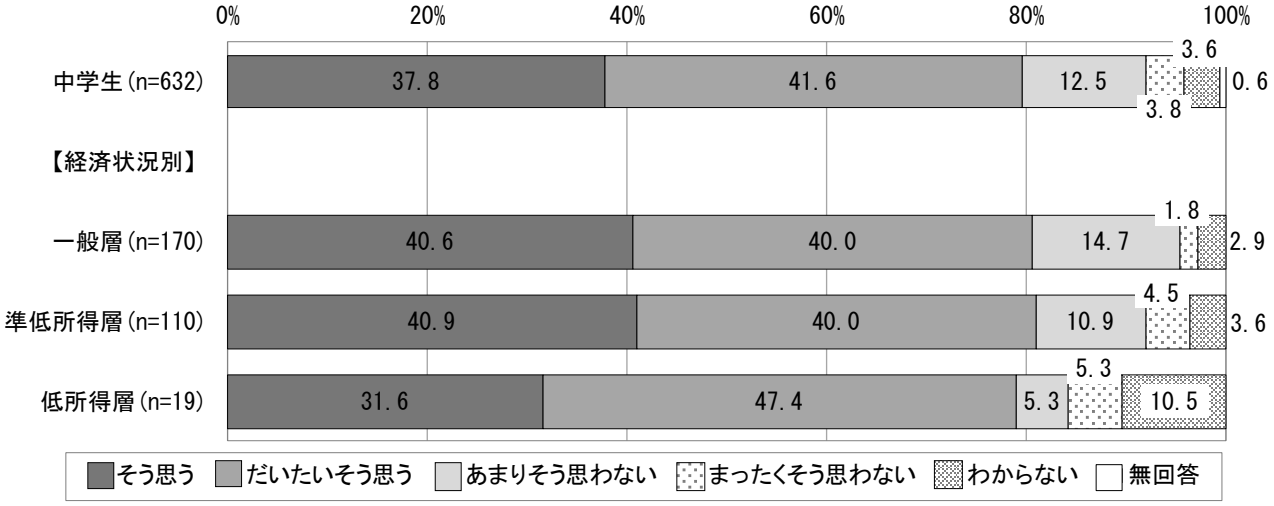
（ii）引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う

所得が低くなるにつれ、「引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）が低くなっている。



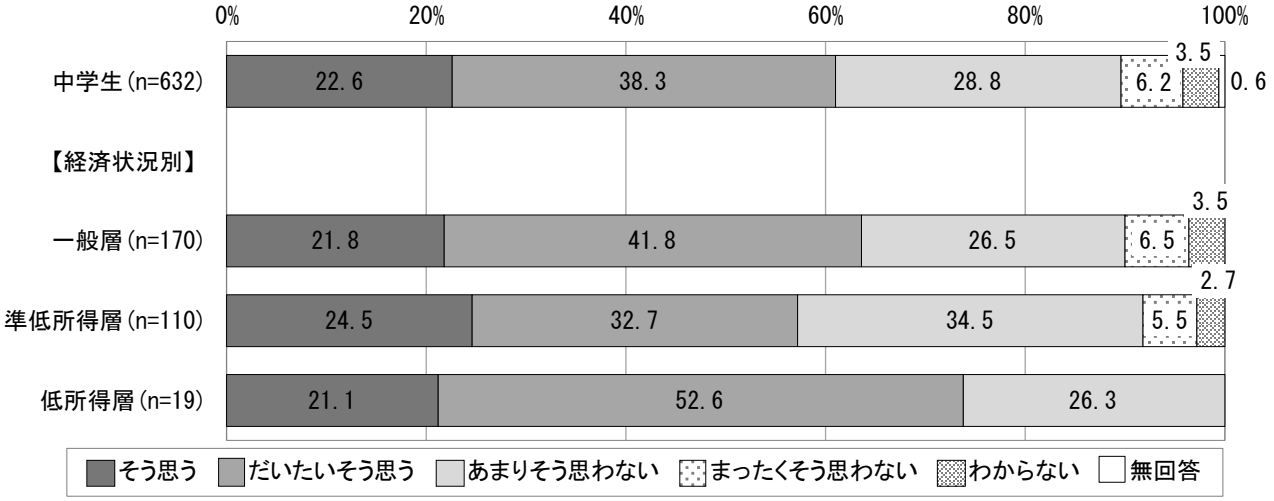
（iii）自分なりの考えをもった人間だと思う

低所得層において「自分なりの考えをもった人間だと思う」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）が低くなっている。



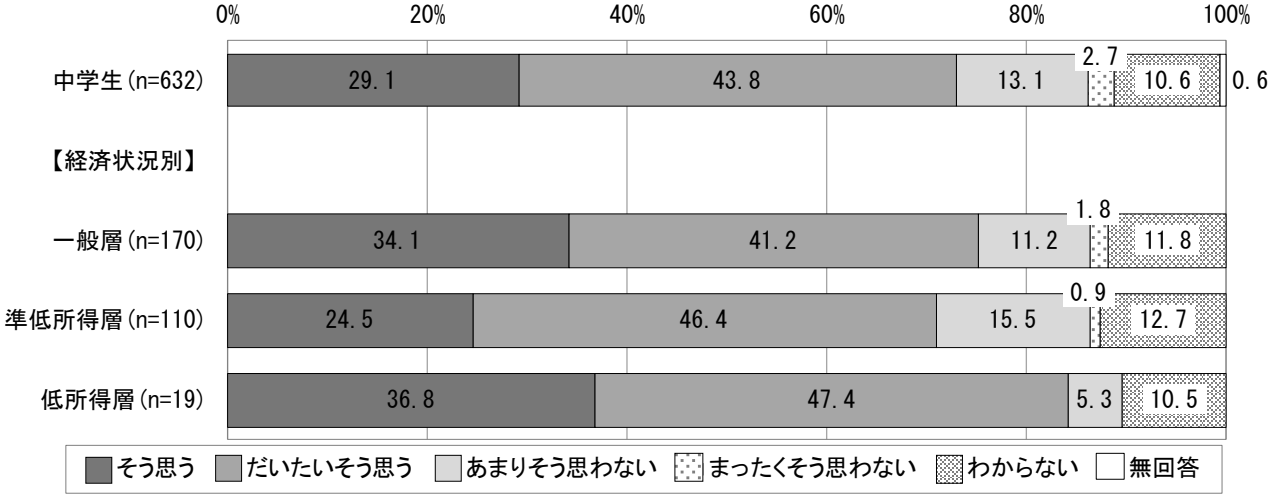
（iv）一人でも何かを決めることができる人間だと思う

「一人でも何かを決めることができる人間だと思う」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、準低所得層において 57.2％と最も低くなっている。



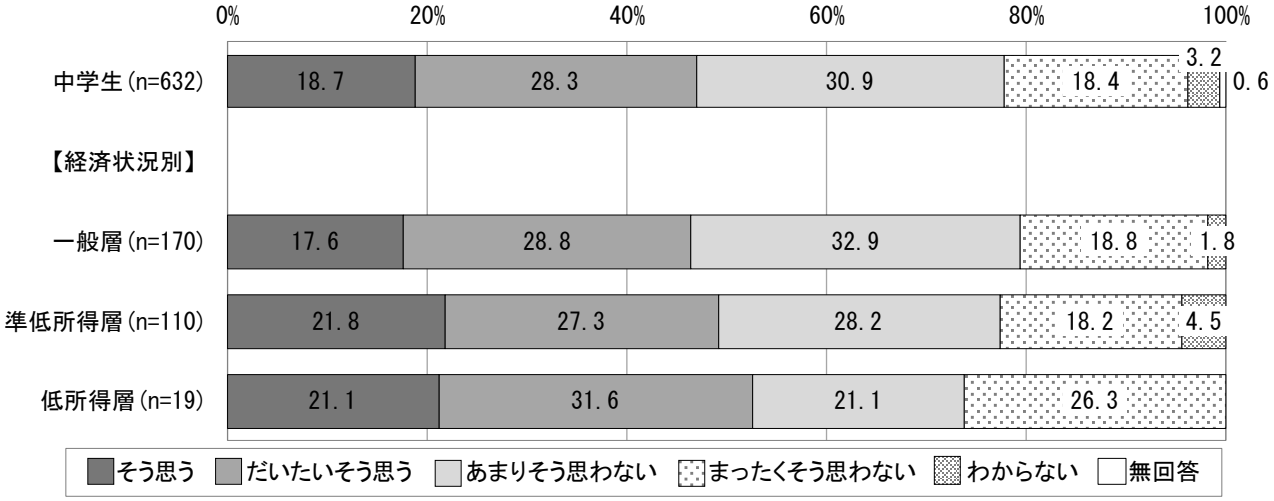
（ｖ）まわりの人から大切にされていると思う

「まわりの人から大切にされていると思う」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、準低所得層が 70.9％と最も低くなっている。



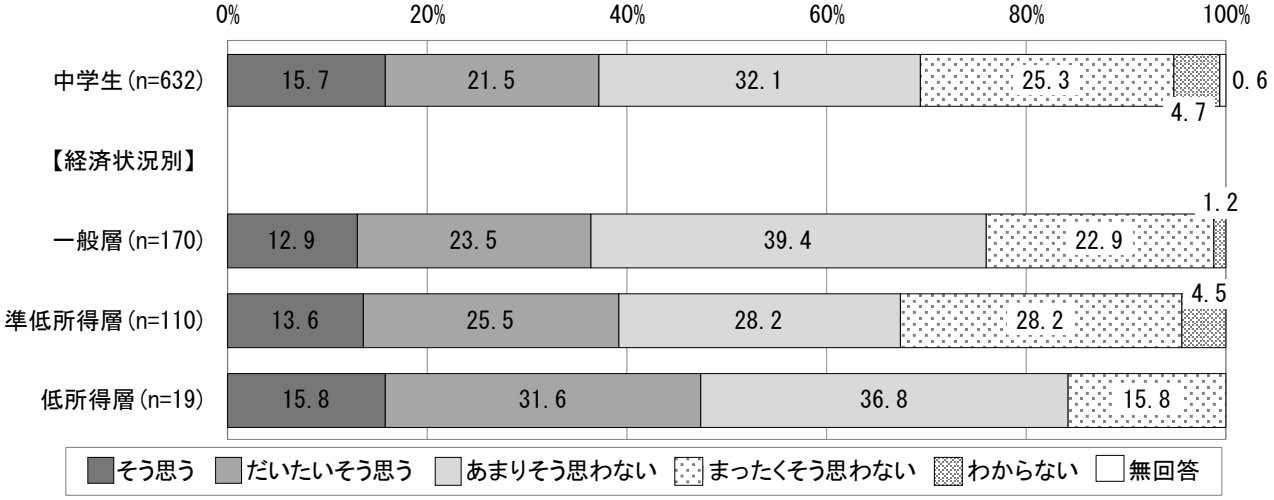
（ⅵ）心配ごとが多く、いつも不安に思っている

所得が低くなるにつれ、「心配ごとが多く、いつも不安に思っている」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）が高くなっている。



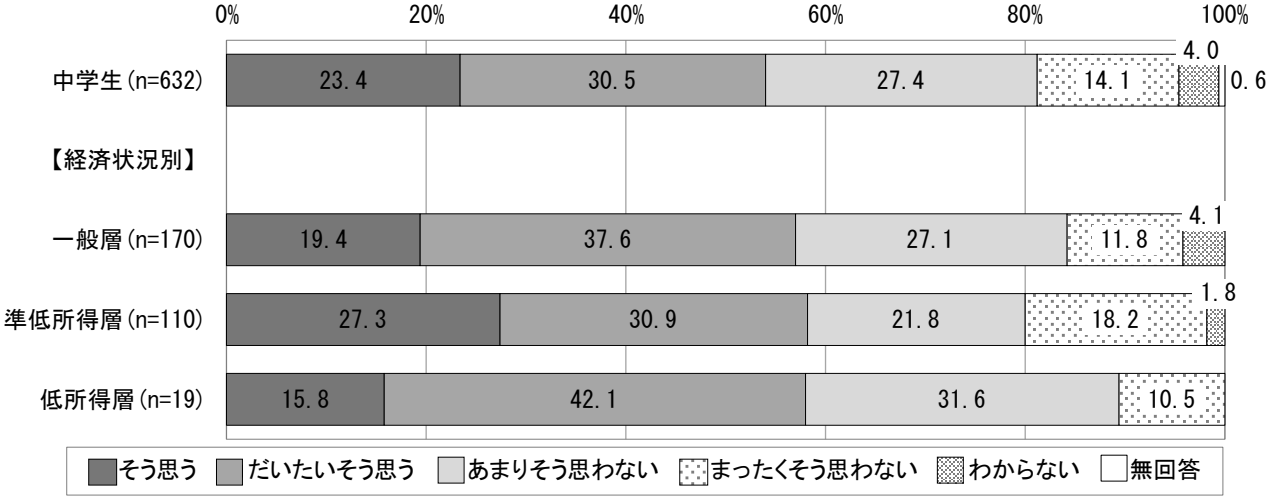
（vii）落ちこんで沈んだり、涙ぐんだりすることがよくある

所得が低くなるにつれ、「落ちこんで沈んだり、涙ぐんだりすることがよくある」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）が高くなっている。



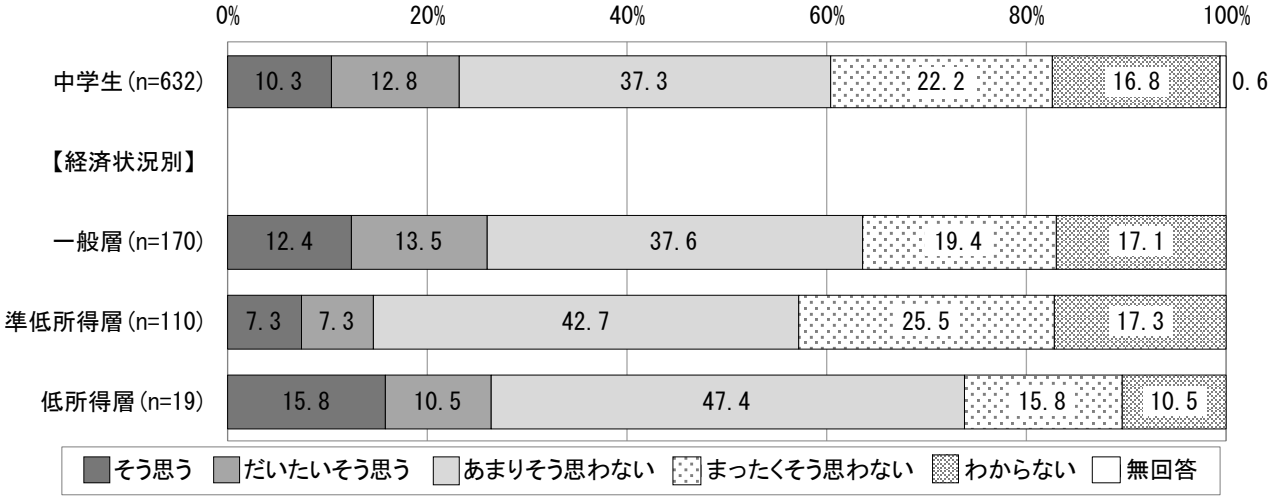
（viii）新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい

「新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい」割合については、準低所得層において「そう思う」割合が特に高くなっている。



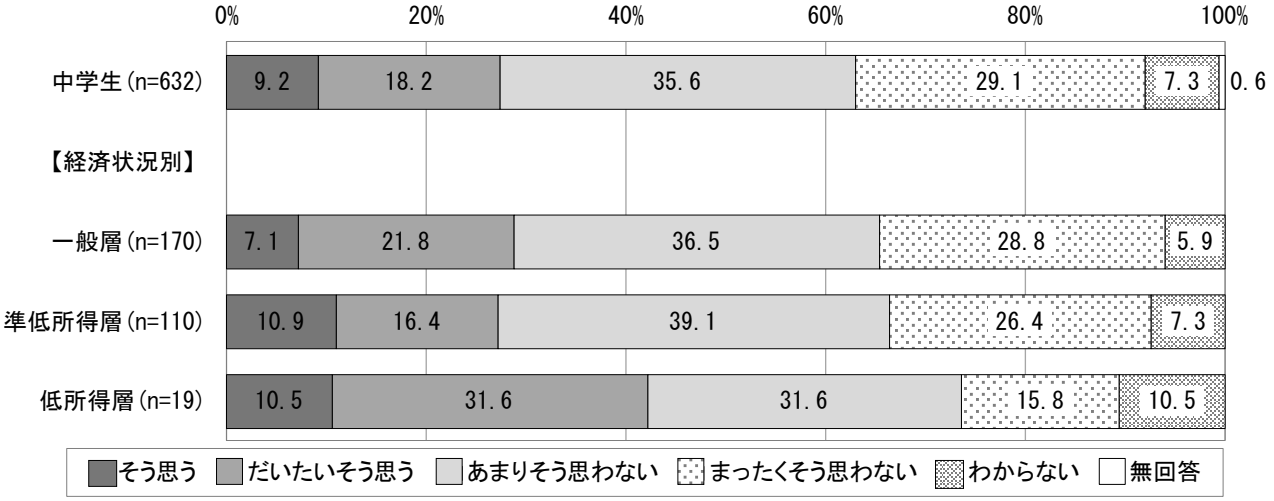
（ix）同年代の子どもたちより、大人といる方がうまくいく

「同年代の子どもたちより、大人といる方がうまくいく」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、準低所得層において 14.6％と最も低くなっている。



（ｘ）こわがりで、すぐにおびえたりする

「こわがりで、すぐにおびえたりする」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が 42.1％と最も高くなっている。

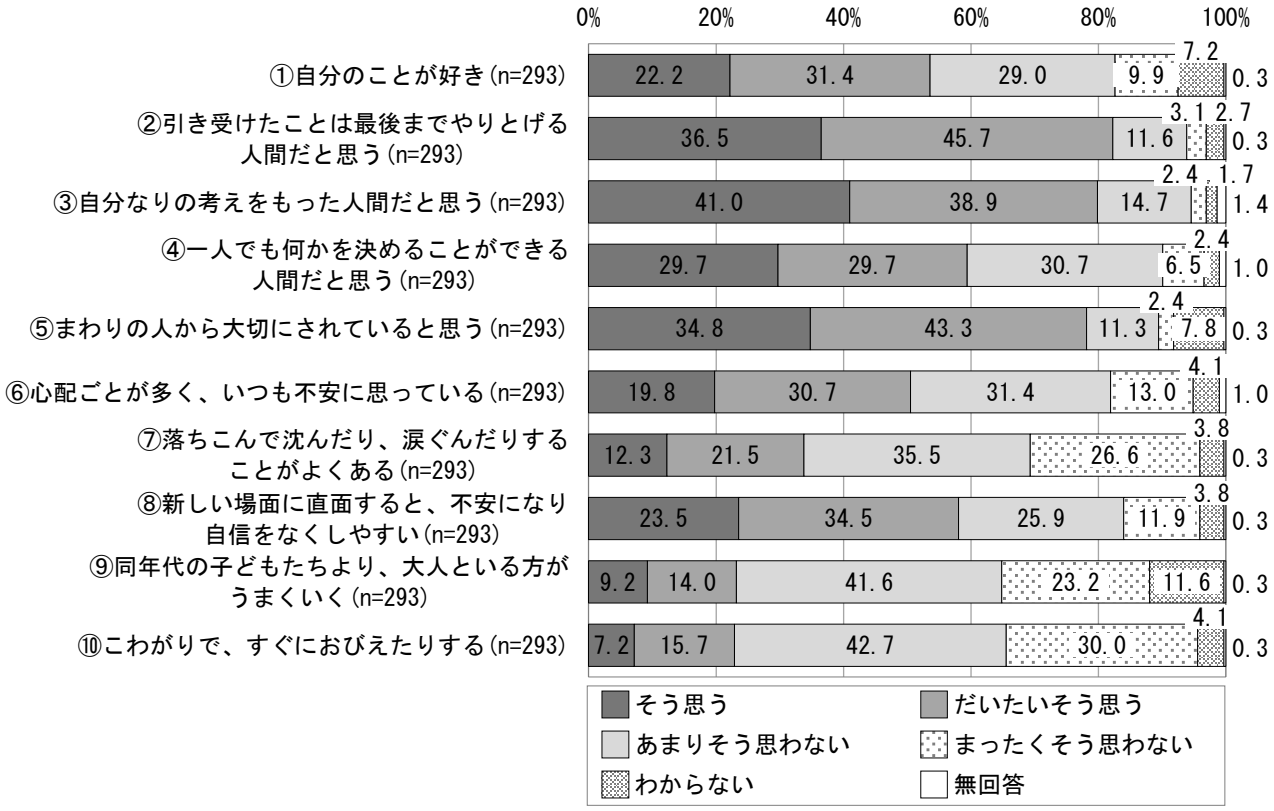


高校生

①全体

「自分のことが好き」と思う割合(「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計)が、53.6%となっている。

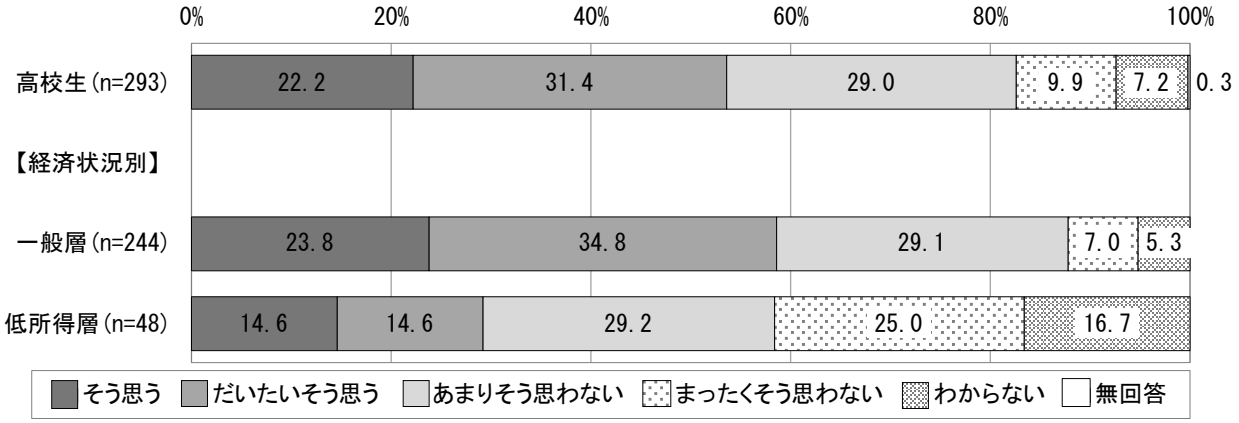
項目別で「そう思う」の割合をみると、「自分なりの考えをもった人間だと思う」が 41.0%と最も高くなっている。また、「まったくそう思わない」の割合をみると、「こわがりで、すぐにおびえたりする」が 30.0%と最も高くなっている。



②項目別

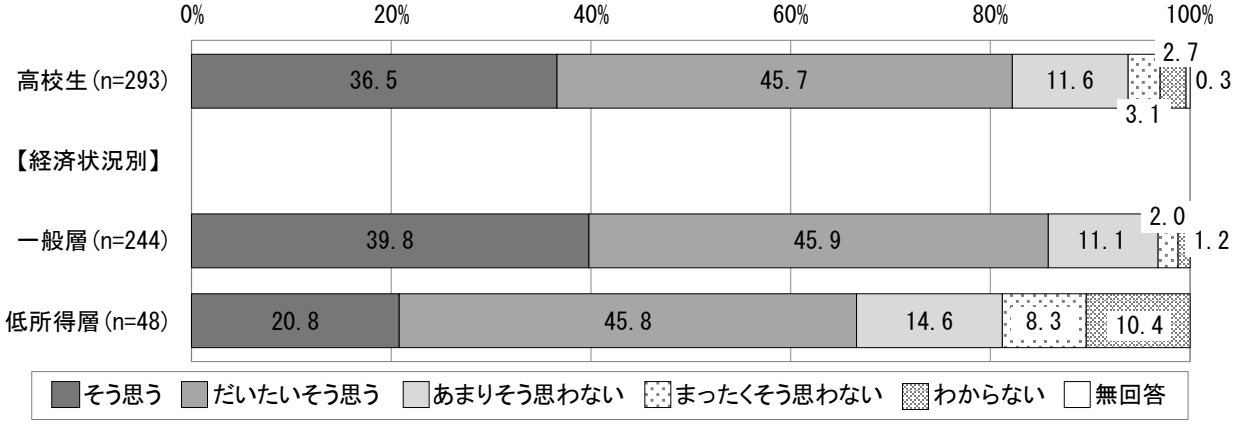
（ｉ）自分のことが好き

「自分のことが好き」だと思う割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が一般層に比べて低く、29.2％となっている。



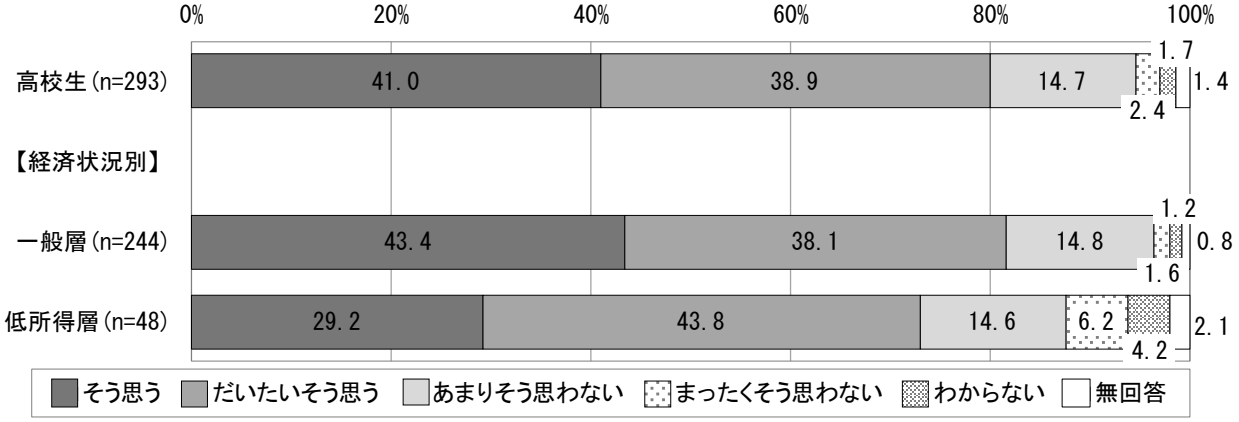
（ii）引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う

「引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が一般層に比べて低く、66.6％となっている。



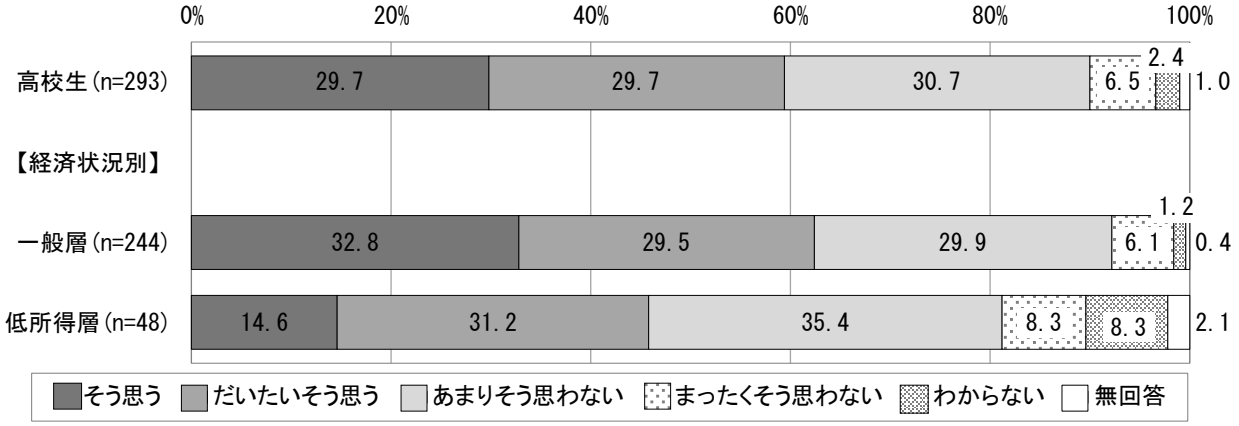
（ⅲ）自分なりの考えをもった人間だと思う

「自分なりの考えをもった人間だと思う」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が一般層に比べて低く、73.0％となっている。



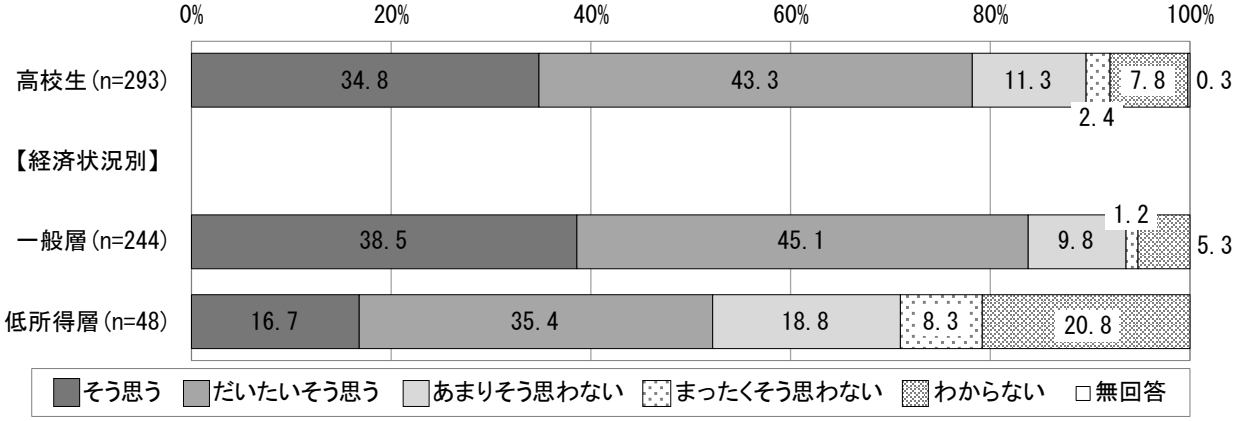
（ⅳ）一人でも何かを決めることができる人間だと思う

「一人でも何かを決めることができる人間だと思う」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が一般層に比べて低く、45.8％となっている。



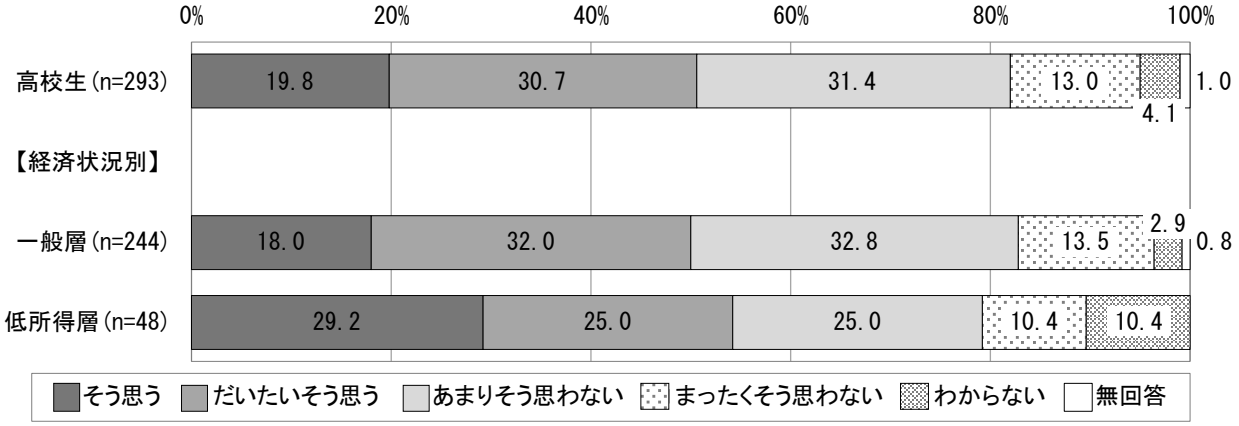
（ｖ）まわりの人から大切にされていると思う

「まわりの人から大切にされていると思う」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が一般層に比べて低く、52.1%となっている。



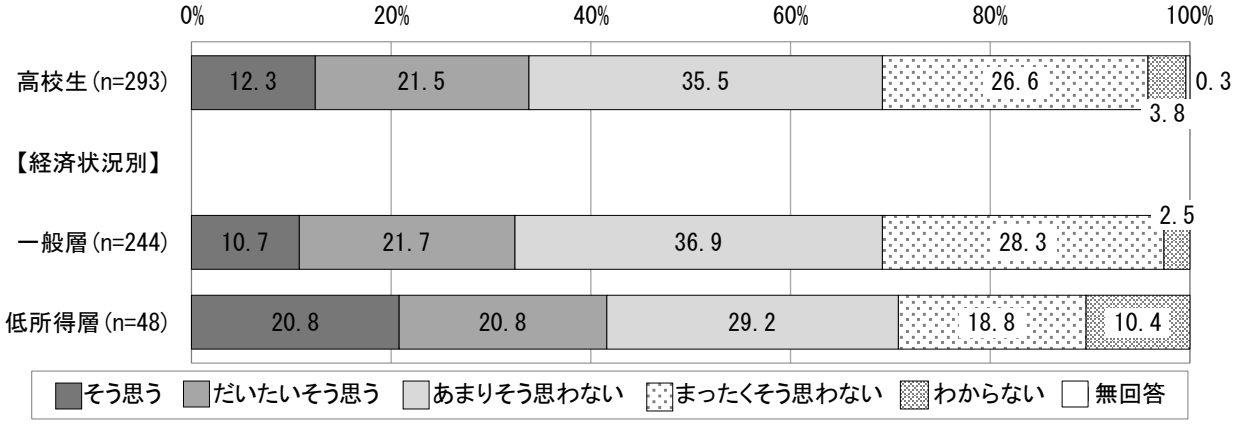
（ⅵ）心配ごとが多く、いつも不安に思っている

「心配ごとが多く、いつも不安に思っている」割合については、低所得層が一般層に比べて「そう思う」割合が高く、29.2%となっている。



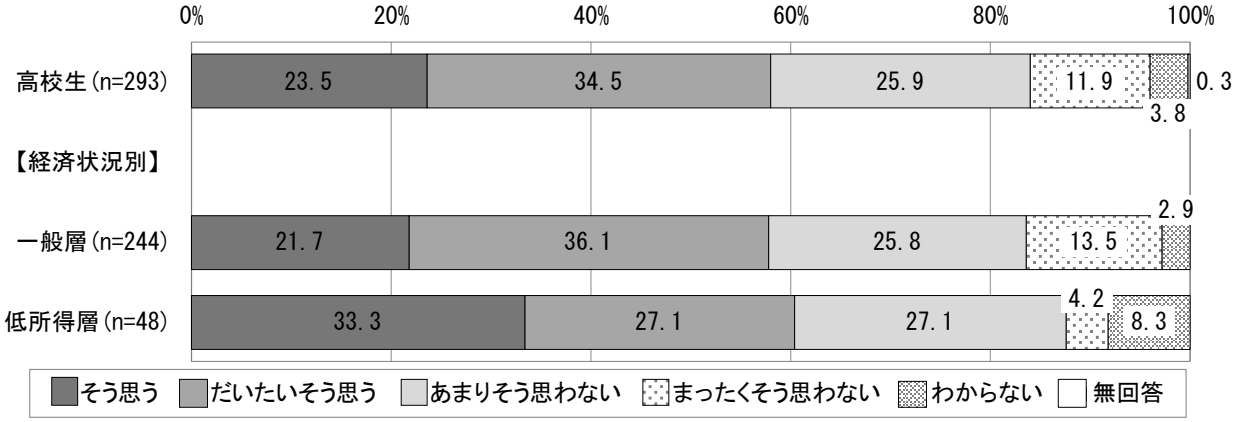
（vii）落ちこんで沈んだり、涙ぐんだりすることがよくある

「落ちこんで沈んだり、涙ぐんだりすることがよくある」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が一般層に比べて高く、41.6％となっている。



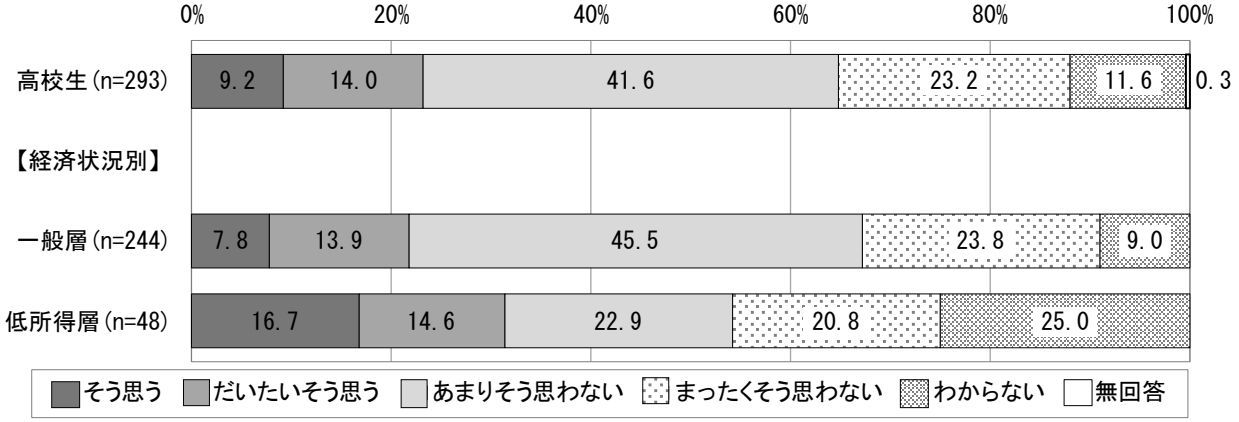
（viii）新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい

「新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい」割合については、低所得層が一般層に比べて「そう思う」割合が高く、33.3％となっている。



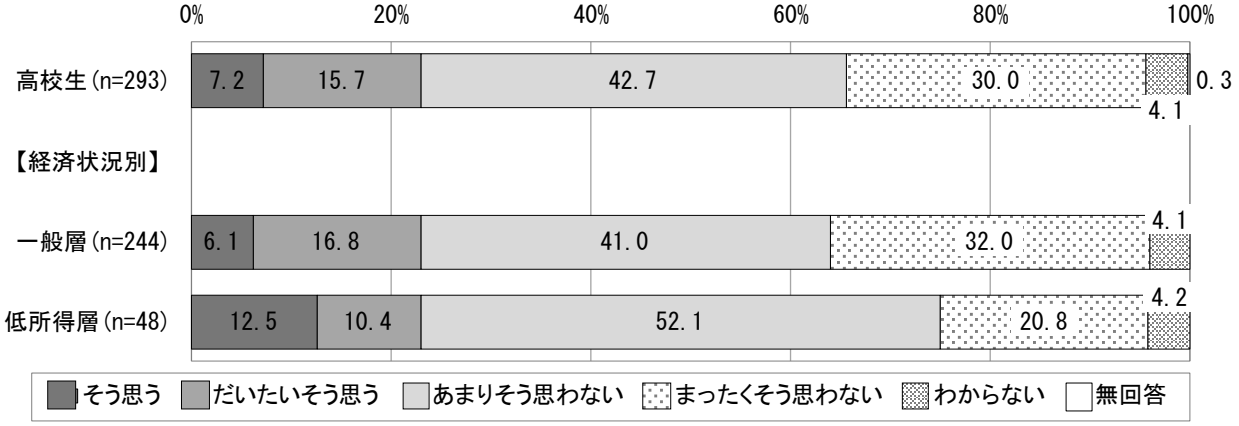
（ix）同年代の子どもたちより、大人といる方がうまくいく

「同年代の子どもたちより、大人といる方がうまくいく」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が一般層に比べて高く、31.3％となっている。



（ｘ）こわがりで、すぐにおびえたりする

「こわがりで、すぐにおびえたりする」割合については、低所得層が一般層に比べて「そう思う」割合が高く、12.5％となっている。

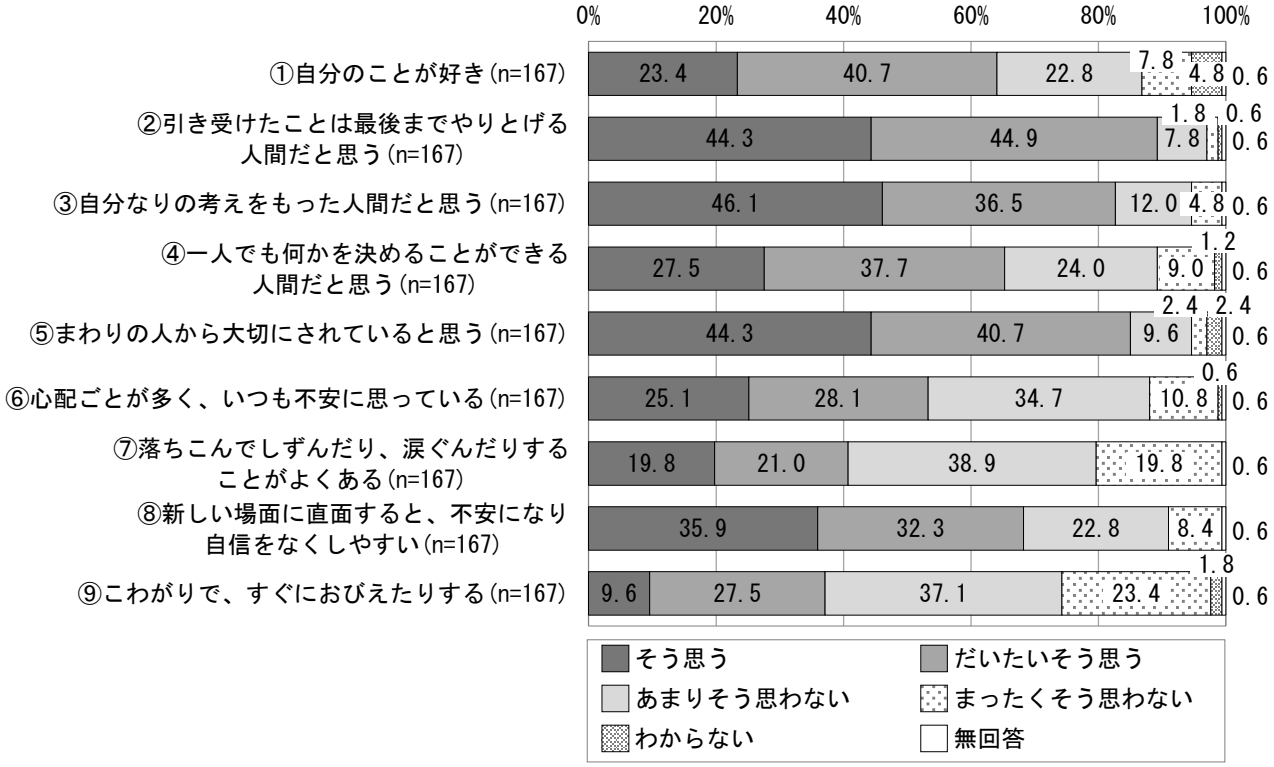


若者

①全体

「自分のことが好き」と思う割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）が、64.1%となっている。

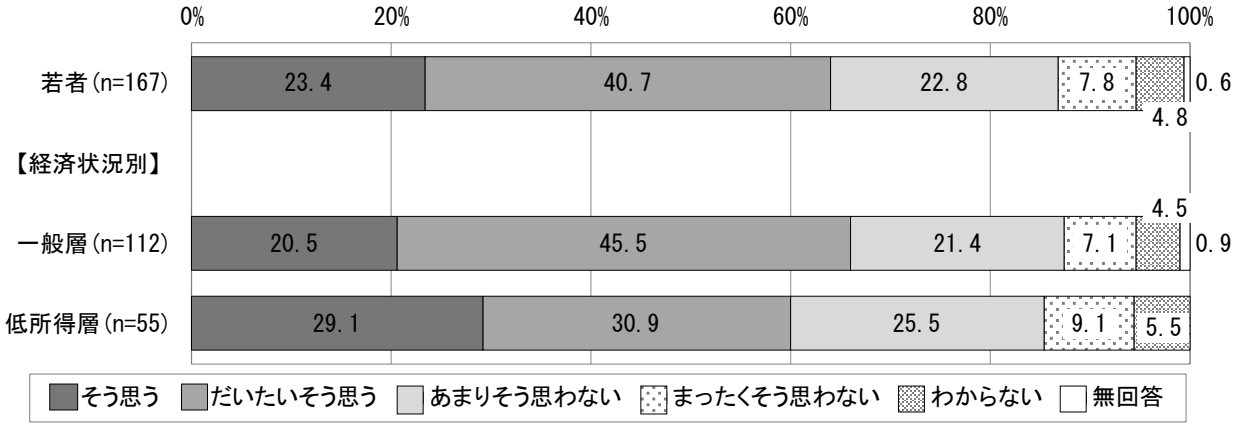
項目別で「そう思う」の割合をみると、「自分なりの考えをもった人間だと思う」が 46.1%と最も高くなっている。また、「まったくそう思わない」の割合をみると、「こわがりで、すぐにおびえたりする」が 23.4%と最も高くなっている。



②項目別

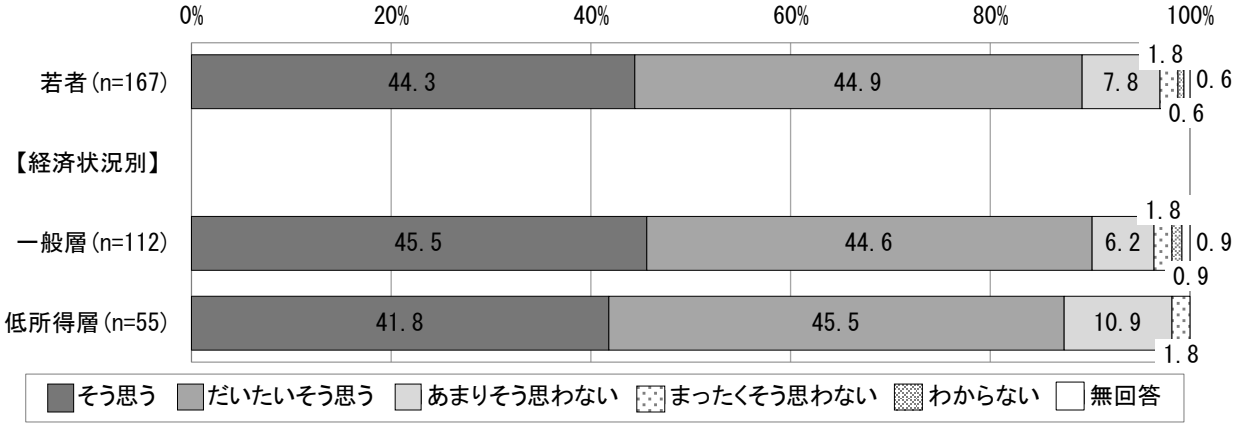
（ｉ）自分のことが好き

「自分のことが好き」だと思う割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が一般層に比べて低く、60.0％となっている。



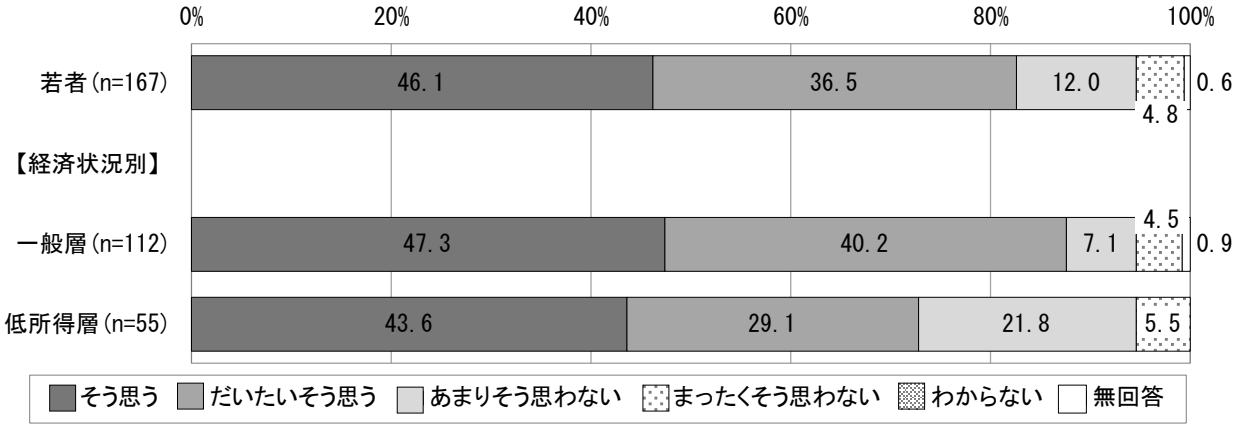
（ii）引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う

「引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が一般層に比べて低く、87.3％となっている。



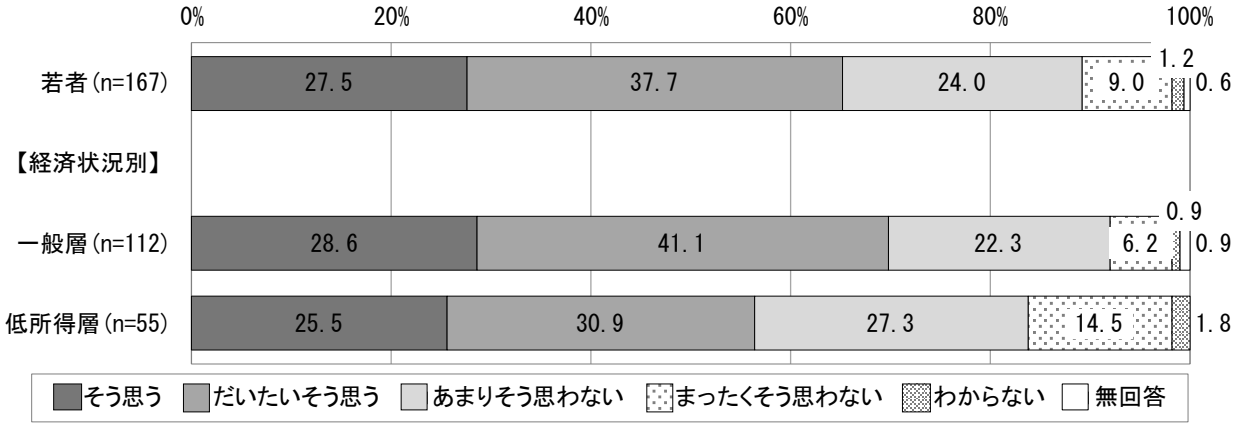
（ⅲ）自分なりの考えをもった人間だと思う

「自分なりの考えをもった人間だと思う」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が一般層に比べて低く、72.7％となっている。



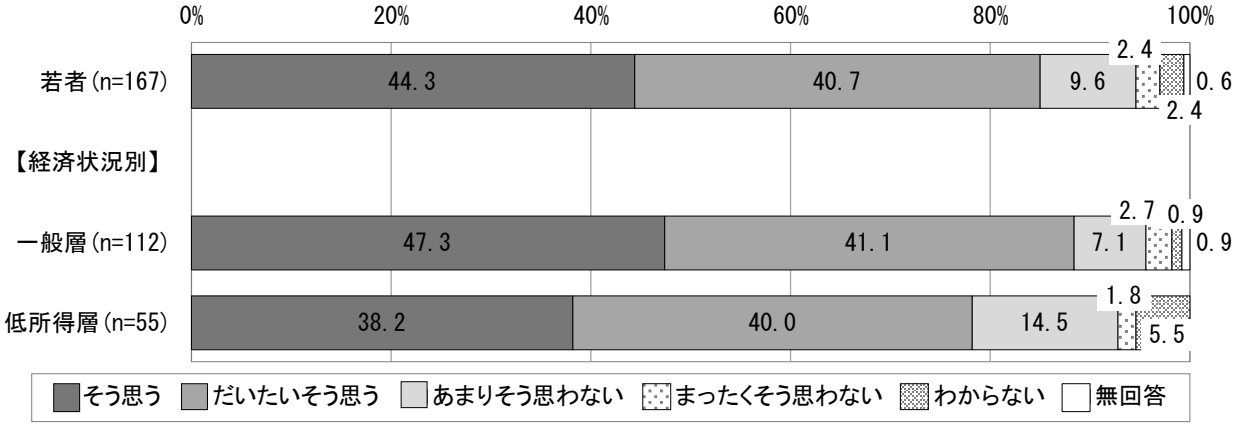
（ⅳ）一人でも何かを決めることができる人間だと思う

「一人でも何かを決めることができる人間だと思う」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が一般層に比べて低く、56.4％となっている。



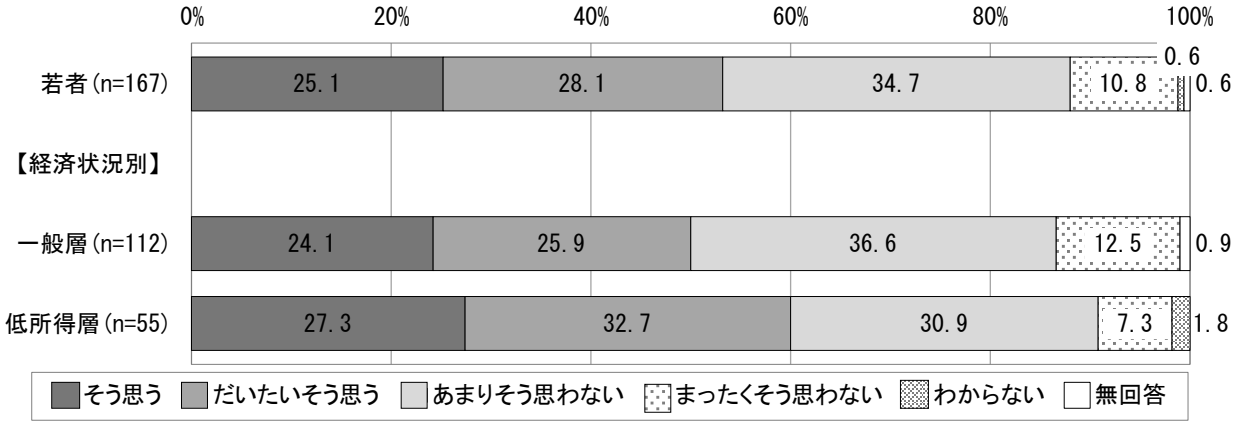
（ｖ）まわりの人から大切にされていると思う

「まわりの人から大切にされていると思う」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が一般層に比べて低く、78.2%となっている。



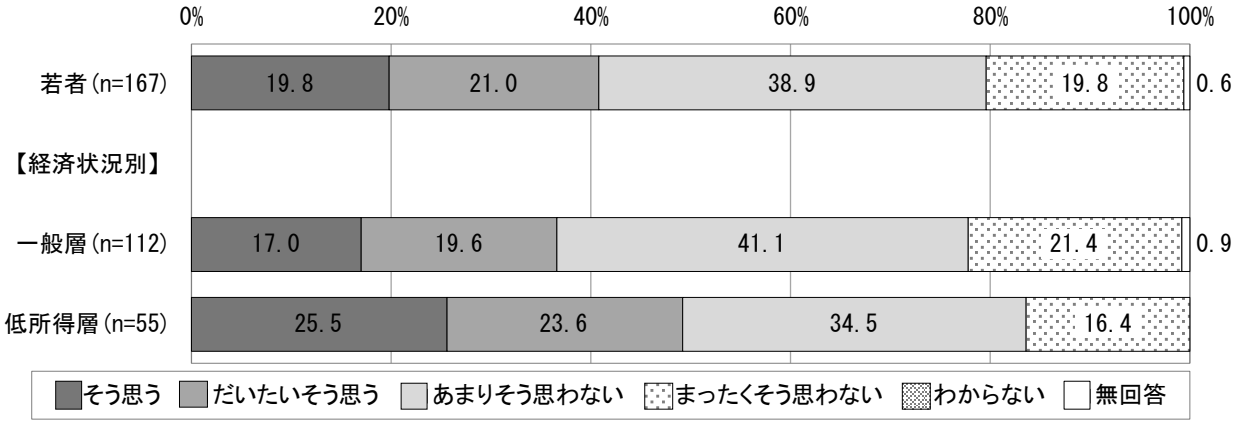
（ⅵ）心配ごとが多く、いつも不安に思っている

「心配ごとが多く、いつも不安に思っている」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が一般層に比べて高く、60.0%となっている。



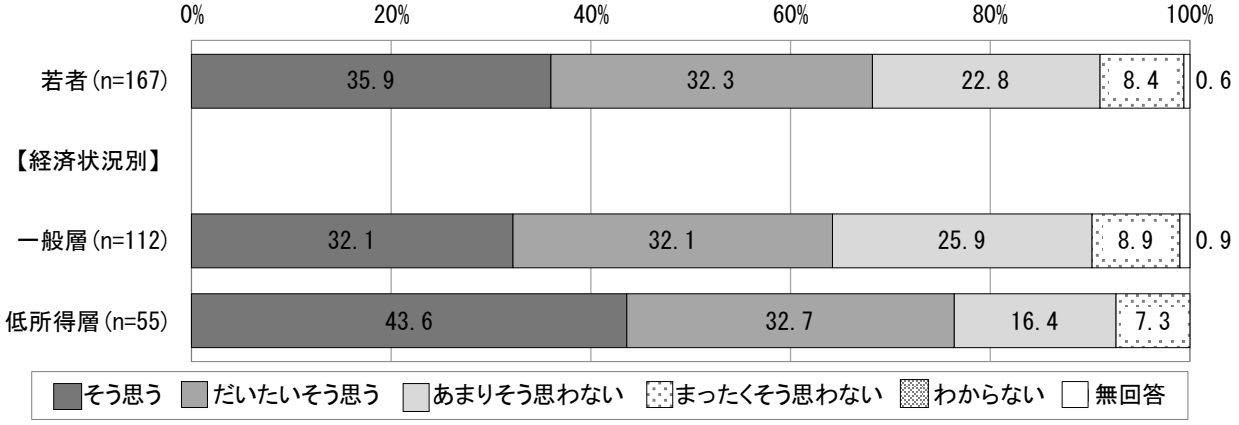
（vii）落ちこんでしずんだり、涙ぐんだりすることがよくある

「落ちこんでしずんだり、涙ぐんだりすることがよくある」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が一般層に比べて高く、49.1%となっている。



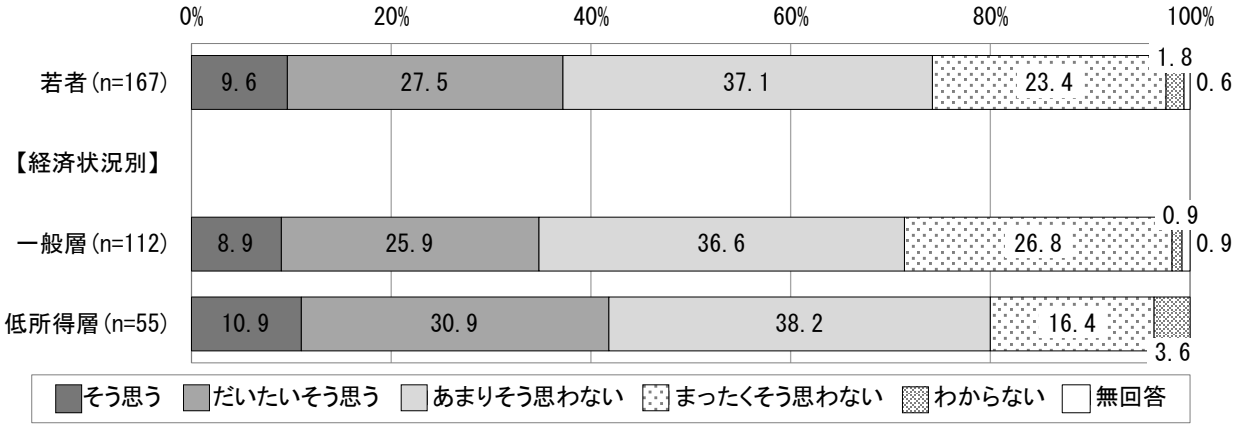
（viii）新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい

「新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が一般層に比べて高く、76.3%となっている。



（ix）こわがりで、すぐにおびえたりする

「こわがりで、すぐにおびえたりする」割合（「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計）については、低所得層が一般層に比べて高く、41.8％となっている。

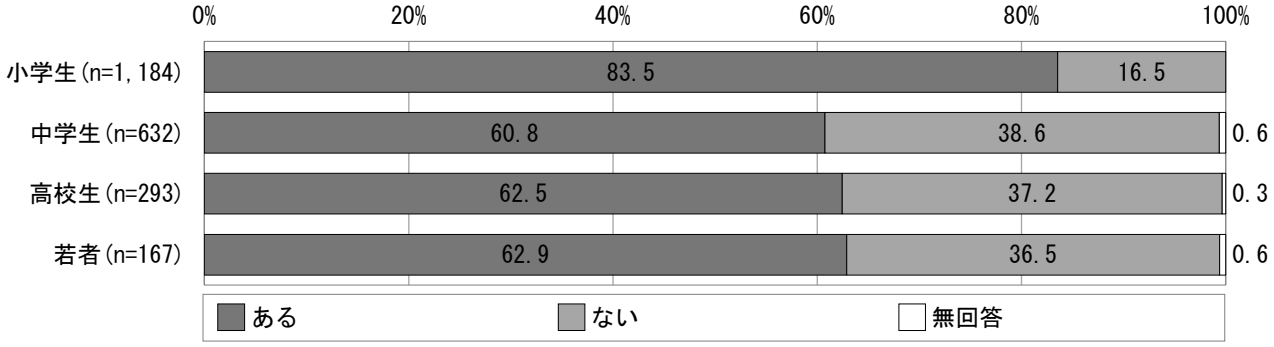


(2)将来の夢

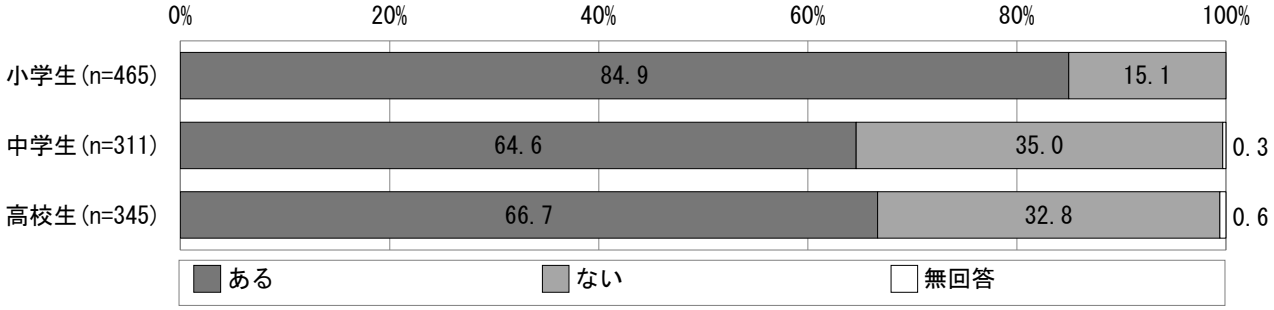
小学生 問14 、中学生 問14 、高校生 問14 、若者 問15
あなたは、将来の夢がありますか。(単数回答)

「ある」の割合をみると、小学生が 83.5%と最も高くなっている。経年比較では、前回調査と大きな違いはみられない。

＜今回(R5)調査＞

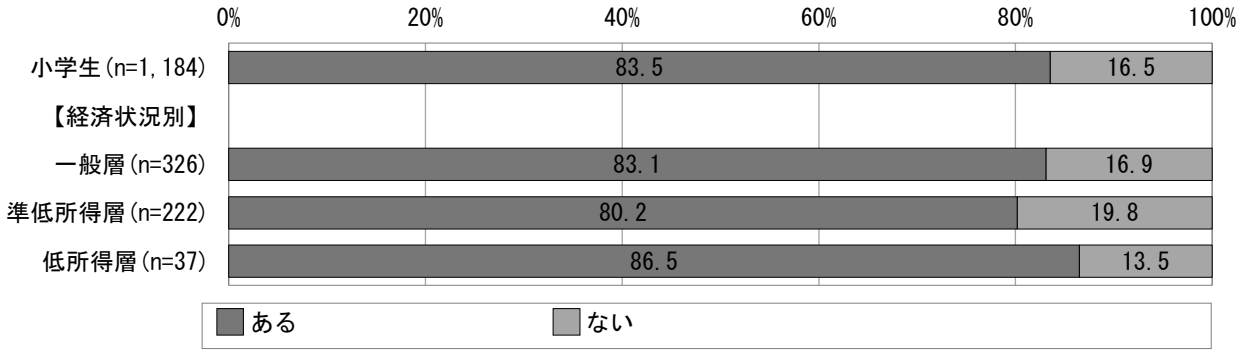


＜前回(H30)調査＞



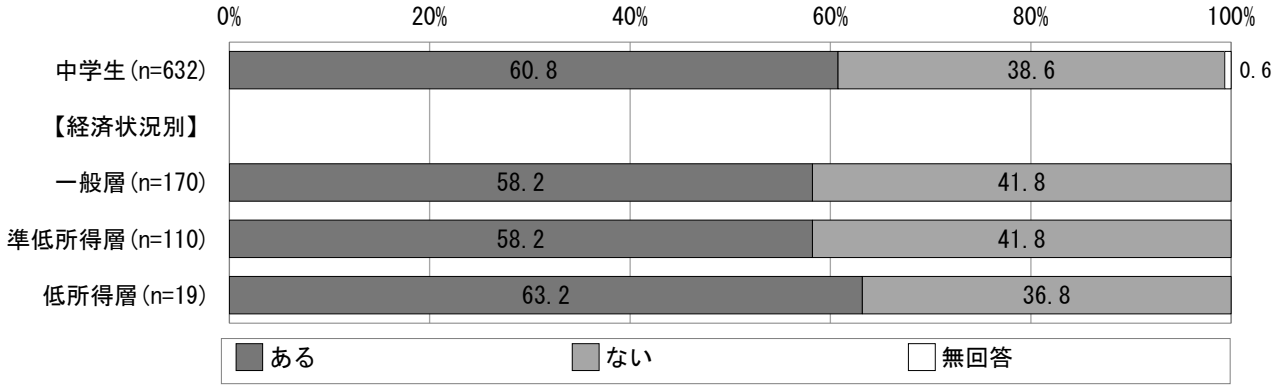
小学生

「ある」が 83.5%となっている。



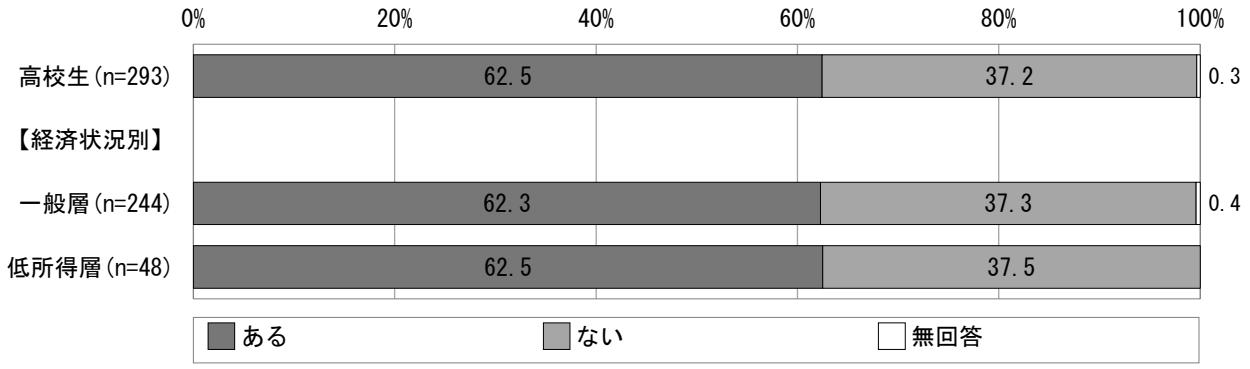
中学生

「ある」が 60.8%となっている。小学生よりも「ある」の割合は低くなっている。



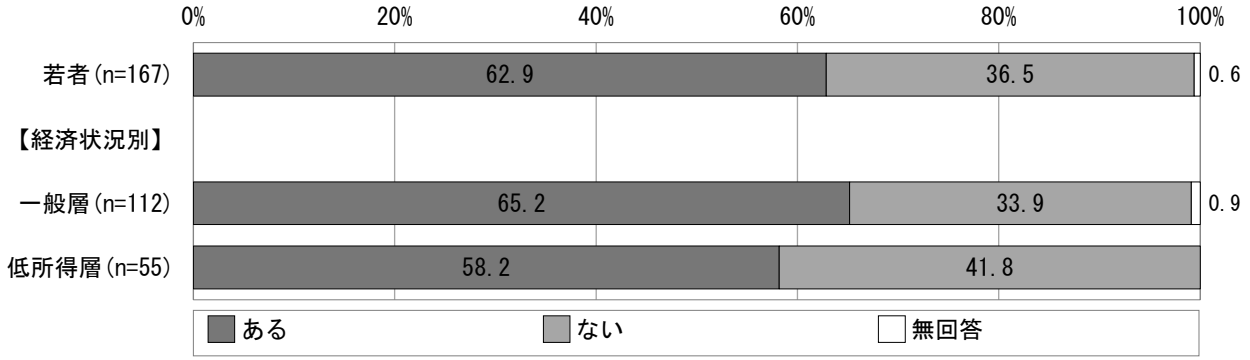
高校生

「ある」が 62.5%となっている。



若者

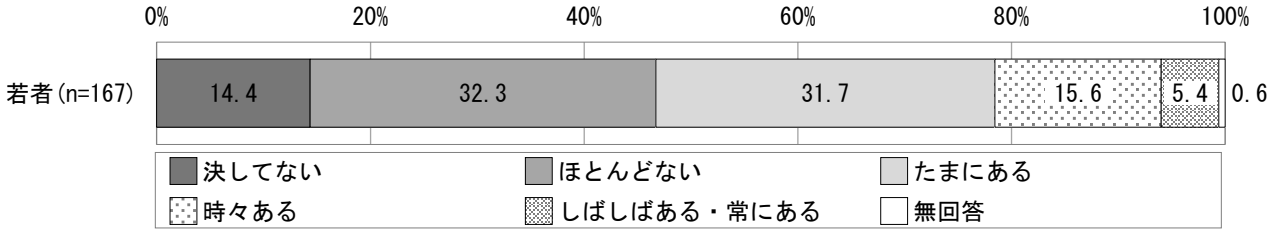
「ある」が 62.9%となっている。



(3)孤独を感じること

若者 問12
あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(単数回答)

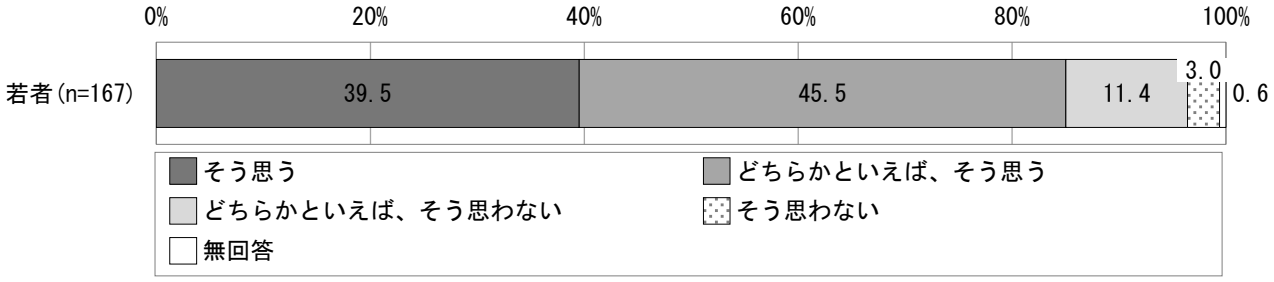
「ほとんどない」が32.3%と最も高く、「たまにある」が31.7%、「時々ある」が15.6%と続いている。



(4)社会貢献への意識

若者 問14
あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(単数回答)

社会貢献をしたいと思う割合(「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計)は、85.0%となっている。



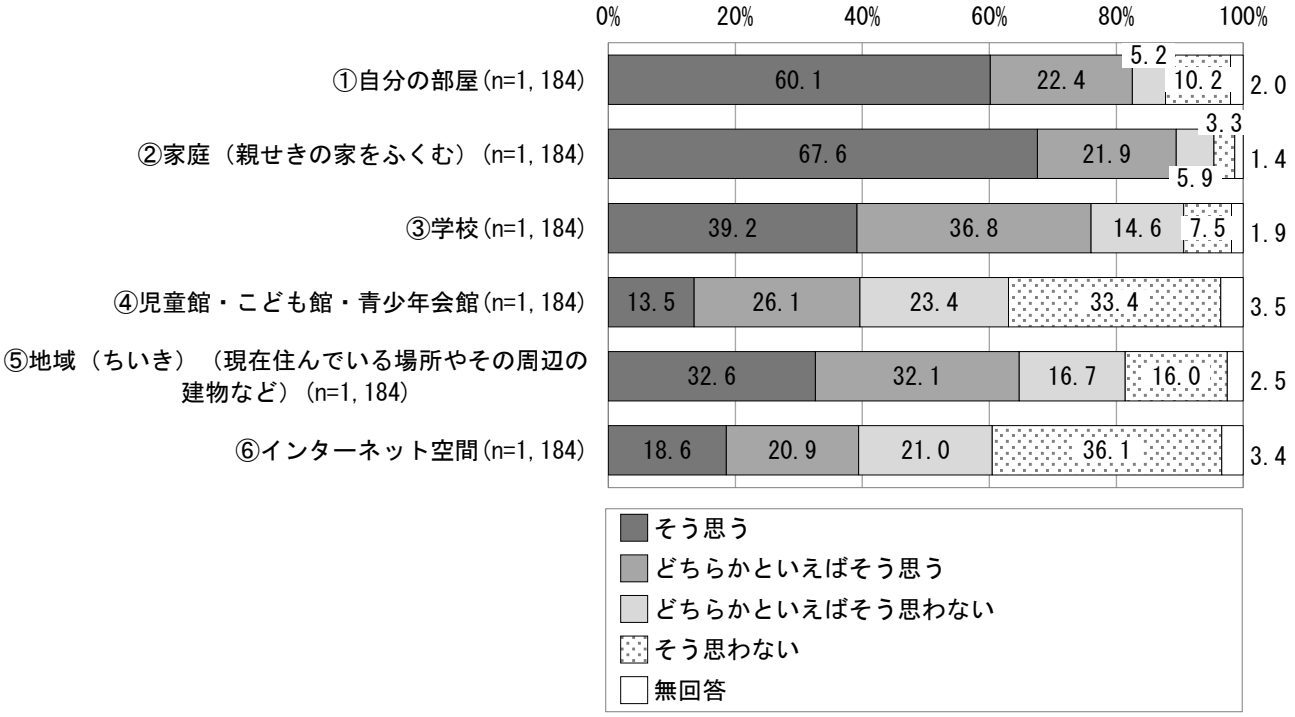
(5)安心できる居場所

小学生 問16 、中学生 問16 、高校生 問16 、若者 問11
次の場所は、今のあなたにとっての居場所（ほっとできる場所、居心地のいい場所など）になっていますか。次の①から⑥のそれぞれの項目について答えてください。（単数回答）

小学生

①全体

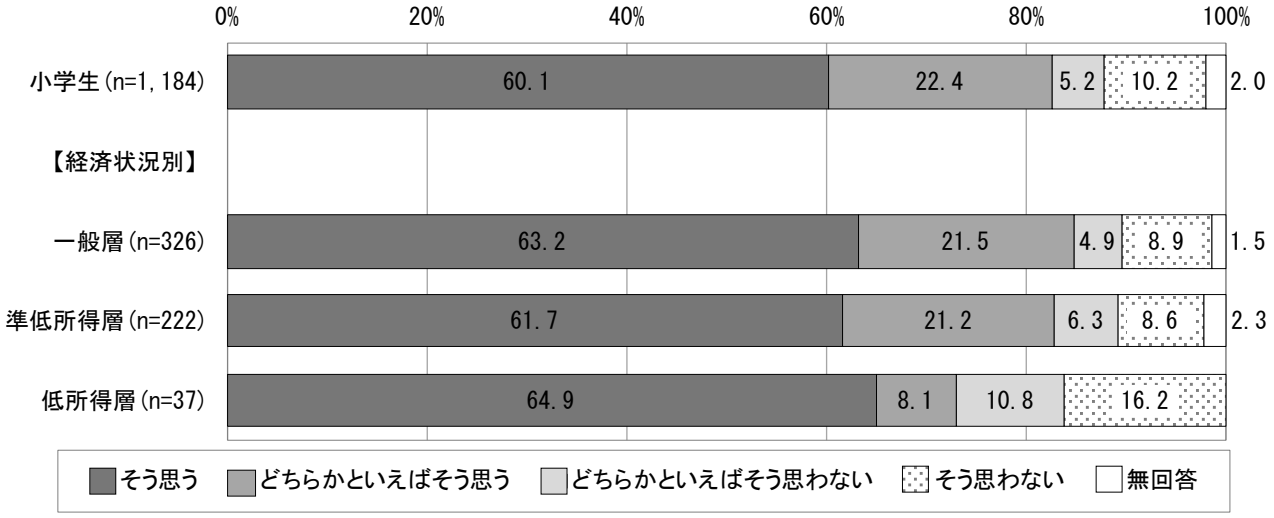
項目別で「そう思う」の割合をみると、「家庭（親せきの家をふくむ）」が 67.6%と最も高くなっている。また、「そう思わない」の割合をみると、「インターネット空間」が 36.1%と最も高くなっている。



②項目別

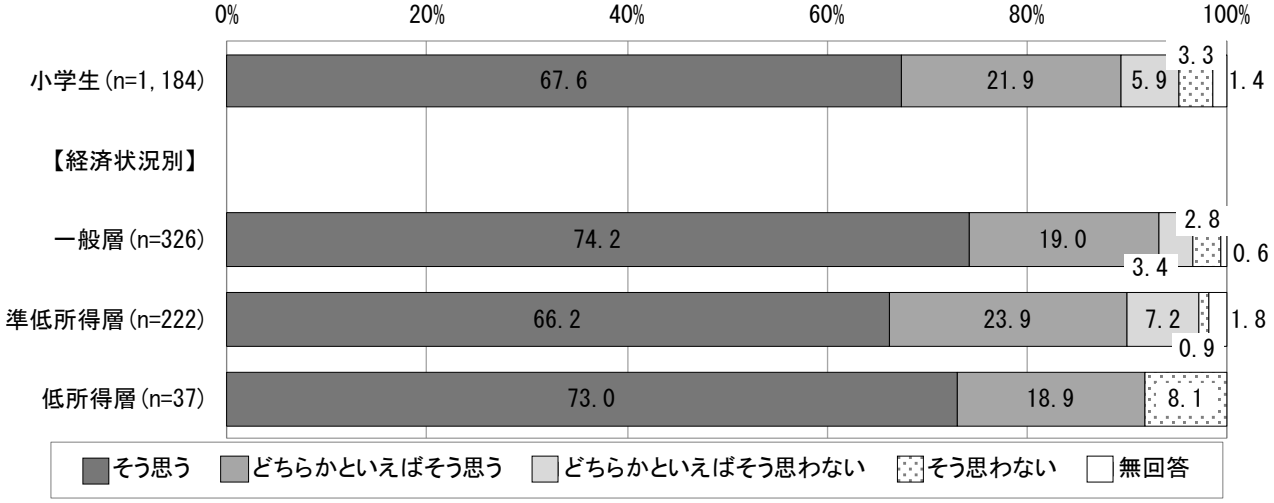
（ｉ）自分の部屋

一般層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、準低所得層・低所得層に比べて高く、84.7%となっている。



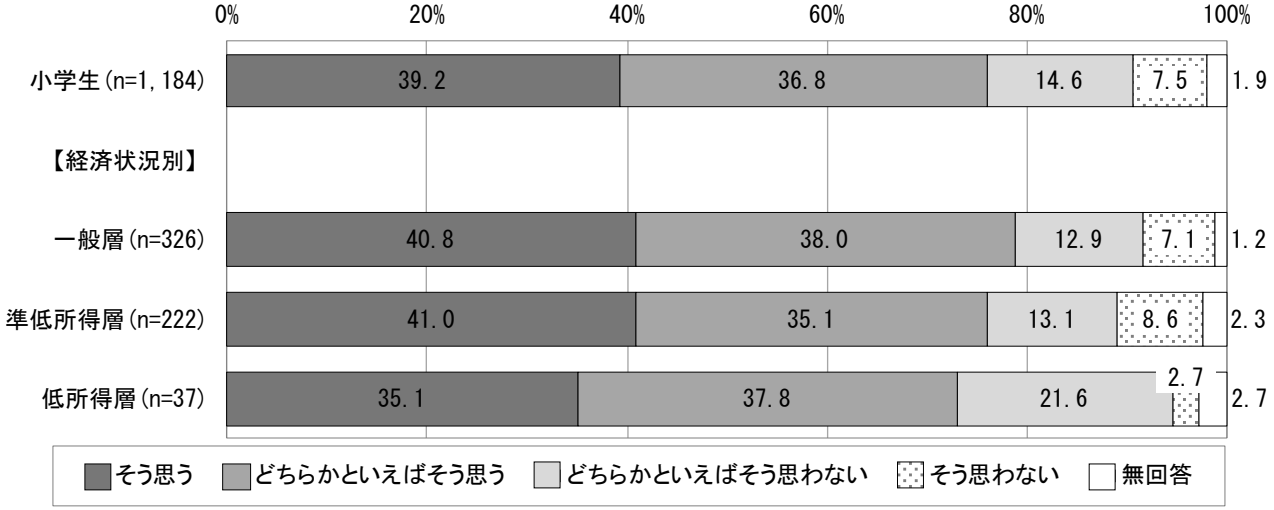
（ii）家庭

準低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層・低所得層に比べて低く、90.1%となっている。



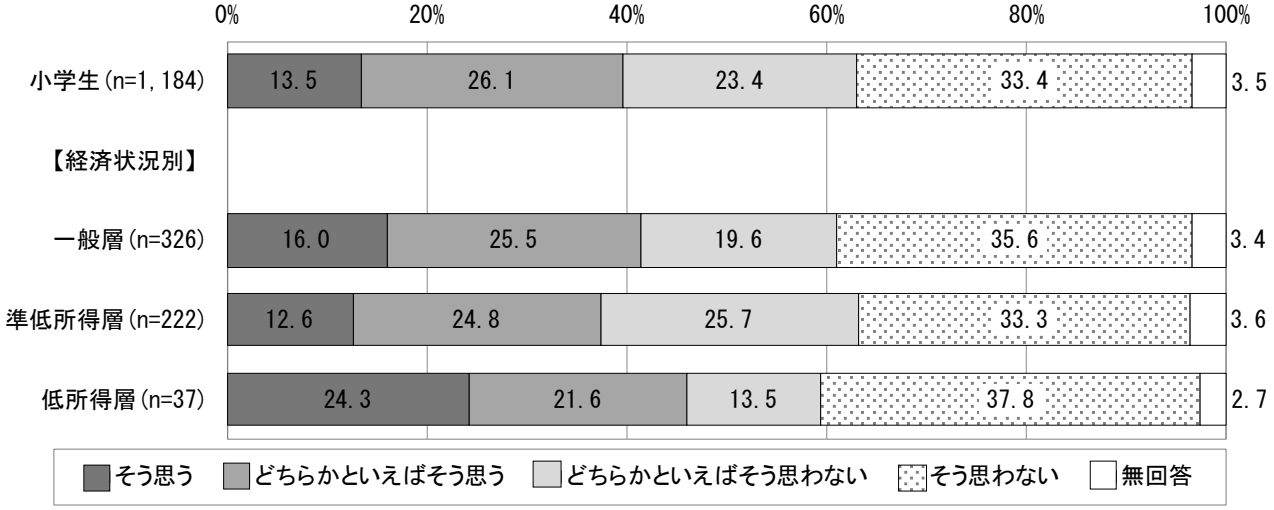
（iii）学校

所得が低くなるにつれ、安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が低くなっている。



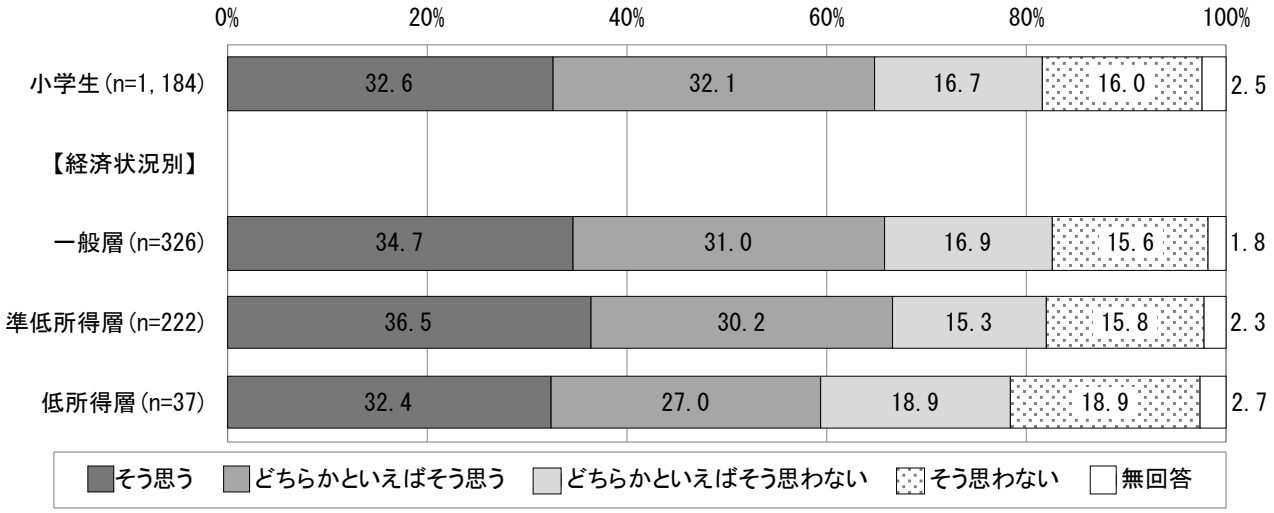
（iv）児童館・こども館・青少年会館

低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層・準低所得層に比べて高く、45.9％となっている。



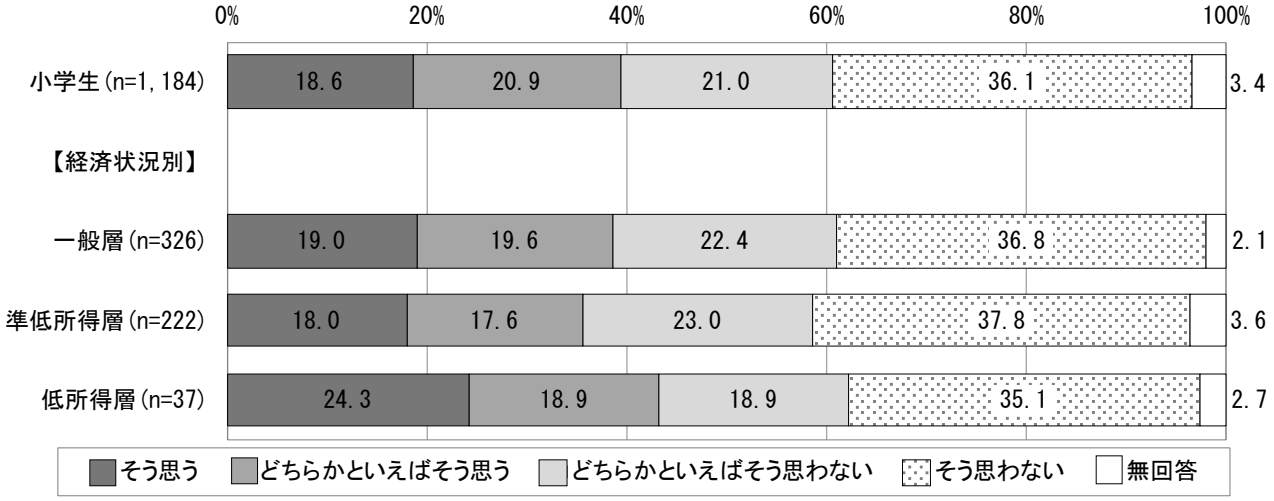
（ｖ）地域

低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層・準低所得層に比べて低く、59.4％となっている。



（vi）インターネット空間

低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層・準低所得層に比べて高く、43.2％となっている。

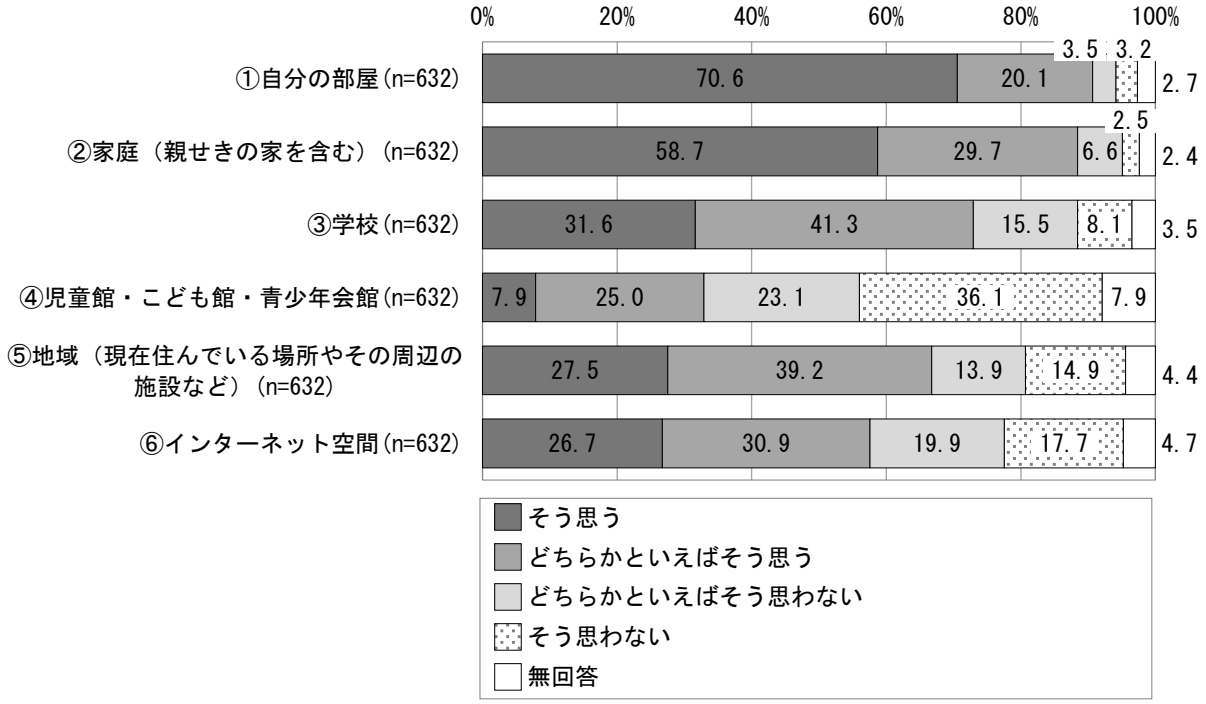


中学生

①全体

項目別で「そう思う」の割合をみると、「自分の部屋」が 70.6%と最も高くなっている。また、「そう思わない」の割合をみると、「児童館・こども館・青少年会館」が 36.1%と最も高くなっている。

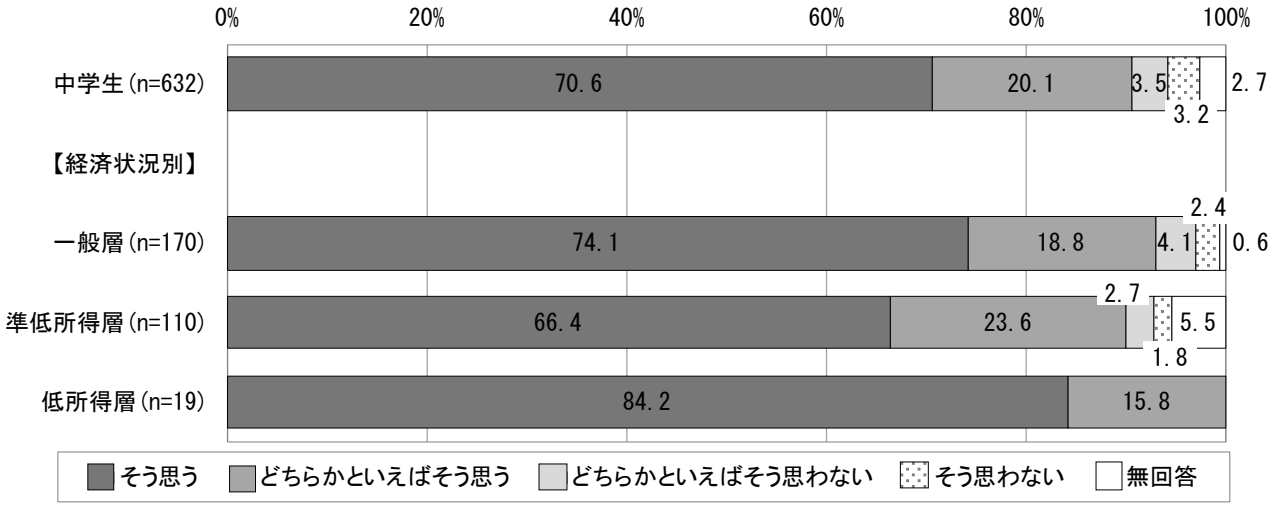
「インターネット空間」を「そう思う」割合は26.7%となっており、小学生と比べて増加している。



②項目別

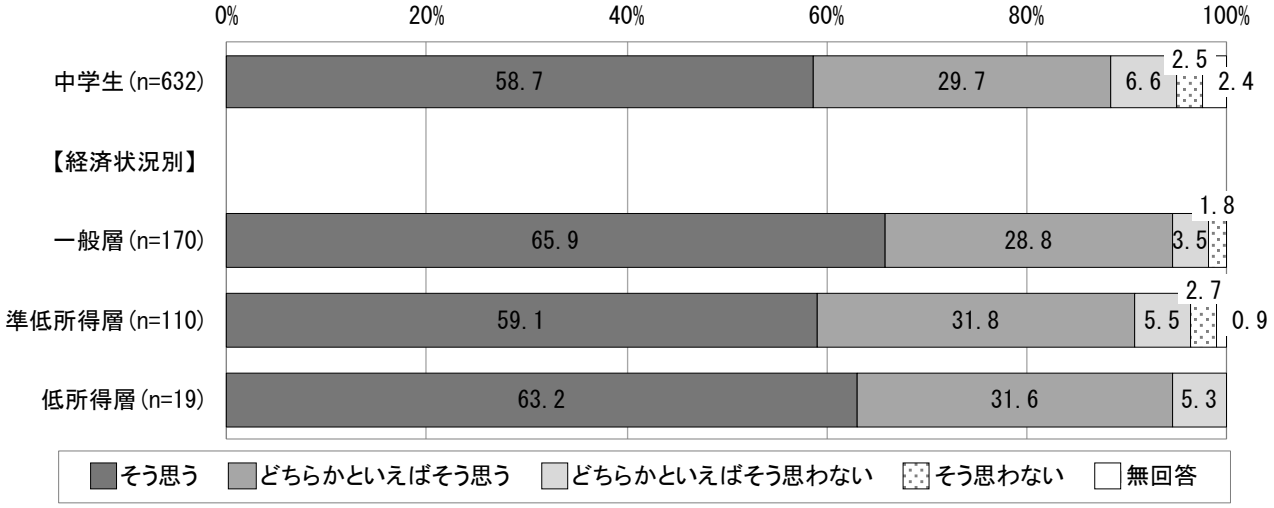
（ｉ）自分の部屋

準低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層・低所得層に比べて低く、90.0%となっている。



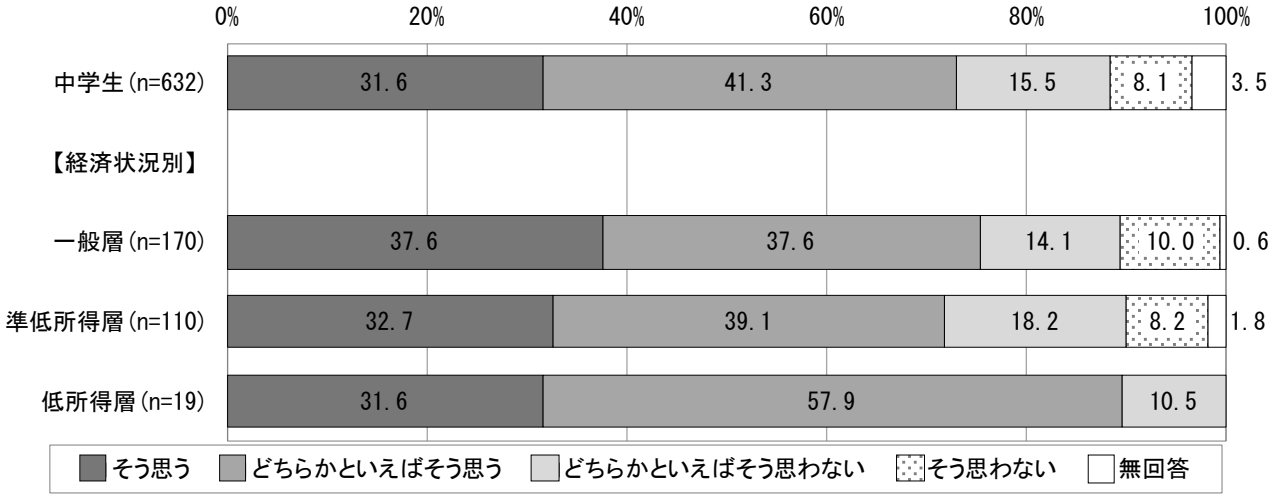
（ii）家庭

準低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層・低所得層に比べて低く、90.9%となっている。



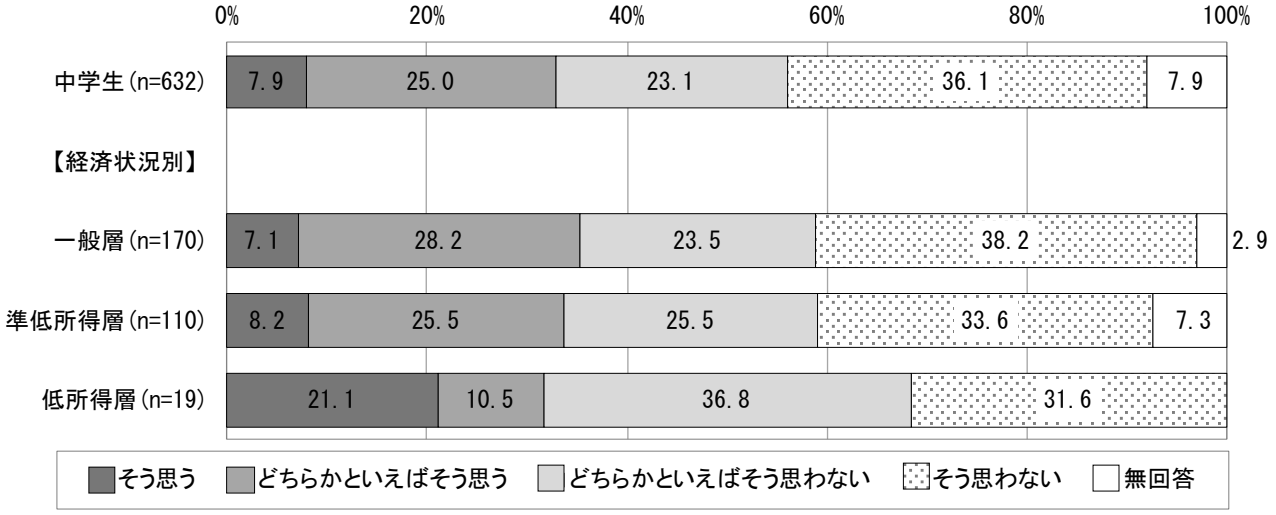
（ⅲ）学校

低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層・準低所得層に比べて高く、89.5％となっている。



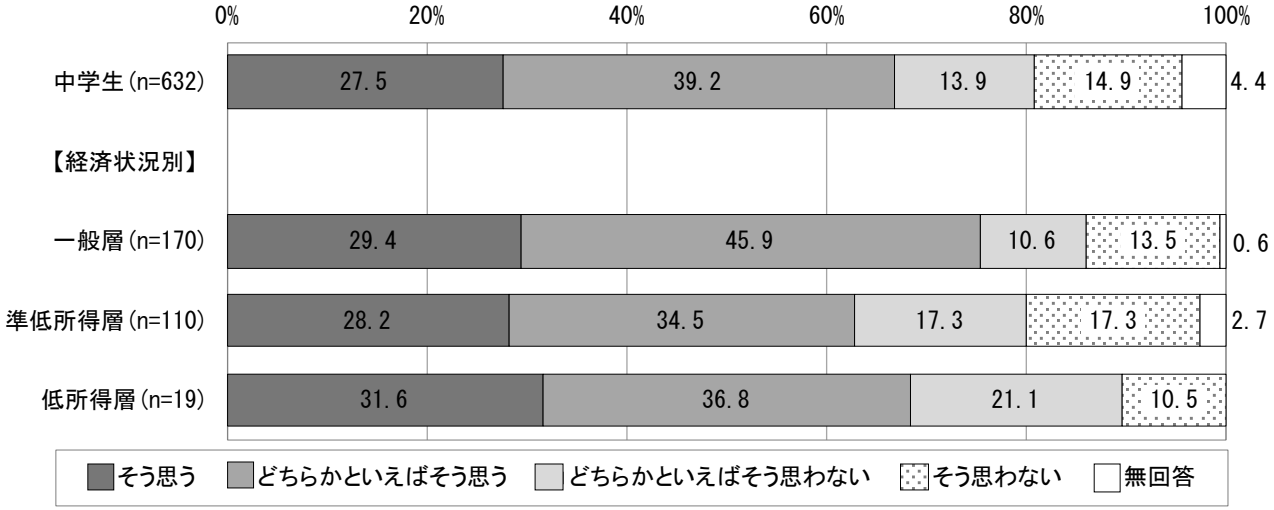
（ⅳ）児童館・こども館・青少年会館

所得が低くなるにつれ、安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が低くなっている。低所得層において「そう思う」割合が特に高くなっている。



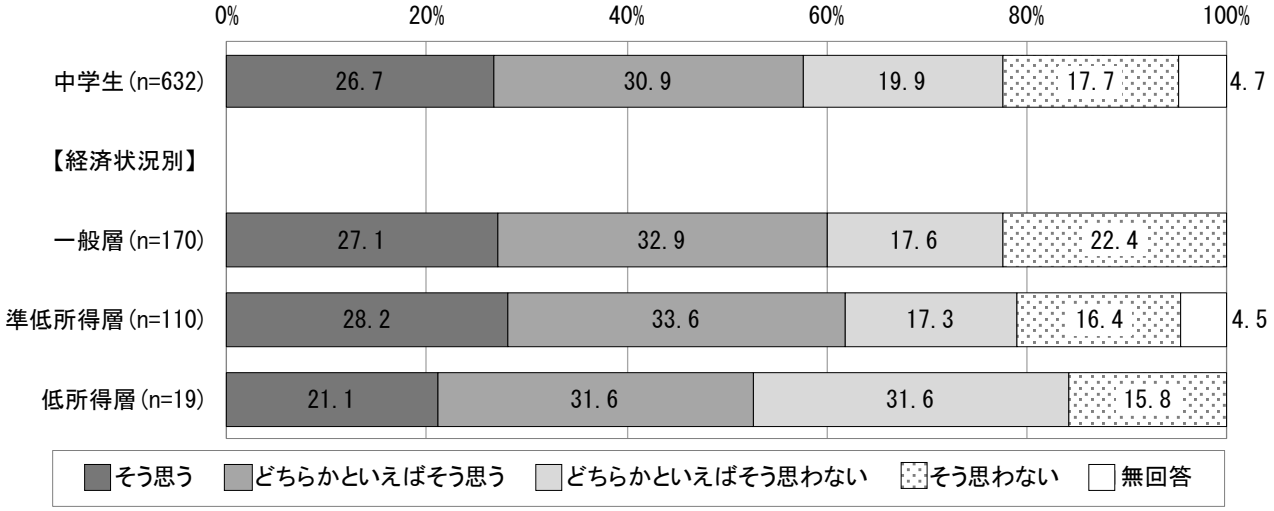
（ｖ）地域

一般層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、準低所得層・低所得層に比べて高く、75.3％となっている。



（vi）インターネット空間

低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層・準低所得層に比べて低く、52.7％となっている。

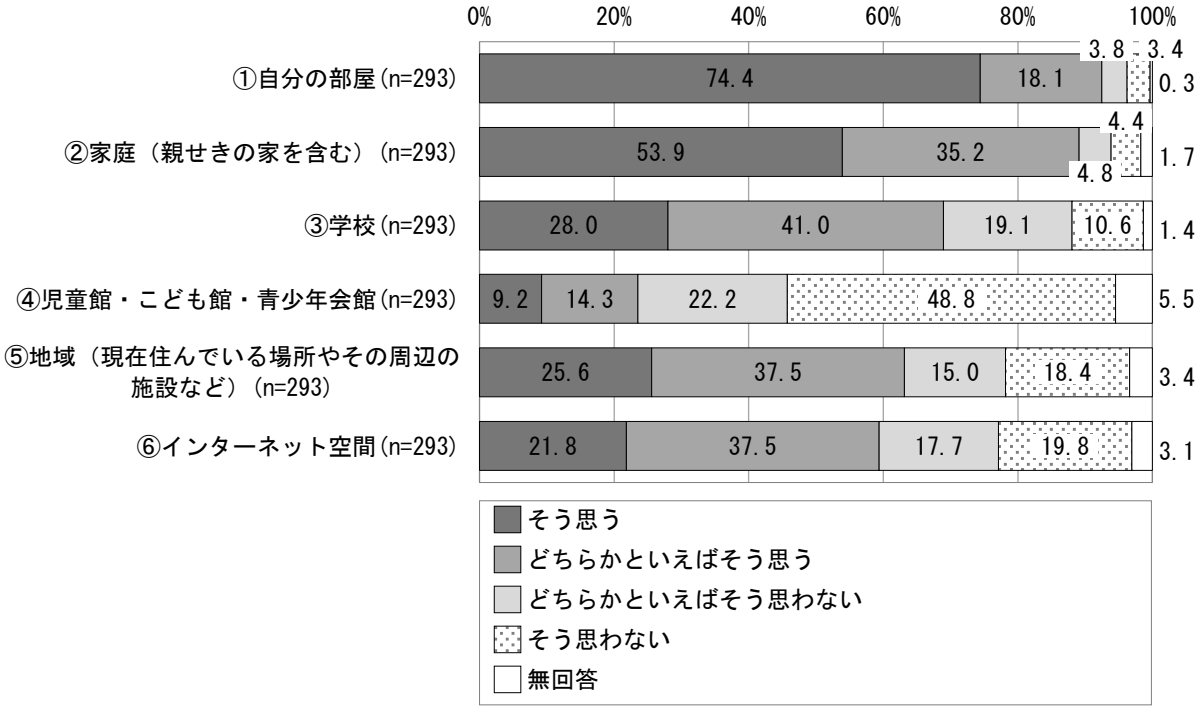


高校生

①全体

項目別で「そう思う」の割合をみると、「自分の部屋」が 74.4%と最も高くなっている。また、「そう思わない」の割合をみると、「児童館・こども館・青少年会館」が 48.8%と最も高くなっている。

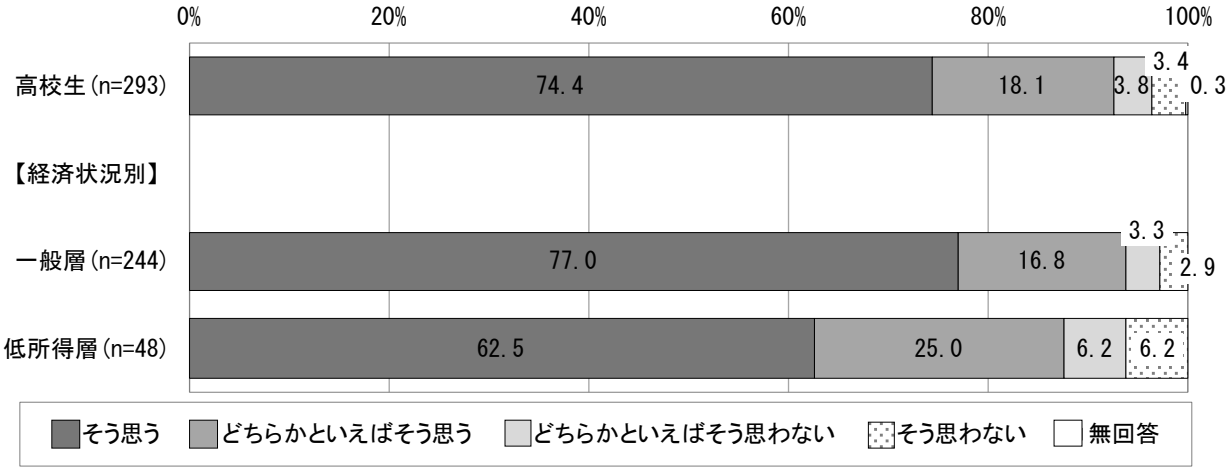
「インターネット空間」を「そう思う」割合は 21.8%となっている。



②項目別

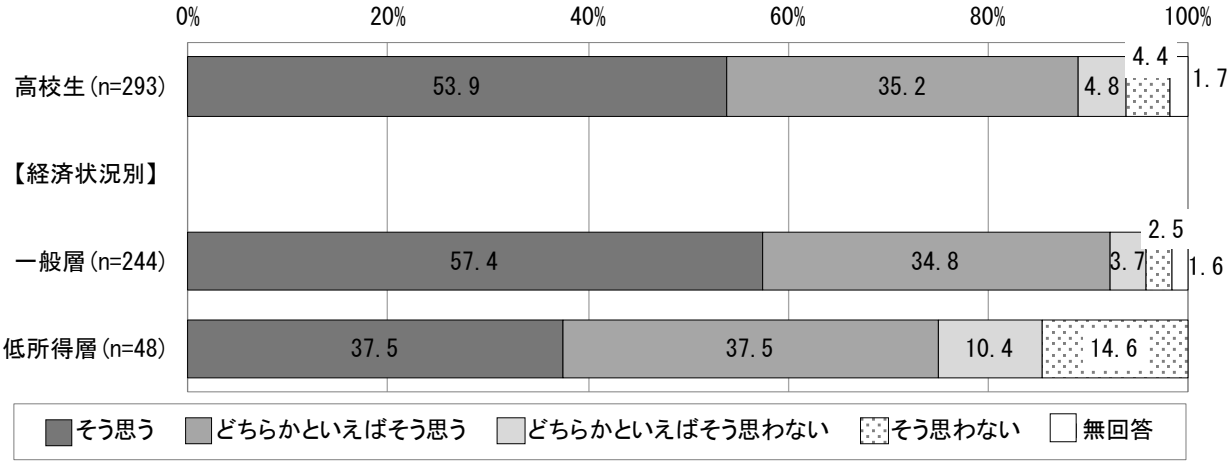
（ｉ）自分の部屋

低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層に比べて低く、87.5％となっている。



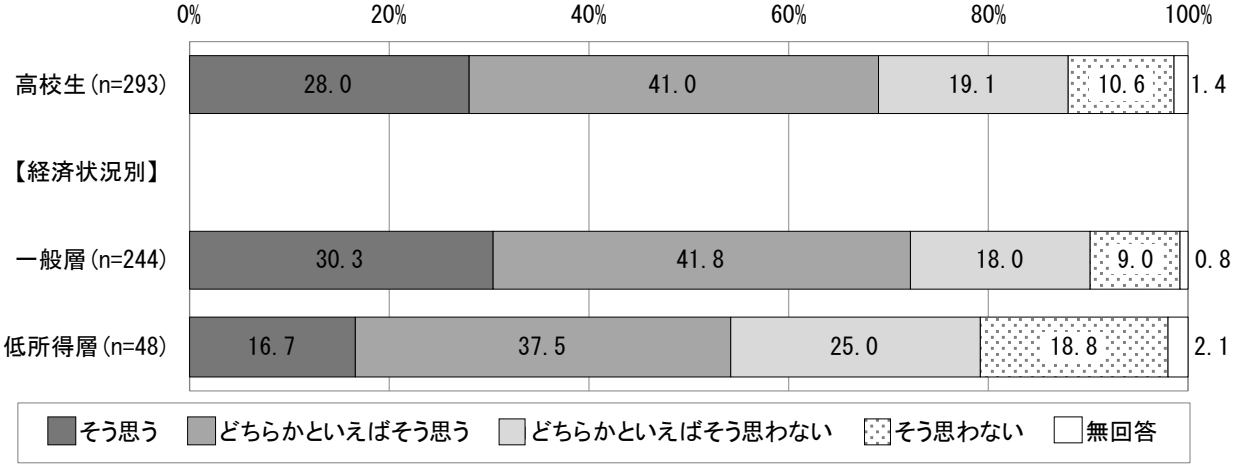
（ii）家庭

低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層に比べて低く、75.0％となっている。



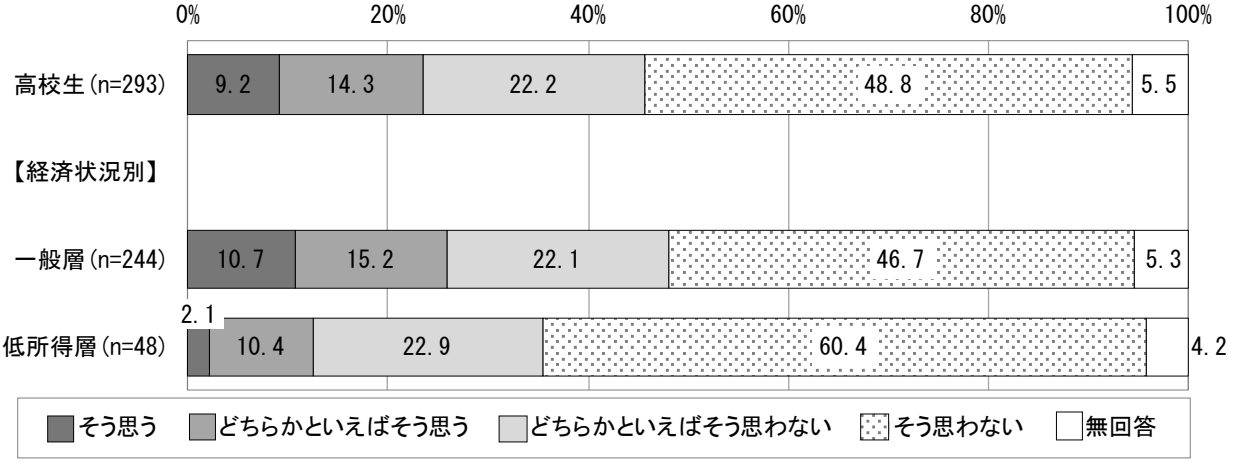
（ⅲ）学校

低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層に比べて低く、54.2％となっている。



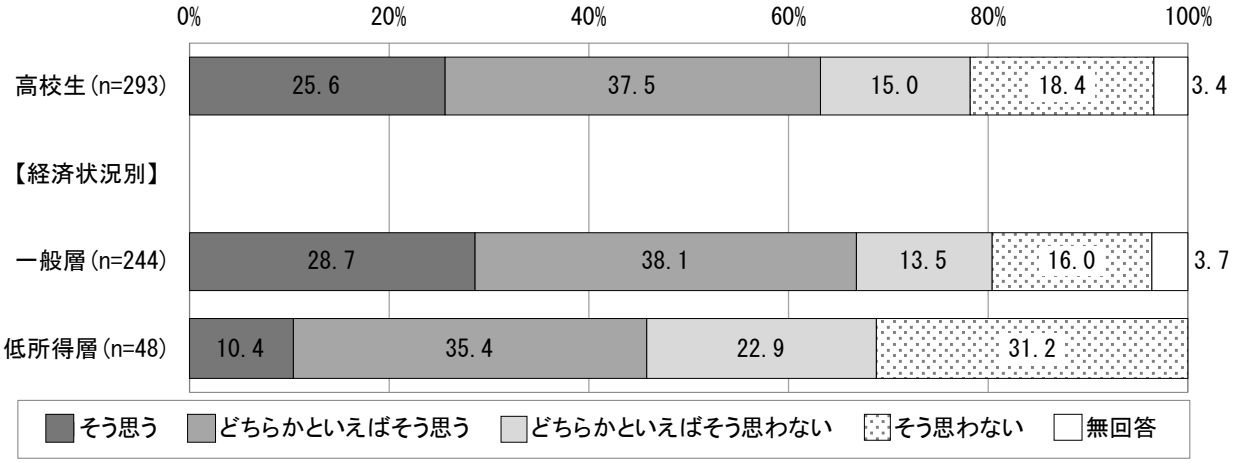
（ⅳ）児童館・こども館・青少年会館

低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層に比べて低く、12.5％となっている。



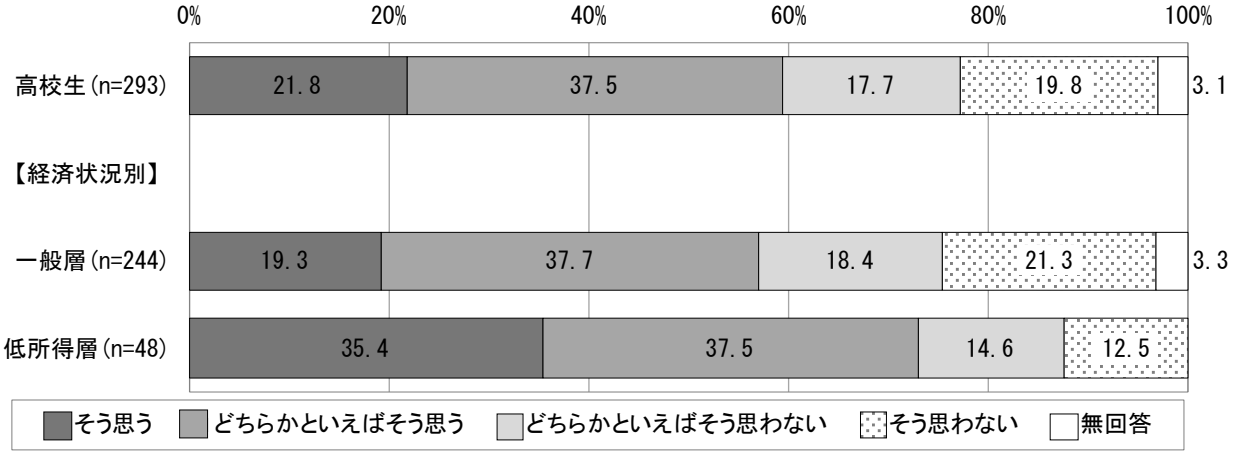
（ｖ）地域

低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層に比べて低く45.8%となっている。



（ⅵ）インターネット空間

低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層に比べて高く、72.9%となっている。

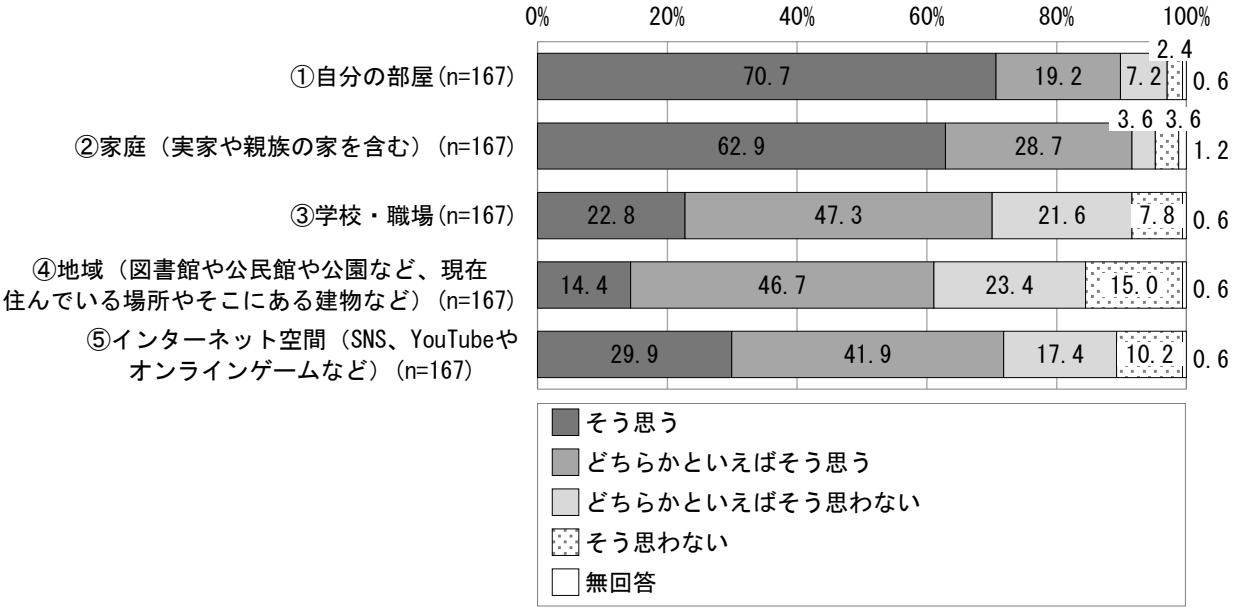


若者

①全体

項目別で「そう思う」の割合をみると、「自分の部屋」が 70.7%と最も高くなっている。また、「そう思わない」の割合をみると、「地域」が 15.0%と最も高くなっている。

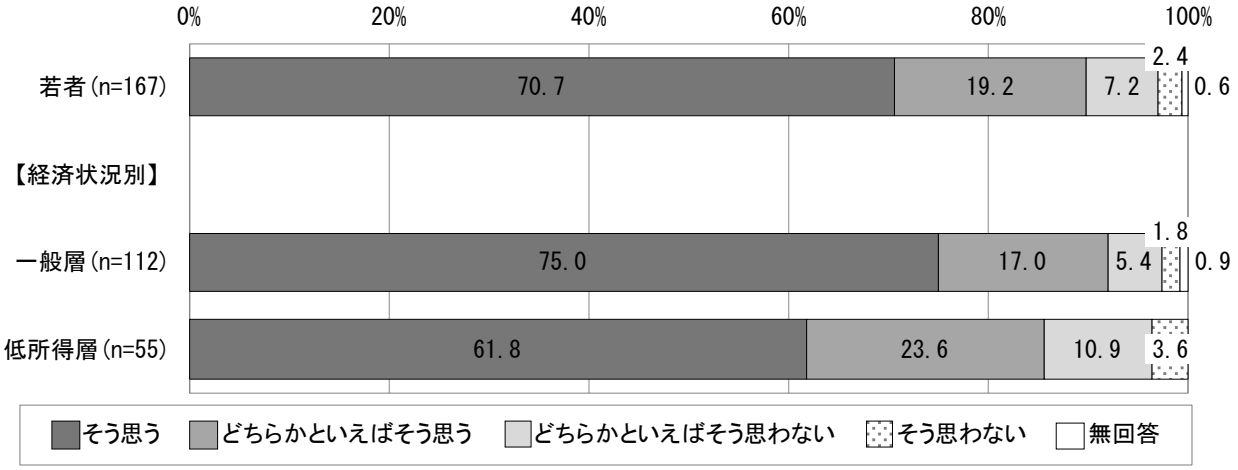
「インターネット空間」を「そう思う」割合は 29.9%となっており、高校生までの結果と比較して最も高くなっている。



②項目別

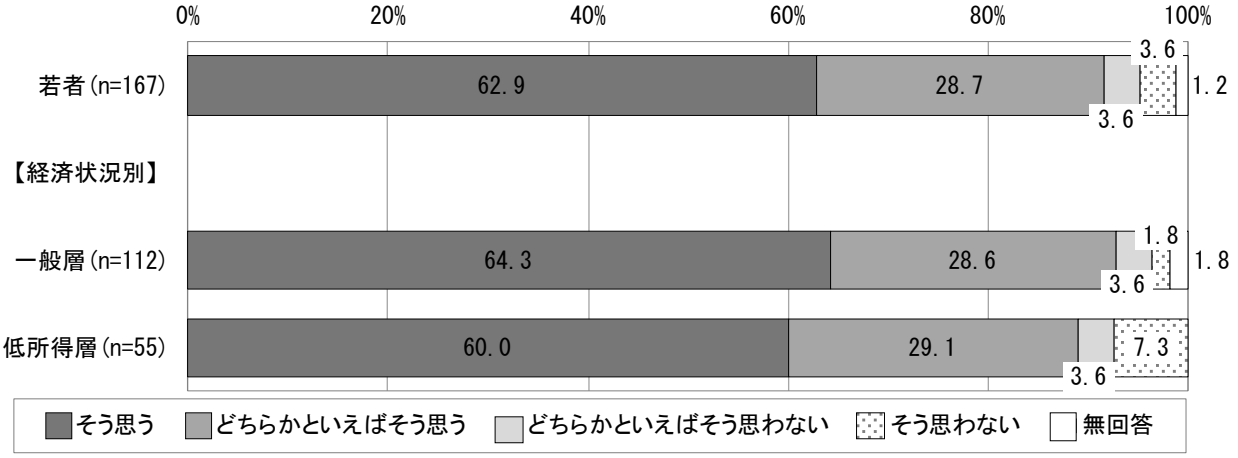
（ｉ）自分の部屋

低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層に比べて低く、85.4％となっている。



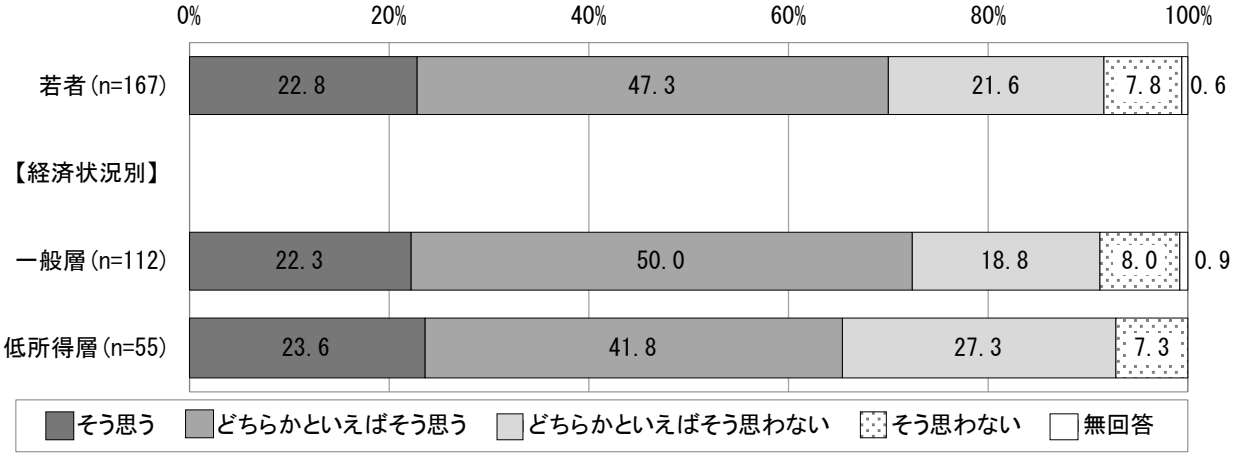
（ii）家庭

低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層に比べて低く、89.1％となっている。



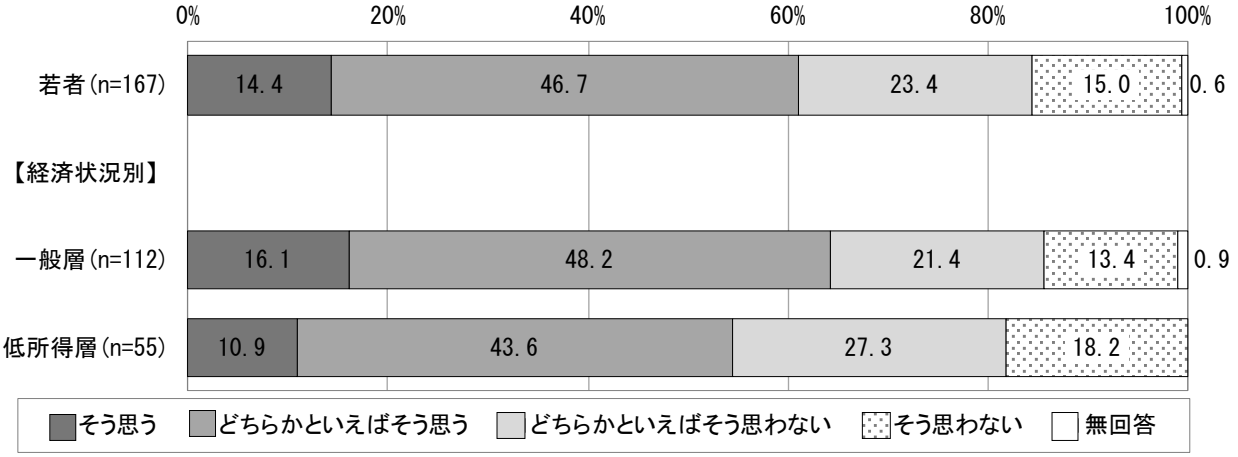
（ⅲ）学校・職場

低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層に比べて低く、65.4％となっている。



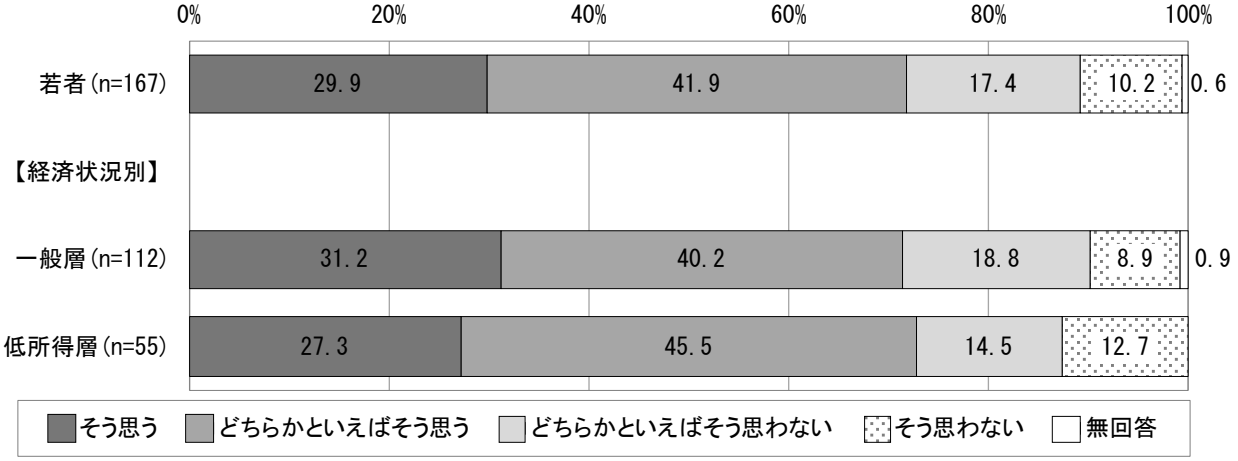
（ⅳ）地域

低所得層の安心できる割合（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）が、一般層に比べて低く 54.5％となっている。



（ｖ）インターネット空間

経済状況による大きな違いはみられない。



第5節　インターネットの利用状況

■結果の概要

・インターネットの利用時間は、経年比較では前回調査よりも全体的に長くなっている。

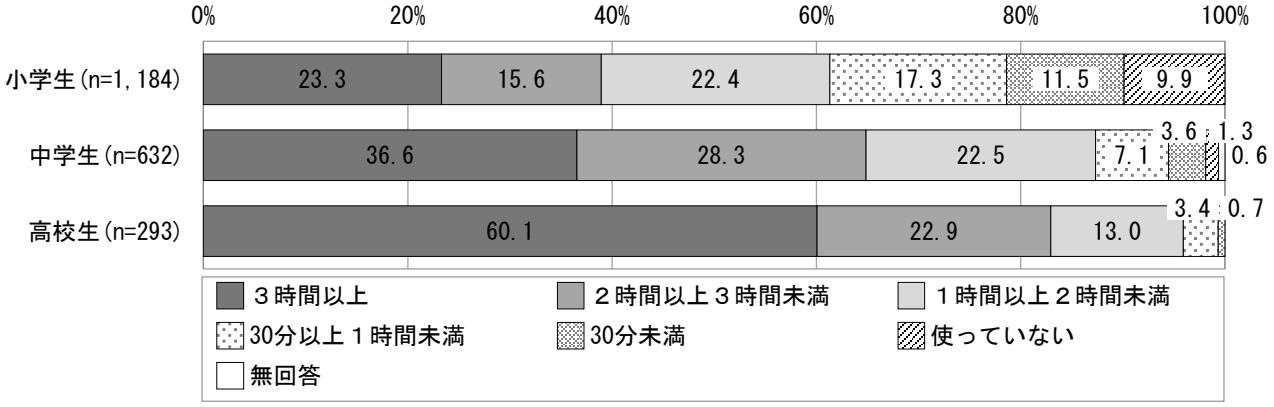
・インターネットの利用目的は、動画閲覧・オンラインゲーム・音楽鑑賞・SNS の割合が高くなっている。小学生において、低所得層のほうが動画閲覧・オンラインゲーム・音楽鑑賞をしている割合が高くなっている。

(1)インターネットの利用時間

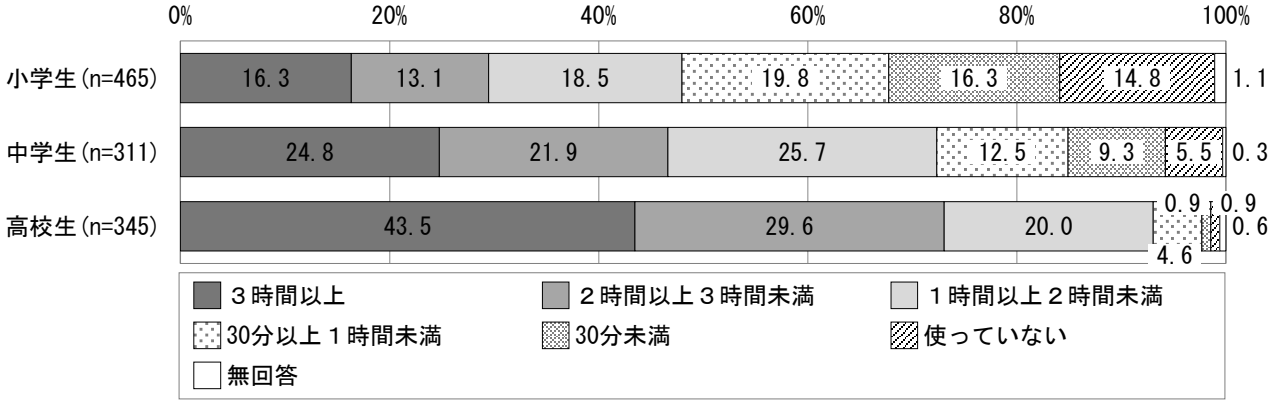
小学生 問 15 、 中学生 問 15 、 高校生 問 15
あなたは、平日1日あたりどのくらいインターネット(スマートフォンを含む)を使っていますか。(単数回答)

年齢が上がるほど、利用時間が長くなっている。
経年比較では、すべての年代で前回調査よりも利用時間が長くなっている。

＜今回(R5)調査＞

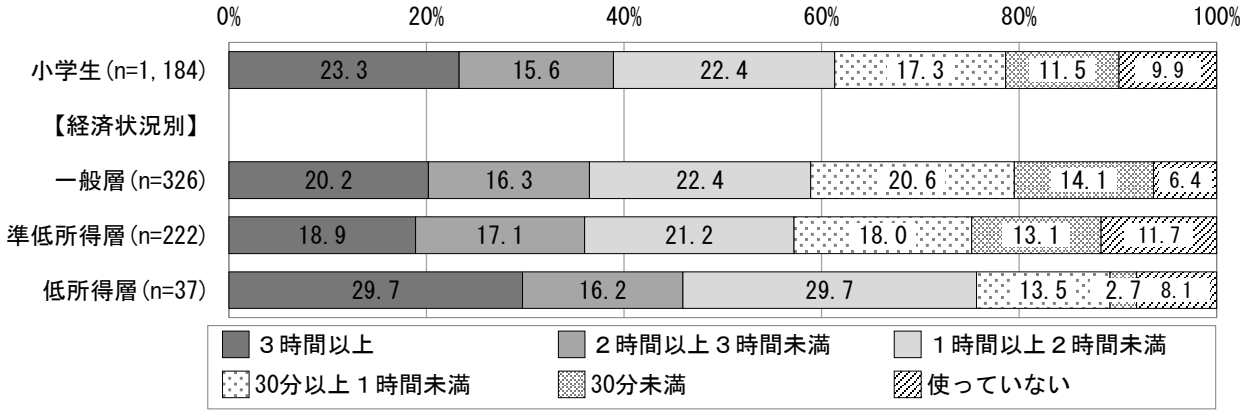


＜前回(H30)調査＞



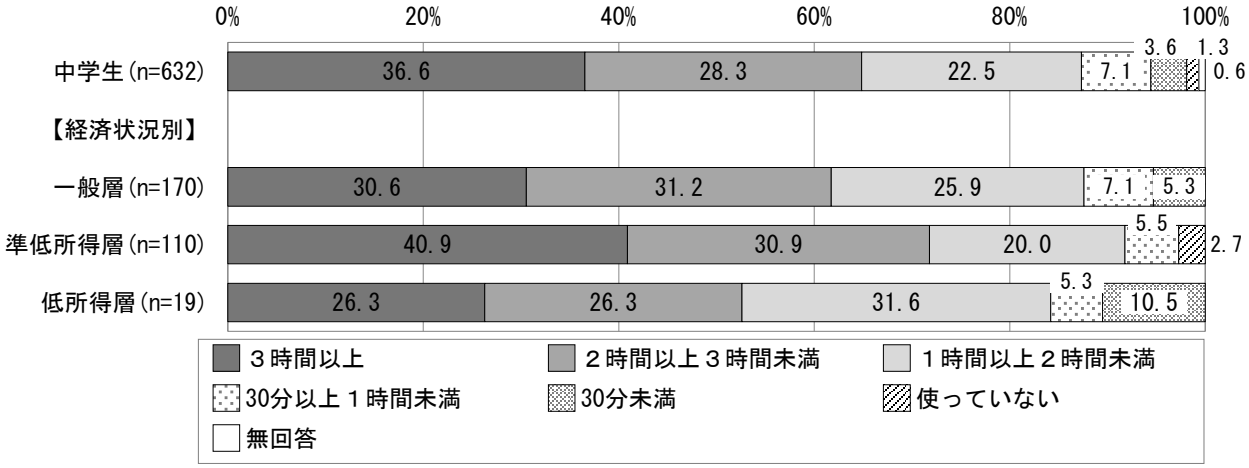
小学生

「3時間以上」が 23.3%と最も高く、「1時間以上2時間未満」が 22.4%と続いている。
経済状況別では、低所得層の利用時間が長くなっている。



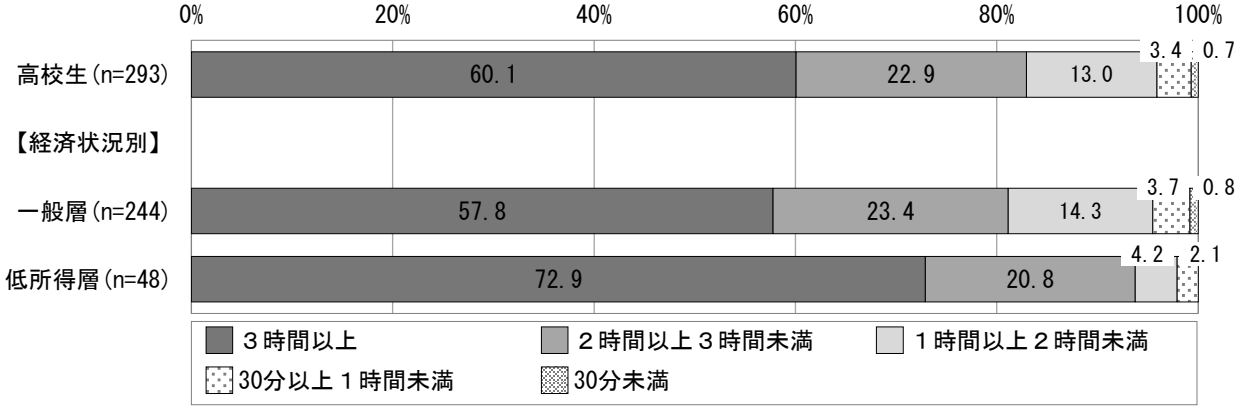
中学生

「3時間以上」が 36.6%と最も高く、「2時間以上3時間未満」が 28.3%と続いている。
経済状況別では、準低所得層の利用時間が長くなっている。



高校生

高校生では、「3時間以上」が 60.1%と最も高く、「2時間以上3時間未満」が 22.9%と続いている。
経済状況別では、低所得層のほうが利用時間が長くなっている。



(2)インターネットの利用目的

小学生 問 15-1 、中学生 問 15-1 、高校生 問 15-1
【「インターネットの利用時間」で「3時間以上」～「30分未満」を選択した方のみ】
具体的にどのような目的でインターネットを利用していますか。(複数回答)

小学生

「動画をみる(Youtube、Tiktok など)」が 75.4%と最も高く、「オンラインゲーム」が 49.8%、「音楽をきく」が 45.9%と続いている。

経済状況別では、低所得層が一般層・準低所得層に比べて、動画閲覧・オンラインゲーム・音楽鑑賞の割合が高くなっている。

(%)	動画をみる(Youtube、Tiktokなど)	オンラインゲーム	音楽をきく	メール	SNS(LINEやインスタグラム、フェイスブック、X(旧ツイッター)など)	HP(ホームページ)、ブログをみる	チャット、掲示板(けいじばん)	ネットショッピング、チケットを買う	HP(ホームページ)、ブログを書く	その他	無回答
小学生(n=1,067)	75.4	49.8	45.9	30.2	20.6	8.5	2.8	1.6	0.5	13.1	0.0
【世帯類型別】											
ひとり親世帯(n=70)	75.7	57.1	45.7	24.3	11.4	8.6	5.7	2.9	0.0	11.4	0.0
共働き世帯(類型1)(n=141)	75.9	45.4	45.4	32.6	21.3	7.1	2.8	0.7	0.0	13.5	0.0
共働き世帯(類型2)(n=196)	77.0	46.9	42.3	25.0	21.9	6.1	1.5	0.5	0.0	17.9	0.0
専業主婦(夫)世帯(n=119)	73.1	43.7	40.3	24.4	14.3	8.4	2.5	0.8	0.0	16.0	0.0
【経済状況別】											
一般層(n=305)	74.8	44.6	40.7	28.5	19.3	7.5	2.6	1.0	0.0	15.1	0.0
準低所得層(n=196)	75.5	48.5	44.4	25.0	17.9	7.1	2.0	0.5	0.0	15.3	0.0
低所得層(n=34)	91.2	55.9	70.6	23.5	17.6	5.9	8.8	2.9	0.0	14.7	0.0

中学生

「動画の閲覧（Youtube、Tiktok など）」が 87.3％と最も高く、「SNS（LINE やインスタグラム、フェイスブック、X（旧ツイッター）など）」が 69.4％、「音楽の視聴」が 66.1％と続いている。

（%）	動画の閲覧（Youtube、Tiktokなど）	SNS（LINEやインスタグラム、フェイスブック、X（旧ツイッター）など）	音楽の視聴	オンラインゲーム	メール	HP（ホームページ）、ブログの閲覧	ネットショッピング、チケットの予約・購入	チャット、掲示板	HP（ホームページ）、ブログの更新	その他	無回答
中学生（n=620）	87.3	69.4	66.1	46.6	27.1	20.2	7.3	5.0	1.9	4.8	0.0
【世帯類型別】											
ひとり親世帯（n=40）	82.5	65.0	72.5	50.0	17.5	25.0	5.0	5.0	2.5	2.5	0.0
共働き世帯（類型１）（n=55）	90.9	85.5	65.5	43.6	25.5	21.8	5.5	5.5	1.8	3.6	0.0
共働き世帯（類型２）（n=142）	89.4	70.4	63.4	43.7	26.1	22.5	8.5	4.2	1.4	7.0	0.0
専業主婦（夫）世帯（n=60）	95.0	60.0	53.3	50.0	35.0	18.3	10.0	5.0	0.0	5.0	0.0
【経済状況別】											
一般層（n=170）	90.0	71.8	61.2	47.1	25.9	24.1	7.1	5.3	1.2	5.9	0.0
準低所得層（n=107）	89.7	68.2	67.3	45.8	29.0	16.8	8.4	3.7	1.9	5.6	0.0
低所得層（n=19）	84.2	63.2	57.9	52.6	21.1	21.1	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0

高校生

「SNS（LINE やインスタグラム、フェイスブック、X（旧ツイッター）など）」が 82.3%と最も高く、「動画の閲覧」が 78.8%、「音楽の視聴」が 68.9%と続いている。

（%）	SNS（LINEやインスタグラム、フェイスブック、X（旧ツイッター）など）	動画の閲覧	音楽の視聴	オンラインゲーム	メール	HP（ホームページ）、ブログの閲覧	ネットショッピング、チケットの予約・購入	チャット、掲示板	HP（ホームページ）、ブログの更新	その他	無回答
高校生（n=293）	82.3	78.8	68.9	39.9	14.7	14.3	14.0	3.4	0.7	1.0	3.4
【世帯類型別】											
ひとり親世帯（n=28）	78.6	85.7	64.3	39.3	3.6	10.7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
共働き世帯（類型１）（n=205）	82.4	78.5	68.8	36.6	14.1	12.2	12.2	2.9	0.0	1.0	4.4
専業主婦（夫）世帯（n=49）	81.6	79.6	73.5	46.9	20.4	28.6	18.4	6.1	4.1	0.0	0.0
【経済状況別】											
一般層（n=244）	83.6	78.3	69.7	38.9	13.9	14.3	14.3	3.3	0.8	0.4	3.3
低所得層（n=48）	77.1	83.3	66.7	45.8	18.8	14.6	12.5	4.2	0.0	4.2	2.1

第6節　ひきこもり等に関する状況

■結果の概要

・ひきこもりに該当すると思われる人が、若者のうち４.８％となっている。主な要因は、「学校になじめなかったこと」と「人間関係がうまくいかなかったこと」、「病気」となっている。

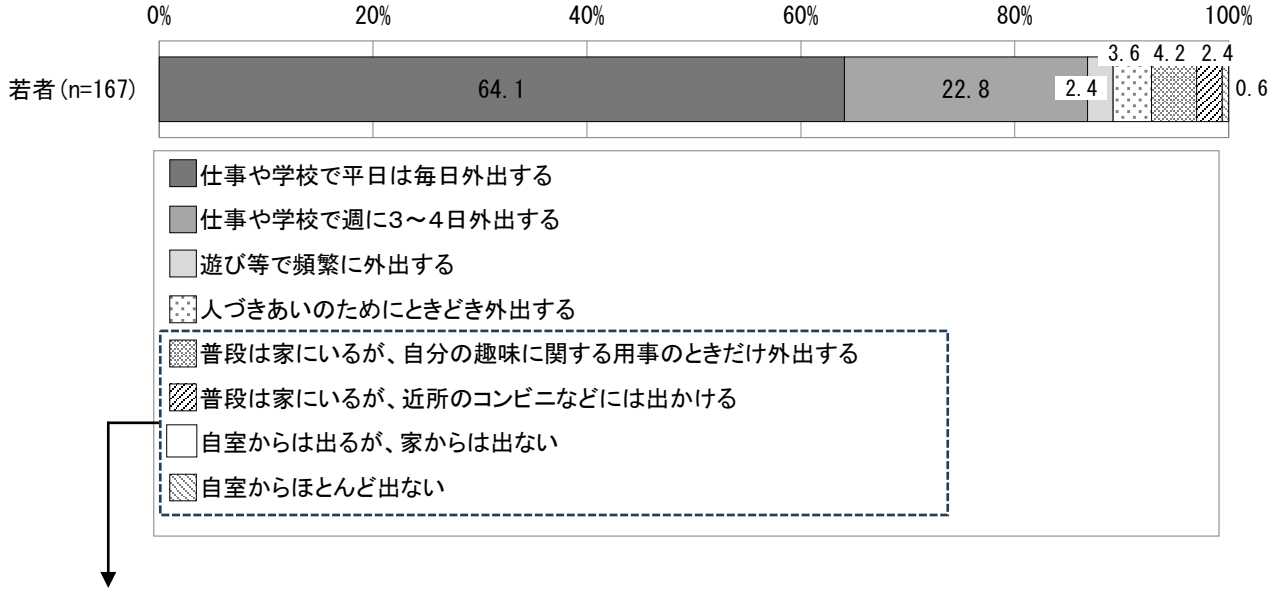
・若者の約半数にあたる 45.5％が、社会生活が円滑にいかない状態を改善した経験がある。改善した主なきっかけは、家族や親せき、友人の助けとなっており、人とのつながりで状態が改善したと考えられる。

・社会生活が円滑にいかない状態になっても、家族や知り合い以外には相談したくない割合が 13.2％となっている。相談したくない主な理由は、「相談しても解決できないと思うから」と「相手がどんな人かわからないから」となっている。

(1)外出頻度

若者 問16
あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(単数回答)

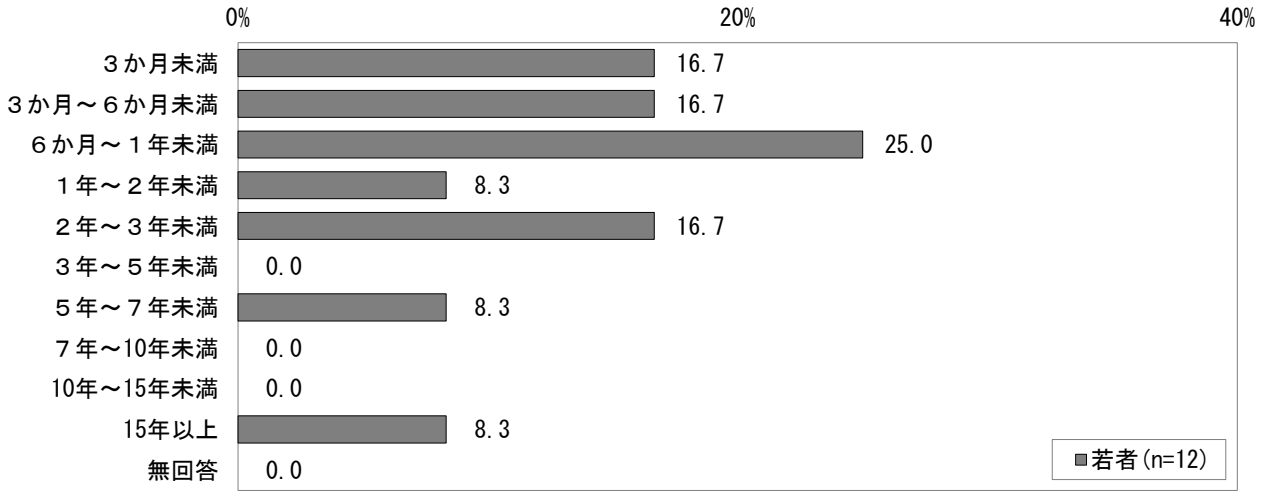
「仕事や学校で平日は毎日外出する」が 64.1%と最も高く、「仕事や学校で週に3～4日外出する」が22.8%、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」が4.2%と続いている。



(2)現在の外出頻度になってからの期間

若者 問17
【「外出頻度」で「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」～「自室からほとんど出ない」を選択した方のみ】
あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(単数回答)

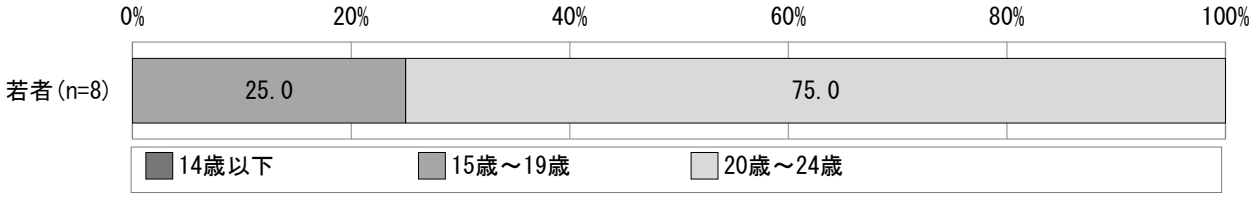
「6か月～1年未満」が 25.0%と最も高く、「3か月未満」と「3か月～6か月未満」、「2年～3年未満」が、それぞれ16.7%と続いている。



（3）現在の外出頻度になった年齢

若者 問 18
【「現在の外出頻度になってからの期間」で 6 か月以上を選択した方のみ】
あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。（単数回答）

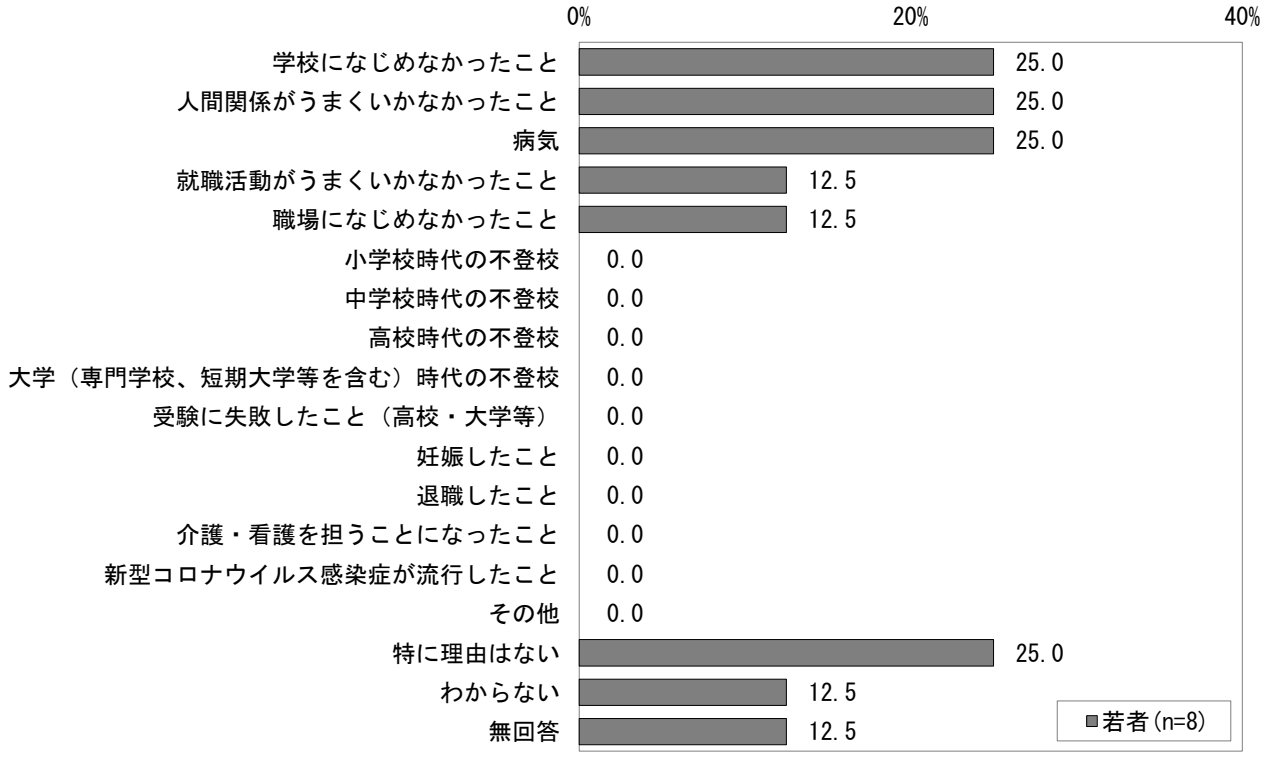
「20 歳～24 歳」が 75.0%となっている。



（4）現在の外出頻度になった要因

若者 問 18-1
【「現在の外出頻度になってからの期間」で6か月以上を選択した方のみ】
あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。（複数回答）

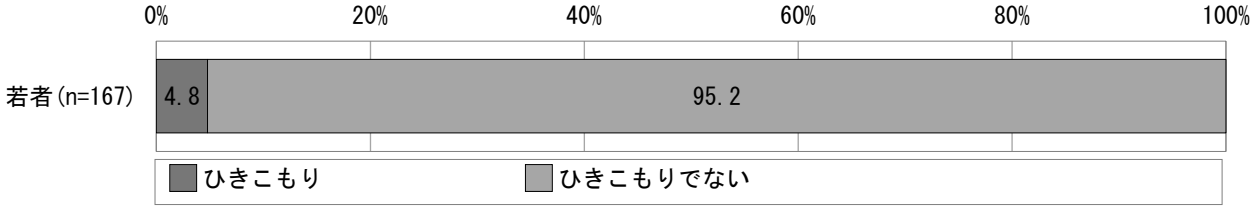
「学校になじめなかったこと」と「人間関係がうまくいかなかったこと」、「病気」、「特に理由はない」が、それぞれ 25.0%と最も高くなっている。



(5)ひきこもり該当者の推計

若者 問16・問17 から試算
あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。(単数回答)
あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。(単数回答)

外出の状況などから、若者のうち4.8%がひきこもりに該当しているものと考えられる。



用語の定義

ひきこもりとは「様々な要因の結果として、就学や就労、交遊などの社会的参加を避けて、原則的には6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態のこと」を指す※。

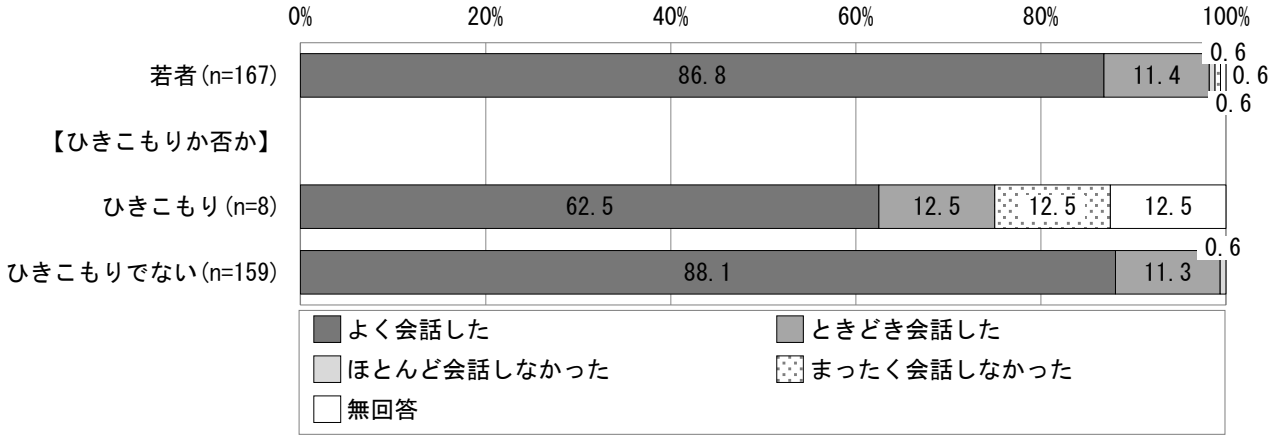
本推計においてはこの定義をもとに、自室からほとんど出ない、または趣味やコンビニ以外の外出をしていない状態(若者 問16)が、6か月以上継続している人(若者 問17)を、ひきこもりとしている。

※「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」(平成22年5月)
(厚生労働科学研究でとりまとめ、主任研究者:齊藤万比古氏 国立国際医療研究センター国府台病院)

(6)家族以外の人との会話

若者 問19
最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。(単数回答)

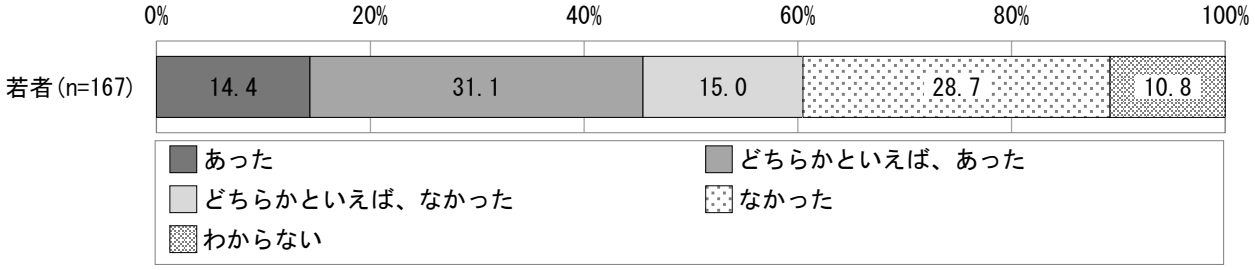
「よく会話した」が86.8%と最も高く、「ときどき会話した」が11.4%と続いている。



（7）困難な状態から改善した経験

若者 問20
あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。（単数回答）

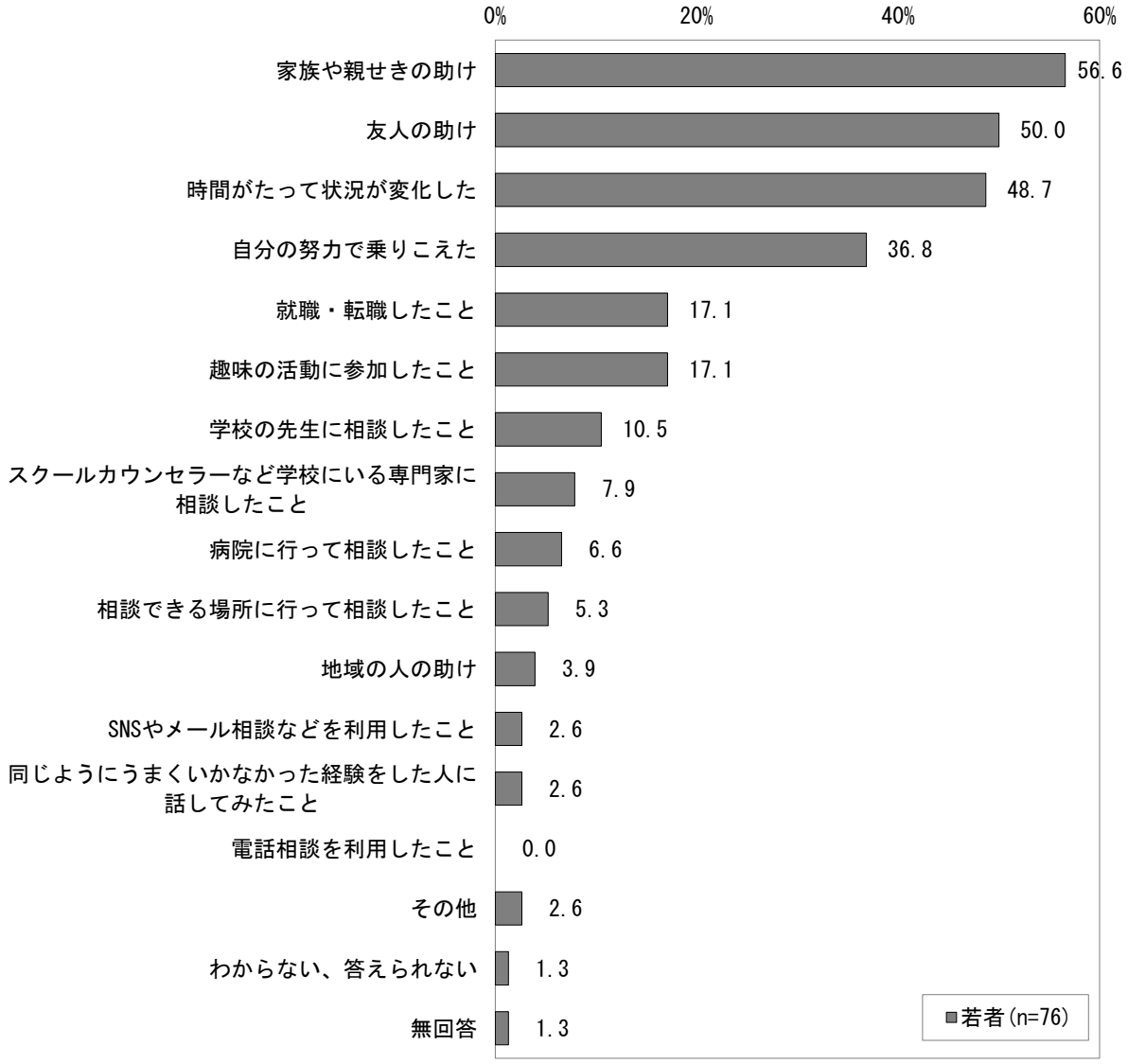
社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験があった割合（「あった」と「どちらかといえば、あった」の合計）は、45.5%となっている。



(8)困難な状態から改善したきっかけ

若者 問21
【「社会生活を円滑に送ることができなかった状態からの改善経験」で「あった」または「どちらかといえば、あった」を選択した方のみ】
状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか。(複数回答)

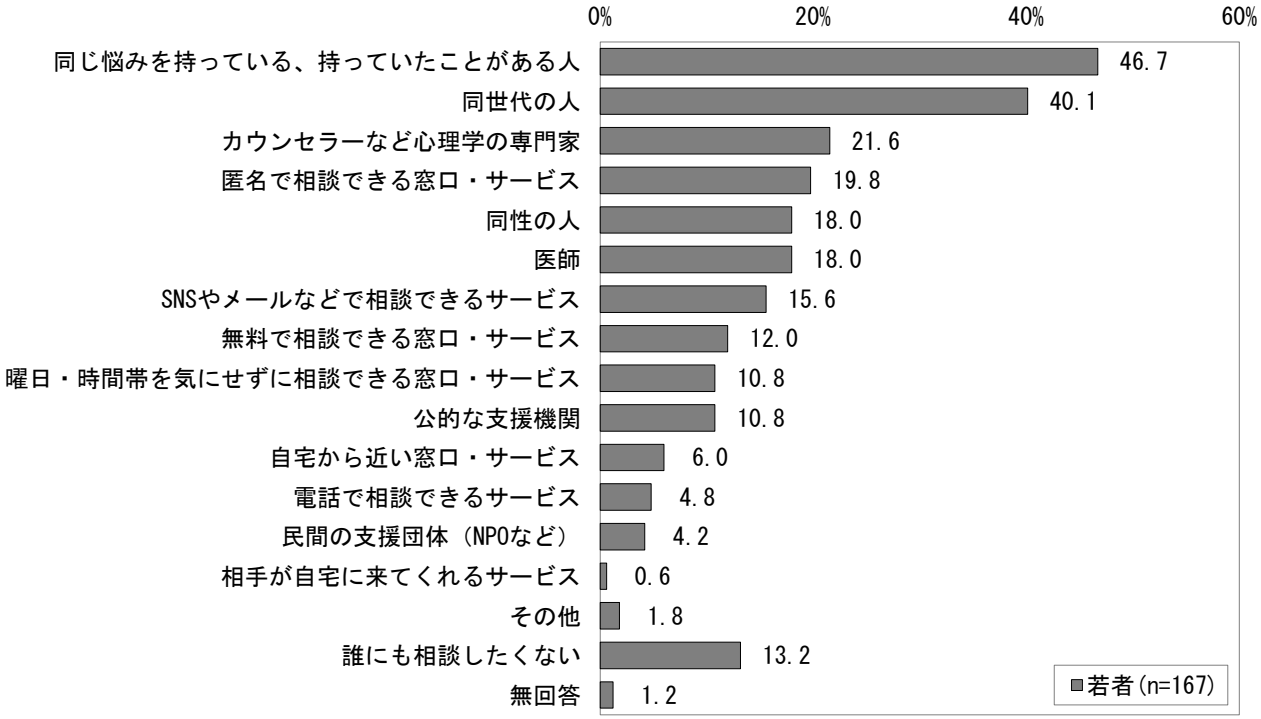
「家族や親せきの助け」が 56.6%と最も高く、「友人の助け」が 50.0%、「時間がたって状況が変化した」が 48.7%と続いている。



(9)家族・知り合い以外の相談相手

若者 問22
あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所に相談したいと思いますか。(複数回答)

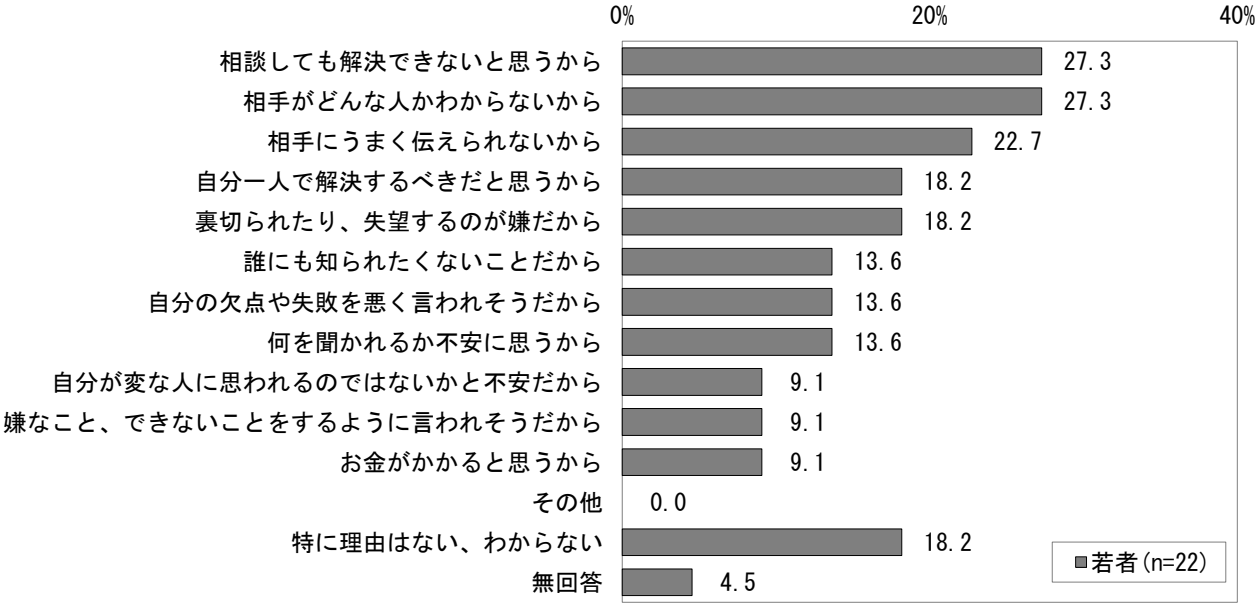
「同じ悩みを持っている、持っていたことがある人」が 46.7%と最も高く、「同世代の人」が 40.1%、「カウンセラーなど心理学の専門家」が 21.6%と続いている。



(10)誰にも相談したくない理由

若者 問23
【「家族・知り合い以外の相談相手」で「誰にも相談したくない」を選択した方のみ】
相談したくないと思う理由は何ですか。(複数回答)

「相談しても解決できないと思うから」と「相手がどんな人かわからないから」が、それぞれ27.3%と最も高く、「相手にうまく伝えられないから」が22.7%と続いている。



第7節　子どもの虐待に関する認識

■結果の概要

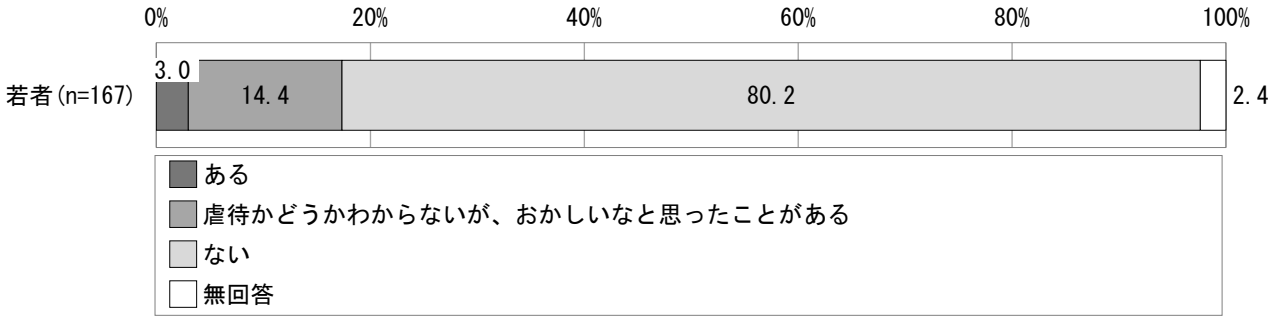
・約2割の人が、身近なところで虐待かもしれないと思った経験をしている。

・虐待を疑っても、様子をみたり、どうしていいかわからないなど、直接的な対応をしなかった割合が高くなっている。

(1)虐待かもしれないと思った経験

若者 問 24
あなたは、身近なところで子どもの虐待かもしれないと思ったことはありますか。(単数回答)

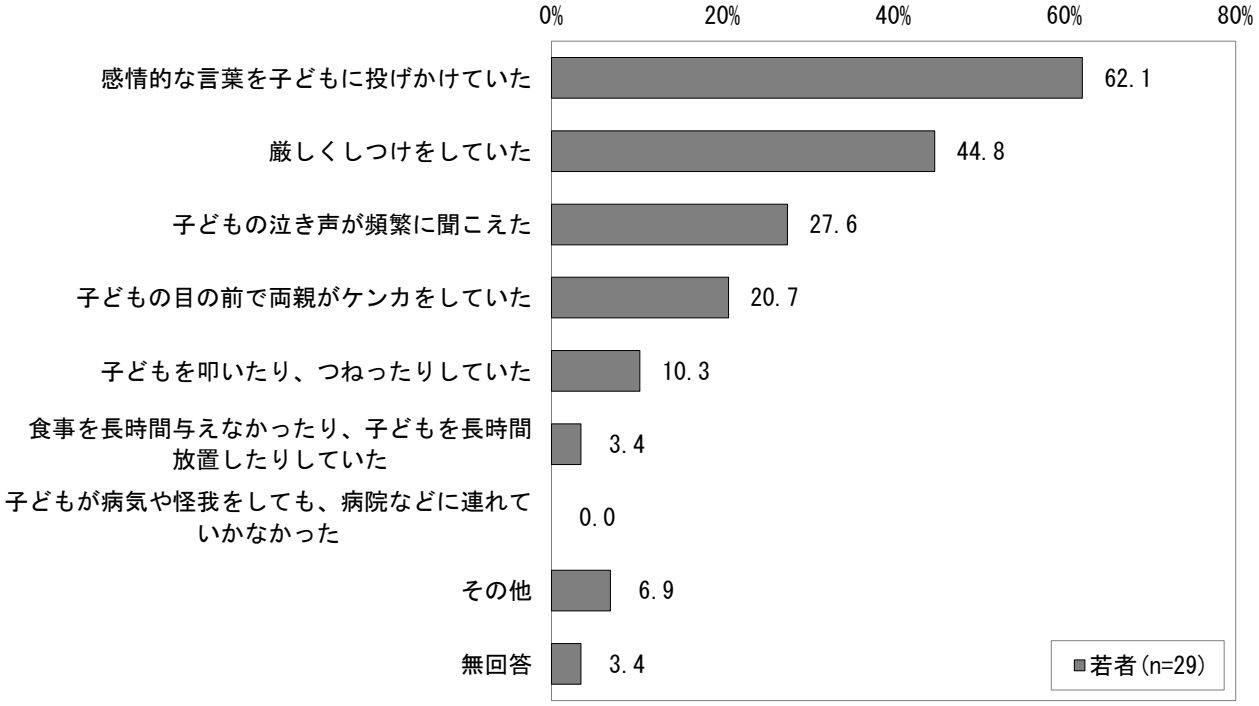
「ある」が 3.0%、「虐待かどうかわからないが、おかしいなと思ったことがある」が 14.4%となっている。



(2)虐待かもしれないと思った状況

若者 問 24-1
【「虐待かもしれないと思った経験」で「ある」または「虐待かどうかわからないが、おかしいなと思ったことがある」を選択した方のみ】
その時の状況は、どのようなものですか。(複数回答)

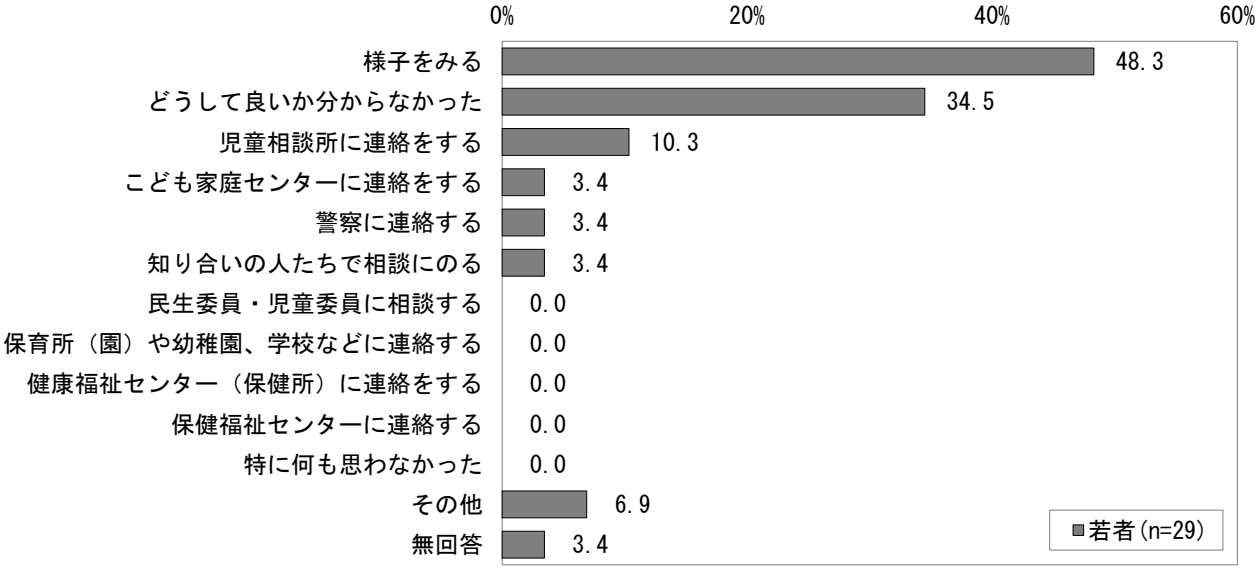
「感情的な言葉を子どもに投げかけていた」が 62.1%と最も高く、「厳しくしつけをしていた」が 44.8%、「子どもの泣き声が頻繁に聞こえた」が 27.6%と続いている。



（3）虐待を疑ったときの対応

若者 問 24-2
【「虐待かもしれないと思った経験」で「ある」または「虐待かどうかわからないが、おかしいなと思ったことがある」を選択した方のみ】
その時どのように対応しようと思いましたか。（複数回答）

「様子をみる」が 48.3％と最も高く、「どうして良いか分からなかった」が 34.5％、「児童相談所に連絡をする」が 10.3％と続いている。



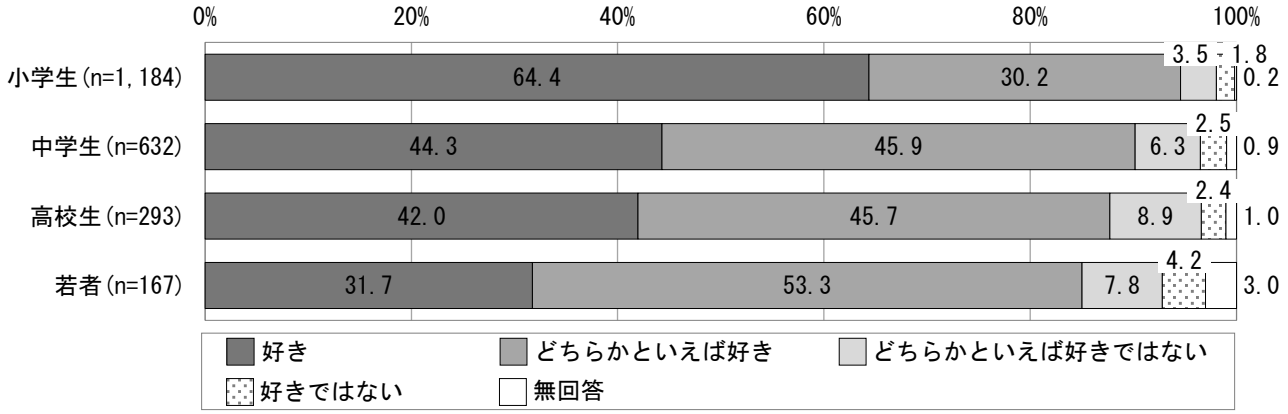
第8節　松戸市への好感度

小学生 問17 、中学生 問17 、高校生 問17 、若者 問26
あなたは松戸市が好きですか。（単数回答）

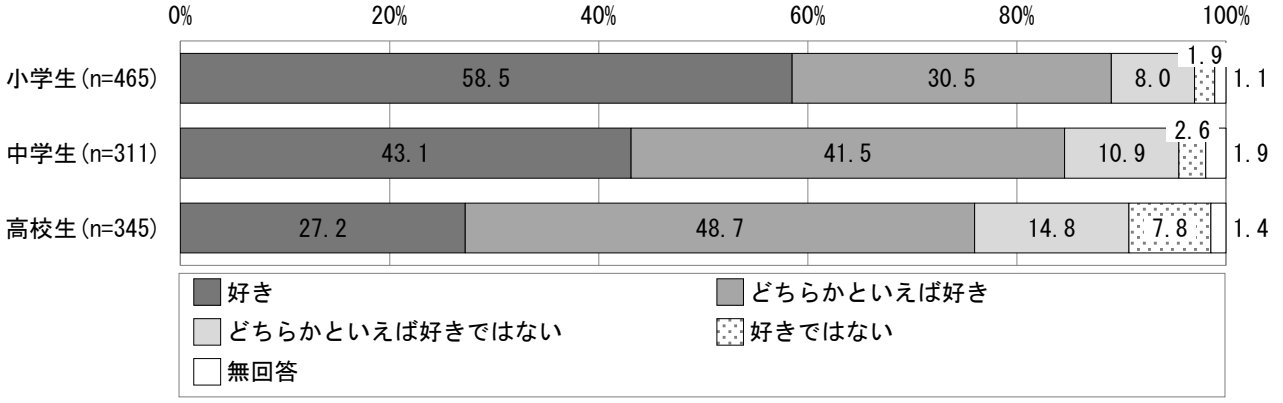
松戸市を好きと回答した割合（「好き」と「どちらかといえば好き」の合計）は、小学生が 94.6%と最も高くなっている。年齢が上がるにつれ、松戸市を好きと回答した割合は減少し、若者においては 85.0%となっている。

経年比較では、（前回なかった若者を除き）すべての年代で前回調査よりも、松戸市を好きと回答した割合が増加している。

＜今回（R5）調査＞

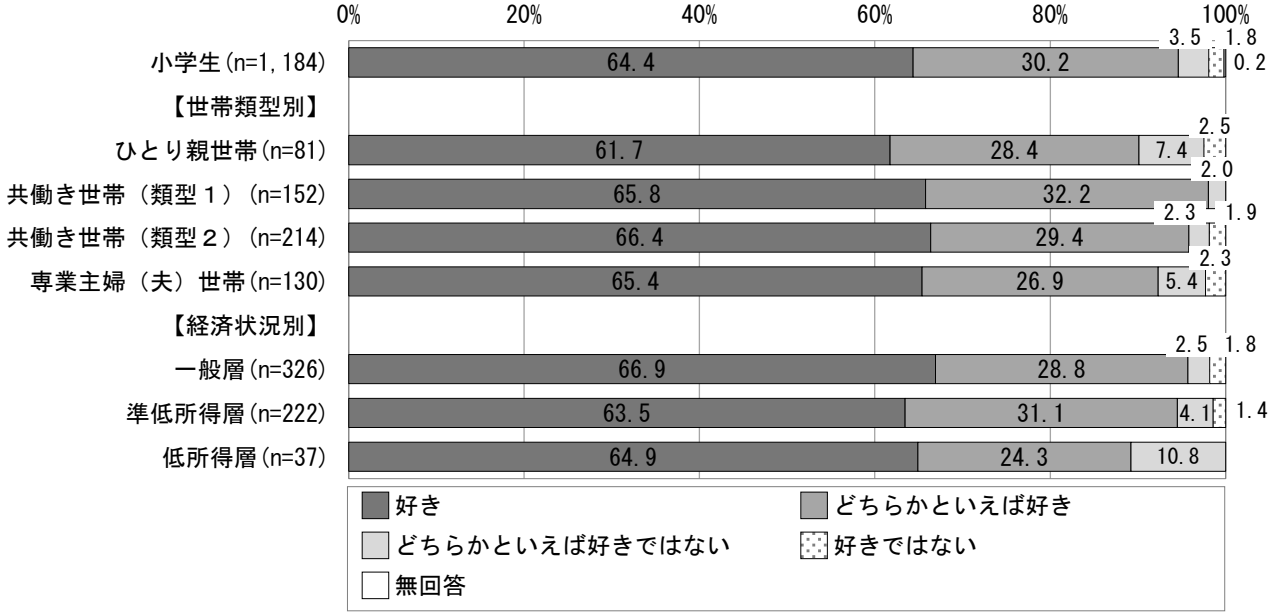


＜前回（H30）調査＞



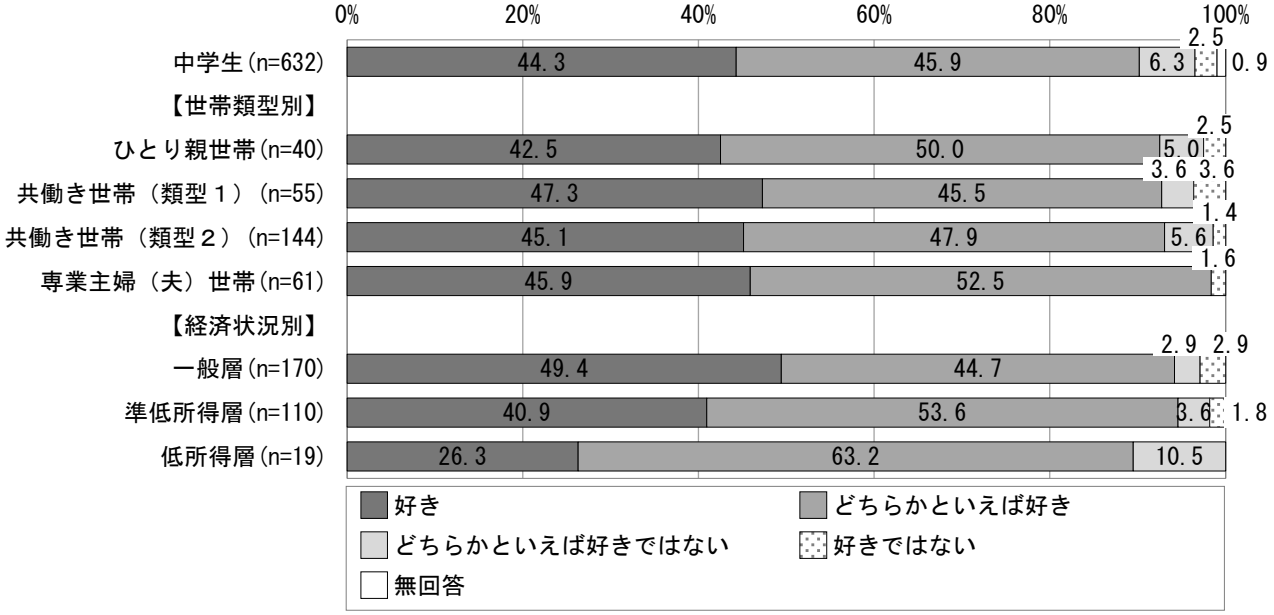
小学生

世帯類型別では、ひとり親世帯において松戸市を好きと回答した割合が低くなっている。経済状況別では、低所得層が一般層よりも、松戸市を好きと回答した割合が低くなっている。



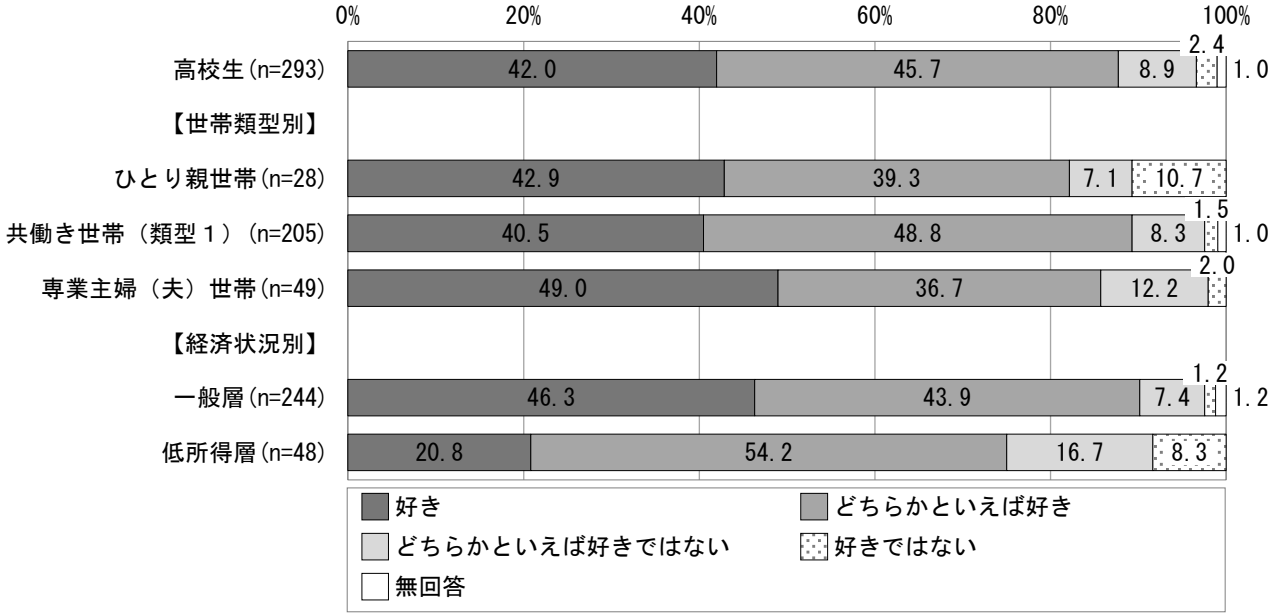
中学生

世帯類型別では、大きな違いはみられない。経済状況別では、所得が低くなるにつれ「好き」と回答した割合が低くなっている。



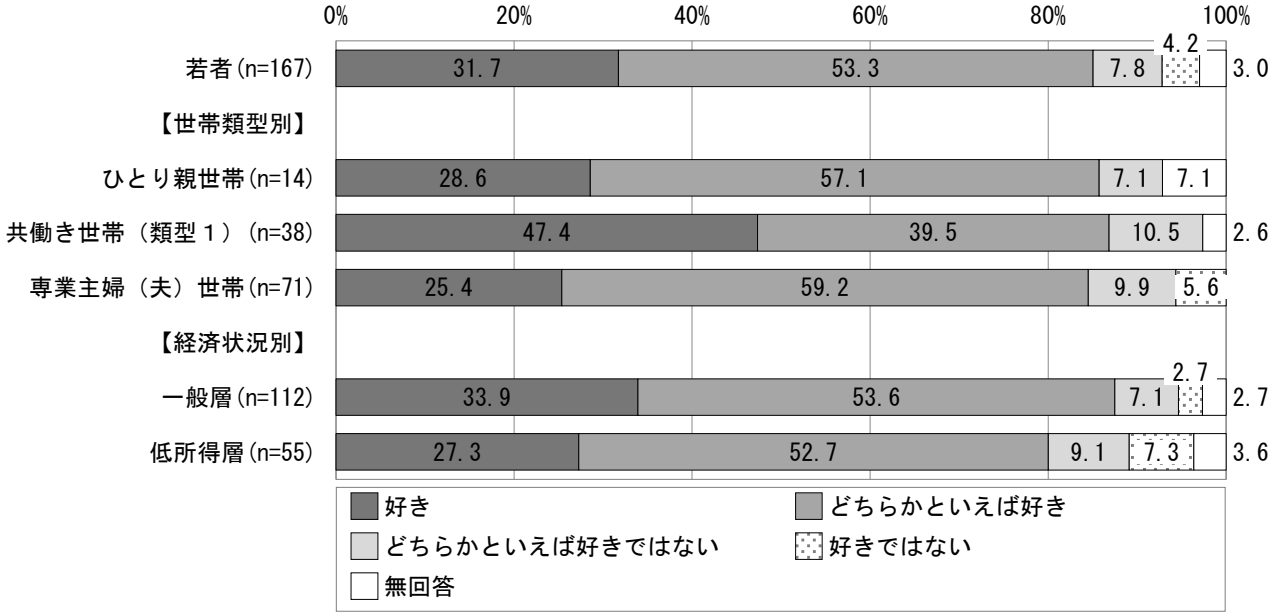
高校生

世帯類型別では、共働き世帯(類型1)において松戸市を好きと回答した割合が高くなっている。経済状況別では、低所得層が一般層よりも、松戸市を好きと回答した割合が低くなっている。



若者

世帯類型別では、共働き世帯(類型1)において「好き」と回答した割合が高くなっている。経済状況別では、低所得層が一般層よりも、松戸市を好きと回答した割合が低くなっている。



第9節　体験活動等の状況

■結果の概要

・全体として、娯楽・レジャーなどについては中学生以上になると経済状況に関わらず友人等と体験する機会があるものと考えられるが、その他の体験活動等では経済状況による格差がみられる。

・運動やスポーツに関する習い事では、小学生・中学生の準低所得層・低所得層、高校生の低所得層において、一般層よりも「何もしていない」の割合が高くみられ、経済状況による格差があらわれている。

・文化芸術に関する習い事では、高校生の低所得層において、一般層よりも「何もしていない」の割合が高くみられ、経済状況による格差があらわれている。

・娯楽・レジャーでは、小学生の低所得層において、一般層よりも「どこにも行ったことがない」の割合が高くみられるが、中学生・高校生においては経済状況による「どこにも行ったことがない」の割合の差はみられない。「遊園地やテーマパーク」の割合が、小学生においては経済状況による格差があらわれているが、中学生・高校生になると経済状況による格差がみられないことから、中学生以上になると友人等と娯楽・レジャーに行く機会ができ、体験の機会が得られるものと考えられる。

・学校等での体験活動では、小学生の低所得層、中学生の準低所得層・低所得層、高校生の低所得層において、一般層よりも「特にしていない」の割合が高くみられ、経済状況による格差があらわれている。

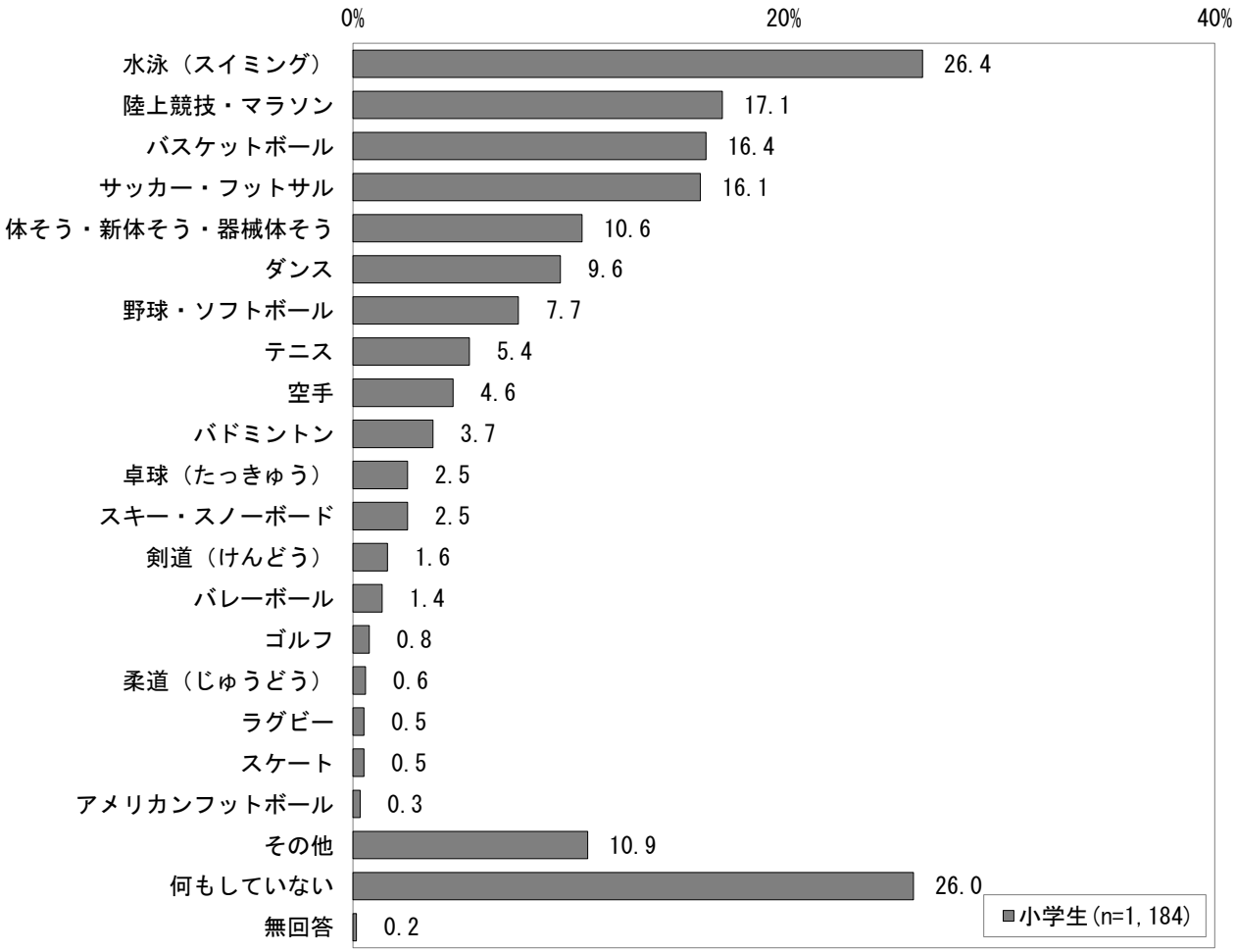
(1)運動やスポーツに関する習い事

小学生 問19 、中学生 問19 、高校生 問19
あなたは、運動やスポーツに関する習い事(部活動を含む)をしていますか。(複数回答)

小学生

「水泳(スイミング)」が 26.4%と最も高く、「陸上競技・マラソン」が 17.1%、「バスケットボール」が 16.4%と続いている。

経済状況別にみると、準低所得層・低所得層において一般層と比べて「何もしていない」割合が高くなっている。

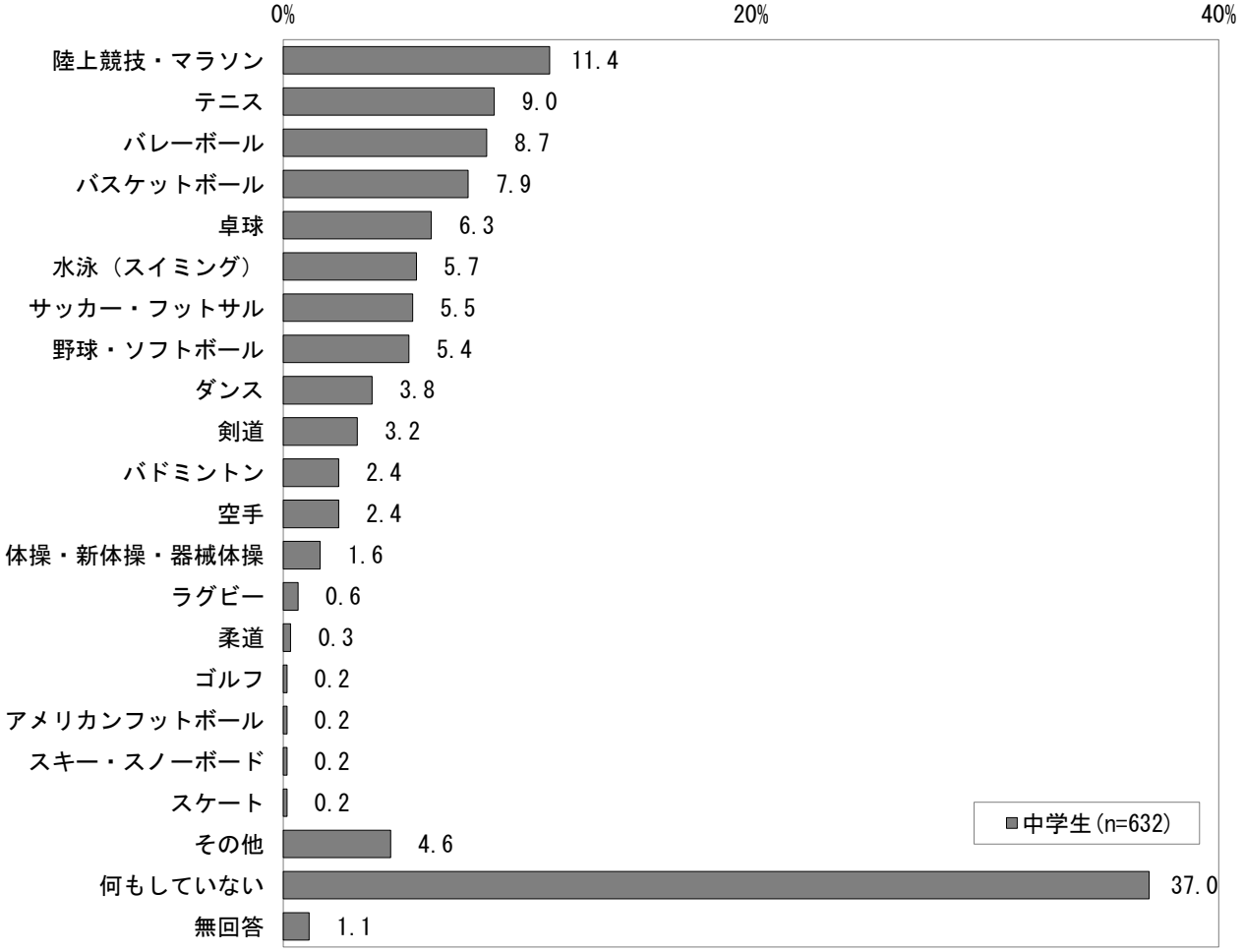


＜上位9位及び「何もしていない」＞

（%）	水泳（スイミング）	陸上競技・マラソン	バスケットボール	サッカー・フットサル	体そう・新体そう・器械体そう	ダンス	野球・ソフトボール	テニス	空手	何もしていない
小学生(n=1,184)	26.4	17.1	16.4	16.1	10.6	9.6	7.7	5.4	4.6	26.0
【世帯類型別】										
ひとり親世帯(n=81)	19.8	14.8	14.8	14.8	9.9	7.4	4.9	0.0	3.7	27.2
共働き世帯（類型１）(n=152)	34.2	13.8	17.8	19.1	9.2	8.6	7.2	6.6	3.3	23.0
共働き世帯（類型２）(n=214)	29.0	18.2	18.2	14.5	12.6	7.5	5.6	6.5	4.7	26.6
専業主婦（夫）世帯(n=130)	23.1	14.6	13.8	13.1	10.0	8.5	6.2	5.4	6.2	30.8
【経済状況別】										
一般層(n=326)	30.7	15.6	18.1	15.6	11.3	7.1	5.2	6.4	4.6	24.8
準低所得層(n=222)	24.8	14.9	13.1	15.8	10.4	9.5	7.2	4.5	4.5	31.5
低所得層(n=37)	21.6	18.9	18.9	8.1	8.1	8.1	5.4	0.0	2.7	29.7

中学生

「陸上競技・マラソン」が 11.4％と最も高く、「テニス」が 9.0％、「バレーボール」が 8.7％と続いている。
経済状況別にみると、所得が低くなるにつれ「何もしていない」割合が高くなっている。



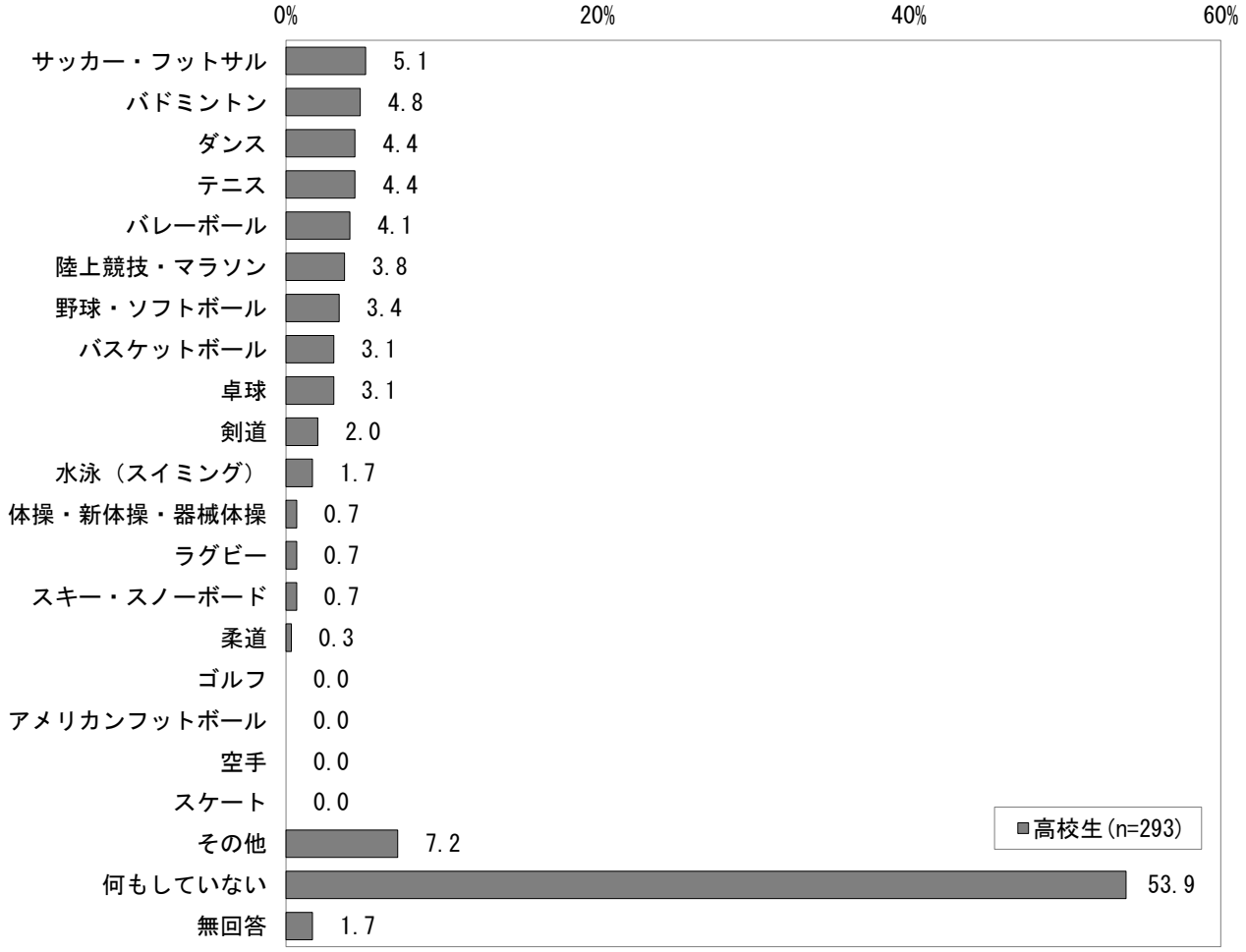
＜上位9位及び「何もしていない」＞

(%)	陸上競技・マラソン	テニス	バレーボール	バスケットボール	卓球	水泳（スイミング）	サッカー・フットサル	野球・ソフトボール	ダンス	何もしていない
中学生(n=632)	11.4	9.0	8.7	7.9	6.3	5.7	5.5	5.4	3.8	37.0
【世帯類型別】										
ひとり親世帯(n=40)	12.5	7.5	10.0	10.0	17.5	7.5	0.0	12.5	0.0	35.0
共働き世帯（類型１）(n=55)	14.5	5.5	7.3	10.9	10.9	5.5	9.1	5.5	1.8	34.5
共働き世帯（類型２）(n=144)	12.5	10.4	7.6	6.3	2.8	4.2	5.6	5.6	5.6	37.5
専業主婦（夫）世帯(n=61)	8.2	8.2	3.3	8.2	6.6	8.2	1.6	0.0	0.0	52.5
【経済状況別】										
一般層(n=170)	12.4	8.8	7.6	5.9	7.1	7.1	7.1	4.7	3.5	35.9
準低所得層(n=110)	10.0	10.0	5.5	12.7	6.4	4.5	1.8	6.4	1.8	45.5
低所得層(n=19)	10.5	5.3	15.8	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	57.9

高校生

「サッカー・フットサル」が 5.1%と最も高く、「バドミントン」が 4.8%、「ダンス」と「テニス」が、それぞれ 4.4%と続いている。

経済状況別にみると、低所得層が一般層に比べて「何もしていない」割合が高くなっている。



＜上位9位及び「何もしていない」＞

(%)	サッカー・フットサル	バドミントン	ダンス	テニス	バレーボール	陸上競技・マラソン	野球・ソフトボール	バスケットボール	卓球	何もしていない
高校生(n=293)	5.1	4.8	4.4	4.4	4.1	3.8	3.4	3.1	3.1	53.9
【世帯類型別】										
ひとり親世帯(n=28)	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	10.7	0.0	0.0	0.0	60.7
共働き世帯（類型１）(n=205)	5.9	4.9	4.9	4.9	4.4	3.4	4.4	4.4	3.9	50.2
専業主婦（夫）世帯(n=49)	4.1	4.1	6.1	6.1	2.0	2.0	0.0	0.0	0.0	63.3
【経済状況別】										
一般層(n=244)	6.1	5.7	4.9	3.7	4.9	3.7	3.3	3.3	3.3	52.0
低所得層(n=48)	0.0	0.0	2.1	8.3	0.0	4.2	4.2	2.1	2.1	64.6

(2)文化芸術に関する習い事

小学生 問 20 、中学生 問 20 、高校生 問 20
あなたは、音楽や芸術に関する習い事(部活動を含む)をしていますか。(複数回答)

小学生

「ピアノ・バイオリン等の楽器」が 23.8%と最も高く、「英会話・外国語」が 20.3%、「書道(習字)」が 13.0%と続いている。

経済状況別にみると、低所得層において「何もしていない」割合が高くなっている。

(%)	ピアノ・バイオリン等の楽器	英会話・外国語	書道(習字)	合唱・声楽	絵画・造形	バレエ	茶道・華道(生け花)	囲碁・将棋	演げき・ミュージカル	その他	何もしていない	無回答
小学生(n=1,184)	23.8	20.3	13.0	4.9	3.4	1.8	1.4	0.7	0.2	8.8	46.3	0.2
【世帯類型別】												
ひとり親世帯(n=81)	28.4	19.8	18.5	1.2	2.5	1.2	2.5	1.2	0.0	16.0	39.5	0.0
共働き世帯(類型1)(n=152)	28.9	23.0	14.5	3.3	3.3	3.9	2.6	0.7	0.0	8.6	42.1	0.0
共働き世帯(類型2)(n=214)	23.4	20.1	13.1	3.7	1.9	0.9	0.5	1.4	0.5	9.3	46.7	0.0
専業主婦(夫)世帯(n=130)	31.5	23.8	13.1	6.9	5.4	1.5	1.5	0.0	0.0	7.7	41.5	0.0
【経済状況別】												
一般層(n=326)	32.8	24.2	12.0	4.3	2.5	2.5	2.5	0.6	0.3	7.7	42.9	0.0
準低所得層(n=222)	20.7	19.8	17.1	3.6	5.0	1.4	0.5	1.4	0.0	11.7	43.7	0.0
低所得層(n=37)	16.2	10.8	16.2	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.5	48.6	0.0

中学生

「ピアノ・バイオリン等の楽器」が 14.9％と最も高く、「英会話・外国語」が 11.2％、「絵画・造形」と「書道（習字）」が、それぞれ 5.7％と続いている。

経済状況別にみると、一般層において「何もしていない」割合が高くなっている。

（%）	ピアノ・バイオリン等の楽器	英会話・外国語	絵画・造形	書道（習字）	合唱・声楽	演劇・ミュージカル	バレエ	茶道・華道（生け花）	囲碁・将棋	その他	何もしていない	無回答
中学生(n=632)	14.9	11.2	5.7	5.7	2.2	1.6	0.9	0.6	0.6	5.2	59.8	1.1
【世帯類型別】												
ひとり親世帯(n=40)	17.5	5.0	5.0	2.5	2.5	2.5	0.0	5.0	0.0	7.5	57.5	0.0
共働き世帯（類型１）(n=55)	18.2	12.7	3.6	3.6	0.0	0.0	5.5	0.0	0.0	3.6	60.0	0.0
共働き世帯（類型２）(n=144)	15.3	11.8	3.5	8.3	2.8	2.1	0.0	0.7	0.0	6.3	59.0	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=61)	11.5	16.4	4.9	6.6	4.9	4.9	0.0	0.0	0.0	8.2	54.1	0.0
【経済状況別】												
一般層(n=170)	13.5	12.4	2.4	8.8	1.8	2.4	0.6	1.2	0.0	4.7	59.4	0.0
準低所得層(n=107)	19.1	10.9	4.5	1.8	5.5	1.8	0.9	0.9	0.0	7.3	58.2	0.0
低所得層(n=19)	15.8	10.5	5.3	10.5	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	10.5	52.6	0.0

高校生

「ピアノ・バイオリン等の楽器」が 12.3%と最も高く、「書道(習字)」が 4.4%、「合唱・声楽」と「絵画・造形」、「英会話・外国語」が、それぞれ 2.7%と続いている。

経済状況別にみると、低所得層において「何もしていない」割合が高くなっている。

(%)	ピアノ・バイオリン等の楽器	書道（習字）	合唱・声楽	絵画・造形	英会話・外国語	茶道・華道（生け花）	演劇・ミュージカル	囲碁・将棋	バレエ	その他	何もしていない	無回答
高校生(n=293)	12.3	4.4	2.7	2.7	2.7	2.0	1.4	1.0	0.7	6.1	66.2	2.7
【世帯類型別】												
ひとり親世帯(n=28)	17.9	7.1	3.6	3.6	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	3.6	64.3	0.0
共働き世帯（類型１）(n=205)	12.2	3.4	2.9	2.4	2.9	2.0	1.5	0.5	0.5	5.4	68.3	2.9
専業主婦（夫）世帯(n=49)	12.2	6.1	2.0	4.1	4.1	4.1	0.0	4.1	2.0	10.2	57.1	2.0
【経済状況別】												
一般層(n=244)	13.5	5.3	2.9	2.0	3.3	1.6	1.2	1.2	0.8	6.1	64.8	2.9
低所得層(n=48)	6.3	0.0	2.1	6.3	0.0	4.2	2.1	0.0	0.0	6.3	75.0	0.0

(3)娯楽・レジャー

小学生 問21 、中学生 問21 、高校生 問21
あなたはご家族や友達と一緒に、次のようなところに行ったことがありますか。(複数回答)

小学生

「遊園地やテーマパーク」が 87.2%と最も高く、「家族旅行」が 82.9%、「博物館・科学館・美術館」が 70.4%と続いている。

経済状況別にみると、低所得層において「どこにも行ったことがない」割合が高くなっている。

(%)	遊園地やテーマパーク	家族旅行	博物館・科学館・美術館	海水浴	キャンプ、バーベキュー	スポーツ観戦	山登り、ハイキング	サイクリング	音楽のコンサート	演げき・ミュージカル	どこにも行ったことがない	無回答
小学生(n=1,184)	87.2	82.9	70.4	66.0	61.1	39.7	34.7	26.6	25.8	22.0	2.6	0.2
【世帯類型別】												
ひとり親世帯(n=81)	85.2	77.8	66.7	56.8	56.8	38.3	38.3	23.5	27.2	18.5	6.2	0.0
共働き世帯（類型１）(n=152)	87.5	90.8	75.0	67.8	67.8	46.7	44.1	31.6	30.3	31.6	1.3	0.0
共働き世帯（類型２）(n=214)	90.2	86.9	75.7	66.8	66.4	37.4	40.2	31.3	27.6	19.6	1.9	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=130)	89.2	83.8	77.7	64.6	50.0	36.9	32.3	23.1	27.7	26.9	2.3	0.0
【経済状況別】												
一般層(n=326)	92.9	90.5	79.4	70.9	65.0	42.0	42.6	32.5	28.8	27.9	1.5	0.0
準低所得層(n=222)	84.2	82.9	68.0	60.4	59.5	37.4	36.0	23.9	27.0	19.8	2.3	0.0
低所得層(n=37)	81.1	67.6	64.9	43.2	37.8	35.1	24.3	16.2	21.6	18.9	10.8	0.0

中学生

「遊園地やテーマパーク」が 89.6%と最も高く、「家族旅行」が 88.4%、「博物館・科学館・美術館」が 71.5%と続いている。

（%）	遊園地やテーマパーク	家族旅行	博物館・科学館・美術館	海水浴	キャンプ、バーベキュー	スポーツ観戦	山登り、ハイキング	音楽のコンサート	サイクリング	演劇・ミュージカル	どこにも行ったことがない	無回答
中学生(n=632)	89.6	88.4	71.5	69.6	64.4	43.8	40.0	30.9	29.0	28.0	1.7	1.1
【世帯類型別】												
ひとり親世帯(n=40)	87.5	87.5	75.0	47.5	57.5	37.5	27.5	30.0	40.0	12.5	2.5	0.0
共働き世帯（類型１）(n=55)	90.9	89.1	70.9	69.1	63.6	50.9	38.2	29.1	20.0	27.3	3.6	0.0
共働き世帯（類型２）(n=144)	92.4	94.4	80.6	80.6	75.7	45.8	46.5	36.8	29.2	28.5	0.7	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=61)	90.2	86.9	78.7	60.7	55.7	37.7	29.5	23.0	29.5	21.3	3.3	0.0
【経済状況別】												
一般層(n=170)	92.9	91.8	80.0	71.8	71.2	51.8	45.9	35.9	34.7	29.4	2.4	0.0
準低所得層(n=107)	87.3	92.7	72.7	70.9	64.5	37.3	32.7	30.0	19.1	20.9	1.8	0.0
低所得層(n=19)	94.7	78.9	84.2	73.7	36.8	26.3	15.8	31.6	36.8	21.1	0.0	0.0

高校生

「遊園地やテーマパーク」が 91.1%と最も高く、「家族旅行」が 89.4%、「博物館・科学館・美術館」が 73.7%と続いている。

（%）	遊園地やテーマパーク	家族旅行	博物館・科学館・美術館	海水浴	キャンプ、バーベキュー	スポーツ観戦	山登り、ハイキング	音楽のライブ・コンサート鑑賞	演劇鑑賞	サイクリング	その他	どこにも行ったことがない	無回答
高校生(n=293)	91.1	89.4	73.7	71.7	65.2	51.9	46.8	40.3	34.1	32.1	2.4	0.3	0.7
【世帯類型別】													
ひとり親世帯(n=28)	82.1	78.6	67.9	39.3	50.0	39.3	17.9	35.7	25.0	7.1	0.0	0.0	3.6
共働き世帯（類型１）(n=205)	94.1	93.2	76.1	76.1	69.8	56.6	54.1	40.0	38.5	36.1	2.9	0.0	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=49)	87.8	87.8	75.5	75.5	57.1	42.9	38.8	46.9	24.5	32.7	2.0	0.0	0.0
【経済状況別】													
一般層(n=244)	91.0	91.0	76.2	73.8	65.6	57.0	49.2	41.0	36.1	33.6	2.5	0.4	0.0
低所得層(n=48)	93.8	83.3	62.5	62.5	64.6	27.1	35.4	37.5	25.0	25.0	2.1	0.0	2.1

(4)学校等での体験活動

小学生 問 22 、中学生 問 22 、高校生 問 22
あなたは、総合的な学習の時間や放課後・休日に、次のような体験活動をしたことがありますか。
（複数回答）

小学生

「農業体験(野菜を育てたり、育てた野菜を食べる活動)」が 31.5%と最も高く、「そうじなどのボランティア活動」が 15.8%、「地元の会社や工場で仕事体験」が 10.8%と続いている。

経済状況別にみると、低所得層において「特にしていない」割合が高くなっている。

(%)	農業体験(野菜を育てたり、育てた野菜を食べる活動)	そうじなどのボランティア活動	地元の会社や工場で仕事体験	赤ちゃんとのふれあい、子育て体験	外国人との交流	お年寄りや体が不自由な人のお手伝いの体験	その他	特にしていない	無回答
小学生(n=1,184)	31.5	15.8	10.8	10.6	10.4	6.6	3.0	49.7	0.2
【世帯類型別】									
ひとり親世帯(n=81)	28.4	14.8	6.2	11.1	14.8	8.6	7.4	49.4	0.0
共働き世帯（類型１）(n=152)	36.8	18.4	13.2	10.5	10.5	3.9	3.9	45.4	0.0
共働き世帯（類型２）(n=214)	29.0	15.9	9.3	7.5	9.8	4.2	3.7	52.3	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=130)	38.5	11.5	8.5	12.3	13.1	7.7	1.5	49.2	0.0
【経済状況別】									
一般層(n=326)	32.5	13.5	11.3	10.1	11.3	5.5	4.0	48.5	0.0
準低所得層(n=222)	35.6	18.9	9.0	9.0	12.2	5.0	3.2	50.0	0.0
低所得層(n=37)	21.6	13.5	0.0	8.1	10.8	5.4	5.4	56.8	0.0

中学生

「農業体験」が 29.1%と最も高く、「掃除や環境美化などのボランティア活動」が 23.6%、「外国人との交流（学校の授業以外）」が 14.1%と続いている。

経済状況別にみると、準低所得層・低所得層において一般層よりも「特にしていない」割合が高くなっている。

（%）	農業体験	掃除や環境美化などのボランティア活動	外国人との交流（学校の授業以外）	地元企業での職場体験	赤ちゃんとのふれあい、子育て・保育体験	高齢者や障害者への福祉活動体験	その他	特にしていない	無回答
中学生(n=632)	29.1	23.6	14.1	13.3	9.8	5.2	2.2	46.4	1.1
【世帯類型別】									
ひとり親世帯(n=40)	25.0	20.0	5.0	15.0	12.5	2.5	7.5	50.0	0.0
共働き世帯（類型１）(n=55)	27.3	27.3	12.7	14.5	16.4	5.5	0.0	52.7	0.0
共働き世帯（類型２）(n=144)	32.6	26.4	13.2	14.6	7.6	6.3	4.2	38.9	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=61)	24.6	19.7	9.8	14.8	3.3	0.0	0.0	55.7	0.0
【経済状況別】									
一般層(n=170)	32.9	27.6	11.2	17.1	9.4	5.3	2.9	41.2	0.0
準低所得層(n=107)	22.7	21.8	11.8	11.8	10.0	3.6	2.7	52.7	0.0
低所得層(n=19)	21.1	15.8	10.5	10.5	5.3	0.0	5.3	47.4	0.0

高校生

「掃除や環境美化などのボランティア活動」が 30.7%と最も高く、「農業体験」が 22.9%、「地元企業での職場体験、インターンシップ」が 20.1%と続いている。

経済状況別にみると、低所得層において一般層よりも「特にしていない」割合が高くなっている。

(%)	掃除や環境美化などのボランティア活動	農業体験	地元企業での職場体験、インターンシップ	外国人との交流（学校の授業以外）	高齢者や障害者への福祉活動体験	赤ちゃんとのふれあい、子育て・保育体験	その他	特にしていない	無回答
高校生(n=293)	30.7	22.9	20.1	15.7	13.7	12.3	1.4	42.0	0.3
【世帯類型別】									
ひとり親世帯(n=28)	14.3	17.9	10.7	7.1	7.1	10.7	3.6	50.0	3.6
共働き世帯（類型１）(n=205)	36.1	25.4	23.9	17.6	15.6	13.2	1.0	38.0	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=49)	20.4	20.4	10.2	16.3	12.2	10.2	2.0	51.0	0.0
【経済状況別】									
一般層(n=244)	34.0	23.8	22.5	16.4	13.1	13.5	1.2	39.3	0.0
低所得層(n=48)	14.6	18.8	6.3	12.5	16.7	6.3	2.1	56.3	2.1

第 10 節　支援制度の利用状況や効果等

■結果の概要

【支援制度の利用状況】

・利用意向については、全体的に、小・中学生では準低所得層に、高校生では低所得層に利用意向が高くみられた。
・子ども食堂については、小学生の利用している割合が 14.3％と最も高くなっている。
・勉強を無料でみてくれる場所については、いずれの調査も利用経験がある人は 1 割未満であった。
・（家や学校以外で）何でも相談できる場所については、いずれの調査も利用経験がある人は 1 割未満であった。

【これから期待する事業やサービス】

・いずれの調査においても「放課後に友だちとおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごしたりできる場所や施設を増やすこと」が最も高くなっており、気軽に立ち寄れる居場所づくりが求められていると考えられる。

(1)支援制度の利用状況・利用希望

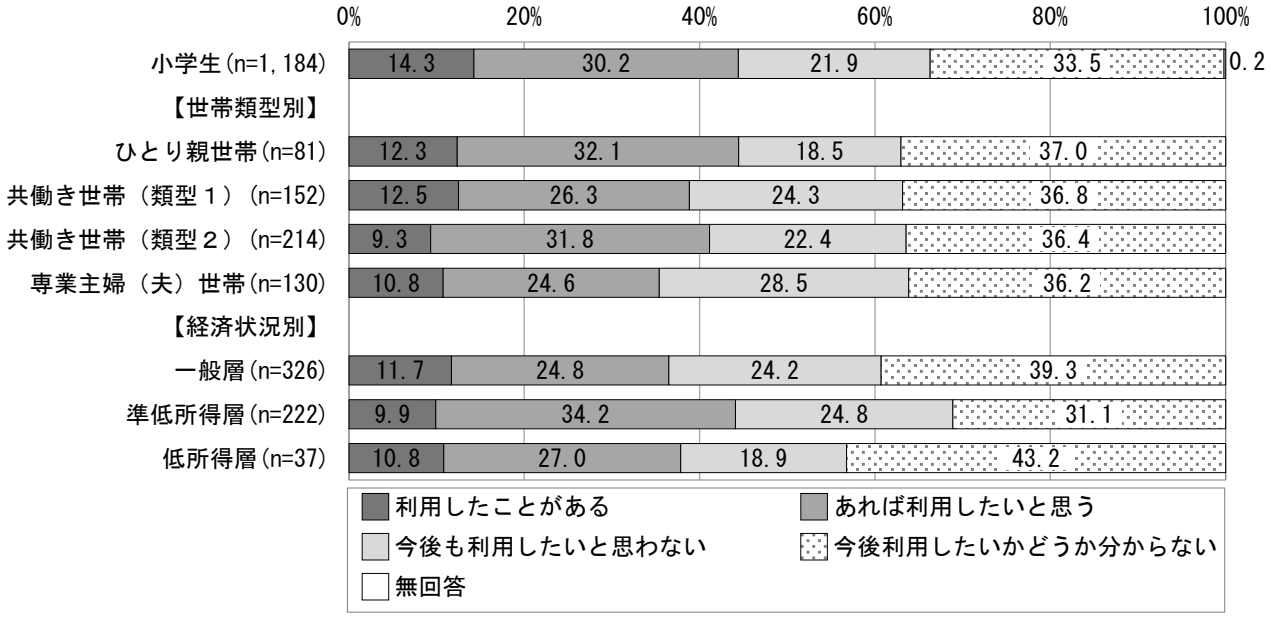
小学生 問18 、中学生 問18 、高校生 問18
あなたは、次の①～③のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(単数回答)

小学生

①子ども食堂

「利用したことがある」が14.3%、「あれば利用したいと思う」が30.2%となっている。

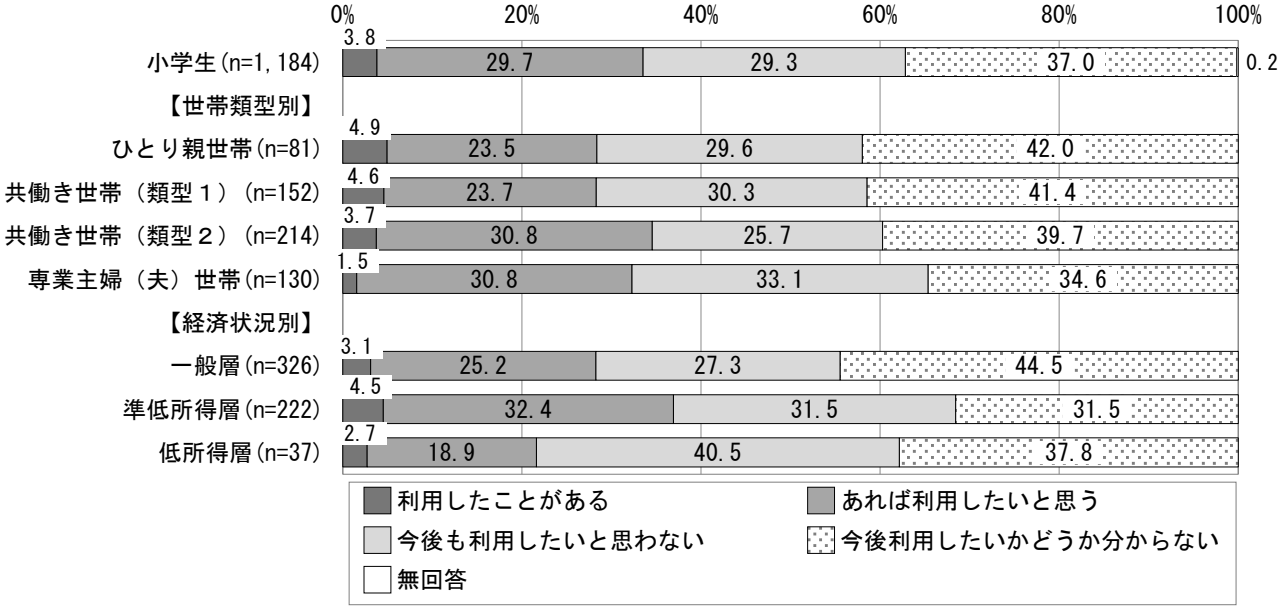
世帯類型別では、専業主婦(夫)世帯において「あれば利用したいと思う」の割合が低くなっている。経済状況別では、準低所得層の「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。



②勉強を無料でみてくれる場所

「利用したことがある」が 3.8%、「あれば利用したいと思う」が 29.7%となっている。

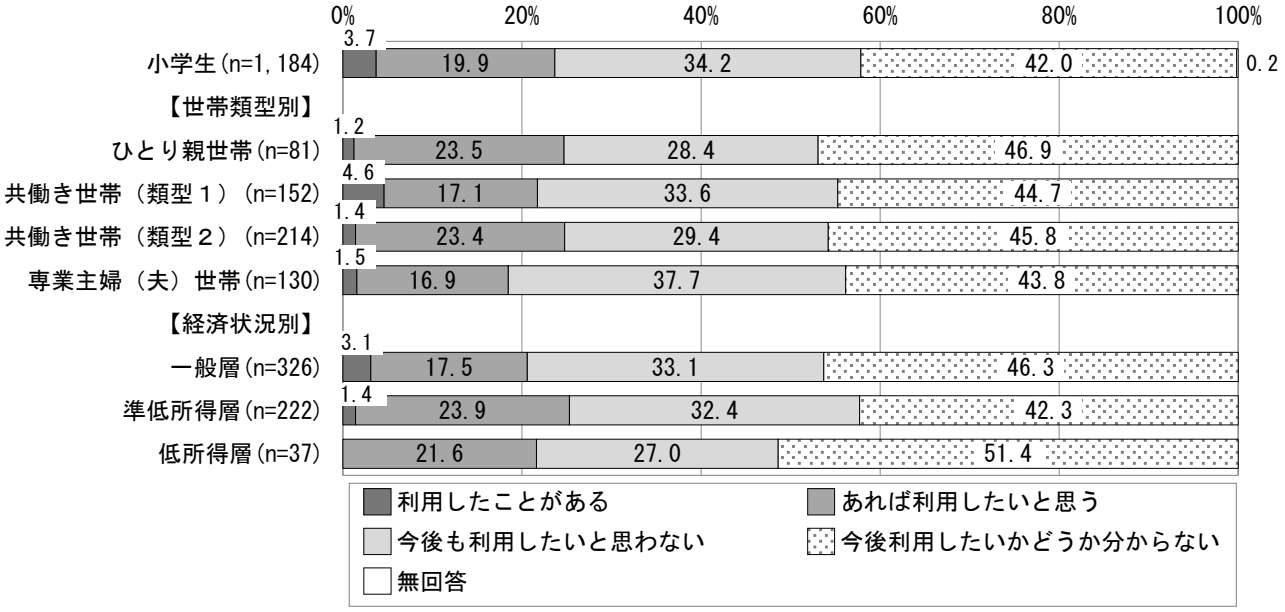
世帯類型別では、共働き世帯（類型2）及び専業主婦（夫）世帯において「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。経済状況別では、準低所得層の「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。



③何でも相談できる場所

「利用したことがある」が 3.7%、「あれば利用したいと思う」が 19.9%となっている。

世帯類型別では、ひとり親世帯及び共働き世帯（類型2）において「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。経済状況別では、準低所得層の「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。

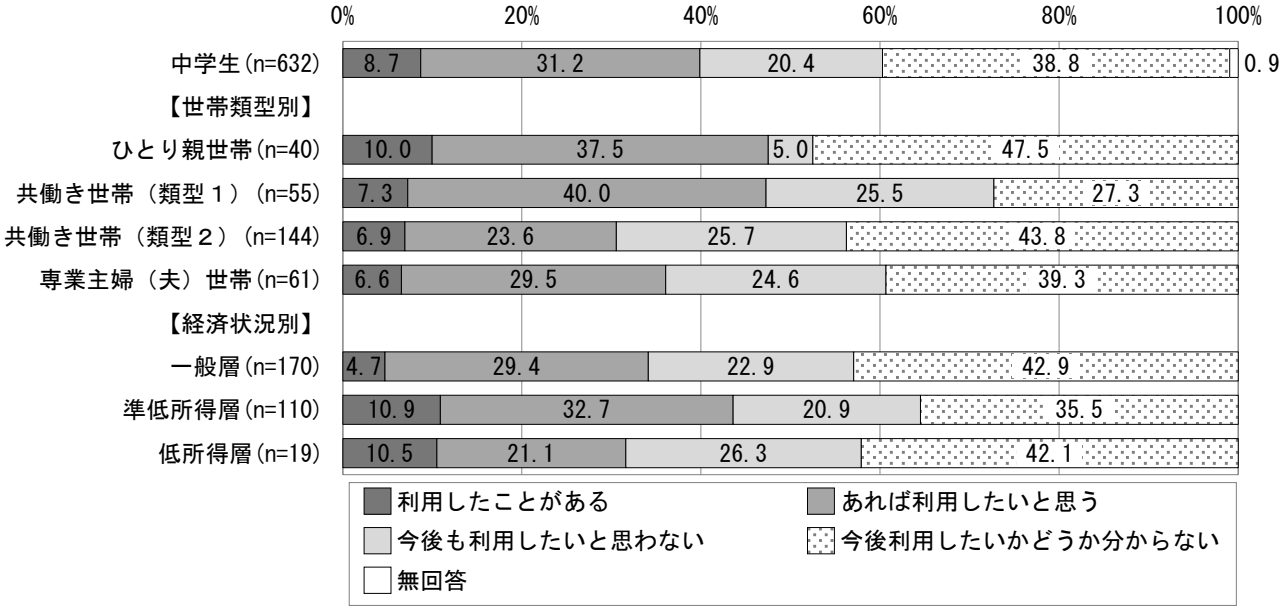


中学生

①子ども食堂

「利用したことがある」が 8.7%、「あれば利用したいと思う」が 31.2%となっている。

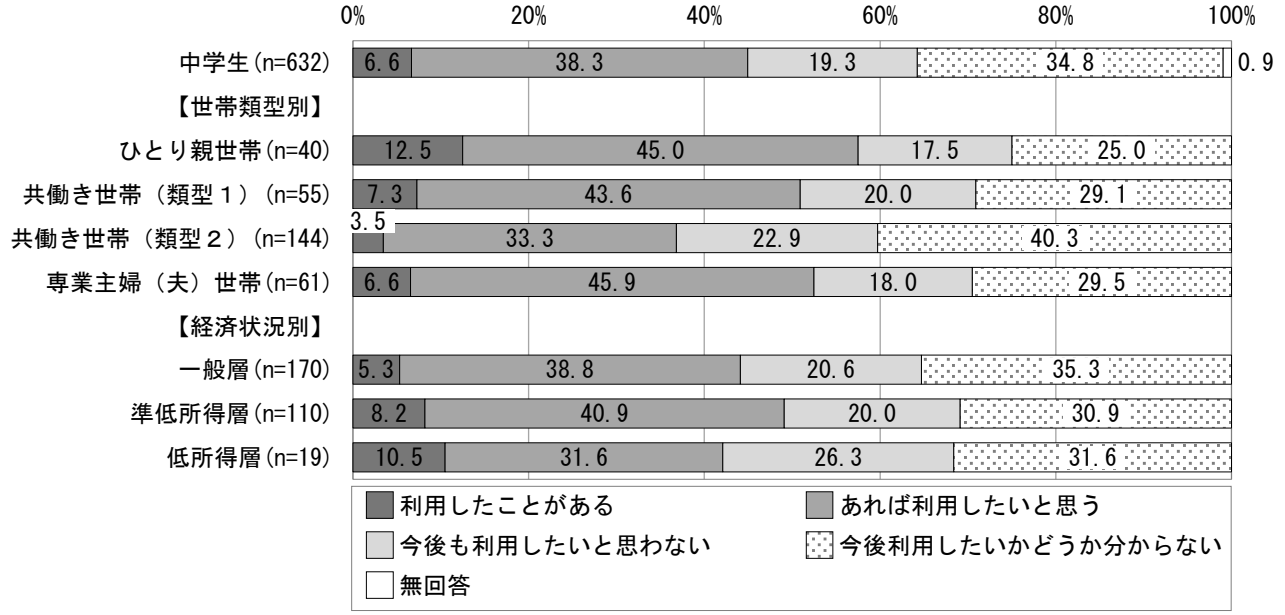
世帯類型別では、ひとり親世帯及び共働き世帯(類型1)において「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。経済状況別では、準低所得層の「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。



②勉強を無料でみてくれる場所

「利用したことがある」が 6.6%、「あれば利用したいと思う」が 38.3%となっている。

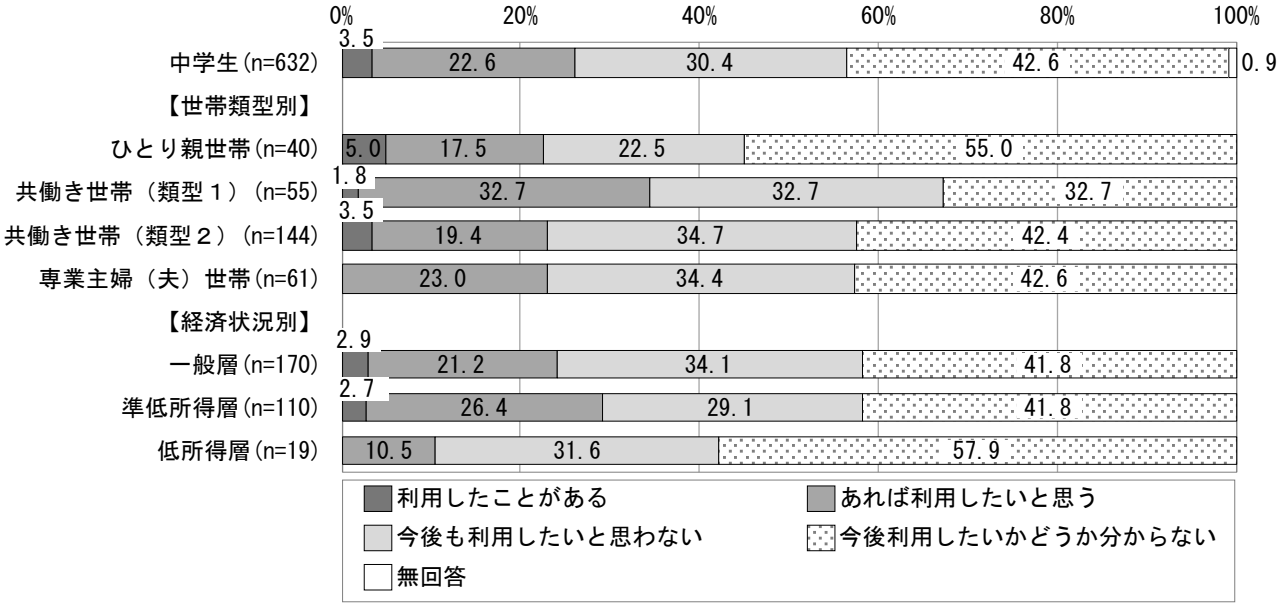
世帯類型別では、共働き世帯(類型2)において「あれば利用したいと思う」の割合が低くなっている。経済状況別では、準低所得層の「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。



③何でも相談できる場所

「利用したことがある」が 3.5%、「あれば利用したいと思う」が 22.6%となっている。

世帯類型別では、共働き世帯（類型1）において「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。経済状況別では、準低所得層の「あれば利用したいと思う」が高くなっている。

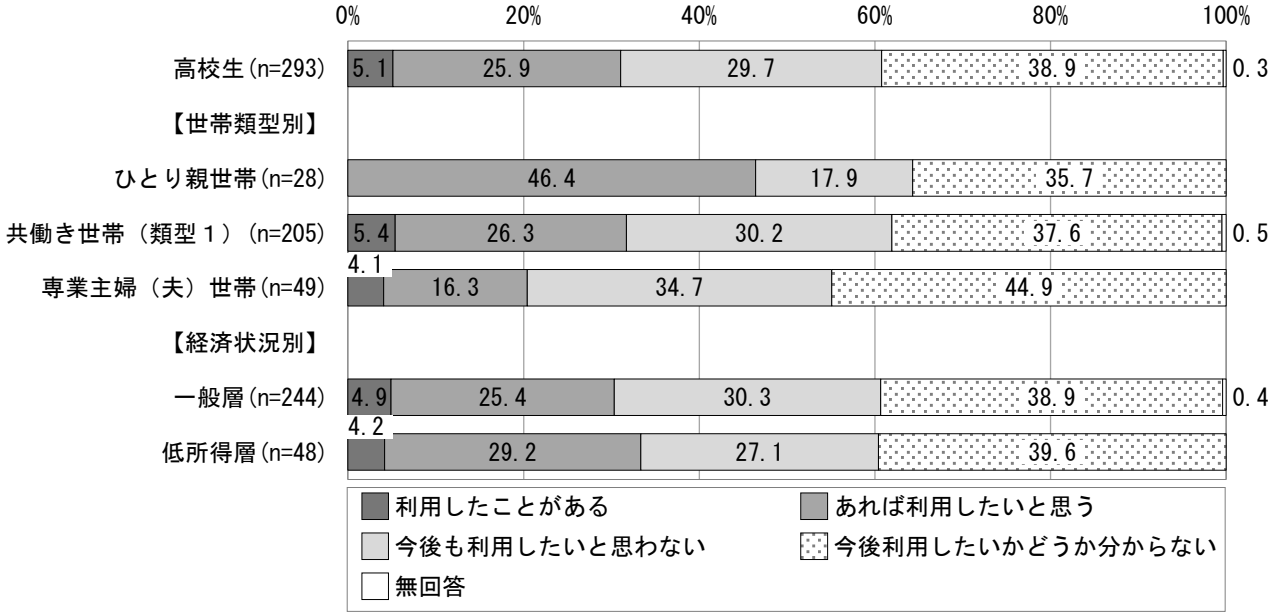


高校生

①子ども食堂

「利用したことがある」が 5.1%、「あれば利用したいと思う」が 25.9%となっている。

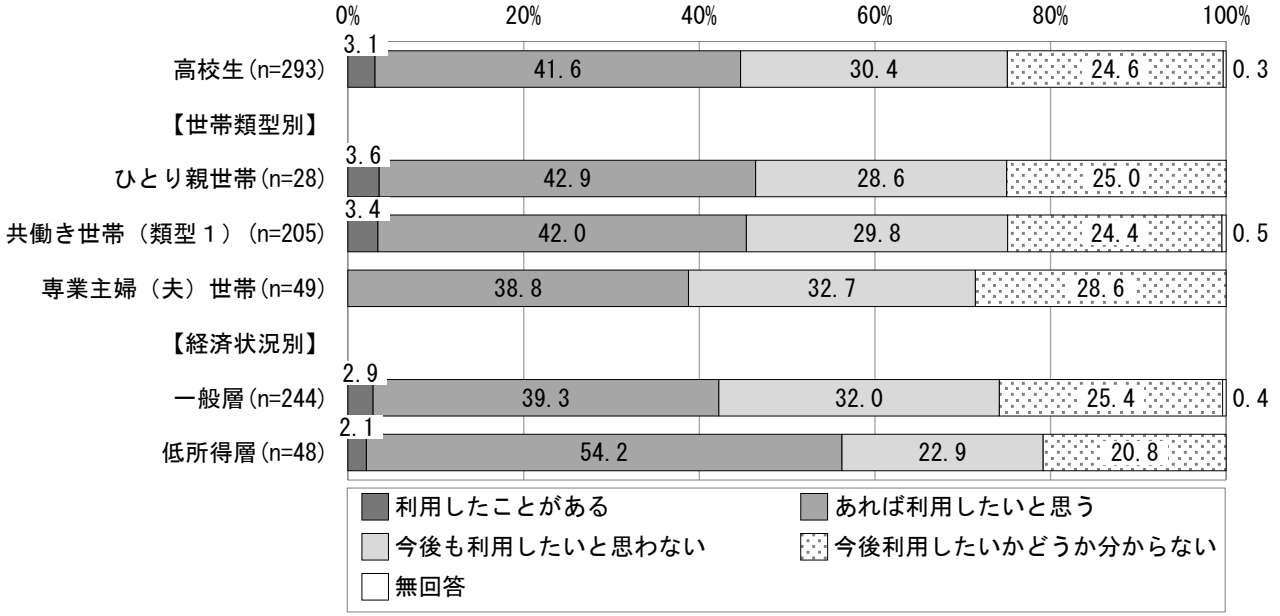
世帯類型別では、ひとり親世帯において「あれば利用したいと思う」の割合が高くなっている。経済状況別では、一般層と低所得層の「利用したことがある」と「あれば利用したいと思う」の割合に大きな違いはみられない。



②勉強を無料でみてくれる場所

「利用したことがある」が 3.1%、「あれば利用したいと思う」が 41.6%となっている。

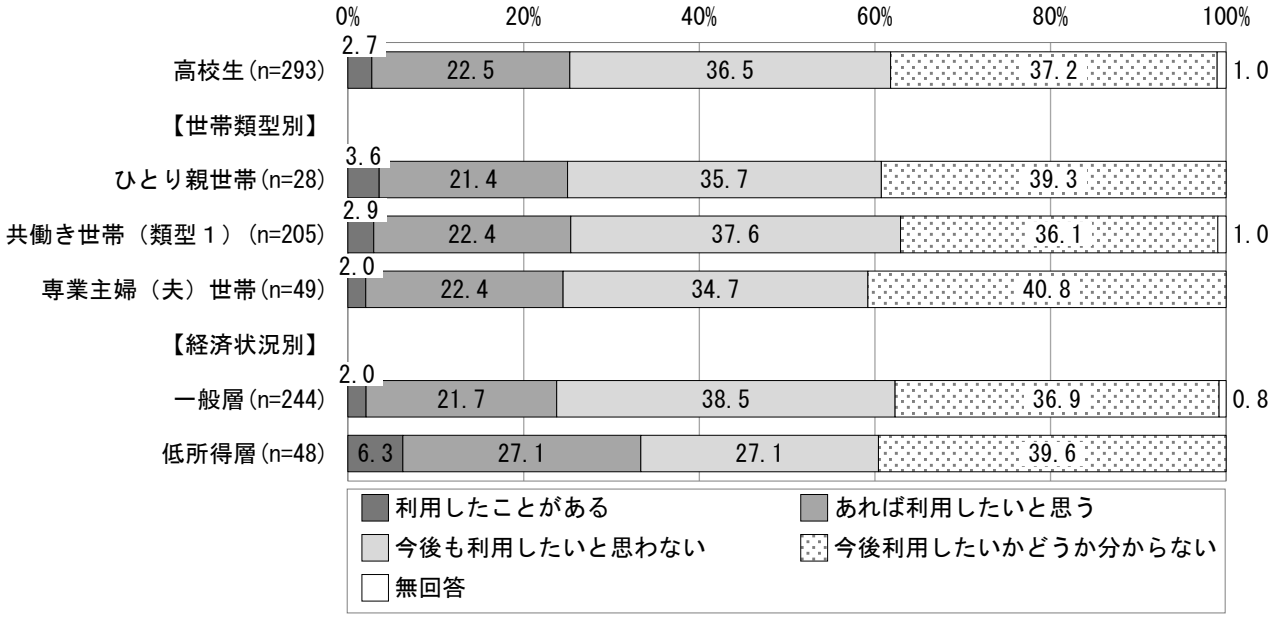
世帯類型別では、大きな違いはみられない。経済状況別では、低所得層において「あれば利用したいと思う」割合が高くなっている。



③何でも相談できる場所

「利用したことがある」が 2.7%、「あれば利用したいと思う」が 22.5%となっている。

世帯類型別では、大きな違いはみられない。経済状況別では、低所得層において「あれば利用したいと思う」割合が高くなっている。



(2)支援制度利用の効果

小学生 問 18-1 、中学生 問 18-1 、高校生 問 18-1
【「支援制度の利用状況・利用希望」で1つでも「利用したことがある」を選択した方のみ】
そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(複数回答)

小学生

「友だちが増えた」が 44.2%と最も高く、「生活の中で楽しみなことが増えた」が 40.9%と続いている。

(%)	友だちが増えた	生活の中で楽しみなことが増えた	ほっとできる時間が増えた	気軽に話せる大人が増えた	勉強がわかるようになった	栄養のある食事をとれることが増えた	勉強する時間が増えた	その他	特に変化はない	無回答
小学生(n=215)	44.2	40.9	36.3	30.7	23.3	22.3	15.3	4.2	31.6	0.0
【世帯類型別】										
ひとり親世帯(n=13)	30.8	23.1	23.1	23.1	7.7	15.4	7.7	15.4	46.2	0.0
共働き世帯（類型１）(n=29)	34.5	27.6	27.6	44.8	24.1	17.2	13.8	3.4	41.4	0.0
共働き世帯（類型２）(n=28)	53.6	35.7	25.0	28.6	17.9	14.3	10.7	0.0	28.6	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=16)	25.0	37.5	37.5	6.3	18.8	25.0	18.8	12.5	37.5	0.0
【経済状況別】										
一般層(n=51)	43.1	39.2	33.3	37.3	21.6	23.5	11.8	5.9	31.4	0.0
準低所得層(n=31)	35.5	19.4	19.4	19.4	12.9	12.9	12.9	3.2	41.9	0.0
低所得層(n=5)	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	60.0	0.0

中学生

「友達が増えた」が 34.1%と最も高く、「ほっとできる時間が増えた」が 23.9%、「勉強がわかるようになった」が 19.3%と続いている。

（%）	友達が増えた	ほっとできる時間が増えた	勉強がわかるようになった	生活の中で楽しみなことが増えた	気軽に話せる大人が増えた	栄養のある食事をとれることが増えた	勉強する時間が増えた	その他	特に変化はない	無回答
中学生(n=88)	34.1	23.9	19.3	18.2	14.8	14.8	13.6	1.1	42.0	0.0
【世帯類型別】										
ひとり親世帯(n=9)	22.2	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2	0.0	66.7	0.0
共働き世帯（類型１）(n=6)	33.3	16.7	50.0	0.0	16.7	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0
共働き世帯（類型２）(n=15)	33.3	33.3	13.3	13.3	20.0	20.0	13.3	0.0	40.0	0.0
専業主婦（夫）世帯(n=7)	0.0	14.3	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	0.0
【経済状況別】										
一般層(n=18)	27.8	5.6	16.7	22.2	11.1	22.2	11.1	0.0	44.4	0.0
準低所得層(n=17)	29.4	17.6	17.6	23.5	5.9	17.6	17.6	0.0	47.1	0.0
低所得層(n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0

高校生

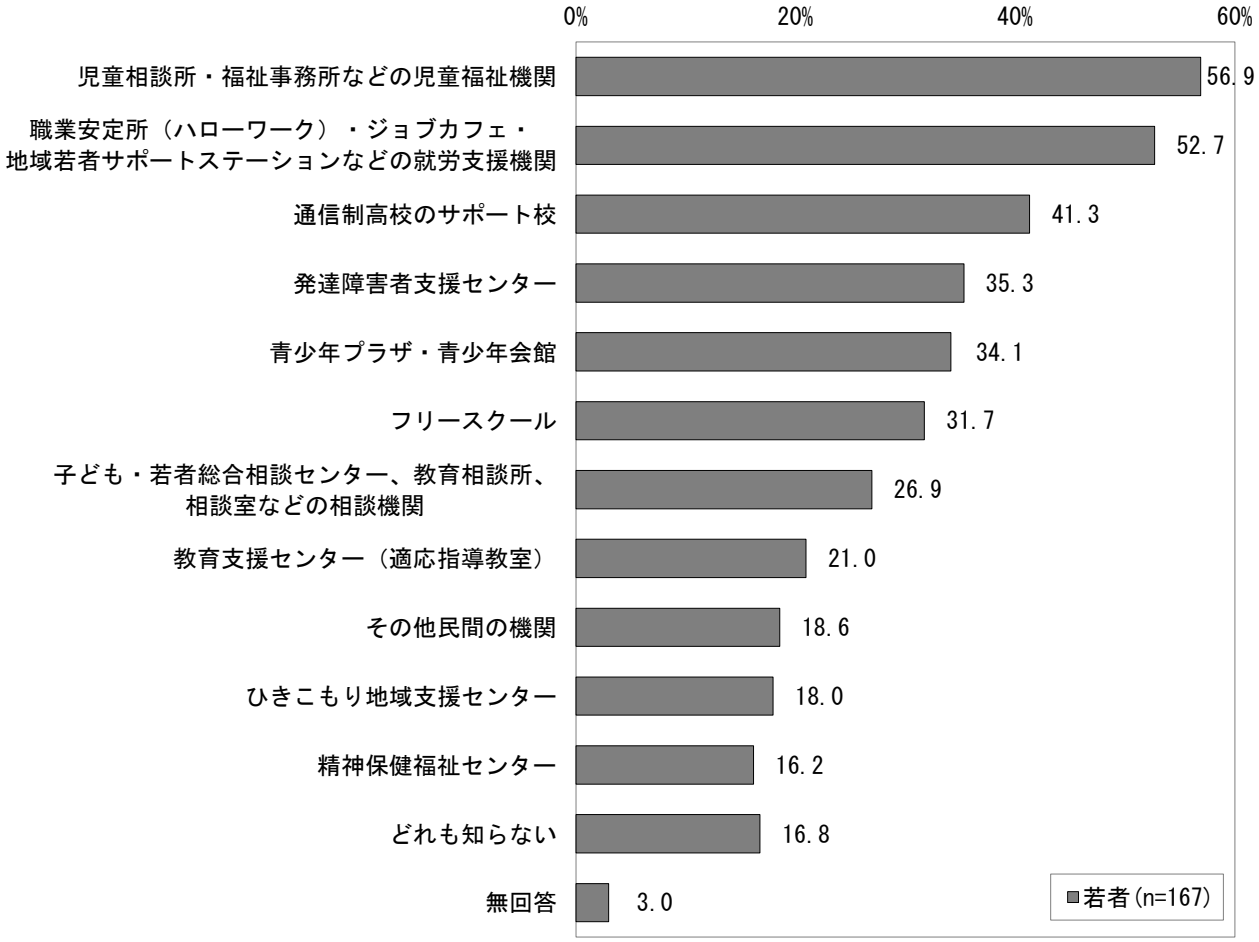
「気軽に話せる大人が増えた」が 13.8%と最も高く、「生活の中で楽しみなことが増えた」と「ほっとできる時間が増えた」、「勉強する時間が増えた」が、それぞれ 10.3%と続いている。

(%)	気軽に話せる大人が増えた	生活の中で楽しみなことが増えた	ほっとできる時間が増えた	勉強する時間が増えた	友達が増えた	栄養のある食事をとれることが増えた	勉強がわかるようになった	その他	特に変化はない	無回答
高校生(n=29)	13.8	10.3	10.3	10.3	6.9	6.9	0.0	3.4	55.2	6.9
【世帯類型別】										
ひとり親世帯(n=2)	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
共働き世帯（類型１）(n=22)	13.6	9.1	13.6	9.1	4.5	9.1	0.0	4.5	59.1	4.5
専業主婦（夫）世帯(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
【経済状況別】										
一般層(n=22)	13.6	9.1	9.1	13.6	9.1	9.1	0.0	0.0	59.1	4.5
低所得層(n=6)	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0

(3)子ども・若者支援機関の認知度

若者 問25
あなたは、子ども・若者を対象とした、次の育成支援機関等を知っていますか。(複数回答)

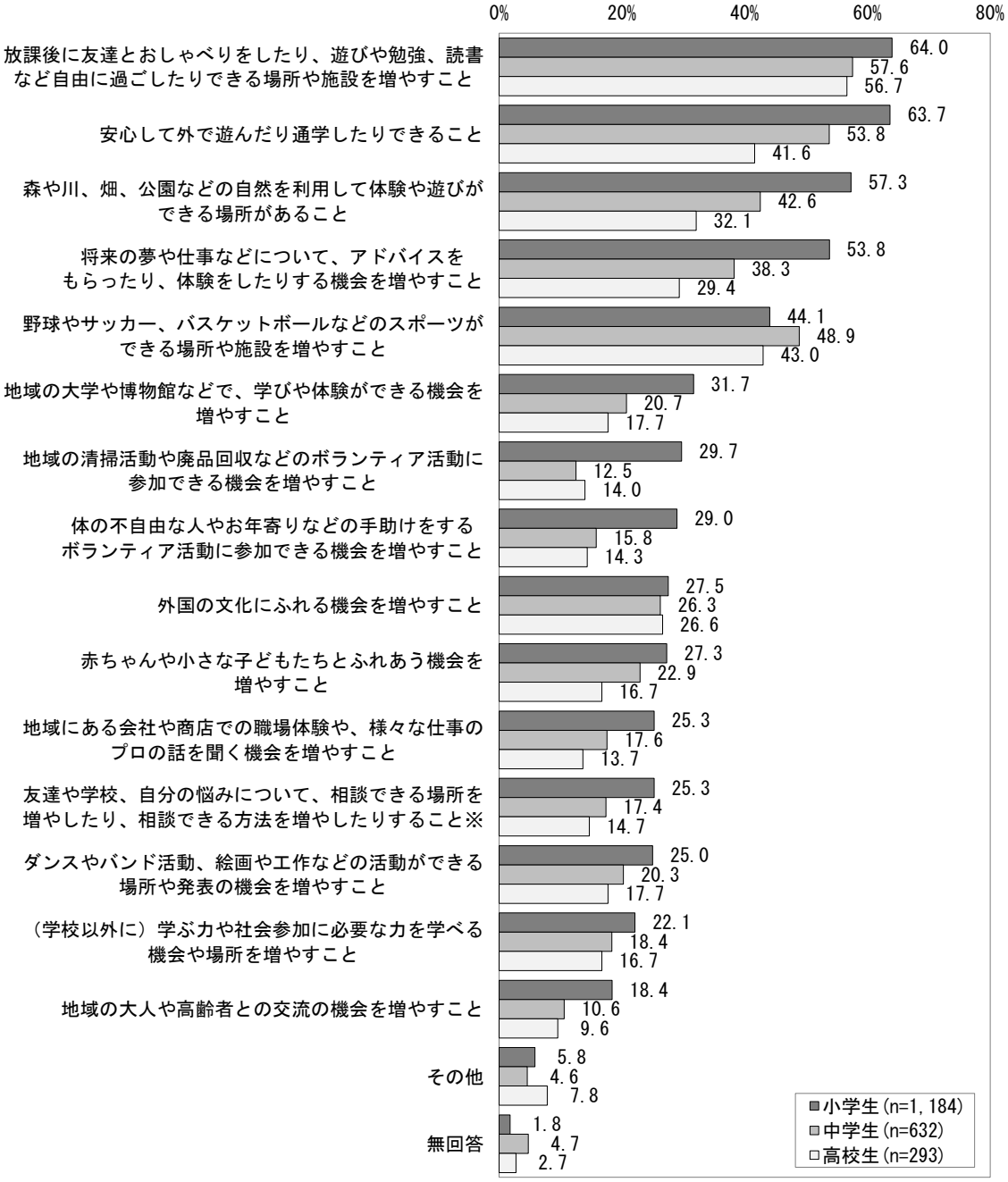
「児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関」が 56.9%と最も高く、「職業安定所(ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」が 52.7%、「通信制高校のサポート校」が 41.3%と続いている。



(4)これから期待する事業やサービス

小学生 問23 、中学生 問23 、高校生 問23
あなたが松戸市にあったらいいなと思うものやこれから力を入れてもらいたいことにはどのようなものがありますか。(複数回答)

すべての年代で、「放課後に友だちとおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごしたりできる場所や施設を増やすこと」が最も高くなっている。



※「友達や学校、自分の悩みについて、相談できる場所を増やしたり、相談できる方法を増やしたりすること」は、「友達や学校、自分の悩みについて、相談できる場所を増やしたり、メールや電話、SNS など、相談できる方法を増やしたりすること」の略

第４章　調査の結果③

＜転出世帯＞

第1節　転出世帯の実態

■結果の概要

・転出理由は「住宅を購入したため」が多くを占めている。転出先との比較においても、転出先の新築住宅に魅力を感じる人が多くなっている。子育て支援や自然環境が充実しているから転出するのではなく、購入可能な魅力的な住宅があることが、転出のきっかけになっている可能性が考えられる。

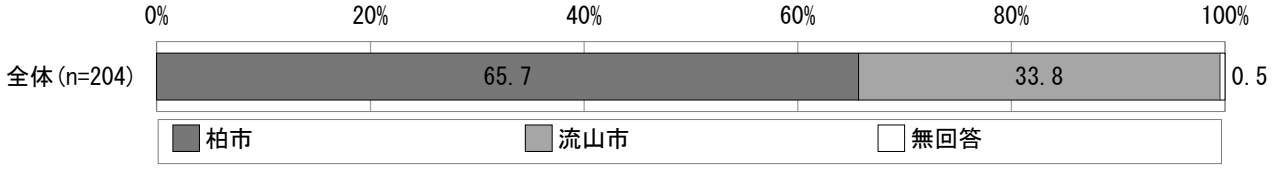
・柏市・流山市それぞれとの比較においても、松戸市の子育て世帯への経済的支援や医療を特に評価されている一方、柏市は住宅の選択肢が多いこと、流山市はまちづくりや都市開発が特に評価されている。

・柏市・流山市への転出者の約7割が、転出してよかったと回答している。その一方で、再び松戸市に住みたいと考える転出者は約6割となっており、松戸市に不満があって転出している人が多いわけではないと考えられる。

(1)転出後の居住地

転出世帯 問1
松戸市から転出後は、どちらの市区町村にお住まいですか。(記述回答)

「柏市」が 65.7%、「流山市」が 33.8%となっている。

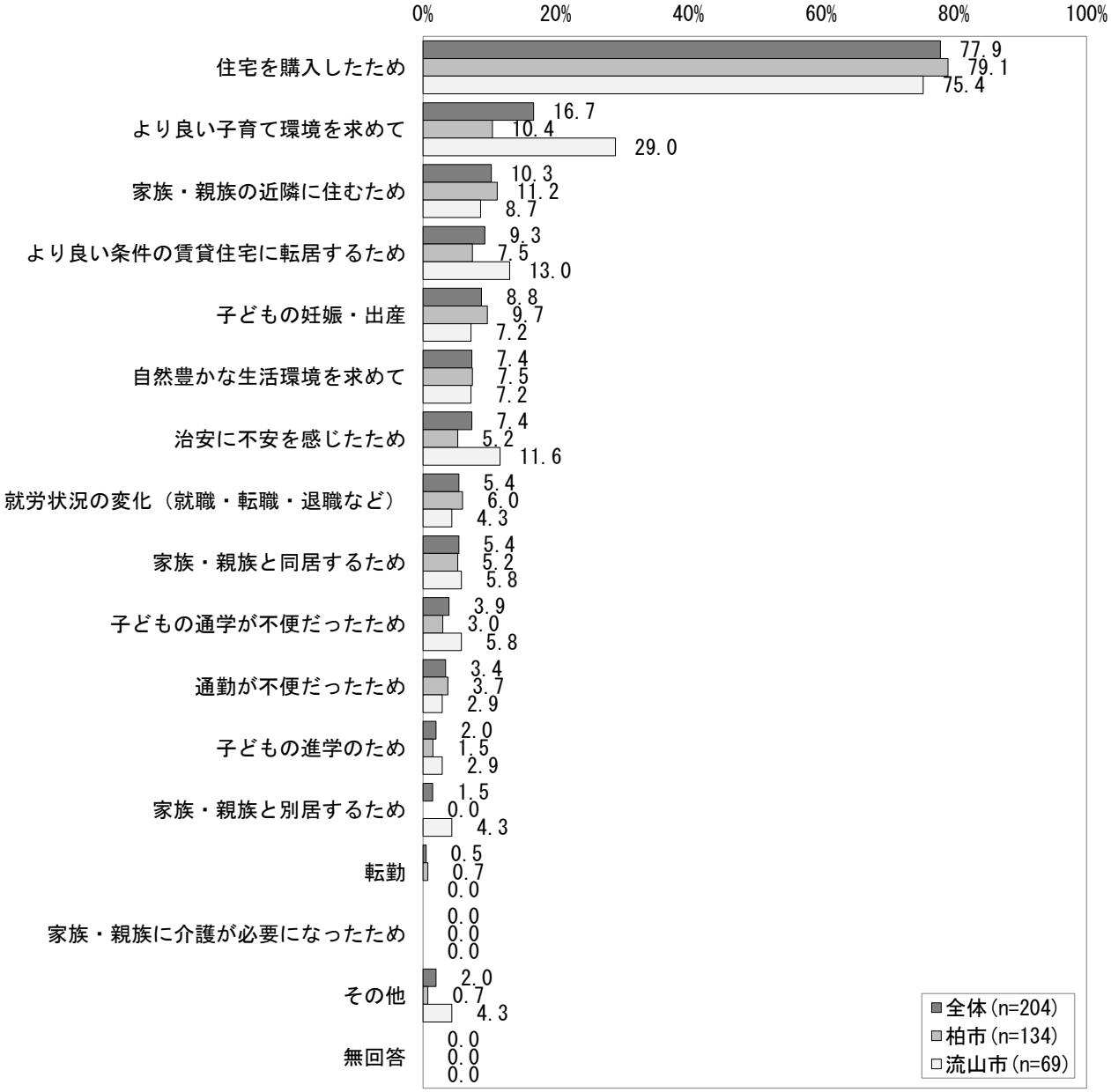


(2)転出理由

転出世帯 問 2
松戸市から転出したきっかけはなんですか。(複数回答)

全体では、「住宅を購入したため」が 77.9%と最も高くなっている。

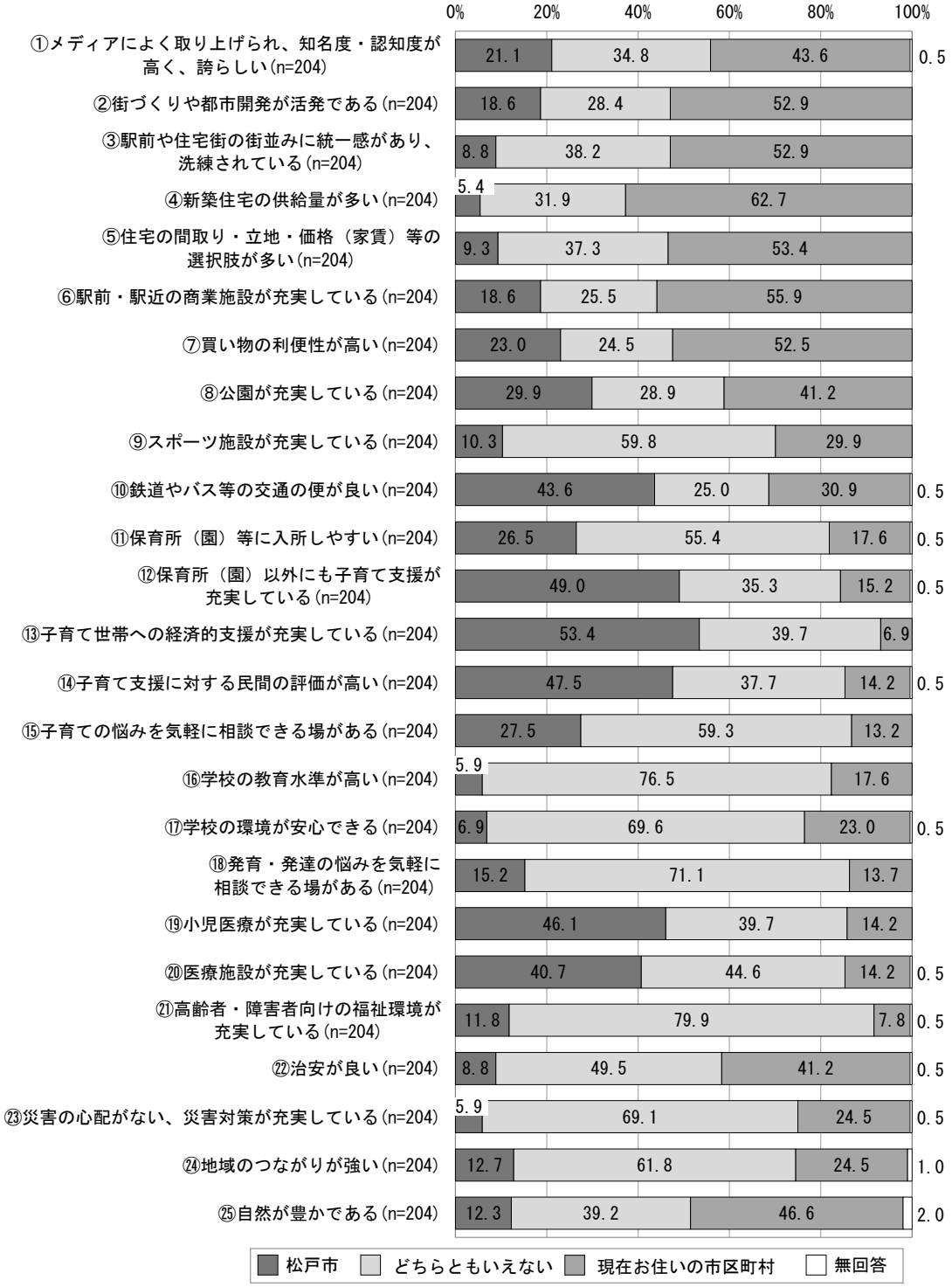
流山市へ転出した理由として「より良い子育て環境を求めて」が29.0%と高くなっているものの、購入できる魅力的な住宅があることが転出の主なきっかけになっていると考えられる。



（3）転出先との比較

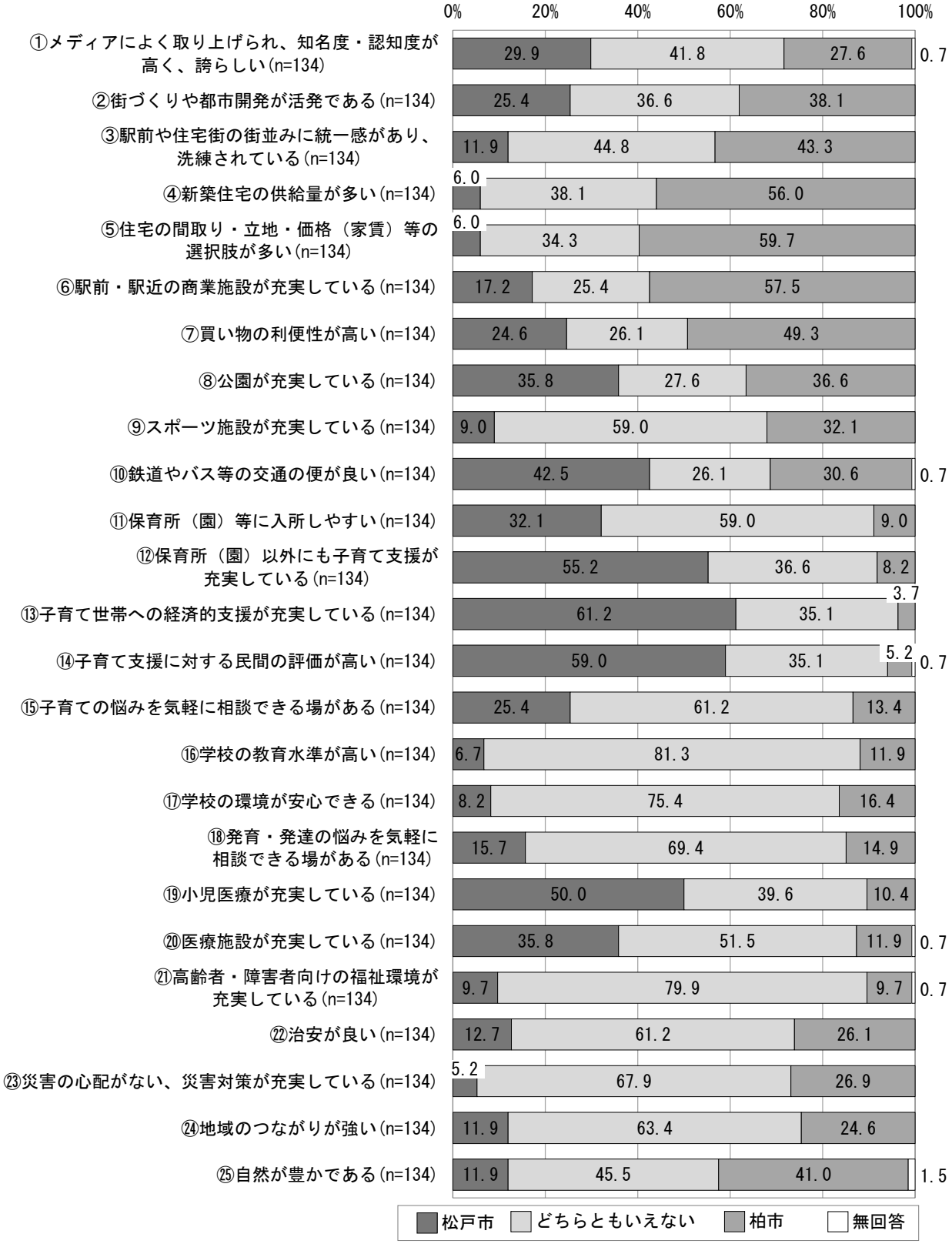
転出世帯 問 3
子育てや住環境等に関する次の項目について、松戸市と現在お住いの市区町村を比較して、良いと感じる方をお答えください。（単数回答）

転出先との比較で、松戸市のほうが良いと思う項目としては「子育て世帯への経済的支援が充実している」が 53.4%、現在お住いの市区町村のほうが良いと思う項目としては、「新築住宅の供給量が多い」が62.7%とそれぞれ最も高くなっている。



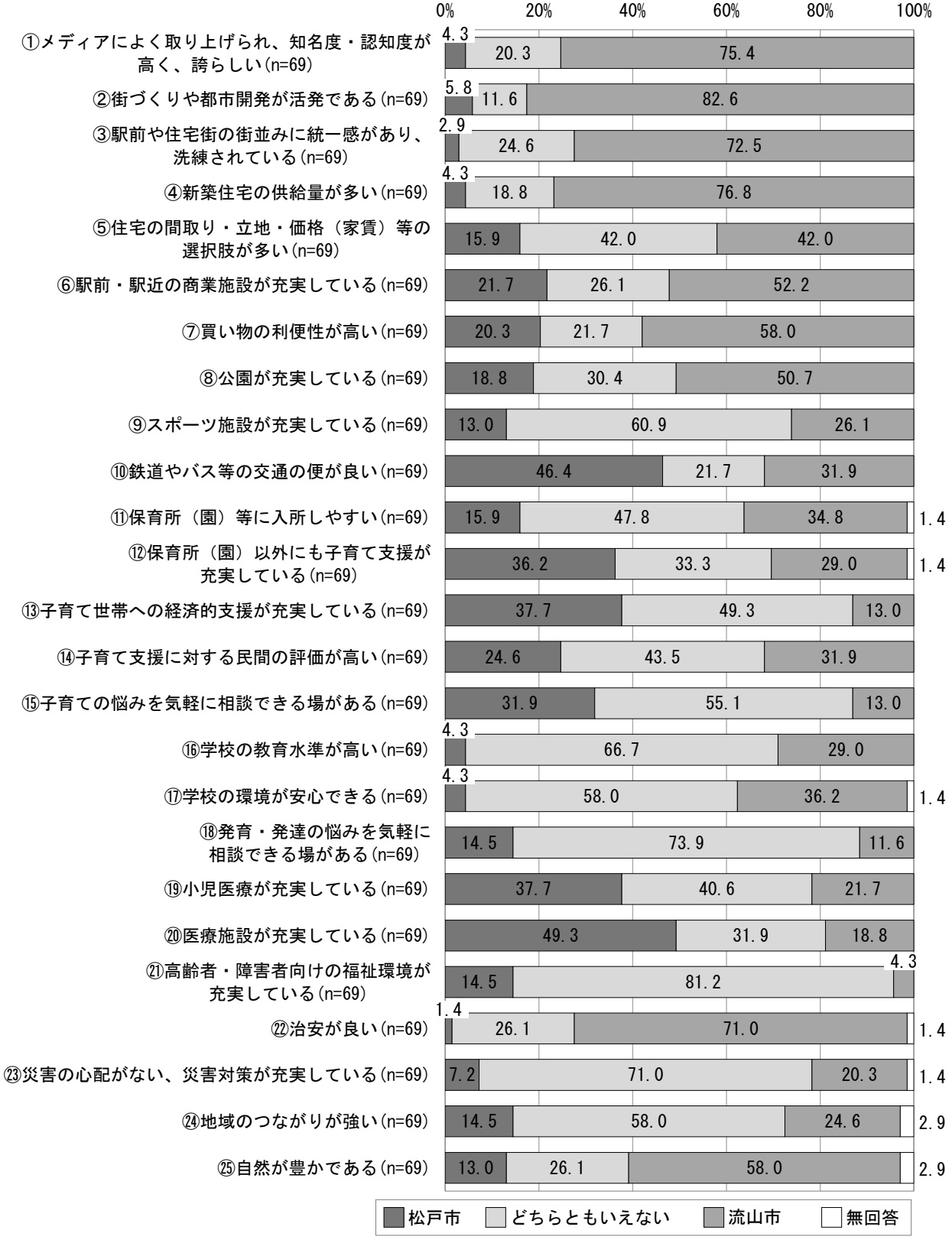
①　柏市

柏市との比較で、松戸市のほうが良いと思う項目としては「子育て世帯への経済的支援が充実している」が 61.2%、柏市のほうが良いと思う項目としては、「住宅の間取り・立地・価格（家賃）等の選択肢が多い」が 59.7%とそれぞれ最も高くなっている。



② 流山市

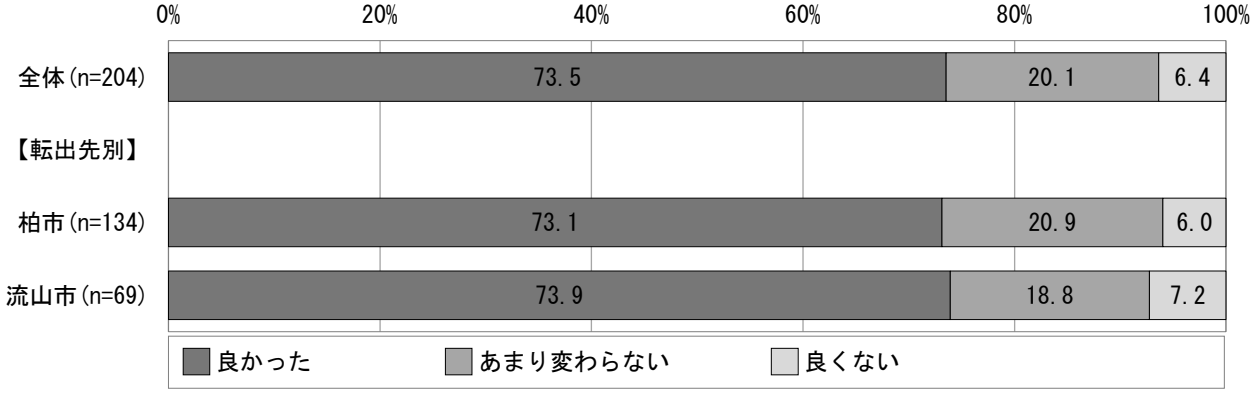
流山市との比較で、松戸市のほうが良いと思う項目としては「医療施設が充実している」が 49.3%、流山市のほうが良いと思う項目としては「街づくりや都市開発が活発である」が 82.6%とそれぞれ最も高くなっている。



(4)転出の満足度

転出世帯 問 4
全体として、引っ越しをして良かったと思いますか。(単数回答)

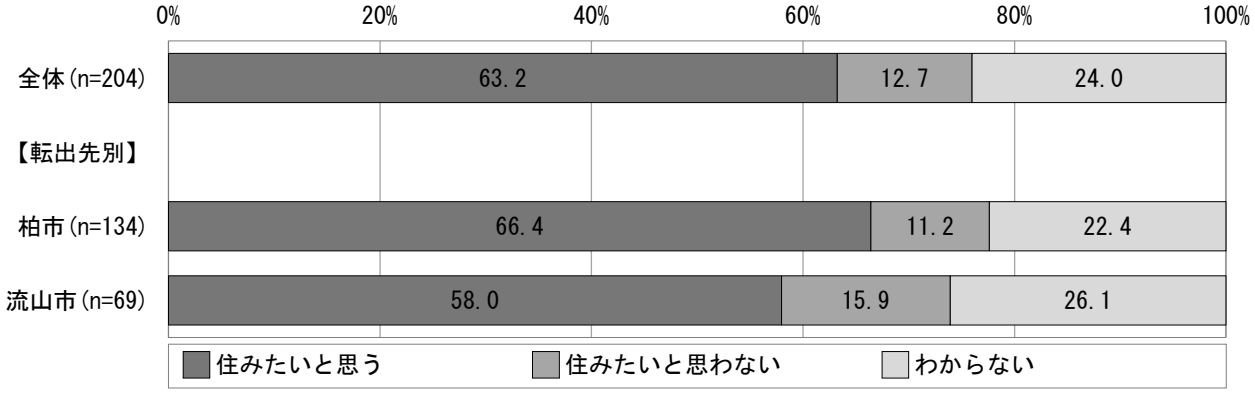
全体では、「良かった」が 73.5%と最も高く、「あまり変わらない」が 20.1%、「良くない」が 6.4%と続いている。



(5)松戸市に再び転入する可能性

転出世帯 問 5
もし機会があれば、また松戸市に住みたいと思いますか。(単数回答)

全体では、「住みたいと思う」が 63.2%と最も高く、「わからない」が 24.0%、「住みたいと思わない」が 12.7%と続いている。

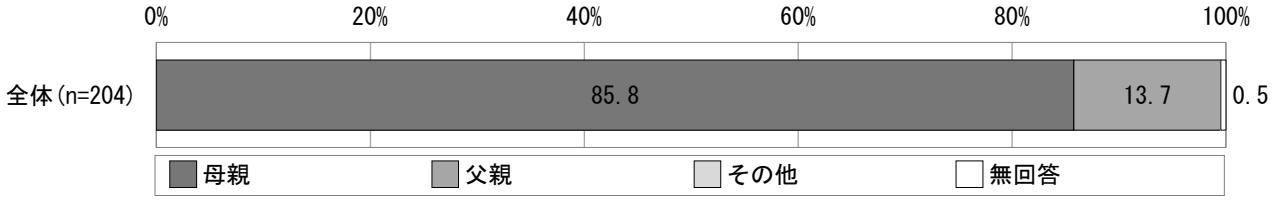


第2節　転出世帯の属性

(1)子どもから見た続柄

転出世帯 問 6
回答いただいているのはどなたですか。お子さんからみた続柄でお答えください。(単数回答)

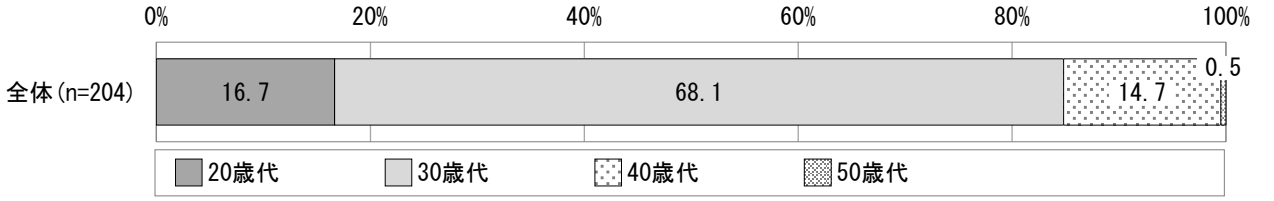
全体では、「母親」が 85.8%、「父親」が 13.7%となっている。



(2)年齢

転出世帯 問 7
回答いただいている方の年齢をお答えください。(単数回答)

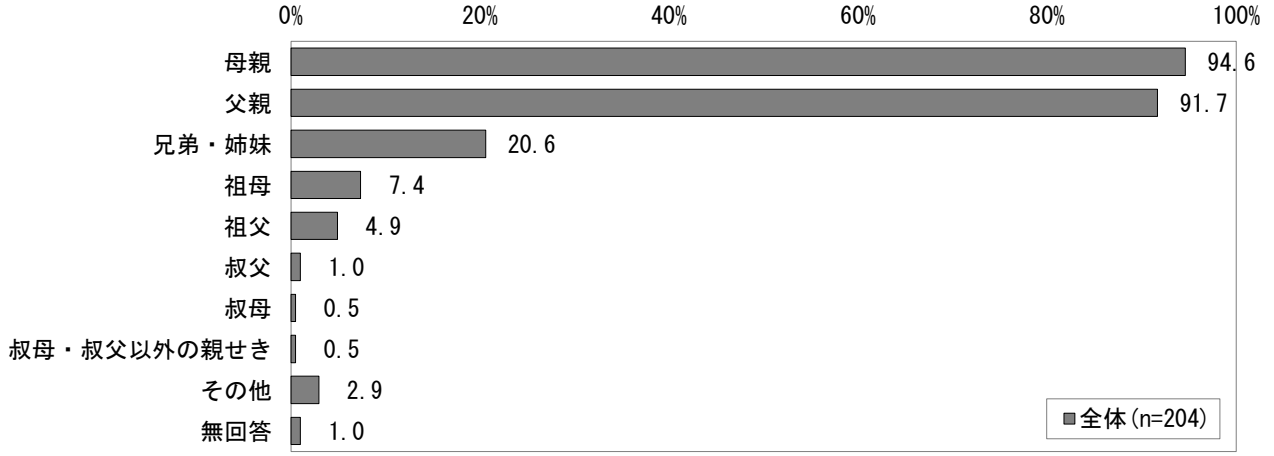
全体では、「30 歳代」が 68.1%と最も高く、「20 歳代」が 16.7%、「40 歳代」が 14.7%と続いている。



(3)同居状況

転出世帯 問 8
同居しているご家族をお答えください。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(複数回答)

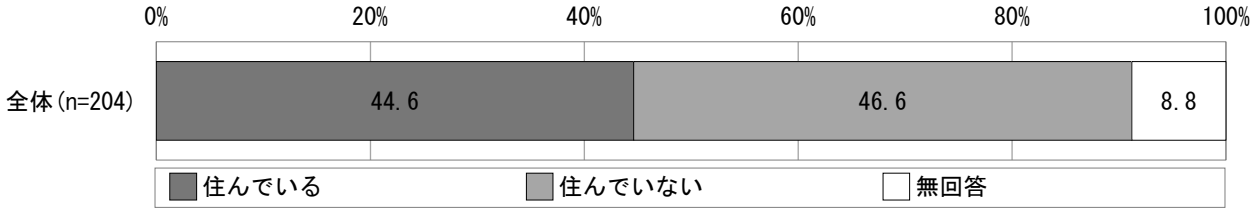
全体では、「母親」が 94.6%と最も高く、「父親」が 91.7%、「兄弟・姉妹」が 20.6%と続いている。



(4)祖父母の近居の状況

転出世帯 問 8-1
【「同居状況」で「祖母」もしくは「祖父」を選択しなかった方のみ】
宛名のお子さんの祖父母は、近くにお住まいですか。近くとは、おおむね 30 分以内で行き来できる範囲とします。(単数回答)

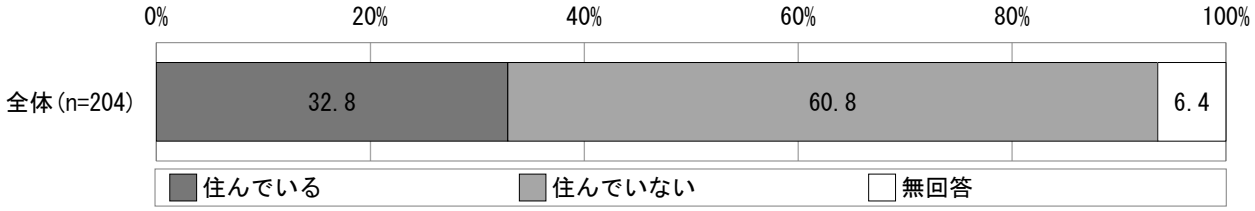
全体では、「住んでいる」が 44.6%、「住んでいない」が 46.6%となっている。



(5)親せきの近居の状況

転出世帯 問 8-2
【「同居状況」で「叔母」、「叔父」、「叔母・叔父以外の親せき」を選択しなかった方のみ】
宛名のお子さんの叔母・叔父等の親せきは、近くにお住まいですか。近くとは、おおむね 30 分以内で行き来できる範囲とします。(単数回答)

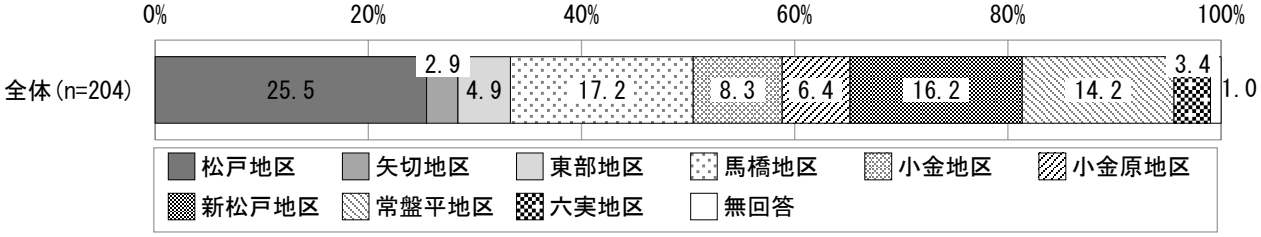
全体では、「住んでいる」が 32.8%、「住んでいない」が 60.8%となっている。



(6)松戸市在住地の居住地区

転出世帯 問 9
松戸市にお住まいのときは、どちらの地区にお住まいでしたか。(単数回答)

全体では、「松戸地区」が 25.5%と最も高く、「馬橋地区」が 17.2%、「新松戸地区」が 16.2%と続いている。



第3節　自由回答

転出世帯からの自由回答は、116件が寄せられた。主な意見は次のとおり。

保育に関する意見（21件）
【概要】 松戸市の支援やおやこDE広場とほっとるーむが良かったとする意見や、市外に住んでみて松戸市の保育が充実していることに気づいたという意見がみられた。一方で、5歳まで通年で利用できる保育園の拡充や情報提供について、要望する意見もみられた。
【良かった点】 ・保育園に入りやすい松戸市のおかげで、求職中でも保育園に内定をいただき、また、幼稚園に上の子を通わせつつ松戸市独自の3万円の助成を使いながら、仕事を再開することができました。 ・保育所職員の質が高く、子を大切に思ってくれているのが伝わり良かった。 ・歩いていける子育て支援センターがたくさんあったことは本当によかった。 ・おやこDE広場とほっとるーむの一時預りはよく利用していましたが、本当に嬉しいサービスでした。 【課題】 ・小規模保育からの転園がやはり大変だったので、認定こども園の増床などしていただけるとありがたいですね。 ・保育園に入所する際に家から近い保育園をリスト化してくれたり、優先的に入れてくれたりする制度があれば良かった。 ・就学前児童の預かり所の拡充

医療に関する意見（19件）
【概要】 医療については、ほぼすべて、松戸市は充実していたという意見となっている。
【良かった点】 ・今でも子どもの医療で松戸市立医療センターにお世話になることもあり、他の市からも頼られる環境・医療がある松戸市でいてほしいと思います。 ・出張所にも助産師さん等が毎日いて、子どもの相談がしやすかったです。体重、身長等も行けば測定していただけるのはすごくありがたかったです。 ・小児医療費の負担額や松戸市独自の預かり保育の助成等、とてもありがたいと感じていました。 ・夜間救急を何度かお世話になっていますが、市内の小児科の先生が交代で担当していると知り、安心感がありました。

公園に関する意見（18 件）
【概要】 近隣に公園があることを良かったとする意見がみられた。その一方で、子どもと遊ぶための機能がもっとあっていいとする意見もみられた。
【良かった点】 ・小さな公園が点在していて、大人向けから子ども向けまであって、今の地域よりいいなぁと思う。 ・近くに公園が多く、少しでも子どもを遊ばせたいと思ったときにすぐに連れて行くことができたのでありがたいと思っていました。 【課題】 ・子どもを遊ばせられる公園が少なかった。駐車場がある公園がほしかった。 ・市街地の公園は充実していましたがアウトドアができる施設（釣り、BBQ、アスレチック）が身近にあると楽しめると感じました。

評価（9件）
【概要】 松戸市の施策を評価する内容がみられた。
・柏と比べると松戸の支援の方が充実していたと感じています。引っ越しはしましたが、今も松戸の子育てラインをたのしみにみています ・本当は松戸で子育てしたかったと思う。子育てによい街として認知されていると思うので、継続お願いします。 ・子育て支援センターや小児科が近くにあり、非常に手厚く充実していた印象があります。

住宅に関する意見（6件）
【概要】 土地・住宅の価格が高いために転出したという意見がみられた。
・人気のある市であるため、土地価格が高く、松戸市で注文住宅を建てるのはあきらめました。生まれも育ちも松戸だったので子どもも松戸市で育てられれば良かったのですが…。 ・住宅の価格（新松戸）が高すぎるため、住宅購入の支援があると良かった。 ・母方の祖父祖母と大きめの家に暮らしていましたが、さすがに手狭であり、家を探していました。土地価格が高く、無理でした。土地があるので2世帯住宅を建てても良かったのですが、既に同居している状態では松戸市の助成金はフルではもらえないことがわかり、柏市に家を購入しました。2世帯住宅を建てる場合、同居してみてから考える家庭が多いと思います。

第５章　調査票

第1節　就学前児童保護者調査票

松戸市子ども・子育てに関するアンケート調査
（就学前児童保護者対象）

～アンケートにご協力をお願いします～

日頃より本市の子ども政策にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

本市では現在、令和７年度から令和１１年度までを計画期間とする「第３期松戸市子ども総合計画」の策定を進めており、本計画は、今後の子ども・子育て支援に関する本市の基本理念や基本目標、重点施策、施設や事業の整備方針等を定めるものでございます。

そのため、本市では、本計画の策定に当たって、子ども・子育て世帯の生活実態や動向、ニーズ等を把握、分析することを目的として、市民アンケート調査を実施させていただくことになりました。

本調査は、就学前のお子さんの保護者様を対象として、住民基本台帳（令和５年９月１日現在）から３，０００人を無作為に抽出し、ご協力をお願いしております。

調査結果については、本計画策定の貴重な検討資料となりますので、ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和５年１０月　松戸市長　本郷谷　健次

- この調査票は、宛名のお子さんの保護者様がご記入いただきますようお願いいたします。
- この調査票は無記名となりますので、氏名の記入は必要ございません。
- **調査票のご提出は、１０月３１日（火）まで**にお願いいたします。

  調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ポストにご投函ください。

本アンケートはインターネットでも回答いただけます

① 右に記載の二次元コードから回答サイトにアクセスしてください。

② 以下の「ログインＩＤ」と「アクセスキー」でログインしてください。

ログインＩＤ [　　]　アクセスキー [　　]

③ 画面の案内にそって回答してください。

④ インターネットで回答された場合は、調査票のご提出は不要です。

二次元コード

お問い合わせ先

松戸市　子ども部　子ども政策課　電話：０４７－７０４－４００７

宛名のお子さんとご家族等の状況について

問1-1. この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
（あてはまる番号1つに○）

1. 母親	2. 父親	3. その他（　　）

問1-2. ご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。**（あてはまる番号1つに○）**

1. 配偶者がいる	2. 配偶者がいない

問1-3. 同居しているご家族をお答えください。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
（あてはまる番号すべてに○）

1. 母親	6. 叔父
2. 父親	7. 叔母・叔父以外の親せき
3. 祖母	8. 兄弟・姉妹
4. 祖父	9. その他（　　）
5. 叔母	

【問 1-3 で「3. 祖母」、「4. 祖父」に○を つけなかった 方にうかがいます。】

問 1-3-1. 宛名のお子さんには、松戸市内にお住まいの祖父母がいますか。**（あてはまる番号1つに○）**

1. いる	2. いない

【問 1-3 で「5. 叔母」、「6. 叔父」、「7. 叔母・叔父以外の親せき」に○を つけなかった 方にうかがいます。】

問 1-3-2. 宛名のお子さんには、松戸市内にお住まいの親せきがいますか。**（あてはまる番号1つに○）**

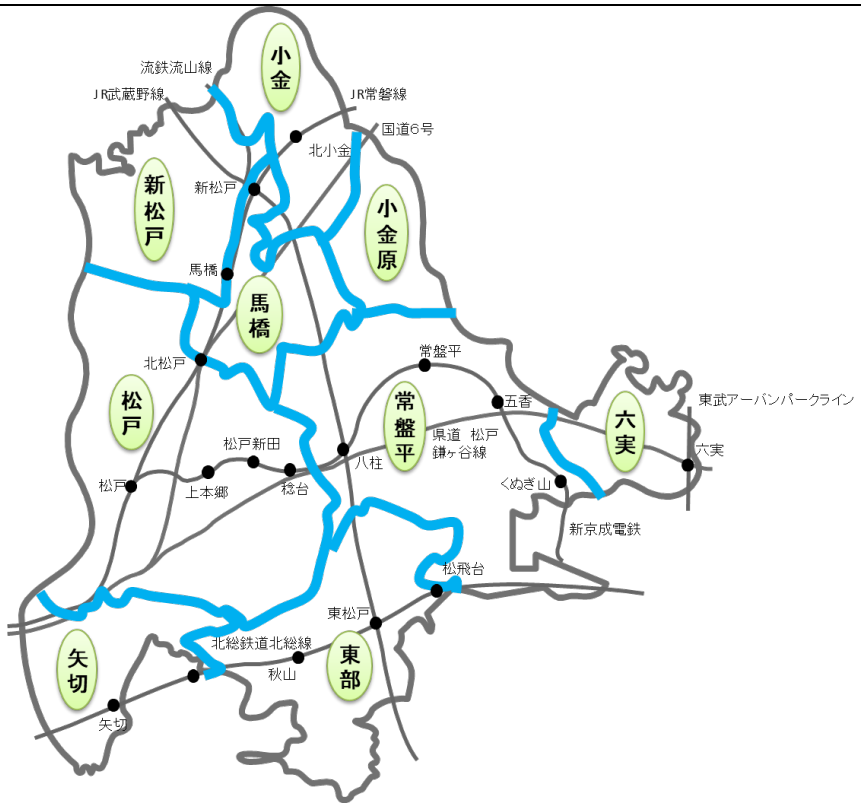
1. いる	2. いない

【ここから再びすべての方にうかがいます。】

問1-4. お住まいの地区をお答えください。**（あてはまる番号1つに○）**

1. 松戸地区	6. 小金原地区
2. 矢切地区	7. 新松戸地区
3. 東部地区	8. 常盤平地区
4. 馬橋地区	9. 六実地区
5. 小金地区	

【参考:松戸市地区図】



問1-5. 住居の状況をお答えください。**(あてはまる番号1つに○)**

1. 一戸建て(持ち家)	4. マンション・アパート(賃貸)
2. 一戸建て(賃貸)	5. 寮・社宅
3. マンション(持ち家)	6. その他(　　)

問1-6. 松戸市内にお住まいの年数をお答えください。**(あてはまる番号1つに○)**

1. 1年未満	4. 5年以上 10 年未満
2. 1年以上3年未満	5. 10 年以上
3. 3年以上5年未満	

問1-7. 世帯の年収をお答えください。**(あてはまる番号1つに○)**

1. 収入はない(0円)	8. 500～600 万円未満
2. 1～50 万円未満	9. 600～700 万円未満
3. 50～100 万円未満	10. 700～800 万円未満
4. 100～200 万円未満	11. 800～900 万円未満
5. 200～300 万円未満	12. 900～1,000 万円未満
6. 300～400 万円未満	13. 1,000 万円以上
7. 400～500 万円未満	14. わからない

問1-8. 宛名のお子さんの生年月をお答えください。

（ □ 内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字 ）

西暦 □□□□ 年 □□ 月生まれ

問1-9. 宛名のお子さんを含めた お子さんの数をお答えください。（ □ 内に数字でご記入ください ）

□ 人

問1-10. 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（**あてはまる番号すべてに○**）

1. 母親	6. 叔父
2. 父親	7. 叔母・叔父以外の親せき
3. 祖母	8. 兄弟・姉妹
4. 祖父	9. その他（　　）
5. 叔母	

問1-11. ご家庭で使用している言語をお答えください。（**あてはまる番号1つに○**）

1. 日本語のみを使用している
2. 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3. 日本語以外の言語を使うことが多い

子育ての環境について

問2. 子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手はいますか。または相談できる場所はありますか。**(あてはまる番号1つに○)**

1. いる／ある　⇒　問2-1、問３へ	2. いない／ない　⇒　問3へ

【問2で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。】

問 2-1. 気軽に相談できる相手(場所)は、誰(どこ)ですか。**(あてはまる番号すべてに○)**

1. 身内の人(親・兄弟姉妹など)	8. 民生委員・児童委員
2. 友人や知人	9. かかりつけの医師や病院
3. 近所や地域の人	10. 市役所の子どもや子育ての相談窓口
4. 児童福祉館・こども館	11. インターネット・SNS上の友人や知人
5. 保健福祉センター(中央・常盤平・小金)	12. その他
6. おやこ DE 広場・子育て支援センター	(　　)
7. 幼稚園・保育所(園)・認定こども園などの施設 (小規模保育施設、認可外保育施設を含む)	

【ここから再びすべての方にうかがいます。】

問3. あなたは子育てに関する情報をどのように入手していますか。**(あてはまる番号すべてに○)**

1. 身内の人(親・兄弟姉妹など)	12. インターネット (子育て情報サイトや検索による情報収集)
2. 友人や知人	
3. おやこDE広場・子育て支援センター	13. SNS
4. 保育所(園)・認定こども園・幼稚園・学校	14. 市のホームページ(まつどDE子育て)
5. 保健福祉センターの保健師や助産師	15. まつど DE 子育てアプリ(母子モ)
6. 市民健康相談室	16. 松戸市子育て情報 LINE (まつどDE子育て LINE を含む)
7. 子育てに関する講座	
8. 市が発行する子育てガイドブック	17. 医師・看護師
9. 広報まつど	18. 情報の入手先がない
10. テレビ・ラジオ・新聞	19. その他
11. 子育ての雑誌や育児書	(　　)

問4. 普段、子育てをしているときのあなたの気持ちはどうですか。**（あてはまる番号すべてに○）**

1. 子どもがいると毎日楽しい
2. 子育てをすることで自分も成長している
3. 子育てが自分の生きがいになっている
4. 子育てについて不安になったり悩んだりすることがある
5. 生活や気持ちにゆとりがないので、子育てにいらだつことがある
6. 子どもを虐待しているのではないかと思うことがある
7. 子育てから解放されたいと思うことがある
8. その他（　　）

問5. 子育てのことで日常悩んでいること、また、気になることはどのようなことですか。

（あてはまる番号すべてに○）

1. 子どもの健康のこと
2. 子どもの発育や発達のこと
3. 子どもの友達づきあいのこと
4. 子ども同士のいじめのこと
5. 子どもの言葉づかいや態度のこと
6. 子どもへの接し方、ふれあいに関すること
7. 親同士のつきあいに関すること
8. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
9. 子育てのストレス
10. 子育てに自信が持てないこと
11. 配偶者や親族と子育てに関する意見が合わないこと
12. 子育てを手伝ってくれる人がいないこと
13. 職場で子育てへの理解が得られないこと、得にくいこと
14. 保育サービスの利用条件により、利用が十分にできないこと
15. 経済的負担
16. 子どもが犯罪に巻き込まれること
17. 相談できる人がいない、相談先がわからないこと
18. 子育てと介護の両立のこと
19. 悩んでいることや、気になることはない
20. その他
（　　）

問6. あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。(□ **内に数字でご記入ください**)

□ 人

【問6で現在のお子さんの数よりも多い人数を答えた方にうかがいます。】

問 6-1. 理想的な子どもの数は実現できると思いますか。**(あてはまる番号1つに○)**
また実現できない場合、その理由は何ですか。**(ア～チのあてはまるものすべてに○)**

1. 実現できると思う	
2. 実現できないと思う　⇒　ア～チのあてはまるものすべてに○	
ア	子育てや教育にお金がかかりすぎるから
イ	保育サービスが整っていないから
ウ	雇用が安定しないから
エ	働きながら子育てができる職場環境がないから
オ	自分の昇進・昇格に差し支えるから
カ	家が狭いから
キ	子どもがのびのび育つ社会環境でないから
ク	自分や夫婦の生活を大切にしたいから
ケ	自分または配偶者が高年齢で、産むのが困難だから
コ	これ以上、自分または配偶者が育児の心理的、肉体的負担を負えないから
サ	妊娠・出産のときの身体的・精神的な苦痛を伴うから
シ	健康上の理由から
ス	ほしいけれども妊娠しないから
セ	配偶者や親族の家事・育児への協力が得られないから
ソ	配偶者が望まないから
タ	その他(　　)
チ	特になし

【すべての方にうかがいます。】

問7. 松戸市は子育てがしやすいまちだと思いますか。（**あてはまる番号 1つに○**）

1. とてもしやすい	4. しやすくない
2. しやすい	5. わからない
3. あまりしやすくない	

【問7で「1. とてもしやすい」または「2. しやすい」に○をつけた方にうかがいます。】

問 7-1. どのような点が、子育てがしやすいと感じますか。（**あてはまる番号すべてに○**）

1. 保育園などに入所しやすい	10. 発育・発達の悩みを相談できる場がある
2. 保育園以外にも子育て支援が充実している	11. 子育ての悩みを気軽に相談できる場がある
3. 子育て世帯への経済支援が充実している	12. 公園やスポーツ施設が充実している
4. 学校の教育水準が高い	13. 治安が良い
5. 学校環境が安心できる	14. 地域のつながりが強い
6. きれいで住みやすい住宅が多い	15. 自然豊かである
7. 子育て世帯向けの住宅が多い	16. 特になし
8. 鉄道やバス等の交通の便が良い	17. その他（　　）
9. 小児医療が充実している	

【問7で「3. あまりしやすくない」または「4. しやすくない」に○をつけた方にうかがいます。】

問 7-2. どのような点が、子育てがしやすくないと感じますか。（**あてはまる番号すべてに○**）

1. 保育園などに入所しづらい	10. 発育・発達の悩みを相談できる場がない、少ない
2. 保育園以外の子育て支援が充実していない	11. 子育ての悩みを気軽に相談できる場がない
3. 子育て世帯への経済支援が充実していない	12. 公園やスポーツ施設が充実していない
4. 学校の教育水準が低い	13. 治安が良くない
5. 学校環境が安心できない	14. 地域のつながりが弱い
6. 古く住みづらい住宅が多い	15. 自然豊かでない
7. 子育て世帯向けの住宅が少ない	16. 特になし
8. 鉄道やバス等の交通の便が良くない	17. その他（　　）
9. 小児医療が充実していない	

保護者の方の就労状況について

【すべての方にうかがいます。】

問8. 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業を含む)についてお答えください。

※母子家庭の場合は「①母親」列のみ、父子家庭の場合は「②父親」列のみ、母親・父親いずれもいない場合は「③その他」列に記載してください。

(それぞれ1つずつに○)

	①母親	②父親	③その他
1. フルタイムで就労している(育休・介護休業中も含む) ⇒ 問9～問 9-2、問13へ	1	1	1
2. パートタイム、アルバイト等で就労している(育休・介護休業中も含む) ⇒ 問9～問 9-2、問 10、問13へ	2	2	2
3. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ 問 11、問 12、問 13 へ	3	3	3
4. これまでに就労したことがない ⇒ 問 12、問 13 へ	4	4	4

※フルタイム:1週5日程度・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等:「フルタイム」以外の就労

【問8で、「1. フルタイムで就労している」または 「2. パートタイム、アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。】

問9. 平日の就労時間と就労時間帯について、最も多いパターンをお答えください。

(それぞれ1つずつに ○)

■就労時間

	①母親	②父親	③その他
1. 3時間未満	1	1	1
2. 3時間以上8時間未満	2	2	2
3. おおむね8時間	3	3	3
4. 8時間超(残業をすることが多い)	4	4	4

■就労時間帯

	①母親	②父親	③その他
1. 主に昼間の就労	1	1	1
2. 主に夜間の就労	2	2	2
3. 昼間・夜間の就労、いずれもある	3	3	3
4. その他( )	4	4	4

問 9-1. 現在、次のような柔軟な働き方を可能にする制度を利用していますか。

（あてはまる番号すべてに○）

	①母親	②父親	③その他
1. 育児のための短時間勤務制度	1	1	1
2. 所定外労働の制限（残業を免除する制度）	2	2	2
3. 育児のための時間外労働の制限 （時間外労働を1ヶ月24時間かつ1年の合計で150時間までに制限する制度）	3	3	3
4. 育児のための深夜業の制限 （午後10時から午前5時までの間の労働を制限する制度）	4	4	4
5. 始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ	5	5	5
6. フレックスタイム制度	6	6	6
7. 短時間正社員制度	7	7	7
8. テレワーク（在宅勤務制度・サテライトオフィス等）	8	8	8
9. 利用していない	9	9	9

【問9-1で、「1. 育児のための短時間勤務制度」～「8. テレワーク（在宅勤務制度・サテライトオフィス等）」に○をつけた方にうかがいます。】

問 9-2. 問 9-1 のような柔軟な働き方をすることで、仕事と子育ての両立はうまくいくようになったと思いますか。**（それぞれ1つずつに○）**

	①母親	②父親	③その他
1. うまくいくようになった	1	1	1
2. あまり変わらない	2	2	2
3. かえって負担が増えた	3	3	3
4. わからない	4	4	4
5. 特に制度を利用していない	5	5	5

【問8で、「2. パートタイム、アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。】

問 10. フルタイムへの転換希望はありますか。**（それぞれ1つずつに○）**

	①母親	②父親	③その他
1. 今後もパートタイム・アルバイト等の就労を続けることを希望する	1	1	1
2. 出来ればフルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2	2	2
3. 出来ればフルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	3	3	3
4. パートタイム・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4	4	4

【問8で、「3. 以前は就労していたが、現在は就労していない」に○をつけた方にうかがいます。】

問 11. 離職した理由をお答えください。**（あてはまる番号すべてに○）**

	①母親	②父親	③その他
1. 家事・育児に専念するため、自発的にやめた	1	1	1
2. 勤務時間が長い・不規則など、時間的に仕事と育児の両立が難しかった	2	2	2
3. 配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかった	3	3	3
4. 仕事と育児の両立に対する職場の理解や、両立支援制度が不十分だった	4	4	4
5. 自分や子どもの体調不良など、体力的に仕事と育児の両立が難しかった	5	5	5
6. 家族・親族の介護が必要となり、仕事と育児・介護の両立が難しかった	6	6	6
7. 配偶者・パートナーや、家族がやめることを希望した	7	7	7
8. 契約が終了する見込みだった	8	8	8
9. 妊娠・出産や育児を機に不利益な扱い（減給、降格、配置転換など）を受けた	9	9	9
10. 解雇された、もしくは退職勧奨された	10	10	10
11. 保育所（園）など、子どもの預け先がなかった	11	11	11
12. 仕事にやりがいがなかった（なくなりそうだった）	12	12	12
13. 仕事を続けていても、将来的にキャリアの進展が見込めなさそうだった	13	13	13
14. 家族の協力が得られなかった	14	14	14
15. その他（　　）	15	15	15

【問8で、「3. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「4. これまでに就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。】

問 12. 就労したいという希望はありますか。

また、□ 内には該当する数字をご記入ください。（数字は一枠に一字）

（それぞれ1つずつに○）

	①母親	②父親	③その他
1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）　⇒問 13 へ	1	1	1
2. 1 年より先、一番下の子どもが □□ 歳になったころに就労したい ⇒問 12-1、問 13 へ	2	2	2
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい　⇒問 12-1、問 13 へ	3	3	3

【問12で、「2. 1年より先、一番下の子どもが □□ 歳になったころに就労したい」または「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。】

問 12-1. 希望する就労形態をお答えください。（**それぞれ1つずつに○**）

	①母親	②父親	③その他
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	1	1	1
2. パートタイム、アルバイト等	2	2	2

【「2. パートタイム、アルバイト等」に○をつけた方は、希望する就労時間と就労時間帯をご記入ください。】

■就労時間

	①母親	②父親	③その他
1. 3時間未満	1	1	1
2. 3時間以上8時間未満	2	2	2
3. おおむね8時間	3	3	3
4. 8時間超	4	4	4

■就労時間帯

	①母親	②父親	③その他
1. 主に昼間の就労	1	1	1
2. 主に夜間の就労	2	2	2
3. 昼間・夜間の就労、いずれもある	3	3	3
4. その他（　　）	4	4	4

育児休業の取得状況について

【すべての方にうかがいます。】

問 13. 宛名のお子さんが生まれたとき、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。**（それぞれ 1 つずつに○）**

①母親	②父親
1. 取得した（取得中である） ⇒ 問 13-1、問 14 へ	1. 取得した（取得中である） ⇒ 問 13-1、問 14 へ
2. 取得していない ⇒ 取得していない理由へ	2. 取得していない ⇒ 取得していない理由へ
3. 働いていなかった ⇒ 問 14 へ	3. 働いていなかった ⇒ 問 14 へ

【取得していない方の理由はどのようなことですか。母親、父親それぞれについてお答えください。】

（あてはまる番号すべてに○）

	①母親	②父親
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
2. 仕事が忙しかった	2	2
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった	3	3
4. ブランクが空くことで仕事についていけなさそうだった	4	4
5. 業務を引き継ぐ代わりの人員がいなかった	5	5
6. 昇給・昇格などが遅れそうだった	6	6
7. 収入減となり、経済的に苦しくなる	7	7
8. 保育所（園）などに預けることができた	8	8
9. 配偶者が育児休業を利用した	9	9
10. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、育児休業を利用する必要がなかった	10	10
11. 子育てや家事に専念するため退職した	11	11
12. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	12	12
13. 育児休業の取得要件を満たさなかった	13	13
14. 育児休業を取得できることを知らなかった	14	14
15. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	15	15
16. その他（　　）	16	16

【問 13 で、「1. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。】

問 13-1. 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。**（それぞれ1つずつに○）**

①母親	②父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 13-2、問 14 へ	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 13-2、問 14 へ
2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 14 へ	2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 14 へ
3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 14 へ	3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 14 へ

【問 13-1 で、「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。】

問 13-2. 育児休業取得を理由として仕事内容や配置、勤務時間など働き方が変わったことはありますか。

（あてはまる番号すべてに○）

	①母親	②父親
1. 簡単な仕事内容に変わった	1	1
2. 任される仕事の量が減った	2	2
3. 部署が変わった	3	3
4. 労働時間が短くなった	4	4
5. 帰宅時間を配慮されるようになった	5	5
6. 給与や待遇が仕事内容に見合わなくなった	6	6
7. 仕事ぶりを評価されにくくなった	7	7
8. その他（　　）	8	8
9. 特に変化はない	9	9
10. わからない	10	10

宛名のお子さんの幼稚園や保育所(園)などの利用状況について

【すべての方にうかがいます。】

問 14. 宛名のお子さんは、平日どのような施設(事業)を利用していますか。年間を通じて**主に**(定期的に)利用している施設(事業)をお答えください。**(あてはまる番号1つに○)**

1. 幼稚園(預かり保育の利用なし)
2. 幼稚園(預かり保育の利用あり)
3. 認可保育所(園)
4. 認定こども園(幼稚園と保育所(園)の機能をあわせ持つ施設)
5. 保育所(園)や認定こども園などの一時預かり
6. 小規模保育施設(0～2歳児を預かる定員概ね6～19人の認可保育施設)
7. 勤め先の事業所に併設されている保育施設
8. 認可外の保育施設
9. 健康福祉会館(ふれあい22)のこども発達センター(通園)
10. その他の児童発達支援施設
11. その他(　　)
12. 利用していない　⇒　問14-3へ

【問 14 で、「1. 幼稚園(預かり保育の利用なし)」～「11. その他」に○をつけた方にうかがいます。】

問 14-1. 問 14 で回答した施設(事業)を選んだ理由をお答えください。**(あてはまる 番号 すべてに○)**

1. 教育・保育の内容が充実しているから
2. 多くの友人の子どもが通っているから
3. 施設等の雰囲気が好きだから
4. 大人数で保育を受けることに抵抗があるから
5. 自宅の近くにあって便利だから
6. 兄弟・姉妹が通う施設や学校に近いから
7. 会社の近くにあって便利だから
8. 利用時間や利用条件が家庭の事情にあっているから
9. 行事やお弁当など、保護者の負担が少ないから
10. 利用したい施設に入れなさそうだから
11. 利用したい施設の利用料の負担が重いから
12. 金銭以外の事情で、利用したい施設の利用が難しいから
13. その他(　　)

問14-2. 問14で回答した施設(事業)について、次のそれぞれの項目の満足度をお答えください。

(それぞれ1つに○)

	大変満足	ほぼ満足	普通	やや不満	大変不満
1. 施設・環境(園舎・園庭など)	1	2	3	4	5
2. 保育士・幼稚園教諭の配置状況(人員体制)	1	2	3	4	5
3. お子さんへの接し方・日常の保育内容	1	2	3	4	5
4. 行事(参観や運動会など)	1	2	3	4	5
5. 給食	1	2	3	4	5
6. 保護者への情報伝達	1	2	3	4	5
7. 保護者の相談・要望・意見への対応	1	2	3	4	5
8. 安全・衛生対策	1	2	3	4	5
9. 利用料	1	2	3	4	5
10. 利用時間	1	2	3	4	5

【問 14 で、「12. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。】

問 14-3. 利用していない理由は何ですか。**(あてはまる 番号 すべてに○)**

また、□ 内には該当する数字をご記入ください。(数字は一枠に一字)

1. できるだけ保護者自身で子育てをしたい
2. 宛名のお子さんの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の施設(事業)に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、施設(事業)の質や場所など、納得できる施設(事業)がない
8. 宛名のお子さんがまだ小さいため □□ 歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他(　　)

【すべての方にうかがいます。】

問 15. 宛名のお子さんの平日の教育・保育の施設(事業)として、**主に**(定期的に)利用したいと考える施設(事業)をお答えください。
(問 14 で回答したものと同じ施設(事業)を希望する場合でも、お答えください。)
(あてはまる 番号1つ に○)

1. 幼稚園(預かり保育の利用なし)
2. 幼稚園(預かり保育の利用あり)
3. 認可保育所(園)
4. 認定こども園(幼稚園と保育所(園)の機能をあわせ持つ施設)
5. 保育所(園)や認定こども園などの一時預かり
6. 小規模保育施設(0～2歳児を預かる定員概ね6～19人の認可保育施設)
7. 勤め先の事業所に併設されている保育施設
8. 認可外の保育施設
9. 健康福祉会館(ふれあい22)のこども発達センター(通園)
10. その他の児童発達支援施設
11. その他(　　)
12. 特になし　⇒　問16へ

【問15で、「1. 幼稚園(預かり保育の利用なし)」～「11. その他」に○をつけた方にうかがいます。】

問 15-1. 問 15 で回答した施設(事業)を選んだ理由をお答えください。**(あてはまる 番号 すべてに○)**

1. 教育・保育の内容が充実しているから
2. 多くの友人の子どもが通っているから
3. 施設等の雰囲気が好きだから
4. 大人数で保育を受けることに抵抗があるから
5. 自宅の近くにあって便利だから
6. 兄弟・姉妹が通う施設や学校に近いから
7. 会社の近くにあって便利だから
8. 利用時間や利用条件が家庭の事情にあっているから
9. 行事やお弁当など、保護者の負担が少ないから
10. その他(　　)

地域の子育て支援の利用状況について

【すべての方にうかがいます。】

問 16. 宛名のお子さんは、現在、「おやこDE広場」、「子育て支援センター」等を利用していますか。次の中から利用しているものをお答えください。**（あてはまる 番号 すべてに○）**

1. おやこ DE 広場・子育て支援センター・ほっとるーむ
2. 市で実施しているほかの事業（移動児童館のわくわく広場、保育所の園庭開放）
3. 地区社会福祉協議会の子育てサロン
4. 利用していない

【問 16 で、「1. おやこ DE 広場・子育て支援センター・ほっとるーむ」に○を つけなかった 方にうかがいます。】

問 16-1. 利用していない理由は何ですか。**（あてはまる 番号 すべてに○）**

1. 自宅や駅からの距離があるから
2. 駐車場がないから
3. 遊具が少ないから
4. その場で食事ができないから
5. 保護者同士の人間関係がうまくいく自信がないから
6. 子ども同士のトラブルへの不安があるから
7. 子どもはすでに就園していて必要がないから
8. 外出するのが大変だから
9. そのような場所があることを知らなかった
10. その他（　　）
11. 特になし

【ここから再びすべての方にうかがいます。】

問 17. 問 16 の事業について、今後利用したいものをお答えください。**（あてはまる 番号 すべてに○）**

1. おやこ DE 広場・子育て支援センター・ほっとるーむ
2. 市で実施しているほかの事業（移動児童館のわくわく広場、保育所の園庭開放）
3. 地区社会福祉協議会の子育てサロン
4. 利用したいものはない

問 18. 松戸市で実施している次の事業について、知っていたもの、(知っていた場合は)これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものに〇をつけてください。

(例のように、それぞれの事業について〇)

	知っていた	知っていた場合 これまでに利用したことがある	今後利用したい
例1:事業を知っていて、利用経験があり、今後も利用したい場合	〇	〇	〇
例2:事業を知っていて、利用経験はないが、今後利用したい場合	〇	0	〇
1. ママパパ学級・赤ちゃん教室	1	1	1
2. 離乳食教室	2	2	2
3. 産後ケア	3	3	3
4. 夜間小児急病センター	4	4	4
5. まつドリ baby ヘルパー	5	5	5
6. 保育所(園)や幼稚園の園庭等の開放	6	6	6
7. 送迎保育ステーション	7	7	7
8. 保健福祉センターの相談	8	8	8
9. 親子すこやかセンターの相談	9	9	9
10. 市民健康相談室の相談	10	10	10
11. おやこ DE 広場・子育て支援センターでの相談	11	11	11
12. (保育所(園)・幼稚園等の)利用支援コンシェルジュの相談	12	12	12
13. ひとり親支援の相談	13	13	13
14. こども家庭センター(旧子ども家庭相談課)の家庭相談や婦人相談	14	14	14
15. 教育委員会の就学相談等	15	15	15
16. 児童福祉館やこども館での相談	16	16	16
17. 子育て情報サイト(まつど DE 子育て)	17	17	17
18. まつど DE 子育てアプリ(母子モ)	18	18	18
19. 松戸市子育て情報LINE(まつどDE子育て LINE を含む)	19	19	19
20. まつど子育てガイドブック	20	20	20
21. 安心安全メール	21	21	21

宛名のお子さんの一時預かり等の利用について

問 19. 宛名のお子さんについて、就労等の理由により土曜日と日曜日・祝日に、教育・保育施設（事業）の利用希望はありますか。**（それぞれ1つずつに○）**

※教育・保育施設（事業）とは、幼稚園・保育所（園）・認可外保育施設などの施設（事業）を指します。親族・知人による預かりは含みません。

（1）土曜日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

（2）日曜日・祝日

1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

【「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。】

問 20. 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇期間中に、教育・保育施設（事業）の利用希望はありますか。**（あてはまる番号1つに○）**

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい

【平日に教育・保育の施設（事業）を定期的に利用していると答えた保護者の方（問 14 で、「12.利用していない」以外 に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は、問 22 にお進みください。】

問 21. この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している施設（事業）が利用できなかったことはありますか。**（あてはまる番号1つに○）**

1. あった　⇒　問 21-1、問 22 へ　　2. なかった　⇒　問 22 へ

問 21-1. 普段利用している施設をお休みした場合に、この1年間に行った対処方法は何ですか。

（あてはまる番号すべてに○）

1.	母親が休んだ	⇒問 21-2、問 22へ
2.	父親が休んだ	
3.	（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	⇒問 22 へ
4.	母親又は父親のうち就労していない方がみた	
5.	病児・病後児保育を利用した	
6.	ファミリー・サポート・センターを利用した	
7.	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	
8.	その他（　　）	

【問 21-1 で、「1.母親が休んだ」または「2.父親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。】

問 21-2.「できれば 病児・病後児保育施設 等を利用したい」と思われましたか。

（あてはまる番号1つに○）

※なお、病児・病後児保育施設等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前に指定された医療機関等の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	⇒ 問 22 へ
2. 利用したいとは思わない	⇒ 問 21-3、問22へ

【問 21-2. で、「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。】

問 21-3. そう思われる理由は何ですか。**（あてはまる 番号 すべてに○）**

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安	5. 利用料がかかる・高い
2. 事業の質に不安がある	6. 利用料がわからない
3. 事業の利便性（立地や利用可能時間、日数など）が良くない	7. 子どものそばにいてあげたい
4. 他の病気の感染の恐れがある	8. その他（　　）

【すべての方にうかがいます。】

問 22. 宛名のお子さんについて、この1年間で、保護者の用事（私用、親の通院、不定期の就労等）等により利用したことがある事業はありますか。**（あてはまる 番号 すべてに○）**

1. ファミリー・サポート・センター
（地域住民が子どもを預かる事業）
2. こどもショートステイ
（晴香園もしくはさわらびドリームこども園で土曜日・休日・夜間等、子どもを預かる事業であり、宿泊を伴わないもの）
3. 保育所（園）の一時預かり
4. ほっとるーむ等の一時預かり
（1日4時間まで乳幼児を預かる事業）
5. 幼稚園の預かり保育
6. 認可外保育施設
7. その他（　　）

→ 問 23 へ

8. 利用していない　⇒　問 22-1、問 23 へ

【問 22 で、「8. 利用していない」と回答した方にうかがいます。】

問 22-1. 現在利用していない理由は何ですか。**（あてはまる 番号 すべてに○）**

1. 特に利用する必要がない
2. 事業の質に不安がある
3. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）が良くない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
7. 事業の利用方法（手続き等）がわからない
8. 緊急時に利用できない
9. その他
（　　）

【ここから再びすべての方にうかがいます。】

問 23. 宛名のお子さんについて、保護者や家族の用事（冠婚葬祭等）、病気等 で、一時預かり事業等を利用する必要があると思いますか。
利用の必要性の有無（「1. 利用したい」か「2. 利用する必要はない」）に○をつけ、「1. 利用したい」を回答した方は、ア～エの理由のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 利用したい		
	ア	保護者や家族の用事（冠婚葬祭等）
	イ	保護者や家族の育児疲れ・不安
	ウ	保護者や家族の病気
	エ	その他（　　）
2. 利用する必要はない		

問 24. 宛名のお子さんについて、この1年間で、保護者や家族の用事（冠婚葬祭等）、病気等 により泊りがけ で家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。
利用の有無（「1. あった」か「2. なかった」）に○をつけ、「1. あった」場合は、ア～カの対処方法のうちあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. あった		
	ア	（同居者を含む）親族・知人にみてもらった
	イ	こどもショートステイ（宿泊を伴うもの）を利用した （晴香園で7日間以内、子どもを預かる事業）
	ウ	「イ」以外の保育事業（認可外保育施設等）を利用した
	エ	仕方なく子どもを同行させた
	オ	仕方なく子どもだけで留守番をさせた
	カ	その他（　　）
2. なかった		

子ども・子育て支援施策について

問 25. あなたは、より子どもを生み育てやすくするために、国や自治体にどのような施策を期待しますか。
次の中からあなたが期待するものを教えてください。**（あてはまる番号すべてに○）**

1. 子育て支援に関する情報提供・発信の充実
2. 子どもの成長や発達などについて相談しやすい体制をつくること
3. 乳幼児を連れて気軽に集うことができ、保護者同士も交流できる施設・イベントの充実
4. 子どもが気軽に集い、過ごすことのできる児童館や公園等の居場所を拡充すること
5. 保護者が子育てと仕事を両立できるよう、認可保育所等の施設を整備すること
6. 在宅勤務やフレックスタイム制等の柔軟な働き方の推進を事業所に働きかけること
7. 産休や育児休業などがとりやすくなるよう、事業所に働きかけること
8. 妊娠・出産・子育てのための経済的支援の拡充
9. 子育て世帯の市営住宅への優先入居等の住宅面の配慮
10. 必要な時にいつでも受診できる小児医療体制を確立すること
11. 幼稚園や保育所（園）等における教育や保育の内容を充実させること
12. 子どもが自然の中で遊んだり、社会参加をしたりする等、多様な体験機会の充実
13. インターネットやSNS 等による犯罪や依存について、子どもや保護者への啓発すること
14. 児童虐待、いじめ、不登校などの予防等の子どもを守る対策を進めること
15. 子どもが安心して外で遊んだり通学したりできるよう、防犯対策を充実させること
16. 特にない
17. その他（　　）

最後にうかがいます。
教育・保育環境の充実など子育ての環境整備や支援事業に関して、ご意見がありましたら、
自由にご記入ください。

子育て支援について

保育について

教育について

調査にご協力いただき、ありがとうございました。
お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、
10月31日(火)までに ポストにご投函ください。

集計結果については、来年4月以降に、
松戸市ホームページで公開する予定です。

第2節　小学生保護者調査票

松戸市の小学校５年生の保護者様へ 子ども・子育てに関するアンケート調査にご協力をお願いします

保護者の皆様におかれましては、日頃より本市の子ども政策にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、本市では現在、令和７年度から令和11年度までを計画期間とする「第３期松戸市子ども総合計画」の策定を進めており、本計画は、今後の子ども・子育て支援に関する本市の基本理念や基本目標、重点施策、施設や事業の整備方針等を定めるものになります。

そこで、本市では、本計画の策定に当たり、子ども・子育て世帯の生活実態や動向、ニーズ等を把握、分析することを目的として、本市の**小学校５年生及びその保護者様全員を対象**に、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

調査結果については、本計画策定の貴重な検討資料となりますので、ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、本調査はお子様も対象としておりますので、お子様にも回答いただきますよう、特段のご配慮をお願いいたします（詳細は本紙の裏面をご覧ください）。

令和５年10月　松戸市長　**本郷谷 健次**

アンケートの回答方法

①お持ちのタブレット端末やスマートフォン等で、右にあるバーコードを読み取り、回答サイトにアクセスしてください。

②以下に記載の「ログインID」と「アクセスキー」を入力して、ログインしてください。

二次元コード

回答サイトへ
（保護者様用）

ログインＩＤ　　**アクセスキー**

③画面の案内にそって、アンケートに回答してください。

- アンケートの所要時間は、20 分程度です。
- ログイン ID とアクセスキーは、無作為に生成して配布していますので、回答者が特定されることはありません。
- 裏面は、お子様用アンケートのご案内ですので、併せてご覧ください。

アンケートの回答期限

令和５年10月31日（火）までに回答をお願いします。

本アンケート調査についてのお問い合わせ先

松戸市 子ども部 子ども政策課　電話：047−704−4007

回答者ご自身のこと等について

問1. この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた続柄でお答えください。
（あてはまる番号1つを選択）

1. 母親	2. 父親	3. その他（　　）

問2. 同居しているご家族をお答えください。小学5年生のお子さんからみた関係でお答えください。
（あてはまる番号すべてを選択）

1. 母親	6. 叔父
2. 父親	7. 叔母・叔父以外の親せき
3. 祖母	8. 兄弟・姉妹
4. 祖父	9. その他（　　）
5. 叔母	

【問2で「3. 祖母」、「4. 祖父」を 選択しなかった 方にうかがいます。】

問2-1. お子さんには、松戸市内にお住まいの祖父母がいますか。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. いる	2. いない

【問2で「5. 叔母」、「6. 叔父」、「7. 叔母・叔父以外の親せき」を 選択しなかった 方にうかがいます。】

問2-2. お子さんには、松戸市内にお住まいの親せきがいますか。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. いる	2. いない

問3. お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。小学5年生のお子さんからみた関係でお答えください。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. 母親	6. 叔父
2. 父親	7. 叔母・叔父以外の親せき
3. 祖母	8. 兄弟・姉妹
4. 祖父	9. その他（　　）
5. 叔母	

問4. お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。

※母子家庭及び父子家庭の場合はあてはまる問のみ（①もしくは②のみ）お答えください。

①や②が該当しない場合は、③に記載してください。

（それぞれ1つずつを選択）

	①母親	②父親	③その他
1. フルタイムで就労している	1	1	1
2. パートタイム、アルバイト等で就労している	2	2	2
3. 以前は就労していたが、現在は就労していない	3	3	3
4. これまでに就労したことがない	4	4	4

※フルタイム　⇒　1週5日程度・1日8時間程度の就労

パートタイム・アルバイト等　⇒　「フルタイム」以外の就労

【問4で、「1. フルタイムで就労している」または「2. パートタイム、アルバイト等で就労している」を選択した方にうかがいます。】

問 4-1. 現在、次のような柔軟な働き方を可能にする制度を利用していますか。

（それぞれあてはまる番号すべてを選択）

	①母親	②父親	③その他
1. 育児のための短時間勤務制度	1	1	1
2. 所定外労働の制限（残業を免除する制度）	2	2	2
3. 育児のための時間外労働の制限 （時間外労働を1ヶ月24時間かつ1年の合計で150時間までに制限する制度）	3	3	3
4. 育児のための深夜業の制限 （午後10時から午前5時までの間の労働を制限する制度）	4	4	4
5. 始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ	5	5	5
6. フレックスタイム制度	6	6	6
7. 短時間正社員制度	7	7	7
8. テレワーク（在宅勤務制度・サテライトオフィス等）	8	8	8
9. 利用していない	9	9	9

【問4-1で、「1. 育児のための短時間勤務制度」～「8. テレワーク（在宅勤務制度・サテライトオフィス等）」を選択した方にうかがいます。】

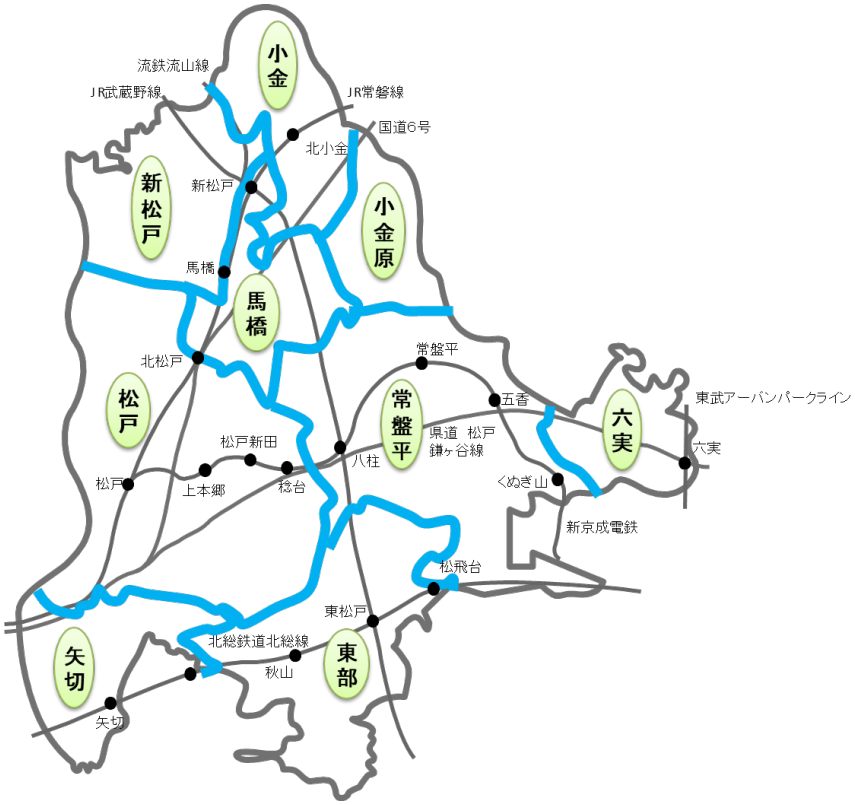
問 4-2. 問 4-1 のような柔軟な働き方をすることで、仕事と子育ての両立はうまくいくようになったと思いますか。**（それぞれ1つずつを選択）**

	①母親	②父親	③その他
1. うまくいくようになった	1	1	1
2. あまり変わらない	2	2	2
3. かえって負担が増えた	3	3	3
4. わからない	4	4	4
5. 特に制度を利用していない	5	5	5

問5. お住まいの地区はどちらですか。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. 松戸地区	6. 小金原地区
2. 矢切地区	7. 新松戸地区
3. 東部地区	8. 常盤平地区
4. 馬橋地区	9. 六実地区
5. 小金地区	

【参考：松戸市地区図】



問6. 世帯全体のおおよその年間収入はいくらですか。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. 収入はない（0円）	8. 500～600 万円未満
2. 1～50 万円未満	9. 600～700 万円未満
3. 50～100 万円未満	10. 700～800 万円未満
4. 100～200 万円未満	11. 800～900 万円未満
5. 200～300 万円未満	12. 900～1,000 万円未満
6. 300～400 万円未満	13. 1,000 万円以上
7. 400～500 万円未満	14. わからない

問 7. 現在の家庭の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（あてはまる番号1つを選択）

1. とてもゆとりがある	4. やや苦しい
2. ややゆとりがある	5. とても苦しい
3. 普通	

問8. ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. 日本語のみを使用している
2. 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3. 日本語以外の言語を使うことが多い

問9. お子さんの保護者の最終学歴をお答えください。

※母子家庭及び父子家庭の場合はあてはまる問のみ(①もしくは②のみ)お答えください。

①や②が該当しない場合は、③に記載してください。

(それぞれ 1つずつを選択)

	①母親	②父親	③その他
1. 中学校	1	1	1
2. 高等学校	2	2	2
3. 専門学校	3	3	3
4. 5年制の高等専門学校	4	4	4
5. 短期大学	5	5	5
6. 大学	6	6	6
7. 大学院	7	7	7
8. その他(　　)	8	8	8
9. わからない	9	9	9

お子さんについて

問 10. お子さんの人数をお答えください。また、小学5年生のお子さんは何人目にあたりますか。

(□ 内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)

お子さんの人数	□ 人
小学5年生のお子さんは何人目か	□ 人目

※お子さんがおひとりの場合、いずれも「1」と記入ください。

問11. あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。**(□ 内に数字でご記入ください)**

□ 人

【問11で現在のお子さんの数よりも多い人数を答えた方にうかがいます。】

問11-1. 理想的な子どもの数は実現できると思いますか。**（あてはまる番号1つを選択）**
また実現できない場合、その理由は何ですか。**（ア～チのあてはまるものすべてを選択）**

1. 実現できると思う	
2. 実現できないと思う　⇒　ア～チのあてはまるものすべてを選択	
ア	子育てや教育にお金がかかりすぎるから
イ	保育サービスが整っていないから
ウ	雇用が安定しないから
エ	働きながら子育てができる職場環境がないから
オ	自分の昇進・昇格に差し支えるから
カ	家が狭いから
キ	子どもがのびのび育つ社会環境でないから
ク	自分や夫婦の生活を大切にしたいから
ケ	自分または配偶者が高年齢で、産むのが困難だから
コ	これ以上、自分または配偶者が育児の心理的、肉体的負担を負えないから
サ	妊娠・出産のときに身体的・精神的な苦痛を伴うから
シ	健康上の理由から
ス	ほしいけれども妊娠しないから
セ	配偶者や親族の家事・育児への協力が得られないから
ソ	配偶者が望まないから
タ	その他（　　）
チ	特になし

普段の生活について

問12. 子育てのことで日常悩んでいること、また、気になることはどのようなことですか。

（あてはまる番号すべてを選択）

1. 子どもの健康のこと
2. 子どもの発育や発達のこと
3. 子どもの友達づきあいのこと
4. 子ども同士のいじめのこと
5. 子どもの言葉づかいや態度のこと
6. 子どもへの接し方、ふれあいに関すること
7. 親同士のつきあいに関すること
8. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
9. 子育てのストレス
10. 子育てに自信が持てないこと
11. 配偶者や親族と子育てに関する意見が合わないこと
12. 子育てを手伝ってくれる人がいないこと
13. 職場で子育てへの理解が得られないこと、得にくいこと
14. 経済的負担
15. 子どもが犯罪に巻き込まれること
16. 相談できる人がいない、相談先がわからないこと
17. 子育てと介護の両立のこと
18. 悩んでいることや、気になることはない
19. その他
（　　）

問13. あなたとお子さんとの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

（①～④それぞれについて、あてはまる番号１つを選択）

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない
① テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
② お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
③ お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
④ お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4

問14. あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

（①、②それぞれについて、あてはまる番号１つを選択）

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
① 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
② PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4

問15. お子さんの最終学歴は、現実的に見てどの学校になると思いますか。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. 中学校	4. 5年制の高等専門学校	7. 大学院
2. 高等学校	5. 短期大学	8. その他（　　）
3. 専門学校	6. 大学	9. わからない

【問15の「1. 中学校」～「8. その他」を選択した方にうかがいます。】

問15-1. その理由は何ですか。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. お子さんがそう希望しているから
2. 一般的な進路だと思うから
3. お子さんの学力から考えて
4. 家庭の経済的な状況から考えて
5. その他（　　）
6. 特に理由はない

問16. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。

（① ～③それぞれについて、あてはまる番号１つを選択）

また「頼れる人がいる」場合、それは誰ですか。**（ア～ケのあてはまるものすべてを選択）**

	①子育てに関する相談	②重要な事柄の相談	③いざというときのお金の援助
頼れる人がいる	1	1	1
ア　家族・親族	ア	ア	ア
イ　友人・知人	イ	イ	イ
ウ　近所の人	ウ	ウ	ウ
エ　職場の人	エ	エ	エ
オ　小学校の先生	オ	オ	オ
カ　民生委員・児童委員	カ	カ	カ
キ　市役所や相談窓口	キ	キ	キ
ク　インターネット・SNSの友人・知人	ク	ク	ク
ケ　その他	ケ	ケ	ケ
いない	2	2	2
そのことでは人に頼らない	3	3	3

問17. あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. よくあった
2. ときどきあった
3. まれにあった
4. まったくなかった

問 18. あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. よくあった
2. ときどきあった
3. まれにあった
4. まったくなかった

問19. あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. 電気料金
2. ガス料金
3. 水道料金

問20. 普段、子育てをしているときのあなたの気持ちはどうですか。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. 子どもがいると毎日楽しい
2. 子育てをすることで自分も成長している
3. 子育てが自分の生きがいになっている
4. 子育てについて不安になったり悩んだりすることがある
5. 生活や気持ちにゆとりがないので、子育てにいらだつことがある
6. 子どもを虐待しているのではないかと思うことがある
7. 子育てから解放されたいと思うことがある
8. その他（　　）

問21. 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。**（あてはまる番号1つを選択）**

0 ← まったく満足していない							十分に満足している → 10			
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問22. あなたのご家庭では、以下の支援制度・相談窓口をこれまでに利用したことがありますか。

（①～⑥それぞれについて、あてはまる番号１つを選択）

また「利用したことがない」場合、その理由は何ですか。**（ア～オのあてはまる番号1つを選択）**

	①こども家庭センター（旧子ども家庭相談課）	②就学援助　※1	③生活保護　※2	④生活困窮者の自立支援相談窓口　※3（松戸市自立相談支援センター）	⑤児童扶養手当　※4	⑥母子家庭等就業・自立相談支援センター　※5
1. 現在利用している	1	1	1	1	1	1
2. 現在利用していないが、以前利用したことがある	2	2	2	2	2	2
3. 利用したことがない	3	3	3	3	3	3
ア. 制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	ア	ア	ア	ア	ア	ア
イ. 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	イ	イ	イ	イ	イ	イ
ウ. 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
エ. 利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	エ	エ	エ	エ	エ	エ
オ. それ以外の理由	オ	オ	オ	オ	オ	オ

（参考）

※1　就学援助：経済的理由により子供の就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。

※2　生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。

※3　生活困窮者の自立支援相談窓口：経済的な困窮により、今後生活を維持することができなくなるおそれのある方の相談支援を行う窓口。

※4　児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。
（児童手当とは異なります。）

※5　母子家庭等就業・自立支援相談センター：ひとり親家庭の就業・自立支援のために、就業相談や情報提供等の就業支援、養育費の取り決めに関する専門相談、親子交流の支援等を行う窓口。

放課後児童クラブ等の利用状況について

問23. お子さんは現在、放課後児童クラブ（※）を利用されていますか。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. 利用している
2. 利用していない

※「放課後児童クラブ」…保護者が就労等の理由で昼間家庭にいない小学生の児童を放課後にお預かりし、児童の健全な育成を図る事業です。

【問23の「1. 利用している」を選択した方にうかがいます。】

問23-1. 放課後児童クラブを利用している理由は何ですか。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. 安全に放課後を過ごせるから
2. 就労などで保護者が家庭にいないときがあるから
3. 子どもの教育にいいから
4. 子どもが行きたいというから
5. 利用料金が安いから
6. 夏休み等長期休暇中に利用できるから
7. その他（　　）

問23-2. 放課後児童クラブに満足していますか。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. 大変満足	4. やや不満
2. やや満足	5. 大変不満
3. 普通（どちらともいえない）	

問23-3. 放課後児童クラブに今後望むものは何ですか。**（あてはまる番号すべて を選択）**

1. 育成内容の充実	7. 児童の安全対策
2. 支援員・補助員の体制の充実	8. 利用時間の拡大
3. 施設の充実	9. 長期休業中の昼食の提供
4. 保護者との連携強化	10. 特になし
5. 学校との連携強化	11. その他
6. 地域との連携強化	（　　）

問24. お子さんは現在、放課後KIDSルーム(※)を利用されていますか。**(あてはまる番号1つを選択)**

1. 利用している
2. 利用していない

※「放課後KIDSルーム」…放課後に実施小学校の図書室等を活用し、学習や読書、体験活動ができる場所を提供しています。保護者の就労の有無に関わらず、実施している小学校に通学しているすべての児童が利用できます。

【問24の「1. 利用している」を選択した方にうかがいます。】

問24-1. 放課後KIDSルームを利用している理由は何ですか。**(あてはまる番号すべてを選択)**

1. 安全に放課後を過ごせるから
2. 就労などで保護者が家庭にいないときがあるから
3. 学習機会の確保ができるから
4. 読書や体験活動ができるから
5. 子どもが行きたいというから
6. 利用料金が安いから
7. 夏休み等長期休暇中に利用できるから
8. その他(　　)

問24-2. 放課後KIDSルームに満足していますか。**(あてはまる番号1つを選択)**

1. 大変満足	4. やや不満
2. やや満足	5. 大変不満
3. 普通(どちらともいえない)	

問24-3. 放課後KIDSルームに今後望むものは何ですか。**(あてはまる番号すべて を選択)**

1. 学習活動の充実	7. 地域との連携強化
2. 体験活動の充実	8. 児童の安全対策
3. スタッフの体制の充実	9. 利用時間の拡大
4. 施設の充実	10. 特になし
5. 保護者との連携強化	11. その他
6. 学校との連携強化	(　　)

【問23、問24のいずれにも、「2. 利用していない」を選択した方にうかがいます。】

問25. 利用していない理由は何ですか。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. 子どもの父母がみている
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、定員に空きがない
5. 高学年なので利用しづらい
6. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
7. 利用したいが、時間帯の条件が合わない
8. 利用したいが、実施内容や場所などが満足できるものではない
9. その他（　　）

子どもの体験活動について

問26. あなたは、子どもの体験活動について、次のように思いますか。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. 自分の子どもには、今は体験活動よりも勉強を優先させたい
2. 学校の授業や行事で、子どもたちが体験活動をできる機会が十分にある
3. 学校の授業や行事以外で、子どもたちが体験活動をできる機会が十分にある
4. 現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、体験活動の機会が少なくなっている
5. 現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、遊ぶことのできる場所が少なくなっている
6. 自由な体験活動より、作業が決まっている体験活動の方が良い
7. 子どもたちと一緒に体験活動をすることは苦手である
8. 特に思うことはない

子どもの安全安心について

問27. お子さんの安全のために、日頃から注意していること、もしくは実施していることは何ですか。

（あてはまる番号すべてを選択）

1. 自動車に気をつけるように、日頃から子どもによく言い聞かせている
2. 交通ルールを守って自転車を運転するように、日頃から子どもによく言い聞かせている
3. 学校の登下校、塾の行き帰りの際はできるだけ友達と一緒に帰るように、日頃から子どもによく言い聞かせている
4. 知らない人から声をかけられてもついて行かないよう、日頃から子どもによく言い聞かせている
5. 出かけるときは、どこに行き何時ごろ帰宅するのかを保護者に伝えるように、日頃から子どもによく言い聞かせている
6. 何か怖いことにあいそうになったり、変だなと思ったりしたら、子ども 110 番の家や近所のお店やお家にも助けを求めるように、日頃から子どもによく言い聞かせている
7. 塾の帰りなど帰宅時間が遅くなるときは、保護者が迎えに行っている
8. 交通安全教室や子どもの身の安全を守る講習会などに参加させている
9. 子どもに防犯ブザーを持たせている
10. 子どもに携帯電話などを持たせている
11. 親子で家の近所や通学路の危険な場所を確認している
12. 子どもがみるインターネット環境にフィルターをかけている
13. その他（　　）

松戸市の子育て環境について

問28. 松戸市は子育てがしやすいまちだと思いますか。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. とてもしやすい	4. しやすくない
2. しやすい	5. わからない
3. あまりしやすくない	

【問28で「1. とてもしやすい」または「2. しやすい」を選択した方にうかがいます。】

問28-1. どのような点が、子育てがしやすいと感じますか。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. 保育園などに入所しやすい	10. 発育・発達の悩みを相談できる場がある
2. 保育園以外にも子育て支援が充実している	11. 子育ての悩みを気軽に相談できる場がある
3. 子育て世帯への経済支援が充実している	12. 公園やスポーツ施設が充実している
4. 学校の教育水準が高い	13. 治安が良い
5. 学校環境が安心できる	14. 地域のつながりが強い
6. きれいで住みやすい住宅が多い	15. 自然豊かである
7. 子育て世帯向けの住宅が多い	16. 特になし
8. 鉄道やバス等の交通の便が良い	17. その他（　　）
9. 小児医療が充実している	

【問28で「3. あまりしやすくない」または「4. しやすくない」を選択した方にうかがいます。】

問28-2. どのような点が、子育てがしやすくないと感じますか。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. 保育園などに入所しづらい	10. 発育・発達の悩みを相談できる場がない、少ない
2. 保育園以外の子育て支援が充実していない	11. 子育ての悩みを気軽に相談できる場がない
3. 子育て世帯への経済支援が充実していない	12. 公園やスポーツ施設が充実していない
4. 学校の教育水準が低い	13. 治安が良くない
5. 学校環境が安心できない	14. 地域のつながりが弱い
6. 古く住みづらい住宅が多い	15. 自然豊かでない
7. 子育て世帯向けの住宅が少ない	16. 特になし
8. 鉄道やバス等の交通の便が良くない	17. その他（　　）
9. 小児医療が充実していない	

子ども・子育て支援施策について

問29. 松戸市で実施している次の事業について、知っていたもの、（知っていた場合は）これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものを選択してください。

（例のように、それぞれの事業について選択）

	知っていた	知っていた場合 これまでに利用したことがある	今後利用したい
例1：事業を知っていて、利用経験があり、今後も利用したい場合	◎	◎	◎
例2：事業を知っていて、利用経験はないが、今後利用したい場合	◎	0	◎
1. 夜間小児急病センター	1	1	1
2. 保健福祉センターの相談	2	2	2
3. 市民健康相談室の相談	3	3	3
4. ひとり親支援の相談	4	4	4
5. こども家庭センター（旧子ども家庭相談課）の家庭相談や婦人相談	5	5	5
6. 教育委員会の就学相談等	6	6	6
7. 児童福祉館やこども館での相談	7	7	7
8. 子育て情報サイト（まつど DE 子育て）	8	8	8
9. まつど DE 子育てアプリ（母子モ）	9	9	9
10. 松戸市子育て情報LINE（まつどDE子育て LINE を含む）	10	10	10
11. まつど子育てガイドブック	11	11	11
12. 安全安心メール	12	12	12

問30. あなたは、より子どもを産み育てやすくするために、国や自治体にどのような施策を期待しますか。
次の中からあなたが 期待するもの を教えてください。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. 子育て支援に関する情報提供・発信の充実
2. 子どもの成長や発達などについて相談しやすい体制をつくること
3. 乳幼児を連れて気軽に集うことができ、保護者同士も交流できる施設・イベントの充実
4. 子どもが気軽に集い、過ごすことのできる児童館や公園等の居場所を拡充すること
5. 保護者が子育てと仕事を両立できるよう、認可保育所等の施設を整備すること
6. 在宅勤務やフレックスタイム制等の柔軟な働き方の推進を事業所に働きかけること
7. 産休や育児休業などがとりやすくなるよう、事業所に働きかけること
8. 妊娠・出産・子育てのための経済的支援の拡充
9. 子育て世帯の市営住宅への優先入居等の住宅面の配慮
10. 必要な時にいつでも受診できる小児医療体制を確立すること
11. 幼稚園や保育所（園）等における教育や保育の内容を充実させること
12. 子どもが自然の中で遊んだり、社会参加をしたりする等、多様な体験機会の充実
13. インターネットやSNS 等による犯罪や依存について、子どもや保護者への啓発すること
14. 児童虐待、いじめ、不登校などの予防等の子どもを守る対策を進めること
15. 子どもが安心して外で遊んだり通学したりできるよう、防犯対策を充実させること
16. 特にない
17. その他（　　）

最後にうかがいます。次のことに関してご意見がありましたら、自由にご記入ください。

子育ての環境整備や支援事業に関して

教育に関して

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

集計結果については、来年4月以降に、
松戸市ホームページで公開する予定です。

第3節　中学生保護者調査票

松戸市の中学校２年生の保護者様へ 子ども・子育てに関するアンケート調査にご協力をお願いします

保護者の皆様におかれましては、日頃より本市の子ども政策にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、本市では現在、令和７年度から令和11年度までを計画期間とする「第３期松戸市子ども総合計画」の策定を進めており、本計画は、今後の子ども・子育て支援に関する本市の基本理念や基本目標、重点施策、施設や事業の整備方針等を定めるものになります。

そこで、本市では、本計画の策定に当たり、子ども・子育て世帯の生活実態や動向、ニーズ等を把握、分析することを目的として、本市の**中学校２年生及びその保護者様全員を対象**に、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

調査結果については、本計画策定の貴重な検討資料となりますので、ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、本調査はお子様も対象としておりますので、お子様にも回答いただきますよう、特段のご配慮をお願いいたします（詳細は本紙の裏面をご覧ください）。

令和５年10月　松戸市長　**本郷谷 健次**

アンケートの回答方法

①お持ちのタブレット端末やスマートフォン等で、右にあるバーコードを読み取り、回答サイトにアクセスしてください。

②以下に記載の「ログインID」と「アクセスキー」を入力して、ログインしてください。

二次元コード

回答サイトへ
（保護者様用）

ログインＩＤ [　　]　　アクセスキー [　　]

③画面の案内にそって、アンケートに回答してください。

- アンケートの所要時間は、20 分程度です。
- ログイン ID とアクセスキーは、無作為に生成して配布していますので、回答者が特定されることはありません。
- 裏面は、お子様用アンケートのご案内ですので、併せてご覧ください。

アンケートの回答期限

令和５年10月31日（火）までに回答をお願いします。

本アンケート調査についてのお問い合わせ先

松戸市 子ども部 子ども政策課　電話：047−704−4007

回答者ご自身のこと等について

問1.この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた続柄でお答えください。

（あてはまる番号1つを選択）

1. 母親	2. 父親	3. その他（　　）

問2. 同居しているご家族をお答えください。中学2年生のお子さんからみた関係でお答えください。

（あてはまる番号すべてを選択）

1. 母親	6. 叔父
2. 父親	7. 叔母・叔父以外の親せき
3. 祖母	8. 兄弟・姉妹
4. 祖父	9. その他（　　）
5. 叔母	

【問2で「3. 祖母」、「4. 祖父」に○を つけなかった 方にうかがいます。】

問2-1. お子さんには、松戸市内にお住まいの祖父母がいますか。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. いる	2. いない

【問2で「5. 叔母」、「6. 叔父」、「7. 叔母・叔父以外の親せき」に○を つけなかった 方にうかがいます。】

問2-2. お子さんには、松戸市内にお住まいの親せきがいますか。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. いる	2. いない

問3. お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください。

※母子家庭及び父子家庭の場合はあてはまる問のみ（①もしくは②のみ）お答えください。

①や②が該当しない場合は、③に記載してください。

（それぞれ1つずつを選択）

	①母親	②父親	③その他
1. フルタイムで就労している	1	1	1
2. パートタイム、アルバイト等で就労している	2	2	2
3. 以前は就労していたが、現在は就労していない	3	3	3
4. これまでに就労したことがない	4	4	4

※フルタイム ⇒ 1週5日程度・1日8時間程度の就労

パートタイム・アルバイト等 ⇒ 「フルタイム」以外の就労

【問3で、「1. フルタイムで就労している」または「2. パートタイム、アルバイト等で就労している」を選択した方にうかがいます。】

問 3-1. 現在、次のような柔軟な働き方を可能にする制度を利用していますか。

（あてはまる番号すべてを選択）

	①母親	②父親	③その他
1. 育児のための短時間勤務制度	1	1	1
2. 所定外労働の制限（残業を免除する制度）	2	2	2
3. 育児のための時間外労働の制限 （時間外労働を1ヶ月24時間かつ1年の合計で150時間までに制限する制度）	3	3	3
4. 育児のための深夜業の制限 （午後10時から午前5時までの間の労働を制限する制度）	4	4	4
5. 始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ	5	5	5
6. フレックスタイム制度	6	6	6
7. 短時間正社員制度	7	7	7
8. テレワーク（在宅勤務制度・サテライトオフィス等）	8	8	8
9. 利用していない	9	9	9

【問3-1で、「1. 育児のための短時間勤務制度」～「8. テレワーク（在宅勤務制度・サテライトオフィス等）」を選択した方にうかがいます。】

問 3-2. 問 3-1 のような柔軟な働き方をすることで、仕事と子育ての両立はうまくいくようになったと思いますか。**（それぞれ1つずつを選択）**

	①母親	②父親	③その他
1. うまくいくようになった	1	1	1
2. あまり変わらない	2	2	2
3. かえって負担が増えた	3	3	3
4. わからない	4	4	4
5. 特に制度を利用していない	5	5	5

問4. お住まいの地区はどちらですか。**(あてはまる番号1つを選択)**

1. 松戸地区	6. 小金原地区
2. 矢切地区	7. 新松戸地区
3. 東部地区	8. 常盤平地区
4. 馬橋地区	9. 六実地区
5. 小金地区	

【参考:松戸市地区図】

問5. 世帯全体のおおよその年間収入はいくらですか。**(あてはまる番号1つを選択)**

1. 収入はない(0円)	8. 500～600 万円未満
2. 1～50 万円未満	9. 600～700 万円未満
3. 50～100 万円未満	10. 700～800 万円未満
4. 100～200 万円未満	11. 800～900 万円未満
5. 200～300 万円未満	12. 900～1,000 万円未満
6. 300～400 万円未満	13. 1,000 万円以上
7. 400～500 万円未満	14. わからない

問6. 現在の家庭の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（あてはまる番号1つを選択）

1. とてもゆとりがある	4. やや苦しい
2. ややゆとりがある	5. とても苦しい
3. 普通	

問7. ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. 日本語のみを使用している
2. 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3. 日本語以外の言語を使うことが多い

問8. お子さんの保護者の最終学歴をお答えください。

※母子家庭及び父子家庭の場合はあてはまる問のみ（①もしくは②のみ）お答えください。

①や②が該当しない場合は、③に記載してください。

（それぞれ1つずつ選択）

	①母親	②父親	③その他
1. 中学校	1	1	1
2. 高等学校	2	2	2
3. 専門学校	3	3	3
4. 5年制の高等専門学校	4	4	4
5. 短期大学	5	5	5
6. 大学	6	6	6
7. 大学院	7	7	7
8. その他（　　）	8	8	8
9. わからない	9	9	9

お子さんについて

問9. お子さんの人数をお答えください。また、中学2年生のお子さんは何人目にあたりますか。（□ **内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字**）

お子さんの人数	□ 人
中学2年生のお子さんは何人目か	□ 人目

※お子さんがおひとりの場合、いずれも「1」と記入ください。

問10. あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。（ □ **内に数字でご記入ください**）

□ 人

【問10で現在のお子さんの数よりも多い人数を答えた方にうかがいます。】

問10-1. 理想的な子どもの数は実現できると思いますか。**（あてはまる番号1つを選択）**
また実現できない場合、その理由は何ですか。**（ア～チのあてはまるものすべてを選択）**

1. 実現できると思う	
2. 実現できないと思う　⇒　ア～チのあてはまるものを選択	
ア	子育てや教育にお金がかかりすぎるから
イ	保育サービスが整っていないから
ウ	雇用が安定しないから
エ	働きながら子育てができる職場環境がないから
オ	自分の昇進・昇格に差し支えるから
カ	家が狭いから
キ	子どもがのびのび育つ社会環境でないから
ク	自分や夫婦の生活を大切にしたいから
ケ	自分または配偶者が高年齢で、産むのが困難だから
コ	これ以上、自分または配偶者が育児の心理的、肉体的負担を負えないから
サ	妊娠・出産のときに身体的・精神的な苦痛を伴うから
シ	健康上の理由から
ス	ほしいけれども妊娠しないから
セ	配偶者や親族の家事・育児への協力が得られないから
ソ	配偶者が望まないから
タ	その他（　　）
チ	特になし

普段の生活について

問11. 子育てのことで日常悩んでいること、また、気になることはどのようなことですか。

（あてはまる番号すべてを選択）

1. 子どもの健康のこと
2. 子どもの発育や発達のこと
3. 子どもの友達づきあいのこと
4. 子ども同士のいじめのこと
5. 子どもの言葉づかいや態度のこと
6. 子どもへの接し方、ふれあいに関すること
7. 親同士のつきあいに関すること
8. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
9. 子育てのストレス
10. 子育てに自信が持てないこと
11. 配偶者や親族と子育てに関する意見が合わないこと
12. 子育てを手伝ってくれる人がいないこと
13. 職場で子育てへの理解が得られないこと、得にくいこと
14. 経済的負担
15. 子どもが犯罪に巻き込まれること
16. 相談できる人がいない、相談先がわからないこと
17. 子育てと介護の両立のこと
18. 悩んでいることや、気になることはない
19. その他
（　　）

問12. あなたと ~~宛名の~~ お子さんとの関わり方について、次のようなことにどれくらいあてはまりますか。

（①～④それぞれについて、あてはまる番号１つを選択）

	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない
① テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
② お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
③ お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
④ お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4

問13. あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

（①、②それぞれについて、あてはまる番号１つを選択）

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
① 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
② PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4

問14. ~~宛名の~~お子さんの最終学歴は、現実的に見てどの学校になると思いますか。

（あてはまる番号1つを選択）

1. 中学校	4. 5年制の高等専門学校	7. 大学院
2. 高等学校	5. 短期大学	8. その他
3. 専門学校	6. 大学	9. わからない

【問14の「1. 中学校」～「8. その他」を選択した方にうかがいます。】

問14-1. その理由は何ですか。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. お子さんがそう希望しているから
2. 一般的な進路だと思うから
3. お子さんの学力から考えて
4. 家庭の経済的な状況から考えて
5. その他（　　）
6. 特に理由はない

問 15. あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。

（①～③それぞれについて、あてはまる番号１つを選択）

また「頼れる人がいる」場合、それは誰ですか。**（ア～ケのあてはまるものすべてを選択）**

	①子育てに関する相談	②重要な事柄の相談	③いざというときのお金の援助
頼れる人がいる	1	1	1
ア　家族・親族	ア	ア	ア
イ　友人・知人	イ	イ	イ
ウ　近所の人	ウ	ウ	ウ
エ　職場の人	エ	エ	エ
オ　小学校の先生	オ	オ	オ
カ　民生委員・児童委員	カ	カ	カ
キ　市役所や相談窓口	キ	キ	キ
ク　インターネット・SNSの友人・知人	ク	ク	ク
ケ　その他	ケ	ケ	ケ
いない	2	2	2
そのことでは人に頼らない	3	3	3

1を選択した場合、ア～ケのあてはまるものすべてを選択

問 16. あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. よくあった
2. ときどきあった
3. まれにあった
4. まったくなかった

問 17. あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. よくあった
2. ときどきあった
3. まれにあった
4. まったくなかった

問 18. あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. 電気料金
2. ガス料金
3. 水道料金

問 19. 普段、子育てをしているときのあなたの気持ちはどうですか。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. 子どもがいると毎日楽しい
2. 子育てをすることで自分も成長している
3. 子育てが自分の生きがいになっている
4. 子育てについて不安になったり悩んだりすることがある
5. 生活や気持ちにゆとりがないので、子育てにいらだつことがある
6. 子どもを虐待しているのではないかと思うことがある
7. 子育てから解放されたいと思うことがある
8. その他（　　）

問 20. 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。**（あてはまる番号1つを選択）**

0 ← まったく満足していない								十分に満足している → 10		
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 21. あなたのご家庭では、以下の支援制度・相談窓口をこれまでに利用したことがありますか。

（①～⑥それぞれについて、あてはまる番号１つを選択）

また「利用したことがない」場合、その理由は何ですか。**（ア～オのあてはまる番号1つを選択）**

	①こども家庭センター（旧子ども家庭相談課）	②就学援助 ※1	③生活保護 ※2	④生活困窮者の自立支援相談窓口 ※3（松戸市自立相談支援センター）	⑤児童扶養手当 ※4	⑥母子家庭等就業・自立相談支援センター ※5
1. 現在利用している	1	1	1	1	1	1
2. 現在利用していないが、以前利用したことがある	2	2	2	2	2	2
3. 利用したことがない	3	3	3	3	3	3
ア. 制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	ア	ア	ア	ア	ア	ア
イ. 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	イ	イ	イ	イ	イ	イ
ウ. 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
エ. 利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから	エ	エ	エ	エ	エ	エ
オ. それ以外の理由	オ	オ	オ	オ	オ	オ

（参考）

※1 就学援助：経済的理由により子供の就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。

※2 生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。

※3 生活困窮者の自立支援相談窓口：経済的な困窮により、今後生活を維持することができなくなるおそれのある方の相談支援を行う窓口。

※4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。
（児童手当とは異なります。）

※5 母子家庭等就業・自立支援相談センター：ひとり親家庭の就業・自立支援のために、就業相談や情報提供等の就業支援、養育費の取り決めに関する専門相談、親子交流の支援等を行う窓口。

子どもの体験活動について

問 22. あなたは、子どもの体験活動について、次のように思いますか。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. 自分の子どもには、今は体験活動よりも勉強を優先させたい
2. 学校の授業や行事で、子どもたちが体験活動をできる機会が十分にある
3. 学校の授業や行事以外で、子どもたちが体験活動をできる機会が十分にある
4. 現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、体験活動の機会が少なくなっている
5. 現在の子どもたちは、自分が子どもの頃と比べて、遊ぶことのできる場所が少なくなっている
6. 自由な体験活動より、作業が決まっている体験活動の方が良い
7. 子どもたちと一緒に体験活動をすることは苦手である
8. 特に思うことはない

子どもの安全安心について

問 23. お子さんの安全のために、日頃から注意していること、もしくは実施していることは何ですか。
（あてはまる番号すべてを選択）

1. 自動車に気をつけるように、日頃から子どもによく言い聞かせている
2. 交通ルールを守って自転車を運転するように、日頃から子どもによく言い聞かせている
3. 学校の登下校、塾の行き帰りの際はできるだけ友達と一緒に帰るように、日頃から子どもによく言い聞かせている
4. 知らない人から声をかけられてもついて行かないよう、日頃から子どもによく言い聞かせている
5. 出かけるときは、どこに行き、何時ごろ帰宅するのかを保護者に伝えるように、日頃から子どもによく言い聞かせている
6. 何か怖いことにあいそうになったり、変だなと思ったりしたら、子ども 110 番の家や近所のお店やお家にも助けを求めるように、日頃から子どもによく言い聞かせている
7. 塾の帰りなど帰宅時間が遅くなるときは、保護者が迎えに行っている
8. 交通安全教室や子どもの身の安全を守る講習会などに参加させている
9. 子どもに防犯ブザーを持たせている
10. 子どもに携帯電話などを持たせている
11. 親子で家の近所や通学路の危険な場所を確認している
12. 子どもがみるインターネット環境にフィルターをかけている
13. その他（　　）

松戸市の子育て環境について

問24. 松戸市は子育てがしやすいまちだと思いますか。**（あてはまる番号1つを選択）**

1. とてもしやすい	4. しやすくない
2. しやすい	5. わからない
3. あまりしやすくない	

【問 24 で「1. とてもしやすい」または「2. しやすい」を選択した方にうかがいます。】

問 24-1. どのような点が、子育てがしやすいと感じますか。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. 保育園などに入所しやすい	10. 発育・発達の悩みを相談できる場がある
2. 保育園以外にも子育て支援が充実している	11. 子育ての悩みを気軽に相談できる場がある
3. 子育て世帯への経済支援が充実している	12. 公園やスポーツ施設が充実している
4. 学校の教育水準が高い	13. 治安が良い
5. 学校環境が安心できる	14. 地域のつながりが強い
6. きれいで住みやすい住宅が多い	15. 自然豊かである
7. 子育て世帯向けの住宅が多い	16. 特になし
8. 鉄道やバス等の交通の便が良い	17. その他（　　）
9. 小児医療が充実している	

【問 24 で「3. あまりしやすくない」または「4. しやすくない」を選択した方にうかがいます。】

問 24-2. どのような点が、子育てがしやすくないと感じますか。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. 保育園などに入所しづらい	10. 発育・発達の悩みを相談できる場がない、少ない
2. 保育園以外の子育て支援が充実していない	11. 子育ての悩みを気軽に相談できる場がない
3. 子育て世帯への経済支援が充実していない	12. 公園やスポーツ施設が充実していない
4. 学校の教育水準が低い	13. 治安が良くない
5. 学校環境が安心できない	14. 地域のつながりが弱い
6. 古く住みづらい住宅が多い	15. 自然豊かでない
7. 子育て世帯向けの住宅が少ない	16. 特になし
8. 鉄道やバス等の交通の便が良くない	17. その他（　　）
9. 小児医療が充実していない	

子ども・子育て支援施策について

問 25. あなたは、より子どもを生み育てやすくするために、国や自治体にどのような施策を期待しますか。
次の中からあなたが 期待するもの を教えてください。**（あてはまる番号すべてを選択）**

1. 子育て支援に関する情報提供・発信の充実
2. 子どもの成長や発達などについて相談しやすい体制をつくること
3. 乳幼児を連れて気軽に集うことができ、保護者同士も交流できる施設・イベントの充実
4. 子どもが気軽に集い、過ごすことのできる児童館や公園等の居場所を拡充すること
5. 保護者が子育てと仕事を両立できるよう、認可保育所等の施設を整備すること
6. 在宅勤務やフレックスタイム制等の柔軟な働き方の推進を事業所に働きかけること
7. 産休や育児休業などがとりやすくなるよう、事業所に働きかけること
8. 妊娠・出産・子育てのための経済的支援の拡充
9. 子育て世帯の市営住宅への優先入居等の住宅面の配慮
10. 必要な時にいつでも受診できる小児医療体制を確立すること
11. 幼稚園や保育所（園）等における教育や保育の内容を充実させること
12. 子どもが自然の中で遊んだり、社会参加をしたりする等、多様な体験機会の充実
13. インターネットやSNS 等による犯罪や依存について、子どもや保護者への啓発すること
14. 児童虐待、いじめ、不登校などの予防等の子どもを守る対策を進めること
15. 子どもが安心して外で遊んだり通学したりできるよう、防犯対策を充実させること
16. 特にない
17. その他（　　）

最後にうかがいます。次のことに関してご意見がありましたら、自由にご記入ください。

子育ての環境整備や支援事業に関して

教育に関して

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

集計結果については、来年4月以降に、
松戸市ホームページで公開する予定です。

第4節　小学生調査票

松戸市の小学校5年生のみなさんへ 毎日の生活についての アンケートのおねがい

松戸市役所では、
みなさんがお家や学校で元気に楽しくすごせるように、
色々な大人たちが、毎日がんばって働いています。

そこで、これからも、みなさんが自分らしく幸せにくらせるように、
大人たちがみなさんのためにできること、
やらないといけないことを考えるため、
小学校5年生のみなさんにアンケートをおねがいすることにしました。

みなさんの毎日の生活の様子や、こまっていること、
大人にしてほしいと思うことをぜひ聞かせてください。

令和5年10月　松戸市長　本郷谷（ほんごうや） 健次（けんじ）

アンケートの答えかた

①みなさんのタブレットやスマートフォンで、右のバーコードを読み取ってください。

②最初の画面で、下に書いてある番号とアクセスキーを入力すると、アンケートがはじまりますので、答えてください。

二次元コード

回答サイトへ
（小学校5年生用）

番号 ＿＿＿＿＿＿　アクセスキー ＿＿＿＿＿＿

- アンケートは、すべて答えるのに15分くらいかかります。
- あなたがどう答えたのかを、誰かに知られることはありません。
- このプリントの裏面は、大人用のアンケートのおねがいになっています。お家の人にも見せて、答えてもらってください。

アンケートのしめきり

令和5年10月31日（火）までに答えてください。

問1. あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

１．自分で勉強する
２．塾（じゅく）で勉強する
３．学校の補習（ほしゅう）を受ける
４．家庭教師に教えてもらう
５．近所の人などが行う無料の勉強会に参加する
６．家の人に教えてもらう
７．友だちと勉強する
８．その他（　　）
９．学校の授業以外で勉強はしない

問2. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾（じゅく）などでの勉強時間もふくみます。
（①、②それぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください）

	1	2	3	4	5	6
	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上
① 学校がある日（月～金曜日）	1	2	3	4	5	6
② 学校がない日（土・日曜日・祝日）	1	2	3	4	5	6

問3. あなたの成績（せいせき）は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。
（あてはまるものを1つ選んでください ）

１．上のほう
２．やや上のほう
３．まん中あたり
４．やや下のほう
５．下のほう
６．わからない

問4. あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

（あてはまるものを1つ選んでください ）

１．いつもわかる
２．だいたいわかる
３．教科によってはわからないことがある
４．わからないことが多い
５．ほとんどわからない

【問4. で「3. 教科によってはわからないことがある」～「5. ほとんどわからない」を選んだ方にお聞きします。】

問4-1. いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

（あてはまるものを1つ選んでください ）

１．1･2年生のころ
２．3年生のころ
３．4年生のころ
４．5年生になってから

【すべての方にお聞きします。】

問5. あなたは、将来（しょうらい）どの学校まで進学したいですか。

（あてはまるものを1つ選んでください ）

１．中学
２．中学→高校
３．中学→高校→専門（せんもん）学校
４．中学→5年制の高等専門（せんもん）学校
５．中学→高校→短期大学
６．中学→高校（または5年制の高等専門（せんもん）学校）→大学
７．中学→高校（または5年制の高等専門（せんもん）学校）→大学→大学院
８．その他（　　）
９．まだわからない

【問5. で「1. 中学」～「8. その他」を選んだ 方にお聞きします。】

問5-1. その理由を答えてください。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

１．希望する学校や仕事があるから
２．自分の成績から考えて
３．親がそう言っているから
４．兄･姉がそうしているから
５．まわりの友だちがそう言っているから
６．家にお金がないと思うから
７．早く働く必要があるから
８．その他（　　）
９．特に理由はない

【すべての方にお聞きします。】

問6. あなたは、近所のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

（あてはまるものを1つ選んでください）

１．参加している
２．参加していない

【問6. で「2. 参加していない」を選んだ 方にお聞きします。】

問6-1. 参加していない理由は何ですか。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

１．学校や近所に入りたいクラブ・部活動がないから
２．塾（じゅく）や習い事がいそがしいから
３．お金がかかるから
４．家の事情（家族のお世話、家事など）があるから
５．いっしょに入る友だちがいないから
６．スポーツや文化の活動が好きではないから
７．よい指導者（しどうしゃ）がいないから
８．その他（　　）

【ここから再びすべての方にお聞きします。】

問7. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

（①～③それぞれについて、あてはまるものを1つ選んでください）

	1 毎日食べる（週7日）	2 週5～6日	3 週3～4日	4 週1～2日、ほとんど食べない
① 朝食	1	2	3	4
② 夕食	1	2	3	4
③ 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問8. あなたは毎日の食事が楽しいですか。**（あてはまるものを1つ選んでください ）**

１．とても楽しい	４．どちらかといえば楽しくない
２．どちらかといえば楽しい	５．まったく楽しくない
３．ふつう	

問9. あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間にねていますか。
（あてはまるものを1つ選んでください ）

１．そうである	３．どちらかといえばそうではない
２．どちらかといえばそうである	４．そうではない

問10. あなたにこまっていることやなやみごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

１．親
２．兄弟・姉妹
３．祖父母など親せき
４．学校の先生
５．学校の友だち
６．学校外の友だち
７．スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
８．その他の大人（　　）
９．インターネットで知り合った人
10．だれにも相談できない、相談したくない

問11. 家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。（ここでの「お世話」とは、ふつう大人がするような家事や家族のお世話のことです）

（あてはまるものを1つ選んでください ）

１．いる	２．いない

【問11. で「1. いる」を選んだ 方にお聞きします。】

問11-1. お世話をしていることで、次のような経験をしたことはありますか。

（あてはまるものをすべて選んでください）

１．学校を休んでしまう
２．遅刻（ちこく）や早退をしてしまう
３．宿題など勉強する時間がない
４．ねむる時間がたりない
５．友だちと遊ぶことができない
６．習い事ができない
７．自分の時間がとれない
８．その他（　　）
９．特にない

【ここから再びすべての方にお聞きします。】

問12. 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。

（あてはまるものを1つ選んでください ）

0 ← まったく満足していない								十分に満足している → 10		
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問13. あなたが自分自身について思っていることを、次の①から⑩のそれぞれについて答えてください。**（それぞれ1つずつ選んでください）**

	1 そう思う	2 だいたいそう思う	3 あまりそう思わない	4 まったくそう思わない	5 わからない
① 自分のことが好き	1	2	3	4	5
② 引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う	1	2	3	4	5
③ 自分なりの考えをもった人間だと思う	1	2	3	4	5
④ 一人でも何かを決めることができる人間だと思う	1	2	3	4	5
⑤ まわりの人から大切にされていると思う	1	2	3	4	5
⑥ 心配ごとが多く、いつも不安に思っている	1	2	3	4	5
⑦ 落ちこんでしずんだり、涙ぐんだりすることがよくある	1	2	3	4	5
⑧ 新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい	1	2	3	4	5
⑨ 年の近い子どもたちより、大人といる方がうまくいく	1	2	3	4	5
⑩ こわがりで、すぐにおびえたりする	1	2	3	4	5

問14. あなたは、将来（しょうらい）の夢がありますか。

（あてはまるものを1つ選んでください ）

１．ある	２．ない

問15. あなたは、平日１日あたりどのくらいインターネット（スマートフォンをふくむ）を使っていますか。**（あてはまるものを1つ選んでください ）**

１．3時間以上	４．30分以上1時間未満
２．2時間以上3時間未満	５．30分未満
３．1時間以上2時間未満	６．使っていない

【問15. で「1. 3時間以上」～「5. 30分未満」を選んだ 方にお聞きします。】

問15-1. 具体的にどのような目的でインターネットを利用していますか。

（あてはまるものをすべて選んでください）

１．メール
２．SNS（LINEやインスタグラム、フェイスブック、X（旧ツイッター）など）
３．HP（ホームページ）、ブログをみる
４．HP（ホームページ）、ブログを書く
５．チャット、掲示板（けいじばん）
６．音楽をきく
７．動画をみる（Youtube、Tiktok など）
８．ネットショッピング、チケットを買う
９．オンラインゲーム
10．その他（　　）

【ここから再びすべての方にお聞きします。】

問16. 次の場所は、今のあなたにとっての居場所（ほっとできる場所、居心地のいい場所など）になっていますか。次の①から⑥のそれぞれの項目について答えてください。

（それぞれ1つずつ選んでください）

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない
① 自分の部屋	1	2	3	4
② 家庭（親せきの家をふくむ）	1	2	3	4
③ 学校	1	2	3	4
④ 児童館・こども館・青少年会館	1	2	3	4
⑤ 地域（ちいき） （現在住んでいる場所やその周辺の建物など）	1	2	3	4
⑥ インターネット空間	1	2	3	4

問17. あなたは松戸市が好きですか。**（あてはまるものを1つ選んでください）**

１．好き	３．どちらかといえば好きではない
２．どちらかといえば好き	４．好きではない

問18. あなたは、次の①～③のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。**（①～③それぞれについて、あてはまるもの1つを選んでください）**

	1 利用したことがある	利用したことはない		
		2 あれば利用したいと思う	3 今後も利用したいと思わない	4 今後利用したいかどうか分からない
① 子ども食堂（自分や友だちの家以外で、ごはんを無料か安く食べられる場所）	1	2	3	4
② 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
③（家や学校以外で）何でも相談できる場所（電話やネットの相談をふくむ）	1	2	3	4

【問18. で1つでも「1. 利用したことがある」を選んだ 方にお聞きします。】

問18-1. そこを利用したことで、次のような変化がありましたか。

（あてはまるものをすべて選んでください）

１．友だちが増えた
２．気軽に話せる大人が増えた
３．生活の中で楽しみなことが増えた
４．ほっとできる時間が増えた
５．栄養のある食事をとれることが増えた
６．勉強がわかるようになった
７．勉強する時間が増えた
８．その他（　　）
９．特に変化はない

【ここから再びすべての方にお聞きします。】

問19. あなたは、どのような運動やスポーツに関する習い事（部活動をふくむ）をしていますか。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

１．水泳（スイミング）	12．アメリカンフットボール
２．陸上競技・マラソン	13．バドミントン
３．体そう・新体そう・器械体そう	14．卓球（たっきゅう）
４．ダンス	15．柔道（じゅうどう）
５．野球・ソフトボール	16．剣道（けんどう）
６．サッカー・フットサル	17．空手
７．テニス	18．スキー・スノーボード
８．ゴルフ	19．スケート
９．バレーボール	20．その他（　　）
10．バスケットボール	21．何もしていない
11．ラグビー	

問20. あなたは、どのような音楽や芸術に関する習い事（部活動をふくむ）をしていますか。
（あてはまるものをすべて選んでください）

１．ピアノ・バイオリン等の楽器	７．書道（習字）
２．合唱・声楽	８．囲碁（いご）・将棋（しょうぎ）
３．バレエ	９．英会話・外国語
４．演げき・ミュージカル	10．その他（　　）
５．絵画・造形	11．何もしていない
６．茶道・華道（生け花）	

問21. あなたはご家族や友だちといっしょに、次のようなところに行ったことがありますか。
（あてはまるものをすべて選んでください）

１．海水浴	７．スポーツ観戦
２．山登り、ハイキング	８．演げき・ミュージカル
３．サイクリング	９．音楽のコンサート
４．キャンプ、バーベキュー	10．博物館・科学館・美術館
５．家族旅行	11．どこにも行ったことがない
６．遊園地やテーマパーク	

問22. あなたは、授業の時間や放課後・休日に、次のような体験活動をしたことがありますか。
（あてはまるものをすべて選んでください）

１．農業体験（野菜を育てたり、育てた野菜を食べる活動）
２．地元の会社や工場で仕事体験
３．赤ちゃんとのふれあい、子育て体験
４．お年寄りや体が不自由な人のお手伝いの体験
５．外国人との交流
６．そうじなどのボランティア活動
７．その他（　　）
８．特にしていない

問23. あなたが松戸市にあったらいいなと思うものやこれから力を入れてもらいたいことには、どのようなものがありますか。**（あてはまるものをすべて選んでください）**

１．森や川、畑、公園などの自然を利用して体験や遊びができる場所があること
２．放課後に友だちとおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごしたりできる場所や建物を増やすこと
３．野球やサッカー、バスケットボールなどのスポーツができる場所（グラウンドや体育館など）やスポーツ観戦の機会を増やすこと
４．ダンスやバンド活動、絵画や工作などの活動ができる場所や発表の機会を増やすこと
５．（学校以外に）学ぶ力や社会参加に必要な力を学べる機会や場所を増やすこと
６．身近にある会社や商店での仕事体験や、様々な仕事のプロの話を聞く機会を増やすこと
７．身近にある大学や博物館などで、学びや体験ができる機会を増やすこと
８．友だちや学校、自分のなやみについて、相談できる場所を増やしたり、メールや電話、SNS など、相談できる方法を増やしたりすること
９．体の不自由な人やお年寄りなどの手助けをするボランティア活動に参加できる機会を増やすこと
10．地域のそうじやごみ拾いなどのボランティア活動に参加できる機会を増やすこと
11．安心して外で遊んだり通学したりできること
12．赤ちゃんや小さな子どもたちとふれあう機会を増やすこと
13. 身近にいる大人やお年寄りとの交流の機会を増やすこと
14．将来（しょうらい）の夢や仕事などについて、アドバイスをもらったり、体験をしたりする機会を増やすこと
15. 外国の文化にふれる機会や外国人との交流を増やすこと
16．その他（　　）

あなた自身のことについてお聞きします。

問24. あなたの性別を教えてください。**（あてはまるものを1つ選んでください ）**

１ . 女子	２ . 男子	３ . その他

問25. あなたといっしょに住んでいる家族を教えてください。
（あてはまるものをすべて選んでください）

１ . お母さん	６ . 親せきのおじさん
２ . お父さん	７ . おばさん・おじさん以外の親せき
３ . おばあちゃん	８ . 兄弟・姉妹
４ . おじいちゃん	９ . その他（　　）
５ . 親せきのおばさん	

問26. いっしょに住んでいる家族のうち、働いている人を教えてください。
（あてはまるものをすべて選んでください ）

１ . お母さん	６ . 親せきのおじさん
２ . お父さん	７ . おばさん・おじさん以外の親せき
３ . おばあちゃん	８ . 兄弟・姉妹
４ . おじいちゃん	９ . その他（　　）
５ . 親せきのおばさん	

問27. 将来（しょうらい）の夢や、どんなまちに住みたいかなど、自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。

第5節　中学生調査票

松戸市の中学校2年生の皆さんへ 毎日の生活についての アンケートのおねがい

松戸市役所では、
皆さんがお家や学校で元気に楽しく過ごせるように、
色々な大人達が、毎日がんばって働いています。

そこで、これからも、皆さんが自分らしく幸せに暮らせるように、
大人達が皆さんのためにできること、
やらないといけないことを考えるため、
中学校2年生の皆さんにアンケートをお願いすることにしました。

みなさんの毎日の生活の様子や、困っていること、
大人にしてほしいと思うことをぜひ聞かせてください。

令和5年10月　松戸市長　本郷谷（ほんごうや） 健次（けんじ）

アンケートの答えかた

①皆さんのタブレットやスマートフォンで、右のバーコードを読み取ってください。

②最初の画面で、下に書いてある番号とアクセスキーを入力すると、アンケートがはじまりますので、答えてください。

二次元コード

回答サイトへ
（中学校2年生用）

番号 ＿＿＿＿　アクセスキー ＿＿＿＿

- アンケートは、すべて答えるのに15分くらいかかります。
- あなたがどう答えたのかを、誰かに知られることはありません。
- このプリントの裏面は、大人用のアンケートのおねがいになっています。お家の人にも見せて、答えてもらってください。

アンケートのしめきり

令和5年10月31日（火）までに答えてください。

問1. あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題も含みます。**（あてはまるものすべてを選択）**

１．自分で勉強する
２．塾で勉強する
３．学校の補習を受ける
４．家庭教師に教えてもらう
５．地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
６．家の人に教えてもらう
７．友達と勉強する
８．その他（　　）
９．学校の授業以外で勉強はしない

問2. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間も含みます。
（①、②それぞれについて、あてはまるもの1つを選択）

	1 まったくしない	2 30分より少ない	3 30分以上、1時間より少ない	4 1時間以上、2時間より少ない	5 2時間以上、3時間より少ない	6 3時間以上
① 学校がある日（月～金曜日）	1	2	3	4	5	6
② 学校がない日（土・日曜日・祝日）	1	2	3	4	5	6

問3. あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。
（あてはまるもの1つを選択）

１．上のほう
２．やや上のほう
３．まん中あたり
４．やや下のほう
５．下のほう
６．わからない

問4. あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。**（あてはまるもの1つを選択）**

１．いつもわかる
２．だいたいわかる
３．教科によってはわからないことがある
４．わからないことが多い
５．ほとんどわからない

【問4. で「3. 教科によってはわからないことがある」～「5. ほとんどわからない」を選択した方だけ にお聞きします。】

問4-1. いつ頃から、授業がわからないことがあるようになりましたか。

（あてはまるもの1つを選択）

１．小学生の頃
２．中学1年生の頃
３．中学2年生になってから

【すべての方にお聞きします。】

問5. あなたは、将来どの学校まで進学したいですか。**（あてはまるもの1つを選択）**

１．高校
２．高校→専門学校
３．5年制の高等専門学校
４．高校→短期大学
５．高校（または5年制の高等専門学校）→大学
６．高校（または5年制の高等専門学校）→大学→大学院
７．その他（　　）
８．進学したくない
９．まだわからない

【問5. で「1. 高校」～「7. その他」を選択 した方だけにお聞きします。】

問5-1. その理由を答えてください。**（あてはまるものすべてを選択）**

１．希望する学校や職業があるから	６．家にお金がないと思うから
２．自分の成績から考えて	７．早く働く必要があるから
３．親がそう言っているから	８．その他（　　）
４．兄・姉がそうしているから	９．特に理由はない
５．まわりの先輩や友達がそうしているから	

【すべての方にお聞きします。】

問6. あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

（あてはまるもの1つを選択）

１．参加している
２．参加していない

【問6. で「2. 参加していない」を選択した方だけにお聞きします。】

問6-1. 参加していない理由は何ですか。**（あてはまるものすべてを選択）**

１．学校や地域に入りたいクラブ・部活動がないから
２．塾や習い事が忙しいから
３．費用がかかるから
４．家の事情（家族のお世話、家事など）があるから
５．一緒に入る友達がいないから
６．スポーツや文化活動が好きではないから
７．よい指導者がいないから
８．その他（　　）

【ここから再びすべての方にお聞きします。】

問7. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

（①～③それぞれについて、あてはまるもの1つを選択）

	1 毎日食べる（週7日）	2 週5～6日	3 週3～4日	4 週1～2日、ほとんど食べない
① 朝食	1	2	3	4
② 夕食	1	2	3	4
③ 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問8. あなたは毎日の食事が楽しいですか。**（あてはまるもの1つを選択）**

１．とても楽しい	４．どちらかといえば楽しくない
２．どちらかといえば楽しい	５．まったく楽しくない
３．ふつう	

問9. あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

（あてはまるもの1つを選択）

１．そうである	３．どちらかといえばそうではない
２．どちらかといえばそうである	４．そうではない

問10. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。**（あてはまるものすべてを選択）**

１．親
２．兄弟・姉妹
３．祖父母、親せきなど
４．学校の先生
５．学校の友達
６．学校外の友達
７．スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
８．その他の大人
９．インターネットで知り合った人
10．だれにも相談できない、相談したくない

問11. 家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。（ここでの「お世話」とは、本来大人がするような家事や家族のお世話のことです）**（あてはまるもの1つを選択）**

１．いる	２．いない

【問11. で「1. いる」を選択した方だけにお聞きします。】

問11-1. お世話をしていることで、やりたくてもできていないことはありますか。

（あてはまるものすべてを選択）

１．学校に行きたくても行けない
２．どうしても学校を遅刻・早退してしまう
３．宿題をする時間や勉強する時間が取れない
４．睡眠が十分に取れない
５．友達と遊ぶことができない
６．部活や習いごとができない、もしくは辞めざるを得なかった
７．進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した
８．自分の時間がとれない
９．その他（　　）
10．特にない

【ここから再びすべての方にお聞きします。】

問12. 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。

（あてはまるもの1つを選択）

0 ← まったく満足していない							十分に満足している → 10			
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問13. あなたが自分自身について思っていることを、次の①から⑩のそれぞれの項目について答えてください。**（それぞれ1つずつ選択）**

	1 そう思う	2 だいたいそう思う	3 あまりそう思わない	4 まったくそう思わない	5 わからない
① 自分のことが好き	1	2	3	4	5
② 引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う	1	2	3	4	5
③ 自分なりの考えをもった人間だと思う	1	2	3	4	5
④ 一人でも何かを決めることができる人間だと思う	1	2	3	4	5
⑤ まわりの人から大切にされていると思う	1	2	3	4	5
⑥ 心配ごとが多く、いつも不安に思っている	1	2	3	4	5
⑦ 落ちこんで沈んだり、涙ぐんだりすることがよくある	1	2	3	4	5
⑧ 新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい	1	2	3	4	5
⑨ 同年代の子どもたちより、大人といる方がうまくいく	1	2	3	4	5
⑩ こわがりで、すぐにおびえたりする	1	2	3	4	5

問14. あなたは、将来の夢がありますか。**（あてはまるもの1つを選択）**

１．ある	２．ない

問15. あなたは、平日1日あたりどのくらいインターネット（スマートフォンを含む）を使っていますか。**（あてはまるもの1つを選択）**

１．3時間以上	４．30分以上1時間未満
２．2時間以上3時間未満	５．30分未満
３．1時間以上2時間未満	６．使っていない

【問15. で「1. 3時間以上」～「5. 30分未満」を選択した方だけにお聞きします。】

問15-1. 具体的にどのような目的でインターネットを利用していますか。

（あてはまるものすべてを選択）

１．メール
２．SNS（LINEやインスタグラム、フェイスブック、X（旧ツイッター）など）
３．HP（ホームページ）、ブログの閲覧
４．HP（ホームページ）、ブログの更新
５．チャット、掲示板
６．音楽の視聴
７．動画の閲覧（Youtube、Tiktok など）
８．ネットショッピング、チケットの予約・購入
９．オンラインゲーム
10．その他（　　）

【ここから再びすべての方にお聞きします。】

問16. 次の場所は、今のあなたにとっての居場所（ほっとできる場所、居心地のいい場所など）になっていますか。次の①から⑥のそれぞれの項目について答えてください。

（それぞれ1つずつ選択）

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない
① 自分の部屋	1	2	3	4
② 家庭（親せきの家を含む）	1	2	3	4
③ 学校	1	2	3	4
④ 児童館・こども館・青少年会館	1	2	3	4
⑤ 地域（現在住んでいる場所やその周辺の施設など）	1	2	3	4
⑥ インターネット空間	1	2	3	4

問17. あなたは松戸市が好きですか。**（あてはまるもの1つを選択）**

１．好き
２．どちらかといえば好き
３．どちらかといえば好きではない
４．好きではない

問18. あなたは、次の①～③のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。**(①～③それぞれについて、あてはまるもの1つを選択)**

	1 利用したことがある	利用したことはない		
		2 あれば利用したいと思う	3 今後も利用したいと思わない	4 今後利用したいかどうか分からない
① 子ども食堂 （自分や友達の家以外で、ごはんを無料か安く食べられる場所）	1	2	3	4
② 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
③ （家や学校以外で）何でも相談できる場所 （電話やネットの相談を含む）	1	2	3	4

【問18. で1つでも「1. 利用したことがある」を選択した方だけにお聞きします。】

問 18-1. そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。

（あてはまるものすべてを選択）

１．友達が増えた
２．気軽に話せる大人が増えた
３．生活の中で楽しみなことが増えた
４．ほっとできる時間が増えた
５．栄養のある食事をとれることが増えた
６．勉強がわかるようになった
７．勉強する時間が増えた
８．その他（　　）
９．特に変化はない

【ここから再びすべての方にお聞きします。】

問19. あなたは、運動やスポーツに関する習い事（部活動を含む）をしていますか。

（あてはまるものすべてを選択）

１．水泳（スイミング）	12．アメリカンフットボール
２．陸上競技・マラソン	13．バドミントン
３．体操・新体操・器械体操	14．卓球
４．ダンス	15．柔道
５．野球・ソフトボール	16．剣道
６．サッカー・フットサル	17．空手
７．テニス	18．スキー・スノーボード
８．ゴルフ	19．スケート
９．バレーボール	20．その他（　　）
10．バスケットボール	21．何もしていない
11．ラグビー	

問20. あなたは、音楽や芸術に関する習い事（部活動を含む）をしていますか。

（あてはまるものすべてを選択）

１．ピアノ・バイオリン等の楽器	７．書道（習字）
２．合唱・声楽	８．囲碁・将棋
３．バレエ	９．英会話・外国語
４．演劇・ミュージカル	10．その他（　　）
５．絵画・造形	11．何もしていない
６．茶道・華道（生け花）	

問21. あなたはご家族や友達と一緒に、次のようなところに行ったことがありますか。
（あてはまるものすべてを選択）

１．海水浴	７．スポーツ観戦
２．山登り、ハイキング	８．演劇・ミュージカル
３．サイクリング	９．音楽のコンサート
４．キャンプ、バーベキュー	10．博物館・科学館・美術館
５．家族旅行	11．どこにも行ったことがない
６．遊園地やテーマパーク	

問22. あなたは、総合的な学習の時間や放課後・休日に、次のような体験活動をしたことがありますか。**（あてはまるものすべてを選択）**

１．農業体験
２．地元企業での職場体験
３．赤ちゃんとのふれあい、子育て・保育体験
４．高齢者や障害者への福祉活動体験
５．外国人との交流（学校の授業以外）
６．掃除や環境美化などのボランティア活動
７．その他（　　）
８．特にしていない

問23. あなたが松戸市にあったらいいなと思うものやこれから力を入れてもらいたいことにはどのようなものがありますか。**（あてはまるものすべてを選択）**

１．森や川、畑、公園などの自然を利用して体験や遊びができる場所があること
２．放課後に友達とおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごしたりできる場所や施設を増やすこと
３．野球やサッカー、バスケットボールなどのスポーツができる場所や施設（グラウンドや体育館など）を増やすこと
４．ダンスやバンド活動、絵画や工作などの活動ができる場所や発表の機会を増やすこと
５．（学校以外に）学ぶ力や社会参加に必要な力を学べる機会や場所を増やすこと
６．地域にある会社や商店での職場体験や、様々な仕事のプロの話を聞く機会を増やすこと
７．地域の大学や博物館などで、学びや体験ができる機会を増やすこと
８．友達や学校、自分の悩みについて、相談できる場所を増やしたり、メールや電話、SNS など、相談できる方法を増やしたりすること
９．体の不自由な人やお年寄りなどの手助けをするボランティア活動に参加できる機会を増やすこと
10．地域の清掃活動や廃品回収などのボランティア活動に参加できる機会を増やすこと
11．安心して外で遊んだり通学したりできること
12．赤ちゃんや小さな子どもたちとふれあう機会を増やすこと
13. 地域の大人や高齢者との交流の機会を増やすこと
14．将来の夢や仕事などについて、アドバイスをもらったり、体験をしたりする機会を増やすこと
15. 外国の文化にふれる機会を増やすこと
16．その他（　　）

あなた自身のことについてお聞きします。

問24. あなたの性別を教えてください。**(あてはまるもの1つを選択)**

１．女子	２．男子	３．その他

問25. あなたと一緒に住んでいる家族を教えてください。**(あてはまるものすべてを選択)**

１．母親	６．叔父
２．父親	７．叔母・叔父以外の親せき
３．祖母	８．兄弟・姉妹
４．祖父	９．その他(　　)
５．叔母	

問26. 一緒に住んでいる家族のうち、働いている人を教えてください。

(あてはまるものすべてを選択)

１．母親	６．叔父
２．父親	７．叔母・叔父以外の親せき
３．祖母	８．兄弟・姉妹
４．祖父	９．その他(　　)
５．叔母	

問27. 将来の夢や、どんな街に住みたいかなど、自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。

第6節　高校生調査票

松戸市子ども・子育てに関するアンケート調査
（高校２年生対象）

～アンケートにご協力をお願いします～

松戸市では、未来の社会を担う子どもや若者の皆さんが、自分らしく健やかに成長し、幸せに暮らしていけるよう、様々な取組を行っています。

こうした中で、松戸市が、これから皆さんのためにできることや、やるべきことを考えるために、皆さんの生活の様子や困り事、皆さんが松戸市に望んでいることなどについて、松戸市の高校２年生１，０００人を対象に、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

アンケートの結果については、松戸市が、子どもや若者の皆さんを支える取組を検討するための貴重な資料となりますので、勉強や部活動などでお忙しいとは思いますが、皆さんの意見を是非とも聞かせてください。

令和５年１０月　松戸市長　本郷谷　健次

- この調査票は、宛名のご本人様が記入いただきますようお願いいたします。
- この調査票は無記名となりますので、氏名の記入は必要ございません。
- **調査票のご提出は、１０月３１日（火）まで**にお願いいたします。

  調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ポストにご投函ください。

本アンケートはインターネットでも回答いただけます

- 右に記載の二次元コードから回答サイトにアクセスいただき、画面の案内にそって回答をお願いします。
- **インターネットで回答された場合は、調査票のご提出は不要です。**

二次元コード

回答サイトへ

お問い合わせ先

松戸市　子ども部　子ども政策課　電話：０４７－７０４－４００７

問1. あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題も含みます。**(あてはまるものすべてに○)**

１．自分で勉強する
２．塾・予備校で勉強する
３．学校の補習を受ける
４．家庭教師に教えてもらう
５．地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
６．家の人に教えてもらう
７．友達と勉強する
８．その他(　　)
９．学校の授業以外で勉強はしない

問2. あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾・予備校などでの勉強時間も含みます。

(①、②それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	1	2	3	4	5	6
	まったくしない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上
① 学校がある日(月～金曜日)	1	2	3	4	5	6
② 学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6

問3. あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。**(1つだけに○)**

１．上のほう	４．やや下のほう
２．やや上のほう	５．下のほう
３．まん中あたり	６．わからない

問4. あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。**(1つだけに○)**

1．いつもわかる
2．だいたいわかる
3．教科によってはわからないことがある
4．わからないことが多い
5．ほとんどわからない

【問4. で「3. 教科によってはわからないことがある」～「5. ほとんどわからない」に○をした方にお聞きします。】

問4-1. いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。**(1つだけに○)**

1．小学生の頃
2．中学生の頃
3．高校1年生の頃
4．高校2年生になってから

【すべての方にお聞きします。】

問5. あなたは、将来どの学校に進学したいですか。**(1つだけに○)**

1．専門学校
2．5年制の高等専門学校
3．短期大学
4．大学
5．大学、大学院
6．その他(　　)
7．進学したくない
8．まだわからない

【問5. で「1. 専門学校」～「6. その他」に○をした方にお聞きします。】

問5-1. その理由を答えてください。**(あてはまるものすべてに○)**

1．希望する学校や職業があるから
2．自分の成績から考えて
3．親がそう言っているから
4．兄・姉がそうしているから
5．まわりの先輩や友達がそうしているから
6．家にお金がないと思うから
7．早く働く必要があるから
8．その他(　　)
9．特に理由はない

【すべての方にお聞きします。】

問6. あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

（1つだけに○）

１．参加している
２．参加していない

【問6. で「2. 参加していない」に○をした方にお聞きします。】

問6-1. 参加していない理由は何ですか。**（あてはまるものすべてに○）**

１．入りたいクラブ・部活動がないから
２．塾・予備校や習い事が忙しいから
３．費用がかかるから
４．家の事情（家族の世話、家事など）があるから
５．一緒に入る友達がいないから
６．その他（　　）

【ここから再びすべての方にお聞きします。】

問7. あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

（①～③それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	1 毎日食べる（週7日）	2 週5～6日	3 週3～4日	4 週1～2日、ほとんど食べない
① 朝食	1	2	3	4
② 夕食	1	2	3	4
③ 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問8. あなたは毎日の食事が楽しいですか。**(1つだけに○)**

１．とても楽しい	４．どちらかといえば楽しくない
２．どちらかといえば楽しい	５．まったく楽しくない
３．ふつう	

問9. あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。**(1つだけに○)**

１．そうである	３．どちらかといえばそうではない
２．どちらかといえばそうである	４．そうではない

問10. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。**(あてはまるものすべてに○)**

１．親
２．兄弟・姉妹
３．祖父母など親せき
４．学校の先生
５．学校の友達
６．学校外の友達
７．スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
８．その他の大人
９．インターネットで知り合った人
10．だれにも相談できない、相談したくない

問11. 家族の中に、あなたがお世話をしている人はいますか。（ここでの「お世話」とは、本来大人がするような家事や家族のお世話のことです）**（1つだけに○）**

１．いる	２．いない

【問11. で「1. いる」を選択した方にお聞きします。】

問11-1. お世話をしていることで、やりたくてもできていないことはありますか。

（あてはまるものすべてに○）

１．学校に行きたくても行けない
２．どうしても学校を遅刻・早退してしまう
３．宿題をする時間や勉強する時間が取れない
４．睡眠が十分に取れない
５．友達と遊ぶことができない
６．部活や習いごとができない、もしくは辞めざるを得なかった
７．進路の変更を考えざるを得ない、もしくは進路を変更した
８．自分の時間がとれない
９．その他（　　）
10．特にない

【ここから再びすべての方にお聞きします。】

問12. 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で答えてください。**（1つだけに○）**

0 ← まったく満足していない									十分に満足している → 10	
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問13. あなたが自分自身について思っていることを、次の①から⑩のそれぞれの項目について答えてください。**(①～⑩それぞれについて、あてはまるもの1つに○)**

	1 そう思う	2 だいたいそう思う	3 あまりそう思わない	4 まったくそう思わない	5 わからない
① 自分のことが好き	1	2	3	4	5
② 引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う	1	2	3	4	5
③ 自分なりの考えをもった人間だと思う	1	2	3	4	5
④ 一人でも何かを決めることができる人間だと思う	1	2	3	4	5
⑤ まわりの人から大切にされていると思う	1	2	3	4	5
⑥ 心配ごとが多く、いつも不安に思っている	1	2	3	4	5
⑦ 落ちこんで沈んだり、涙ぐんだりすることがよくある	1	2	3	4	5
⑧ 新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい	1	2	3	4	5
⑨ 同年代の子どもたちより、大人といる方がうまくいく	1	2	3	4	5
⑩ こわがりで、すぐにおびえたりする	1	2	3	4	5

問14. あなたは、将来の夢がありますか。**(1つだけに○)**

１．ある	２．ない

問15. あなたは、平日1日あたりどのくらいインターネット(スマートフォンを含む)を使っていますか。**(1つだけに○)**

１．3時間以上	４．30分以上1時間未満
２．2時間以上3時間未満	５．30分未満
３．1時間以上2時間未満	６．使っていない

【問15. で「1. 3時間以上」～「5. 30分未満」に○をした方にお聞きします。】

問15-1. 具体的にどのような目的でインターネットを利用していますか。

（あてはまるものすべてに○）

１．メール
２．SNS（LINEやインスタグラム、フェイスブック、X（旧ツイッター）など）
３．HP（ホームページ）、ブログの閲覧
４．HP（ホームページ）、ブログの更新
５．チャット、掲示板
６．音楽の視聴
７．動画の閲覧
８．ネットショッピング、チケットの予約・購入
９．オンラインゲーム
10．その他（　　）

【ここから再びすべての方にお聞きします。】

問16. 次の場所は、今のあなたにとっての居場所（ほっとできる場所、居心地のいい場所など）になっていますか。次の①から⑥のそれぞれの項目について答えてください。

（①～⑥それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	1 そう思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらかといえばそう思わない	4 そう思わない
① 自分の部屋	1	2	3	4
② 家庭（親せきの家を含む）	1	2	3	4
③ 学校	1	2	3	4
④ 児童館・こども館・青少年会館	1	2	3	4
⑤ 地域（現在住んでいる場所やその周辺の施設など）	1	2	3	4
⑥ インターネット空間	1	2	3	4

問17. あなたは松戸市が好きですか。**（1つだけに○）**

１．好き	３．どちらかといえば好きではない
２．どちらかといえば好き	４．好きではない

問18. あなたは、次の①～③のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。**(①～③それぞれについて、あてはまるもの1つに○)**

	1 利用したことがある	利用したことはない		
		2 あれば利用したいと思う	3 今後も利用したいと思わない	4 今後利用したいかどうか分からない
① 子ども食堂 （自分や友達の家以外で、ごはんを無料か安く食べられる場所）	1	2	3	4
② 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
③（家や学校以外で）何でも相談できる場所 （電話やネットの相談を含む）	1	2	3	4

【問18. で1つでも「1. 利用したことがある」に○をした方にお聞きします。】

問18-1　そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。

(あてはまるものすべてに○)

１．友達が増えた
２．気軽に話せる大人が増えた
３．生活の中で楽しみなことが増えた
４．ほっとできる時間が増えた
５．栄養のある食事をとれることが増えた
６．勉強がわかるようになった
７．勉強する時間が増えた
８．その他(　　)
９．特に変化はない

【ここから再びすべての方にお聞きします。】

問19. あなたは、運動やスポーツに関する習い事（部活動を含む）をしていますか。

（あてはまるものすべてに○）

１．水泳（スイミング）	12．アメリカンフットボール
２．陸上競技・マラソン	13．バドミントン
３．体操・新体操・器械体操	14．卓球
４．ダンス	15．柔道
５．野球・ソフトボール	16．剣道
６．サッカー・フットサル	17．空手
７．テニス	18．スキー・スノーボード
８．ゴルフ	19．スケート
９．バレーボール	20．その他（　　）
10．バスケットボール	21．何もしていない
11．ラグビー	

問20. あなたは、文化や芸術に関する習い事（部活動を含む）をしていますか。

（あてはまるものすべてに○）

１．ピアノ・バイオリン等の楽器	７．書道（習字）
２．合唱・声楽	８．囲碁・将棋
３．バレエ	９．英会話・外国語
４．演劇・ミュージカル	10．その他（　　）
５．絵画・造形	11．何もしていない
６．茶道・華道（生け花）	

問21. あなたはご家族や友達と一緒に、次のようなところに行ったことがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

１．海水浴	７．スポーツ観戦
２．山登り、ハイキング	８．演劇鑑賞
３．サイクリング	９．音楽のライブ・コンサート鑑賞
４．キャンプ、バーベキュー	10．博物館・科学館・美術館
５．家族旅行	11．その他（　　）
６．遊園地やテーマパーク	12．どこにも行ったことがない

問22. あなたは、総合的な学習の時間や放課後・休日に、次のような体験活動をしたことがありますか。**（あてはまるものすべてに○）**

１．農業体験
２．地元企業での職場体験、インターンシップ
３．赤ちゃんとのふれあい、子育て・保育体験
４．高齢者や障害者への福祉活動体験
５．外国人との交流（学校の授業以外）
６．掃除や環境美化などのボランティア活動
７．その他（　　）
８．特にしていない

問23. あなたが松戸市にあったらいいなと思うものやこれから力を入れてもらいたいことにはどのようなものがありますか。**（あてはまるものすべてに○）**

１．森や川、畑、公園などの自然を利用して体験や遊びができる場所があること
２．放課後に友達とおしゃべりをしたり、遊びや勉強、読書など自由に過ごしたりできる場所や施設を増やすこと
３．野球やサッカー、バスケットボールなどのスポーツができる場所や施設（グラウンドや体育館など）を増やすこと
４．ダンスやバンド活動、絵画や工作などの活動ができる場所や発表の機会を増やすこと
５．（学校以外に）学ぶ力や社会参加に必要な力を学べる機会や場所を増やすこと
６．地域にある会社や商店での職場体験や、様々な仕事のプロの話を聞く機会を増やすこと
７．地域の大学や博物館などで、学びや体験ができる機会を増やすこと
８．友達や学校、自分の悩みについて、相談できる場所を増やしたり、メールや電話、SNS など、相談できる方法を増やしたりすること
９．体の不自由な人やお年寄りなどの手助けをするボランティア活動に参加できる機会を増やすこと
10．地域の清掃活動や廃品回収などのボランティア活動に参加できる機会を増やすこと
11．安心して外で遊んだり通学したりできること
12．赤ちゃんや小さな子どもたちとふれあう機会を増やすこと
13. 地域の大人や高齢者との交流の機会を増やすこと
14．将来の夢や仕事などについて、アドバイスをもらったり、体験をしたりする機会を増やすこと
15. 外国の文化にふれる機会を増やすこと
16．その他（　　）

あなた自身のことについてお聞きします。

問24. あなたの性別を教えてください。**(1つだけに○)**

１．女性	２．男性	３．その他

問25. あなたと一緒に住んでいる家族を教えてください。**(あてはまるものすべてに○)**

１．母親	６．叔父
２．父親	７．叔母・叔父以外の親せき
３．祖母	８．兄弟・姉妹
４．祖父	９．その他(　　)
５．叔母	

問26. 一緒に住んでいる家族のうち、働いている人を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

１．母親	６．叔父
２．父親	７．叔母・叔父以外の親せき
３．祖母	８．兄弟・姉妹
４．祖父	９．その他(　　)
５．叔母	

問27. 現在の家庭の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。**(1つだけに○)**

１．とてもゆとりがある	４．やや苦しい
２．ややゆとりがある	５．とても苦しい
３．ふつう	

問28. 将来の夢や、どんな街に住みたいかなど、自由に書いてください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、10月31日(火)までにポストにご投函ください。
集計結果については、来年4月以降に、
松戸市ホームページで公開する予定です。

第7節　若者(18～24 歳)調査票

松戸市の子ども・子育て支援に関する アンケート調査にご協力をお願いします！

日頃より松戸市政にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

本市では現在、令和７年度から令和１１年度までを計画期間とする「第３期松戸市子ども総合計画」の策定を進めており、本計画は、今後の子ども・子育て支援に関する本市の基本理念や基本目標、重点施策、施設や事業の整備方針等を定めるものでございます。

そのため、本市では、本計画の策定に当たって、子ども、若者、子育て世帯の生活実態や動向、ニーズ等を把握、分析することを目的として、市民アンケート調査を実施させていただくことになりました。

本調査は、**１８歳～２４歳の若者**の皆さんを対象として、住民基本台帳（令和５年９月１日現在）から１，０００人を無作為に抽出し、ご協力をお願いしております。

調査結果については、本計画策定の貴重な検討資料となりますので、ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

二次元コード

令和５年１０月　松戸市長　本郷谷　健次

アンケートの回答方法
①　上の二次元コードから回答サイトにアクセス
②　画面の案内にそって、アンケートに回答（所要時間１０分程度）

※ID 等の入力は不要です。

アンケートの回答期限
令和５年１１月７日(火)

問い合わせ先

松戸市　子ども部　子ども政策課　電話：047-704-4007

あなた自身のことについて

問1. あなたの性別をお答えください。**（あてはまるもの1つを選択）**

1. 女性	2. 男性	3. その他

問2. あなたの年齢をお答えください。※令和5年4月1日現在 **（ □ 内に数字でご記入ください ）**

□□ 歳

問3. あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。**（あてはまるもの1つを選択）**

1. 未婚	3. 配偶者と死別
2. 配偶者あり	4. 配偶者と離別（離婚）

問4. 現在、あなたと同居している方をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。**（あてはまる もの すべてを選択）**

※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「12. その他」をお選びください。

1. 母親	8. 兄弟・姉妹
2. 父親	9. 配偶者
3. 祖母	10. あなたの子ども
4. 祖父	11. 友達
5. 叔母	12. その他（　　）
6. 叔父	13. 同居している人はいない（単身世帯）
7. 叔母・叔父以外の親せき	

問5. あなたの家の生計について、次の(1)と(2)のそれぞれにお答えください。

(1)生計を支えている方は主にどなたですか。また、仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。**(あてはまるものすべてを選択)**

1. 母親	8. 兄弟・姉妹
2. 父親	9. 配偶者
3. 祖母	10. 友達
4. 祖父	11. あなた自身
5. 叔母	12.その他(　　)
6. 叔父	13. わからない
7. 叔母・叔父以外の親せき	

(2)主に生計を支えている方の主な収入源は何ですか。**(あてはまるもの1つを選択)**

1. 就労、事業による収入(農業収入を含む)	4. 生活保護
2. 預金やその利息、財産からの収入 (株の配当や不動産賃料など)	5. その他(　　)
	6. わからない、答えられない
3. 年金	

問6. 現在の家庭の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。**(あてはまるもの1つを選択)**

1. とてもゆとりがある	4. やや苦しい
2. ややゆとりがある	5. とても苦しい
3. ふつう	

問7. あなたが最後に卒業(中退を含む)した学校をお答えください。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。**(あてはまるもの1つを選択)**

1. 中学校	4. 5年制の高等専門学校	7. 大学院
2. 高等学校	5. 短期大学	8. その他(　　)
3. 専門学校	6. 大学	9. わからない

問8. あなたの現在の仕事をお答えください。**（あてはまるもの1つを選択）**

1. 学生・生徒（予備校生などを含む）	8. 家族従業者・内職
2. パート・アルバイト	9. 専業主婦・主夫
3. 派遣社員	10. 家事手伝い
4. 契約社員・嘱託	11. 無職（仕事を探している）
5. 正規の社員・職員・従業員	12. 無職（仕事を探していない）
6. 会社などの役員	13. その他（　　）
7. 自営業・自由業	

あなたの日頃の意識と生活について

問9. あなたが自分自身について思っていることを、次の①から⑨のそれぞれの項目について答えてください。**（①～⑨それぞれについて、あてはまるもの1つに ○）**

	1 そう思う	2 だいたいそう思う	3 あまりそう思わない	4 まったくそう思わない	5 わからない
① 自分のことが好き	1	2	3	4	5
② 引き受けたことは最後までやりとげる人間だと思う	1	2	3	4	5
③ 自分なりの考えをもった人間だと思う	1	2	3	4	5
④ 一人でも何かを決めることができる人間だと思う	1	2	3	4	5
⑤ まわりの人から大切にされていると思う	1	2	3	4	5
⑥ 心配ごとが多く、いつも不安に思っている	1	2	3	4	5
⑦ 落ちこんでしずんだり、涙ぐんだりすることがよくある	1	2	3	4	5
⑧ 新しい場面に直面すると、不安になり自信をなくしやすい	1	2	3	4	5
⑨ こわがりで、すぐにおびえたりする	1	2	3	4	5

問 10. 全体として、あなたは最近の生活にどのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で答えてください。**(あてはまるもの1つを選択)**

0 ← まったく満足していない								十分に満足している → 10		
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 11. 次の場所は、今のあなたにとっての居場所(ほっとできる場所、居心地のいい場所など)になっていますか。次の①から⑤のそれぞれの項目について答えてください。

(①～⑤それぞれについて、あてはまるもの1つに ○)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
① 自分の部屋	1	2	3	4
② 家庭(実家や親族の家を含む)	1	2	3	4
③ 学校・職場	1	2	3	4
④ 地域(図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など)	1	2	3	4
⑤ インターネット空間(SNS、YouTube やオンラインゲームなど)	1	2	3	4

問 12. あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。**(あてはまるもの1つを選択)**

1. 決してない	4. 時々ある
2. ほとんどない	5. しばしばある・常にある
3. たまにある	

問 13. あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。
（あてはまる もの すべてを選択）

1. 親
2. 配偶者・パートナー
3. 兄弟・姉妹
4. 祖父母など親せき
5. 学校の先生
6. 友人
7. 職場の同僚
8. 地域の人
9. インターネットで知り合った人
10. その他(　　)
11. だれにも相談できない、相談したくない

問 14. あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。**（あてはまるもの1つを選択）**

1. そう思う
2. どちらかといえば、そう思う
3. どちらかといえば、そう思わない
4. そう思わない

問 15. あなたは、将来の夢がありますか。**（あてはまるもの1つを選択）**

1. ある
2. ない

問 16. あなたは普段どのくらい外出しますか。現在のことについてお答えください。
（あてはまるもの1つを選択）

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する
2. 仕事や学校で週に 3～4 日外出する
3. 遊び等で頻繁に外出する
4. 人づきあいのためにときどき外出する
5. 普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する
6. 普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
7. 自室からは出るが、家からは出ない
8. 自室からほとんど出ない

【問 16. で「5.」～「8.」を選択した方にお聞きします。】

問 17. あなたの外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。**(あてはまるもの1つを選択)**

1. 3か月未満	6. 3年～5年未満
2. 3か月～6か月未満	7. 5年～7年未満
3. 6か月～1年未満	8. 7年～10 年未満
4. 1年～2年未満	9. 10 年～15 年未満
5. 2年～3年未満	10. 15 年以上

【問 17. で「3.」～「10.」を選択した方にお聞きします。】

問 18. あなたの外出状況が現在の状態になったのは、何歳の頃ですか。**(あてはまるもの1つを選択)**

1. 14 歳以下
2. 15 歳～19 歳
3. 20 歳～24 歳

【問 17. で「3.」～「10.」を選択した方にお聞きします。】

問 18-1. あなたの外出状況が現在の状態になった主な理由は何ですか。**(あてはまる もの すべてを選択)**

1. 学校になじめなかったこと
2. 小学校時代の不登校
3. 中学校時代の不登校
4. 高校時代の不登校
5. 大学(専門学校、短期大学等を含む)時代の不登校
6. 受験に失敗したこと(高校・大学等)
7. 就職活動がうまくいかなかったこと
8. 職場になじめなかったこと
9. 人間関係がうまくいかなかったこと
10. 病気(病名:)
11. 妊娠したこと
12. 退職したこと
13. 介護・看護を担うことになったこと
14. 新型コロナウイルス感染症が流行したこと
15. その他( )
16. 特に理由はない
17. わからない

問 19. 最近6か月間に、家族以外の人と会話しましたか。**（あてはまるもの1つを選択）**

1. よく会話した	3. ほとんど会話しなかった
2. ときどき会話した	4. まったく会話しなかった

問 20. あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった状態が改善した経験がありましたか。**（あてはまるもの1つを選択）**

1. あった	4. なかった
2. どちらかといえば、あった	5. わからない
3. どちらかといえば、なかった	

【問 20. で「1.」または「2.」を選択した方にお聞きします。】

問 21. 状態が改善したきっかけや改善に役立ったことは何だと思いますか。

（あてはまるものすべてを選択）

1. 家族や親せきの助け
2. 友人の助け
3. 学校の先生に相談したこと
4. スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと
5. 地域の人の助け
6. 病院に行って相談したこと
7. 相談できる場所に行って相談したこと
8. 電話相談を利用したこと
9. SNS やメール相談などを利用したこと
10. 同じようにうまくいかなかった経験をした人に話してみたこと
11. 就職・転職したこと
12. 趣味の活動に参加したこと
13. 時間がたって状況が変化した
14. 自分の努力で乗りこえた
15. その他（　　）
16. わからない、答えられない

問22. あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態になったときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所に相談したいと思いますか。

（あてはまるものすべてを選択）

1. 同じ悩みを持っている、持っていたことがある人
2. 同世代の人
3. 同性 の人
4. 匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる窓口・サービス
5. 電話で相談できる サービス
6. SNS やメールなどで相談できる サービス
7. 曜日・時間帯を気にせずに相談できる 窓口・サービス
8. 自宅から近い 窓口・サービス
9. 相手が自宅に来てくれる サービス
10. 無料で相談できる 窓口・サービス
11. 公的な支援機関
12. 民間の支援団体（NPO など）
13. 医師
14. カウンセラーなど心理学の専門家
15. その他（　　）
16. 誰にも相談したくない

【問22. で「16. 」を選択した方にお聞きします。】

問23. 相談したくないと思う理由は何ですか。**(あてはまるものすべてを選択)**

1. 相談しても解決できないと思うから
2. 自分一人で解決するべきだと思うから
3. 誰にも知られたくないことだから
4. 自分が変な人に思われるのではないかと不安だから
5. 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから
6. 相手がどんな人かわからないから
7. 何を聞かれるか不安に思うから
8. 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから
9. 相手にうまく伝えられないから
10. 裏切られたり、失望するのが嫌だから
11. お金がかかると思うから
12. その他(　　)
13. 特に理由はない、わからない

子どもの虐待について

問24. あなたは、身近なところで子どもの虐待かもしれないと思ったことはありますか。

（あてはまるもの1つを選択）

1. ある
2. 虐待かどうかわからないが、おかしいなと思ったことがある
3. ない

【問24. で、「1. 」または「2.」を選択した方にお聞きします。】

問24-1. その時の状況は、どのようなものですか。**（あてはまるものすべてを選択）**

1. 子どもの泣き声が頻繁に聞こえた
2. 子どもを叩いたり、つねったりしていた
3. 厳しくしつけをしていた
4. 食事を長時間与えなかったり、子どもを長時間放置したりしていた
5. 感情的な言葉を子どもに投げかけていた
6. 子どもの目の前で両親がケンカをしていた
7. 子どもが病気や怪我をしても、病院などに連れていかなかった
8. その他（　　）

問24-2. その時どのように対応しようと思いましたか。**（あてはまるものすべてを選択）**

1. こども家庭センター（旧子ども家庭相談課）に連絡をする
2. 児童相談所に連絡をする
3. 民生委員・児童委員に相談する
4. 警察に連絡する
5. 保育所（園）や幼稚園、学校などに連絡する
6. 健康福祉センター（保健所）に連絡をする
7. 保健福祉センターに連絡する
8. 知り合いの人たちで相談にのる
9. 様子をみる
10. どうして良いか分からなかった
11. 特に何も思わなかった
12. その他（　　）

問25. あなたは、子ども・若者を対象とした、次の育成支援機関等を知っていますか。

（あてはまるものすべてを選択）

1. 精神保健福祉センター
2. ひきこもり地域支援センター
3. 発達障害者支援センター
4. 子ども・若者総合相談センター、教育相談所、相談室などの相談機関
5. 児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関
6. 教育支援センター（適応指導教室）
7. 青少年プラザ・青少年会館
8. 職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関
9. フリースクール
10. 通信制高校のサポート校
11. その他民間の機関（自然体験活動、学習支援、就労支援、ひきこもりの支援など若者育成支援を行う NPO など）
12. どれも知らない

問26. あなたは松戸市が好きですか。**（あてはまるもの1つを選択）**

1. 好き	3. どちらかといえば好きではない
2. どちらかといえば好き	4. 好きではない

最後にお聞きします。子どもや若者への支援についてご意見などがありましたら、自由にご記入ください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

集計結果については、来年４月以降に、
松戸市ホームページで公開する予定です。

第8節　転出世帯調査票

松戸市子ども・子育てに関するアンケート調査
（松戸市から転出した就学前児童保護者対象）

～アンケートにご協力をお願いします～

松戸市在住の節には、市政に対し、ご理解とご協力を賜りましたこと、感謝申し上げます。

松戸市では現在、令和７年度から令和１１年度までを計画期間とする「第３期松戸市子ども総合計画」の策定を進めており、本計画は、今後の子ども・子育て支援に関する基本理念や基本目標、重点施策、施設や事業の整備方針等を定めるものでございます。

そのため、松戸市では、本計画の策定に当たって、子ども・子育て世帯が市外に転出された要因や松戸市の子育て環境の課題等を把握、分析することを目的として、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

本調査は、松戸市から転出された就学前のお子さんの保護者様を対象として、住民基本台帳（令和５年９月１日現在）から５００人を抽出し、ご協力をお願いしております。

調査結果については、本計画策定の貴重な検討資料となりますので、ご多忙のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和５年１１月　松戸市長　本郷谷　健次

- この調査票は、宛名のお子さんの保護者様がご記入いただきますようお願いいたします。
- この調査票は無記名となりますので、氏名の記入は必要ございません。
- **調査票のご提出は、１１月２２日（水）まで**にお願いいたします。

  調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ポストにご投函ください。

本アンケートはインターネットでも回答いただけます

- 右に記載の二次元コードから回答サイトにアクセスいただき、画面の案内にそって回答をお願いします。
- **インターネットで回答された場合は、調査票のご提出は不要です。**

二次元コード

回答サイトへ

お問い合わせ先

松戸市　子ども部　子ども政策課　電話：０４７－７０４－４００７

問1. 松戸市から転出後は、どちらの市区町村にお住まいですか。**（下の枠内におところを記入）**

都 道 府 県	市 区 町 村

問2. 松戸市から転出したきっかけはなんですか。**（あてはまる番号すべてに○）**

1. 就労状況の変化（就職・転職・退職など）	9. 家族・親族の近隣に住むため
2. 転勤	10. 家族・親族と別居するため
3. 子どもの妊娠・出産	11. 家族・親族に介護が必要になったため
4. より良い子育て環境を求めて	12. より良い条件の賃貸住宅に転居するため
5. 子どもの進学のため	13. 住宅を購入したため
6. 子どもの通学が不便だったため	14. 自然豊かな生活環境を求めて
7. 通勤が不便だったため	15. 治安に不安を感じたため
8. 家族・親族と同居するため	16. その他（　　）

問3. 子育てや住環境等に関する次の項目について、松戸市と現在お住いの市区町村を比較して、良いと感じる方をお答えください。**（それぞれ1つに○）**

項目	1 松戸市	2 現在お住いの市区町村	3 どちらともいえない
1. メディアによく取り上げられ、知名度・認知度が高く、誇らしい	1	2	3
2. 街づくりや都市開発が活発である	1	2	3
3. 駅前や住宅街の街並みに統一感があり、洗練されている	1	2	3
4. 新築住宅の供給量が多い	1	2	3
5. 住宅の間取り・立地・価格（家賃）等の選択肢が多い	1	2	3
6. 駅前・駅近の商業施設が充実している	1	2	3
7. 買い物の利便性が高い	1	2	3
8. 公園が充実している	1	2	3
9. スポーツ施設が充実している	1	2	3
10. 鉄道やバス等の交通の便が良い	1	2	3
11. 保育所（園）等に入所しやすい	1	2	3
12. 保育所（園）以外にも子育て支援が充実している	1	2	3
13. 子育て世帯への経済的支援が充実している	1	2	3
14. 子育て支援に対する民間の評価が高い	1	2	3
15. 子育ての悩みを気軽に相談できる場がある	1	2	3
16. 学校の教育水準が高い	1	2	3
17. 学校の環境が安心できる	1	2	3

項目	1 松戸市	2 現在お住いの市区町村	3 どちらともいえない
18. 発育・発達の悩みを気軽に相談できる場がある	1	2	3
19. 小児医療が充実している	1	2	3
20. 医療施設が充実している	1	2	3
21. 高齢者・障害者向けの福祉環境が充実している	1	2	3
22. 治安が良い	1	2	3
23. 災害の心配がない、災害対策が充実している	1	2	3
24. 地域のつながりが強い	1	2	3
25. 自然が豊かである	1	2	3

問4. 全体として、引っ越しをして良かったと思いますか。**（あてはまる番号1つに○）**

1. 良かった	2. あまり変わらない	3. 良くない

問5. もし機会があれば、また松戸市に住みたいと思いますか。**（あてはまる番号1つに○）**

1. 住みたいと思う	2. 住みたいと思わない	3. わからない

問6. 回答いただいているのはどなたですか。お子さんからみた続柄でお答えください。

（あてはまる番号1つに○）

1. 母親	2. 父親	3. その他（　　）

問7. 回答いただいている方の年齢をお答えください。**（あてはまる番号1つに○）**

1. 10 歳代	4. 40 歳代
2. 20 歳代	5. 50 歳代
3. 30 歳代	6. 60 歳代以上

問8. 同居しているご家族をお答えください。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

（あてはまる番号すべてに○）

1. 母親	6. 叔父
2. 父親	7. 叔母・叔父以外の親せき
3. 祖母	8. 兄弟・姉妹
4. 祖父	9. その他（　　）
5. 叔母	

【問8で「3. 祖母」もしくは「4. 祖父」に○を つけなかった 方にうかがいます。】

問8-1. 宛名のお子さんの祖父母は、近くにお住まいですか。**(あてはまる番号1つに○)**

近くとは、おおむね 30 分以内で行き来できる範囲とします。

1. 住んでいる	2. 住んでいない

【問8で「5. 叔母」、「6. 叔父」、「7. 叔母・叔父以外の親せき」に○を つけなかった 方にうかがいます。】

問8-2. 宛名のお子さんの叔母・叔父等の親せきは、近くにお住まいですか。**(あてはまる番号1つに○)**

近くとは、おおむね 30 分以内で行き来できる範囲とします。

1. 住んでいる	2. 住んでいない

問9. 松戸市にお住まいのときは、どちらの地区にお住まいでしたか。**(あてはまる番号1つに○)**

1. 松戸地区	6. 小金原地区
2. 矢切地区	7. 新松戸地区
3. 東部地区	8. 常盤平地区
4. 馬橋地区	9. 六実地区
5. 小金地区	

【参考:松戸市地区図】

問10. 松戸市では子育て支援を最重要政策のひとつと考えています。松戸市にお住まいになられていたときに感じていたことや、こんな支援があるとよかったなど、ご意見・ご要望があれば、自由にご記入ください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、**１１月２２日(水)までに** ポストにご投函ください。

松戸市子ども・子育てに関するアンケート調査
報告書

令和6年（2024 年）3月
松戸市　子ども部　子ども政策課

〒271-8588 千葉県松戸市根本 387 番地の 5
☎047-366-1111

https://www.city.matsudo.chiba.jp/